津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事

図面リスト

建築工事

図面番号	図面名称
A−01	改修特記仕様書№1
A−02	改修特記仕様書№2
A−03	改修特記仕様書№3
A−04	改修特記仕様書№4
A−05	改修特記仕様書№5
A−06	改修特記仕様書№6
A−07	新営特記仕様書№1
A−08	新営特記仕様書№2
A−09	新営特記仕様書№3
A−10	新営特記仕様書№4
A−11	新営特記仕様書№5
A−12	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 外部・内部仕上表№1
A−13	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 内部仕上表№2
A−14	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 内部仕上表№3
A−15	＜普通教室棟＞ 改修前 改修後 外部・内部仕上表
A−16	＜特別教室棟B＞ 改修前 改修後 外部・内部仕上表
A−17	＜特別教室棟A＞ 改修前 改修後 外部・内部仕上表
A−18	＜渡り廊下＞ ＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 外部・内部仕上表
A−19	配置図・付近見取図
A−20	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修前 改修後 1階平面図
A−21	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修前 改修後 2階平面図
A−22	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修前 改修後 3階平面図
A−23	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 PH階平面図
A−24	＜普通教室棟＞ 改修前 改修後 1階・2階・3階平面図
A−25	＜特別教室棟B＞ 改修前 改修後 1階・2階・3階平面図
A−26	＜特別教室棟A＞ 改修前 改修後 1階平面図
A−27	＜特別教室棟A＞ 改修前 改修後 2階平面図
A−28	＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 1階平面図
A−29	＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 2階平面図
A−30	＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 3階平面図
A−31	＜渡り廊下＞ 改修後 平面図、天井伏図、屋根伏図
A−32	＜管理教室棟＞ 改修後 立面図№1
A−33	＜普通教室棟＞ 改修後 立面図№2
A−34	＜特別教室棟B＞ 改修後 立面図№3
A−35	＜屋内運動場＞ 改修後 立面図№4
A−36	＜渡り廊下＞ 改修後 立面図№5
A−37	＜管理教室棟＞ 改修前 断面図№1
A−38	＜管理教室棟＞ 改修後 断面図№2
A−39	＜普通教室棟＞ 改修前 改修後 断面図№3
A−40	＜特別教室棟B＞ 改修前 改修後 断面図№4
A−41	＜特別教室棟A＞ 改修前 改修後 断面図№5
A−42	＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 断面図№6
A−43	＜渡り廊下＞ 改修後 断面図№7
A−44	＜昇降機＞ 改修前 改修後 矩計図№1
A−45	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 矩計図№2
A−46	＜普通教室棟＞ 改修前 改修後 矩計図№3
A−47	＜特別教室棟B＞ 改修前 改修後 矩計図№4
A−48	＜渡り廊下＞ 改修後 断面詳細図
A−49	＜昇降機＞ EV詳細図№1
A−50	＜昇降機＞ EV詳細図№2
A−51	＜隣棟＞ EV詳細図№3
A−52	＜隣棟＞ EV詳細図№4
A−53	＜隣棟＞ EV詳細図№5
A−54	＜隣棟＞ 改修後 平面詳細図、展開図
A−55	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 2階平面詳細図№1
A−56	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 2階平面詳細図№2
A−57	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 2階平面詳細図№3
A−58	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 2階平面詳細図№4
A−59	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 2階平面詳細図№5
A−60	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 2階平面詳細図№6
A−61	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 2階平面詳細図№7
A−62	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 2階平面詳細図№8
A−63	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 2階展開図№1
A−64	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 2階展開図№2
A−65	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 2階展開図№3
A−66	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 2階展開図№4
A−67	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 2階展開図№5
A−68	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 2階展開図№6
A−69	＜管理教室棟＞ 改修前 2階展開図№7
A−70	＜管理教室棟＞ 改修後 2階展開図№8
A−71	＜普通教室棟＞ 改修前 改修後 2階平面詳細図№1
A−72	＜普通教室棟＞ 改修前 改修後 2階展開図№1
A−73	＜普通教室棟＞ 改修前 改修後 2階展開図№2
A−74	＜特別教室棟B＞ 改修前 改修後 2階平面詳細図№1
A−75	＜特別教室棟B＞ 改修前 改修後 2階平面詳細図№2
A−76	＜特別教室棟B＞ 改修前 改修後 2階展開図№1
A−77	＜特別教室棟B＞ 改修前 改修後 2階展開図№2
A−78	＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 2階平面詳細図№1
A−79	＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 2階平面詳細図№2
A−80	＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 2階展開図
A−81	＜渡り廊下＞ 改修後 展開図
A−82	＜屋内運動場＞ 改修後 スロープ詳細図
A−83	＜屋内運動場＞ 改修後 ベランダ手摺、外部階段手摺詳細図
A−84	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修前 改修後 1階天井伏図
A−85	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修前 改修後 2階天井伏図
A−86	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修前 改修後 3階天井伏図
A−87	＜普通教室棟＞ 改修前 改修後 1階・2階・3階天井伏図
A−88	＜特別教室棟B＞ 改修前 改修後 1階・2階・3階天井伏図
A−89	＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 1階・2階天井伏図
A−90	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修前 改修後 1階建具符号図
A−91	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修前 改修後 2階建具符号図
A−92	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修前 改修後 3階建具符号図
A−93	＜普通教室棟＞ 改修前 改修後 各階建具符号図
A−94	＜特別教室棟B＞ 改修前 改修後 各階建具符号図
A−95	＜特別教室棟A＞ 改修前 改修後 1階建具符号図
A−96	＜特別教室棟A＞ 改修前 改修後 2階建具符号図
A−97	＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 2階建具符号図
A−98	＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 3階建具符号図
A−99	撤去 建具表№1
A−100	撤去 建具表№2
A−101	撤去 建具表№3
A−102	撤去 建具表№4
A−103	撤去 建具表№5
A−104	新設 建具表№1
A−105	新設 建具表№2
A−106	新設 建具表№3
A−107	新設 建具表№4
A−108	新設 建具表№5
A−109	新設 パネル入替建具、ガラス入替建具、仮設戸入替建具
A−110	既設 建具表№1
A−111	既設 建具表№2
A−112	既設 建具表№3
A−113	既設 建具表№4
A−114	既設 建具表№5
A−115	既設 建具表№6
A−116	既設 建具表№7
A−117	＜屋内運動場＞ 撤去 建具表№1
A−118	＜屋内運動場＞ 新設 建具表№1
A−119	＜屋内運動場＞ 新設 建具表№2
A−120	＜屋内運動場＞ 新設 パネル入替建具
A−121	＜屋内運動場＞ 既設 建具表№1
A−122	＜屋内運動場＞ 既設 建具表№2
A−123	改修後 家具詳細図№1
A−124	改修後 家具詳細図№2
A−125	改修後 家具詳細図№3
A−126	改修後 家具詳細図№4
A−127	改修後 家具詳細図№5
A−128	改修前 撤去家具詳細図№1
A−129	改修前 撤去家具詳細図№2
A−130	EXP．Jキープラン
A−131	改修前 改修後 EXP．J詳細図
A−132	改修後 各部詳細図
A−133	改修前 屋外鉄骨階段撤去図
A−134	改修後 屋外鉄骨階段詳細図
A−135	全体仮設計画図
A−136	1階仮設計画図
A−137	2階仮設計画図
A−138	3階仮設計画図
A−139	＜渡り廊下＞ 仮設計画図
A−140	＜屋内運動場＞ 仮設計画図
S−01	構造特記仕様書
S−02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 №1
S−03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 №2
S−04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 №3
S−05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 №4
S−06	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 №5
S−07	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 №6
S−08	鉄骨基準図
S−09	溶接基準図
S−10	合成スラブ標準図
S−11	露出型弾性固定柱脚標準図
S−12	＜昇降機棟＞ 基礎伏図・基礎梁伏図・基礎梁リスト
S−13	＜昇降機棟＞ 梁・柱伏図
S−14	＜昇降機棟＞ 軸組図
S−15	＜昇降機棟＞ 鉄骨詳細図
S−16	＜昇降機棟＞ 土質柱状図
S−17	＜普通教室棟＞ 梁・柱伏図（屋外階段）
S−18	＜普通教室棟＞ 軸組図（屋外階段）

電気設備工事

図面番号	図面名称
E−01	電気設備工事 特記仕様書（1）
E−02	電気設備工事 特記仕様書（2）
E−03	電気設備工事 特記仕様書（3）
E−04	電気設備 配置図
E−05	既設キュービクル単線結線図
E−06	分電盤単線結線図
E−07	＜管理教室棟＞＜普通教室棟＞ 改修前 電灯・ｺﾝｾﾝﾄ設備 2階撤去図
E−08	照明器具姿図・弱電機器姿図・凡例
E−09	＜管理教室棟・昇降機棟＞＜普通教室棟＞ 改修後 電灯設備 1階・2階・3階平面図
E−10	＜管理教室棟・昇降機棟＞＜普通教室棟＞ 改修後 電灯ｺﾝｾﾝﾄ空調電源設備 1階平面図
E−11	＜管理教室棟・昇降機棟＞＜普通教室棟＞ 改修後 ｺﾝｾﾝﾄ設備 2階平面図
E−12	＜管理教室棟・昇降機棟＞＜普通教室棟＞ 改修後 空調電源設備 2階平面図
E−13	＜管理教室棟＞＜普通教室棟＞ 改修前 弱電設備 2階撤去図
E−14	ｲﾝﾀｰﾎﾝ・電気時計設備 系統図
E−15	TV・LAN設備 系統図
E−16	非常放送設備 系統図
E−17	＜管理教室棟・昇降機棟＞＜普通教室棟＞ 改修後 弱電設備 1階平面図
E−18	＜管理教室棟・昇降機棟＞＜普通教室棟＞ 改修後 弱電設備 2階・3階平面図
E−19	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修後 非常放送設備 1階平面図
E−20	＜管理教室棟・昇降機棟＞＜普通教室棟＞ 改修後 非常放送設備 2階平面図
E−21	＜管理教室棟＞＜普通教室棟＞ 改修前 自動火災報知設備 2階撤去図
E−22	自動火災報知設備 系統図
E−23	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修後 自動火災報知設備 1階・2階平面図
E−24	＜管理教室棟・昇降機棟＞＜普通教室棟＞ 改修後 自動火災報知設備 3階平面図
E−25	＜特別教室棟B＞ 改修前 電気設備 1階・2階平面図
E−26	＜特別教室棟A＞＜特別教室棟B＞ 改修後 電灯・ｺﾝｾﾝﾄ設備 2階平面図
E−27	＜特別教室棟B＞ 改修後 電灯設備 3階平面図
E−28	＜特別教室棟A＞＜特別教室棟B＞ 改修後 非常放送・弱電設備 2階平面図
E−29	＜特別教室A棟＞ 改修後 LAN設備 1階平面図
E−30	＜特別教室棟A＞＜特別教室棟B＞ 改修後 自動火災報知設備 1階・2階平面図
E−31	＜渡り廊下＞ 改修前 改修後 電灯設備 平面図
E−32	＜渡り廊下＞ 改修後 非常放送設備 平面図
E−33	＜屋内運動場＞ 改修後 電灯設備 2階・3階平面図
E−34	＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 電灯・ｺﾝｾﾝﾄ設備 平面詳細図
E−35	＜屋内運動場＞ 改修後 非常放送設備 2階平面図
E−36	＜屋内運動場＞ 改修後 自動火災報知設備 1階・2階平面図
E−37	＜屋内運動場＞ 改修後 自動火災報知設備 3階平面図

機械設備工事

図面番号	図面名称
M−01	機械設備工事 特記仕様書1
M−02	機械設備工事 特記仕様書2
M−03	配置図
M−04	給排水衛生設備 機器表・器具表
M−05	屋内消火栓設備 計算書
M−06	改修前 改修後 給排水衛生消火設備 配置図
M−07	改修後 屋内消火栓設備 1階平面図
M−08	改修後 屋内消火栓設備 2階平面図
M−09	改修後 屋内消火栓設備 3階平面図
M−10	改修後 給排水衛生設備 配置図
M−11	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修後 給排水衛生設備 1階平面図
M−12	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修後 給排水衛生設備 2階平面図
M−13	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修後 給排水衛生設備 3階平面図
M−14	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修後 給排水衛生設備 PH階平面図
M−15	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 給排水衛生設備 2階平面詳細図
M−16	＜普通教室棟＞ 改修後 給排水衛生設備 1階・2階・3階平面図
M−17	＜特別教室棟B＞ 改修後 給排水衛生設備 1階・2階・3階平面図
M−18	＜特別教室棟B＞ 改修前 改修後 給排水衛生設備 2階平面詳細図1
M−19	＜特別教室棟B＞ 改修前 改修後 給排水衛生設備 2階平面詳細図2
M−20	＜特別教室棟A＞ 改修後 給排水衛生設備 1階・2階平面図
M−21	＜屋内運動場＞ 改修後 給排水衛生設備 1階平面図
M−22	＜屋内運動場＞ 改修後 給排水衛生設備 2階平面図
M−23	＜屋内運動場＞ 改修後 給排水衛生設備 3階平面図
M−24	＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 給排水衛生設備 2階平面詳細図
M−25	換気設備 機器表
M−26	換気設備 計算書
M−27	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修後 換気設備 1階平面図
M−28	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修後 換気設備 2階平面図
M−29	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修後 換気設備 3階平面図
M−30	＜普通教室棟＞ 改修後 換気設備 1階・2階・3階平面図
M−31	＜特別教室棟B＞ 改修後 換気設備 1階・2階・3階平面図
M−32	＜特別教室棟A＞ 改修後 換気設備 1階・2階平面図
M−33	＜屋内運動場＞ 改修後 換気設備 2階平面図
M−34	＜屋内運動場＞ 改修後 換気設備 3階平面図
M−35	空調設備 機器表
M−36	空調設備 系統図
M−37	＜管理教室棟＞ 改修後 空調設備 1階平面図（東）
M−38	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修後 空調設備 1階平面図（西）
M−39	＜管理教室棟＞ 改修後 空調設備 2階平面図（東）
M−40	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修後 空調設備 2階平面図（西）
M−41	＜管理教室棟＞ 改修前 空調設備 1階平面図（東）
M−42	＜管理教室棟＞ 改修前 空調設備 1階平面図（西）
M−43	＜管理教室棟＞ 改修前 空調設備 2階平面図（東）
M−44	＜管理教室棟＞ 改修前 空調設備 2階平面図（西）
M−45	＜普通教室棟＞ 改修後 空調設備 1階平面図
M−46	＜普通教室棟＞ 改修後 空調設備 2階平面図
M−47	＜普通教室棟＞ 改修後 空調設備 2階平面図
M−48	＜普通教室棟＞ 改修後 空調設備 R階平面図
M−49	＜特別教室棟A＞ 改修後 空調設備 1階・2階平面図
M−50	＜管理教室棟・昇降機棟＞＜普通教室棟＞ 改修後 制御線 1階平面図

特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-00 （原図：A2）
				図面名称	図面リストNo.1	縮尺	NS

工事特記仕様書（改修）

Ⅰ．工事名称　津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事

Ⅱ．工事概要
1　工事場所　津市高茶屋４丁目４４番１号
2　敷地面積　24,052.54 ㎡
3　工事内容
棟名称　管理教室棟、昇降機棟、普通教室棟、特別教室棟Ｂ、特別教室棟Ａ、渡り廊下、屋内運動場
構造　鉄筋コンクリート造、（昇降機棟のみ鉄骨造）
建築面積　3,943.38 ㎡
延べ面積　8,877.88 ㎡

Ⅲ．建築改修工事仕様
1　共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」平成28年版）(以下「標準仕様書」）及び公共建築改修工事標準仕様書（「建築工事偏」平成28年版）（以下「改修標準仕様書」）による。

2　特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
(3) 項目欄に記載の（　）内表示番号は改標仕の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	① 適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 ① 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（最新版） ② 建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（最新版） ③ 津市公共建築物等木材利用方針
	② 施工条件	施工方法及び検査に関する事項 ※　工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 ※　工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 ※　本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 ※　特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。 ※　工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。 ※　場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 ※　工事車両の出入りについては、登下校時間を避け、安全確保に十分配慮すること。 ※　作業日は、常時、交通誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 なお、渡り廊下が工事範囲となるため、交通誘導員は、生徒の道路横断時の誘導も行うこと。 また、工事関係者用駐車場入口については、適時、交通誘導員を配置し、生徒及び児童の安全に十分配慮すること。 ※　工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ※　工事期間中、工事に起因し既存施設破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 ※　工事着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等があれば、市監員立合いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて、既設施設に破損等を与えた場合は、請負者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。 ※　設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 ※　本格着手に先立ち、校舎内の仮設間仕切は本契約後、夏休み直前の土・日曜日・祝日を中心に速やかに完了させること。 また、仮設間仕切設置完了後、夏休みまでに市建築指導課による仮使用の検査受けること。 ※　撤去工事等の騒音及び振動が生じる作業は、夏休み中等の授業が行われていない時に行うこと。 ※　外部足場の設置及び解体は、夏休み又は冬休み等の休校時に行うこと。 ※　２学期開始から１０月末までの期間については養生シートの開閉等により授業中の通風に配慮すること。 ※　試験日は、原則、作業禁止とし、学校行事時については、学校及び市監督員との協議を行うこと。 下記に、試験時期及び主な学校行事を記す。 ９月：実力テスト（１日）、１０月：中間テスト（半日２日間）・文化祭（１日） １１月：期末テスト（半日３日間）・懇談会（半日３日間）、１２月：懇談会（半日３日間） １月：実力テスト（１日）、２月：期末テスト（半日３日間）・懇談会（半日２日間） その他：職員会議及び土曜日授業（毎月１回） ※　下記に示す諸室の改修工事について、２学期以降の学校運営に支障がないよう、夏休み中に市検査課の中間検査を受け引き渡すこと。 ＜管理教室棟＞ ・１階：被服室、給湯室、宿直室、校長室、保健室、図書室、職員男子便所、職員女子便所 ・３階：第２音楽室へのロッカー移設、普通教室建具改修 ＜普通教室棟＞ ・３階：普通教室建具改修 ＜特別教室棟Ａ＞ ・２階：美技室、パソコン室、特別支援学級１及び２ ＜特別教室棟Ｂ＞ ・１階：金工室、木工室 ＜屋内運動場＞ ・全ての工事範囲 ※　入退場及び資材搬入等について、原則、校舎の内部階段は使用禁止とするが、中央階段において、２階から３階への昇降用として用いるが、生徒等学校関係者との交差を避ける為、休校時のみ使用可能とする。 ※　工事用水、電力については校内既存の施設を無償で利用できる。但し、学校行事に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し、施工すること。

特記事項

③ 発生材の処理等 (1.3.8)

本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有 (・)無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	(・)有　・　無	・手作業 (・)手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	(・)有　・　無	・手作業 (・)手作業、機械作業の併用
屋根	(・)有　・　無	・手作業 (・)手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	(・)有　・　無	・手作業 (・)手作業、機械作業の併用
その他 （ 土間コン ）	(・)有　・　無	・手作業 (・)手作業、機械作業の併用

(・) 引き渡しを要するもの　(・) 無　・　　）
・ 特別管理産業廃棄物　・ 有（　　）　処理方法（　　）
(・) アスベスト成形板等解体時の留意点
1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
2. 可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。
3. 飛散されない様にすること。
4. 保護具及び作業着を着用すること。
5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。
6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。
・ 現場において再利用を図るもの　（　　）
(・) 再資源化を図るもの　(・) コンクリート塊
(・) アスファルトコンクリート塊
(・) 建設発生木材

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。
引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告すること。（マニフェストA、B2、D票を提示すること。）

④ 建設副産物情報交換システムの利用

再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負代金額が１億円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。
また、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

⑤ 三重県産業廃棄物税

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の４月１日から８月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

6　電気保安技術者 (1.3.3)　適用する

7　技能士 (1.6.2)　職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。

⑧ 施工数量調査 (1.5.2)　調査範囲及び調査方法　(・) 外壁改修工事（打診調査、報告書作成［図示、工法　別集計表］）

9　調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)　補修方法　・　図示（図面番号：　　）　・（　　）

⑩ 建築材料等
1）　本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。
2）　本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、Ｆ☆☆☆☆以上とする。

⑪ 化学物質の濃度測定 (1.6.9)　測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
○	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
	その他	●	●	●	●	●	

測定対象室及び測定個所数　(・) 図示（図面番号：A-21,24,25　）　・（　　）
測定方法（(・) パッシブ法　・　アクティブ法）
報告書提出部数　２部

１２　特別な材料の工法　改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑬ 騒音・振動の防止　低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

⑭ 工事写真　営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（最新版））に従い撮影する。
提出部数　１部　用紙は上質紙とする。

⑮ 完成図 (1.8.2)
(・) 作成する　(・) 完成図　・　保全に関する資料　・（　　））
(・) 完成図作図範囲（　設計図訂正　）
完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第２７条及び第２８条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。また、製本２部により提出すること。

⑯ 完成写真
・ デジタルカメラで撮影し、全てＬ版相当サイズで印刷する。
（Ａ４版用紙に１ページあたり３枚）　１部
箇所数は外観４面各室２面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多大になる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

⑰ 設備工事との取合い
施工範囲
・　図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強
(・) 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強
(・) 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
(・) 駆動装置が電動による建具等の２次側の配管・配線及び　操作スイッチ
施工図
(・) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

⑱ 既存部分等への処置 (1.3.12)　工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。

⑲ 事故報告　工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑳ 不当介入を受けた場合の措置　暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第２条第１項第１４号）を受けた場合の措置について
1）　受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第２条第１項第１２号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
2）　(1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。
3）　受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

㉑ 消防提出書類
1）　消火器の設置届については、電気及び機械設備にて設置届が不要な場合は、建築にて設置届を提出するものとする。
2）　防火対象物使用開始届については書類の作成（建築図面の用意及び建築に関する部分の記述）を行うこと。

㉒ 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置　労働安全衛生法第30条第１項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第２項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

㉓ 不正軽油の使用の禁止
1）　一般事項
市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
2）　調査の協力
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3）　是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

２４　屋外広告物　屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第２３条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

② 仮設工事

① 足場　設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年４月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の２の(２)手すり据置き型方式又は(３)手すり先行専用足場方式により行うこと。
(2.2.1)　内部足場の種別 (・) 脚立　・　足場板　・（　　）
(表2.2.1)　外部足場の種別 (・)（　手摺先行枠組本足場　）
防護シート等による養生　(・) 適用する　・　適用しない

② 既存部分の養生 (2.3.1)　既存部分の養生　・　図示（図面番号：　　）
既存ブラインド・カーテンの養生
養生方法（　　）
保管場所　・　構内既存施設内
固定された備品、机、ロッカーの移動
(・) 行う　・　行わない

③ 仮設間仕切り (2.3.2) (表2.3.1)
屋内の仮設間仕切り　・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種
合板　厚さ　・　９㎜　・（　　）
せっこうボード　厚さ　・9.5㎜ (・)（ 12.5㎜　両面２枚張り　）
合板又は石こうボードの塗装　・　行う　(・) 行わない
仮設扉　設置箇所　(・) 図示（図面番号：　仮設図　）
種別　・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種　(・) 防火設備

4　監督員事務所 (2.4.1)
・　構内建物内の一部を使用する。
・　設置する　・　設置しない
監督員事務所の規模(単位:㎡)

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

監督員事務所の仕上げ

部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

5　監督員事務所の備品等 (2.4.1)(b)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	2　組	1　台	1　個	1　個	1　個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	2　足	2　着	4　個	1　個	1　台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット
数量	1　個	1　個	台	1　台	台

⑥ 仮設便所　構内既存の施設
・　利用できる　(・) 利用できない

⑦ 工事用水　構内既存の施設
(・) 利用できる（　・　有償　(・) 無償）　・　利用できない

⑧ 工事用電力　構内既存の施設
(・) 利用できる（　・　有償　(・) 無償）　・　利用できない
有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。

⑨ 交通誘導警備員　配置　(・) 図示（図面番号：　仮設図　）

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-01（原図:A2）
	図面名称	改修特記仕様書No.1	縮尺	NS

③ 防水改修工事

1 アスファルト防水
(3.1.4)
(3.3.3)
(表3.3.3)～
(表3.3.10)

工　法	種　別	施 工 箇 所
・ P1B	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3	
・ P1E ・ P2E	・ E-1 ・ E-2	

改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ (　　)
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ (　　)

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ (　　)
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ (　　)

(3.3.2) 断熱工法の断熱材 (P1BI,P2AI,T1BI,P0DI,M3DI,M4DI)
材質 ・(　　)
・ Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板３種ｂ（スキンあり）
・ Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種１号
・ Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種２号
厚さ ・(　　)
ルーフドレン回り及び立上がり部周辺断熱材の張りじまい位置 ・ 図示（図面番号：　　）

(3.3.3)(b)(2) 脱気装置 (M3D,P0D,P0DI,M3DI,M4DI)
(3.3.3)(C) ・ 設ける（設置数量 ・ 図示（図面番号：　　）、材質（　　））
・ 設けない
・ 仕上塗料 種類（　　） 使用量（　　）

(3.3.5) 保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ・ 水下80mm以上 ・(　　)
床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・(　　)
保護層 ・ 設ける ・ 設けない
屋上排水溝の適用 ・ 適用する
立上り保護 ・ 乾式保護材（　　）
・ れんが（材種 ・ ＪＩＳ R1250）

2 改質アスファルトシート防水
(3.4.3)
(表3.4.1)～
(表3.4.3)

工法	種別	施工箇所
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3	

改質アスファルトシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・(　　)
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・(　　)

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・(　　)
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・(　　)

断熱工法の断熱材 (M3ASI,M4ASI,P0ASI)
材質 ・(　　)
・ Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種１号
・ Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種２号
厚さ ・(　　)

脱気装置
・ 設ける（設置数量 ・ 図示（図面番号：　　）、材質（　　））
・ 設けない

3 合成高分子系ルーフィングシート防水
(3.5.3)
(表3.5.1)
(表3.5.2)
(3.5.2)(b)
(3.5.3)

工法	種別	施工箇所
・ S3S ・ S3SI	・ S-F1(SI-F1) ・ S-F2(SI-F2)	平場、立上

ルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・(　　)
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・(　　)

断熱工法の断熱材 (P0SI,S4SI,S3SI,M4SI)
材質 ・(　　)
・ Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種１号
・ Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種２号
・ Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板
・ Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの
厚さ ・(　　)

絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート

脱気装置
・ 設ける（設置数量 ・ 図示（図面番号：　　）、材質（　　））
・ 設けない

防水工事の保証書の提出及び保証年限
・ 保証年限10年 ・ その他（　　）
＜保証書（請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証）は各２通提出する。
防水施工者は、防水材料製造所の施工者とし、監督員の承諾を受ける＞

④ 塗膜防水
(3.6.3)
(表3.6.1)
(3.6.3)(a)
(3.6.3)(b)

工法	種別	施工箇所
・ P0X ・ L4X	・ X-1 ・ X-2	特別教室棟Ｂ ベランダ 平場、立上り

脱気装置
・ 設ける（設置数量 ・ 図示（図面番号：　　）、材質（　　））
・ 設けない

工法	種別	施工箇所
・ P1Y ・ P2Y	・ Y-2 ・	

保護層 ・ 図示（図面番号：　　）

防水工事の保証書の提出及び保証年限
・ 保証年限10年 ・ その他（　　）
＜保証書（請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証）は各２通提出する。
防水施工者は、防水材料製造所の施工者とし、監督員の承諾を受ける＞

5 既存防水層表面の仕上塗装の除去
(3.2.6)(c)(2)
(3.2.6)(c)(6)

(M4AS,M4ASI,M4C,M4DI) ・ 行う ・ 行わない
(L4X) ・ 行う ・ 行わない

⑥ シーリング
(3.7.2)
(表3.7.1)

材料

種類	材種	施工箇所
・ SR-1	シリコーン系	
・ SR-2	シリコーン系	
・ MS-2	変成シリコーン系	サッシ廻り
・ PS-2	ポリサルファイド系	
・ PU-2	ポリウレタン系	

(3.7.4～7) 工法
・ シーリング充填工法
・ シーリング再充填工法
・ 拡幅シーリング再充填工法
・ ブリッジ工法
（ボンドブレーカー幅 mm、エッジング材幅 mm）

(3.7.8) シーリング材の試験
・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない

7 とい
(3.8.2)
(表3.8.1)

材種 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（カラー） ・ 配管用鋼管（白管）
・(　　)
工法 ・ 図示（図面番号：　　）

8 アルミニウム製笠木
(3.9.2)(c)
(表3.9.1)

部材の種類
・ 押出し250形
・ 押出し300形
・ 押出し350形
・ 板材折曲げ形（本体幅（　　）mm、板厚 ・ 2.0mm ・(　　)）

(3.9.3)(b) 固定金具の間隔（　　mm）
固定方法 ・(　　)

(3.9.2)(d) 表面処理 ・(　　)
(表5.2.2) 工法 既存笠木等の撤去 ・ 図示（図面番号：　　）
下地補修の工法 ・ 図示（図面番号：　　）
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示（図面番号：　　）
笠木固定金具の工法 ・ 図示（図面番号：　　）
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

9 ケイ酸質系塗布防水
適用部位 ・ 図示（図面番号：　　）
防水層の種別及び工程 ・C-UI ・C-UP

防水工事の保証書の提出及び保証年限
・ 保証年限10年 ・ その他（　　）
＜保証書（請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証）は各２通提出する。
防水施工者は、防水材料製造所の施工者とし、監督員の承諾を受ける＞

④ 外壁改修工事

① 施工数量調査
・ 行う ・ 行わない
調査範囲 ・ 全面 ・（渡り廊下）
調査項目 ・ ひび割れ部 ・ 幅0.2mm ・ 0.2mm～1.0mm ・ 1.0mm以上）
・ はがれ及びはく落部分
・ 浮き部
調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等（ ・ 足場 ・ ゴンドラ）
報告書 ２部（立面図等に記載、必要に応じて写真添付）

② 改修工法の種類
(4.1.4)
(4.1.5)

外壁	種類	改修工法
・ コンリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Ｕカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法
・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Ｕカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
・ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Ｕカットシール材充填工法
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法
・ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り

③ 改修工法等
(4.2.2)(a)
(4.3.4)
(4.4.5)
(4.5.5)

・ 樹脂注入工法
種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入量（　　）注入間隔（　　）
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法
注入量（　　）注入口間隔（　　）
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法
注入量（　　）注入口間隔（　　）
材料 エポキシ樹脂JIS A6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)
・ 低粘度形 ・ 中粘度形
コア抜取検査 ・ 行う ・ 行わない
・ 抜取り個数（　　）
・ 抜取り部分補修方法（　　）

(4.2.2)(b)
(4.3.5)
(4.4.6)
(4.5.6)

・ Ｕカットシール材充填工法
材料 ・ シーリング用材充填
（ ・ＰＵ－１ ・ ＰＵ－２ ・(　　)）
・ 可とう性エポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
・ 行う ・ 行わない

(4.2.2)(c)
(4.3.6)
(4.4.7)

・ シール工法
材料 ・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2)(d)
(4.3.7)
(4.4.8)

・ 充填工法
材料 ・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2)(g)
(4.5.8)

・ モルタル塗替え工法
材料 ・ 既製目地材の適用及び形状（　　）
仕上げ厚（　　）

(4.2.2)(e)
(4.4.10)
(図4.4.1)

・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの本数 ・ 標準 ・(　　)
材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・(　　)

(4.2.2)(e)
(4.4.11)
(図4.4.2)

・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの本数び注入口の数 ・ 標準 ・(　　)
材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・(　　)

(4.2.2)(e)
(4.4.12)
(図4.4.2)

・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
アンカーピンの本数び注入口の数 ・ 標準 ・(　　)
材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・(　　)

(4.2.2)(f)
(4.4.13)
(図4.4.3)

・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・(　　)
材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・(　　)
呼び径 ・ ６mm ・(　　)

(4.2.2)(f)
(4.4.14)
(図4.4.4)

・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・(　　)
材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・(　　)
呼び径 ・ ６mm ・(　　)

(4.2.2)(f)
(4.4.15)
(図4.4.4)

・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・(　　)
材料 ・ ポリマーセメントスラリー（　　）
・ 注入口付アンカーピン（ ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・(　　)）
呼び径 ・ ６mm ・(　　)

(4.2.2)(h)
(4.5.7)

・ タイル部分張替え工法
材料 ・ ポリマーセメントモルタル

・ 変成シリコーン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無
				Ⅰ類(磁器)	Ⅱ類(せっ器)	Ⅲ類(陶器)			

・ 役物（ ・ 一体成形 ・ 接着加工）
・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない
・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない

(4.2.2)(h)
(4.5.8)
(表4.5.3)

・ タイル張替え工法

タイルの種別	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)
・ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り	5～8
		・ 改良積み上げ張り	4～7
		・ 改良圧着張り	下地側 4～6 タイル側 3～4
・ ユニットタイル	・ 25mm角を超え小口未満	・ マスク張り	3～4
	・ 小口未満	・ モザイクタイル貼り	3～5

(4.5.15)

・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
注入口付アンカーピンの本数（　　本）

(4.2.2)(h)
(4.5.16)

・ 目地ひび割れ部改修工法
・ 伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地
（位置 寸法 × ）
検査 シーリング接着性試験
・ 行う（ ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験）

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像

一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-02（原図:A2）
		図面名称	改修特記仕様書No.2	縮尺	NS

④ 塗り仕上げ
(4.2.2)(j)
(表4.2.4(その1)
(その2))

種　類	呼び名	仕上げ形状	工法
薄付け仕上塗材	⊙ 外装薄塗材Ｅ	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	吹付け
		・ 平たん状 ・ 凹凸状	こて
		⊙ ゆず肌状 ・ さざ波状	ローラー
		・着色骨材砂壁状	・ 吹付け ・ こて
	・（　　）	・（　　）	・（　　）
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材Ｃ	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて
	・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材Ｅ	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し	・こて ・ローラー
	・（　　）	・（　　）	・（　　）
複層仕上塗材	⊙ 複層塗材Ｅ ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材Ｅ ・ 防水形複層塗材RE	⊙ ゆず肌状	ローラー
		・ 凸部処理 ⊙ 凹凸模様	吹付け
	・（　　）	・（　　）	・（　　）
可とう形改修用仕上塗材	・ 可とう形改修塗材Ｅ ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE	・ 平たん状 ・ さざ波状	ローラー
		・ ゆず肌状	吹付け
	・（　　）	・（　　）	・（　　）

・ 外装厚塗Ｃの上塗材がセメントスタッコ以外の場合
材所要量（　　kg／m2）

(4.6.6)　・ マスチック塗材塗り　・ Ａ種　・ Ｂ種
(表4.6.7)　仕上材塗り（　　）

(表4.2.5)　複層仕上塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外　観
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有　・ 艶無　・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有　・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有　・ 艶無
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有　・ 艶無　・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有　・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有　・ 艶無
・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有　・ 艶無　・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有　・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有　・ 艶無
⊙ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有　・ 艶無　・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有　・ 艶無
	⊙ 水系	⊙ 艶有　・ 艶無

（注）　艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

(4.6.3)　既存塗膜等の除去及び下地処理

工法	処理範囲
・ サンダー工法	
・ 高圧水洗工法	
・ 塗膜はく離剤工法	
⊙ 水洗い工法 ・ デッキブラシ ⊙ 高圧ポンプ（10～15Mpa）	特別教室棟Ｂ　ベランダ 渡り廊下　外壁

(4.6.4)　下地調整
⊙ C-1　・ C-2　・ CM-2　・ E　・（　　）

⑤ 建具改修工事

① 改修工法
(5.1.3)
⊙ かぶせ工法
⊙ カバー工法　・ 持出し工法　・ ノンシール工法
⊙ 撤去工法
⊙ はつり工法　・ 引抜き工法

② 防火戸
(5.1.4)
・ 例示仕様　・ 個別認定（認定番号：　　）
・ 自動閉鎖機構　⊙ 図示（図面番号：　　）

③ 見本の製作
(5.1.5)
・ 製作する　⊙ 製作しない

4　防犯建物部品
(5.1.7)
・ 図示（図面番号：　　）

⑤ ブラインドボックス等
(5.1.6)(c)
・ 再使用する　⊙ 再使用しない

⑥ アルミニウム製建具
(5.2.2)
(5.2.4)
(表5.2.1)
性能等級等　・ Ａ種　⊙ Ｂ種　・ Ｃ種
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級　　）
・ 耐震ドアセット（等級　　）
・ 結露水の処理方法　・ 図示（図面番号：　　）

(表5.2.2)　アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別
・ 外部に面する建具
⊙ B-1　・ B-2　・（　　）
・ 内部に面する建具
・ C-1　・ C-2　・（　　）

7　網戸
(5.2.3)(e)
・ 可動式　・ 固定式
防虫網の材質
・ 合成樹脂製　・ ガラス繊維入り合成樹脂製　・ ステンレス(SUS316)製
網目
・ 16メッシュ　・ 18メッシュ

8　樹脂製建具
(5.3.2)～(5.3.5)
(表5.3.1)～
(表5.3.3)
性能等級等
・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級　　）
ガラス　・ 複層ガラス　・（　　）
建具枠見込寸法　・ 図示（図面番号：　　）
水切り　・ 図示（図面番号：　　）
ぜん板　・ 図示（図面番号：　　）
丁番　・ 改修標準仕様書(表5.7.3)による　・ 図示（図面番号：　　）

⑨ 鋼製建具
(5.4.2)
(5.4.3)
(5.4.4)
鋼製建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
⊙ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4　⊙ S-5　・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級　　）
・ 耐震ドアセット（等級　　）
・ めっき付着量　JIS G 3302　・ Z12　・ F12　・（　　）
JIS G 3317　・ Y08　・（　　）
・ H>2400又はW>950の建具
鋼板類の厚さ　・ 図示（図面番号：　　）

⑩ 鋼製軽量建具
(5.5.2)
(5.5.5)
(5.2.2)(b)
(5.5.3)
(5.5.4)
(5.7.3)(a)
(5.2.3)(a)
鋼製軽量建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級　　）
・ 耐震ドアセット（等級　　）
・ H>2400又はW>950の建具
鋼板類の厚さ　・ 図示（図面番号：　　）

表面仕上げ
⊙ 焼付塗装
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板
・ ステンレス鋼板（　・ HL　・ 鏡面）

11　ステンレス製建具
(5.6.2)
(5.4.2)
ステンレス製建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4　・ S-5　・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級　　）
・ 耐震ドアセット（等級　　）

(5.6.3)　材料　・ SUS304　・（　　）

(5.6.4)　表面仕上げ　・ HL仕上げ　・（　　）

(5.6.5)　曲げ加工　・ 普通曲げ　・ 角出し曲げ

⑫ 建具用金物
(5.7.2)
金物の見え掛かり部等の材質等
⊙ 改修標準仕様書(表5.7.1)による
・ 図示（図面番号：　　）

(5.7.4)　マスターキー　⊙ 製作する　・ 製作しない
引渡用鍵箱　⊙ 必要　・ 不要

13　自動ドア開閉装置
(5.8.2)
開閉装置の性能値
・ 図示（図面番号：　　）

(5.8.3)
(表5.8.3)
センサの種類
・ 図示（図面番号：　　）

(5.8.3)(f)　凍結防止措置　・ あり　・ なし

⑭ 自閉式上吊り引戸装置
(5.9.3)
自閉式上吊り引戸装置の性能値
⊙ 改修標準仕様書(表5.9.1)による　・（　　）

15　重量シャッター
(5.10.2)
種類
・ 一般重量シャッター　・ 外壁用防火シャッター
・ 屋内用防火シャッター　・ 防煙シャッター
耐風圧強度（　　Pa以上）

(5.10.2)(c)
(表5.10.1)
開閉機能
・ 上部電動式（手動併用）　・ 上部手動式

(5.10.2)(f)
(5.10.3)
一般重量シャッターのシャッターケース
・ 設ける　・ 設けない
・ めっき付着量　・ Z12　・ F12　・（　　）

16　軽量シャッター
(5.11.2)
(表5.11.1)
開閉形式
・ 上部電動式（手動併用）　・ 手動式
耐風圧強度（　　Pa以上）

スラットの材質及び形状
・ インターロッキング形　・ オーバーラッピング形
・ めっき付着量　JIS G 3312　・ Z06　・ F06　・（　　）
JIS G 3322　・ AZ90　・（　　）

17　オーバーヘッドドア
(5.12.2)
型式及び機構
セクション材料
・ スチールタイプ　・ アルミニウムタイプ　・ ファイバーグラスタイプ
耐風圧強度（　　Pa以上）
開閉方式
・ バランス式　・ チェーン式　・ 電動式
収納形式
・ スタンダード形　・ ローヘッド形　・ ハイリフト形　・ バーチカル形
(5.12.3)　ガイドレール
・ 溶融亜鉛めっき鋼板　・ ステンレス鋼板

⑱ 板ガラス
(5.13.2)(a)
(5.13.4)
⊙ 図示（図面番号:A-104～108,118 ）

⑲ ガラス留め材
(5.13.2)(b)
⊙ シーリング　・ ガスケット（　　）

⑳ ガラス溝の寸法、形状等
(5.13.3)
・ 図示（図面番号：　　）
⊙ 改修標準仕様書（表5.13.1）による

21　ガラスブロック積み
(5.13.5)
ガラスブロック
表面形状、寸法、厚さ　・ 図示（図面番号：　　）
金属枠、補強材　・ 図示（図面番号：　　）
化粧カバー　・ 図示（図面番号：　　）
工法　・ 図示（図面番号：　　）
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。

⑥ 内装改修工事

① 一般事項
(6.1.3)(b)
既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲

改修部分	改　修　範　囲
⊙ 天井	⊙ 図示（図面番号：　　）
⊙ 壁	⊙ 図示（図面番号：　　）
⊙ 床	⊙ 図示（図面番号：　　）

(6.1.3)(c)　天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲
⊙ 図示（図面番号：　　）　・（　　）

(6.1.3)(f)　天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修
⊙ 図示（図面番号：　　）　・（　　）

② 既存床撤去、下地補修
(6.2.2)(a)(1)
(6.2.2)(a)(2)
(6.2.2)(c)
既存床仕上げ材の除去等
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去
⊙ 行う　・ 行わない
合成樹脂塗り床材の除去等
・ 機械的除去工法　・ 目荒し工法
改修後の床の清掃範囲
⊙ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲
・（　　）

③ 既存壁撤去、下地補修
(6.3.2)
既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法
⊙（建具、間仕切壁、見切り等撤去後モルタル充填）

4　木下地等
(6.5.1)(c)
(表6.5.1)
(6.5.2)(a)(1)
(表6.5.2)
表面仕上げ　・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種
木材の含水率（工事現場搬入時、質量比）

部材名称	種　別
下地材	・ Ａ種　・ Ｂ種
造作材	・ Ａ種　・ Ｂ種

(6.5.2)(b)(1)　製材
「製材の日本農林規格」による製材

部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率
下地用 針葉樹製材	・ 図示 （図面番号：　　）	・（　　）	・（　　）
造作用 針葉樹製材	・ 図示 （図面番号：　　）	・（　　）	・（　　）
広葉樹製材	・ 図示 （図面番号：　　）	・（　　）	・（　　）

(6.5.2)(b)(2)
(ⅳ)
(表6.5.3)
「製材の日本農林規格」以外の製材
樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率　・ 図示（図面番号：　　）
造作材の材面の品質　・ Ａ種　・（　　）
樹種

部　位	樹　種	県　産　材

(6.5.2)(b)(2)(ⅳ)　代用樹種の使用　・ 禁止する　・ 禁止しない

(6.5.2)(c)(ⅰ)
(6.5.2)(b)(ⅱ)
造作用集成材
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

部　位	樹 種 ・ 寸 法	見付け材面の等級	厚さ
造作用集成材	・ 図示 （図面番号：　　）	・（　　）	
化粧ばり造作用集成材	・ 図示 （図面番号：　　）	・（　　）	
化粧ばり構造用造作用集成材	・ 図示 （図面番号：　　）		・（　　）

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-03 （原図:A2）
				図面名称	改修特記仕様書No.3	縮　尺	NS

(6.5.2)(c)(ⅱ) 「集成材の日本農林規格」以外の製材
樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示（図面番号： ）
含水率 ・ １５%以下 ・（ ）

(6.5.2)(d)(ⅰ) 造作用単板積層材
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

部位	厚さ	表面の品質	防虫処理
造作用単板積層材	・ 図示（図面番号： ）	・（ ）	・（ ）

(6.5.2)(d)(ⅱ) 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
厚さ、表面の品質、防虫処理 ・ 図示（図面番号： ）
含水率 ・ １４%以下 ・（ ）

(6.5.2)(e) ・ 床張り用合板等

部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ

(6.5.5)(a) ・ 防腐、防蟻処理
適用部位 図示（図面番号： ）
保存処理性能区分（ ）
薬剤の塗布等の処理方法（ ）
ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理（ ）

(6.5.5)(b) ・ 防虫処理
・ 図示（図面番号： ）

⑤ 軽量鉄骨天井下地
(6.6.2)
(表6.6.1)
野縁等の種類
(・) 屋内 (・) 19形 (・)（ 25形 ）
(・) 屋外 (・) 25形 ・（ ）

(6.6.3) 形式及び寸法
・ 屋外 ・ 図示（図面番号： ）
・ 耐震天井 ・ 図示（図面番号： ）
・ ふところ≧1.5m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(h) ・ 図示（図面番号： ）
・ ふところ＞3m ・ 図示（図面番号： ）

(6.6.4) 既存埋込みインサート
(・) 使用する ・ 使用しない
既存埋め込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験
・ 行う（図示（図面番号： ））(・) 行わない
耐震天井
・ 図示（図面番号： ）

⑥ 軽量鉄骨壁下地
(6.7.3)
(6.6.4)(a)(1)
スタッド、ランナー等の種類
(・) 図示（図面番号： ）

⑦ ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り
(6.8.2)
(6.8.2)(a)
(6.8.2)(b)
材料
(・) ビニル床シート【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種類の記号	色柄	厚さ	備考
ＦＳ	ﾏｰﾌﾞﾙ	2.5mm	
ＦＳ	ﾏｰﾌﾞﾙ	2.0mm	耐薬品性

・ ビニル床タイル【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種類の記号	厚さ	備考
半硬質ビニル床タイル	2.0mm	

(6.8.2)(c)(1) (・) 帯電防止床シート又は床タイル

種類	性能	厚さ	備考
ＦＯＡ		2.0、4.0mm	

(6.8.2)(c)(2) ・ 視覚障害者用床タイル

種類	形状	備考
ビニル床タイル	300×300×7.0mm	

(6.8.2)(c)(3) ・ 耐動荷重性床シート

種類	性能	厚さ	備考

(6.8.2)(c)(4) (・) 防滑性床シート又は床タイル

種類	性能	厚さ	備考
ＦＳ	ﾏｰﾌﾞﾙ	2.5mm	

(6.8.2)(e) ・ ゴム床タイル

種類	厚さ	備考

(6.8.3)(a) 工法
下地 (・) モルタル下地 ・ 木下地 ・ その他（ ）

(6.8.3)(b) ビニル床シート張り
熱溶接工法 (・) 適用する ・ 適用しない

8 カーペット敷き
(6.9.3)(a)
(表6.9.1)
・ 織じゅうたん

種別	パイルの形状	帯電性	品質の程度
・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・（ ）	・（ ）

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。（以下同様）

(6.9.3)(b)
(表6.9.2)
・ タフテッドカーペット

パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度
・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用		・ 人体帯電圧 3KV以下 ・（ ）	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・（ ）

(6.9.3)(c) ・ ニードルパンチカーペット

厚さ(mm)	帯電性	備考
	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・（ ）	

(6.9.3)(d)
(表6.9.2)
・ タイルカーペット

種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度
	・ カットパイル ・ ループパイル	・500×500 ・（ ）	・6.5 ・（ ）	・（ ）

(6.9.3)(e) 下敷き材 ・ 第２種第２号、厚さ８mm ・（ ）
(6.9.3)(f) 見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、種類及び形状 ・ 図示（図面番号： ））

(6.9.4)(e) 敷き方

平場	・ 市松敷き	・ 模様流し	・（ ）
階段部分	・ 市松敷き	・ 模様流し	・（ ）

⑨ 合成樹脂塗床
(6.10.3)(b)(1)
(表6.10.4)
弾性ウレタン塗床の仕上げ種類、工程
(・) 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ

(6.10.3)(b)(2)
(表6.10.4)～
(表6.10.8)
エポキシ樹脂塗床の仕上げ種類
・ 薄膜流し展べ仕上げ（・ 平滑 ・ 防滑） ・ 厚膜流し展べ仕上げ（・ 平滑 ・ 防滑）
・ 樹脂モルタル仕上げ（・ 平滑 ・ 防滑） ・ 薄膜型塗床仕上げ（・ 平滑）

⑩ フローリング張り
(6.11.6)
(表6.11.6)
・ モルタル埋込み工法
フローリングブロック(単位:mm)

樹種	厚さ	寸法	備考
・ なら ・（ ）	・ 15 ・（ ）	・ 303×303 ・（ ）	・ 辺材部分には、防虫処理を行う ・（ ）

(6.11.4)
(表6.11.2)
・ 釘留め工法

材料	種別	樹種
・ フローリングボード（根太張用）		・ なら ・（ ）
・ 複合フローリング（根太張用）	・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種	

防湿処理 ・ 図示（図面番号： ）

(6.11.5)
(6.11.6)
(表6.11.3)
(表6.11.5)
(表6.11.6)
(・) 接着工法

材種		樹種	厚さ	大きさ
・ フローリングボード（直張用）		(・) なら ・（ ）	(・) １２mm ・（ ）	
・ フローリングブロック（直張用）				
・複合１種フローリング（直張用）	・ Ａ種 ・ Ｂ種 (・) Ｃ種			
(・)・複合２種フローリング（直張用）				
・複合３種フローリング（直張用）				
・ モザイクパーケット （直張用）		・（ ）	・（ ）	・（ ）
(・) 耐摩耗表面単板 （直張用）		・（ ）	(・) ２mm	・（ ）

緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示（図面番号： ）

(6.11.7)(2) 塗装
・ ウレタン樹脂ワニス塗り（１液形、Ｂ種）
・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り
・ 生地のままワックス塗り
・（ ）

１１ 畳敷き
(6.12.2)
(表6.12.1)
種別 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種 ・ Ｄ種

⑫ せっこうボード、その他ボード及び合板張り
(6.13.2)
(表6.13.1)

材種	種別	厚さ(mm)
(・) せっこうボード		壁 (・) 9.5(準不燃) (・) 12.5(不燃) 天井 (・) 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)
(・) 化粧せっこうボード	(・) トラバーチン模様	(・) 9.5(準不燃) (・) 12.5（不燃）
	・ 木目模様	・ 9.5(準不燃)
・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9 ・ 12
	・ 立体模様	
(・) けい酸カルシウム板	(・) タイプⅡ0.8FK	

(6.13.2)(h) 遮音シール材
・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド

(6.13.3)(e)(3) 合板類の張付け
・ Ａ種 (・) Ｂ種

(6.13.3)(g)(1)
(表6.13.5)
せっこうボードの目地工法
・ 継目処理 (・) 突付け ・ 目透し

１３ 壁紙張り
(6.14.2)

施工箇所	品質	防火性能
		・ 不燃 ・ 準不燃
		・ 不燃 ・ 準不燃
		・ 不燃 ・ 準不燃

⑭ モルタル塗り
(6.15.3)
(6.15.6)
(6.11.6)
既製目地材 ・ 使用する（形状： ）
床の目地 ・ 図示（図面番号： ）
緩衝材 ・ 図示（図面番号： ）

１５ タイル張り
(6.16.2)
(6.16.3)
伸縮調整目地
位置 ・ 図示（図面番号： ）

タイルの種類

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分 Ⅰ類(磁器)	区分 Ⅱ類(せっ器)	区分 Ⅲ類(陶器)	役物	標準・特注色	耐凍害性有無

(6.16.3)(b)(1) 試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本焼き ・ 行う ・ 行わない

(6.15.5) コンクリート素地面の目荒らし工法 ・ 行う

⑯ セルフレベリング材塗り
(6.17.2)
(6.17.3)
・ せっこう系 (・) セメント系
塗厚（ 10 ）mm

１７ 断熱材
(9.5.2)
断熱材打込み工法
種類 ・ Ａ種 ・ Ｂ種

種類	種別	厚さ（mm）	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム			
・ 押出法ポリスチレンフォーム			
・ Ａ種硬質ウレタンフォーム			
・ フェノールフォーム			

(9.5.3) 断熱材現場発泡工法（吹付硬質ウレタンフォーム）

種類	厚さ[mm]	施工箇所
・ Ａ種１ ・ Ａ種２ ・ Ａ種３	・（ ）	・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・（ ）

⑦ 塗装改修工事

① 材料
(7.1.3)(b)
(・) 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）

② 下地調整
(7.2.1～7.2.7)
(表7.2.1)～
(表7.2.7)
既存塗膜の除去範囲（塗り替えでＲＢ種の場合）
・ 図示（図面番号： ）

種別

下地	種別	ひび割れ部の補修
(・) 木部	・ RA種 (・) RB種 ・ RC種	
(・) 鉄鋼面	・ RA種 (・) RB種 ・ RC種	
・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
(・) モルタル、プラスター面	・ RA種 (・) RB種 ・ RC種	・ 行う
・ コンクリート、ＡＬＣパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
(・) コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 (・) RB種 ・ RC種	・ 行う
(・) せっこうボード、その他ボード面	・ RA種 (・) RB種 ・ RC種	

③ 錆止め塗料塗り
(7.3.2)
(表7.3.1)
(7.3.3)
錆止め塗料種別
(・) 鉄鋼面
屋外 Ａ種
屋内 (・) Ａ種 ・ Ｂ種

(表7.3.3)～
(表7.3.4)
・ 亜鉛めっき鋼面
・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種

錆止め塗料塗り種別
鉄鋼面 ・ Ａ種 (・) Ｂ種 ・ Ｃ種
亜鉛めっき鋼面 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種

④ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)
(7.4.2)
(7.4.3～7.4.5)
(表7.4.1)～
(表7.4.3)
塗料種別 ・ １種 ・（ ）
種別

下地	種別
(・) 木部	・ Ａ種 (・) Ｂ種 ・ Ｃ種
・ 鉄鋼面	・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種
・ 亜鉛めっき鋼面	・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種

５ クリヤラッカー塗り(CL)
(7.5.2)
(表7.5.1)
種別
木部 ・ Ａ種 ・ Ｂ種

６ フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)
(7.6.2)～(7.6.3)
種別

下地	適用
・ 木部	・ 改修標準仕様書(表7.6.1参照)
・ 鉄面及び亜鉛めっき鋼面	・ 改修標準仕様書(表7.6.2参照)

⑦ アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD)
(7.7.2)
(表7.7.1)
種別
・ Ａ種 (・) Ｂ種

⑧ 耐候性塗料塗り(DP)
(7.8.2)～
(7.8.4)
(表7.8.1)～
(表7.8.3)
上塗り等級
(・) １級（フッ素系） ・ ２級（シリコン系） ・ ３級（ポリウレタン系）

下地	種別
鉄鋼面	・ Ａ種 (・) Ｂ種 ・ Ｃ種
亜鉛めっき鋼面	・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種
コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ Ａ－１種 ・ Ａ－２種 ・ Ｂ－１種 ・ Ｂ－２種 ・ Ｃ－１種 ・ Ｃ－２種

特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事
				図面名称	改修特記仕様書No.4

図面番号	A-04（原図:A2）
縮尺	NS

9　つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)
(7.9.2)～(7.9.5)
(表7.9.1)～
(表7.9.4)

種別

下地	種別
コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面	・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種 しみ止め（　　）
木部（屋内）	・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種
鉄鋼面（屋内）	・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種
亜鉛めっき鋼面（屋内）	・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種

⑩　合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)
(7.10.2)
(表7.10.1)

種別
・　Ａ種　(・)Ｂ種　・　Ｃ種
しみ止め　・（　　）

１１　合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)
(7.11.2)
(表7.11.1)

種別
・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種

１２　ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)
(7.12.2)
(表7.12.1)

種別
・　Ａ種　・　Ｂ種

１３　ラッカーエナメル塗り(LE)
(7.13.2)
(表7.13.1)

種別
・　Ａ種　・　Ｂ種

１４　オイルステイン塗り(OS)
(7.14.2)

・　改修標準仕様書(表7.14.1参照)

１５　木造保護塗料塗り(WP)
(7.15.2)
(表7.15.1)

種別
・　Ａ種　・　Ｂ種

８の１　耐震改修工事　共通事項

（一般事項）
１ 適用範囲

工事内容
・　現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・　鉄骨ブレースの設置工事
・　柱補強工事（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法）
・　柱補強工事（鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法）
・　柱補強工事（連続繊維補強工法）
・　耐震スリット新設工事
・　免震改修・制震改修工事

(8.1.1)
(8.1.2)

工事種別
・　鉄筋工事
・　あと施工アンカー工事
・　コンクリート工事
・　鉄骨工事
・　グラウト工事
・　連続繊維補強工事
・　スリット新設工事
・　免震改修、制震改修工事

（施工調査）
２　施工計画調査
(1.2.2)
(1.2.4)
(1.3.1)
(1.5.1)

施工計画調査

項目	内容	記録事項等

３　施工数量調査
(1.5.2)

施工数量調査

項目	内容	記録事項等

⑧の２　耐震改修工事　撤去工事

① 既存部分の撤去等
(8.19.2)

撤去の範囲
(・)図示（図面番号：　Ａ-38　）
・　新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分
・　既存コンクリート撤去範囲に面する部分
・（　　）

既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置
本工事の範囲
(・)本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分
・　設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。
・（　　）
撤去範囲　・　図示（図面番号：　　）

② 既存構造体の撤去
(8.19.2)
(8.20.2)
(8.21.2)
(8.22.2)

既存構造体の撤去
撤去範囲　(・)図示（図面番号：　Ａ-38　）
はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置

(8.19.2)
(8.20.2)
(8.21.2)
(8.22.2)

既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断

鉄筋の切断	範囲	適用
・既存鉄筋は切断せず残す	・図示（図面番号：　　） ・全ての撤去部分 ・（　　）　・適用なし	
(・)コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・図示（図面番号：　　） (・)全ての撤去部分 ・（　　）　・適用なし	
・コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・（　　）	

はつりだした鉄筋の処置
・　鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。
・（　　）

はつりだした鉄骨の処置
・　コンクリート等を除去し鉄面を表す。
・（　　）

（既存部分の処理）
③ 既存構造体コンクリートの表層目荒らし
(8.19.3)
(8.20.3)
(8.21.3)

既存構造体コンクリート面の表層目荒らし
目荒らし範囲
(・)既存コンクリートとの打継ぎ面全面
・　既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面
・　図示（図面番号：　　）

目荒らし程度
(・)平均深さ5～10mm で最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す
・　図示（図面番号：　　）

⑧の３　耐震改修工事　鉄筋工事

① 鉄筋
(8.2.1)
(表8.2.1)

材料　改修標準仕様書(表8.2.1)による

種別	径(mm)
(・)SD295A	D10
・　SD345	
・　SD390	
・（　　）	

② 溶接金網
(8.2.2)

網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)
150×150、100×100	φ6

３　加工
(8.3.2)

90°未満の折曲げの内法直径　・　図示（図面番号：　　）

④ 鉄筋の継手及び定着
(8.3.4)

	径	部位
重ね継手	(・)Ｄ１６以下	
ガス圧接	・　Ｄ１９以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
(・)改修標準仕様書(8.3.4)(c)(1)による
・　図示（図面番号：　　）

継手位置
(・)各部配筋参考図による
・　図示（図面番号：　　）

先組み工法等
・　柱・梁主筋の継手を同一箇所に設ける

鉄筋の定着長さ
・　改修標準仕様書(表8.3.4)による
・　図示（図面番号：　　）

帯筋組立の形
・　図示（図面番号：　　）

⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
(8.3.5)

軽量コンクリートで土に接する部分
・　無し
・　有り　適用箇所（　　）
最小かぶり厚さ（　　）mm

耐久性上不利な部分（塩害を受けるおそれのある部分等）
・　無し
・　有り　適用箇所（　　）
最小かぶり厚さ（　　）mm

⑥ 各部配筋

(・)図示（図面番号：S-13　）

７ ガス圧接
(8.3.8)

圧接完了後の試験
超音波探傷試験　・　行う　・　行わない

（現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等）
８ 割裂補強筋
(8.19.6)
(8.20.7)

割裂補強筋の適用

種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所
・スパイラル筋	・鉄筋コンクリート用棒鋼	・　R235 ・（　　）	・　6Φ ・　9Φ	スパイラルの径(mm) （　　） スパイラルのピッチ(mm) （　　）	・図示 （図面番号：　　）
	・（　　）	・（　　）	・（　　）		
・はしご筋	・鉄筋コンクリート用棒鋼(異形鉄筋) ・（　　）	・295A ・（　　）	・　10 ・（　　）	壁内方向筋 （　　） 壁面外方向筋 （　　）	

９　鉄筋の機械式継手及び溶接継手
(8.4.2)
(8.4.3)

・　機械式継手
種類　（　　）
工法　（　　）　　品質の確認方法　（　　）
修正方法　（　　）　　鉄筋相互のあき　（　　）mm

・　溶接継手
工法　（　　）　　品質の確認方法　（　　）
修正方法　（　　）　　鉄筋相互のあき　（　　）mm

⑧の４　耐震改修工事　コンクリート工事

（コンクリート工事一般事項）
① コンクリートの種類及び強度
(8.1.3)
(8.1.4)

コンクリートの種別
・　Ｉ種　・　Ⅱ種

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度Fc [N/mm2]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ
(・)21		・2.3t/m3程度	
・（　　）			

(8.9.1)
(8.9.2)
(表8.9.1)

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度Fc [N/mm2]	種別	適用範囲	気乾単位容積質量	所要気乾単位容積質量	スランプ
(・)18	(・)１種 ・　２種	特別教室棟Ｂ　床	18		S18
・（　　）					

常時土あるいは水に直接接する部分に
・　用いる　・　用いない

② 構造体コンクリートの仕上り
(8.1.4)
(8.2.6)

合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種別
・　Ａ種　(・)Ｂ種　・　Ｃ種

（コンクリート）
③ コンクリートの材料
(8.2.5)
(表8.2.3)

セメントの種類
(・)普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種
・（　　）
・　高炉セメントＢ種又はフライアッシュセメントＢ種
適用箇所　（　　）

骨材
アルカリシリカ反応性による区分
・　ＡＬ（コンクリート中のアルカリ総量を規制）
(・)Ａ（安全と認められる骨材を使用）
なお、ＡＬで規制できない場合は、Ａとし、その試験は、施工着手前、工事中１回／６ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。
・　特殊な骨材の使用
・　フェロニッケルスラグ細骨材
・　銅スラグ細骨材
・　電気炉酸化スラグ骨材
・　再生骨材Ｈ

④ 混和材料
(8.2.5)

(・)混和剤
混和剤の種類
(・)改修標準仕様書(8.2.5)(d)(1)による
・　図示（図面番号：　　）

・　混和材
混和材の種類
・　改修標準仕様書(8.2.5)(d)(2)による
・　図示（図面番号：　　）

⑤ 調合管理強度
(8.2.5)
(8.8.3)
(8.10.2)

構造体強度補正値（S）
(・)３N/mm2　・　６N/mm2　・（　　）

⑥ 型枠
(8.2.7)
(8.7.8)

材料
(・)複合合板（厚さ (・)12mm　・（　　））
打増し厚さ
・　図示（図面番号：　　）
スリーブ
・　改修標準仕様書(8.2.7)(f)(2)(ⅰ)による
・　改修標準仕様書(8.2.7)(f)(2)(ⅱ)による
・　材種（　　）　規格（　　）

⑦ 暑中コンクリート
(8.10.2)
(8.10.3)
(8.10.4)

混和材料
(・)改修標準仕様書(8.10.2)(d)による
・　図示（図面番号：　　）
適用箇所（　　）

型枠の存置期間
・　図示（図面番号：　　）

（現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法）
⑧ コンクリートの打込み工法等
(8.19.8)
(8.21.5)

部位別のコンクリートの打設工法の指定

補強工法	打設工法	部位
現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	(・)流込み工法 改修標準仕様書(8.19.8)(a)(1)及び(b)	(・)全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・圧入工法 改修標準仕様書(8.19.8)(a)(2)及び(c)	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・（　　）	・図示（図面番号：　　） ・（　　）
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・流込み工法 改修標準仕様書(8.19.8)(a)(1)及び(b)	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・圧入工法 改修標準仕様書(8.19.8)(a)(2)及び(c)	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・（　　）	・図示（図面番号：　　） ・（　　）

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社　前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号　A-05（原図:A2）
				図面名称	改修特記仕様書No.5	縮尺　NS

(8.21.5)

柱頭柱脚の隙間部間の型枠
・ 発泡プラスチック保温材等を埋込む
・（　　）

柱頭柱脚の隙間寸法
・ 図示（図面番号：　　）

打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ
・ 図示（図面番号：　　）　・ 60mm　・（　　）

⑨ 増設壁工事後の仕上げ
(8.19.10)

(・) 図示（図面番号： A-38 ）

⑧の５ 耐震改修工事 あと施工アンカー工事

(あと施工アンカー)

① あと施工アンカーの材料
(8.2.4)
(表8.2.2)

種類
・ 金属系　セットの方式　・ 本体打込み式（ ・ 改良型　・ 従来型）
径及び埋込み深さ　・ 図示（図面番号：　　）
引張耐力　・ 図示（図面番号：　　）
せん断耐力　・ 図示（図面番号：　　）
接合筋の種類・径・長さ　・ 図示（図面番号：　　）

(・) 接着系　カプセル型回転　・ 打撃式　・ 有機系　(・) 無機系
径及び埋込み深さ　・ 図示（図面番号：　　）
引張耐力　・ 図示（図面番号：　　）
せん断耐力　・ 図示（図面番号：　　）
アンカー筋の種類　(・) 図示（図面番号：　　）
アンカー筋の新設壁内への定着長さ
・ 図示（図面番号：　　）
あと施工アンカーの性能確認試験
・ 行う　(・) 行わない

② あと施工アンカーの施工
(8.11.2)
(8.11.4)
(8.11.5)

穿孔
埋込み配管等の探査の範囲及び方法
範囲　・ 図示（図面番号：　　）　(・) あと施工アンカー施工部分全て　・（　　）
方法　(・) 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
・ はつり出しによる。
・（　　）
あと施工アンカーの施工確認試験　・ 実施する　(・) 実施しない
確認試験方法
・ 改修標準仕様書(8.11.5)による　・（　　）

(8.11.2)

確認強度
・（　　）

(場所打ちコンクリート壁の増設工事)
３　シアコネクタ

場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ
種類　・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー
・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー
径[mm]　・ Ｄ１０
長さ[mm]　・ 増打壁厚－４０　・（　　）
彫込み深さ[mm]　・ ５ｄ(d: シアコネクタの径)以上　・（　　）
間隔[mm]　・ ５００×５００

シアコネクタとセパレーターの兼用　・ 兼用してもよい　・ 兼用しない　・（　　）

⑨ 環境配慮改修工事

１アスベスト含有材の処理工事
(9.1.1)

施工調査
・ アスベスト含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。

調査範囲　・ 図示（図面番号：　　）　・（　　）
貸与資料　（　　）

・ 分析によるアスベスト含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法
・ JIS A 1481-1（建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第１部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法）による
・ JIS A 1481-2（建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第２部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法）による
・ JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第３部:アスベスト含有率のＸ線回析定量分析方法)による

材料名	定性分析	定量分析
	・ 箇所数（　　）	・ 箇所数（　　）
	・ 箇所数（　　）	・ 箇所数（　　）
	・ 箇所数（　　）	・ 箇所数（　　）
	・ 箇所数（　　）	・ 箇所数（　　）

サンプル数　１箇所あたり３サンプル
採取箇所　・ 図示（図面番号：　　）　・（　　）

・ アスベスト粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
・	測定１	処理作業前	処理作業室内	計　点
・	測定２	処理作業中	調査対象室外部の付近	計　点
・	測定３		処理作業室内	計　点
・	測定４		負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計　点
・	測定５		処理作業室外（敷地境界）	計　点
・	測定６	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	計　点
・	測定７	処理作業後シート撤去後１週間以降	処理作業室内	計　点
・	測定８		調査対象室外部の付近	計　点

測定方法

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・1　・（　　）	・5　・（　　）	・10　・（　　）
試料の吸引時間(min)	・5　・（　　）	・120　・（　　）	・240　・（　　）

(9.1.3)

アスベスト含有建材の処理
・ アスベスト含有吹付け材の除去
除去対象範囲　・ 図示（図面番号：　　）　・（　　）
除去工法　・ 改修標準仕様書9.1.3(b)(1)による
除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止
・ 密封処理　・ 湿潤化　・ セメント固化
除去したアスベスト含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場）　・ 中間処理（溶融施設）

(9.1.4)

・ アスベスト含有保温材の除去
除去対象範囲　・ 図示（図面番号：　　）　・（　　）
除去したアスベスト含有保温材の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場）　・ 中間処理（溶融施設）

(9.1.5)

(・) アスベスト含有成形板の除去
除去対象範囲　・ 図示（図面番号：　　）　(・)(天井：石綿ケイカル板)

(・) アスベスト含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板
(・) 埋立処分（管理型最終処分場）　(・) 中間処理（溶融施設）

特記事項	

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-06 (原図:A2)
		図面名称	改修特記仕様書No.6	縮尺	NS

2 仮設工事

1.監督員事務所 (2.3.1)

・設置する。

監督員事務所の規模（単位：㎡）

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

2.監督員事務所の備品 (2.3.1)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数量	個	個	台	台	台

監督員職員事務所の仕上げ

部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り

3.仮設便所　構内既存の施設　・利用できる　・利用できない

4. 工事用水　構内既存の施設
・利用できる（・有償　・無償）　・利用できない

5.工事用電力　構内既存の施設
・利用できる（・有償　・無償）　・利用できない
本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。

6.足場　設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

7. 交通誘導警備員　配置　・図示(図面番号：仮設図)

③ 土工事

①埋戻し及び盛土 (3.2.3) (表3.2.1)　種別　・A種　⊙B種　・C種　・D種

②建設発生土の処理 (3.2.5)
⊙自由処分
・処分地指定　処分地（　　）
・処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km

3.山留めの撤去 (3.3.3)　・撤去　・存置

④ 地業工事

1.杭の施工管理　杭工事特記仕様書による。

2.適用基準　本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
国土交通省告示第468号　「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」（平成28年3月4日）

3.施工記録　受注者は、杭の施工期間中は、１週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。
なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

4.根拠資料　共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第３１条第４項又は第５項（第３８条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から１０年とする。
また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

5.試験杭及び試験掘 (4.2.2)
・試験杭　位置、本数及び寸法　図示（図面番号：S13）
・試験掘　位置、本数及び寸法　図示（図面番号：S13）

6.杭の支持地盤　支持地盤の位置、種類　・図示（図面番号：S-12）　・（　　）

7.水平方向の位置ずれ　（　）mm以下

8.杭の載荷試験 (4.2.3)
試験方法　・鉛直載荷　・水平載荷　・（　　）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置　・図示（図面番号：　）　載荷荷重（　　kN）
報告書　・提出部数　2部

9.地盤の載荷試験 (4.2.4)
試験方法　・平板載荷　・（　　）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置　・図示（図面番号：　）　載荷荷重（　　kN）
報告書　・提出部数　2部

10.既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭 (4.3.2) (4.3.3) (4.3.4) (4.3.5) (4.3.7)
・PHC杭
　・A種　・B種　・C種　・D種　・E種　・F種
・SC杭
・PRC杭
・上記以外の建築基準法に基づく杭
(参考表)

種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考

先端形状　・開放型　・閉そく型
施工方法
・打込み工法　設計支持力（　　）
　打込み杭の推定支持力の算定方法（　　）
・打撃工法
・プレボーリング打撃併用工法
（掘削深さ　設計GL　m　掘削径　mm）
・セメントミルク工法
・オーガーの支持地盤への掘削深さ
　・（　）m　・図示（図面番号：　）
・杭の支持地盤への根入れ深さ
　・（　）m　・図示（図面番号：　）
・特定埋込杭工法（建築基準法に基づく埋込杭工法とする。）
継手　・アーク溶接　・無溶接継手（工法：　）
杭頭の処理　・行う　・行わない

11.鋼杭地業 (4.4.2) (表4.4.2) (4.4.4) (4.4.3) (4.3.5) (4.3.6) (4.3.7)
・鋼管杭　・SKK400　・SKK490
・H形鋼杭　・SHK400　・SHK490M
　径　・300　・350　・400　・450　・（　　）
　長さ（　）m
先端形状　・開放形　・（　　）
補強方法　・補強バンド　・（　　）
継手　・JISA5525(鋼管ぐい)
施工方法
・打込み工法　設計支持力（　　）
　打込み杭の推定支持力の算定方法（　　）
・打撃工法
・プレボーリング打撃併用工法
（掘削深さ　設計GL　m　掘削径　mm）
・特定埋込杭工法（建築基準法に基づく埋込杭工法とする。）
杭頭の処理　・行う　・行わない

12.場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.3) (4.5.4) (4.5.5)
施工方法
・アースドリル工法
・リバース工法
・オールケーシング工法
・鋼管コンクリート杭工法
拡底　・行わない　・行う（　　）
孔壁の超音波測定　・行う　・行わない

帯筋　・図示（図面番号：　）
鉄筋かごの補強
・標準仕様書[4.5.3](a)(iii)による　・図示（図面番号：　）

(表4.5.1) コンクリートの種別　・A種　・B種
設計基準強度（　）N/mm²
セメントの種類　・高炉セメントB種　・（　　）
最小かぶり厚さ（　）mm
構造体強度補正値（S）・３N/mm²　・（　　）

13.地盤改良　・（地盤柱状改良）工法
・六価クロム溶出試験
・室内配合試験
・一軸圧縮試験

⑭砂及び砂利地業 (4.6.3)
厚さ(mm)　⊙60　⊙100　・150
・仕上がりレベルを計測し、記録すること。

⑮捨コンクリート地業 (4.6.4)
厚さ(mm)　⊙50　・（　　）
・仕上がりレベルを計測し、記録すること。

⑯床下防湿層 (4.6.5)
施工範囲　⊙図示（図面番号：A-44）
ポリエチレンフィルム厚さ　⊙0.15mm以上　・（　　）
⊙防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。

⑤ 鉄筋工事

①鉄筋の種類 (5.2.1)

種類の記号	径	備考
⊙SD295A	⊙D16以下	
・SD295B	・（　）	
⊙SD345	⊙D19以上	

・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの

②溶接金網 (5.2.2)
網目の形状、寸法
鉄線の径（mm）・4　・5　⊙6　・（　）
寸法(mm)　・100×100　⊙150×150　・（　　）

3.内法直径 (5.3.2)
90°未満の折曲げの内法直径　・図示（図面番号：　）

④継手 (5.3.4)

	径	部位
⊙重ね継手	D16以下	
⊙ガス圧接	D19以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
⊙標準仕様書[5.3.4](c)(1)
・図示（図面番号：　）
継手位置
⊙各部配筋参考図による
・図示（図面番号：　）
鉄筋定着
⊙標準仕様書[表5.3.4]　・図示（図面番号：　）

⑤鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)
軽量コンクリートで土に接する部分
⊙無し　・有り(適用箇所：　)
最小かぶり厚さ（　）mm
耐久性上不利な部分(塩害を受けるおそれのある部分等)
⊙無し　・有り(適用箇所：　)
最小かぶり厚さ（　）mm

⑥各部配筋 (5.3.7)　⊙図示(図面番号：S-12)

7.圧接完了後の試験 (5.4.9)　抜取試験方法　・超音波探傷試験　・引張試験

8.機械式継手及び溶接継手 (5.5.2)
・機械式継手　種類（　）　工法（　）
品質の確認方法（　）
不良部分の修正方法（　）
鉄筋相互のあき（　）mm
・溶接継手　工法（　）
品質の確認方法（　）
不良部分の修正方法（　）
鉄筋相互のあき（　）mm

⑥ コンクリート工事

①ｺﾝｸﾘｰﾄの使用骨材による種類及び強度 (6.2.1) (6.2.2) (6.2.4) (6.11.1) (6.11.3) (6.10.1)

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	施工時期	スランプ
・21(N/mm²)			・18(cm)
⊙24(N/mm²)	基礎、スラブ		⊙15(cm)
⊙18(N/mm²)	捨コン、土間		⊙18(cm)

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランプ
・		種類	・19t/m³	・18(cm)
・				
・				

・常時土又は水に直接接する部分　図示（図面番号：　）

②ｺﾝｸﾘｰﾄの類別 (6.2.1) (表6.2.1)
類別　⊙Ⅰ類　・Ⅱ類
・大臣認定品　図示（図面番号：　）

③コンクリートの仕上り (6.2.5)
合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種別
・A種　⊙B種　・C種

④セメント (6.3.1) (表6.3.1)
種類　⊙普通ポルトランドセメント、混合セメントA種
・（　）
高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種
・適用箇所　図示（図面番号：　）

⑤骨材 (6.3.1)
アルカリシリカ反応性による区分
⊙AL（コンクリート中のアルカリ総量を規制）
・A(安全と認められる骨材を使用)
なお、ALで規制できない場合はAとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が、生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。
・特殊な骨材の使用
　・フェロニッケルスラグ細骨材
　・銅スラグ細骨材
　・電気炉酸化スラグ骨材
　・再生骨材H

⑥混和材料 (6.3.1) (6.3.2)
混和材料　・図示（図面番号：構造図）
混和剤の種類、使用方法、使用量
⊙標準仕様書［6.3.1］(d)(i)、標準仕様書［6.3.2］(2)(vi)
・（　）
混和材の種類、使用方法、使用量
⊙標準仕様書［6.3.1］(d)(i)、標準仕様書［6.3.2］(2)(vi)
・（　）

⑦型枠 (6.8.2) (6.8.3) (表6.8.1)
材料　⊙複合合板　(厚さ(mm)　⊙12　・（　））
打増し厚さ　⊙図示(図面番号：構造図)
誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法
・図示(図面番号：構造図)
・断熱材の兼用
・ＭＣＲ工法用シート
スリーブの材種、規格等
・標準仕様書[表6.8.1]　・図示（図面番号：　）

⑧コンクリート強度試験 (6.9.3)
圧縮強度試験の供試体の材齢
⊙材齢28日　⊙型枠脱型用
・材齢28日を超え91日以内

9.寒中コンクリート (6.11.2)
適用期間（　）
・調合管理強度、調合強度を積算温度を基に定める

⑩暑中コンクリート (6.12.2)
構造体強度補正値(S)
⊙6　N/mm²　・（　）

11.マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2)
適用箇所　・図示（図面番号：　）
セメントの種類　・中庸熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・普通ポルトランドセメント

特記事項							
	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-07 (原図:A2)
				図面名称	新営特記仕様書No.1	縮尺	NS

スランプ　・15cm　・(　　)
混和剤　・標準仕様書[6.13.2](b)(1)
・(　　)

12.無筋コンクリート (6.14.1)
適用箇所　標準仕様書[6.14.1]
・上記以外の適用箇所(　　)
設計基準強度　・18(N/mm²)　・(　　)(N/mm²)
スランプ　・15cm　・18cm

13.流動化コンクリート (6.15.1)
適用箇所
・図示(図面番号:　　)

⑦ 鉄骨工事

①施工管理技術者 (7.1.4)
⊙ 適用する

②製作工場 (7.1.3)
(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・J　⊙R　・M　・H　・S

③鋼材 (7.2.1)
材質、形状及び寸法　⊙ 図示(図面番号: S-15)

④高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) (7.4.7)
種類
⊙ トルシア形高力ボルト2種(S10T)
・ JIS形高力ボルト2種(F10T)
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当)
高力ボルトの径
⊙ 図示(図面番号: S-13)
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
⊙ 図示(図面番号: S-08)
すべり係数試験
⊙ 行わない　・行う　試験方法等　・(　　)
JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合
・回転量(　　)°

5.普通ボルト (7.2.3) (7.3.2) (7.4.2)
ボルト及びナットの材料等、ボルトの径
・図示(図面番号:　)
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示(図面番号:　)

6.溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.3.2) (7.4.2) (7.12.4)
摩擦面の処理
・ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
・りん酸塩処理
すべり耐力等の確認方法
・すべり耐力試験　試験方法等　・(　　)
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示(図面番号:　)

⑦ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ (7.2.4) (7.3.2) (7.10.3) (表7.10.1) (表7.2.3)
適用箇所及び種類
構造用　⊙図示(図面番号: S-12)・SNR400B　・(　)
建方用　・図示(図面番号:　)・SS400　・(　)
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み
・A種　・B種　・C種
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
⊙ 標準仕様書[表7.2.3]
・図示(図面番号:　)
構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法
⊙ 図示(図面番号: S-12)
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
⊙ 図示(図面番号: S-11)

⑧溶接材料 (7.2.5)
材料
⊙ 標準仕様書[7.2.5](a)(b)以外の溶接材料
(　　)

⑨ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ (7.2.6)
種類及びねじの呼び等
⊙ 図示(図面番号: S-13)
建築用ターンバックル胴　⊙割枠式　・(　　)
建築用ターンバックルボルト　⊙羽子板ボルト　・(　　)

⑩ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ (7.2.7)(7.7.8)
材質、形状及び寸法　⊙ 図示(図面番号: S-13)
溶接方法　⊙ 図示(図面番号: S-10)

⑪柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)
柱底均しモルタルの工法、厚み
⊙ A種 (30)mm　・B種 (　)mm
無収縮モルタルの材料及び調合
⊙ 標準仕様書[7.2.9](b)　・(　　)

12.材料試験等 (7.2.10)
板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験
・ JIS G 0901により行う

⑬仮組 (7.3.10)
⊙ 行わない　・行う
仮組を行う範囲
・図示(図面番号:　)

⑭溶接作業における技能資格者 (7.6.3)
溶接作業の技量付加試験
⊙ 行わない　・行う

⑮溶接部の開先 (7.6.4)
開先の形状
⊙ 図示(図面番号: S-09)

⑯溶接施工 (7.6.7)
エンドタブの切除
・適用箇所　図示(図面番号:　)
板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部
・低応力高サイクル疲労を受ける部位　図示(図面番号:　)
スカラップの形状　⊙ 図示(図面番号: S-08)

⑰溶接部の試験 (7.6.11)
試験の種別
・超音波探傷試験　・(　　)

溶接区分	AOQL(%)	検査水準	備考
現場溶接	・2.5 ・4.0		・計数連続生産型抜取検査
工場溶接	・2.5 ⊙4.0	⊙6	

⑱錆止め塗装 (7.8.3)
鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造の鋼製ｽﾘｰﾌﾟの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)
⊙ 標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1]　(　　)種
耐火被覆材の接着する面への塗装
⊙ 行わない　・行う
適用箇所　図示(図面番号:　)
種類
・標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1]　(　)種
・標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.2]　(　)種

⑲耐火被覆 (7.9.2)

部位	種別	仕様
柱・梁	耐火材吹付	ﾛｯｸｳｰﾙ吹付ﾀ25

20.軽量形鋼構造 (7.11.2)
接合部(ボルト接合の場合)
・普通ボルト接合　・(　　)

⑧ ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板

1.補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.4) (8.2.5) (8.3.3)
種類　・空洞ブロック16
・図示(図面番号:　)
圧縮強さ、正味厚さ、モデュール呼び寸法
・図示(図面番号:　)
各部の配筋　・図示(図面番号:　)
コンクリートの調合　・標準仕様書[表8.2.2]以外のとき
・21N/mm²　・(　　)

2.コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2) (8.3.3)
ブロックの種類　・標準仕様書[表8.3.1]
・図示(図面番号:　)
圧縮強さ、正味厚さ、モデュール呼び寸法、ブロックの厚さ
・図示(図面番号:　)
各部の配筋　・図示(図面番号:　)
化粧　・有り　・無し

3.ALCパネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)

種類	単位荷重(N/mm²)	呼び寸法 厚さ(mm)	呼び寸法 幅(mm)	構法	耐火性能
・外壁パネル	・(　)	・100 ・(　)	・(　)	・A種　・B種	・(　)時間 ・無し
・間仕切壁パネル	・(　)	・100 ・(　)	・(　)	・C種　・D種 ・E種	・(　)時間 ・無し
・屋根パネル	・(　)	・100 ・(　)	・(　)	・F種	・(　)時間 ・無し
・床パネル	・(　)	・100 ・120 ・150	・(　)	・F種	・(　)時間 ・無し

パネル幅を300mm以下とする部分　・適用あり
外壁、屋根及び床パネル構法
風圧力に対応した工法　・適用あり
出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅(mm)　・(　　)
伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する(材料:　)

④押出成形セメント板 (8.5.2) (8.5.3) (8.5.4) (表8.5.1) (8.5.5) (表8.5.2)

種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法
⊙外壁パネル	⊙ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	⊙(60)	⊙(600)	⊙ A種 ・ B種
・間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	・(　)	・(　)	・ B種 ・ C種

パネル相互の目地幅(mm)
・長辺 8以上、短辺 15以上　・(　　)
出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅(mm)　・15　・(　)
目地及び隙間の処理　・(　　)
外壁パネル構法
風圧力に対応した工法　・適用あり
間仕切壁パネル構法
パネルに欠き込みを行う場合
・パネル開口の限度　・図示(図面番号:　)

⑨ 防水工事

1.アスファルト防水 (表9.2.3)～(表9.2.8) (9.2.2) (9.2.3)

種別	施工箇所
A-2	バルコニー(平場、立上り)

改質アスファルトシート
種類　・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]　・図示(　　)
厚さ　・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]　・図示(　　)
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類　・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]　・図示(　　)
厚さ　・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]　・図示(　　)
絶縁用シート
・ポリエチレンフィルム(厚さ 0.15mm以上)
・フラットヤーンクロス(70g/m²)
押え金物
・アルミ製　L30×15×2.0　・図示(A-44)
断熱材
・屋根保護防水断熱工法
種類(　　)　厚さ(　　)mm
・屋根露出防水断熱工法
種類(　　)　厚さ(　　)mm

(表9.2.3)～(表9.2.6) 屋根保護防水
立ち上がり部の保護コンクリート　・図示(図面番号:A-17,20)
乾式保護材　・使用する
立上り部保護れんが　・JIS R 1250　・(　　)
(表9.2.7) 脱気装置
・設置数量　図示(図面番号:　)　種類(　　)
(表9.2.7) 屋根露出防水における仕上塗料
(表9.2.8)・図示(図面番号:　)　種類(　　)　使用量(　　)
(表9.2.9) 屋内防水密着工法における保護層
・図示(図面番号:　)
(9.2.4) 防水層の下地モルタル塗り
・図示(図面番号:　)
立上がりのコンクリート打放し仕上げの種別
種類　・B種　・(　　)

(9.2.4) 屋根露出防水絶縁断熱工法
ルーフドレン回り及び立ち上がり部周辺断熱材の張りじまい位置
・図示(図面番号:　)
(9.2.5) 保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　・水下 80mm以上　・(　　)
床タイル張り　・水下 60mm以上　・(　　)
屋上排水溝
・図示(図面番号:A-20)

2.改質アスファルトシート防水 (9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1)～(表9.3.3)

種別	施工箇所

改質アスファルトシート
種類　・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]　・図示(　　)
厚さ　・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]　・図示(　　)
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類　・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]　・図示(　　)
厚さ　・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]　・図示(　　)
(9.3.3) 仕上塗料
・図示(図面番号:　)　種類(　　)　使用量(　　)
脱気装置
・設置数量　図示(図面番号:　)　種類(　　)
断熱材
・屋根露出防水絶縁断熱工法
種類(　　)　厚さ(　　)mm

③合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2) (9.4.3) (表9.4.1) (表9.4.2) (表9.4.3) (9.4.2)

種別	施工箇所
S-F2	ELV屋上

ルーフィングシート
種類　⊙標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]　・図示(意匠図)
厚さ　⊙標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]　・図示(意匠図)
絶縁用シート
・発砲ポリエチレンシート　・(　　)
固定金具　材質、寸法形状(　　)
・図示(図面番号:　)
断熱材　材質、厚さ(　　)
・図示(図面番号:　)
(9.4.3) 仕上塗料
・図示(図面番号:　)　種類(　　)　使用量(　　)
S-M2又はSI-M2で立上りを接着工法
立ち上がり面のシート厚さ　・15mm　・(　　)mm
屋内保護密着工法
モルタル塗り厚さ　・(　　)mm
(9.4.4) 床塗りの工法　・標準仕様書[15.2.5](b)(2)(3)　・(　　)
保護コンクリートの厚さ　・(　　)mm
立上り部の保護モルタル塗厚さ　・7mm以下　・(　　)mm
(9.4.4) 目地処理(S-F1、S-F2、SI-F1、SI-F2、S-C1)
PC下地、ALC下地でS-C1の場合　・図示(図面番号:　)
増張り(S-F1、SI-F1、S-C1)
PC入隅部、ALC下地でS-C1の場合　・図示(図面番号:　)
機械的固定工法
風圧力に対応した工法　・図示(図面番号:　)

4.塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)

施工箇所	種別
	X-1
	X-2
	Y-1
	Y-2

脱気装置(X-1)
・設置数量　図示(図面番号:　)　種類(　　)
保護層(Y-2)　・図示(図面番号:　)
仕上塗料
・図示(図面番号:　)　種類(　　)　使用量(　　)

⑤ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1) (9.6.3) (9.6.4)
適用部位　⊙ 図示(図面番号: A-44)
防水層の種別及び工程　⊙C-UI　・C-UP
下地処理((b)(1)から(3)以外の場合)　・図示(図面番号:　)

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造(第二期)工事	図面番号	A-08 (原図:A2)
				図面名称	新営特記仕様書No.2	縮尺	NS

⑥シーリング
(9.7.2)
(9.7.3)
(表9.7.1)

・ 標準仕様書[表9.7.1]による

施　工　箇　所	目地寸法	種　類
水切	15×10	MS-2
押出成形ｾﾒﾝﾄ板目地	15×10	PU-2

(9.7.5) 接着性試験
⊙ 簡易接着性試験　　・ 引張接着性試験

10 石工事

1.天然石
(10.2.1)
(表10.2.1)
(表10.2.2)

使用部位	種類（名称）	品質	寸法・厚さ（mm）	表面仕上げ	工法	形状
床		・ 2等		・ 粗磨き ・（　）		
壁		・ 1等		・ 水磨き ・（　）		

(10.1.3) 割付　・標準仕様書[10.1.3](a)　・図示(図面番号：　　)
(10.1.5) 粗面仕上げの場合ののみ込み部分の仕上げ　・（　　）
(表10.2.1) 清掃における床面ワックス　・使用する
(10.3.2) ジェットバーナー仕上面　・手加工あり　・機械加工バフ仕上あり
石裏面処理
・適用する
石裏面処理
・適用する

2.テラゾ
(10.2.1)
(表10.2.2)

テラゾタイル

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上
	・ 大理石	・ 1.5～12mm	・ 300型 ・ 400型	・（　）

テラゾブロック

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	形状	仕上げ面	寸法（mm）	表面仕上
	・大理石	・1.5～12mm	・平もの ・役もの	・ 片面 ・ 両面	・（　）	・（　）

(10.1.3) 割付　・標準仕様書[10.1.3](a)　・図示(図面番号：　　)
(10.1.5) 清掃における床面ワックス　・使用する

3.その他の材料
(10.3.2)

取付用モルタル　・ 図示(図面番号：　　)
目地用モルタル　・ 図示(図面番号：　　)
石裏面処理材　・ 図示(図面番号：　　)
裏打ち処理材　・ 図示(図面番号：　　)
ドレンパイプ　・ 図示(図面番号：　　)
充填材料　・ 図示(図面番号：　　)

4.外壁湿式工法
(10.2.2)
(10.2.3)
(10.3.2)
(10.3.3)

受け金物の材質、形状、寸法
・ 図示（図面番号：　　）
ドレンパイプの材質
・ 樹脂ネット製パイプ　クロスメッシュ巻き 25～35φ
・（　　）
下地ごしらえ
・ 流し筋工法　・ あと施工アンカー工法
・ あと施工アンカー横筋流し工法
アンカーの材質及び径　・ SS400 M12　・（　　）
あと施工アンカーの材質及び形状　・（　　）
目地　一般目地
目地幅(mm)　・ 6以上　・（　　）
シーリング材　・ 適用する
伸縮調整目地
位置　・ 標準仕様書[表11.1.1]　・ 図示（図面番号：　　）
シーリング材の目地寸法
・幅、深さとも10mm以上　・ 図示（図面番号：　　）

5.内壁空積工法
(10.2.2)
(10.3.3)
(10.4.2)

受け金物の材質、形状、寸法
・ 図示（図面番号：　　）
下地ごしらえ
・ あと施工アンカー横筋流し工法　・ あと施工アンカー工法
あと施工アンカーの材質及び形状　・（　　）
目地　一般目地
目地幅(mm)　・ 6以上　・（　　）
シーリング材　・ 適用する
伸縮調整目地
位置　・ 6mごと　・ 図示(図面番号：　　)
シーリング材の目地寸法
・幅、深さとも10mm以上　・図示（図面番号：　　）

6.乾式工法
(10.2.2)
(10.5.2)
(10.5.3)

取り付け工法
・ スライド方式　・ ロッキング方式
たぼ用穴の位置　・図示（図面番号：　　）
風圧力に対応した工法　・図示（図面番号：　　）
あと施工アンカーの材質及び形状　・（　　）
目地
目地幅(mm)　・ 8以上　・（　　）
シーリング材　・ 適用する

7.床及び階段の石張り
(10.3.3)
(10.6.2)
(10.6.3)

目地　一般目地
目地幅(mm)　・ 屋内4mm以上、屋外3～6mm
・ 図示(図面番号：　　)
シーリング材　・ 適用する
伸縮調整目地
位置　・ 標準仕様書[10.6.2](e)(2)(ｉ)
・ 図示（図面番号：　　）
シーリング材の目地寸法
・幅、深さとも10mm以上　・図示（図面番号：　　）

8.アーチ、上げ裏等の石張り
(10.2.2)
(10.3.3)
(10.7.1)
(10.7.2)

取付工法　・ 外壁湿式工法　・ 内壁空積工法　・ 乾式工法
取付け金物　・ 標準仕様書[10.2.2](c)　・（　　）
吊金物及び化粧吊りボルト
・ 設ける
吊金物　・ ステンレス(SUS304)　径6mm長さ80mm(加工物)
吊りボルト　・ ステンレス(SUS304)　M10　化粧ナット付き
及び他の部材と取り合う箇所
アンカーの材質及び径　・（　　）
あと施工アンカーの材質及び形状　・（　　）
目地　一般目地
目地幅(mm)　・ 6以上　・（　　）
伸縮調整目地
位置　・ 図示(図面番号：　　)
シーリング材の目地寸法
・幅、深さとも10mm以上　・図示（図面番号：　　）

9.笠木、甲板等
(10.2.2)
(10.3.3)
(10.5.3)
(10.7.1)
(10.7.3)

取付工法　・ 外壁湿式工法　・ 内壁空積工法　・ 乾式工法
取付け金物　・ 標準仕様書[10.2.2](c)　・（　　）
取付け代(乾式工法の場合)(mm)
・ 標準仕様書[10.5.3](b)　・（　　）
アンカーの材質及び径　・（　　）
あと施工アンカーの材質及び形状　・（　　）
石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合)
・ 適用する　図示(図面番号：　　)
目地　一般目地
目地幅(mm)　・（　　）
シーリング材　・ 適用する
伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合)
位置　・ 図示(図面番号：　　)
シーリング材の目地寸法
・幅、深さとも10mm以上　・ 図示（図面番号：　　）

10.隔て板
(10.7.4)

石材の厚さ　・（　　）

11 タイル工事

1.伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
(11.1.3)

位置　・ 標準仕様書[表11.1.1]
・ 図示(図面番号：　　)

2.陶磁器質タイル張り
(表11.2.3)
(11.2.2)
(11.3.2)
(11.3.4)
(表11.3.2)

タイルの種類

施工箇所	形状寸法	工法	耐滑り性	区分（きじ） Ⅰ類（磁器）	Ⅱ類（せっ器）	Ⅲ類（陶器）	うわぐすり	役物	標準・特注色	耐凍害性

・ 役物　（　　）
・ タイルの試験張りを行う
・ 見本焼きを行う
(11.2.7) セメントモルタル塗り又は接着剤あと張り工事
(11.3.7) コンクリート素地面の処理
・ 適用箇所　図示(図面番号：　　)
・ 目荒し工法　・ ＭＣＲ工法
接着剤あと張り工事
シーリング材
打継、ひび割れ誘発目地　・PU－2　・（　　）
伸縮、その他目地　・MS-2　・（　　）

3.陶磁器質タイル型枠先付
(表11.4.1)
(11.4.2)
(11.4.3)

種別
・ タイルシート法　・ 目地桝法　・ 桟木法
タイル型枠先付け面のせき板の種別　・（　　）

12 木工事

1.木材
(12.1.4)
(表12.1.1)
(12.2.1)
(12.4.1)
(12.5.1)
(12.6.1)
(12.7.1)
(表12.2.1)

見え掛り部の表面仕上げ
・ A種　・ B種　・ C種
適用箇所　（　　）
木材の含水率

部材名称	種別
下地材	・ A種　・ B種
造作材	・ A種　・ B種

樹種　・ 図示（図面番号：　　）

2.製材
(12.2.1)(b)(1)

製材
「製材の日本農林規格」による製材

	樹種・寸法・形状	等級	含水率
下地用針葉樹製材	・図示（図面番号：　）	・（　　）	
造作用針葉樹製材	・図示（図面番号：　）	・（　　）	
広葉樹製材	・図示（図面番号：　）	・（　　）	・10%以下

(12.2.1)(b)(2)
(表12.2.2)
(表12.2.3)

「製材の日本農林規格」以外の製材
樹種、寸法、防虫処理、難燃処理及び含水率
・ 図示（図面番号：　　）
造作材の材面の品質　・ A種　・（　　）

樹種

部位	樹　種	県産材

代用樹種の使用　・禁止する

3.集成材等
(12.2.1)

造作用集成材
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

	樹種・寸法・形状	等級	化粧薄板厚さ
造作用集成材	・図示（図面番号：　）	・（　　）	
化粧ばり造作用集成材	・図示（図面番号：　）	・（　　）	
化粧ばり構造用集成材	・図示（図面番号：　）		

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
樹種、寸法、化粧薄板の厚さ及び含水率
・ 図示（図面番号：　　）
造作材の材面の品質　・ A種　・（　　）

4.単板積層材
(12.2.1)

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材
厚さ、表面の品質及び防虫加工
・ 図示（図面番号：　　）
「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
厚さ、表面の品質、含水率及び防虫加工
・ 図示（図面番号：　　）

5.床張り用合板及びその他の合板
(12.2.1)

部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ

構造用合板の強度等級
・ 図示（図面番号：　　）
パーティクルボード
表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性による区分、厚さ等
・ 図示（図面番号：　　）

6.防腐・防蟻処理
(12.3.1)
(12.3.2)

薬剤加圧注入
適用部位、保存処理性能区分　・ 図示（図面番号：　　）
薬剤の塗布等
処理方法　・ 標準仕様書[12.3.1](3)(ⅱ)　・（　　）
ボード原料接着剤への薬剤混入
・（　　）
防虫処理
・（　　）

⑬ 屋根及びとい工事

1.長尺金属板葺
(13.2.2)
(13.2.3)
(表13.2.1)

屋根葺形式	材種	厚さ（mm）	下葺の種類	備考

耐風圧及び積雪荷重に対応した工法
・ 図示（図面番号：　　）
雪止め　・ 図示（図面番号：　　）

2.折板葺
(13.3.2)
(13.3.3)

緊結方法	板厚(mm)	山の高さ（mm）	山のピッチ（mm）	耐力区分
・ 重ね形 ・ はぜ締め形	・ 0.8 ・ 0.6	・ 90 ・（　）	・（　）	・（　）
	材種			軒先面戸板
	・ 塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合板めっき鋼板 ・（　）			・ あり ・ なし

断熱材　種別　・ ガラス繊維シート　・（　　）
厚さ(mm)　・ 5　・（　　）
防火性能　・（　　）
風圧力及び積雪荷重に対応した工法
・ 図示（図面番号：　　）

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-09 （原図：A2）
				図面名称	新営特記仕様書No.3	縮尺	NS

3.粘土瓦葺
(13.4.2)
(13.4.3)

種　類	大きさ	産　地	役物の種類	棟の工法

雪止め瓦　・使用する
瓦桟木の材種、寸法　・杉又は桧　21×15　・(　　)
棟補強用心材の材質、寸法　・杉又は桧　40×30　・(　　)
下葺材料の種類　・(　　)
風圧力及び積雪荷重に対応した工法　・図示（図面番号：　　）
桟木の留付け工法　・図示（図面番号：　　）
棟の工法　・標準仕様書[13.4.3](d)　・図示（図面番号：　　）

④とい
(13.5.2)
(表13.5.1)
(13.5.3)
(表13.5.5)
材種　⊙硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)　・配管用鋼管(白管)
・(　　)
鋼管製といの防露巻工法
・標準仕様書[表13.5.5]　・(　　)

⑭ 金属工事

1.あと施工アンカー
(14.1.3)
引抜き耐力の確認試験　・実施する
設計用引張強度　・(　　)

2.ステンレス
(14.2.1)
表面仕上げ　・HL仕上げ　・(　　)

③アルミニウム
(14.2.2)
(表14.2.1)
表面処理の種別
・A-1　・A-2　・B-1　⊙B-2　・C-1　・C-2　・D
常温乾燥形の塗装　・(　　)
陽極酸化被膜の着色方法　・二次電解着色　・(　　)

4.鉄鋼の亜鉛めっき
(14.2.3)
亜鉛めっきの種別
・A種　・B種　・C種　・D種　・E種　・F種

⑤軽量鉄骨天井下地
(14.4.2)
(表14.4.1)
(14.4.3)
(表14.4.2)
(14.4.4)
野縁などの種類
屋内　⊙19形　・(　　)
屋外　・25形　・(　　)
屋外の野縁受等の間隔　・図示(図面番号：　　)
吊りボルトの補強方法（@900mm超）　・図示(図面番号：　　)
吊りボルトの水平補強、斜め補強
・天井ふところ≧1.5m　・標準仕様書[14.4.4](h)
・図示(図面番号：　　)
・天井ふところ＞3.0m　図示(図面番号：　　)
・耐震天井　図示(図面番号：　　)
・耐風圧の補強　図示(図面番号：　　)

⑥軽量鉄骨壁下地
(14.5.3)
(表14.5.1)
スタッド、ランナーの種類
⊙標準仕様書[表14.5.1]　・図示(図面番号：　　)
スタッドの高さ5m超
・図示(図面番号：　　)

7.金属成形板板張り
(14.6.2)
(14.6.3)

施工箇所		
材　種	・アルミニウム ・ステンレス　・鋼	
形　状	・スパンドレル形 ・パネル形	
表面処理	・	

取付け用下地　・図示(図面番号：　　)
長尺ものにおける伸縮調整継手
・設ける　図示(図面番号：　　)

⑧アルミニウム製笠木
(14.7.2)(14.7.3)
(表14.7.1)
部材の種類　・250形　⊙300形　・350形　・400形
表面処理　⊙(B-2)
固定方法　・図示（図面番号：意匠図）

9.手すり
(14.8.2)

材種	表面処理の種別	施工箇所
アルミニウム	・標準仕様書[表14.2.1]の種別(B-2 種) ・(　　)	
鋼	・標準仕様書[表14.2.2]の種別(　　種) ・(　　)	
ステンレス	・HL程度 ・(　　)	

10.タラップ
(14.8.3)

材種	表面処理の種別	施工箇所
鋼	・標準仕様書[表14.2.2]の種別(　種)	
ステンレス	・	

⑪天井見切縁
材種　・アルミニウム合金製　⊙塩化ビニル製

⑫点検口

取付箇所	材種	寸法	形式
⊙天井	⊙アルミニウム製	⊙450角 ・600角	⊙額縁タイプ ・目地タイプ
・床	・アルミニウム製	・450角 ・600角	

⑮ 左官工事

①モルタル塗り
(15.2.2)
(15.2.5)
既製目地材　・使用する　図示（図面番号：　　）
床の目地　・図示（図面番号：　　）
下地モルタルの接着力試験（外壁タイル張り等）　・実施する

2.セルフレベリング
(15.4.2)
種類　・せっこう系　・セメント系

③仕上塗材仕上
(15.5.2)
(表15.5.1)

種　類	呼び名	仕上形状		工　法
薄付仕上塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状		・吹付け
	・内装薄塗材E	・砂壁状ジュラク		
	・(　　)	・(　　)		・(　　)
厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	スタッコ状	・吹放し ・凸部処理	・吹付け
			・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて
	・外装厚塗材Si	スタッコ状	・吹放し ・凸部処理	・吹付け
	・外装厚塗材E		・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて ・ローラー
	・(　　)	・(　　)		・(　　)
複層仕上塗材	⊙複層塗材E ・複層塗材RE ・防水型複層塗材E ・防水型複層塗材RE	・ゆず肌状 ・凸部処理 ⊙凹凸状		・ローラー ⊙吹付け
	・(　　)	・(　　)		・(　　)
軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	・砂壁状 ・平たん状		・吹付け ・こて

内装薄塗材、内装厚塗材（吸放湿性を有するもの）
・JIS A 6909 調湿形
複層仕上塗材の耐候性　・耐候形３種　・(　　)
外装厚塗材Cの上塗材
・セメントスタッコ以外の場合　材所要量(　　kg/㎡)

(表15.5.2)
複層仕上塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外　観
・アクリル系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
・シリカ系	・水系	・艶無
・ポリウレタン系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
・アクリルシリコン系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
⊙ふっ素系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	⊙水系	⊙艶有　・艶無

(15.5.4)
(15.5.7)
ALCパネルの内壁目地　・V形目地付き　・(　　)
仕上塗材の所要量等の確認方法　⊙標準仕様書[表15.5.4]　・(　　)

4.マスチック塗材塗り
(15.6.2)
(表15.6.1)
種別　・A種　・B種
仕上材塗り　種類(　　)

⑤ロックウール吹付け
(15.8.3)
仕上げ吹付け厚さ　(　25　) mm

⑯ 建具工事

1.防火戸
(16.1.3)
防火戸の指定　・図示（図面番号：ELV図）
ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動するもの
・図示（図面番号：　　）

2.見本の製作等
(16.1.4)
建具見本の製作　・実施する
特殊な建具の仮組　・実施する

3.防犯建物部品
(16.1.6)
防犯建物部品　・図示（図面番号：　　）

④ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具
(16.2.2)
(16.2.4)
(表16.2.1)
(表14.2.1)
(16.2.5)
外部建具の性能等級等
・A種　⊙B種　・C種　・(　　)
表面処理　種別　⊙B-2　・(　　)　・標準色　・特注色
内部建具
表面処理　種別　・B-2　・(　　)　・標準色　・特注色
防音ドアセット、防音サッシの遮音性　・(　　等級)
断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性　・(　　等級)
耐震ドアセットの面内変形追随性　・(　　等級)
建具の見込み寸法　⊙[表16.2.1]　・図示（図面番号：意匠図）
結露水の処理方法　・(　　)
水切り板、ぜん板等　⊙図示（図面番号：意匠図）

5.網戸
(16.2.3)
形式　・可動式　・固定式
網の材質　・合成樹脂　・ガラス繊維入り合成樹脂
・ステンレス（SUS316）　・(　サラン　)
網　目　・16メッシュ　・18メッシュ　・(　　)

6.樹脂製建具
(16.3.2)
(16.3.3)
(16.3.4)
(16.8.2)
外部建具の性能等級等
・A種　・B種　・C種　・(　　)
外部建具の遮音性能等級
・T-A種　・T-B種　・(　　)
外部建具の断熱性能等級
・H-A種　・H-B種　・H-C種　・(　　)
ガラス　・複層ガラス　・(　　)
建具枠見込み寸法　・図示（図面番号：　　）
表面色　・標準色　・特注色
水切り板　ぜん板　・図示（図面番号：　　）
丁番　・[表16.8.3]　・図示（図面番号：　　）

7.鋼製建具
(16.4.2)
(表16.4.1)
(表16.2.1)
(16.4.3)
(16.4.4)
(表16.4.2)
簡易気密型ドアセット　・図示（図面番号：A-41）
外部建具の耐風圧性　・S-4　・S-5　・S-6
防音ドアセット、防音サッシの遮音性　・(　　等級)
断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性　・(　　等級)
耐震ドアセットの面内変形追随性　・(　　等級)
鋼板の種類、めっき付着量
・JIS G 3302　・Z12　・F12　・(　)
・JIS G 3317　・Y08　・(　)
鋼板類の厚さ　・[表16.4.2]　・図示（図面番号：　　）
H>2400超 又は W>950超　・図示（図面番号：　　）

8.鋼製軽量建具
(16.5.2)
(16.5.3)
(16.5.4)
簡易気密型ドアセット　・図示（図面番号：A-40,41）
防音ドアセット、防音サッシの遮音性　・(　　等級)
断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性　・(　　等級)
耐震ドアセットの面内変形追随性　・(　　等級)
鋼板類の表面仕上げ
・塗装　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板
・ステンレス鋼板（・HL　・鏡面）
召し合せ、縦小口包み板等の材質
・鋼板　・ステンレス鋼板　・アルミニウム合板押出形材
鋼板類の厚さ　・[表16.5.1]　・図示（図面番号：　　）
H>2400超 又は W>950超　・図示（図面番号：　　）

9.ステンレス製建具
(16.6.2)
(16.6.3)
(16.6.4)
(16.6.5)
簡易気密型ドアセット　・図示（図面番号：　　）
外部建具の耐風圧性　・S-4　・S-5　・S-6
防音ドアセット、防音サッシの遮音性　・(　　等級)
断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性　・(　　等級)
耐震ドアセットの面内変形追随性　・(　　等級)
ステンレス鋼板　・SUS304　・(　　)
表面仕上げ　・HL　・鏡面仕上げ
曲げ加工　・普通曲げ　・角出し曲げ

10.木製建具
(16.7.2)
(表16.7.1)
(表16.7.6)
(表16.7.3)
(16.7.4)
建具材の含水率　・A種　・B種　・C種
フラッシュ戸、戸ぶすまの合板
種類、材面の品質　・図示(図面番号：　　)
接着の程度　・1類（水掛り）、2類（その他）　・(　　)
フラッシュ戸の形状
表面板の厚さ　・標準仕様書[表16.7.6]　・(　　)
引戸の召合わせ　・いんろう付き　図示（図面番号：　　）
かまち戸　かまち、鏡板の樹種　・図示(図面番号：　　)
ふすま　上張の種類　・図示(図面番号：　　)
縁の仕上げ　・図示(図面番号：　　)
枠及びくつずりの材料　・図示(図面番号：　　)
戸の見込み寸法　・図示(図面番号：　　)

11.建具用金物
(16.8.2)
(表16.8.1)
(16.8.3)
(16.8.4)
マスターキー　・製作する　・製作しない
・監督員と協議の上システムを決定する
キーボックス　・要　・不要
金物の種類、見え掛かり部等の材質等
・標準仕様書[表16.8.1]　・図示（図面番号：　　）
レバーハンドル、クレセント等の取付け位置
・図示(図面番号：A-39～42)

12.自動ドア開閉装置
(16.9.2)
(表16.9.1)
(表16.9.2)
(16.9.2)
(16.9.3)
開閉方法
・スライディングドア　・スイングドア
・図示(図面番号：　　)
センサー種類　・図示(図面番号：　)
性能値
スライディングドア　・標準仕様書［表16.9.1］　・(　　)
スイングドア　・標準仕様書［表16.9.2］　・(　　)

13.自閉式上吊り引戸装置
(16.10.3)
性能値
・標準仕様書［表16.10.1］　・(　　)

14.重量シャッター
(16.11.2)
(表16.11.1)
シャッターの種類　・図示（図面番号：　　）
開閉機能による種類　・図示（図面番号：　　）
管理用シャッター、外壁用防火シャッター
・耐風圧強度(　　Pa 以上)
管理用シャッターのシャッターケース　・図示（図面番号：　　）
鋼板の種類　・図示（図面番号：　　）
・めっき付着量　・Z12　・F12　・(　)

15.軽量シャッター
(16.12.2)
(表16.12.1)
(16.12.3)
(16.12.4)
開閉機能による種類　・図示（図面番号：　　）
・耐風圧強度(　　Pa 以上)
スラットの材質、めっき付着量
・JIS G 3312　・Z06　・F06　・(　)
・JIS G 3322　・AZ90　・(　)
スラットの形状
・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

16.オーバーヘッドドア
(16.13.2)
(16.13.3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
・スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス

耐風圧性能の区分　JIS A 4715　・(　　)

⑰ガラス
(16.14.2)
(16.14.3)
(16.14.4)
(表16.14.1)
板ガラスの種類、厚さ、特性による種類等
⊙図示(図面番号：A-104)
留め材　⊙シーリング　・ガスケット(　　)
ガラス溝の寸法、形状等
⊙標準仕様書[表16.14.1]　・図示(図面番号：　　)
熱線反射ガラスの映像調整　・実施する

18.ガラスブロック積み
(16.14.5)
表面形状、寸法、厚さ　・図示(図面番号：　　)
壁用金属枠、補強材　・図示(図面番号：　　)
力骨の材質等　・SUS304、φ5.5はしご形状複筋、単筋　・(　　)
化粧目地モルタルの色　・(　　)
シーリング材の種類　・(　　)
化粧カバーの材質、形状等　・図示（図面番号：　　）
風圧力に対応した工法　・図示（図面番号：　　）
目地幅、伸縮調整目地　・標準仕様書[16.14.5](b)(2)　・(　　)

特記事項

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-10 (原図:A2)
		図面名称	新営特記仕様書No.4	縮尺	NS

17 カーテンウォール工事

1.種類 (17.1.1) (17.1.3)
・ メタルカーテンウォール(種類　　　　)
・ PCカーテンウォール

2.性能等 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)
耐風圧性(　B種　)
耐震性(　　　)
水密性(　　　)
気密性(　　　)
耐火性(　　　)
耐温度差性(　　　)
遮音性(　　　)
断熱性(　　　)
性能の確認・判定方法(　　　　)
シーリング材の種類
断熱材(　　　　)

3.メタルカーテンウォール (17.2.3) (表17.2.1) (17.2.5) (17.2.6)
カーテンウォールの材料

材料	規格等	見え掛り部の仕上げ	映像調整
・ アルミニウム製 ・ (　　　)	・ 標準仕様書[16.2.3] ・ (　　　)	・ A-1 ・ A-2	・ 行う

製品の寸法許容差　・ 標準仕様書[表17.2.1]
ガラス溝の寸法、形状等　・ カーテンウォール製作所の仕様による
・ 図示(図面番号：　　　)
取付け
躯体付け金物取付け位置の寸法許容差
・ 標準仕様書[表17.2.2]　・ (　　　)
カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差
・ 標準仕様書[表17.2.3]　・ (　　　)
ガラスの取付け　・ 構造用ガスケット(図示(図面番号：　　　))

4.PCカーテンウォール (17.3.3) (17.3.4) (17.3.5) (17.3.6) (17.3.9)
カーテンウォールの材料
コンクリートの種類及び品質
鉄筋　・ SD295A　・ (　　　)
補強鉄線　・ 3.2　・ (　　　)
耐火目地材　・ (　　　)
配筋　・ 図示(図面番号：　　　)
先付け材料
・ サッシ枠　・ ゴンドラ用ガイドレール　・ (　　　)
製品の寸法許容差　・ 標準仕様書[17.3.13]による　・ (　　　)
表面仕上げ材　・ 磁器質タイル
石材(　・ 花こう岩　・ 大理石　・ (　　　))
取付け
カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差
・ 標準仕様書[表17.3.2]　・ (　　　)
ガラスの取付け　・ 構造用ガスケット(図示(図面番号：　　　))

⑱ 塗装工事

1.材料
防火材料の指定箇所(　　　)

2.施工一般 (18.2.2)～(18.14.2)

塗料塗り 種類	塗料塗り 種別	施工箇所	下地の種類	素地ごしらえ	錆止め塗料の種類
DP	・ A種 ・ B種		押出成形セメント板	・ A種 ・ B種 ・ C種	
EP	・ A種 ⊙ B種		ボード面	・ A種 ⊙ B種	

3.耐候性塗料塗り(DP) (18.7.2) (表18.7.1) (18.7.4)

下地の種類	施工箇所	上塗り等級	コンクリート,ECP面における種別
押出整形セメント板	外壁		・ A種　・ B種 ・ C種

⑲ 内装工事

1.ビニル床シート張り (19.2.2)

種類	色柄	厚さ(mm)	継目
・ NC　・ NF ・ (　FS　)	・ 無地 ・ 柄物	・ 2.0 ・ (2.5)	・ 溶接 ・ 突付け

2.ビニル床タイル張り (19.2.2)

寸法	種類		厚さ(mm)
・ 300×300	・ コンポジションビニル床タイル	半硬質	・ 2.0
・ 450×450	・ コンポジションビニル床タイル	軟質	・ (　　)
	・ ホモジニアスビニルタイル		・ (　　)

3.特殊機能床材 (19.2.2)
・ 帯電防止ビニルシート・床タイル　寸法(　　mm)
厚さ(　　mm)　種類(　　　)
・ 視覚障害者用床タイル
材質(・ ビニル床タイル　・ (　　　))
寸法(・ 300×300　・ (　　　))
・ 耐動荷重性床シート
種類(　　)　寸法(　　)　厚さ(　　mm)
・ ゴム床タイル
種類(　　)　寸法(　　)　厚さ(　　mm)
・防滑り性床シート　種類(　)　性能(　)　厚さ(　)

④ビニル幅木 (19.2.2)
高さ　⊙ 図示(図面番号：A-54)　・ 100mm
厚さ　・ 図示(図面番号：　　)　⊙ 1.5mm以上
下地　・ モルタル　・ セルフレベリング　・ 木造
⊙ (プラスターボード)

5.施工 (19.2.3)
継目　・ 突付け　・ 熱溶接工法

6.カーペット敷き (19.3.3) (19.3.4) (表19.3.1) (表19.3.2)
織りじゅうたん

種別	色柄	パイル形状	織り方
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 無地 ・ 柄物 (標準品)	・ ループ ・ カット ・ カット、ループ併用	・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アキスミンスターカーペット

種別	色柄	パイル形状	パイル長・総厚	工法
・ タフテッドカーペット	・ 無地 ・ 柄物	・ ループ ・ カット	パイル長 ・ 5～7mm ・ 4～6mm	・ グリッパー ・ 全面接着
・ ニードルパンチカーペット	・ 無地 ・ 柄物		総厚さ ・ (　　)	・ 全面接着
・ タイルカーペット	・ 無地 ・ 柄物	・ ループ ・ カット	総厚さ、サイズ ・ 6.5mm ・ ・ 500角 ・	・ 全面接着

・ 帯電性(人体帯電圧の値3kV以下)
タイルカーペットの敷き方
平場　・ 市松敷き　・ 模様流し　・ 図示(図面番号：　　)
階段部分
・ 市松敷き　・ 模様流し　・ 図示(図面番号：　　)
下敷き材　・ 第2種2号、呼び厚さ8mm
・ 図示(図面番号：　　)
見切り、押え金物
・ 材質(　　　)　・ 種類(　　　)
・ 形状(図面番号：　　)

⑦合成樹脂塗床 (19.4.2) (表19.4.4) (表19.4.5)～(表19.4.8)
⊙ 弾性ウレタン塗床材(JISK 5970)
仕上げ
⊙ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ　・ つや消し仕上げ
・ エポキシ樹脂塗床材(JISK 5970)
仕上げ
・ 薄膜流し展べ仕上げ
・ 厚膜流し展べ仕上げ(・ 平滑　・ 防滑　)
・ 樹脂モルタル仕上げ(・ 平滑　・ 防滑　)
・ 塗膜型塗床材仕上げ

8.フローリング張り (19.5.2) (19.5.4) (19.5.5) (19.5.6) (19.5.7)
材料　・ 単層フローリング
・ フローリングボード(1等)　・ フローリングブロック(1等)
・ モザイクパーケット(1等)
・ 複合フローリング

・ 釘留め工法

材料	種別	樹種
・ フローリングボード(根太張用)		・ なら ・ (　　)
・ 複合フローリング(根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	

防湿処理　・ 図示(図面番号：　　)

・ 接着工法

材料		樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	裏面緩衝材
・ フローリングボード(直張用)		・ なら ・ (　)			・ 合成樹脂発泡シート
・ フローリングブロック(直張用)					
・ 複合フローリング(直張用)	・ C種 ・ A種 ・ B種				
・ モザイクパーケット(直張用)			・ 図示 (　　)	・ 図示 (　　)	・ 図示 (　　)

現場塗装
仕上げ　・ ウレタン樹脂ワニス塗り(・ A種　・ B種)
・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り
・ 生地のままワックス塗り
・ (　　　)

9.畳敷き (19.6.2) (表19.6.1)
種別　・ A種　・ B種　・ C種　・ D種
・ D種の畳床TK-(　・ Ⅰ　・ Ⅱ　・ Ⅲ　・ Ⅳ)

⑩せっこうボード、その他のボード及び合板張り (19.7.2) (表19.7.1) (19.7.3) (表19.7.4) (表19.7.5)

材種	種別	厚さ(mm)	
⊙ せっこうボード		壁	・ 9.5(準不燃) ⊙ 12.5(不燃)
		天井	
⊙ 化粧せっこうボード	⊙ トラバーチン模様	・ 9.5(不燃)	
	・ 木目模様	⊙ 9.5(準不燃)	
・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9 ・ (　　)	
	・ 立体模様	・ (　　)	
・ けい酸カルシウム板	・ タイプⅡ0.8FK	・ (6)	
・ (　　　)	・ (　　　)	・ (　　　)	

合板張り
・ 普通合板　表面の樹種　・ 生地のまま
・ (透明塗料塗り)ラワン　・ (不透明塗料塗り)しな
・ (　　　)
品質(　　　)　厚さ(　　mm)
接着の程度　・ 1類(湿潤箇所)　・ (　　　m)
防虫処理　・ (　　　)
・ 天然化粧合板　化粧板の種類　・ (　　　)
厚さ(　　mm)
接着の程度　・ 1類(湿潤箇所)　・ (　　　m)
防虫処理　・ (　　　)
・ 特殊加工合板　化粧加工の方法
・ オーバーレイ　・ プリント
・ 塗装　・ (　　　)
表面性能(　　　)　厚さ(　　mm)
接着の程度　・ 1類(湿潤箇所)　・ (　　　m)

遮音シール材
・ 適用する(・ シーリング材　・ ジョイコンパウンド)
合板類の張付け　・ B種　・ A種
せっこうボードの目地工法
・ 継目処理　・ 突付け　・ 目透し
下地　・ 軽量鉄骨　・ 木造　・ (　　　)

11.吸音材張り (19.7.2)

材種	種別	厚さ(mm)	工法
・ 吸音用グラスウールボード ・ グラスウール成型板	・ 2号32K	・ 25	・ グラスクロス19メッシュ張り(小口共) ・ 化粧ボタン止め(タテ、ヨコ共@300程度)

特定フロンを含まないもの

12.壁紙張り (19.8.2)

施工箇所	材料	防火性能	品質
倉庫以外	ビニルクロス	F☆☆☆☆	量産品

素地ごしらえ
せっこうボード面　・ B種　・ A種
コンクリート面　・ B種　・ A種
モルタル・プラスター面　・ B種　・ A種

13.断熱材 (19.9.2)

施工箇所	材種	種類	厚さ(mm)
	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		
	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)		
	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材		
	・ フェノールフォーム断熱材		
	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材		
	・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし)		
	・ A種硬質ウレタンフォーム保温材		
	・ フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)		
	・ フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)		

20 ユニット及びその他工事

1.フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	所定荷重	高さ(mm)	床仕上材及び厚さ(mm)	備考
			・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・ (　　) ・ ビニル床タイル (　　)mm	・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ (　　)
			・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・ (　　) ・ ビニル床タイル (　　)mm	・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ (　　)

試験方法　20.2.2(2)(i) ～ (iv)
寸法精度　20.2.2(5)(i) ～ (iii)

2.可動間仕切 (20.2.3)
組立て方式
・ スタッド式　・ パネル式　・ スタッドパネル式
寸法及び形状　・ 図示(図面番号：A-40)
表面材の材質及び仕上げ　・ 図示(図面番号：A-40)
遮音性　・ 高遮音

3.移動間仕切 (20.2.4)
操作方法　・ 手動式　・ 電動式
表面材の材質及び仕上げ　・ 図示(図面番号：　　)
遮音性　・ 高遮音
ハンガーレールの取付け下地の補強
・ 標準仕様書[20.2.4](c)(3)　・ 図示(図面番号：　　)
ハンガーレールの固定方法
・ 溶接　・ あと施工アンカー(材質：　　、寸法：　　)

4.トイレブース (20.2.5)
表面仕上　・ メラミン樹脂系化粧板
・ ポリエステル樹脂系化粧板
幅木　・ 図示(図面番号：A-42)
扉小口の材質　・ ステンレス製　・ アルミ製

特記事項	

設計概要

工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事
工事場所	津市高茶屋四丁目2484−7
用途地域	第一種低層住居専用地域
防火指定	指定なし
その他	法22条区域
道路幅員	5．50m
敷地面積	24，611 ㎡
主要用途	中学校
工事種別	増築

建築面積	EV増築部分	既設部分	合計
	14．71 ㎡	3，931．67 ㎡	3，943．38 ㎡

延床面積	EV増築部分	既設部分	合計
	44．13 ㎡	8，833．75 ㎡	8，877．88 ㎡

＜管理教室棟＞ 外部仕上表（増築部）

部位	仕上
外壁	中空押出成形セメント板ァ60 タテ張 複層仕上塗材E（吹付） 2液型セラミック複合弾性フッ素樹脂塗料塗
屋根	屋上防水：塩ビ製シート防水 非歩行用 S−F2 合成スラブ用デッキプレートァ1．2 ワイヤーメッシュ 6φ−150×150 コンクリート金コテ押エ ァ80
樋	タテ樋：硬質ポリ塩化ビニル管（カラー）φ100 掴み金物：SUS製@1200 飾り枡：塩ビ製（カラー）
ドレイン	鋳鉄製 横引用 φ100
笠木	アルミ笠木（コーナー用共） W300
EXP・J	ステンレス製 1時間耐火仕様
開口部	アルミサッシ
根廻り	コンクリート打放補修
犬走り	コンクリート金コテ押エ 目地切@2000内外

＜管理教室棟＞ 外部仕上表（既設部）

部位	仕上
軒天	外装薄塗材E （吹付）
外壁	複層塗材E （吹付）
屋根	塩ビシート防水 機械固定工法
樋	硬質塩化ビニル管（カラー）φ100 横引ドレン：鋳鉄製 、飾枡：塩化ビニル製
笠木	アルミ防水押エ
EXP・J	ステンレス製 1時間耐火仕様
開口部	カバー工法にて改修（防火設備部分は耐火シーリングとする）
根廻り	モルタル金コテ
犬走り	モルタル金コテ

主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物（増築部）

部位			使用材料	認定
屋根			合成スラブ用デッキプレートァ1．2 デッキ高50 コンクリートァ80 溶接金網：6φ−150×150	FP060FL−9101
外壁	非耐力壁	延焼内	該当なし	
		延焼外	中空押出成形セメント板ァ60	FP060NE−9035
床			合成スラブ用デッキプレートァ1．2 デッキ高50 コンクリートァ80 溶接金網：6φ−150×150	FP060FL−9101
			合成スラブ用デッキプレートァ1．2 ロックウール吹付 ァ15	FP060FL−9128
柱			鉄骨柱 ロックウール吹付 ァ25	FP060CN−9460
			鉄骨柱 ロックウール吹付 ァ25＋押出成形板	FP060CN−0538
梁			鉄骨梁 ロックウール吹付 ァ25	FP060BM−9408
			鉄骨梁 ロックウール吹付 ァ25＋押出成形板	FP060BM−0366
開口部	延焼の恐れのある部分		該当なし	

内部仕上表No．1

：既設仕上げを示す　▲：アスベスト含有建材を示す

階	室名	内装制限	改修後	床 記号	床 下地	床 仕上	巾木 記号	巾木 仕上	巾木 H	壁 記号	壁 下地	壁 仕上	梁型 記号	梁型 下地	梁型 仕上	天井 記号	天井 下地	天井 仕上	廻縁	室名札	CH	備考
1階	被服室 ↓ 普通教室（1−2）		改修前		モルタル下地 既設のまま	ナラ モザイクパーケット厚15張 既設のまま		桧 OP塗 既設のまま	100		プラスター下地 既設のまま モルタル下地 既設のまま	サテン塗 既設のまま VP塗 既設のまま		プラスター下地 既設のまま	サテン塗 既設のまま		木組下地 既設のまま	有孔PB厚7 目スカシ張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	○	3，015	
	湯沸室 印刷室 宿直室		改修前		モルタル金コテ下地	塗床 ブナ フローリング厚18張 タタミ敷 乱玉 モザイクタイル張		木製巾木	100		プラスター下地	サテン塗 繊維壁 半磁器タイル75角張					木下地	PB厚7張 張桂 目スカシ アスベストラックス VP塗	塩ビ		3，015 2，380〜2，700	
	倉庫1・2				モルタル金コテ下地	ビニル床シート厚2．0張		木製巾木	100		木下地	有孔ボード張					木下地	化粧PB厚9．5張	塩ビ		3，015	
	職員室		改修前		モルタル金コテ下地	ナラ モザイクパーケット厚15張		木製巾木	100		プラスター下地	サテン塗 銘木合板張			プラスター下地 サテン塗 シナ合板厚4張 （下地共）		木下地	有孔PB厚7張 吸音テックス厚9張	塩ビ	○	3，015	
	校長室		改修前		モルタル金コテ下地	ビニル系タイル厚2．0張		木製巾木	100		PB下地 プラスター下地	EP塗 サテン塗			プラスター下地 サテン塗			化粧PB厚9．5張 （一部脱着）	塩ビ	○	3，015	
	職員男子便所		改修前		モルタル金コテ下地	ビニル床シート厚2．5張					モルタル下地	陶器質100角タイル張			プラスター下地 サテン塗		モルタル下地	EP塗	塩ビ		2，100	
	職員女子便所		改修前		モルタル金コテ下地	ビニル床シート厚2．0張 タイルカーペット敷		ソフト巾木	100		モルタル下地	陶器質100角タイル張 クロス張						化粧PB厚9．5張	塩ビ		2，400	
	保健室		改修前		モルタル金コテ下地	ビニル系タイル厚2．0張		木製巾木	100		プラスター下地	サテン塗			プラスター下地 サテン塗		木下地	有孔PB厚7 目スカシ張	塩ビ	○	3，015	
	図書室		改修前		モルタル金コテ下地	ナラ モザイクパーケット厚15		木製巾木	100		プラスター下地	サテン塗 モザイクタイル張			プラスター下地 サテン塗		木下地	有孔PB厚7 目スカシ張	塩ビ	○	3，015	
	調理室	準	改修前		モルタル金コテ下地	ビニル床シート厚2．0張		木製巾木	100		プラスター下地	サテン塗 モザイクタイル張			プラスター下地 サテン塗		木下地	アスベストラックス VP塗 ▲ 有孔アスベストラックス VP塗 撤去	塩ビ	○	3，015	＜改修後＞ 既設木下地 PBァ9．5 EP塗
	ホールD 廊下		改修前		モルタル下地	カラーローン厚3．0塗仕上		カラーローン塗 立上コーナーR仕上	100		モルタル金コテ押エ	AEP塗		モルタル下地	サテン塗		LGS下地	化粧PB厚9．5張 （一部脱着）	塩ビ		2，780 3，015	
	ホールC	準	改修前		モルタル下地	カラーローン厚3．0塗仕上		カラーローン塗 立上コーナーR仕上	100		モルタル金コテ押エ LGS下地	サテン塗 PB厚12．5 EP塗		モルタル下地	サテン塗		LGS下地	PB厚9張 目スカシ張	塩ビ		3，015	
	玄関・ホールB		改修前		モルタル木コテ下地 土間コンクリート厚150 既設モルタル下地 既設モルタル下地	磁器質150角タイル張 弾性ウレタン樹脂塗床材 弾性ウレタン樹脂塗床材 層間用プライマー 既設仕上面清掃（シンナー拭キ）		磁器質150角 タイル張 床回材立上 床回材立上	150 100 100		モルタル金コテ押エ（コンクリート面） モルタル金コテ押エ（CB面） LGS下地 耐火中空2重壁①	NAD塗 △ PB厚12．5 EP塗 EP塗					LGS下地	化粧PB厚9．5張	塩ビ		2，850 2，700	上框：ステンレス製 下足入
	昇降口		改修前		既設モルタル下地 △	弾性ウレタン樹脂塗床材 磁器質150角タイル張		床回材立上 磁器質150角 タイル張	100 150		モルタル金コテ押エ LGS下地 耐火中空2重壁①	NAD塗 PB厚12．5 EP塗 EP塗					LGS下地	化粧PB厚9．5張	塩ビ	○	2，850 2，700	
	給湯室		改修前		モルタル金コテ押工厚28 土間コンクリートァ150	ビニル床シートァ2．5張		ビニル巾木	60		耐火中空2重壁①	EP塗					LGS下地	化粧PBァ9．5張	塩ビ	○	2，700	

特記事項	

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像
一級建築士 第304509号 水谷 浩

設計年月日		工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-12（原図:A2）
		図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 外部・内部仕上表No．1	縮尺	NS

内部仕上表 No. 2

：既設仕上げを示す

階	室名	内装制限	改修前/改修後	床 記号	床 下地	床 仕上	巾木 記号	巾木 仕上	巾木 H	壁 記号	壁 下地	壁 仕上	梁型 記号	梁型 下地	梁型 仕上	天井 記号	天井 下地	天井 仕上	廻縁	室名札	CH	備考
2階	パソコン室		改修前		モルタル下地 撤去	ナラ モザイクパーケット厚15張 撤去 フリーアクセスフロア タイルカーペット厚7 撤去		桧 OP塗 撤去	100		プラスター下地 撤去	サテン塗 撤去		プラスター下地 撤去	サテン塗 撤去		木組下地 撤去	有孔PB厚7 目スカシ張 撤去	塩ビ 撤去	○	3,015	
			改修後	F12	セルフレベリング	フリーアクセスフロアH50 ビニル床タイル（帯電防止）厚4	BB5	木製巾木撤去跡 モルタル金コテ押えの後 ビニル巾木	100	W1	人研台撤去跡モルタル金コテ押えの後 下地調整（RB）	NAD塗	WG1	LGSW25下地	PB厚9．5張 NAD塗	C1	LGS下地	化粧PB厚9．5張	塩ビ	○ 平付け	3，015	
										W3	LGS下地	PB厚12．5下地 NAD塗										
				F13	モルタル金コテ下地厚28	ビニル床タイル（帯電防止）厚2				W5	LGS下地	PB厚12．5下地 耐水合板厚9 掲示クロス張	WG3	LGSW25下地	PB厚12．5張 NAD塗							
	特別支援学級1 特別支援学級2 普通教室 （1－4） （1－3） （1－2） （1－1） 英語教室2		改修前		モルタル下地 撤去	ナラ モザイクパーケット厚15張 撤去		桧 OP塗 撤去	100		プラスター下地 既設のまま	サテン塗 既設のまま		プラスター下地 撤去	サテン塗 撤去		木組下地 撤去	有孔PB厚7 目スカシ張 撤去	塩ビ 撤去	○	3,015	生徒用ロッカー 撤去 黒板、掲示板 撤去
											木組下地 撤去	シナ合板厚6 プラスター下地 サテン塗 撤去										
			改修後	F6	モルタル金コテ下地厚18	複合フローリング厚12直張（塗装品）	BB5	木製巾木撤去跡 モルタル金コテ押えの後 ビニル巾木	100	W3	LGS下地	PB厚12．5下地 EP塗	WG1	LGSW25下地	PB厚9．5張 NAD塗	C1	LGS下地	化粧PB厚9．5張	塩ビ	○ 平付け	3,015	生徒用ロッカー 曲面黒板、予定黒板
										W5	LGS下地	PB厚12．5下地 耐水合板厚9 掲示クロス張										
										W1	人研台撤去跡モルタル金コテ押えの後 下地調整（RB）	NAD塗										
										W4	耐火中空2重壁①	NAD塗	WG3	LGSW25下地	PB厚12．5張 NAD塗							
										W7	耐火中空2重壁②	耐水合板厚9 掲示クロス張										
										W9	耐火中空2重壁②	NAD塗										
	前室 相談室1 相談室2		改修前		モルタル下地 撤去	複合フローリング厚12張 撤去		桧 OP塗 撤去	100		LGS下地 撤去	PB厚12．5 ビニルクロス張 撤去 腰壁：木板張 撤去					木組下地 撤去	有孔PB厚7 目スカシ張 撤去	塩ビ 撤去	○	3,015	生徒用ロッカー 撤去 黒板、掲示板 撤去
											木組下地 撤去	PB厚12．5 ビニルクロス張 撤去 腰壁：木板張 撤去										
			改修後	F6	モルタル金コテ下地厚18	複合フローリング厚12直張（塗装品）	BB5	木製巾木撤去跡 モルタル金コテ押えの後 ビニル巾木	100	W10	LGS下地	PB厚12．5下地 NAD塗			――	C1	LGS下地	化粧PB厚9．5張	塩ビ	○ 平付け	2、700	
										W11	人研台撤去跡モルタル金コテ押えの後 下地調整（RB）	NAD塗										
										W12	耐火中空2重壁①	NAD塗										
										W13	耐火中空2重壁②	NAD塗										
	男子便所1 女子便所1		改修前		アスファルト防水（E－2） シンダーコンクリート厚140 既設のまま	防滑性ビニル床シート厚2．5張 撤去		モルタル巾木 撤去	100		LGS下地 既設のまま	耐水PB厚12．5+12．5 陶器質200角タイル張 既設のまま					LGS下地 既設のまま	ケイカル板厚6 目透シ張 EP塗 撤去	塩ビ		2,400 3,080	
											LGS下地 既設のまま	耐水PB厚12．5+12．5 EP塗 既設のまま										
											既設CB厚100下地 （7段積）既設のまま	モルタル塗厚20 既設のまま モザイク25角タイル張 既設のまま										
			改修後	F7	既設防水下地	トイレ用防滑性ノーワックス ビニル床シート厚2．5張	BB6	床同材巻上げ 樹脂製見切り縁	200	W6	下地調整（RB）	EP塗			――			ケイカル板厚6 目透シ張 EP塗		突出しピクトサイン		
	廊下		改修前		モルタル下地 一部撤去	カラーローン厚3．0塗仕上 一部撤去		カラーローン塗 立上コーナーR仕上一部撤去	100		モルタル金コテ押エ 一部撤去	AEP塗 既設のまま		モルタル下地 既設のまま	サテン塗 既設のまま		LGS下地 撤去	化粧PB厚9．5張 撤去	塩ビ 撤去		2,780 3,015	
		準	改修後	F3	既設モルタル下地	弾性ウレタン樹脂塗床材 層間用プライマー 既設仕上面清掃（シンナー拭キ）	BB3	床同材立上	100	W1	下地調整（RB）	NAD塗				C1	LGS下地	化粧PB厚9．5張	塩ビ		2,700	
										W4	耐火中空2重壁①	NAD塗										
				F11	モルタル金コテ押エ厚30	弾性ウレタン樹脂塗床材	BB4	ビニル巾木	100	W14	耐火中空2重壁③	NAD塗										
3階	普通教室 （3－4） （3－3） （1－4） （2－4） （2－3） （2－2） （2－1）		改修前		モルタル金コテ下地厚18	複合フローリング厚12直張（塗装品）		ビニル巾木	100		LGS下地	PB厚12．5下地 EP塗		モルタル金コテ押エ	NAD塗		LGS下地	化粧PB厚9．5張	塩ビ	○	3,015	生徒用ロッカー 曲面黒板、予定黒板
											LGS下地	耐水合板厚9 掲示クロス張										
											モルタル金コテ押エ（コンクリート面）	NAD塗										
											耐火中空2重壁① 耐火中空2重壁②	EP塗										
											耐火中空2重壁②	耐水合板厚9 掲示クロス張										
	普通教室 （1－3）		改修前		モルタル金コテ下地厚18	複合フローリング厚12直張（塗装品）		下地調整の上 SOP塗	100		下地調整の上	NAD塗 既設仕上		プラスター下地 既設のまま 下地調整の上	NAD塗		LGS下地	化粧PB厚9．5張	塩ビ	○	3,015	生徒用ロッカー 塗替 黒板、掲示板 再取付
											耐火中空2重壁①	EP塗										
								ビニル巾木	100		耐火中空2重壁②	耐水合板厚9 掲示クロス張										
											耐火中空2重壁②	EP塗										

特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-13 （原図：A2）
					図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 内部仕上表No. 2	縮尺	NS

内部仕上表 No. 3

：既設仕上げを示す

階	室名	内装制限	改修前 改修後	床 記号	床 下地	床 仕上	巾木 記号	巾木 仕上	巾木 H	壁 記号	壁 下地	壁 仕上	梁型 記号	梁型 下地	梁型 仕上	天井 記号	天井 下地	天井 仕上	廻縁	室名札	CH	備考
3階	第2音楽室		改修前		モルタル金コテ押エァ28	複合フローリングァ12直張（塗装品）		ビニル巾木	100		モルタル金コテ押エ（コンクリート面） 木下地 GW24㎏品ァ25 △	NAD塗 強化PBァ21張 有孔シナ合板ァ5．5（寒冷紗張り） 目スカシ張り OSCL 強化PBァ21張 耐水合板ァ9 掲示クロス張		モルタル金コテ押エ	NAD塗		LGS下地	ロックウール吸音板ァ12張 PBァ9．5下地	塩ビ	○	3,015	棚、ホワイトボード
	男子便所2 女子便所2		改修前		既設防水下地 アスファルト防水（E－2） シンダーコンクリートァ140	トイレ用防滑性ノーワックス ビニル床シートァ2．5張 モザイクタイル張		床同材巻上げ 樹脂製見切り縁	200		LGS下地 既設のまま LGS下地 既設のまま 既設CBァ100下地（7段積）既設のまま	耐水PBァ12．5＋12．5 陶器質200角タイル張 既設のまま 耐水PBァ12．5＋12．5 EP塗 既設のまま モルタル塗ァ20 既設のまま モザイク25角タイル張 既設のまま 既設仕上下地調整の上 NAD塗（手洗い面台前のみ）						ケイカル板ァ6 目透シ張 EP塗	塩ビ	○	2,400 3,080	
	廊下	準	改修前		既設モルタル下地 モルタル金コテ押エァ30	弾性ウレタン樹脂塗床材 層間用プライマー 既設仕上面清掃（シンナー拭キ） 弾性ウレタン樹脂塗床材		床同材立上 ビニル巾木	100 100		モルタル金コテ押エ（コンクリート面） 耐火中空2重壁① 耐火中空2重壁③	NAD塗 EP塗 EP塗					LGS下地	化粧PBァ9．5張	塩ビ		2,700	
2階	西階段		改修前		既設モルタル下地 既設モルタル下地	ビニル床シートァ2．5張 下地調整の上 弾性ウレタン樹脂塗床材 層間用プライマー 既設仕上面清掃（シンナー拭キ）		ビニル巾木 床同材立上	60 100		モルタル金コテ押エ（コンクリート面） LGS下地 耐火中空2重壁① 耐火中空2重壁③	EP塗 PBァ12．5 EP塗 EP塗 EP塗		モルタル金コテ押エ	NAD塗		LGS下地	化粧PBァ9．5張 下地調整の上 NAD塗	塩ビ		2,700 3,015	
	中階段 階段室		改修前		既設モルタル下地 モルタル金コテ押エァ30	弾性ウレタン樹脂塗床材 層間用プライマー 既設仕上面清掃（シンナー拭キ） 弾性ウレタン樹脂塗床材		床同材立上 ビニル巾木	100 60		モルタル金コテ押エ（コンクリート面） LGS下地 耐火中空2重壁① 耐火中空2重壁③	モルタル金コテ押エ NAD塗 PBァ12．5 EP塗 EP塗 EP塗		モルタル金コテ押エ	NAD塗		LGS下地	化粧PBァ9．5張 下地調整の上 NAD塗	塩ビ		2,700 3,015	
	PS		改修前		既設モルタル下地	弾性ウレタン樹脂塗床材 層間用プライマー 既設仕上面清掃（シンナー拭キ）		既設のまま			LGS下地	既設のまま						――			－	
	多目的便所		改修後		モルタル金コテ押エァ28	トイレ用防滑性ノーワックス ビニル床シートァ2．5張		床同材巻上げ 樹脂製見切り縁	200		LGS下地	抗菌メラミン不燃化粧板ァ3張 PBァ12．5 抗菌メラミン不燃化粧板厚3張 PB厚12．5（GL工法）					LGS下地	化粧PBァ9．5張	塩ビ		2,700	
	東階段	準	改修後		既設モルタル下地 モルタル金コテ押エ厚30	弾性ウレタン樹脂塗床材 層間用プライマー 既設仕上面清掃（シンナー拭キ） 弾性ウレタン樹脂塗床材		床同材立上	100		既設コンクリート下地	モルタル金コテ押エ NAD塗		モルタル金コテ押エ	NAD塗		LGS下地	化粧PB厚9．5張 下地調整の上 NAD塗	塩ビ		2,700 3,015	
増築	EVホール			F15	モルタル金コテ押エ厚30	弾性ウレタン樹脂塗床材	BB5	ビニル巾木	100	W3 W15	LGS下地 耐火中空2重壁④	PB厚12．5 EP塗 EP塗					LGS下地	化粧PB厚9．5張	塩ビ	○	2,700	
	EVシャフト			F16	モルタル金コテ押エ厚20	ケイ酸質系塗布防水塗（C－UI）				W16 W3 W18	中空押出成形セメント板厚60 LGS下地 耐火中空2重壁④	DP塗 PB厚12．5 EP塗 素地						デッキ表シ 硬質ウレタンフォーム厚25吹付（ノンフロン）				

＜特記事項＞

- 壁ボード張部分は、ジョイントレス大壁工法とする。（寒冷紗・ジョイントテープ張処理）
- ボード類　壁コーナー処理は、特記なき限りコーナー保護金物の上、ジョイントコンパウンド塗とする。
- LGS間仕切壁下地は、特記なき限りW65とし、高さ4．0mを超える部分はW100とする。
- 特記なき床ステンレス沓摺は、SUS冂－40×20×2（HL）とする。
- ビニル床シート張りは、熱溶接工法とする。
- WC内手摺は設備工事（下地補強建築工事）とする。

- 手すり、棚、設備機器などの取付壁面補強下地は耐水合板ァ12とする。114条区画（LGS間仕切）への補強は、スチールプレートとする。
- フローリングと壁取り合い部には、エキスパンションゴムを設け、床と巾木は床勝ちの納まりとすること。
- 参考メーカー品番及び認定番号は同等品以上とする。

【シックハウス対応策】

- 使用建材：F☆☆☆☆（天井、壁、建具仕上材、接着剤、下地共）
- 内部塗料は、F☆☆☆☆品　家具等F☆☆☆☆品
- クロルピリホス使用なし
- 石綿使用なし

【仕上記号略号】

記号	JIS番号	名称
NAD	K5670	アクリル樹脂系非水分散形塗料
SOP	K5516	合成樹脂調合ペイント
DP	K5658	耐候性塗料塗

- 使用建築材料：特記なき限りJIS・JAS認定品を使用すること。

【記号略号】

記号	名称
HL	ヘアライン
PB	石膏ボード
GW	グラスウール
LGS	軽量鉄骨下地

【防火認定番号】

PB（石膏ボード）ァ12．5	：NM－8619	＜不燃＞
硬質PB（石膏ボード）ァ12．5	：NM－9692	＜不燃＞
不燃化粧PBァ9．5	：NM－1864	＜不燃＞
抗菌メラミン不燃化粧板ァ3	：NM－2183	＜不燃＞
化粧PBァ9．5	：QM－9824	＜準不燃＞
ロックウール化粧吸音板ァ9	：NM－8599	＜不燃＞
塗料一般（NAD）（EP）	：NM－8585	＜不燃＞
114条区画 耐火壁	耐火間仕切壁：RC壁	耐火構造：平12建告1399
114条区画 耐火中空2重壁①	硬質PBァ9．5＋強化PBァ12．5（両面） LGS 65、100	耐火構造：FP060NP－0199
114条区画 耐火中空2重壁②	強化PBァ21＋硬質PBァ9．5（両面） LGS 65、100 GW：24㎏品/m3 ァ50	耐火構造：FP060NP－0198
114条区画 耐火中空2重壁③	耐火中空2重壁② LGS下地 強化PBァ21＋強化PBァ21（片面張）	耐火構造：FP060NP－0233
114条区画 耐火中空2重壁④	硬質PBァ9．5＋強化PBァ12．5（両面） LGS 100 GW：24㎏品/m3 ァ50	耐火構造：FP060NP－0200

【内装制限凡例】

- 不 仕上、下地共不燃材
- 不 仕上不燃材
- 準 仕上、下地共準不燃材以上
- 準 仕上準不燃材以上

特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-14（原図：A2）
				図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 内部仕上表No.3	縮尺 NS

＜特別教室棟Ｂ＞　外部仕上表（既設部）

部位	仕上	部位	仕上	部位		仕上
屋　上	塩ビシート防水　機械固定工法	外壁・柱	複層塗材Ｅ　（吹付）	ＥＸＰ・Ｊ		ステンレス製　１時間耐火仕様
パラペット	塩ビシート防水　密着工法	竪　樋	硬質塩化ビニル管（カラー）φ１００　支持金物：ステンレス製@１０００内外 横引ドレン：鋳鉄製　、飾枡：塩化ビニル製	開口部		カバー工法にて改修　（防火設備部分は耐火シーリングとする）
軒　天	外装薄塗材Ｅ　（吹付）	根回り	モルタル金コテ押エ	バルコニー	改修前	床、立上り：防水モルタル塗　手摺壁：複層塗材Ｅ　（吹付）　軒天：外壁薄塗材Ｅ　（吹付）
笠　木	アルミ防水押エ	犬　走	モルタル金コテ		改修後	床、立上り：水洗いの上ウレタン塗膜防水（Ｘ－２）　手摺壁、軒天：既設のまま

内部仕上表 No. 1

：既設仕上げを示す

階	室名	内装制限	改修前/改修後	床 記号	床 下地	床 仕上	巾木 記号	巾木 仕上	H	壁 記号	壁 下地	壁 仕上	梁型 記号	梁型 下地	梁型 仕上	天井 記号	天井 下地	天井 仕上	廻縁	室名札	ＣＨ	備考
1階	金工室		改修前		モルタル金コテ押エ	カラクリート仕上		カラクリート仕上	１００		モルタル金コテ押エ	サテン塗 ＶＰ塗		プラスター下地 撤去	サテン塗 撤去		木組下地　撤去 下り天井ＬＧＳ下地撤去	ＰＢァ９．５　目スカシ張　撤去	塩ビ 撤去		３，０００	
													WG50	ＬＧＳ下地	ＰＢ厚９．５下地　ＮＡＤ塗	C50	ＬＧＳ下地	化粧ＰＢ厚１２．５張	塩ビ			
	木工室		改修前		モルタル金コテ押エ	カラクリート仕上		カラクリート仕上	１００		モルタル金コテ押エ	サテン塗 ＶＰ塗		プラスター下地 撤去	サテン塗 撤去		木組下地　撤去 下り天井ＬＧＳ下地撤去	ＰＢ厚９．５　目スカシ張　撤去	塩ビ 撤去		３，０００	
													WG50	ＬＧＳ下地	ＰＢ厚９．５下地　ＮＡＤ塗	C50	ＬＧＳ下地	化粧ＰＢ厚１２．５張	塩ビ			
	金工・木工準備室		改修前		モルタル金コテ押エ	カラクリート仕上		カラクリート仕上	１００		モルタル金コテ押エ	サテン塗 ＶＰ塗		プラスター下地 撤去	サテン塗 撤去		木組下地　撤去 下り天井ＬＧＳ下地撤去	ＰＢ厚９．５　目スカシ張　撤去	塩ビ 撤去		３，０００	
													WG50	ＬＧＳ下地	ＰＢ厚９．５下地　ＮＡＤ塗	C50	ＬＧＳ下地	化粧ＰＢ厚１２．５張	塩ビ			
2階	第１理科室		改修前		モルタル金コテ押エ 撤去	カラクリート仕上 撤去 モルタル金コテ押エ 不陸部のみ		カラクリート仕上 撤去	１００		プラスター下地 既設のまま（一部撤去）	サテン塗 既設のまま（一部撤去）		プラスター下地 撤去	サテン塗 撤去		木組下地 撤去	有孔ＰＢ厚７．０張 撤去	塩ビ 撤去	○	３，０００	簡易生徒用ロッカー　撤去 実験用棚　撤去
			改修後	Ｆ５０	モルタル金コテ押エ	ビニル床シート厚２．０張（耐薬品）	BB50	ビニル巾木	１００	W50	ＬＧＳ下地	ＰＢ厚１２．５下地　ＮＡＤ塗	WG50	ＬＧＳ下地	ＰＢ厚９．５下地　ＮＡＤ塗	C50	ＬＧＳ下地	化粧ＰＢ厚１２．５張	塩ビ	○ 平付け	３，０００	実験台、実験用棚、流し台
										W51	ＬＧＳ下地	ＰＢ厚１２．５下地 耐水合板厚９　掲示クロス張										
										W52	下地調整（ＲＢ）	ＮＡＤ塗										
				ピット	シンダーコンクリート　厚８０ 溶接金網　φ６×１００×１００ 押出ポリスチレンフォーム 厚７５＋１００					W53	耐火中空２重壁②	耐水合板厚９　掲示クロス張										
										W54	耐火中空２重壁②	ＮＡＤ塗										
	準備室 暗室 ドラフト ↓ 第１理科準備室		改修前		モルタル金コテ押エ 撤去	カラクリート仕上 撤去		カラクリート仕上 撤去	１００		プラスター下地 既設のまま（一部撤去）	サテン塗 既設のまま（一部撤去）		プラスター下地 撤去	サテン塗 撤去		木組下地 撤去 木組下地 撤去	有孔ＰＢ厚７　目スカシ張 撤去 合板　目スカシ張 撤去				
			改修後	Ｆ５０	モルタル金コテ押エ厚４３	ビニル床シート厚２．０張（耐薬品）	BB50	ビニル巾木	１００	W55	モルタル金コテ押エ	ＮＡＤ塗	WG50	ＬＧＳ下地	ＰＢ厚９．５下地　ＮＡＤ塗	C50	ＬＧＳ下地	化粧ＰＢ厚１２．５張	塩ビ	○ 平付け	３，０００	実験台、実験用棚、流し台
										W54	耐火中空２重壁②	ＮＡＤ塗										
3階	第１音楽室	準	改修前		モルタル金コテ厚１８	複合フローリング厚１２直張		ビニル巾木	１００		木下地 ＧＷ２４㎏品厚２５	吸音ＰＢ厚１２．５　ＥＰ塗		ＬＧＳ下地	ロックウール吸音板厚１２張 ＰＢ厚９．５下地		ＬＧＳ下地	ロックウール吸音板厚１２張 ＰＢ厚９．５下地	塩ビ	○	３，０００	
											耐火中空２重壁②	吸音ＰＢ厚１２．５　ＥＰ塗										
											既設コンクリート下地	ＰＢ厚１２．５（ＧＬ工法） 吸音ＰＢ厚１２．５　ＥＰ塗										
	第１音楽準備室		改修前		モルタル金コテ押エ厚２８	ビニル床シート厚２．５張		ビニル巾木	１００		木下地 ＧＷ２４㎏品厚２５	有孔シナ合板厚５．５（寒冷紗張） 目スカシ張　ＯＳＣＬ		木下地	有孔シナ合板厚５．５ （寒冷紗張） 目スカシ張　ＯＳＣＬ		ＬＧＳ下地	ロックウール吸音板厚１２張 ＰＢ厚９．５下地	塩ビ	○	３，０００	
											耐火中空２重壁②	有孔シナ合板厚５．５（寒冷紗張） 目スカシ張　ＯＳＣＬ										
											既設コンクリート下地	ＰＢ厚１２．５（ＧＬ工法） 有孔シナ合板厚５．５（寒冷紗張） 目スカシ張　ＯＳＣＬ										
2・3階	廊下		改修前		モルタル下地 一部撤去	カラーローン厚３．０塗仕上 一部撤去		カラーローン塗 立上コーナーＲ仕上 一部撤去	１００		モルタル金コテ押エ 既設のまま	ＡＥＰ塗　撤去		モルタル下地 既設のまま	サテン塗 既設のまま		ＬＧＳ下地　撤去	化粧ＰＢ厚９．５張　撤去	塩ビ 撤去		３，０１５	
		準	改修後	Ｆ３	既設モルタル下地	弾性ウレタン樹脂塗床材 層間用プライマー 既設仕上面清掃（シンナー拭キ）	BB3	床同材立上	１００	W52	下地調整（ＲＢ）	ＮＡＤ塗				C1	ＬＧＳ下地	化粧ＰＢ厚１２．５張	塩ビ		２，７００	２階のみ改修対象範囲
										W56	ＬＧＳ下地	ＰＢァ１２．５　ＥＰ塗										

＜特記事項＞

- 壁ボード張部分は、ジョイントレス大壁工法とする。（寒冷紗・ジョイントテープ張処理）
- ボード類　壁コーナー処理は、特記なき限りコーナー保護金物の上、ジョイントコンパウンド塗とする。
- ＬＧＳ間仕切壁下地は、特記なき限りＷ６５とし、高さ４．０ｍを超える部分はＷ１００とする。
- 特記なき床ステンレス沓摺は、ＳＵＳ冂－４０×２０×２（ＨＬ）とする。
- ビニル床シート張りは、熱溶接工法とする。
- ＷＣ内手摺は設備工事（下地補強建築工事）とする。

- 手すり、棚、設備機器などの取付壁面補強下地は耐水合板ァ１２とする。
  １１４条区画（ＬＧＳ間仕切）への補強は、スチールプレートとする。
- フローリングと壁取り合い部には、エキスパンションゴムを設け、
  床と巾木は床勝ちの納まりとすること。
- 参考メーカー品番及び認定番号は同等品以上とする。

【シックハウス対応策】

- 使用建材：Ｆ☆☆☆☆（天井、壁、建具仕上材、接着剤、下地共）
- 内部塗料は、Ｆ☆☆☆☆品　家具等Ｆ☆☆☆☆品
- クロルピリホス使用なし

【仕上記号略号】

記号	ＪＩＳ番号	名称
NAD	K5670	アクリル樹脂系 非水分散形塗料
SOP	K5516	合成樹脂調合ペイント
DP	K5658	耐候性塗料塗

- 使用建築材料：特記なき限りＪＩＳ・ＪＡＳ認定品を使用すること。

【記号略号】

記号	名称
HL	ヘアライン
PB	石膏ボード
GW	グラスウール
LGS	軽量鉄骨下地

【防火認定番号】

ＰＢ（石膏ボード）ァ１２．５	：ＮＭ－８６１９	＜不燃＞
硬質ＰＢ（石膏ボード）ァ１２．５	：ＮＭ－９６９２	＜不燃＞
不燃化粧ＰＢァ９．５	：ＮＭ－１８６４	＜不燃＞
抗菌メラミン不燃化粧板ァ３	：ＮＭ－２１８３	＜不燃＞
吸音ＰＢァ１２．５	：ＱＭ－９８２７	＜準不燃＞
化粧ＰＢァ９．５	：ＱＭ－９８２４	＜準不燃＞
ロックウール化粧吸音板ァ１２	：ＮＭ－８５９９	＜不燃＞
塗料一般（ＮＡＤ）（ＥＰ）	：ＮＭ－８５８５	＜不燃＞

【内装制限凡例】

- 不　仕上、下地共不燃材
- 不　仕上不燃材
- 準　仕上、下地共準不燃材以上
- 準　仕上準不燃材以上

１１４条区画 耐火壁	耐火間仕切壁：ＲＣ壁	耐火構造：平１２建告１３９９
１１４条区画 耐火中空２重壁②	強化ＰＢァ２１＋硬質ＰＢァ９．５（両面） ＬＧＳ　６５、１００　ＧＷ：２４㎏品/ｍ３　ァ５０	耐火構造：ＦＰ０６０ＮＰ－０１９８

特記事項

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号　A-15（原図：A2）
	図面名称	＜特別教室棟Ｂ＞ 改修前　改修後　外部・内部仕上表	縮　尺　NS

＜普通教室棟＞　外部仕上表（既設部）

部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上
屋　上	塩ビシート防水　機械固定工法	軒　裏	外装薄塗材Ｅ　（吹付）	根回り	モルタル金コテ押エ
立　上	塩ビシート防水　密着工法	外　壁	複層塗材Ｅ　（吹付） 梁笠木：複層塗材Ｅ　（吹付）	犬　走	既設のまま
笠　木	アルミ防水押エ			建　具	カバー工法にて改修　（防火設備部分は耐火シーリングとする）
樋	硬質塩化ビニル管（カラー）φ１００　支持金物：ステンレス製@１０００内外 横引ドレン：鋳鉄製　、飾桝：塩化ビニル製	庇	ウレタン系塗膜防水　アルミ防水押エ	ＥＸＰ・Ｊ	ステンレス製　１時間耐火仕様
パラペット	複層塗材Ｅ　（吹付）	庇　裏	ケイカル板ァ６　目スカシ張　外装薄塗材Ｅ吹付　アルミ廻縁	外部階段	鉄骨造　ＤＰ塗

内部仕上表 No. 1

：既設仕上げを示す　▲：アスベスト含有建材を示す

階	室名	内装制限	改修前/改後	床 記号	床 下地	床 仕上	巾木 記号	巾木 仕上	巾木 H	壁 記号	壁 下地	壁 仕上	梁型 記号	梁型 下地	梁型 仕上	天井 記号	天井 下地	天井 仕上	廻縁	室名札	CH	備考
1階	国際教室		改修前		モルタル下地 既設のまま	フローリングブロック（ナラ）OSW塗 既設のまま		米栂　SOP塗	100		モルタル金コテ 既設のまま	AEP塗　既設のまま						化粧PBァ9張　既設のまま	塩ビ	○	2，700	
											＜仮設間仕切＞ LGS下地　既設のまま	PB厚12．5　既設のまま										
	昇降口		改修前		モルタル下地 既設のまま	磁器質100角タイル張 既設のまま		テラゾブロック厚30 既設のまま	100		モルタル金コテ押エ 既設のまま	AEP塗　既設のまま						化粧PBァ9．5張　既設のまま	塩ビ	○	2,900	
					モルタル下地 既設のまま	ビニル床シート厚2．5張 既設のまま																
	廊下		改修前		モルタル金コテ押エ 既設のまま	ビニル床タイル厚2．0張 撤去		米栂　SOP塗	100		モルタル金コテ　撤去	AEP塗　撤去					LGS下地　撤去	化粧PB厚9張　撤去	塩ビ 撤去		2，860	
	研修室		改修前		モルタル下地	複合フローリング厚12直張（塗装品）		米栂　SOP塗	100		既設コンクリート下地	モルタル金コテ押エ　NAD塗					LGS下地	化粧PB厚9．5張	塩ビ		2，700	
											LGS下地	PB厚12．5　EP塗										
											耐火中空2重壁①	NAD塗										
	更衣室		改修前		モルタル下地	複合フローリング厚12直張（塗装品）		米栂　SOP塗	100		既設コンクリート下地	モルタル金コテ押エ　NAD塗					LGS下地	化粧PB厚9．5張	塩ビ		2，700	
											LGS下地	PB厚12．5　NAD塗										
											耐火中空2重壁①	NAD塗										
2階	普通教室		改修前		モルタル下地　撤去	フローリングブロック（ナラ）OSW塗 撤去		米栂　SOP塗 撤去	100		モルタル金コテ　既設のまま	AEP塗　既設のまま		木組下地	シナ合板厚6　目スカシ張 SOP塗　撤去		LGS下地　撤去	化粧PB厚9張　撤去	塩ビ 撤去	○	3，030	
			改修後	F30	モルタル下地	複合フローリング厚12直張（塗装品）	BB30	木製巾木撤去跡 モルタル金コテ押え後 ビニル巾木	100	W31	木製間仕切り撤去跡モルタル金コテ押え後	下地調整（RB）の上　NAD塗	WG30	LGSW25下地	PB厚9．5 NAD塗	C30	LGS下地	化粧PB厚9．5張	塩ビ	○ 平付け	3，030	
										W32	LGS下地	PB厚12．5　NAD塗										
										W33	耐火中空2重壁①	NAD塗										
										W34	既設のまま	下地調整（RB）の上　NAD塗	WG31	LGSW25下地	PB厚12．5 NAD塗							
										W36	LGS下地	PB厚12．5　耐水合板厚9下地 掲示クロス張										
	廊下		改修前		モルタル金コテ押エ 既設のまま	▲　ビニル床タイル厚2．0張 撤去		米栂　SOP塗	100		モルタル金コテ　既設のまま	AEP塗　既設のまま					LGS下地　撤去	化粧PB厚9張　撤去	塩ビ 撤去		2，860	
			改修後	F32	下地調整	ビニル床シート厚2．5張	BB32	下地調整（RB）の上 SOP塗	100	W31	下地調整（RB）	NAD塗				C30	LGS下地	化粧PB厚9．5張	塩ビ		2，700	
3階	普通教室		改修前		モルタル下地	複合フローリング厚12直張（塗装品）		ビニル巾木	100		既設コンクリート下地	モルタル金コテ押エ　NAD塗		LGS下地	PB厚12．5 NAD塗		LGS下地	化粧PB厚9．5張	塩ビ	○	3，030	
											LGS下地	PB厚12．5　NAD塗										
											耐火中空2重壁①	NAD塗										
											LGS下地	PB厚12．5 耐水合板厚9下地　掲示クロス張										
	廊下		改修前		既設下地調整の上	ビニル床シート厚2．5張		米栂　SOP塗	100		既設コンクリート下地	モルタル金コテ押エ　NAD塗					LGS下地	化粧PB厚9．5張	塩ビ		2，700	
2・3階	男子便所3・4 女子便所3・4		改修前		シンダーコンクリート厚80 金コテ押エ ワイヤメッシュφ6　100目 押出法ポリスチレンフォーム 厚75＋40 均シモルタルァ28	トイレ用防滑性ノーワックス ビニル床シート厚2．5張		床同材巻上げ 樹脂製見切り縁	200		既設コンクリート下地	抗菌メラミン不燃化粧板厚3張 PB厚12．5（GL工法）					LGS下地	化粧PB厚9．5張	塩ビ	ピクトサイン	2，550	
											LGS下地	抗菌メラミン不燃化粧板厚3張 PB厚12．5										

＜特記事項＞

- 壁ボード張部分は、ジョイントレス大壁工法とする。（寒冷紗・ジョイントテープ張処理）
- ボード類　壁コーナー処理は、特記なき限りコーナー保護金物の上、ジョイントコンパウンド塗とする。
- ＬＧＳ間仕切壁下地は、特記なき限りＷ６５とし、高さ４．０ｍを超える部分はＷ１００とする。
- 特記なき床ステンレス沓摺は、ＳＵＳ冂－４０×２０×２（ＨＬ）とする。
- ビニル床シート張りは、熱溶接工法とする。
- ＷＣ内手摺は設備工事（下地補強建築工事）とする。

- 手すり、棚、設備機器などの取付壁面補強下地は耐水合板ァ１２とする。
  １１４条区画（ＬＧＳ間仕切）への補強は、スチールプレートとする。
- フローリングと壁取り合い部には、エキスパンションゴムを設け、
  床と巾木は床勝ちの納まりとすること。
- 参考メーカー品番及び認定番号は同等品以上とする。

【シックハウス対応策】

- クロルピリホス使用なし

【仕上記号略号】

記号	ＪＩＳ番号	名称
NAD	K5670	アクリル樹脂系 非水分散形塗料
SOP	K5516	合成樹脂調合ペイント
DP	K5658	耐候性塗料塗

- 使用建材：Ｆ☆☆☆☆（天井、壁、建具仕上材、接着剤、下地共）
- 使用建築材料：特記なき限りＪＩＳ・ＪＡＳ認定品を使用すること。

【記号略号】

記号	名称
HL	ヘアライン
PB	石膏ボード
GW	グラスウール
LGS	軽量鉄骨下地

【防火認定番号】

ＰＢ（石膏ボード）ァ12．5	：NM－8619	＜不燃＞
硬質ＰＢ（石膏ボード）ァ12．5	：NM－9692	＜不燃＞
不燃化粧ＰＢァ9．5	：NM－1864	＜不燃＞
抗菌メラミン不燃化粧板ァ3	：NM－2183	＜不燃＞
１１４条区画 耐火壁	耐火間仕切壁：ＲＣ壁	
１１４条区画 耐火中空２重壁①	硬質ＰＢァ9．5＋強化ＰＢァ12．5（両面） ＬＧＳ　65、100	

【内装制限凡例】

- 不　仕上、下地共不燃材
- 不　仕上不燃材
- 準　仕上、下地共準不燃材以上
- 準　仕上準不燃材以上
- 耐火構造：平１２建告１３９９
- 耐火構造：ＦＰ０６０ＮＰ－０１９９

特記事項	

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-16（原図：A2）
	図面名称	＜普通教室棟＞ 改修前 改修後 外部・内部仕上表	縮尺	NS

＜特別教室棟Ａ＞　外部仕上表（既設部）

部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上
屋　上	塩ビシート防水　機械固定工法	外壁・柱	外装薄塗材Ｅ　（吹付）	ＥＸＰ．Ｊ	ステンレス製　１時間耐火仕様
笠　木	防水押エ　アルミ製	根回り	モルタル金コテ押エ	笠　木	アルミ防水押エ
軒　天	外装薄塗材Ｅ　（吹付）	犬　走	モルタル金コテ		
竪　樋	ＳＧＰ　１００Ａ　ＳＯＰ塗　　金物@１２００	開口部	カバー工法にて改修　（防火設備部分は耐火シーリングとする）		

内部仕上表 No. 1

：既設仕上げを示す

階	室名	内装制限	改修前/改修後	床 記号	床 下地	床 仕上	巾木 記号	巾木 仕上	巾木 H	壁 記号	壁 下地	壁 仕上	梁型 記号	梁型 下地	梁型 仕上	天井 記号	天井 下地	天井 仕上	廻縁	室名札	ＣＨ	備考
1階	美術室		改修前		モルタル金コテ下地 既設のまま	ビニル系タイル厚２．０張 既設のまま		米栂　ＳＯＰ塗 既設のまま	１００		モルタル金コテ仕上 既設のまま	ＡＥＰ塗 既設のまま		木組下地 既設のまま	シナベニヤ厚４ 目スカシ張　ＳＯＰ塗 既設のまま		ＬＧＳ下地 既設のまま	化粧ＰＢ厚９張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	○	３，０５０	
			改修後			――――		――――				――――			――――			――――				
2階	美技術室 ↓ 普通教室（１-１）		改修前		モルタル金コテ下地 既設のまま	モザイクパーケット厚８．０張 既設のまま		米栂　ＳＯＰ塗 既設のまま	１００		モルタル金コテ仕上 既設のまま	ＡＥＰ塗 既設のまま		木組下地 既設のまま	シナベニヤ厚４ 目スカシ張　ＳＯＰ塗 既設のまま		ＬＧＳ下地 既設のまま	化粧ＰＢ厚９張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	○	３，０５０	
			改修後			――――						――――			――――			――――				
	特別支援学級１		改修前		木床組	ビニル系タイル厚２．０張 既設のまま 耐水合板厚１２　ブナフローリング厚１５ 既設のまま		木製巾木 既設のまま	１００			有孔シナ合板厚５．５　目スカシ張 既設のまま			シナ合板厚４張 既設のまま		ＬＧＳ下地 既設のまま	ＰＢ厚９捨張 岩綿吸音板厚９張 既設のまま	塩ビ	○	３，０５０	
			改修後			――――		――――				――――			――――			――――				
	特別支援学級２		改修前			モルタル金コテ仕上 既設のまま		木製巾木 既設のまま	１００			モルタル金コテ仕上 既設のまま			モルタル金コテ仕上 既設のまま		ＬＧＳ下地 既設のまま	化粧ＰＢ厚９張 既設のまま	塩ビ	○	３，０５０	
			改修後			――――		――――				――――			――――			――――				
	視聴覚室 ↓ パソコン室		改修前		モルタル金コテ下地 既設のまま	カーペット厚４敷 既設のまま		米栂　ＳＯＰ塗 既設のまま	１００		木組下地 既設のまま	有孔シナ合板厚５．５　目スカシ ＧＷ厚５０充填　撤去		木組下地 既設のまま	有孔ボード張　撤去		ＬＧＳ下地 一部撤去	ＰＢ厚９捨張 岩綿吸音板厚９張　一部撤去	塩ビ 既設のまま	○	３，０５０	
		準	改修後			――――		――――			木組下地 既設のまま	ＰＢ厚１２．５　ＥＰ塗		木組下地	ＰＢ厚１２．５　ＥＰ塗			――――				

＜特記事項＞

- 壁ボード張部分は、ジョイントレス大壁工法とする。（寒冷紗・ジョイントテープ張処理）
- ボード類　壁コーナー処理は、特記なき限りコーナー保護金物の上、ジョイントコンパウンド塗とする。
- ＬＧＳ間仕切壁下地は、特記なき限りＷ６５とし、高さ４．０ｍを超える部分はＷ１００とする。
- 特記なき床ステンレス沓摺は、ＳＵＳ┗━４０×２０×２（ＨＬ）とする。
- ビニル床シート張りは、熱溶接工法とする。
- ＷＣ内手摺は設備工事（下地補強建築工事）とする。

- 手すり、棚、設備機器などの取付壁面補強下地は耐水合板ァ１２とする。
  １１４条区画（ＬＧＳ間仕切）への補強は、スチールプレートとする。
- フローリングと壁取り合い部には、エキスパンションゴムを設け、
  床と巾木は床勝ちの納まりとすること。
- 参考メーカー品番及び認定番号は同等品以上とする。

【シックハウス対応策】

- 使用建材：Ｆ☆☆☆☆（天井、壁、建具仕上材、接着剤、下地共）
- 内部塗料は、Ｆ☆☆☆☆品　家具等Ｆ☆☆☆☆品
- クロルピリホス使用なし

【仕上記号略号】

記号	ＪＩＳ番号	名称
ＮＡＤ	Ｋ５６７０	アクリル樹脂系 非水分散形塗料
ＳＯＰ	Ｋ５５１６	合成樹脂調合ペイント
ＤＰ	Ｋ５６５８	耐候性塗料塗

- 使用建築材料：特記なき限りＪＩＳ・ＪＡＳ認定品を使用すること。

【記号略号】

記号	名称
ＨＬ	ヘアライン
ＰＢ	石膏ボード
ＧＷ	グラスウール
ＬＧＳ	軽量鉄骨下地

【防火認定番号】

ＰＢ（石膏ボード）ァ１２．５	：ＮＭ－８６１９	＜不燃＞
硬質ＰＢ（石膏ボード）ァ１２．５	：ＮＭ－９６９２	＜不燃＞
不燃化粧ＰＢァ９．５	：ＮＭ－１８６４	＜不燃＞
抗菌メラミン不燃化粧板ァ３	：ＮＭ－２１８３	＜不燃＞
塗料一般（ＥＰ）	：ＮＭ－８５８５	＜不燃＞

１１４条区画 耐火壁	耐火間仕切壁：ＲＣ壁
１１４条区画 耐火中空２重壁①	硬質ＰＢァ９．５＋強化ＰＢァ１２．５（両面） ＬＧＳ　６５、１００

【内装制限凡例】

- 不　仕上、下地共不燃材
- 不　仕上不燃材
- 準　仕上、下地共準不燃材以上
- 準　仕上準不燃材以上

耐火構造：平１２建告１３９９

耐火構造：ＦＰ０６０ＮＰ－０１９９

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社　前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事
				図面名称	＜特別教室棟Ａ＞ 改修前　改修後　外部・内部仕上表

図面番号	A-17 （原図：A2）
縮尺	NS

＜渡り廊下＞　外部仕上表　（網掛け）：既設仕上げを示す

部位		仕上
屋　根	改修前	丸馳折板葺　H＝１６６
	改修後	下地調整ＲＢ種　錆止め塗料塗　ＤＰ塗
笠　木	改修前	カラーアルミ　W＝１８０
	改修後	既設のまま（清掃）
外　壁	改修前	ＡＬＣァ５０下地　吹付タイル　　目地シーリング　撤去
	改修後	高圧水洗浄　下地調整Ｃ－１　複層塗材Ｅ（ゆず肌）　　目地シーリング　新設（ＭＳ－２） ２液型セラミック複合弾性フッ素樹脂塗料塗

部位		仕上
柱　梁	改修前	コンクリート打放の上　吹付タイル
	改修後	水洗い　下地調整Ｃ－１　複層塗材Ｅ（ゆず肌） ２液型セラミック複合弾性フッ素樹脂塗料塗
あげ裏	改修前	ＬＧＳ下地　フレキシブルボード張ァ５下地　吹付タイル アルミ廻り縁：既設のまま
	改修後	下地調整（ＲＢ）の上　外装薄塗材Ｅ（ゆず肌）
サッシ	改修前	２連嵌殺シアルミサッシ　W＝１６００　H＝６００　　サッシ周りシーリング撤去
	改修後	サッシ廻りシーリング　新設　（ＭＳ－２）

部位		仕上
水　切	改修前	アルミ製水切
	改修後	既設のまま

内部仕上表　（網掛け）：既設仕上げを示す　▲：アスベスト含有建材を示す

階	室名	内装制限	改修前／改修後	床 記号	床 下地	床 仕上	巾木 記号	巾木 仕上	H	壁 記号	壁 下地	壁 仕上	梁型 記号	梁型 下地	梁型 仕上	天井 記号	天井 下地	天井 仕上	廻縁	室名札	ＣＨ	備考
２階	廊　下		改修前		モルタル下地ァ３０　既設のまま	防滑性ビニル床シート張　撤去					窯業系サイディング厚１２ 横張りフラット無塗装品　撤去	ＶＰ塗　撤去										
			改修前		モルタル下地ァ３０　既設のまま	カラートップ仕上（防滑工法）　撤去		スチール厚１．６ ＳＯＰ塗	５０ ～ １００			アルミカラー		鉄骨			ＬＧＳ下地　撤去	▲　フレキシブル吸音板厚４張 ＶＰ塗　撤去	アルミ 撤去		２，２００ ～ ２，２５０	ＳＵＳ製ノンスリップ：撤去
			改修前		スチールァ６	ＳＯＰ塗					ベニヤ張　撤去	ＶＰ塗　撤去										
			改修後	Ｆ１	既設のまま	下地調整の上　防滑性ビニル床シート厚２．５張 （屋外対応品）				Ｗ１	窯業系サイディング厚１２ 横張りフラット無塗装品	ＤＰ塗										
			改修後	Ｆ２	既設のまま	下地調整の上　防滑性ビニル床シート厚２．５張 （屋外対応品）	BB1	下地調整ＲＢ種 錆止め塗料塗 ＤＰ塗	５０ ～ １００	Ｗ２		既設のまま		下地調整ＲＢ種	錆止め塗料塗	Ｃ１	ＬＧＳ下地	ケイカル板　厚６　ＥＰ塗	アルミ		２，２００ ～ ２，２５０	ＳＵＳ製ノンスリップ：新設
			改修後	Ｆ３	下地調整ＲＢ種	錆止め塗料塗　ＤＰ塗				Ｗ３	窯業系サイディング厚１２ 横張りフラット無塗装品	ＤＰ塗										

＜屋内運動場＞　外部仕上表　（網掛け）：既設仕上げを示す　▲：アスベスト含有建材を示す

部位		仕上
ピロティ 天　井	改修前	ケイカル板厚８下地　　▲　大平板厚６張　撤去 外装薄塗材Ｅ　撤去
	改修後	ケイカル板厚８下地　大平板厚６張 外装薄塗材Ｅ
玄　関 ポーチ	改修前	床：磁器質１００角タイル張　一部撤去　　クツ拭ゴム製マット　撤去：W１２００×Ｌ６００
	改修後	床：磁器質１００角タイル張　　ステンレス製マット（細目地）：W１２００×Ｌ６００
外部手摺	改修前	スチール製　手摺
	改修後	下地調整ＲＢ種　錆止め塗料塗　ＤＰ塗

部位		仕上
スロープ 手　摺	改修前	スチール製　手摺
	改修後	下地調整ＲＢ種　錆止め塗料塗　ＤＰ塗
サッシ	改修前	アルミサッシ、アルミドア　撤去　　シーリング　撤去
	改修後	新設（防火設備部分は耐火シーリングとする）

部位		仕上

内部仕上表　（網掛け）：既設仕上げを示す

階	室名	内装制限	改修前／改修後	床 記号	床 下地	床 仕上	巾木 記号	巾木 仕上	H	壁 記号	壁 下地	壁 仕上	梁型 記号	梁型 下地	梁型 仕上	天井 記号	天井 下地	天井 仕上	廻縁	室名札	ＣＨ	備考
２階	玄関		改修前		モルタル下地　一部撤去	磁器質１００角タイル張　一部撤去																
			改修後		木床組　耐水合板厚１２×２	ビニル床シート厚２．５（防滑性）																
	男子便所 多機能便所 女子便所		改修前		モルタル下地　撤去 シンダーコンクリート　撤去	磁器質モザイクタイル２５角張　撤去					モルタル下地　撤去	半磁器質１００角タイル張　撤去 腰壁：ＶＥ塗		モルタル金コテ押エ 既設のまま	ＶＥ塗		ＬＧＳ下地　撤去	化粧ＰＢ厚９張　撤去	塩ビ 撤去	○	２，４００	
			改修後	Ｆ１	シンダーコンクリート厚６０金コテ押エ ワイヤメッシュφ６　１００目 押出法ポリスチレンフォーム厚４０＋５０	ビニル床シート厚２．５張 トイレ用防滑性ノーワックス	BB1	床同材巻上げ 樹脂製見切り縁	２００	Ｗ１	既設コンクリート下地	抗菌メラミン不燃化粧板厚３張 ＰＢ厚１２．５（ＧＬ工法）	WG1	モルタル金コテ押エ 既設のまま 下地調整の上	ＮＡＤ塗	Ｃ１	ＬＧＳ下地	化粧ＰＢ厚９．５張	塩ビ	突出し ピクト サイン	２，３００	
										Ｗ２	ＬＧＳ下地	抗菌メラミン不燃化粧板厚３張 ＰＢ厚１２．５										
	男子手洗い 女子手洗い		改修前		モルタル下地	ビニル床シート厚２．０　撤去		ビニル巾木	７５		モルタル金コテ下地　一部撤去	ＡＥＰ塗　撤去		モルタル金コテ押エ 既設のまま	ＡＥＰ塗		ＬＧＳ下地　一部撤去	化粧ＰＢ厚９張　一部撤去	塩ビ 一部撤去		２，６００	
			改修後	Ｆ２	既設のまま	ビニル床シート厚２．５張 トイレ用防滑性ノーワックス	BB2	ソフト巾木	７５	Ｗ３	既設のまま	ＮＡＤ塗	WG1	モルタル金コテ押エ 既設のまま 下地調整の上	ＮＡＤ塗	Ｃ１	ＬＧＳ下地	化粧ＰＢ厚９．５張	塩ビ		２，６００	
										Ｗ４	ＬＧＳ下地	ＰＢ厚１２．５下地　ＮＡＤ塗										

＜特記事項＞

- 壁ボード張部分は、ジョイントレス大壁工法とする。（寒冷紗・ジョイントテープ張処理）
- ボード類　壁コーナー処理は、特記なき限りコーナー保護金物の上、ジョイントコンパウンド塗とする。
- ＬＧＳ間仕切壁下地は、特記なき限りW６５とし、高さ４．０mを超える部分はW１００とする。
- 特記なき床ステンレス沓摺は、ＳＵＳ⊓－４０×２０×２（ＨＬ）とする。
- ビニル床シート張りは、熱溶接工法とする。
- WC内手摺は設備工事（下地補強建築工事）とする。
- 手すり、棚、設備機器などの取付壁面補強下地は耐水合板ァ１２とする。
１１４条区画（ＬＧＳ間仕切）への補強は、スチールプレートとする。
- フローリングと壁取り合い部には、エキスパンションゴムを設け、
床と巾木は床勝ちの納まりとすること。
- 参考メーカー品番及び認定番号は同等品以上とする。

【シックハウス対応策】

- 使用建材：Ｆ☆☆☆☆（天井、壁、建具仕上材、接着剤、下地共）
- 内部塗料は、Ｆ☆☆☆☆品　家具等Ｆ☆☆☆☆品
- クロルピリホス使用なし

【仕上記号略号】

記号	ＪＩＳ番号	名称
ＮＡＤ	Ｋ５６７０	アクリル樹脂系 非水分散形塗料
ＳＯＰ	Ｋ５５１６	合成樹脂調合ペイント
ＤＰ	Ｋ５６５８	耐候性塗料塗

- 使用建築材料：特記なき限りＪＩＳ・ＪＡＳ認定品を使用すること。

【記号略号】

記号	名称
ＨＬ	ヘアライン
ＰＢ	石膏ボード
ＧＷ	グラスウール
ＬＧＳ	軽量鉄骨下地

【防火認定番号】

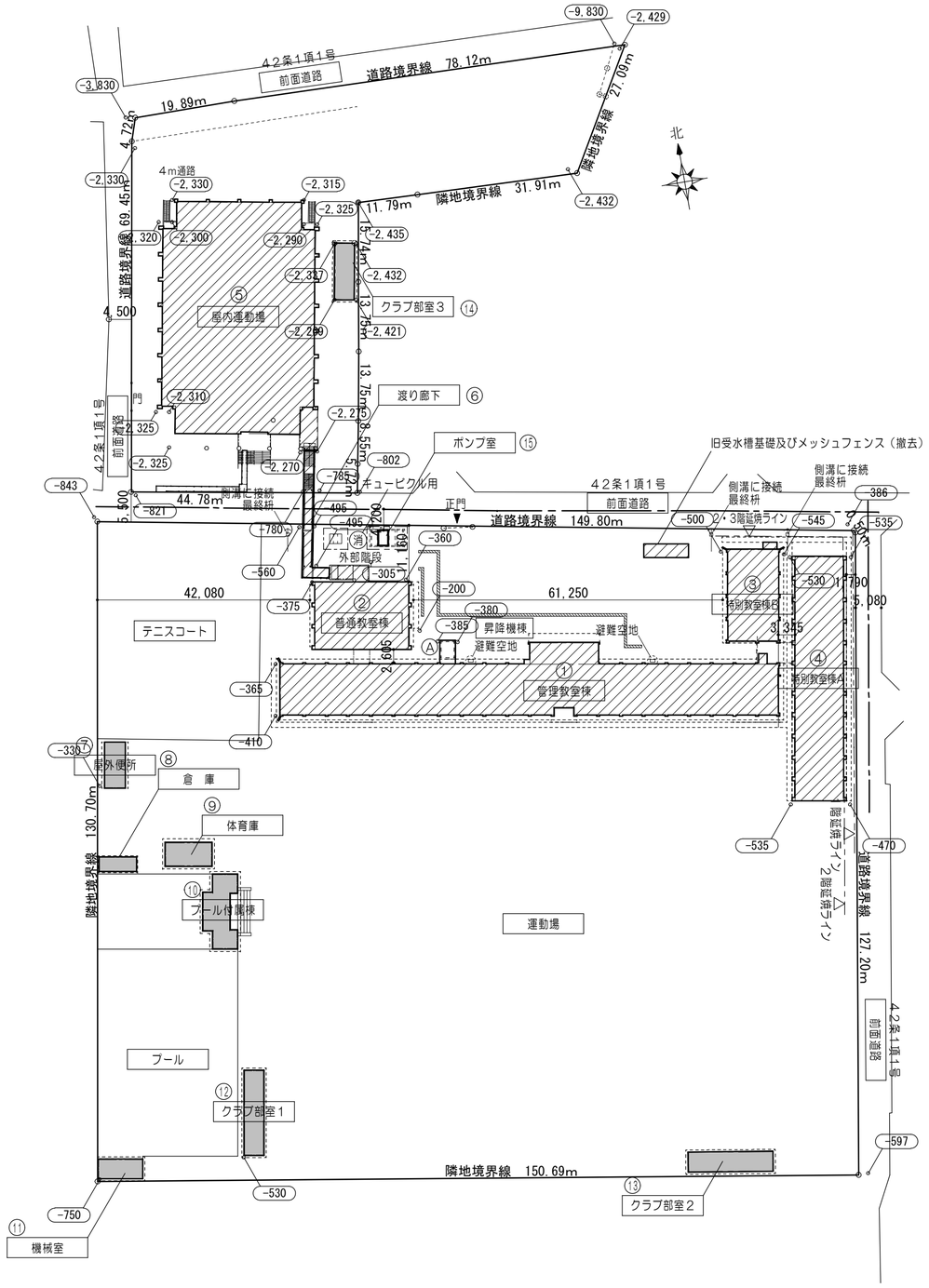
ＰＢ（石膏ボード）ァ１２．５	：ＮＭ－８６１９	＜不燃＞
硬質ＰＢ（石膏ボード）ァ１２．５	：ＮＭ－９６９２	＜不燃＞
不燃化粧ＰＢァ９．５	：ＮＭ－１８６４	＜不燃＞
抗菌メラミン不燃化粧板ァ３	：ＮＭ－２１８３	＜不燃＞
塗料一般（ＥＰ）	：ＮＭ－８５８５	＜不燃＞

【内装制限凡例】

◎不	仕上、下地共不燃材
○不	仕上不燃材
◎準	仕上、下地共準不燃材以上
○準	仕上準不燃材以上

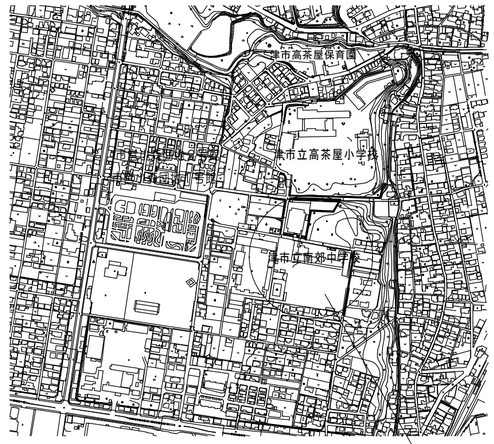
特記事項

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社　前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号　水谷　浩	設計年月日
工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号：A-18（原図：A2）
図面名称	＜渡り廊下＞＜屋内運動場＞　改修前　改修後　外部・内部仕上表	縮尺：NS



配置図　1/800

凡例	
	増築建物を示す
	改修建物を示す
	既存建物・既存施設を示す
	アスファルト又はコンクリート土間撤去を示す（幅500㎜程度）
+100	KBMからのレベルを示す
FL=770	FLはKBMからのレベルを示す



付近見取図

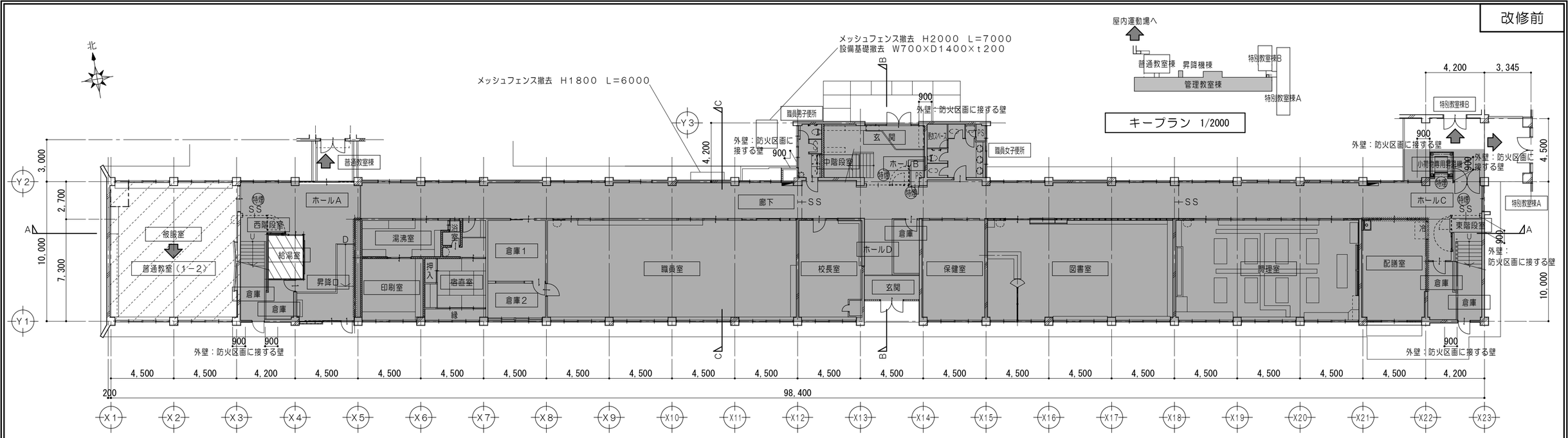
申請地
津市高茶屋４丁目４４番１号

面積表

	番号	棟名	建築面積（㎡）	延床面積（㎡）	床面積（㎡） 1階	2階	3階	PH1階
許可済部分	A	昇降機棟	14.71	44.13	14.71	14.71	14.71	—
	1	管理教室棟	1,077.78	3,208.90	1,047.07	1,053.24	1,053.24	55.35
	2	普通教室棟	282.51	760.59	253.53	253.53	253.53	—
	3	特別教室棟B	193.84	574.10	193.84	190.13	190.13	—
	4	特別教室棟A	472.09	944.18	472.09	472.09	—	—
	5	屋内運動場	1,469.84	2,913.37	1,334.28	1,312.68	266.41	—
	6	渡り廊下	57.30	57.30	—	57.30	—	—
	7	屋外便所	36.40	36.40	36.40	—	—	—
	8	倉庫	19.87	19.87	19.87	—	—	—
	9	体育庫	41.18	41.18	41.18	—	—	—
	10	プール付属棟	73.25	73.25	73.25	—	—	—
	11	機械室	32.29	32.29	32.29	—	—	—
	12	クラブ部室1	62.44	62.44	62.44	—	—	—
	13	クラブ部室2	62.44	62.44	62.44	—	—	—
	14	クラブ部室3	41.44	41.44	41.44	—	—	—
小計			3,937.38	8,871.88	3,684.83	3,353.68	1,778.02	55.35
申請建物	15	ポンプ室	6.00	6.00	6.00	—	—	—
小計			6.00	6.00	6.00	—	—	—
合計			3,943.38	8,877.88	3,690.83	3,353.68	1,778.02	55.35

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-19 （原図：A2）
				図面名称	配置図・付近見取図	縮尺	1/800

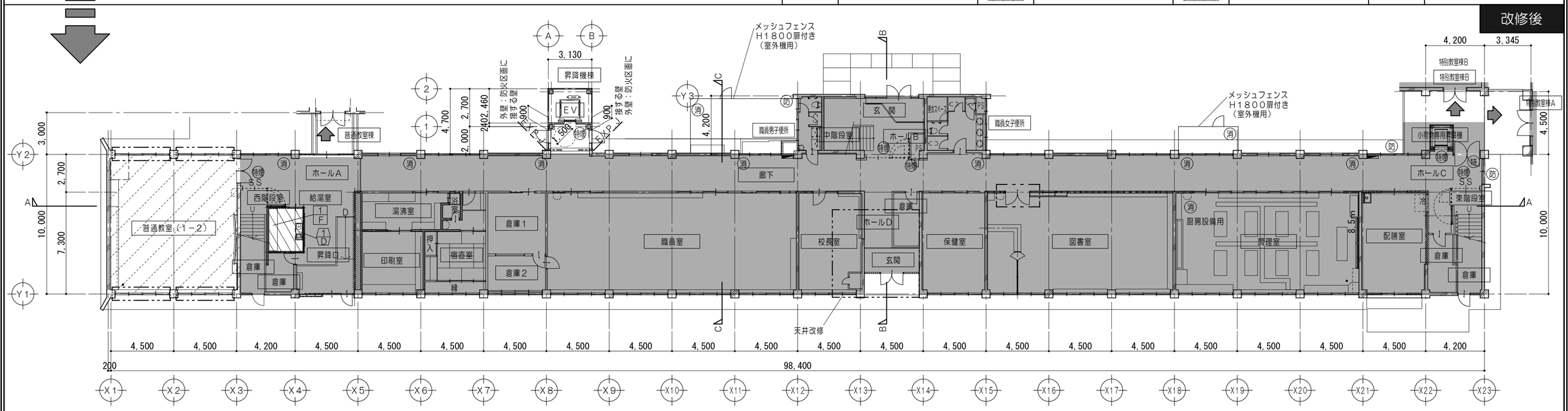
改修前



1 階 平 面 図　1/200

凡 例							
	既設のままを示す		既設のまま（仮設教室）を示す		全面改修範囲を示す		
			一部改修（仮設教室）を示す		簡易改修範囲を示す	―・―	延焼ライン

改修後



1 階 平 面 図　1/200

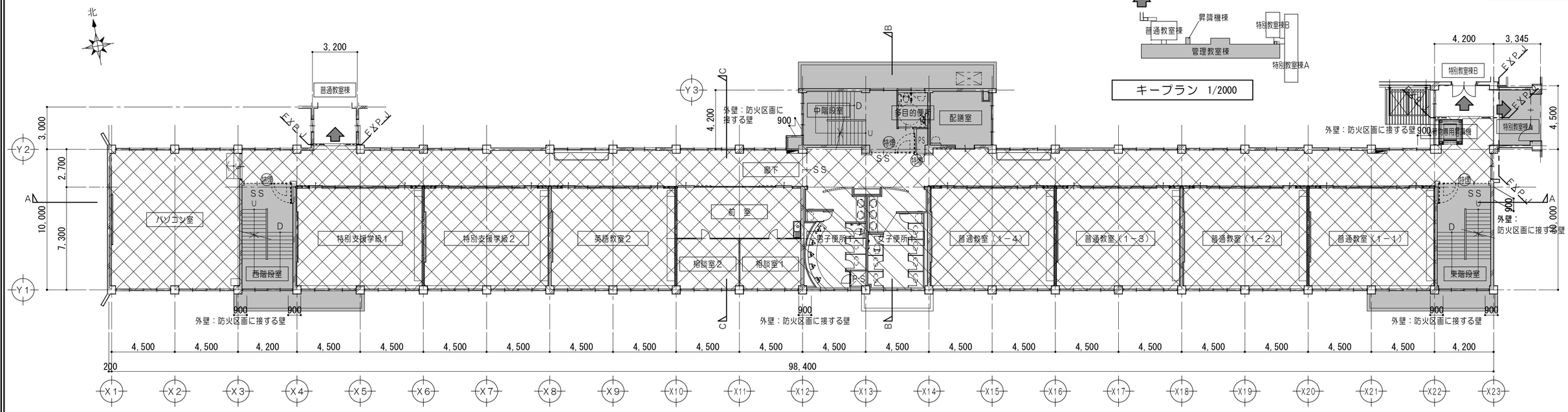
凡 例											
	既設のままを示す		簡易改修範囲を示す		RC壁を示す		LGS壁を示す		CB壁を示す	消	消火器（ABC粉末10型）※消防用設備等については、消防法施行令及び同規則の通り設置する。
	既設のまま（仮設教室）を示す		令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：RC壁 平12建告1399		令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP－0199	防	防火設備を示す	特煙	特定防火設備を示す（遮煙）		
	夏休み工事を示す					特	特定防火設備を示す	―・―	延焼ライン		屋内消火栓（機械設備工事）

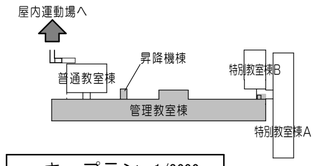
特記事項	・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照
	・家具撤去については既設家具詳細図参照
	・内装改修については平面詳細図参照
	・外部改修については立面図参照

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

設計年月日		工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-20（原図：A2）
		図面名称	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修前 改修後 1階平面図	縮尺	1/200

改修前





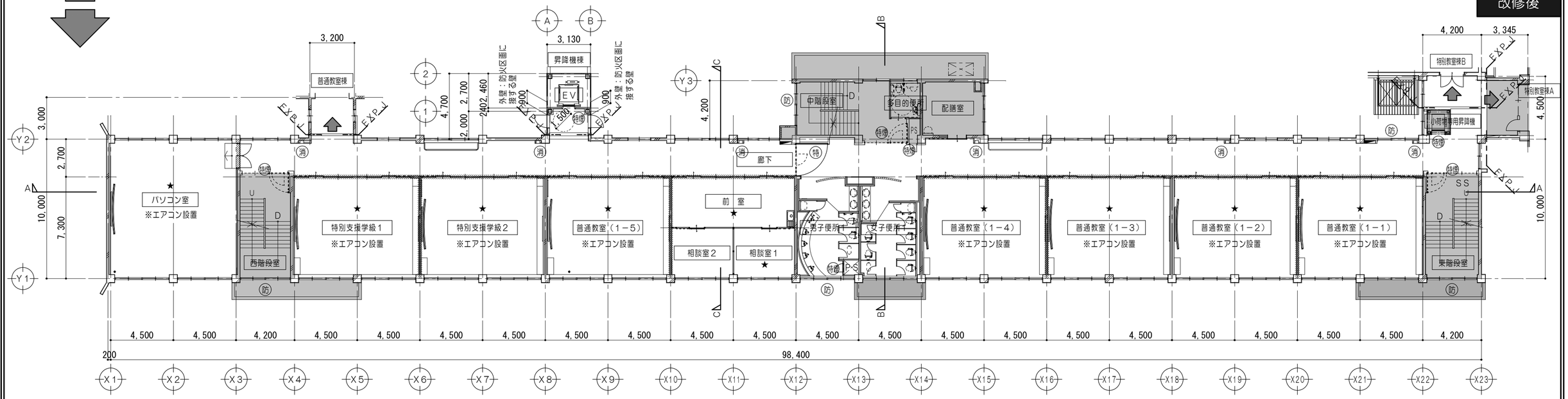
キープラン　1/2000

２階平面図　1/200

凡　例

	既設のままを示す		既設のまま（仮設教室）を示す		全面改修範囲を示す		夏休み工事を示す
			一部改修（仮設教室）を示す		簡易改修範囲を示す	— - —	延焼ライン

改修後



２階平面図　1/200

凡　例

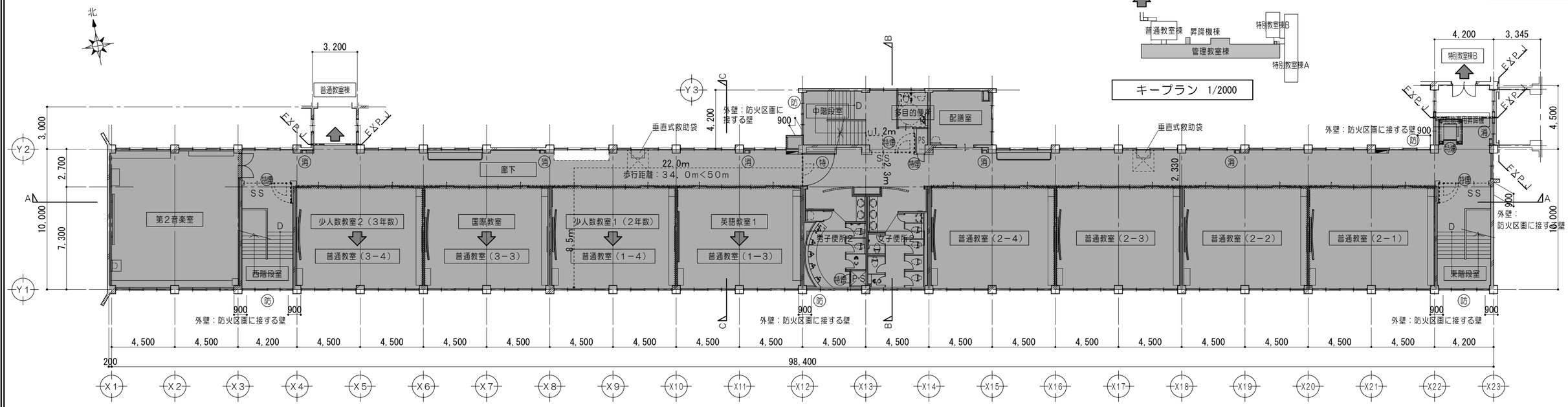
	既設のままを示す		RC壁を示す		LGS壁を示す		CB壁を示す	特	特定防火設備を示す（遮煙）	消	消火器（ABC粉末10型）※消防用設備等については、消防法施行令及び同規則の通り設置する。
	既設のまま（仮設教室）を示す		令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：RC壁 平12建告1399		令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP－0199	防	防火設備を示す	— - —	延焼ライン		
						特	特定防火設備を示す		屋内消火栓（機械設備工事）	★	室内空気汚染物質測定箇所を示す

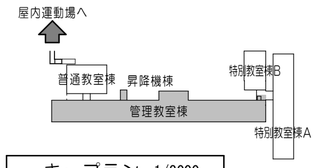
特記事項	・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照 ・家具撤去については既設家具詳細図参照 ・内装改修については平面詳細図参照 ・外部改修については立面図参照

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-21（原図：A2）
	図面名称	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修前 改修後 ２階平面図	縮尺 1/200

改修前





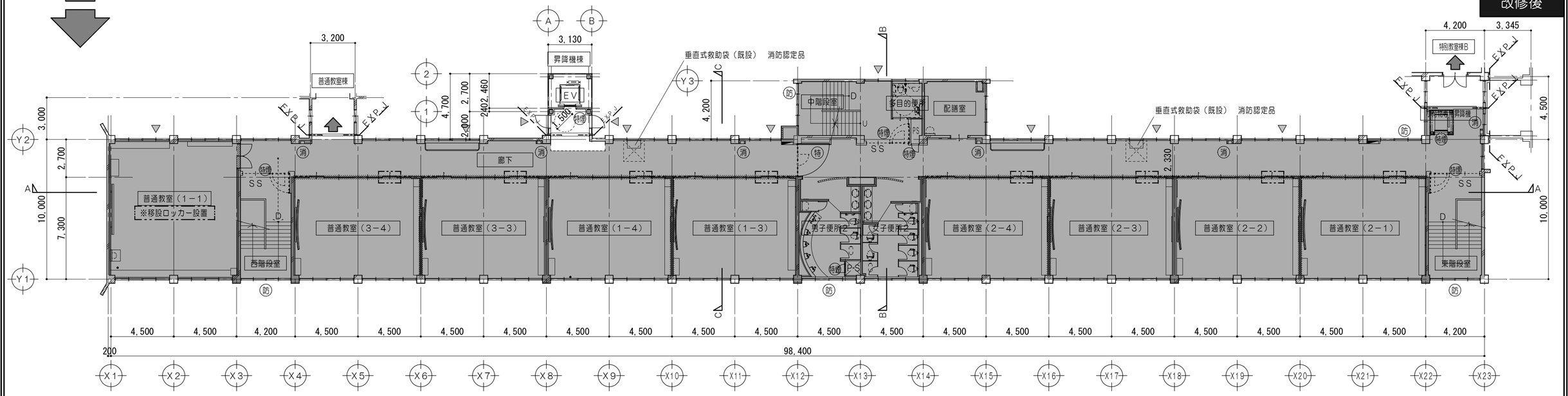
キープラン 1/2000

3 階 平 面 図　1/200

凡 例

	既設のままを示す		既設のまま（仮設教室）を示す		全面改修範囲を示す		
			一部改修（仮設教室）を示す		簡易改修範囲を示す	———	延焼ライン

改修後



3 階 平 面 図　1/200

凡 例

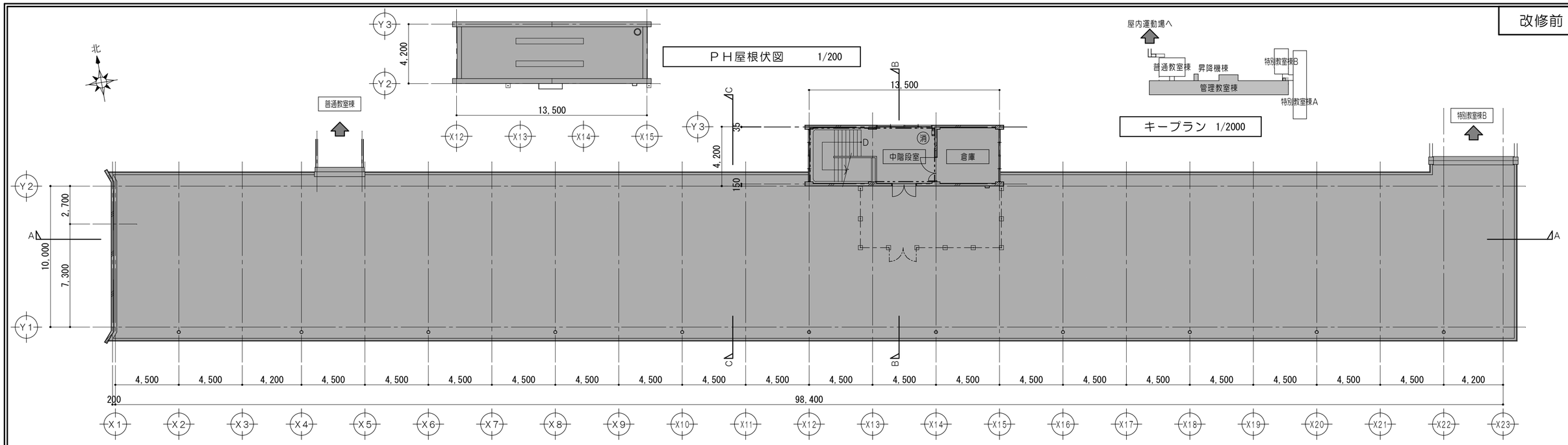
	既設のままを示す		RC壁を示す		LGS壁を示す		CB壁を示す	特	特定防火設備を示す（遮煙）	消	消火器（ABC粉末10型）（既設） ※消防用設備等については、消防法施行令及び同規則の通り設置する。	▽	代替進入口位置を示す
	既設のまま（仮設教室）を示す		令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：RC壁 平12建告1399		令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁（改修完了） FP060NP−0199	防	防火設備を示す	———	延焼ライン				
	夏休み工事を示す					特	特定防火設備を示す		屋内消火栓（機械設備工事）	★	室内空気汚染物質測定箇所を示す		

特記事項	・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照 ・家具撤去については既設家具詳細図参照 ・内装改修については平面詳細図参照 ・外部改修については立面図参照

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-22（原図：A2）
		図面名称	＜管理教室棟・昇降機棟＞ 改修前 改修後 3階平面図	縮尺	1/200

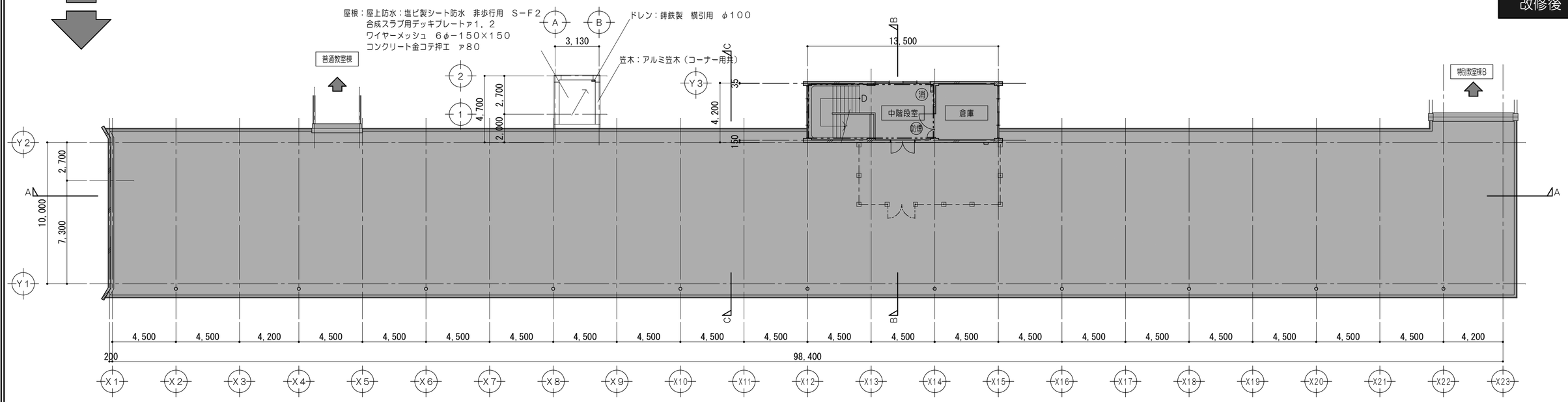
改修前



屋根伏図・ＰＨ階平面図　1/200

凡　例							
	既設のままを示す		既設のまま（仮設教室）を示す		全面改修範囲を示す		
			一部改修（仮設教室）を示す		簡易改修範囲を示す	———	延焼ライン

改修後



屋根伏図・ＰＨ階平面図　1/200

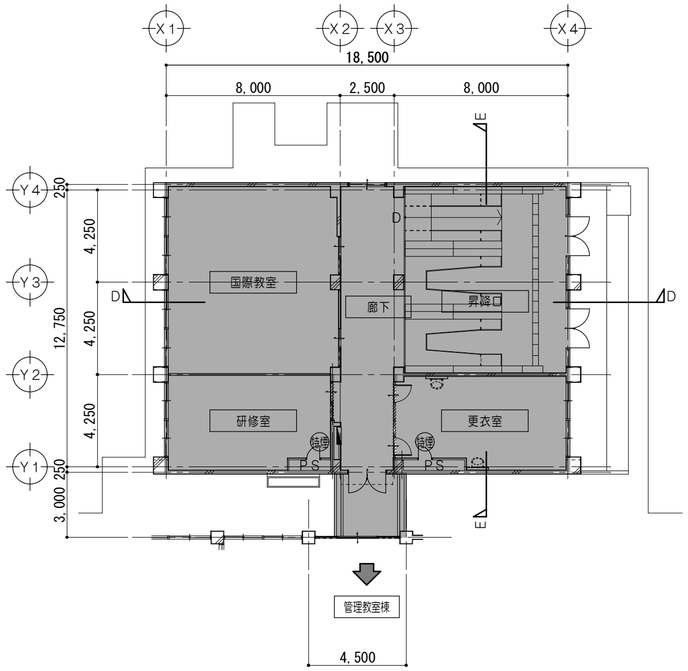
凡　例											
	既設のままを示す		ＲＣ壁を示す		ＬＧＳ壁を示す		ＣＢ壁を示す	特	特定防火設備を示す（遮煙）	消	消火器（ＡＢＣ粉末１０型） ※消防用設備等については、消防法施行令及び同規則の通り設置する。
	既設のまま（仮設教室）を示す		令１１４条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：ＲＣ壁 平１２建告１３９９		令１１４条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁 ＦＰ０６０ＮＰ－０１９９	防	防火設備を示す	———	延焼ライン		
						特	特定防火設備を示す		屋内消火栓（機械設備工事）	★	室内空気汚染物質測定箇所を示す

特記事項	
・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照	
・家具撤去については既設家具詳細図参照	
・内装改修については平面詳細図参照	
・外部改修については立面図参照	

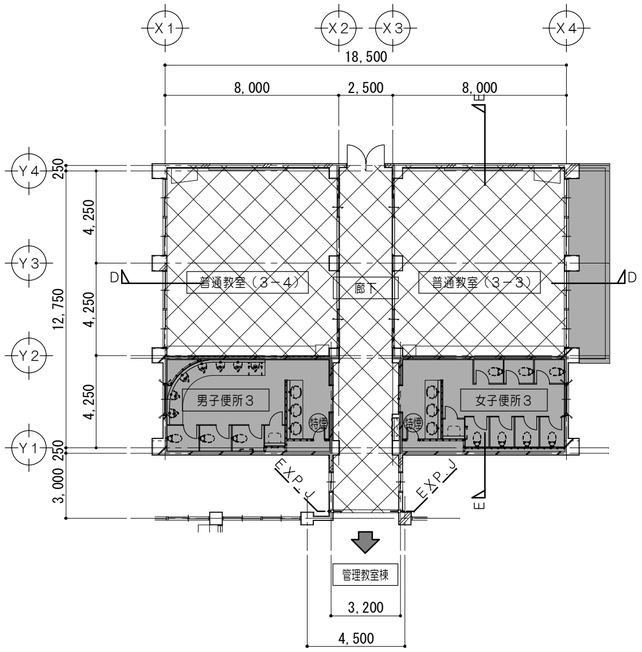
一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-23（原図：A2）
	図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 ＰＨ階平面図	縮尺	1/200

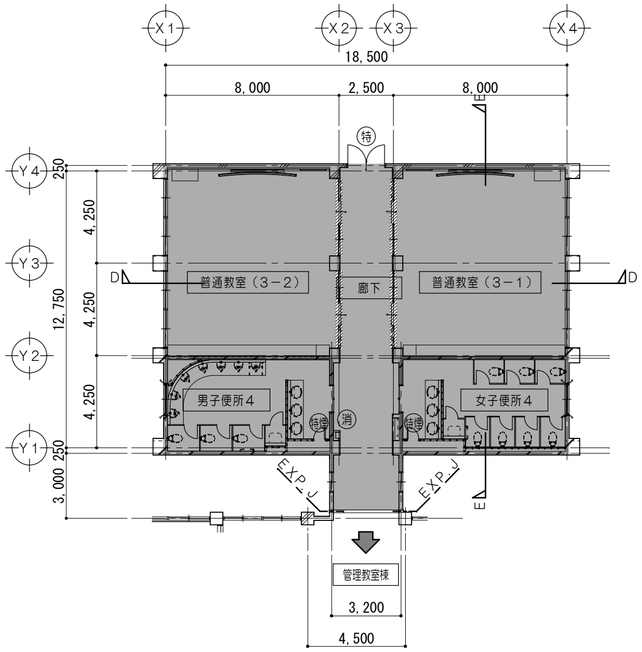
改修前



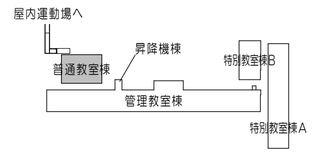
1 階 平 面 図　1/200



2 階 平 面 図　1/200



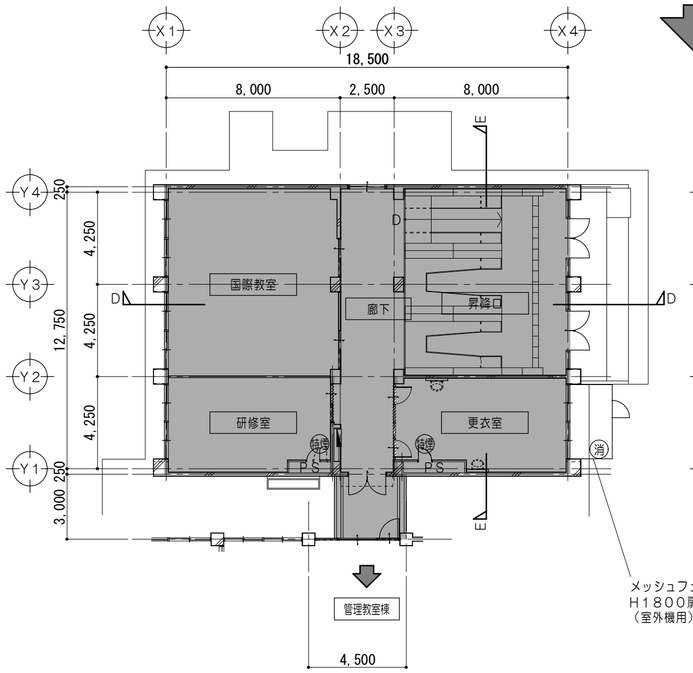
3 階 平 面 図　1/200



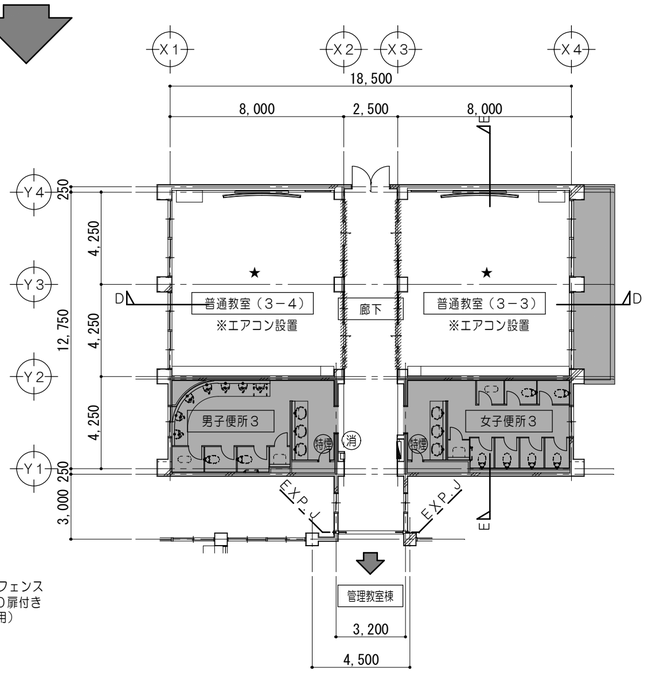
キ ー プ ラ ン　1/2000

凡 例	
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す
	一部改修（仮設教室）を示す
	全面改修範囲を示す
	簡易改修範囲を示す
―・―	延焼ライン

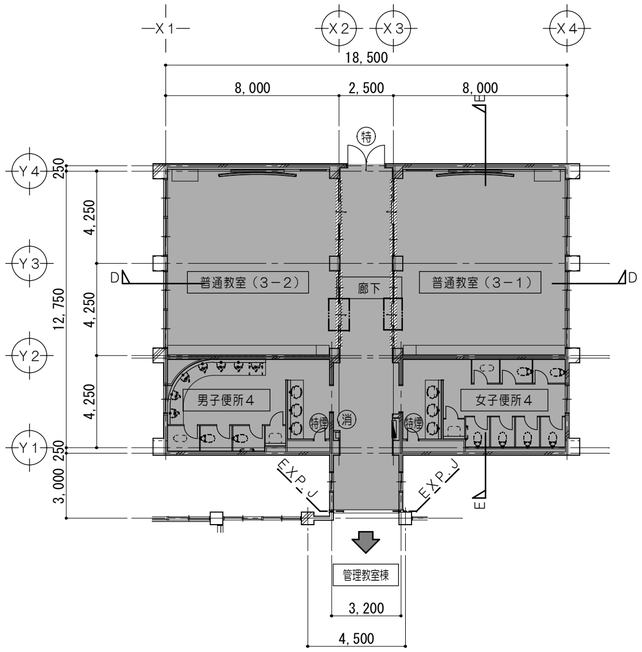
改修後



1 階 平 面 図　1/200



2 階 平 面 図　1/200



3 階 平 面 図　1/200

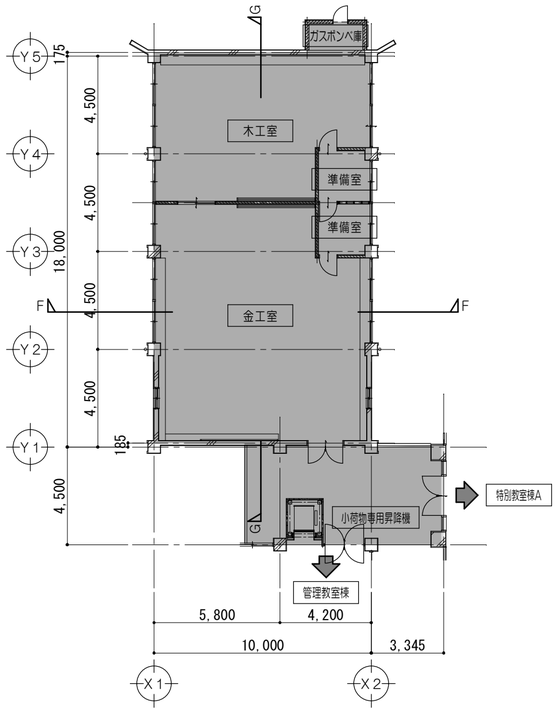
	凡 例
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す
	夏休み工事を示す
	RC壁を示す
	令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：RC壁 平12建告1399
	令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP－0198
	LGS壁を示す
	CB壁を示す
防	防火設備を示す
特	特定防火設備を示す
特煙	特定防火設備を示す（遮煙）
―・―	延焼ライン
	屋内消火栓（機械設備工事）
消（2階のみ新設）	消火器（ABC粉末10型）※消防用設備等については、消防法施行令及び同規則の通り設置する。
★	室内空気汚染物質測定箇所を示す

特記事項	
・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照	
・家具撤去については既設家具詳細図参照	
・内装改修については平面詳細図参照	
・外部改修については立面図参照	

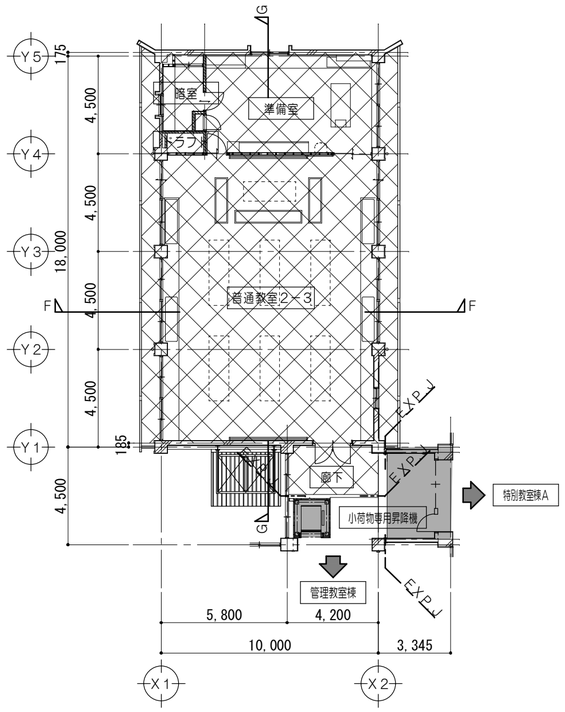
一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-24（原図：A2）
		図面名称	＜普通教室棟＞ 改修前 改修後 1階・2階・3階平面図	縮尺 1/200

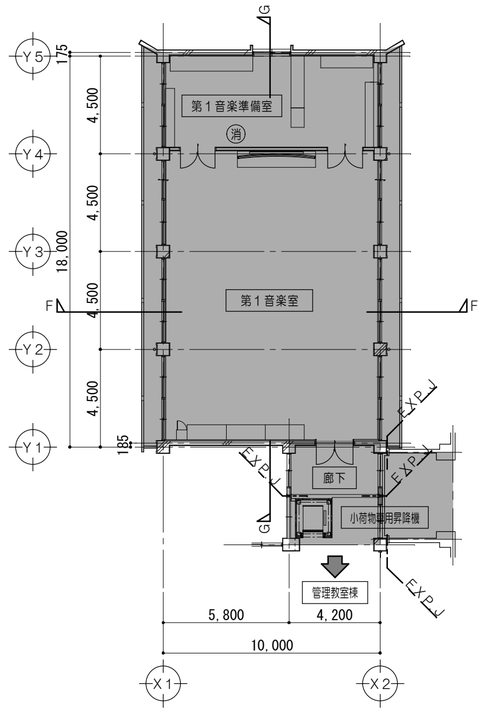
改修前



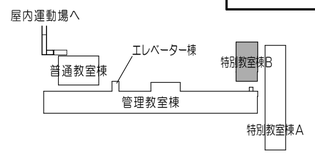
1 階 平 面 図　1/200



2 階 平 面 図　1/200



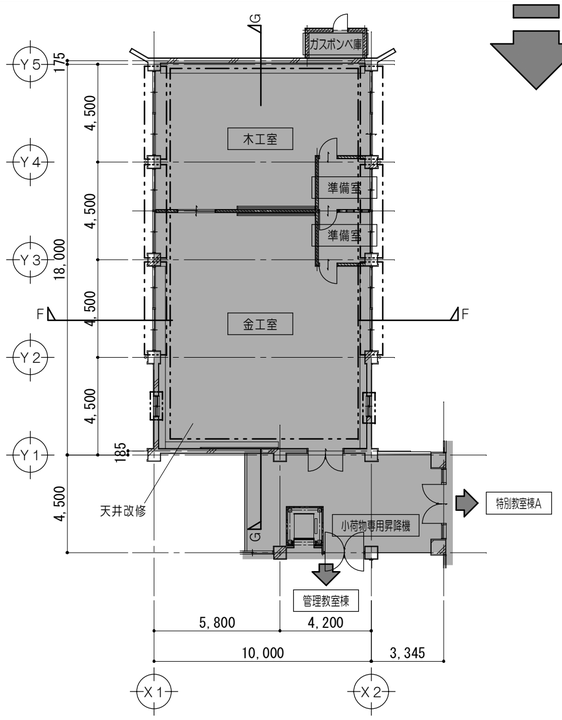
3 階 平 面 図　1/200



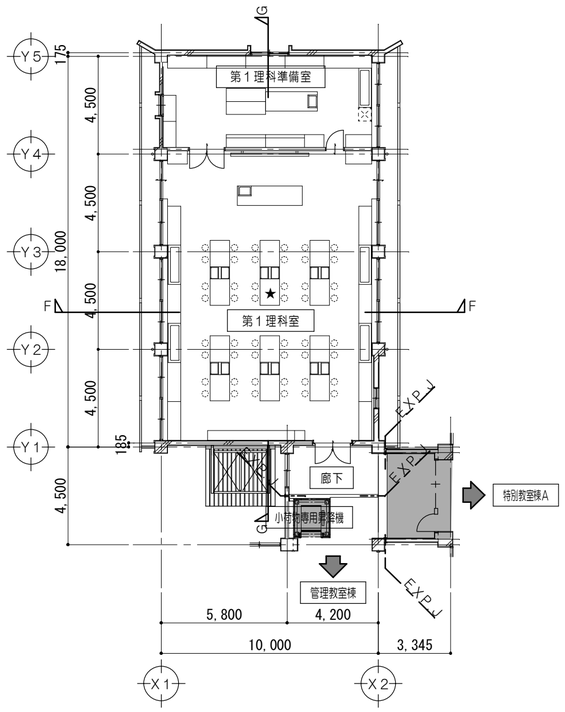
キ ー プ ラ ン　1/2000

凡 例	
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す
	一部改修（仮設教室）を示す
	全面改修範囲を示す
	簡易改修範囲を示す
― ― ―	延焼ライン

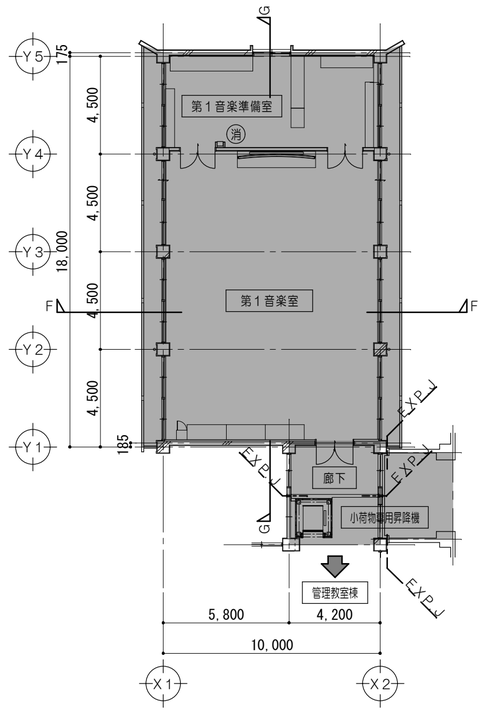
改修後



1 階 平 面 図　1/200



2 階 平 面 図　1/200



3 階 平 面 図　1/200

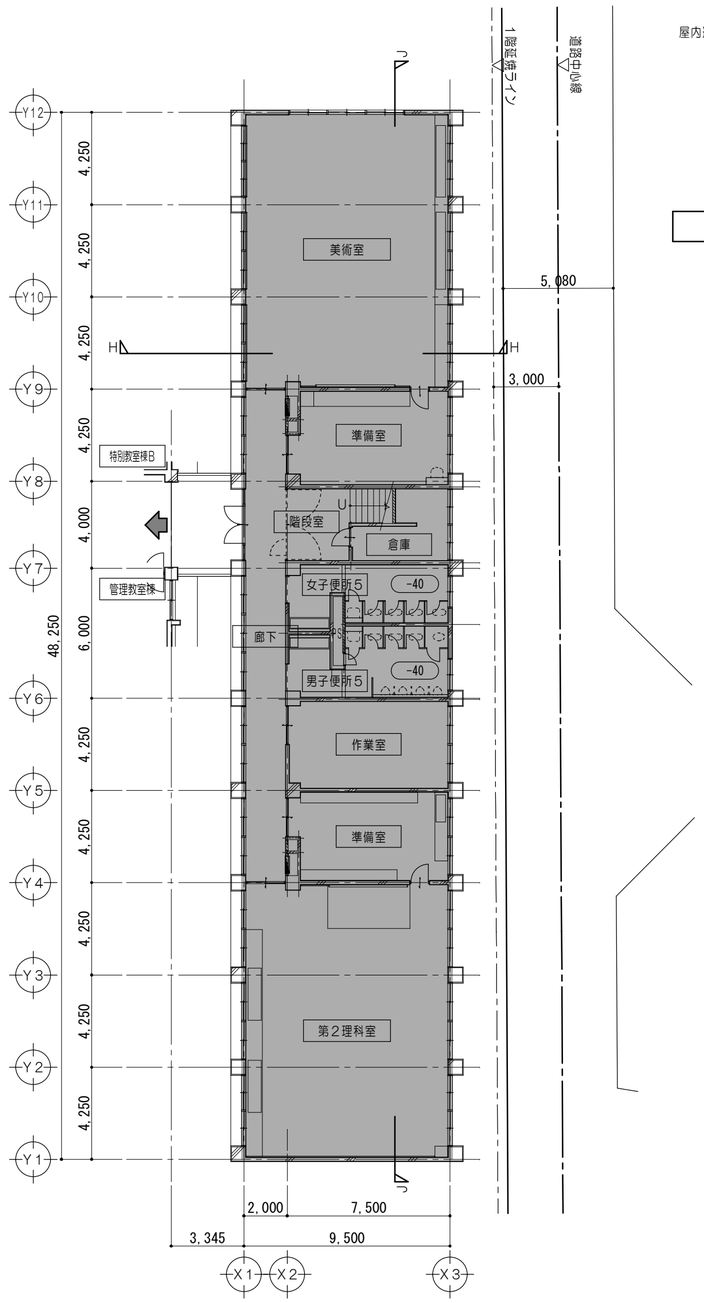
凡 例	
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す
	夏休み工事を示す
	RC壁を示す
	令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：RC壁 平12建告1399
	令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP－0198
	LGS壁を示す
	CB壁を示す
防	防火設備を示す
特	特定防火設備を示す
特煙	特定防火設備を示す（遮煙）
― ― ―	延焼ライン
	屋内消火栓（機械設備工事）
消	消火器（ABC粉末10型）（既設）※消防用設備等については、消防法施行令及び同規則の通り設置する。
★	室内空気汚染物質測定箇所を示す

特記事項	
・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照	
・家具撤去については既設家具詳細図参照	
・内装改修については平面詳細図参照	
・外部改修については立面図参照	

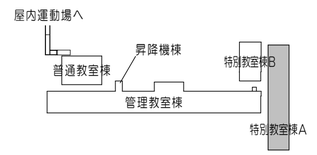
一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-25（原図：A2）
		図面名称	＜特別教室棟Ｂ＞ 改修前 改修後 1階・2階・3階平面図	縮尺	1/200

改修前



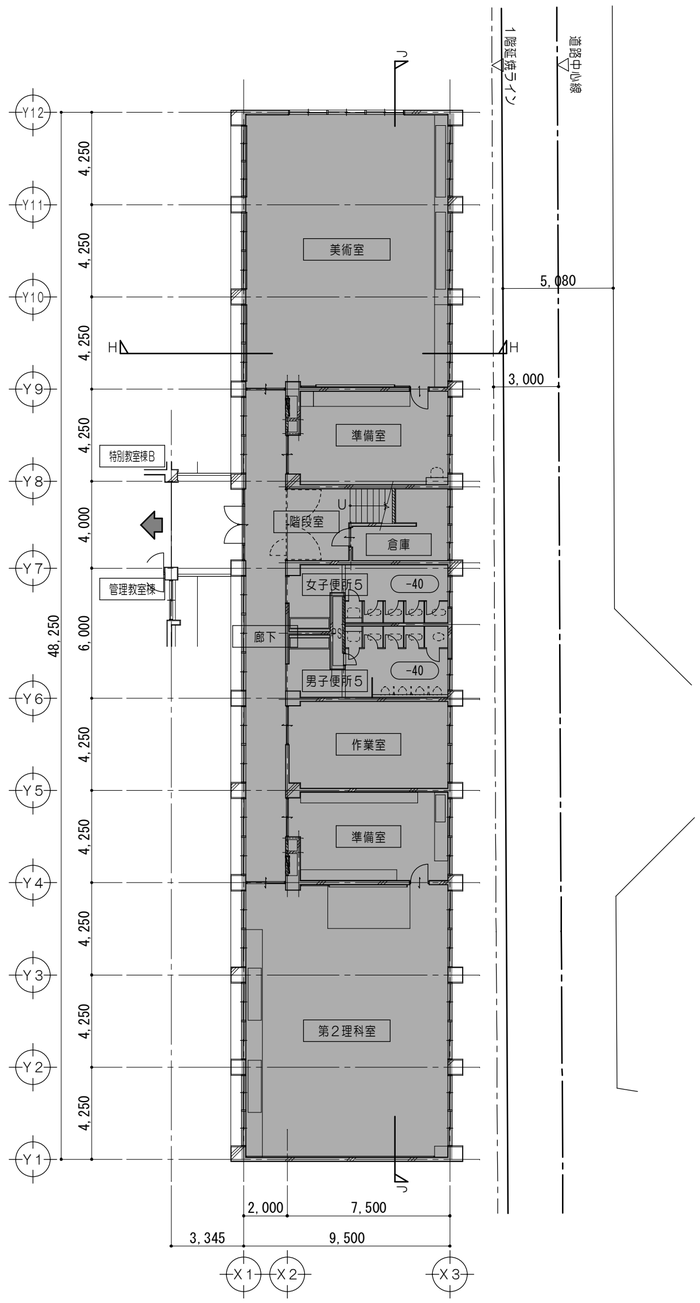
1 階 平 面 図　1/200



キ ー プ ラ ン　1/2000

凡 例	
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す
	一部改修（仮設教室）を示す
	全面改修範囲を示す
	簡易改修範囲を示す
	夏休み工事を示す
— — —	延焼ライン

改修後



1 階 平 面 図　1/200

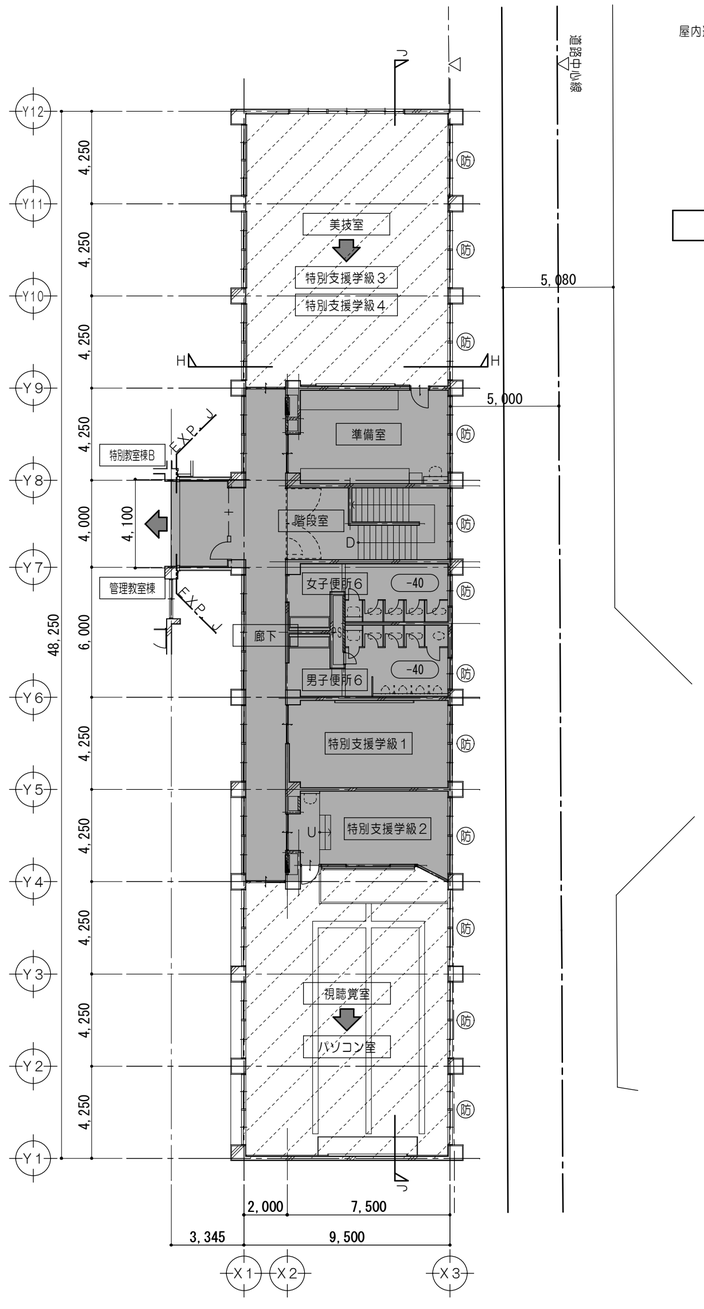
凡 例	
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す
	RC壁を示す
	令114条による防火上主要な間仕切壁 （小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：RC壁 平12建告1399
	令114条による防火上主要な間仕切壁 （小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0198
	LGS壁を示す
	CB壁を示す
防	防火設備を示す
特	特定防火設備を示す
特煙	特定防火設備を示す（遮煙）
— — —	延焼ライン
	屋内消火栓（機械設備工事）
消	消火器（ABC粉末10型） ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の 通り設置する。
★	室内空気汚染物質測定箇所を示す

特記事項	
・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照	
・家具撤去については既設家具詳細図参照	
・内装改修については平面詳細図参照	
・外部改修については立面図参照	

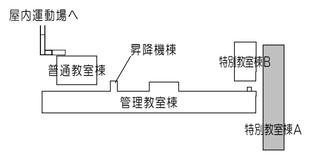
一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-26 （原図：A2）
		図面名称	＜特別教室棟Ａ＞ 改修前　改修後　1階平面図	縮尺	1/200

改修前



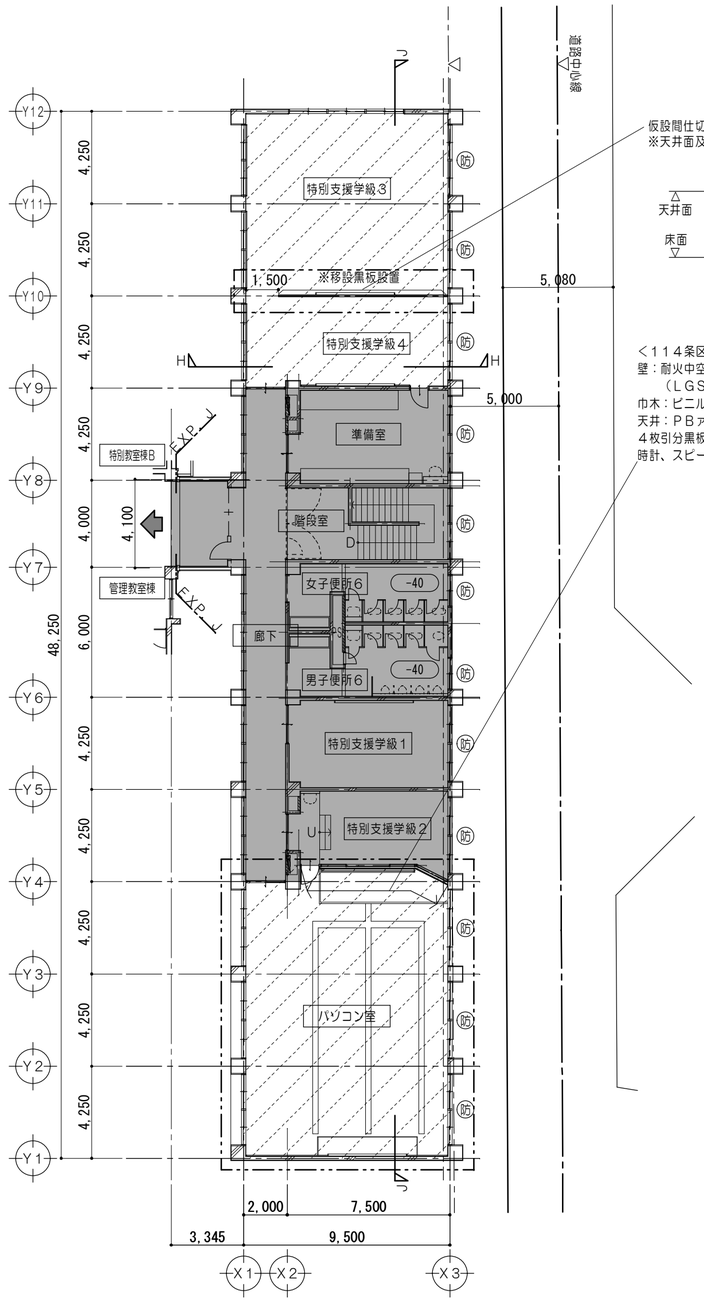
２ 階 平 面 図　1/200



キ ー プ ラ ン　1/2000

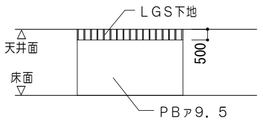
凡　例	
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す
	一部改修（仮設教室）を示す
	全面改修範囲を示す
	簡易改修範囲を示す
― － ―	延焼ライン

改修後



２ 階 平 面 図　1/200

仮設間仕切り壁：ＬＧＳ下地　ＰＢァ９．５　両面張　素地のまま
※天井面及び梁下より５００㎜はＰＢを張らないこと。



仮設間仕切り要領図

＜１１４条区画＞スラブ下まで施工
壁：耐火中空２重壁　ＥＰ塗
　（ＬＧＳ下地　強化ＰＢァ２１＋強化ＰＢァ２１　片面張）
巾木：ビニル巾木　Ｈ＝１００
天井：ＰＢァ９．５下地　岩綿吸音板ァ９張（パソコン室側巾４２０程度）
４枚引分黒板（ホワイトボード）Ｗ３６００×Ｈ１８００：ー時撤去再取付
時計、スピーカー：ー時撤去再取付

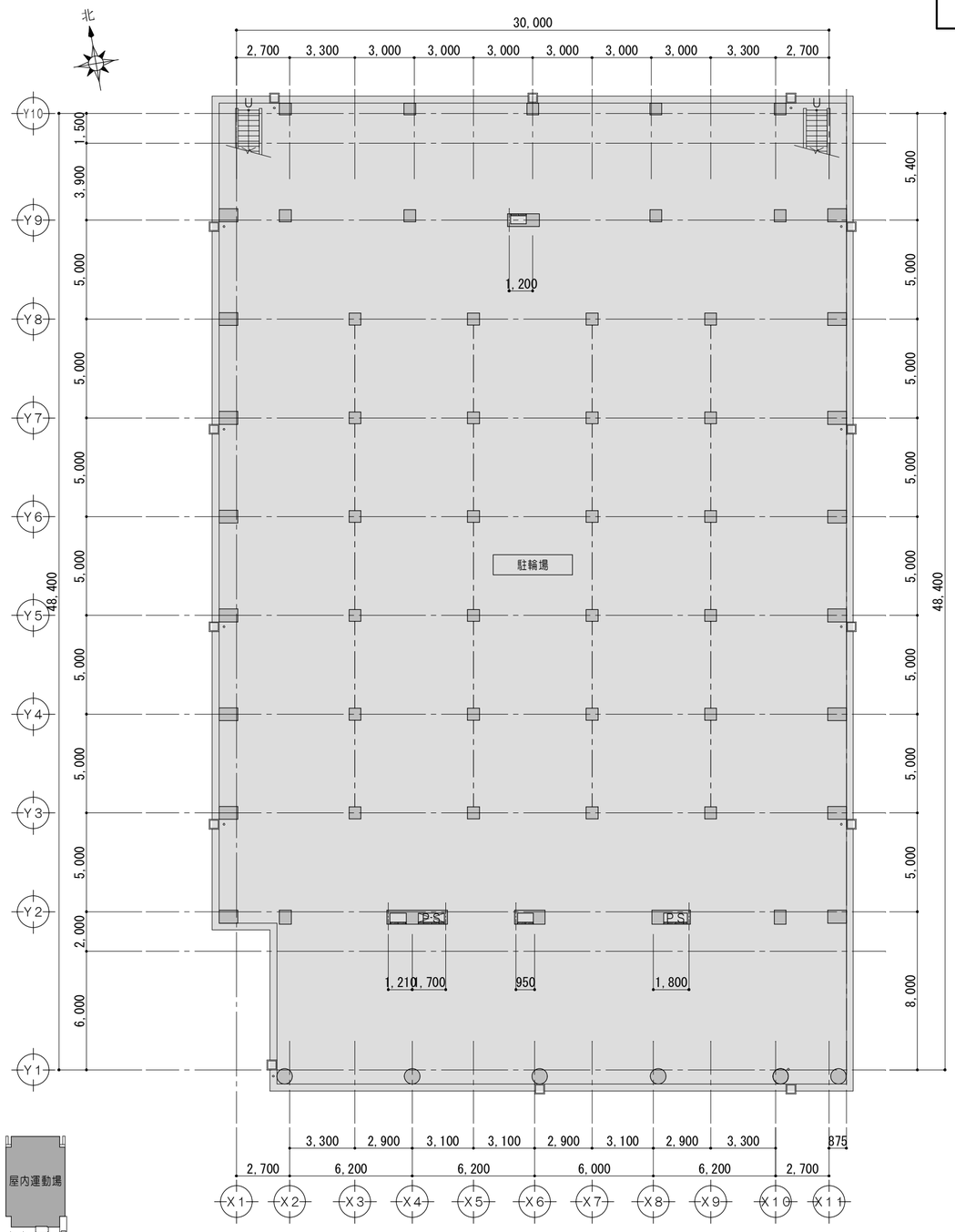
凡　例	
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す
	夏休み工事を示す
	ＲＣ壁を示す
	令１１４条による防火上主要な間仕切壁 （小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：ＲＣ壁 平１２建告１３９９
	令１１４条による防火上主要な間仕切壁 （小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁 ＦＰ０６０ＮＰ－０１９８
	ＬＧＳ壁を示す
	ＣＢ壁を示す
防	防火設備を示す
特	特定防火設備を示す
特煙	特定防火設備を示す（遮煙）
― － ―	延焼ライン
	屋内消火栓（機械設備工事）
消	消火器（ＡＢＣ粉末１０型） ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の 通り設置する。
★	室内空気汚染物質測定箇所を示す

特記事項	
・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照	
・家具撤去については既設家具詳細図参照	
・内装改修については平面詳細図参照	
・外部改修については立面図参照	

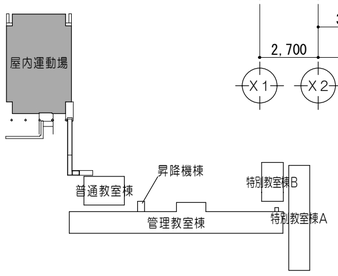
一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前 野 建 築 設 計
一級建築士　大臣登録第117489号　前 野 初 像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-27（原図：A2）
	図面名称	＜特別教室棟Ａ＞ 改修前 改修後 ２階平面図	縮尺	1/200

改修前

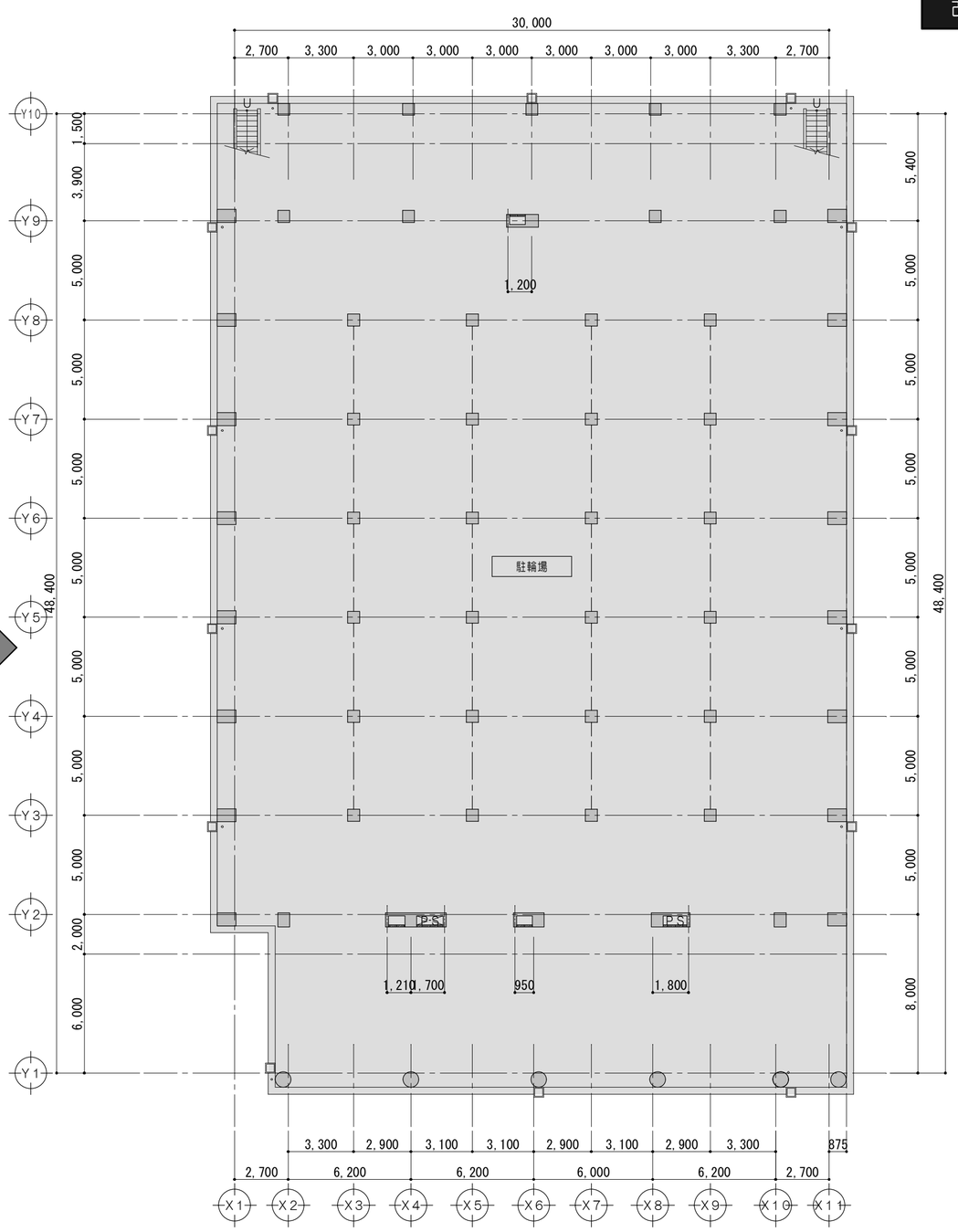


1 階 平 面 図　1/200



キ ー プ ラ ン　1/2000

改修後



1 階 平 面 図　1/200

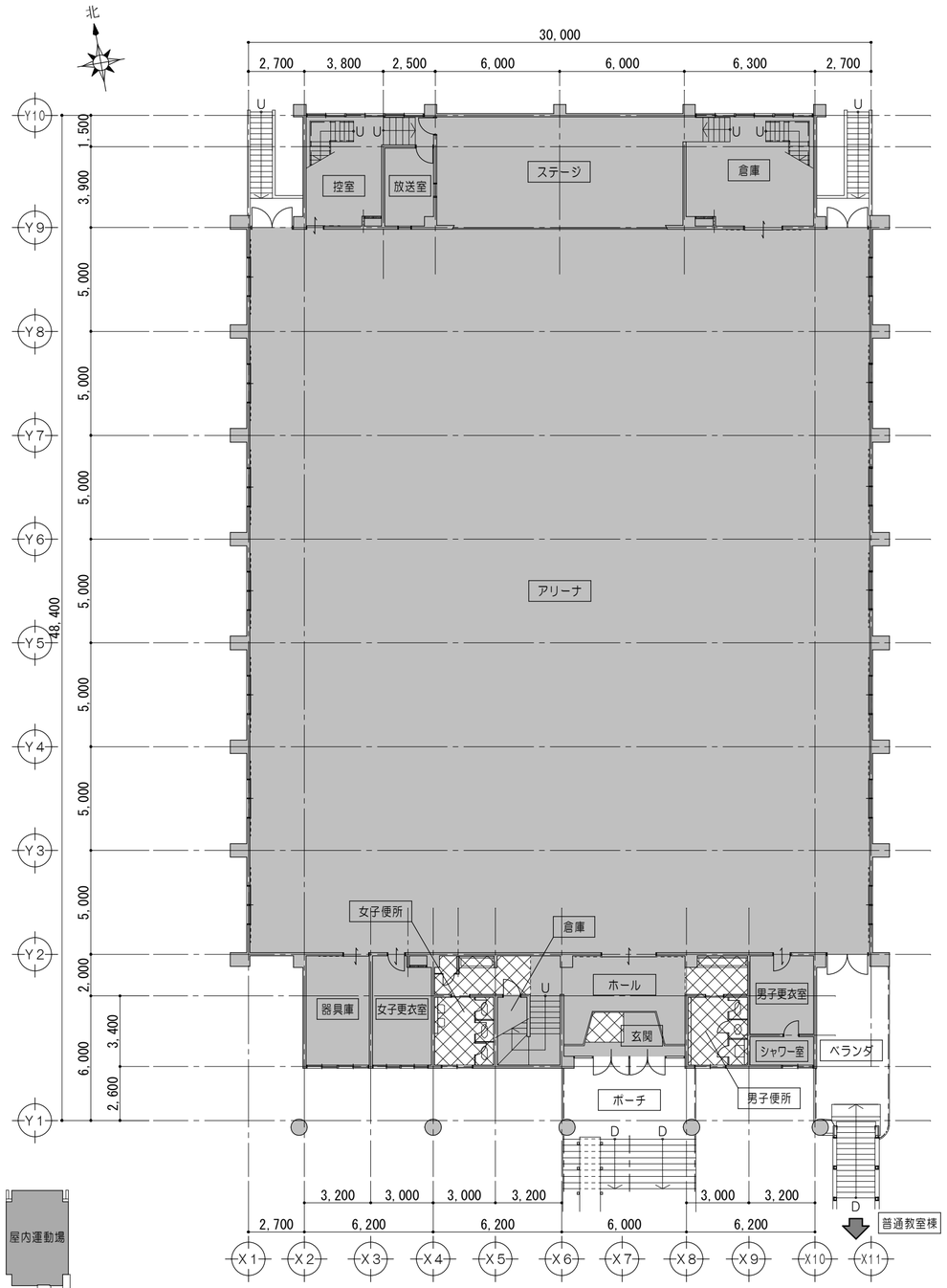
※屋内運動場の工事は、全て夏休み中の工事とする。

凡 例	
	既設のままを示す

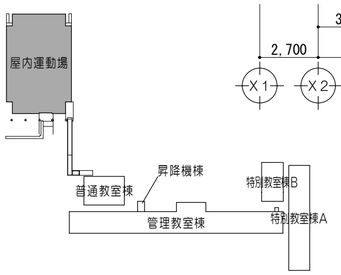
凡 例	
	既設のままを示す

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-28（原図：A2）
				図面名称	＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 1階平面図	縮尺 1/200

改修前



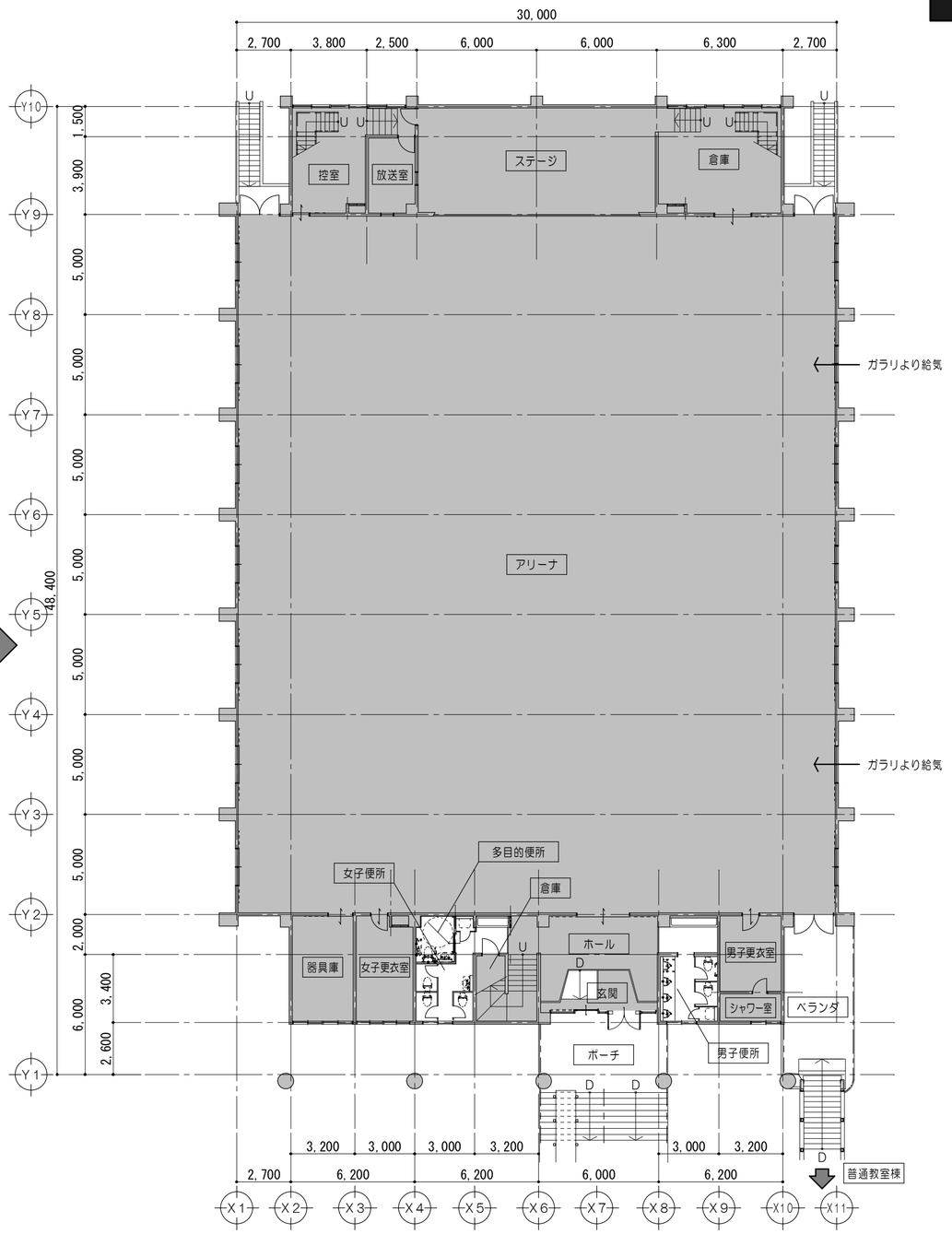
2 階 平 面 図　1/200



キ ー プ ラ ン　1/2000

凡 例	
	既設のままを示す
	全面改修範囲を示す

改修後



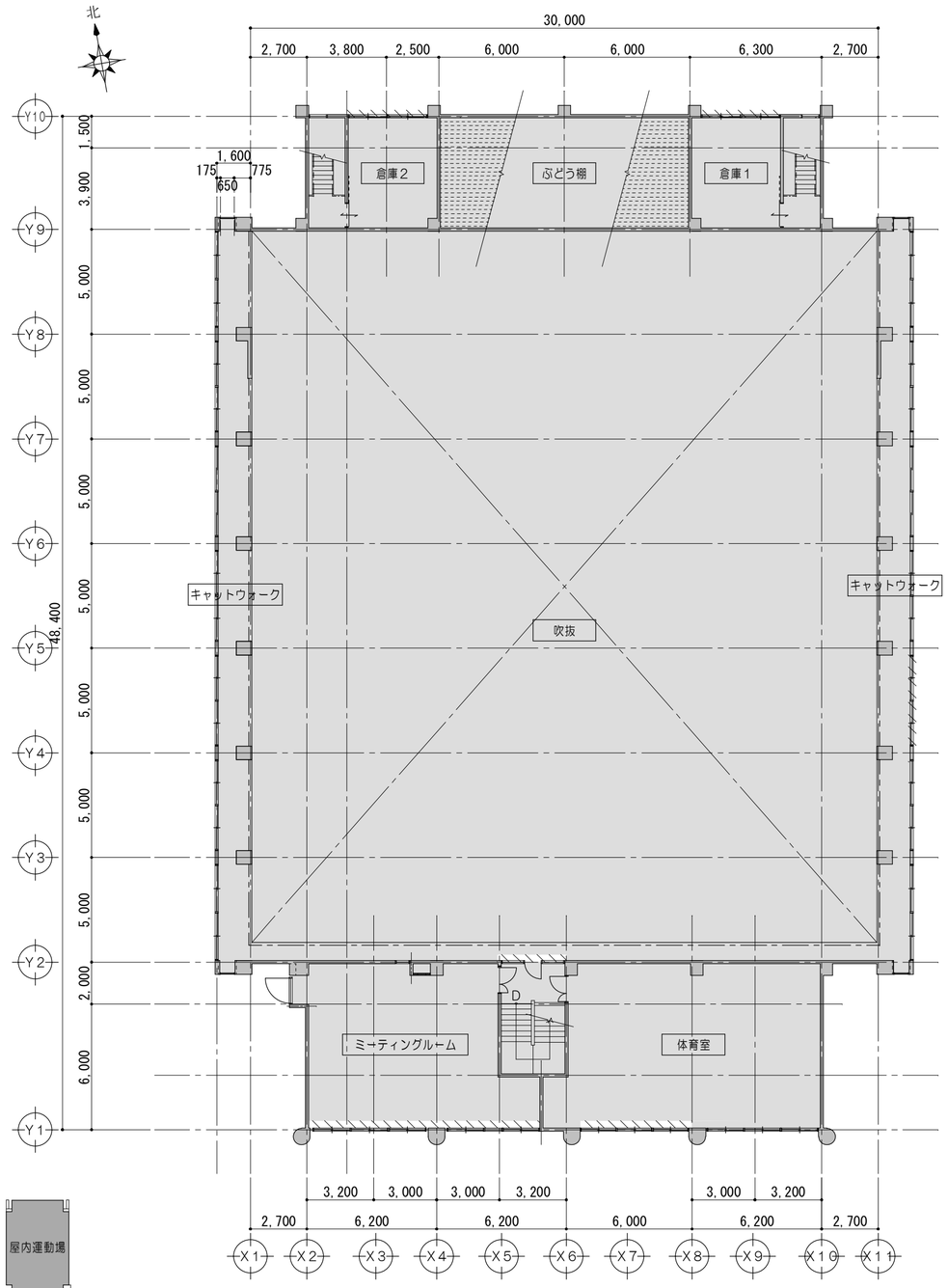
2 階 平 面 図　1/200

※屋内運動場の工事は、全て夏休み中の工事とする。

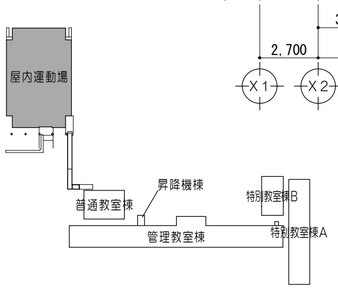
凡 例	
	既設のままを示す

特記事項		一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-29（原図:A2）
					図面名称	＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 2階平面図	縮尺 1/200

改修前



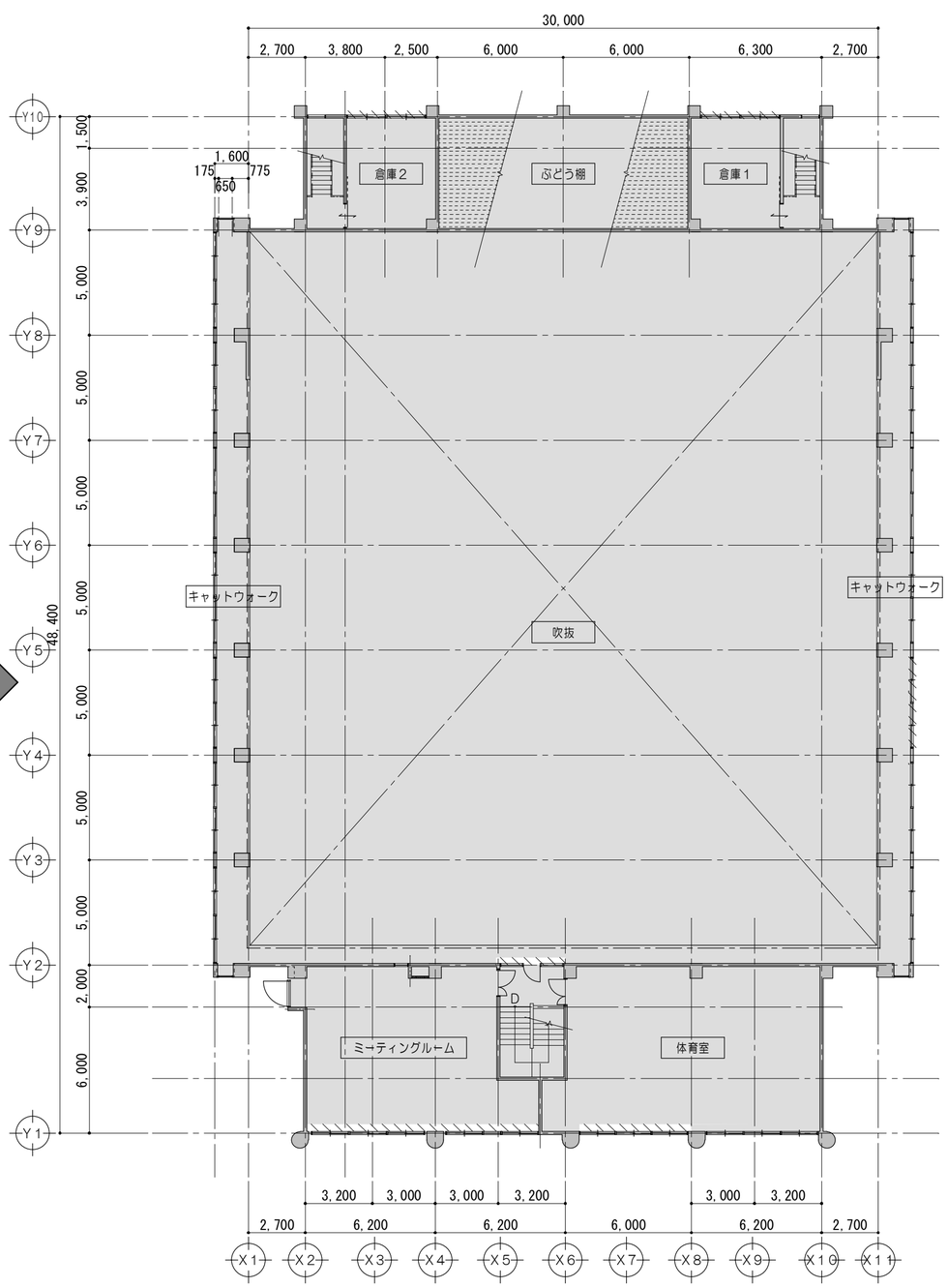
3 階 平 面 図　1/200



キ ー プ ラ ン　1/2000

凡 例	
	既設のままを示す
	建具撤去を示す

改修後

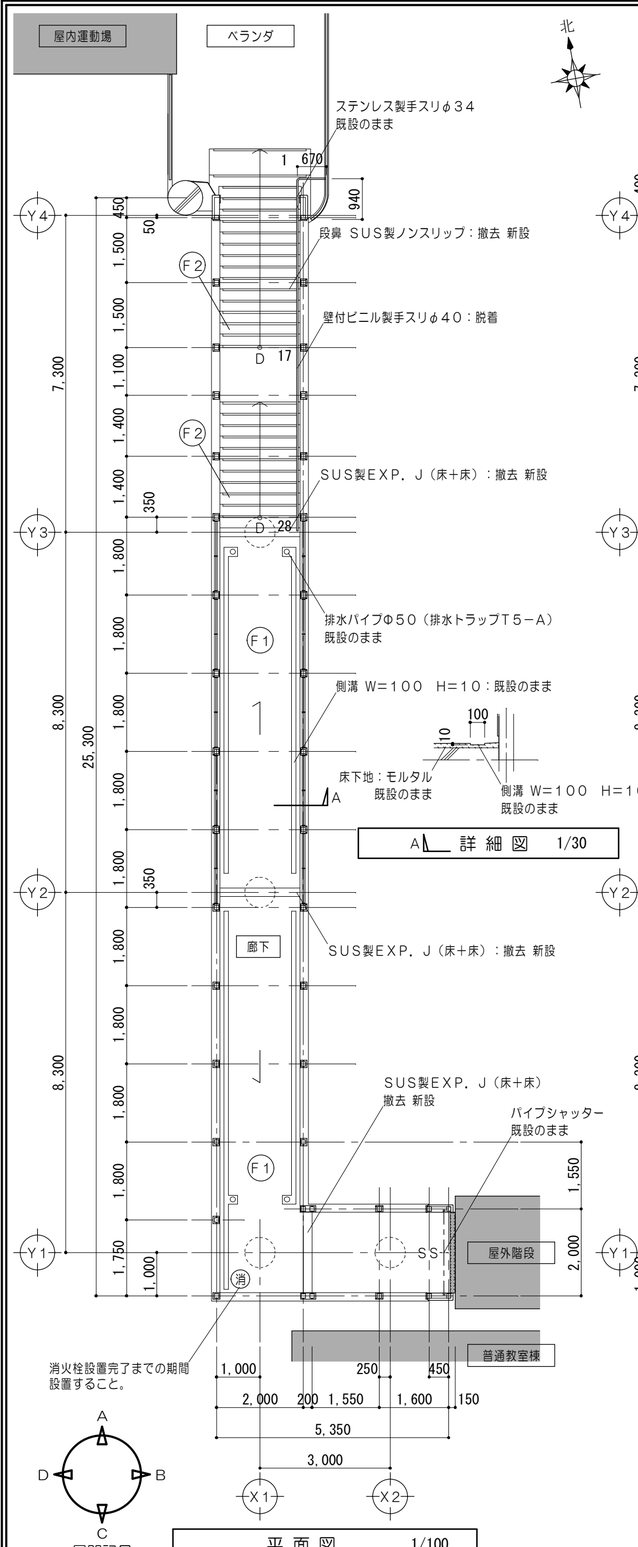


3 階 平 面 図　1/200

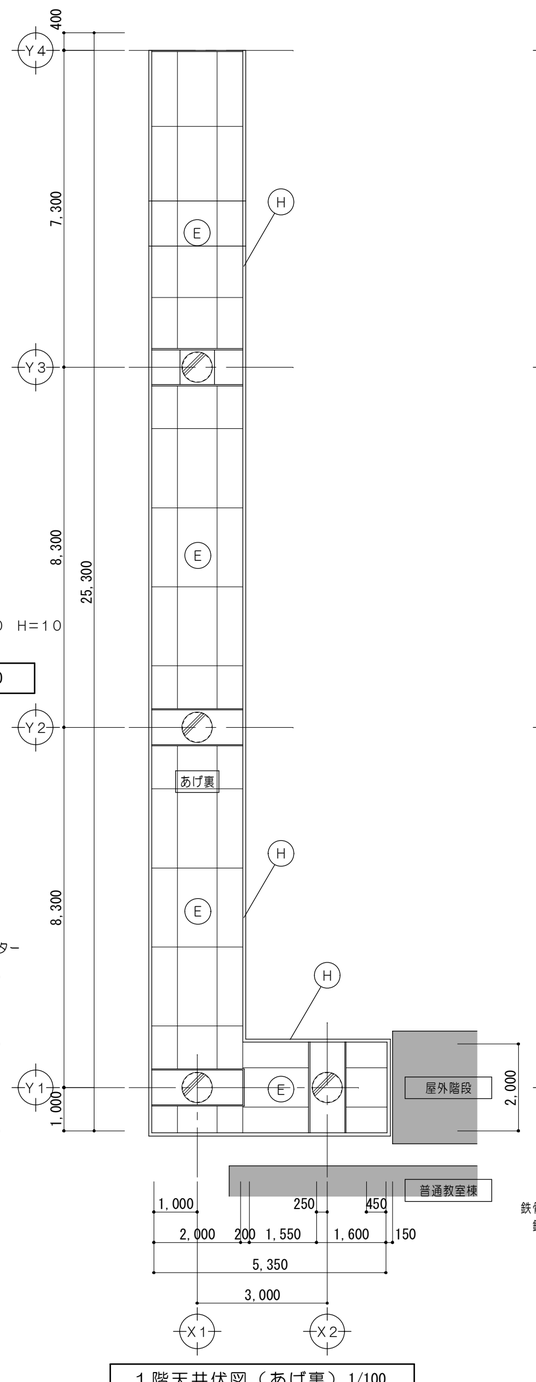
※屋内運動場の工事は、全て夏休み中の工事とする。

凡 例	
	既設のままを示す
	建具改修を示す

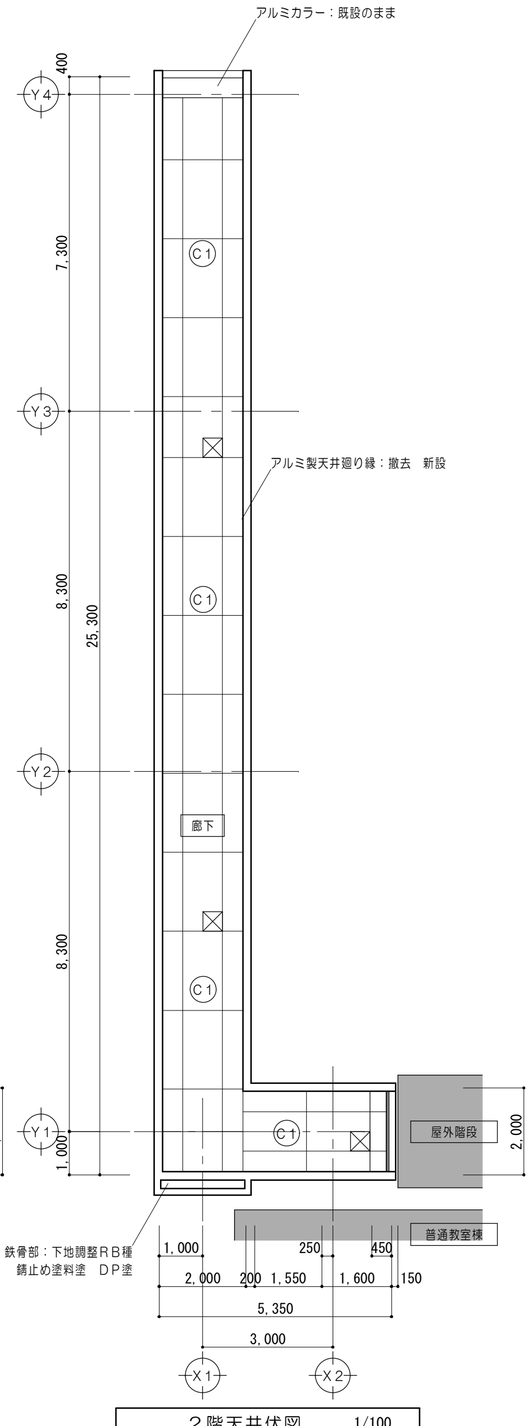
特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-30（原図：A2）
				図面名称	＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 3階平面図	縮尺 1/200



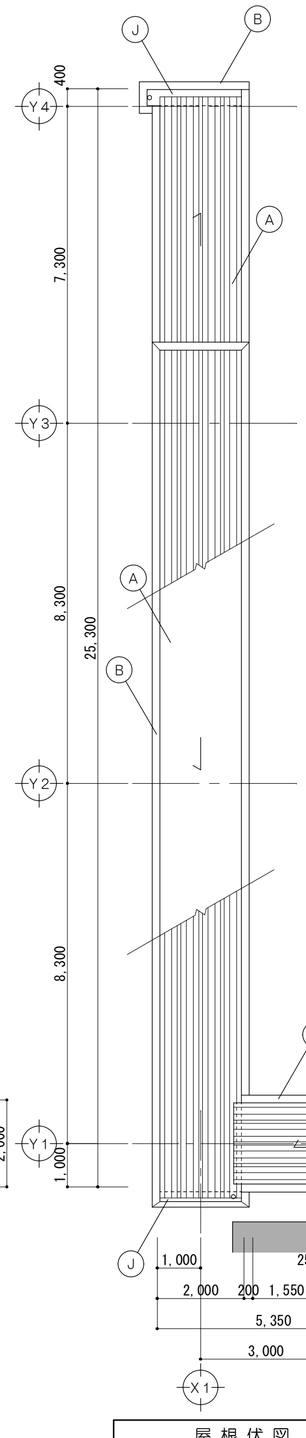
平 面 図 1/100



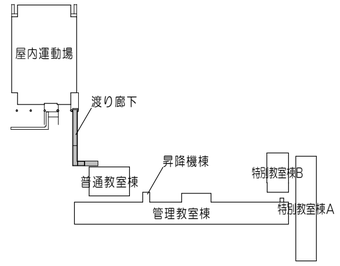
１階天井伏図（あげ裏）1/100



２階天井伏図 1/100



屋 根 伏 図 1/100

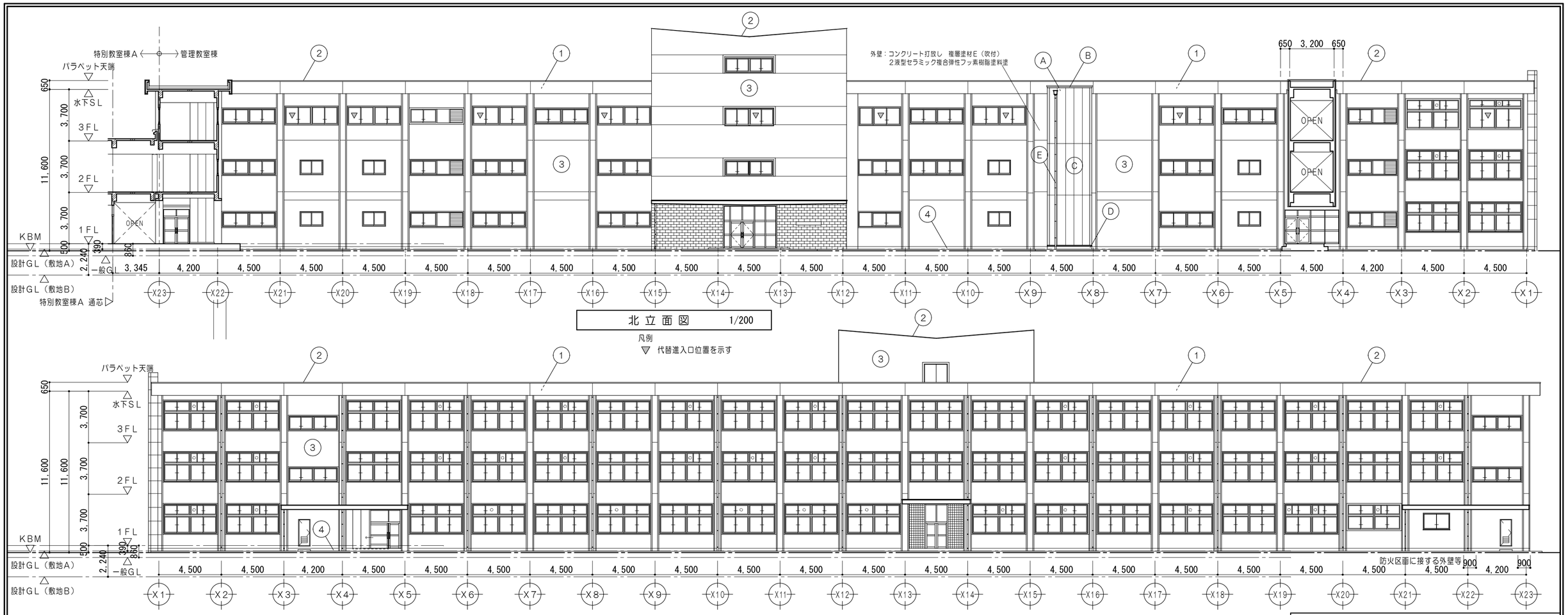


キ ー プ ラ ン 1/2000

工事仕様			
部位	記号		仕上
床	F1	改修前	モルタル下地厚３０：既設のまま 防滑性ビニル床シート張：撤去
		改修後	下地調整の上 防滑性ビニル床シート厚２．５張（屋外対応品）
階段踏面	F2	改修前	モルタル下地厚３０ カラートップ仕上（防滑工法） 仕上のみ撤去
		改修後	下地調整の上 防滑性ビニル床シート厚２．５張（屋外対応品）
天井	C1	改修前	ＬＧＳ下地 フレキシブル吸音板厚４張 ＶＰ塗 撤去
		改修後	ＬＧＳ下地 ケイカル板厚６ ＥＰ塗 新設
屋根	A	改修前	丸馳折板葺 Ｈ＝１６６
		改修後	下地調整ＲＢ種 錆止め塗料塗 ＤＰ塗
笠木	B	改修前	カラーアルミ Ｗ＝１８０
		改修後	既設のまま
あげ裏	E	改修前	ＬＧＳ下地 フレキシブルボード張厚5下地吹付タイル アルミ廻り縁：既設のまま
		改修後	下地調整（ＲＢ）の上 外装薄塗材Ｅ（ゆず肌）
水切	H	改修前	アルミ製水切
		改修後	既設のまま
箱樋	J	改修前	谷コイル厚０．８
		改修後	下地調整ＲＢ種 錆止め塗料塗 ＤＰ塗
⊠	天井点検口４５０角 撤去 新設		
⟍	水勾配を示す		
	書き入れなき廻り縁は、塩ビ製とする。		

凡 例	
消	消火器（ＡＢＣ粉末１０型） ※消防用設備等については、消防法施行令及び同規則の通り設置する。

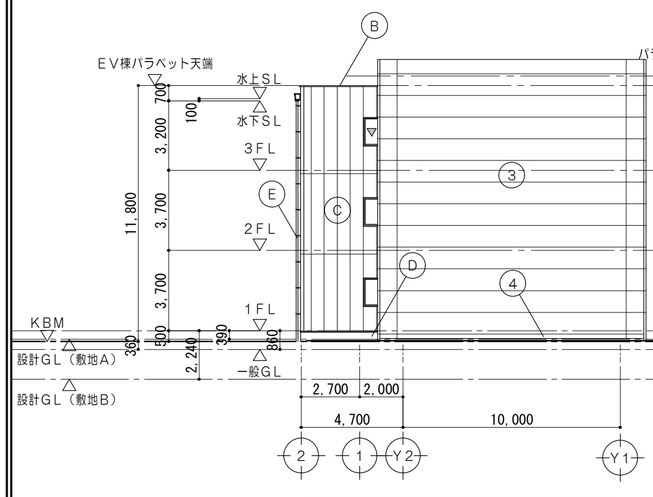
特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-31 （原図：A2）
				図面名称	＜渡り廊下＞ 改修後 平面図、天井伏図、屋根伏図	縮尺	1/100



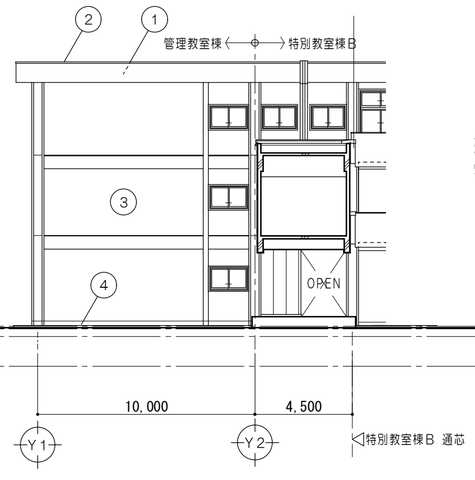
北 立 面 図　1/200

凡例
▽ 代替進入口位置を示す

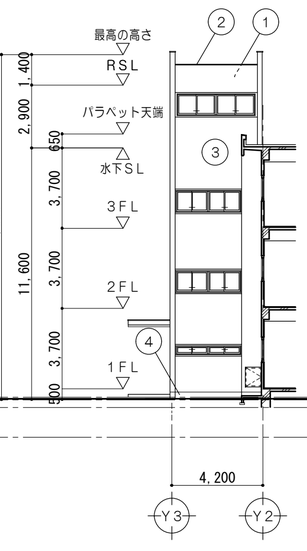
南 立 面 図　1/200



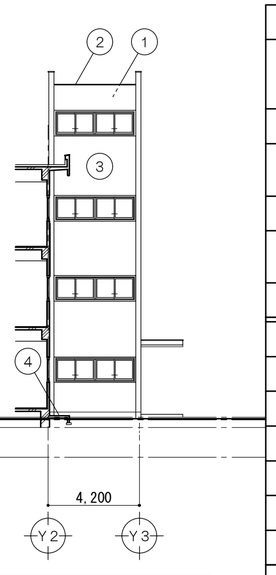
西 立 面 図　1/200



東 立 面 図　1/200



X１２通西立面図 1/200



X１５通東立面図 1/200

凡 例 （ 増 築 部 ）

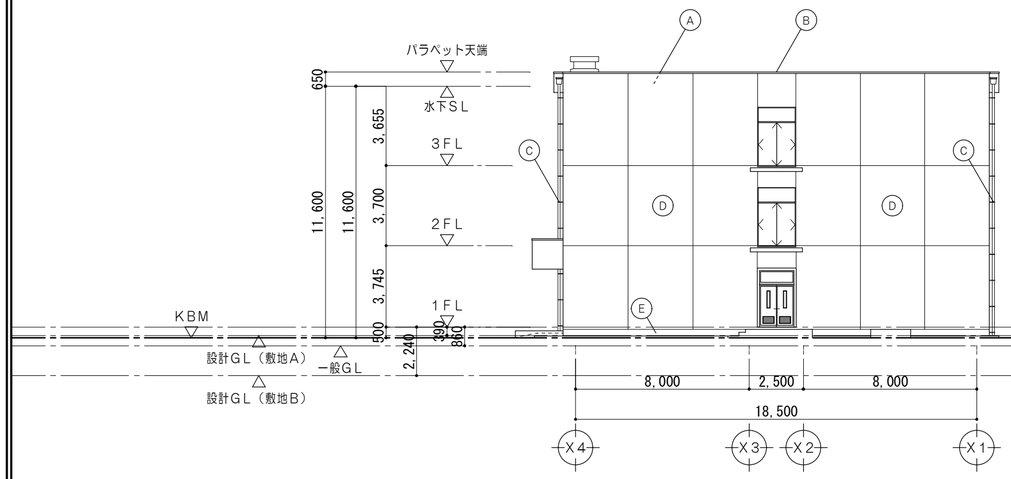
A	屋上防水：塩ビ製シート防水　非歩行用　S−F2 合成スラブ用デッキプレート厚1．2 ワイヤーメッシュ　6φ−150×150 コンクリート金コテ押工　厚80
B	笠木：アルミ笠木（コーナー用共）
C	中空押出成形セメント板厚60　タテ張 外壁：複層仕上塗材E（吹付） 2液型セラミック複合弾性フッ素樹脂塗料塗
D	根廻り：コンクリート打放補修
E	タテ樋：硬質ポリ塩化ビニル管（カラー）φ100 樋：掴み金物：SUS製@1200 飾り枡：塩ビ製（カラー）
F	EXP・J：ステンレス製　1時間耐火仕様

凡 例 （ 既 設 部 ）

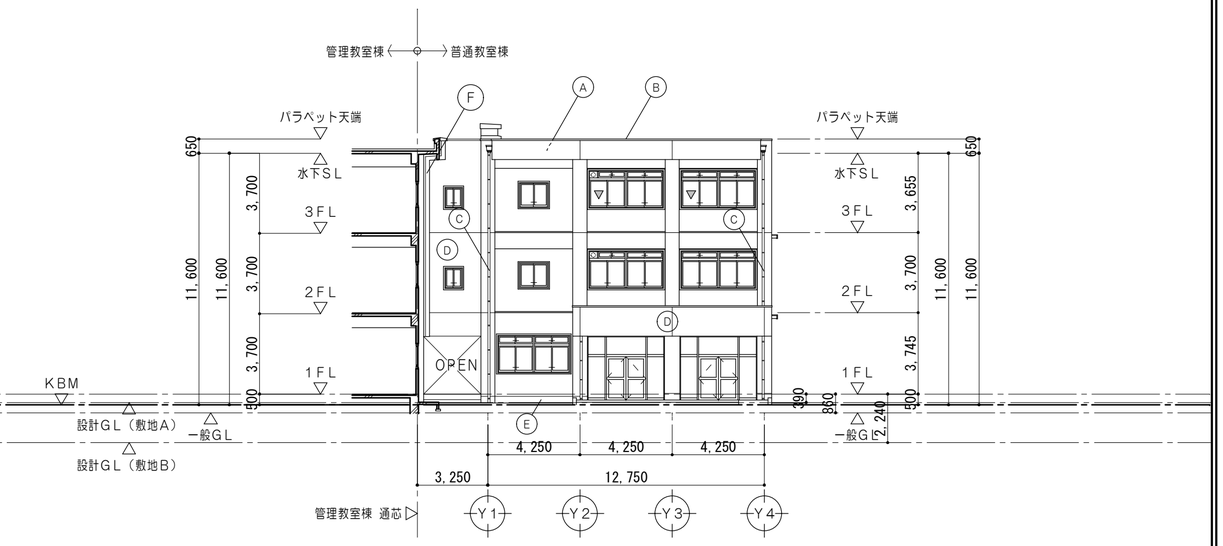
1	屋根：塩ビシート防水　機械固定工法
2	笠木：塩ビシート防水　密着工法
3	外壁：複層塗材E　（吹付）
4	根廻り：モルタル金コテ
5	樋：硬質塩化ビニル管（カラー）φ100 横引ドレン：鋳鉄製　、飾枡：塩化ビニル製
6	EXP.J：アルミ製・ステンレス製　1時間耐火仕様

【註記】
・外壁塗装について、配管等の設備機器撤去跡は、周囲と同色にて塗装すること。
・KBM＝管理教室棟FL−500

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-32（原図：A2）
				図面名称	＜管理教室棟＞ 改修後　立面図No.1	縮尺 1/200

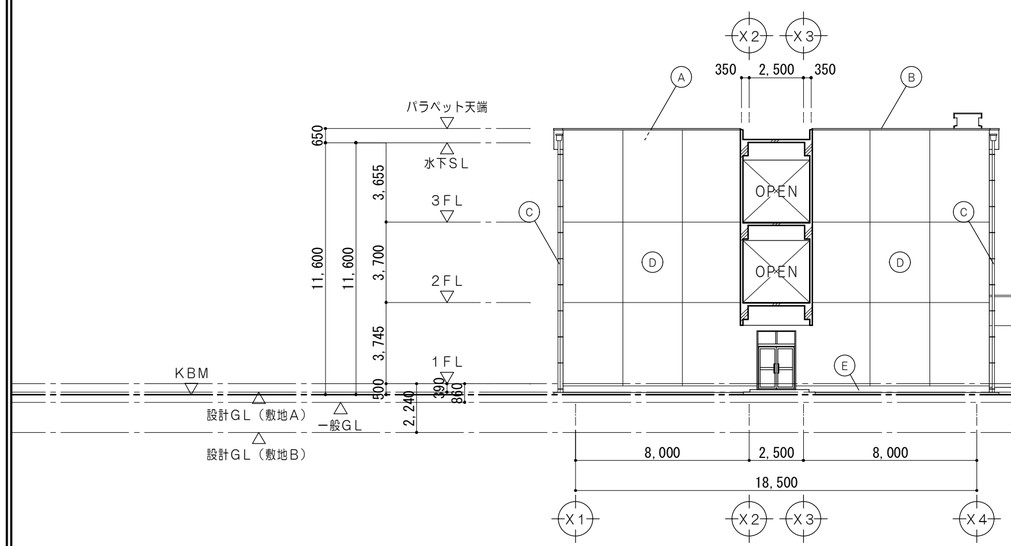


北 立 面 図　1/200

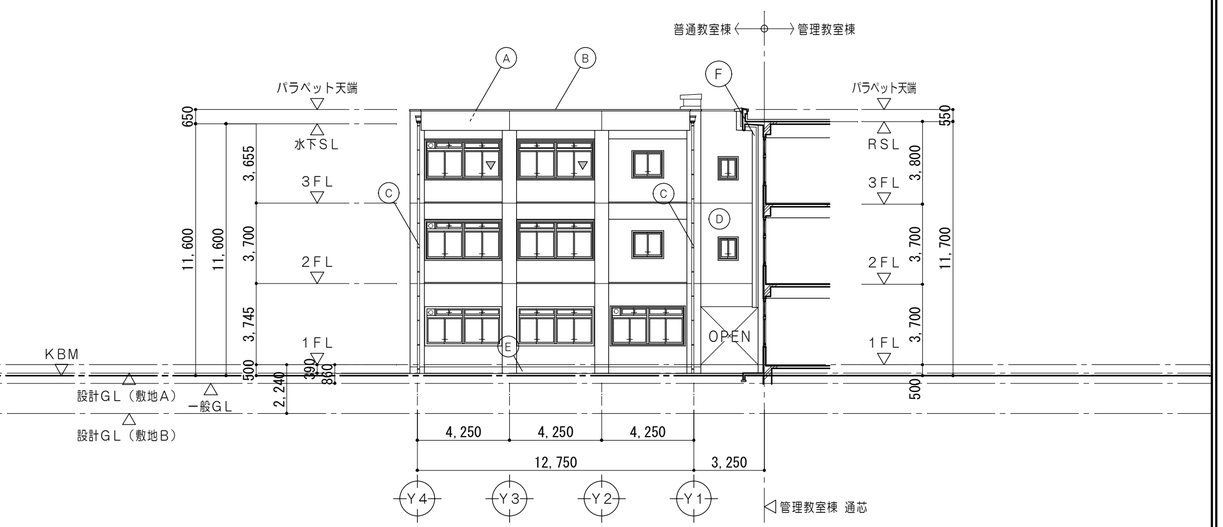


東 立 面 図　1/200

凡例
▽ 代替進入口位置を示す



南 立 面 図　1/200



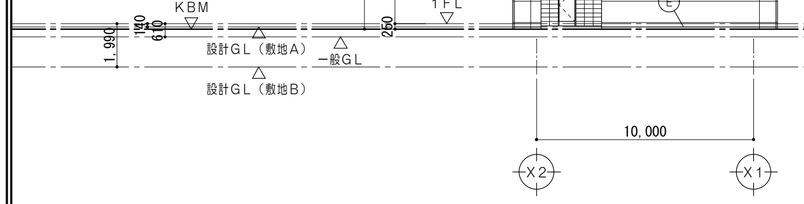
西 立 面 図　1/200

凡例
▽ 代替進入口位置を示す

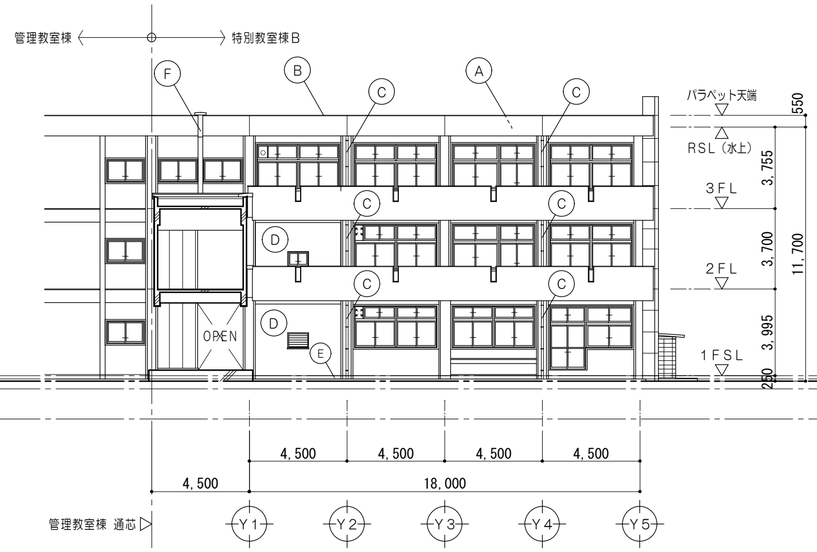
凡 例 （ 既 設 部 ）

A	屋上：塩ビシート防水　機械固定工法	E	根回り：モルタル金コテ押エ
B	笠木：アルミ防水押エ	F	EXP・J：ステンレス製　1時間耐火仕様
C	硬質塩化ビニル管（カラー）φ100 樋：支持金物：ステンレス製@1000内外 横引ドレン：鋳鉄製　、飾枡：塩化ビニル製	【註記】 ・外壁塗装について、配管等の設備機器撤去跡は、周囲と同色にて塗装すること。 ・KBM＝管理教室棟FL－500	
D	外壁：複層塗材E（吹付） 梁笠木：複層塗材E（吹付）		

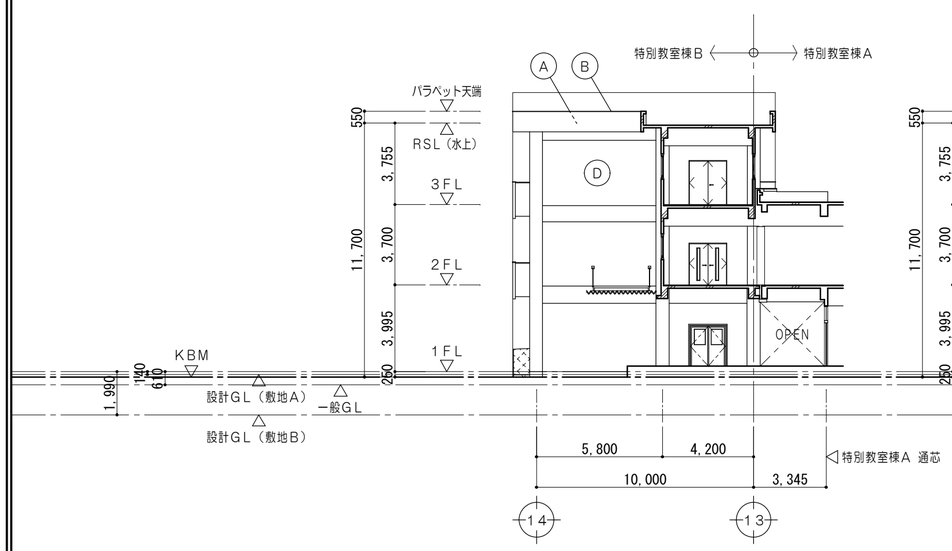
特記事項		一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-33 （原図：A2）
					図面名称	＜普通教室棟＞ 改修後　立面図No.2	縮尺	1/200



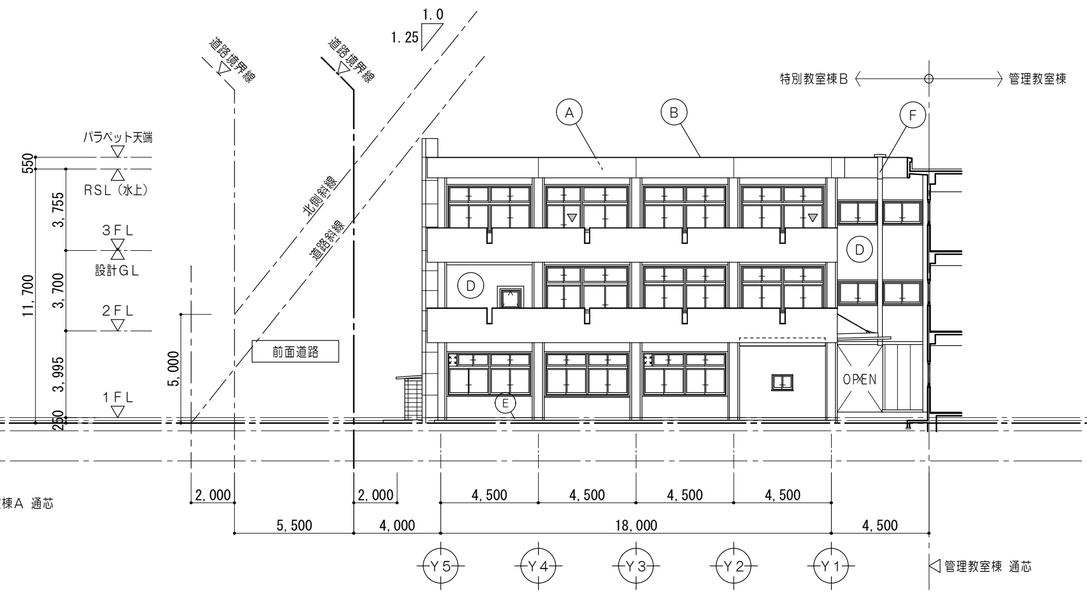
北 立 面 図　1/200



東 立 面 図　1/200



南 立 面 図　1/200



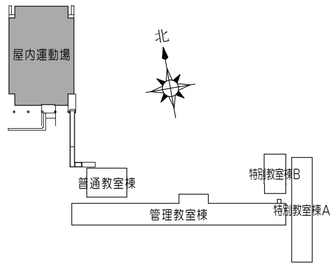
西 立 面 図　1/200

凡例
▽ 代替進入口位置を示す

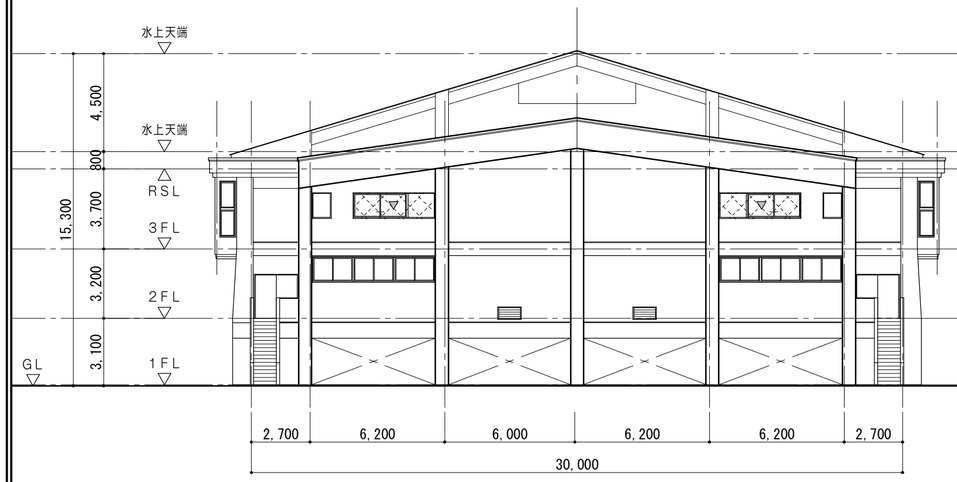
凡 例 （ 既 設 部 ）

A	屋上：塩ビシート防水　機械固定工法	E	根回り：モルタル金コテ押エ
B	笠木：アルミ防水押エ	F	ＥＸＰ・Ｊ：ステンレス製　１時間耐火仕様
C	硬質塩化ビニル管（カラー）φ１００ 樋：支持金物：ステンレス製@１０００内外 横引ドレン：鋳鉄製　、飾枡：塩化ビニル製	【註記】 ・外壁塗装について、配管等の設備機器撤去跡は、周囲と同色にて塗装すること。 ・ＫＢＭ＝管理教室棟ＦＬ－２５０	
D	外壁： 複層塗材Ｅ（吹付）		

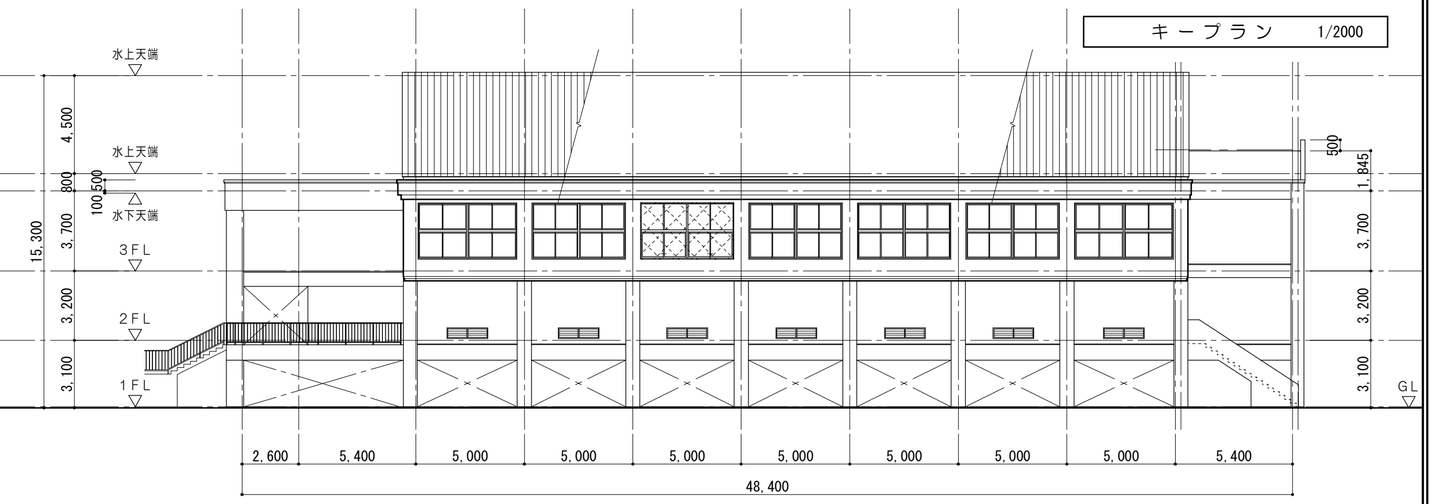
特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-34 （原図：A2）
				図面名称	＜特別教室棟Ｂ＞ 改修後　立面図No.３	縮尺	1/200



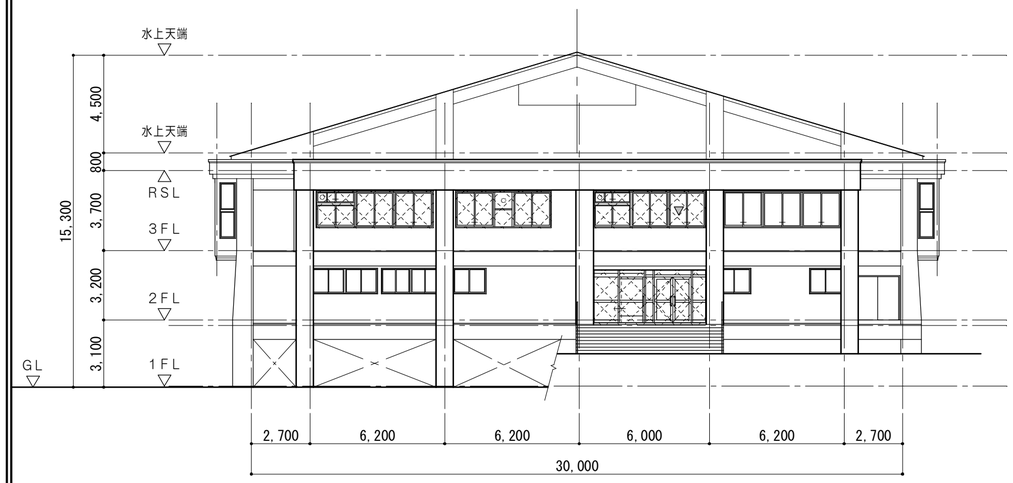
キープラン　1/2000



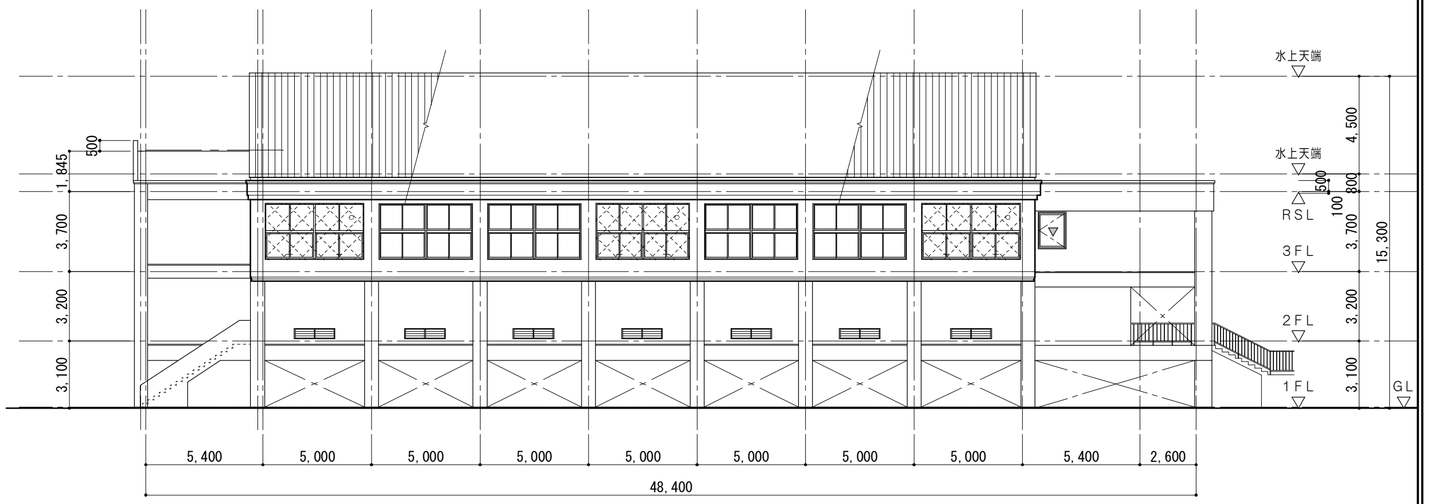
北立面図　1/200



東立面図　1/200



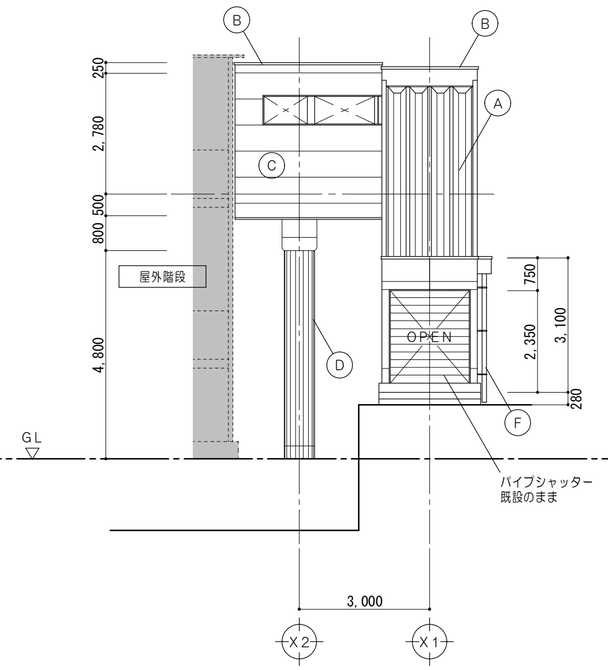
南立面図　1/200



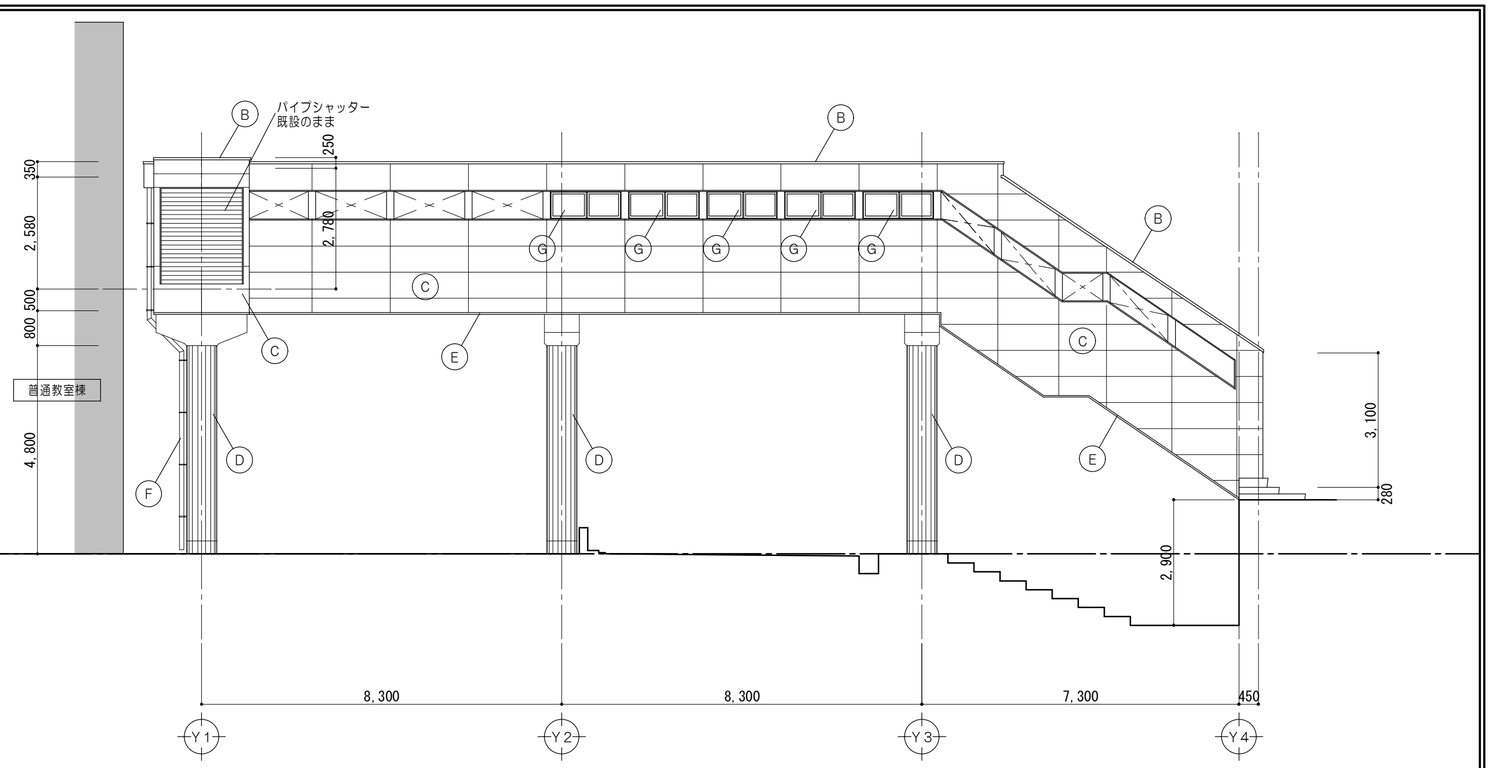
西立面図　1/200

凡例	
	建具改修部分を示す
▽	代替進入口位置を示す

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-35 （原図：A2）
				図面名称	＜屋内運動場＞ 改修後　立面図No.4	縮尺	1/200



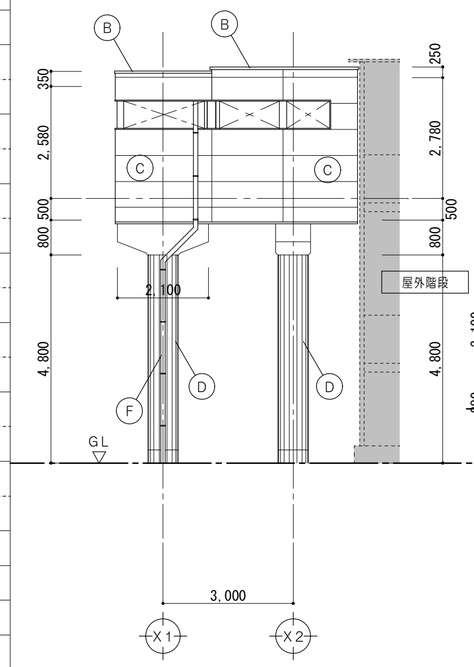
北 立 面 図　1/100



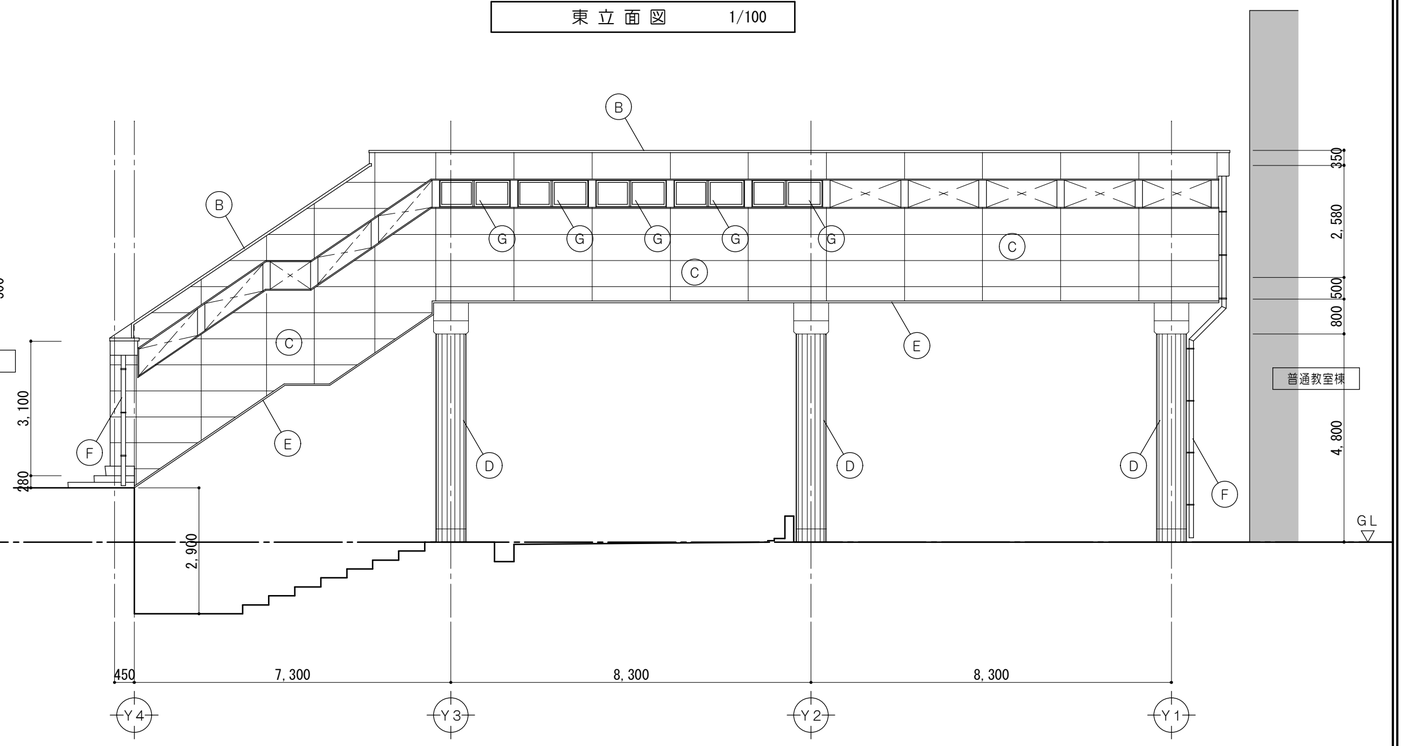
東 立 面 図　1/100

工事仕様			
部位	記号		仕上
屋根	A	改修前	丸馳折板葺　H＝166
		改修後	下地調整（RB）の上　錆止め塗料塗　DP塗
笠木	B	改修前	カラーアルミ　W＝180
		改修後	既設のまま
外壁	C	改修前	ALC厚50下地　吹付タイル
		改修後	水洗い　下地調整C－1　複層塗材E（ゆず肌） 2液型セラミック複合弾性フッ素樹脂塗料塗
柱梁	D	改修前	コンクリート打放の上　吹付タイル
		改修後	水洗い　下地調整C－1　複層塗材E（ゆず肌） 2液型セラミック複合弾性フッ素樹脂塗料塗
あげ裏	E	改修前	LGS下地　フレキシブルボード張厚5下地　吹付タイル アルミ廻り縁　　既設のまま
		改修後	下地調整（RB）の上　外装薄塗材E（ゆず肌）
タテ樋	F	改修前	塩ビVP　SOP塗
		改修後	下地調整の上　DP塗
サッシ	G	改修前	2連嵌殺シアルミサッシ　W＝1600　H＝600
		改修後	既設のまま
ひび割れ補修			Uｶｯﾄｼｰﾙ充填工法（1mm以上）
ひび割れ補修			自動式低圧樹脂注入工法（1mm以下）
欠損部補修			ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ充填工法（防錆処理共）

【註記】
・特記なき限り、サッシ廻り及びALC目地のシーリング撤去新設すること。
・ひび割れ補修等は、施工数量調査を行い、市監督員による確認後施工すること。



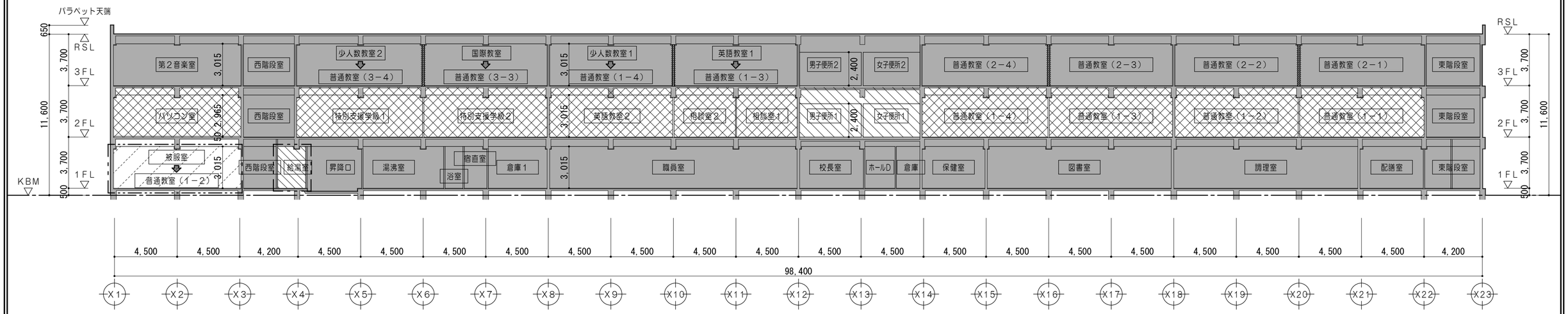
南 立 面 図　1/100



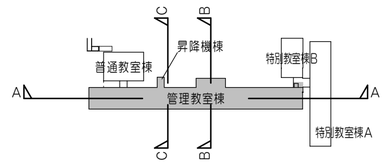
西 立 面 図　1/100

特記事項		一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-36（原図：A2）
					図面名称	＜渡り廊下＞ 改修後 立面図No.5	縮尺 1/100

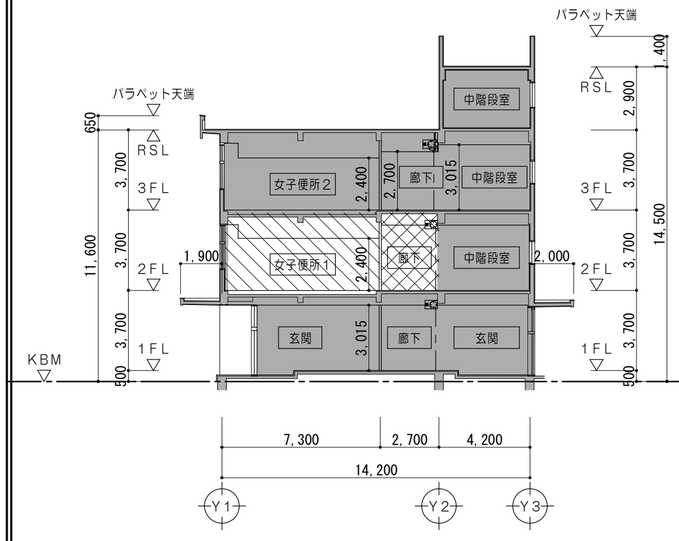
改修前



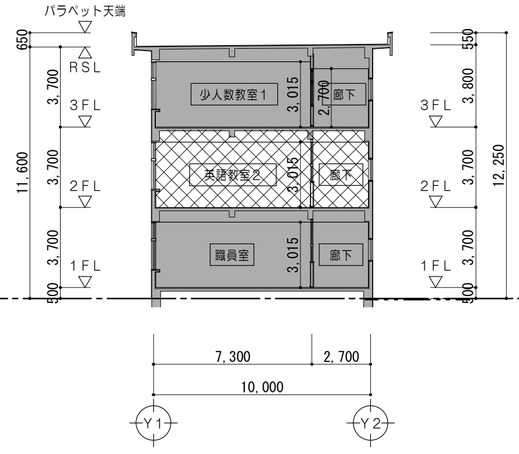
A－A断面図　1/200



キープラン　1/2000



B－B断面図　1/200

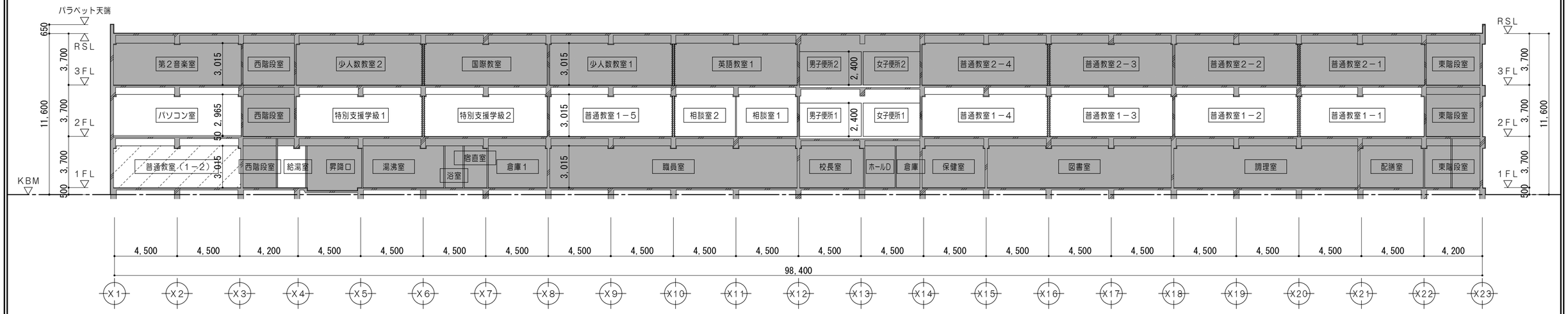


C－C断面図　1/200

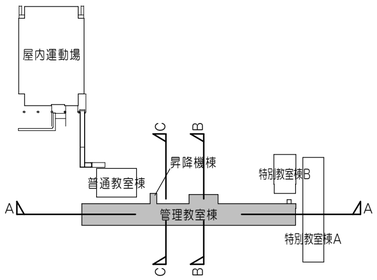
凡　例	
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す
	一部改修（仮設教室）を示す
	全面改修範囲を示す
	簡易改修範囲を示す
	夏休み工事を示す

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-37（原図：A2）
				図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前　断面図No.1	縮尺 1/200

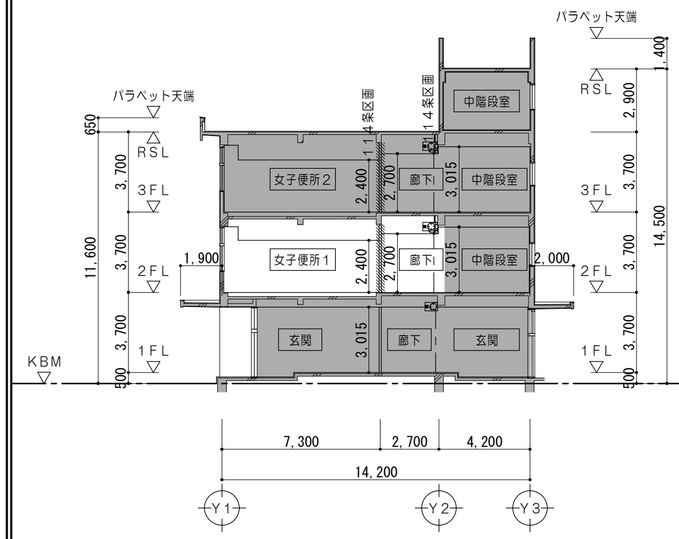
改修後



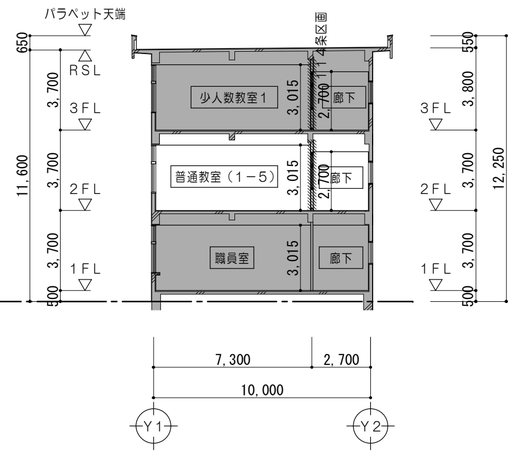
A－A断面図　1/200



キープラン　1/2000



B－B断面図　1/200

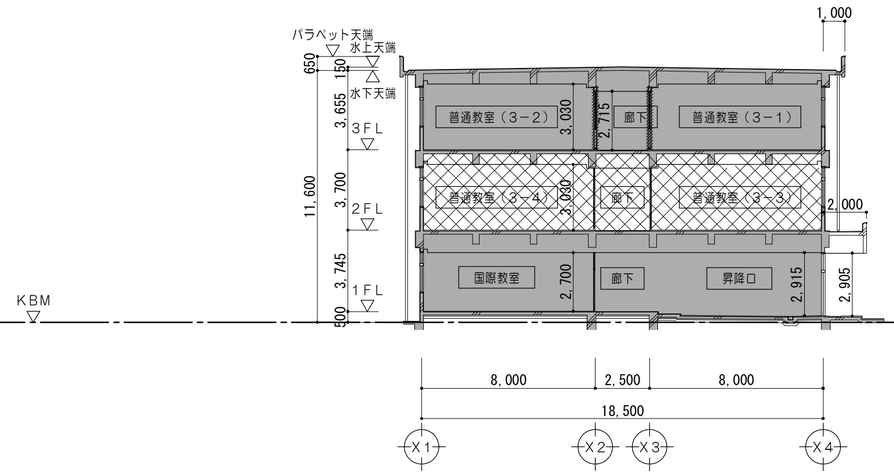


C－C断面図　1/200

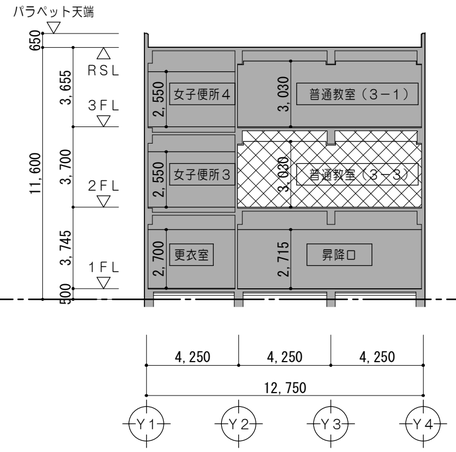
凡例	
	改修対象諸室を示す
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す
	令114条による防火上主要な間仕切壁 （小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：RC壁 平12建告1399
	令114条による防火上主要な間仕切壁 （小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁①・② ①：FP060NP－0199 ②：FP060NP－0198
（註記）KBM＝管理教室棟FL－500	

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-38（原図：A2）
				図面名称	＜管理教室棟＞ 改修後　断面図No.2	縮尺 1/200

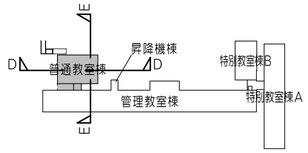
改修前



D－D 断面図　1/200



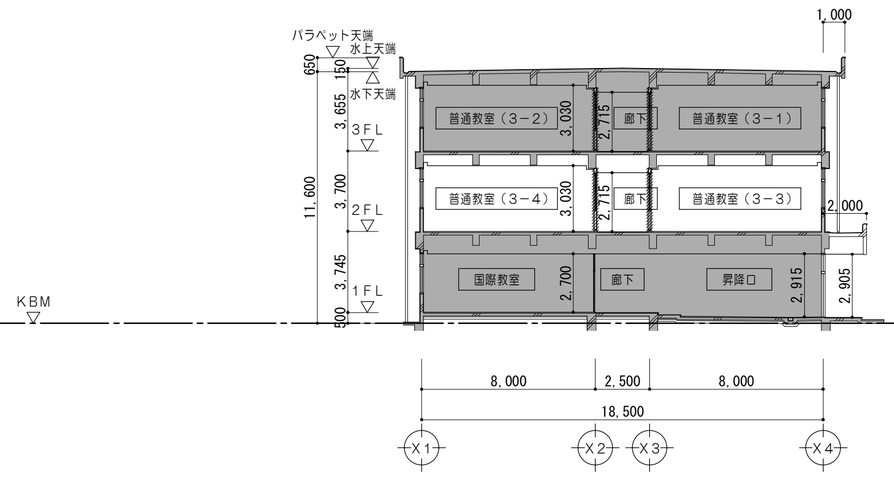
E－E 断面図　1/200



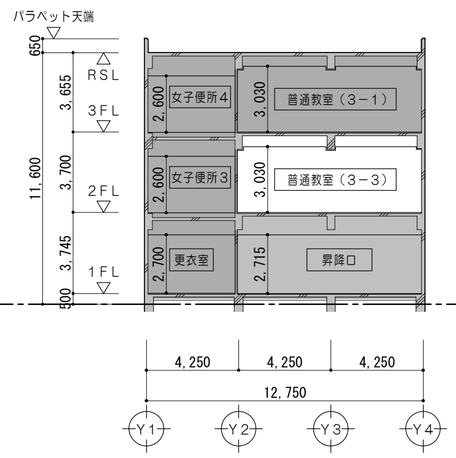
キープラン　1/2000

凡　例	
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す
	一部改修（仮設教室）を示す
	全面改修範囲を示す
	簡易改修範囲を示す
	夏休み工事を示す

改修後



D－D 断面図　1/200



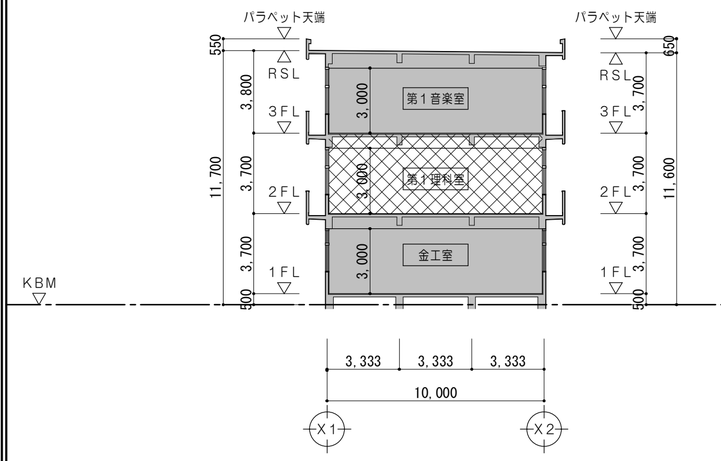
E－E 断面図　1/200

凡　例	
	改修対象諸室を示す
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す
	令114条による防火上主要な間仕切壁 （小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：RC壁 平12建告1399
	令114条による防火上主要な間仕切壁 （小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁①・② ①：FP060NP－0199 ②：FP060NP－0198

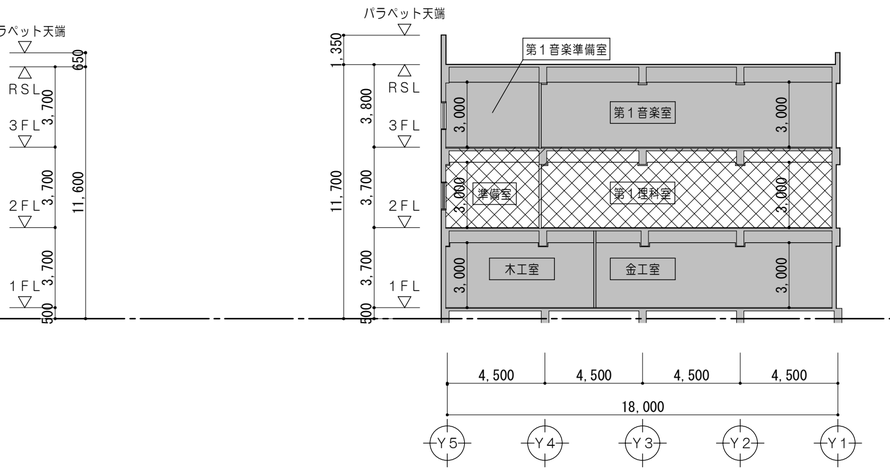
（註記）KBM＝管理教室棟FL－500

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-39（原図：A2）
				図面名称	＜普通教室棟＞ 改修前 改修後 断面図No.3	縮尺 1/200

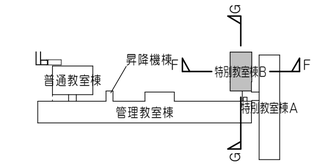
改修前



Ｆ－Ｆ断面図　1/200



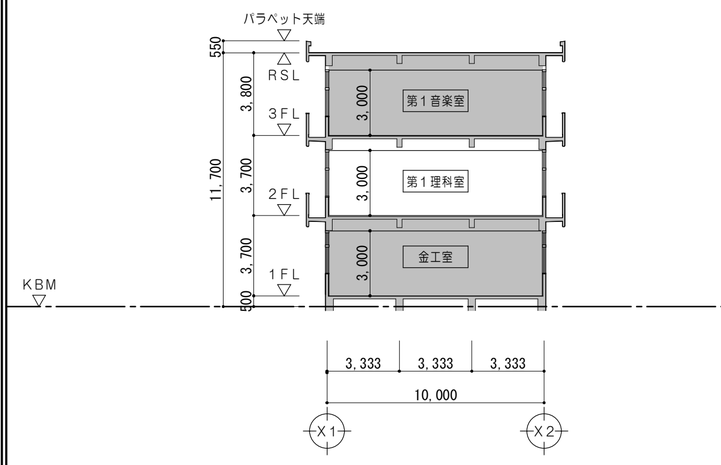
Ｇ－Ｇ断面図　1/200



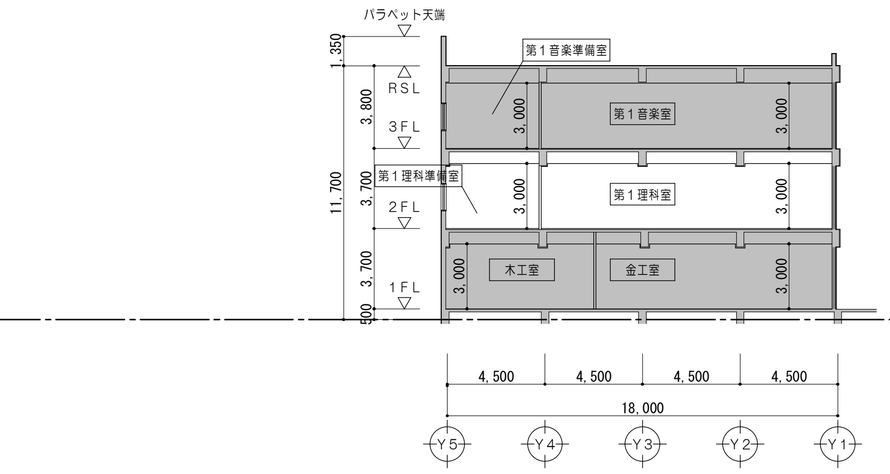
キープラン　1/2000

凡　例	
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す
	一部改修（仮設教室）を示す
	全面改修範囲を示す
	簡易改修範囲を示す
	夏休み工事を示す

改修後



Ｆ－Ｆ断面図　1/200



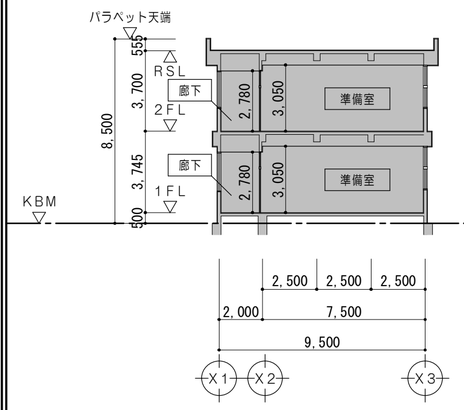
Ｇ－Ｇ断面図　1/200

凡　例	
	改修対象諸室を示す
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す
	令１１４条による防火上主要な間仕切壁 （小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：ＲＣ壁 平１２建告１３９９
	令１１４条による防火上主要な間仕切壁 （小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁①・② ①：ＦＰ０６０ＮＰ－０１９９ ②：ＦＰ０６０ＮＰ－０１９８

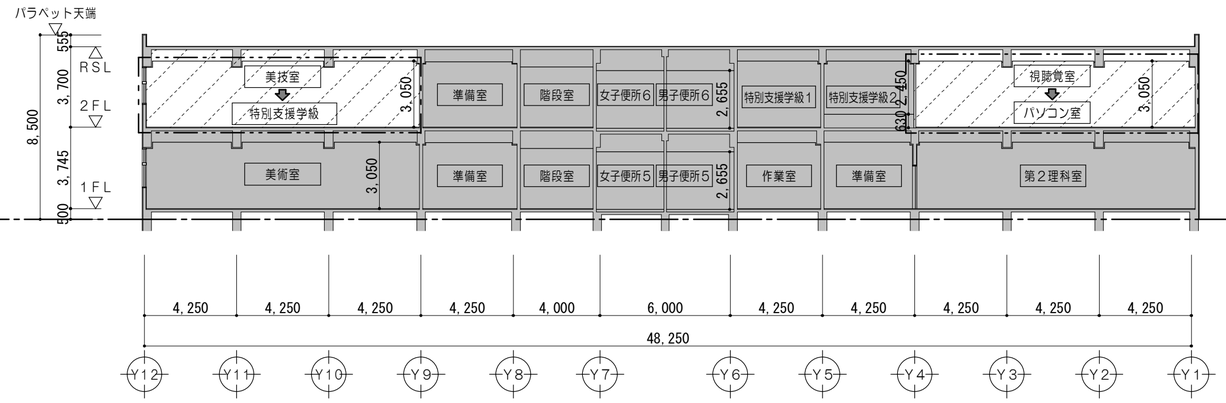
（註記）ＫＢＭ＝管理教室棟ＦＬ－５００

特記事項		一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-40 （原図：A2）
					図面名称	＜特別教室棟Ｂ＞ 改修前　改修後　断面図No.４	縮尺	1/200

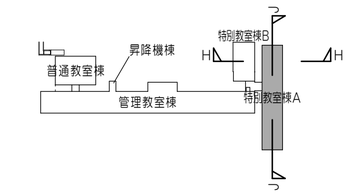
改修前



H－H断面図　1/200



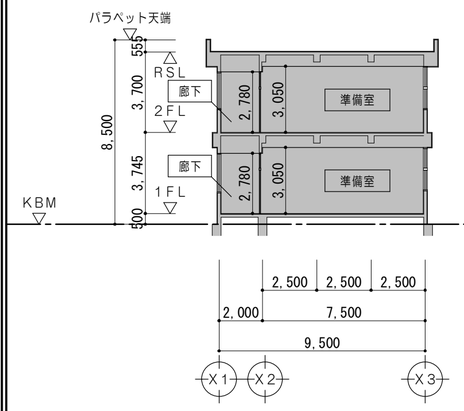
J－J断面図　1/200



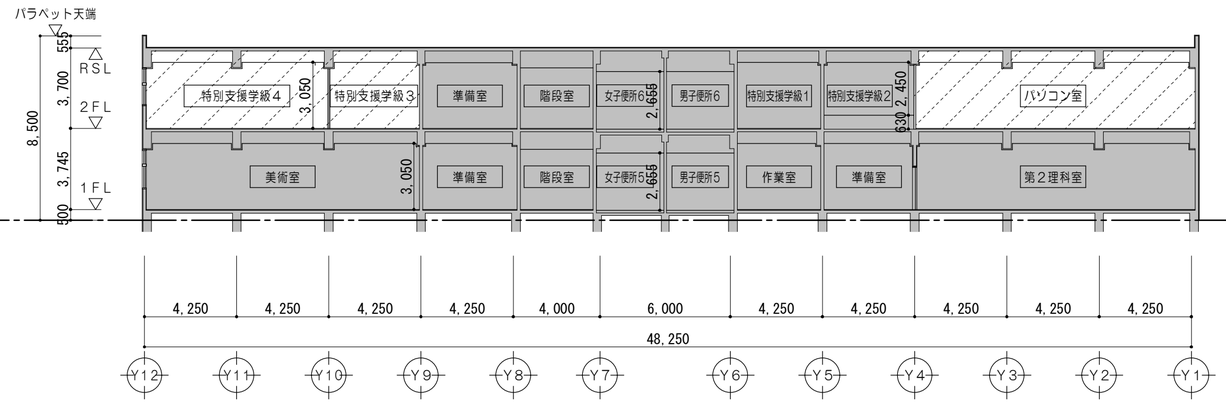
キープラン　1/2000

凡　例	
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す
	一部改修（仮設教室）を示す
	全面改修範囲を示す
	簡易改修範囲を示す
	夏休み工事を示す

改修後



H－H断面図　1/200



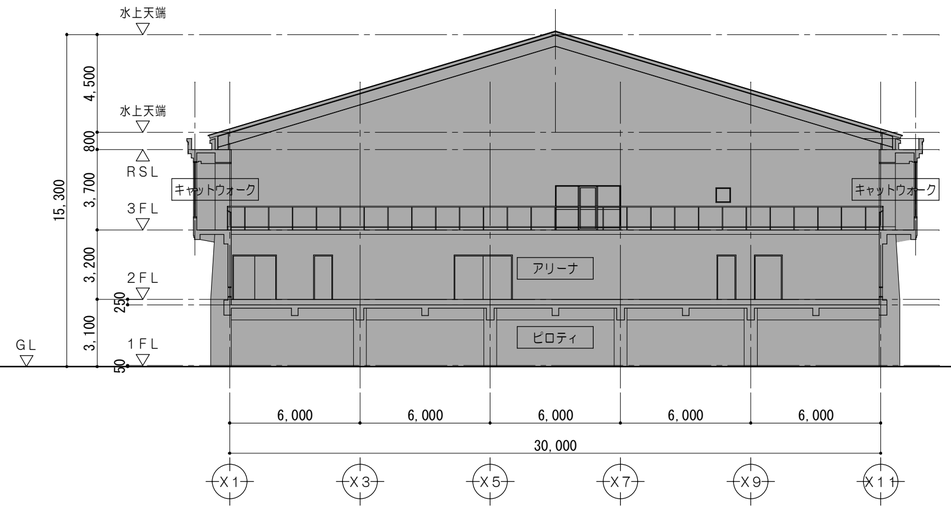
J－J断面図　1/200

凡　例	
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す
	令114条による防火上主要な間仕切壁 （小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：RC壁 平12建告1399
	令114条による防火上主要な間仕切壁 （小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁①・② ①：FP060NP－0199 ②：FP060NP－0198

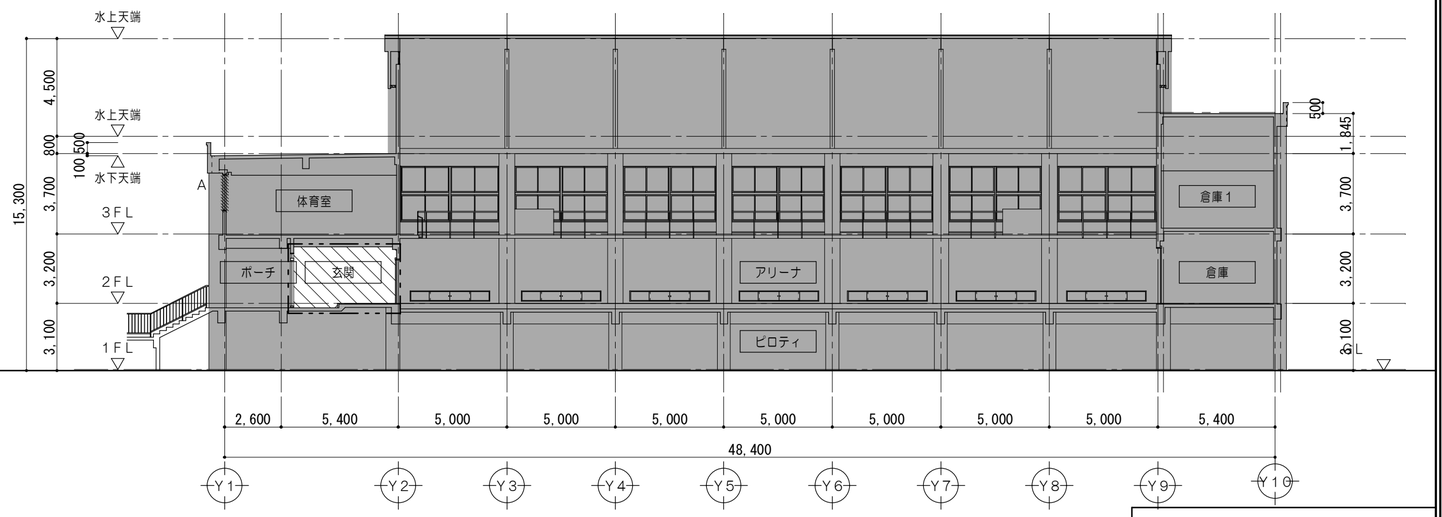
（註記）KBM＝管理教室棟FL－500

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-41（原図：A2）
				図面名称	＜特別教室棟A＞ 改修前　改修後　断面図No.5	縮尺 1/200

改修前



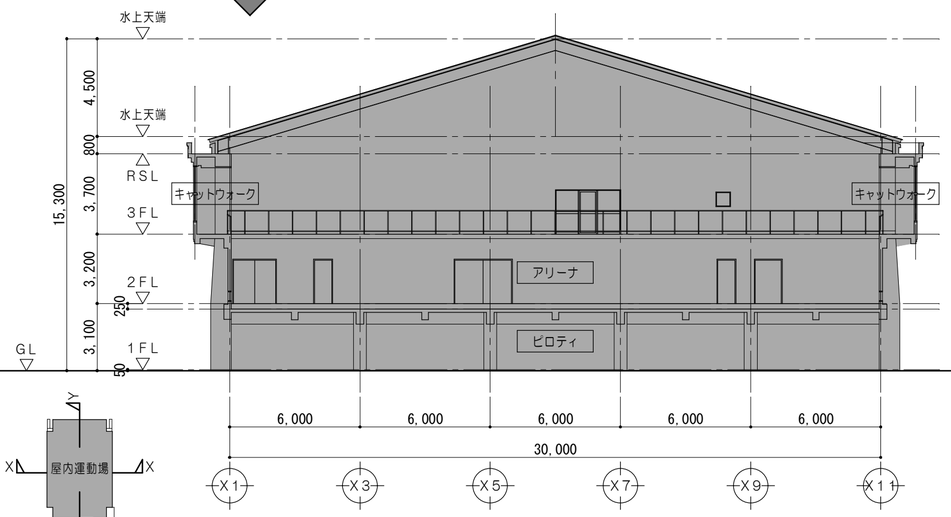
X－X断面図　1/200



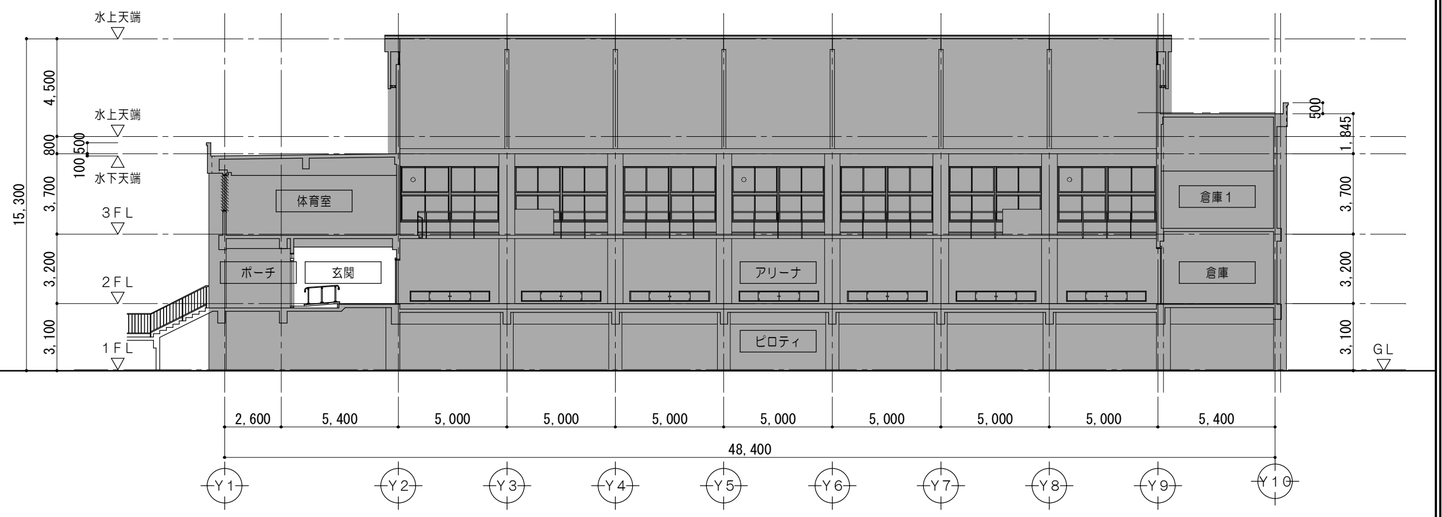
Y－Y断面図　1/200

凡　例	
	既設のままを示す
	部分改修範囲を示す
	夏休み工事を示す

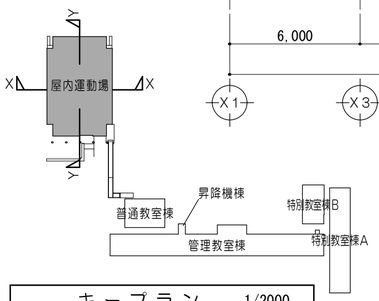
改修後



X－X断面図　1/200



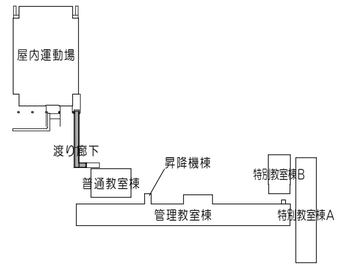
Y－Y断面図　1/200



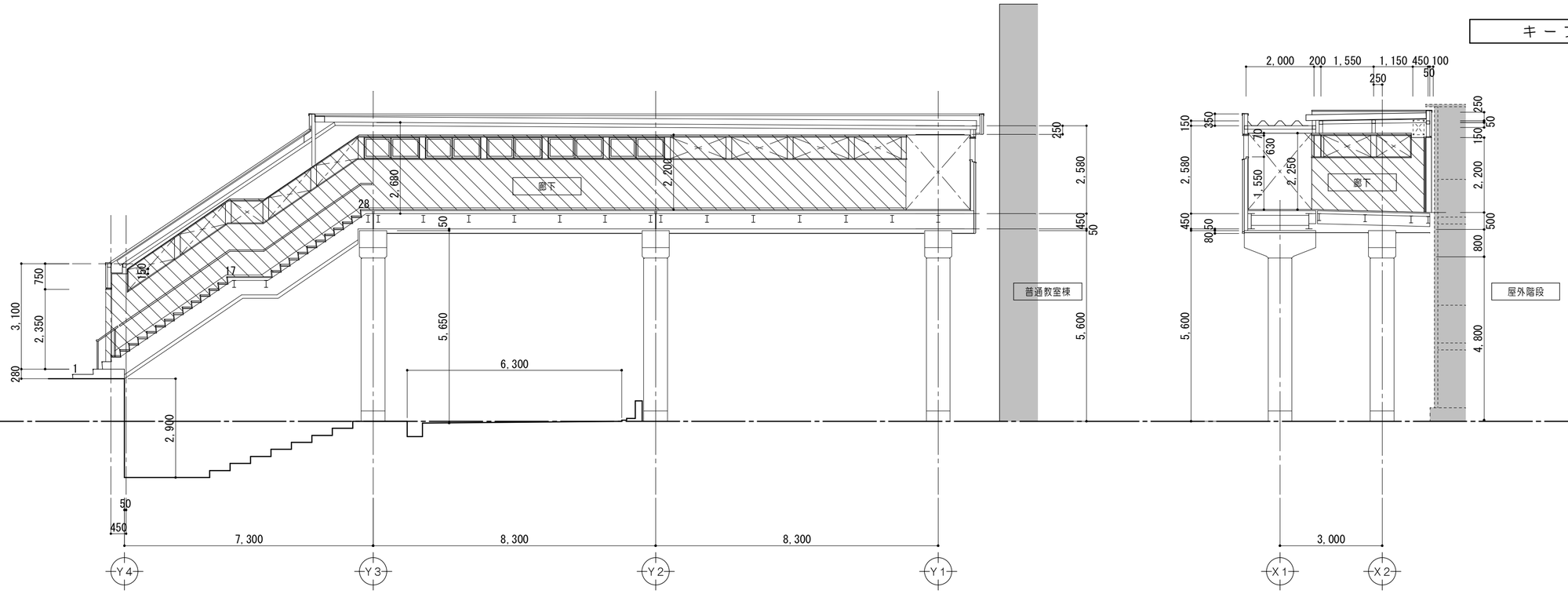
キープラン　1/2000

凡　例	
	改修完了諸室を示す
	既設のままを示す

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-42 （原図：A2）
				図面名称	＜屋内運動場＞ 改修前　改修後　断面図No.6	縮尺	1/200



キープラン　1/2000

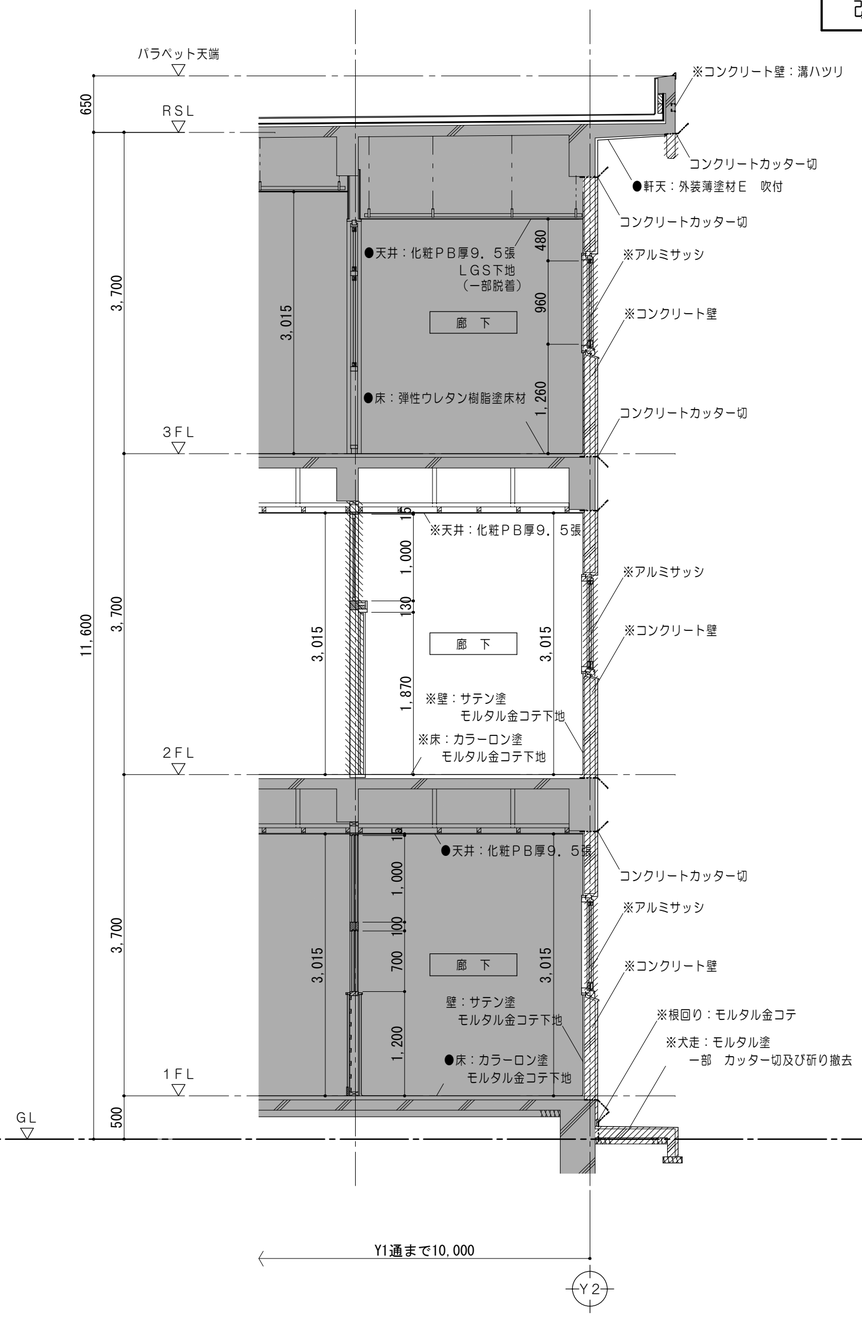


断面図　1/100

凡　例	
	部分改修を示す
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す
	令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：RC壁 平12建告1399
	令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁①・② ①：FP060NP−0199 ②：FP060NP−0198

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-43（原図：A2）
					＜渡り廊下＞ 改修後　断面図No.7	縮尺 1/100

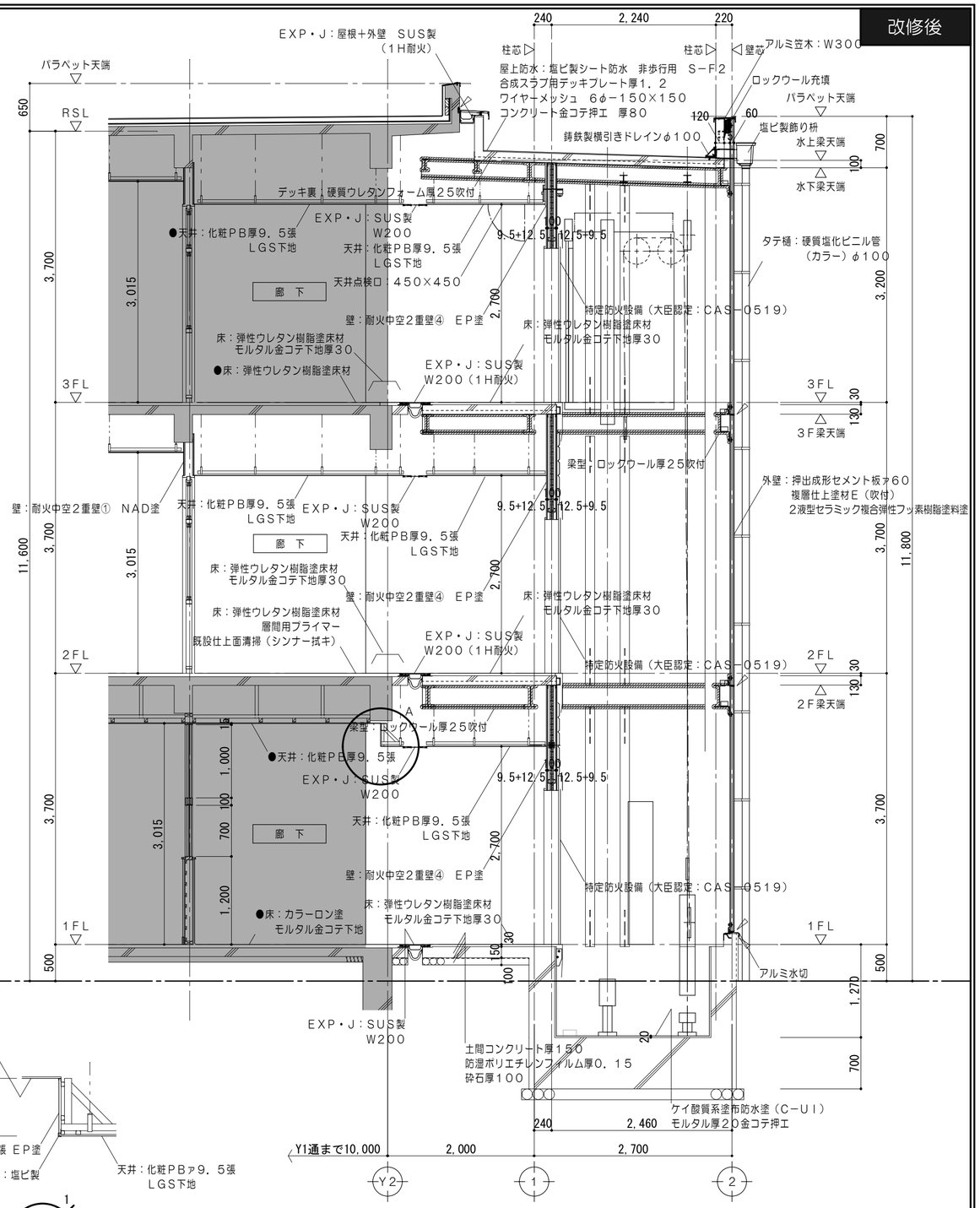
改修前



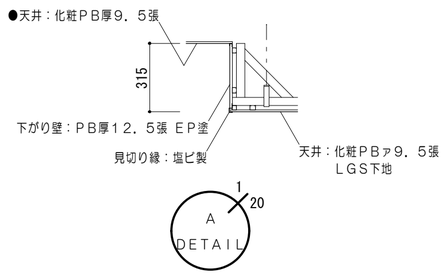
矩 計 図 No. 1　　1/50

凡例　（工事内容）			
	コンクリート壁既設のままを示す		シーリングを示す
	コンクリートブロック壁既設のままを示す	※	解体及び撤去家具類を示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す	●	既設のままを示す
	コンクリートカッター切		

改修後



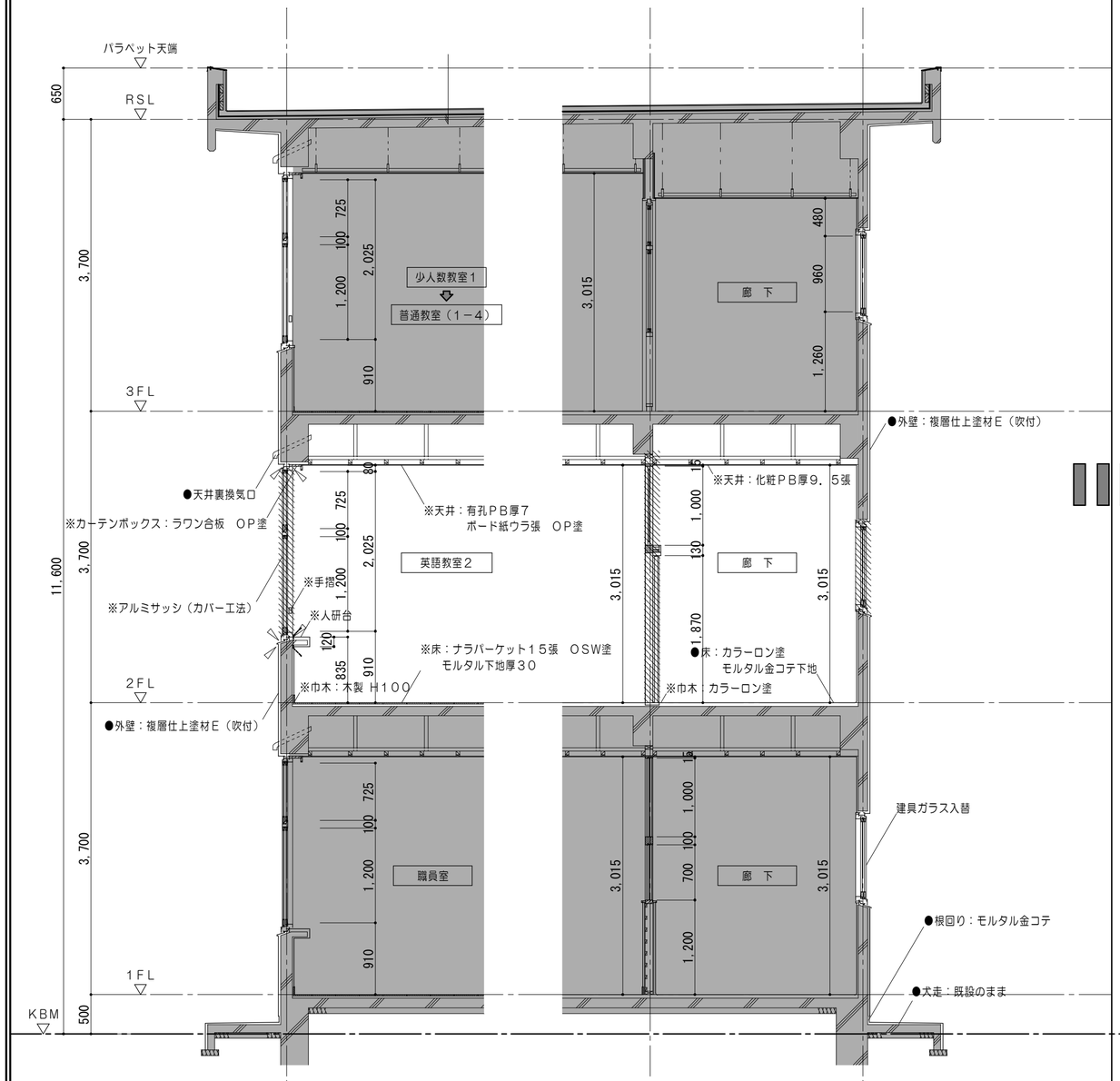
矩 計 図 No. 1　　1/50



凡例　（工事内容）			
	コンクリート壁既設のままを示す		シーリングを示す
	令114条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁　FP060NP－0199		

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-44 （原図：A2）
				図面名称	＜昇降機棟＞ 改修前　改修後　矩計図No. 1	縮尺	1/50

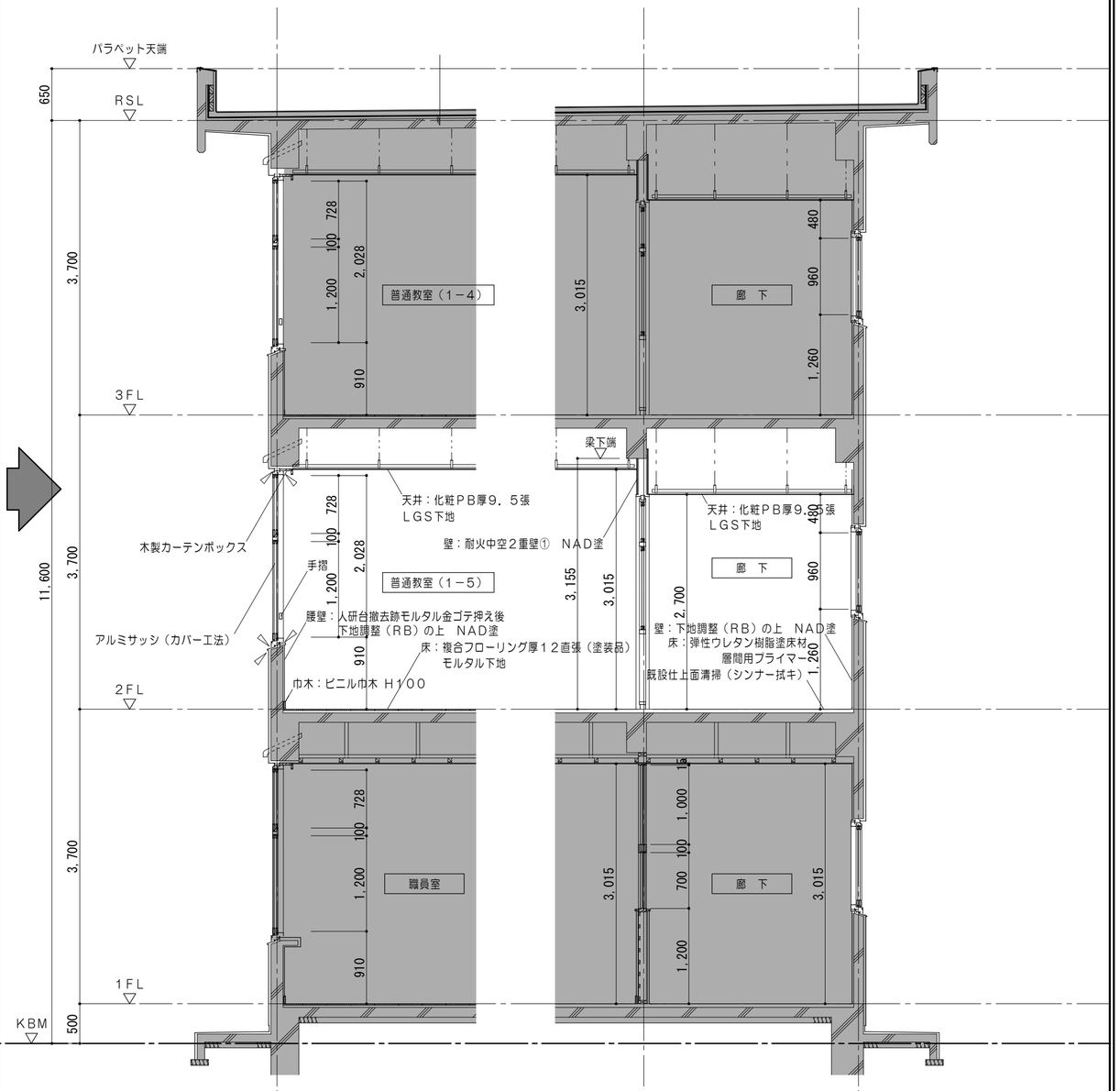
改修前



矩 計 図 No. 2　1/50

凡例　（工事内容）			
	コンクリート壁既設のままを示す		シーリングを示す
	コンクリートブロック壁既設のままを示す	※	解体及び撤去家具類を示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す	●	既設のままを示す
	コンクリートカッター切		

改修後

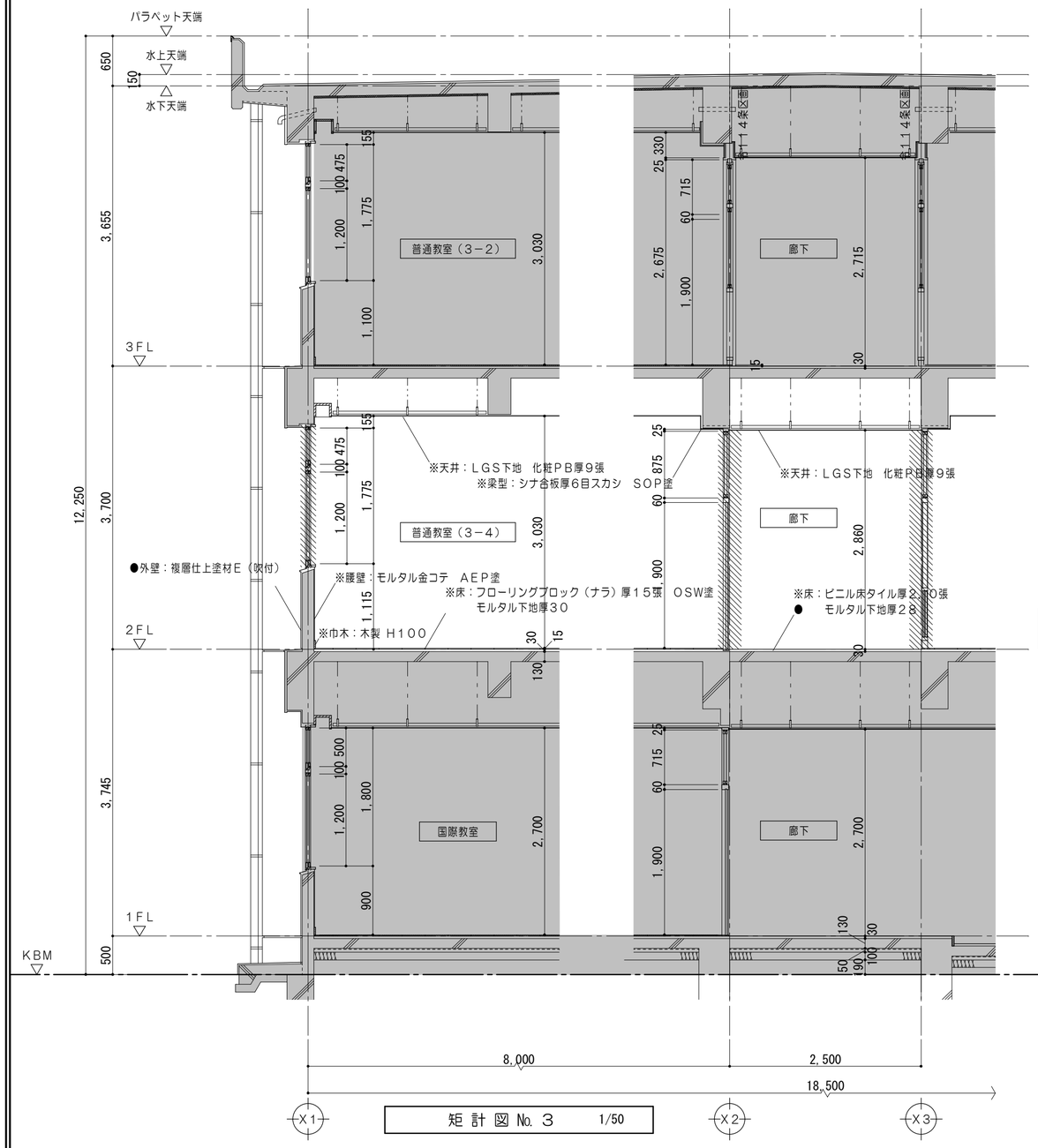


矩 計 図 No. 2　1/50

凡例　（工事内容）			
	コンクリート壁既設のままを示す		シーリングを示す
	令114条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁　FP060NP－0199		

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-45 （原図：A2）
				図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前　改修後　矩計図No. 2	縮尺	1/50

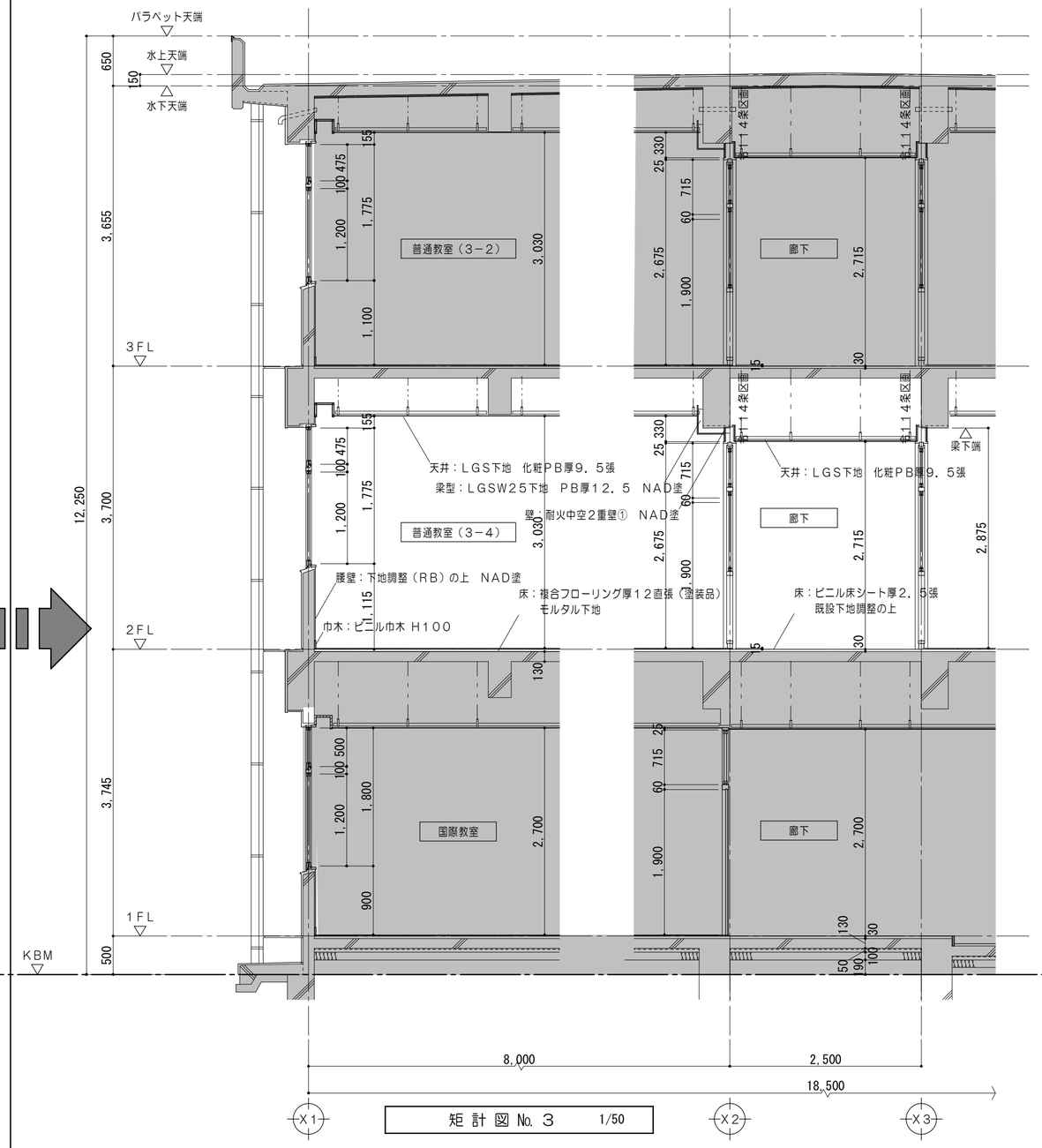
改修前



矩 計 図 No. 3　1/50

凡例　（工事内容）			
	コンクリート壁既設のままを示す	※	解体及び撤去家具類を示す
	コンクリートブロック壁既設のままを示す	●	既設のままを示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		
	シーリングを示す		

改修後

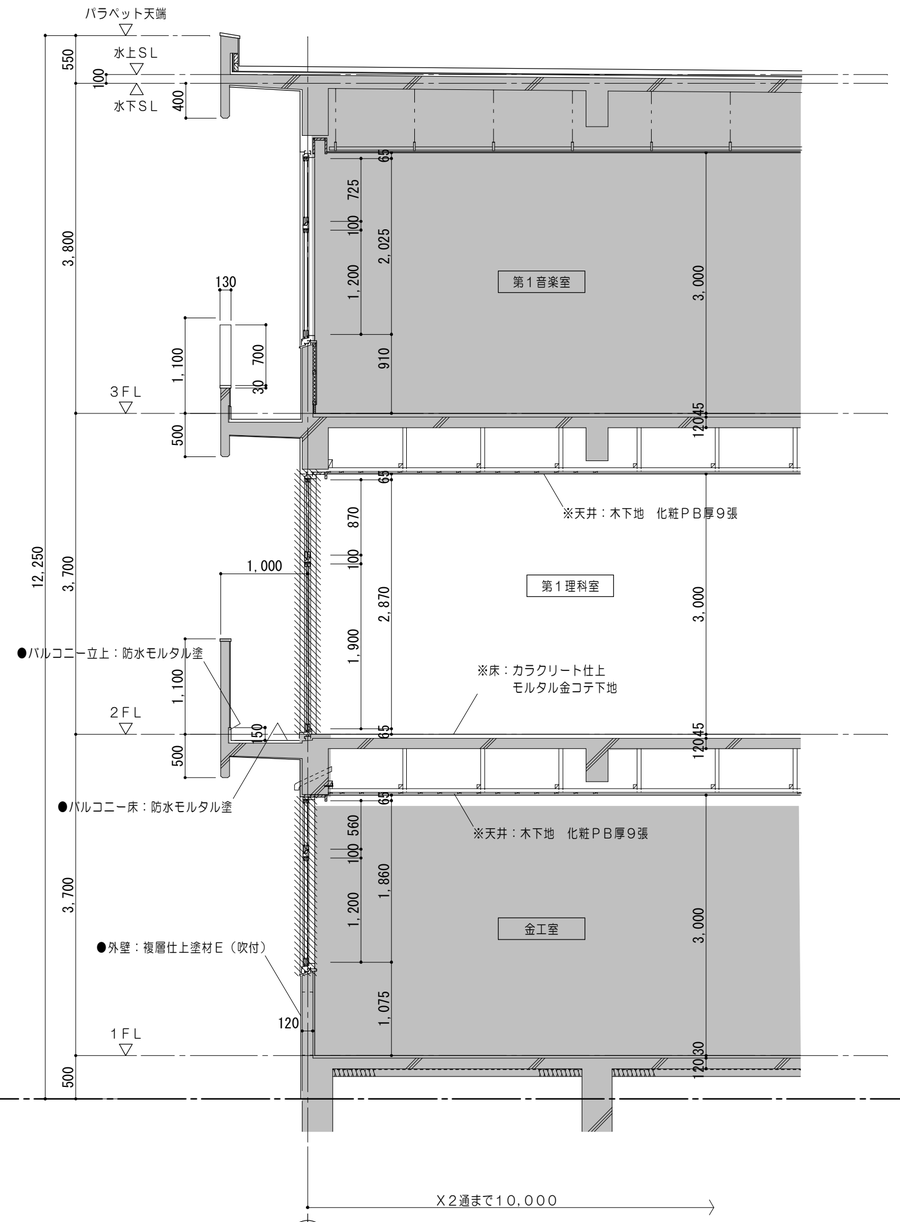


矩 計 図 No. 3　1/50

凡例　（工事内容）			
	コンクリート壁既設のままを示す	●	既設のままを示す
	令114条による防火上主要な間仕切壁 （小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP－0198		シーリングを示す
	令114条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁　FP060NP－0199		

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-46 （原図：A2）
				図面名称	＜普通教室棟＞ 改修前　改修後　矩計図No.3	縮尺	1/50

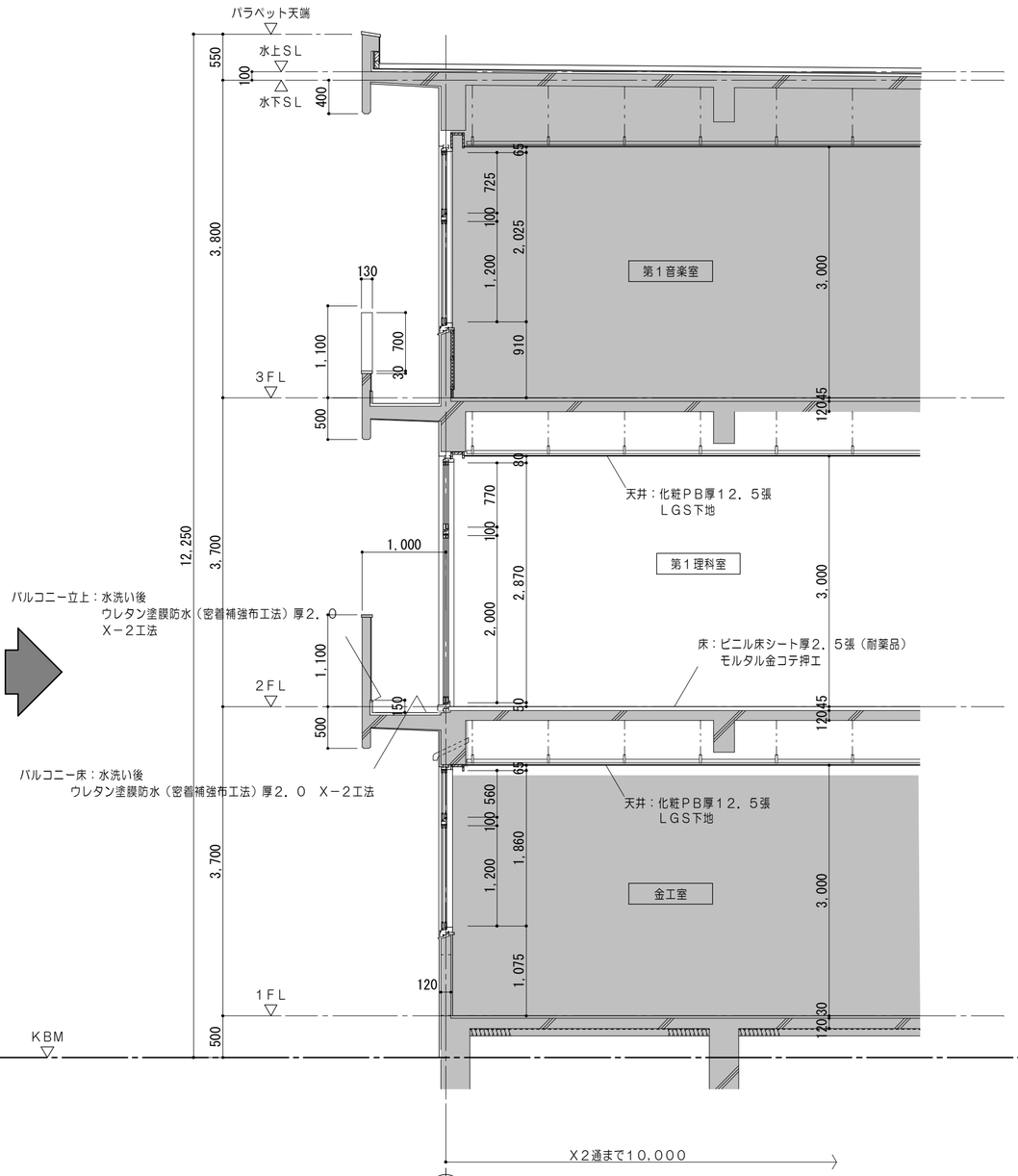
改修前



矩 計 図 No. 4　1/50

凡例　（工事内容）			
	コンクリート壁既設のままを示す		シーリングを示す
	コンクリートブロック壁既設のままを示す	※	解体及び撤去家具類を示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す	●	既設のままを示す
	コンクリートカッター切		

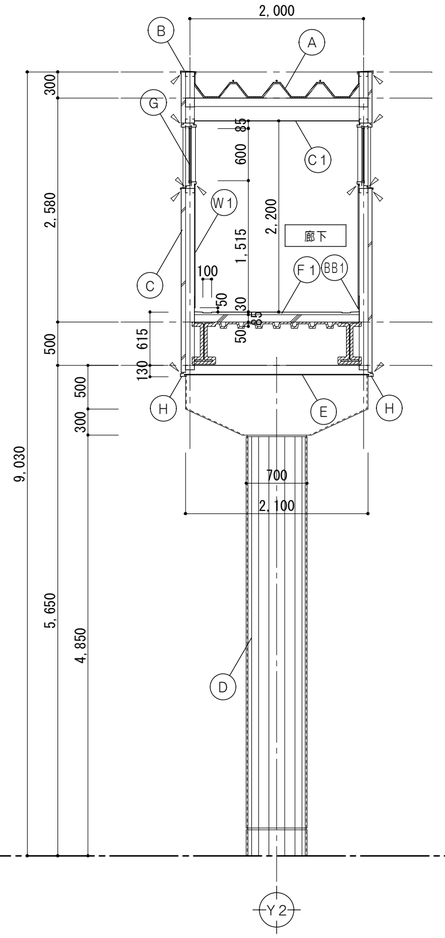
改修後



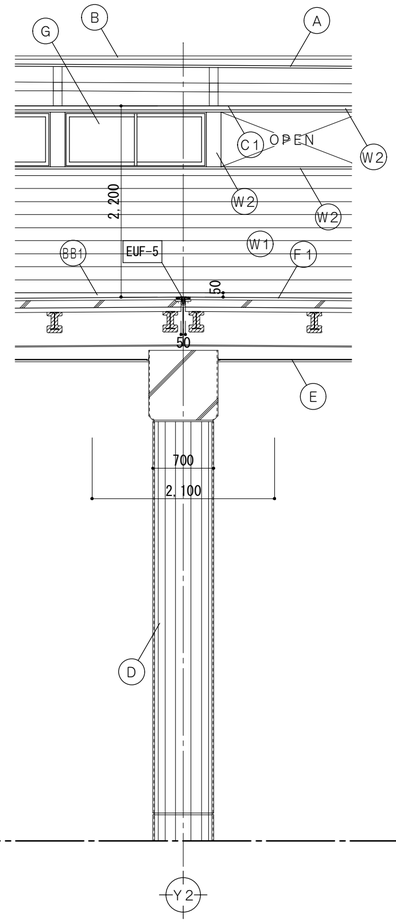
矩 計 図 No. 4　1/50

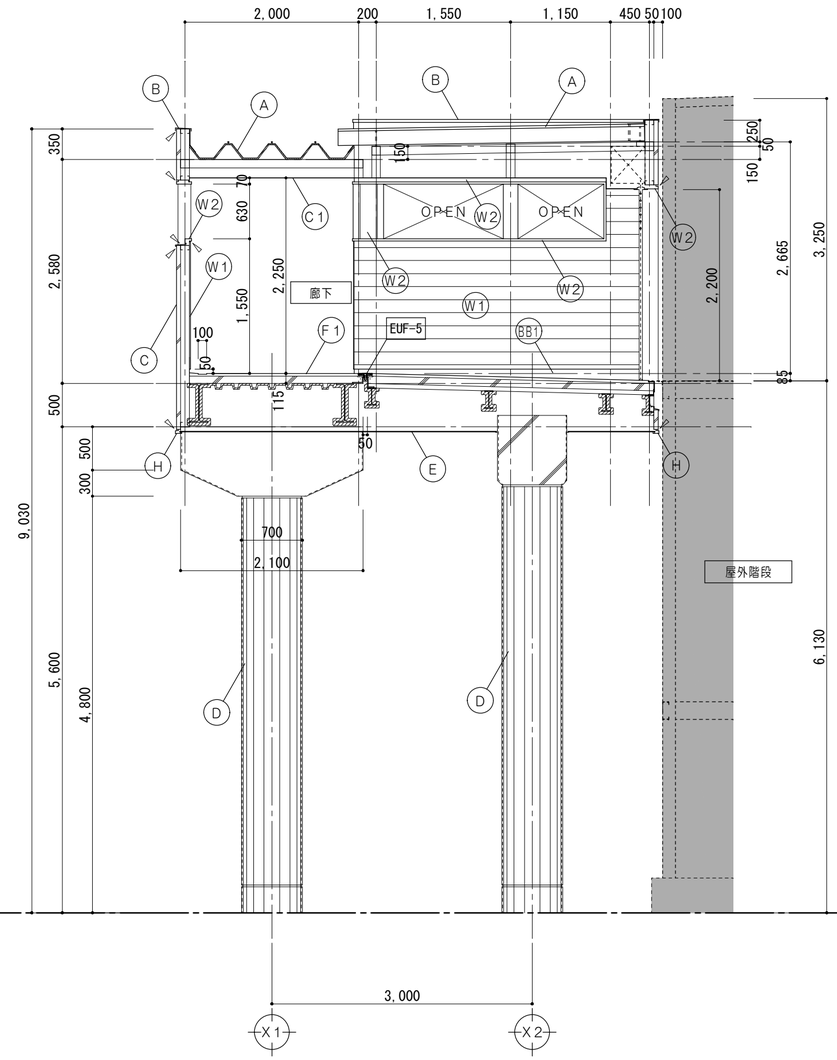
凡例　（工事内容）			
	コンクリート壁既設のままを示す		シーリングを示す
	令１１４条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁　ＦＰ０６０ＮＰ－０１９９		

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-47 （原図：A2）
				図面名称	＜特別教室棟Ｂ＞ 改修前　改修後　矩計図No.４	縮尺	1/50



断面詳細図（Ｙ２通）　1/50





断面詳細図（Ｙ１通）　1/50

工事仕様

部位	記号		仕上
床	F1	改修前	防滑性ビニル床シート張：撤去
		改修後	既設下地モルタルの上　防滑性ビニル床シート厚２．５張：新設（屋外対応品）
巾木	BB1	改修前	スチール厚１．６　SOP塗
		改修後	下地調整（ＲＢ）の上　錆止め塗料塗　ＤＰ塗
壁	W1	改修前	窯業系サイディング厚１２ 横張りフラット無塗装品　ＶＰ塗：撤去
		改修後	窯業系サイディング厚１２無塗装品　ＤＰ塗
サッシ廻り	W2	改修前	アルミカラー
		改修後	既設のまま

部位	記号		仕上
天井	C1	改修前	ＬＧＳ下地　フレキシブル吸音板厚４張　ＶＰ塗：撤去
		改修後	ＬＧＳ下地　ケイカル板厚６　ＥＰ塗：新設
ＥＸＰ．Ｊ	EUF-5	改修前	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（床＋床）：撤去
		改修後	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（床＋床）：新設
◇	シーリング打替を示す		
	書き入れなき廻り縁は、塩ビ製とする。		

部位	記号		仕上
屋根	A	改修前	丸馳折板葺　Ｈ＝１６６
		改修後	下地調整ＲＢ種　錆止め塗料塗　ＤＰ塗
笠木	B	改修前	カラーアルミ　Ｗ＝１８０
		改修後	既設のまま
外壁	C	改修前	ＡＬＣ厚５０下地　吹付タイル
		改修後	水洗い　下地調整Ｃ－１　複層塗材Ｅ（ゆず肌） ２液型セラミック複合弾性フッ素樹脂塗料塗
柱梁	D	改修前	コンクリート打放の上　吹付タイル
		改修後	水洗い　下地調整Ｃ－１　複層塗材Ｅ（ゆず肌） ２液型セラミック複合弾性フッ素樹脂塗料塗

部位	記号		仕上
あげ裏	E	改修前	ＬＧＳ下地　フレキシブルボード張厚５下地　吹付タイル アルミ廻り縁：既設のまま
		改修後	下地調整（ＲＢ）の上　外装薄塗材Ｅ（ゆず肌）
サッシ	G	改修前	２連嵌殺シアルミサッシ　Ｗ＝１６００　Ｈ＝６００
		改修後	既設のまま
水切	H	改修前	アルミ製水切
		改修後	既設のまま

※特記なき限り、サッシ廻り及びＡＬＣ目地のシーリング撤去新設すること。

特記事項		一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-48 （原図：A2）
					図面名称	＜渡り廊下＞ 改修後　断面詳細図	縮尺	1/50

エレベーター仕様要項

分類	仕様項目	０１号機
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	機種形名	Ｐ１１－ＣＯ－４５
	用途	乗用（車いす兼用）
	制御方式	可変電圧可変周波数制御
	操作方式	乗合全自動方式（１Ｃ－２ＢＣ）
	積載量	７５０ｋｇ
	定員	１１名
	定格速度	４５ｍ／ｍｉｎ
	戸閉方式	２枚戸両引き（ＣＯ）
	出入口幅	８００mm
	出入口高さ	２１００mm
	かご室サイズ（内法間口）	１４００mm
	かご室サイズ（内法奥行）	１３５０mm
	かご室サイズ（内法高さ）	２２８０mm
	出入口方式	一方向出入口
	正面側停止数	３停止（１－３階）
その他基本仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスＡ１４
	公共建築工事標準仕様　適用年版	平成２８年版
	敷居間隔	１０mm
	ドアセンサー機能	マルチビームドアセンサ２Ｄ
	車いす仕様	あり（制御機能）
	視覚障がい者対応仕様	あり
	乗場視覚障がい者用注意名板（追加分）	２（枚）
	地震時管制運転方式	Ｐ波＋Ｓ波センサ付３段設定（普通級）
	停電時自動着床装置	あり
乗場仕様	乗場三方枠	大枠末広幕板なし３００mm以下ステンレスヘアライン（１－３階）
	乗場戸	鋼板塗装（メーカー標準色）仕上（１－３階）
	乗場敷居	アルミ製（１－３階）
	乗場インジケーター	一体セグメントＬＥＤ　ステンレスヘアライン（１－３階）
	乗場インジ一体形ボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色ＬＥＤ（１－３階）
	休止灯	あり
	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタンプレート一体形ステンレスヘアライン仕上（１－３階）
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色ＬＥＤ（１－３階）
	乗場休止スイッチ	乗場インジ・ボタン組込

エレベーター仕様要項

分類	仕様項目	０１号機
かご室仕様	天井	ＬＥＤフラット（白色ＬＥＤ）
	かご室壁・戸	化粧鋼板
	袖壁・出入口柱	ステンレスヘアライン仕上
	巾木	アルミ製
	かご床	樹脂タイル２mm（三菱標準タイル）
	かご室敷居	アルミ製
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤プレート材質・仕上	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色ＬＥＤ
	インターホン乱用防止カバー	あり
	正操作盤インジケータータイプ	セグメントＬＥＤ
	車いす専用かご操作盤	両側面に設置　プレート：ステンレスヘアライン仕上
	車いす専用かご操作盤インジケータータイプ	セグメントＬＥＤ
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色ＬＥＤ
	車いす用インターホン乱用防止カバー	あり
	かご室換気	ラインフローファン
	かご室手すり	丸形ステンレス　二面取付（両側面）
	かご室鏡	ステンレス鏡面枠なし（５７０mm×１４００mm）
	キックプレート	ステンレスヘアライン仕上（ビスなし）高さ：床面より３５０mm
	壁保護幕	あり（磁石式）
	床保護マット	あり
その他仕様	気配りドア	あり
	遮煙機能	ディフェンスドア　２枚戸両引き用（１－３階）
	点字名板取付方法	接着
	インターホン呼び出しボタン応答灯（聴覚障がい者対応仕様）	あり
	おもり非常止め	なし
	火災時管制運転方式	火報信号連動式
	インターホン型式	６Ｖ１局
	かご室アナウンス	かご室音声合成アナウンス
	かご室スピーカー	あり
	動力電源電圧Ｖ	２１０Ｖ
	動力電源周波数Ｈｚ	６０Ｈｚ
	高調波対策種類	絶縁トランス（ノイズ・漏洩電流対応）
	フェッシャープレート	エレベーター手配（２－３階）
	煙感知器点検口スイッチ	あり
	仮設動力電源	客先手配　(NN17021984)

No.01号機

除外工事事項

建築工事関係

1. 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事
（昇降路壁は５ｃｍ^{2}辺り３００Ｎの外力が作用した時に１５mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること）
2. 鉄骨構造階のファスナー、立柱及び中間ビーム（必要の場合）並びにシキイ受材の設置工事
3. 鉄骨構造階の三方枠、インジケータ、押ボタン、ハンガーケース等の取付用鋼材設置工事
4. 各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め工事
5. 乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
6. 昇降路頂部にエレベーター機器揚重用のフック又はビームの設置工事（　　２kN）／台
7. ピット内防水仕上工事
8. その他建築に関する工事

設備工事関係

1. 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事
（繋ぎ込み工事含む）
2. インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事
（０．９φ×10本）／台
3. 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
4. 遮煙ドアご採用の場合、遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
5. エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事（昇降路内から最寄の電話中継盤まで）
6. ピット内点検用コンセント設備工事
（照明用ＡＣ１００Ｖとは別系統のこと）
7. 昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと）
平成２０年国土交通省告示第１４５４号第一号により点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
8. 放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事
（非常放送がある場合３線式とすること）
9. 昇降路の換気設備工事（平成１２年建設省告示１４１３号第１第三号ロにより昇降路内温度を４０℃以下に保つ必要があります）
発熱量　エレベーター駆動部（　　８７５Ｗ／１台）

注意事項

1. 昇降路間口・奥行寸法は、昇降路全域（ピット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
2. コンクリート強度は２１Ｎ／mm^{2}以上のこと
3. 電源電圧の変動は＋５％～－１０％以内、電圧不平衡率５％以内のこと
4. 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件が必要です
（１）昇降路内の温度は－５℃～４０℃以内、湿度は月平均９０％・日平均９５％未満かつ急激な温度変化等により氷結・結露しないこと
（２）金属を損耗または腐食したり接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガスがないこと
5. 屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等）
6. 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
7. 昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないように願います
（建築基準法施行令第129条の２の５第１項第三号）
8. 遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること
9. 輸送可能な適温配膳車や台車などの重量物は２５０ｋｇ以下とすること
10. 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
11. エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を経由しないこと）
12. エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備が影響を受ける恐れがあります
次の対策をお勧めします
（１）エレベーター動力と通信機器・ＯＡ機器等弱電機器の電源線・通信線を１ｍ以上分離する
（２）エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・ＯＡ機器等弱電機器の電源トランスを分離する
（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
（３）エレベーターを含む機器アース線と通信機器・ＯＡ機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする
13. 乗場壁ヘウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工願います。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
14. 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行ってください。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります

参　考　図

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-49 （原図：A2）
				図面名称	＜昇降機棟＞ ＥＶ詳細図No.１	縮尺	NS

動力電源設備（絶縁トランス適用時，ＣＶ－Ｔ電線使用時）

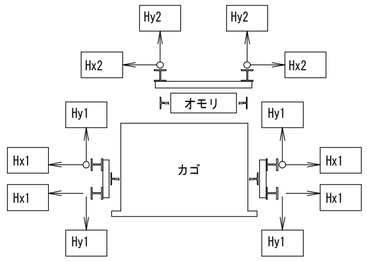
号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側ＮＦ容量	感度電流値 動作時間 （＊）	電線サイズ	接地線サイズ
０１	ＡＣ３φ２１０　Ｖ ６０ Ｈｚ	３．８ｋＷ	４ｋＶＡ	４０ＡＴ	１００　ｍＡ以上 ０．２　秒以上	７０ ｍまで　８ ｍｍ² １２１ ｍまで　１４ ｍｍ² １８５ ｍまで　２２ ｍｍ²	３．５　ｍｍ²

照明用電源ＡＣ１φ１００Ｖ　６０Ｈｚ（設備容量１ｋＶＡ／台　電源側ＮＦ容量２０ＡＴ／台）

（＊）電源側に漏電遮断器を設置する場合

電源引込み口（最下階天井付近）
動力用ＡＣ３φ－２１０Ｖ－６０Ｈｚ
照明用ＡＣ１φ－１００Ｖ－６０Ｈｚ
Ｄ種接地工事
・インターホン用配管配線工事
　ＣＰＥＶ－０．９×５Ｐ
・火災管制運転用配管配線工事
　自火報より無電圧ａ接点支給
・遠隔監視用配管配線工事
　ＰＶＣ－０．６５×４Ｃ
・カゴ上スピーカー用配管配線工事
　ＨＰ１．２ｍｍ×３Ｃ
電源線引出し長さ　天井高さ＋３５００ｍｍ
（電気工事）

ＥＶレール支持用立柱（建築工事）に作用する地震時水平荷重値



Ｈｘ１	Ｈｙ１	Ｈｘ２	Ｈｙ２
２．３３	１．１７	３．６５	３．６５

（単位：ｋＮ）

注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が５ｍｍ以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付けること。

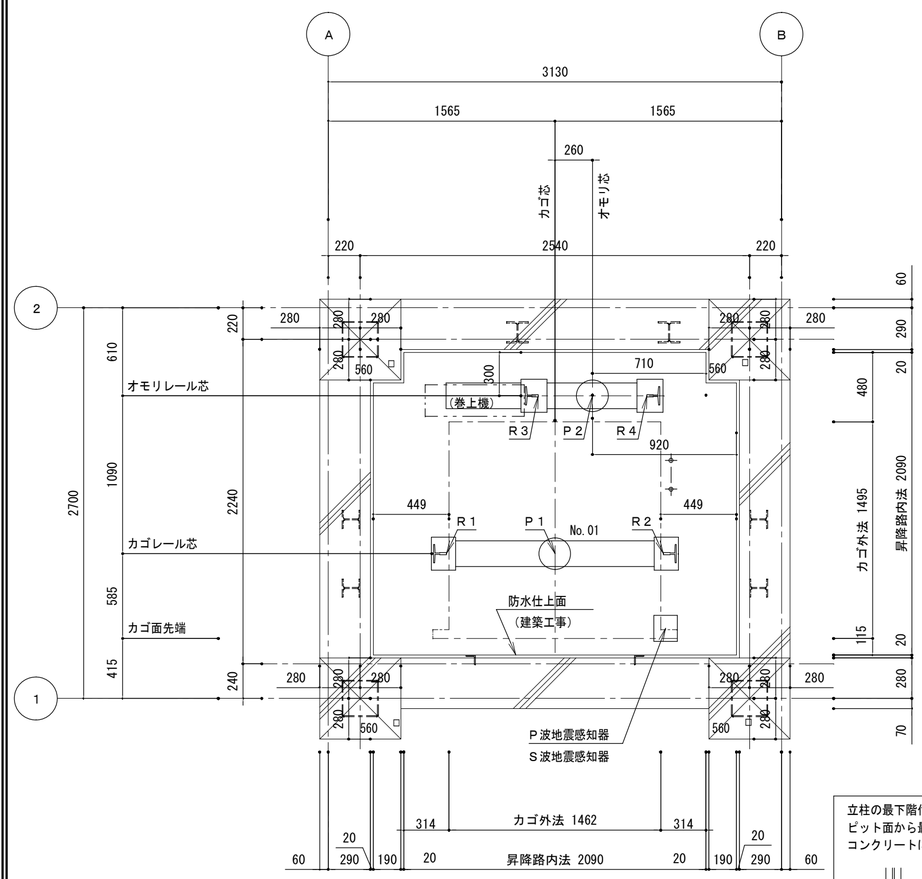
レール下端部荷重（長期荷重）

Ｒ１（ｋＮ）	Ｒ２（ｋＮ）	Ｒ３（ｋＮ）	Ｒ４（ｋＮ）
２８．２	２７．８	４９．８	２３．９

部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付材	Ｌ－６５×６５×６	建築工事
ｆ１	レールブラケット取付用立柱	Ｈ－１２５×１２５×６．５×９	建築工事
ｆ２	レールブラケット取付用立柱	Ｈ－１５０×１５０×７×１０	建築工事

ピット荷重（短期荷重）

Ｐ１（ｋＮ）	Ｐ２（ｋＮ）
８９．５	７１．６

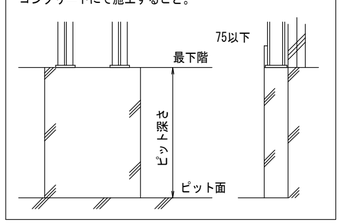


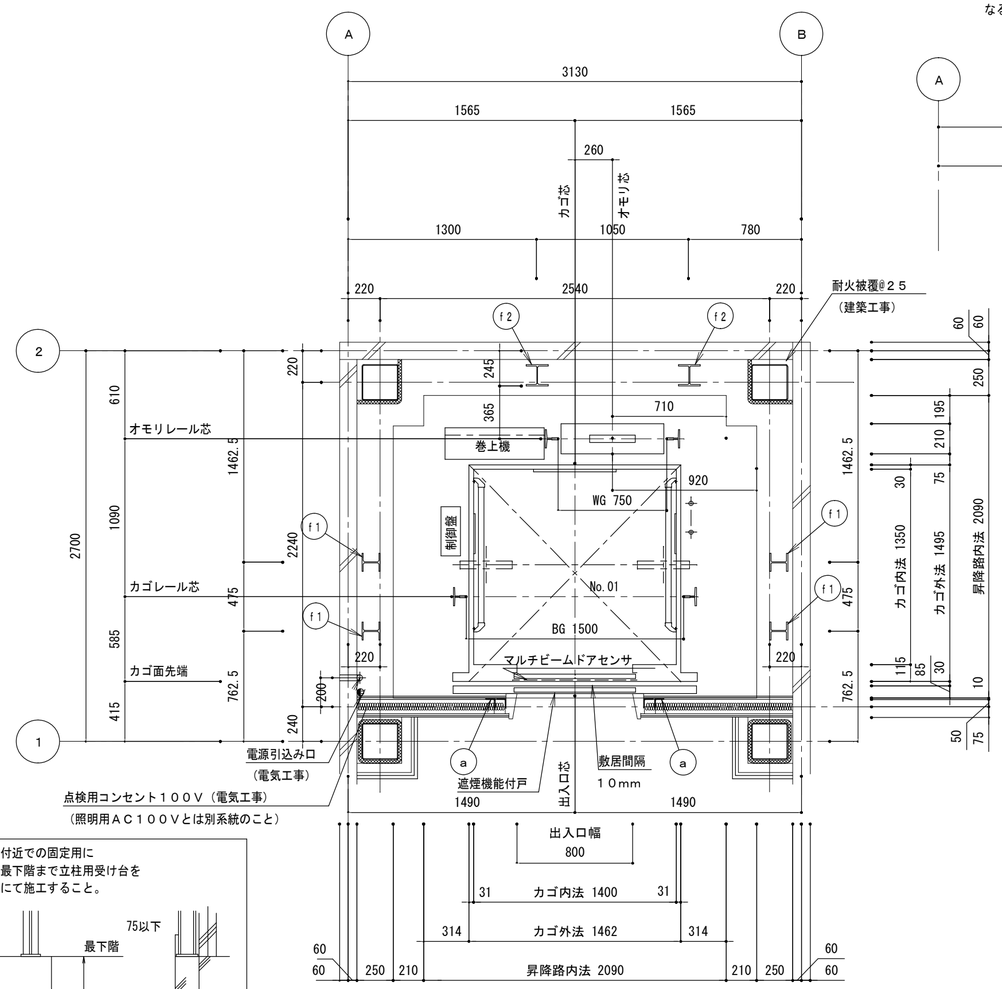
昇降路平面図　(1/30)

（ピット）

ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階ＦＬ面まで立ち上
げて下さい（建築工事）

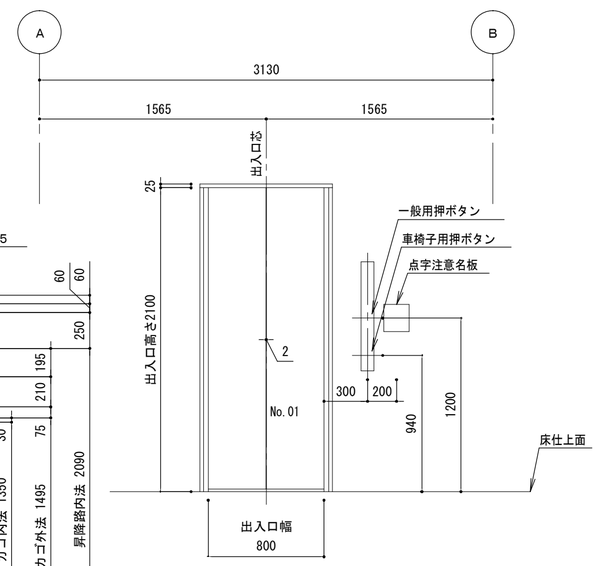
立柱の最下階付近での固定用に
ピット面から最下階まで立柱用受け台を
コンクリートにて施工すること。





昇降路平面図　(1/30)

（１階）



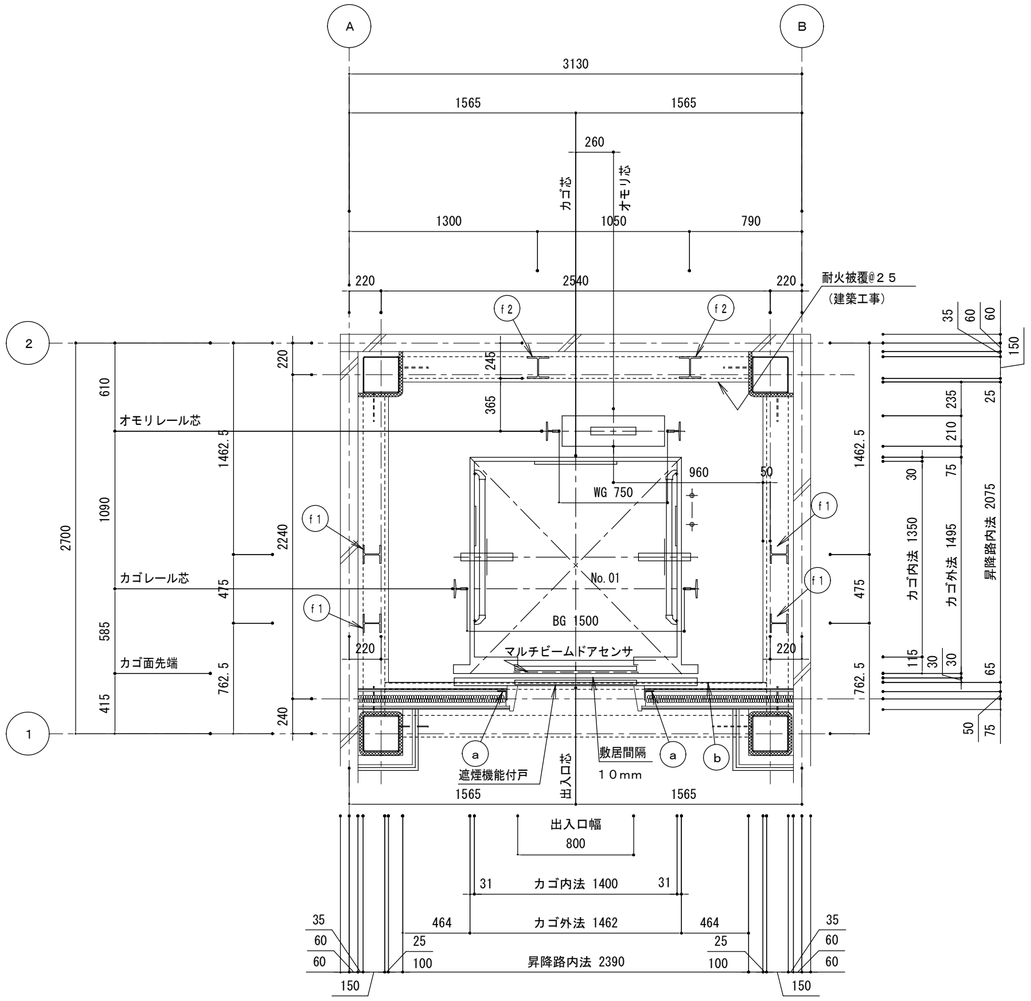
乗場正面図　(1/30)

(No.01号機)
(1-3階)

参　考　図

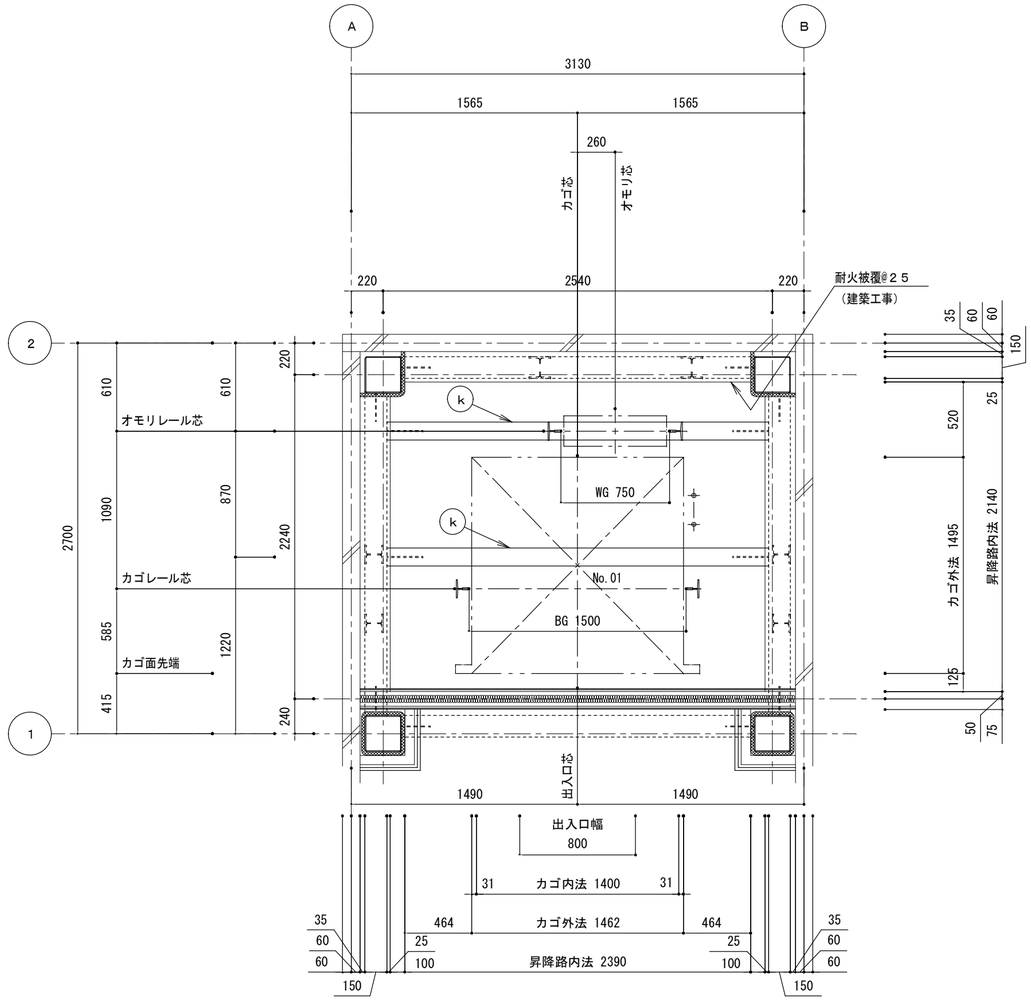
特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-50 (原図：A2)
				図面名称	＜昇降機棟＞ ＥＶ詳細図No.２	縮　尺	1/30

部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付材	Ｌ－６５×６５×６	建築工事
b	敷居取付材	[－１００×５０×５×７．５	建築工事
ｆ１	レールブラケット取付用立柱	Ｈ－１２５×１２５×６．５×９	建築工事
ｆ２	レールブラケット取付用立柱	Ｈ－１５０×１５０×７×１０	建築工事
k	揚重ビーム	Ｈ－１２５×１２５×６．５×９	建築工事



昇降路平面図　(1/30)

（２、３階）



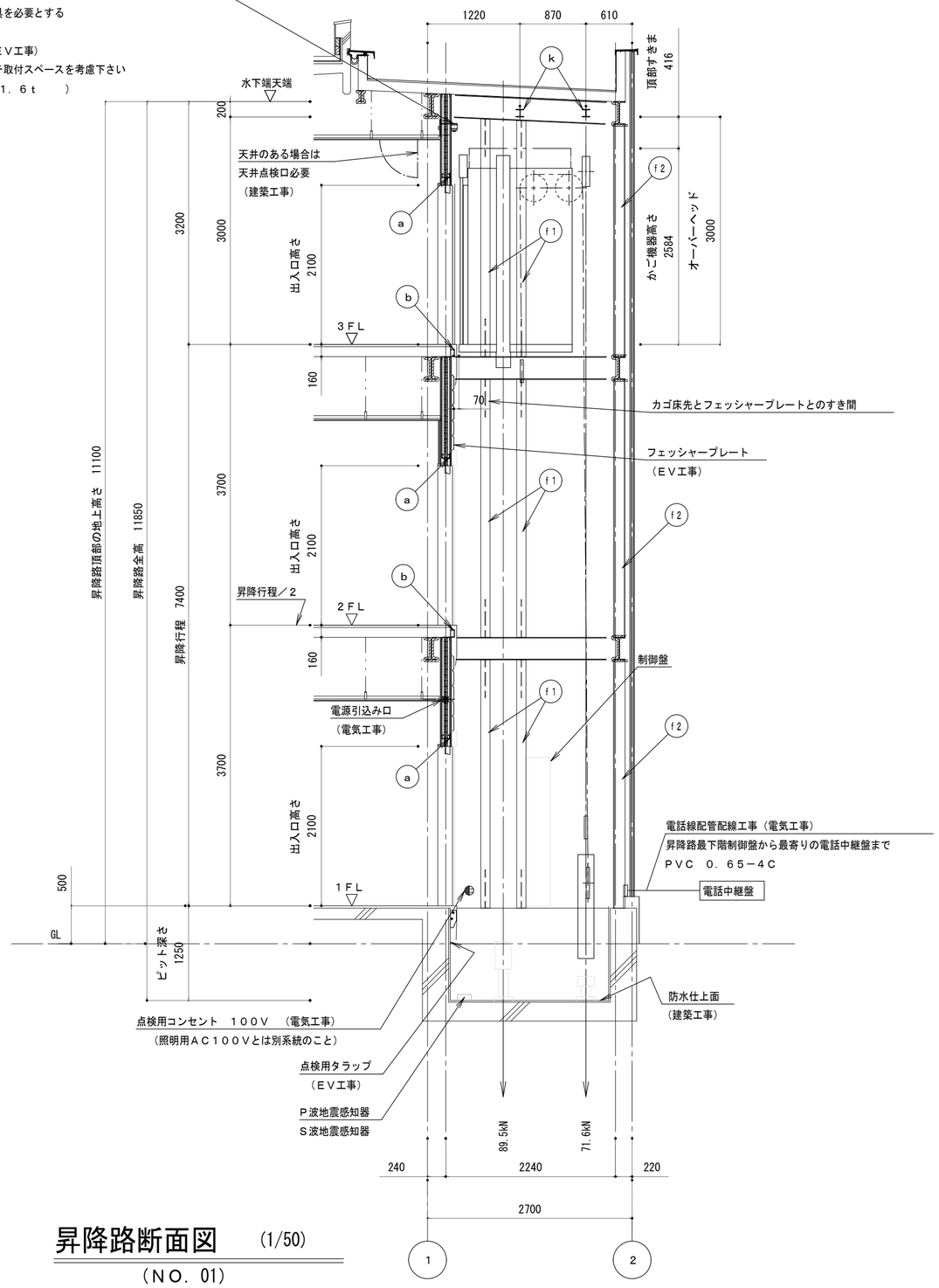
昇降路平面図　(1/30)

（頂部）

参　考　図

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-51 (原図：A2)
				図面名称	＜昇降機棟＞ ＥＶ詳細図No.３	縮　尺	1/30

煙感知器（　電気 工事）
・外部より点検可能な構造として下さい
・雨水浸入が無い様配慮下さい
・点検口は錠付または工具を必要とする
　ネジ付として下さい
・ＥＶ連動スイッチ付（ＥＶ工事）
・点検口サイズはスイッチ取付スペースを考慮下さい
　（ ３００□以内、鋼板１．６ｔ　　）

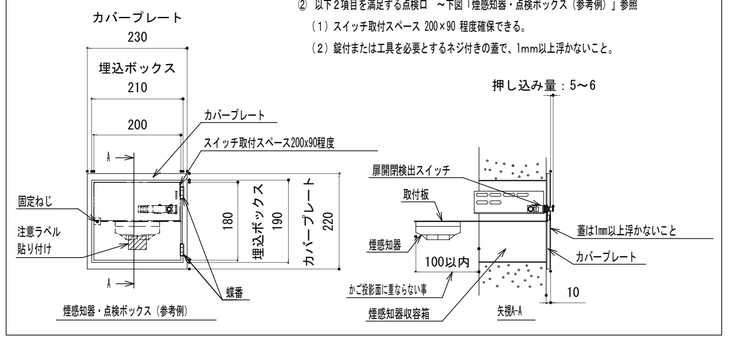


部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付材	Ｌ－６５×６５×６	建築工事
b	敷居取付材	[－１００×５０×５×７．５	建築工事
ｆ１	レールブラケット取付用立柱	Ｈ－１２５×１２５×６．５×９	建築工事
ｆ２	レールブラケット取付用立柱	Ｈ－１５０×１５０×７×１０	建築工事
k	揚重ビーム	Ｈ－１００×１００×６×８	建築工事

煙感知器施工例

煙感知器（電気工事）
・外部より点検可能な構造として下さい。
・雨水浸入が無い様配慮下さい。
・ＥＶ連動スイッチ付（ＥＶ工事）
・点検口は右記　①または②として下さい。

① EV昇降路専用品（スイッチ取付台座付き）（1）～（4）のいずれか
（1）ホーチキ　　ＫＵＳ－１Ｂ
（2）能美防災　　ＦＸＳＪ００１Ａ－ＨＵ
（3）ニッタン　　ＮＩＤ－Ｔ－Ｇ
（4）パナソニック　ＢＶ９５３５１(BOX)+ＢＶ９５３８１Ｈ(扉)
② 以下２項目を満足する点検口　～下図「煙感知器・点検ボックス（参考例）」参照
（1）スイッチ取付スペース 200×90 程度確保できる。
（2）錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、1mm以上浮かないこと。



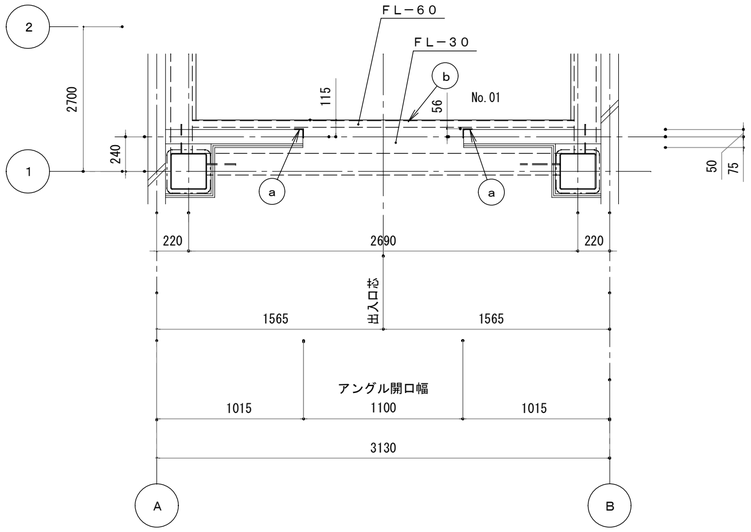
ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階ＦＬ面まで立ち上
げること。（建築工事）

昇降路断面図　(1/50)

（ＮＯ．01）

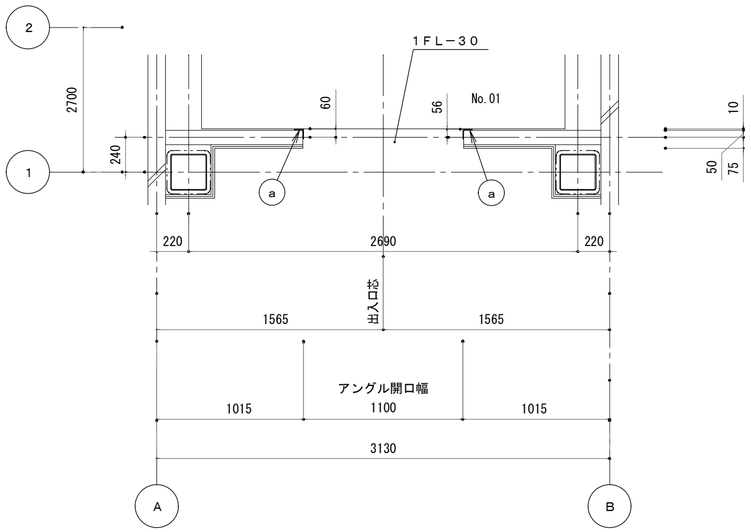
参　考　図

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-52（原図：A2）
				図面名称	＜昇降機棟＞ ＥＶ詳細図No.4	縮尺 1/50



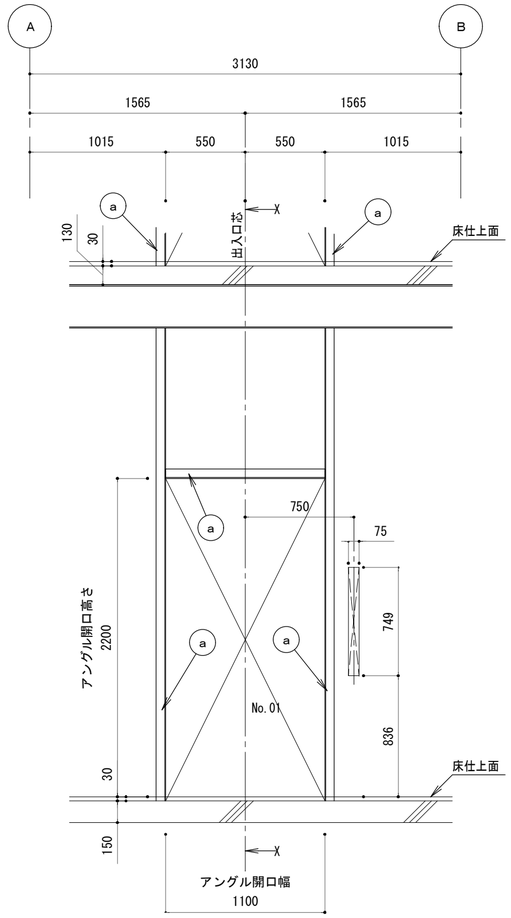
昇降路穴あけ図 (1/30)

（２、３階）



昇降路穴あけ図 (1/30)

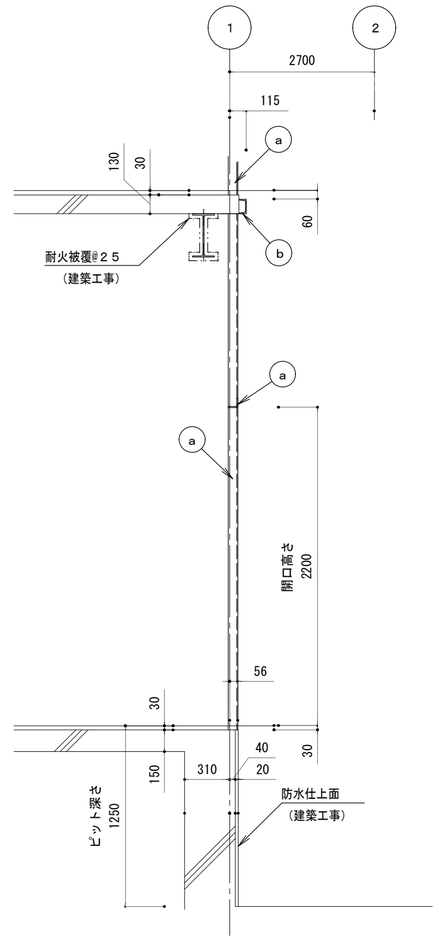
（１階）



乗場正面鉄骨組図 (1/30)

(No.01号機)

(1-3階)



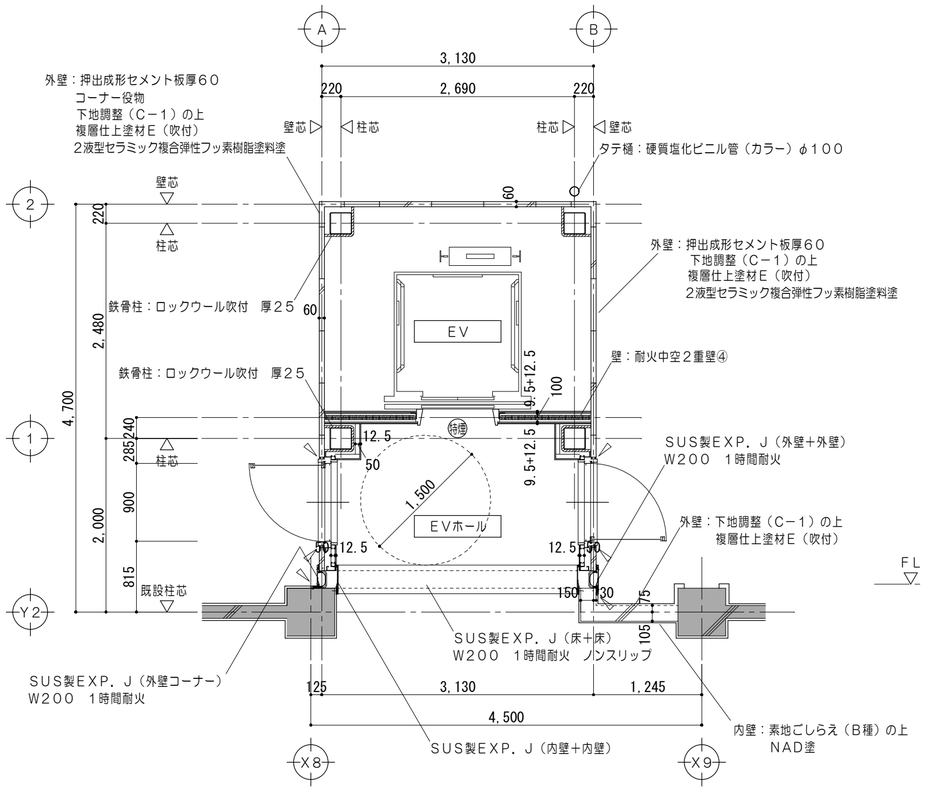
X－X断面

部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付材	L－65×65×6	建築工事
b	敷居取付材	[－100×50×5×7．5	建築工事

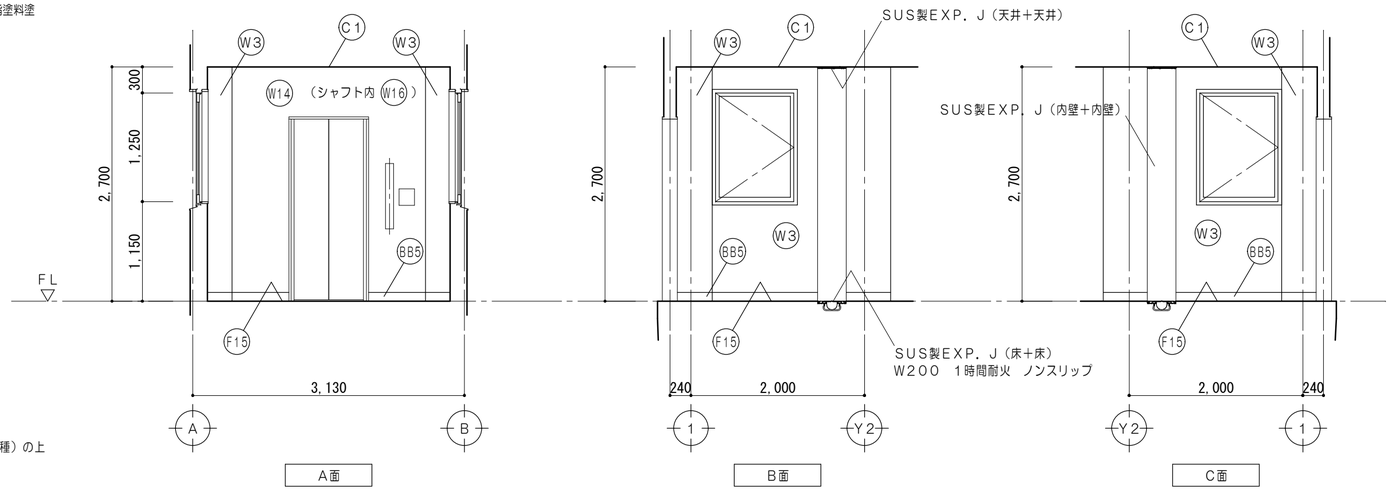
参　考　図

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-53（原図:A2）
				図面名称	＜昇降機棟＞ ＥＶ詳細図No.5	縮尺 1/30

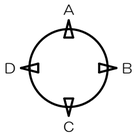
改修後



ＥＶ平面詳細図　1/50



ＥＶ展開図　1/50



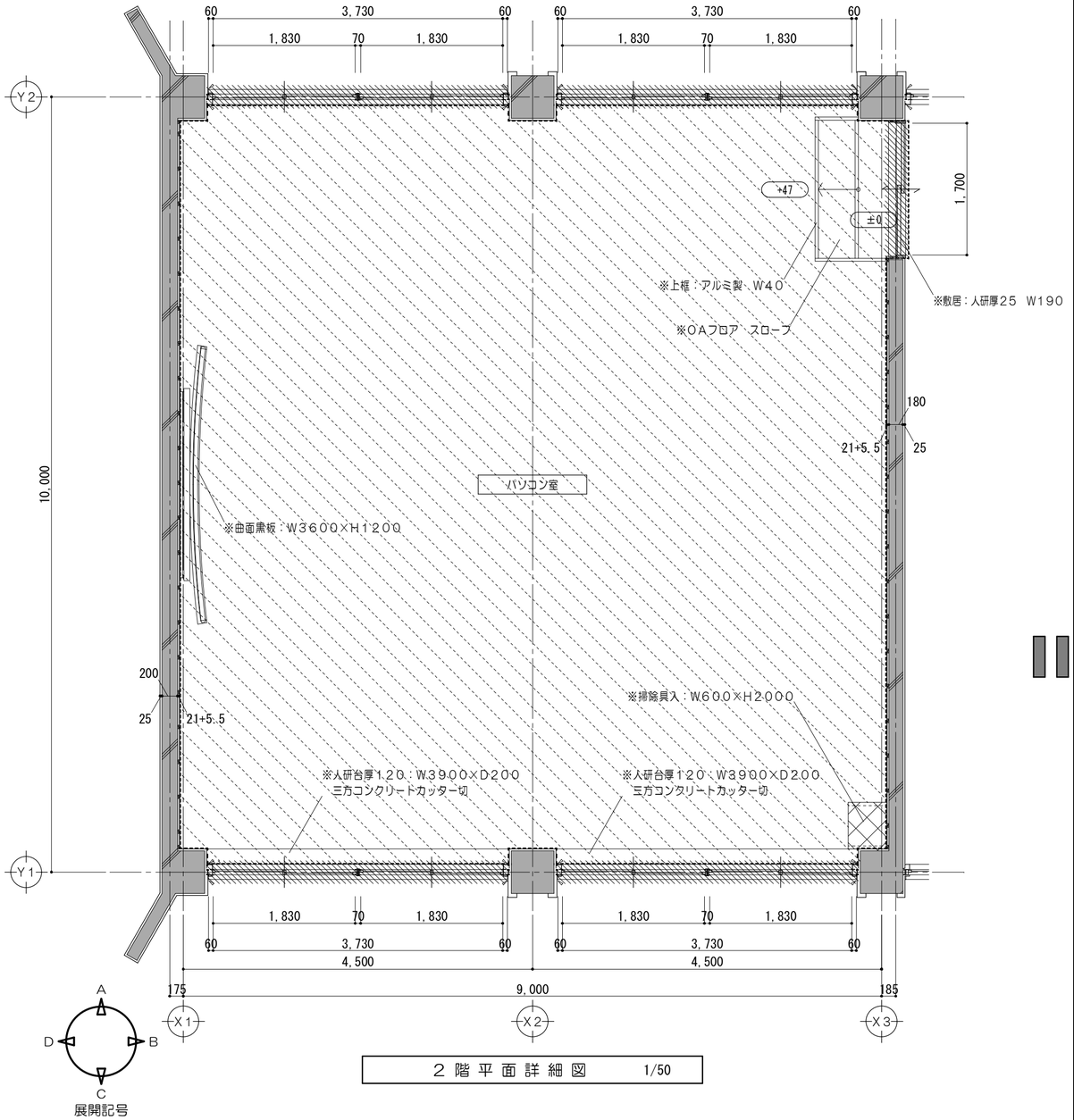
展開記号

凡例（工事内容）	
	コンクリート壁既設のままを示す
	シーリングを示す
特優	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火区画を示す （小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁 ＦＰ０６０ＮＰ－０２００

仕上凡例			
F15	床　：モルタル金コテ押工厚３０ 弾性ウレタン樹脂塗床材	W14	壁　：耐火中空２重壁④　ＥＰ塗
BB5	巾木：ビニル巾木　Ｈ＝１００	W16	壁　：耐火中空２重壁④　素地のまま
W3	壁　：ＰＢ厚１２．５　ＥＰ塗 ＬＧＳ下地	C1	天井：化粧ＰＢ厚９．５張 ＬＧＳ下地

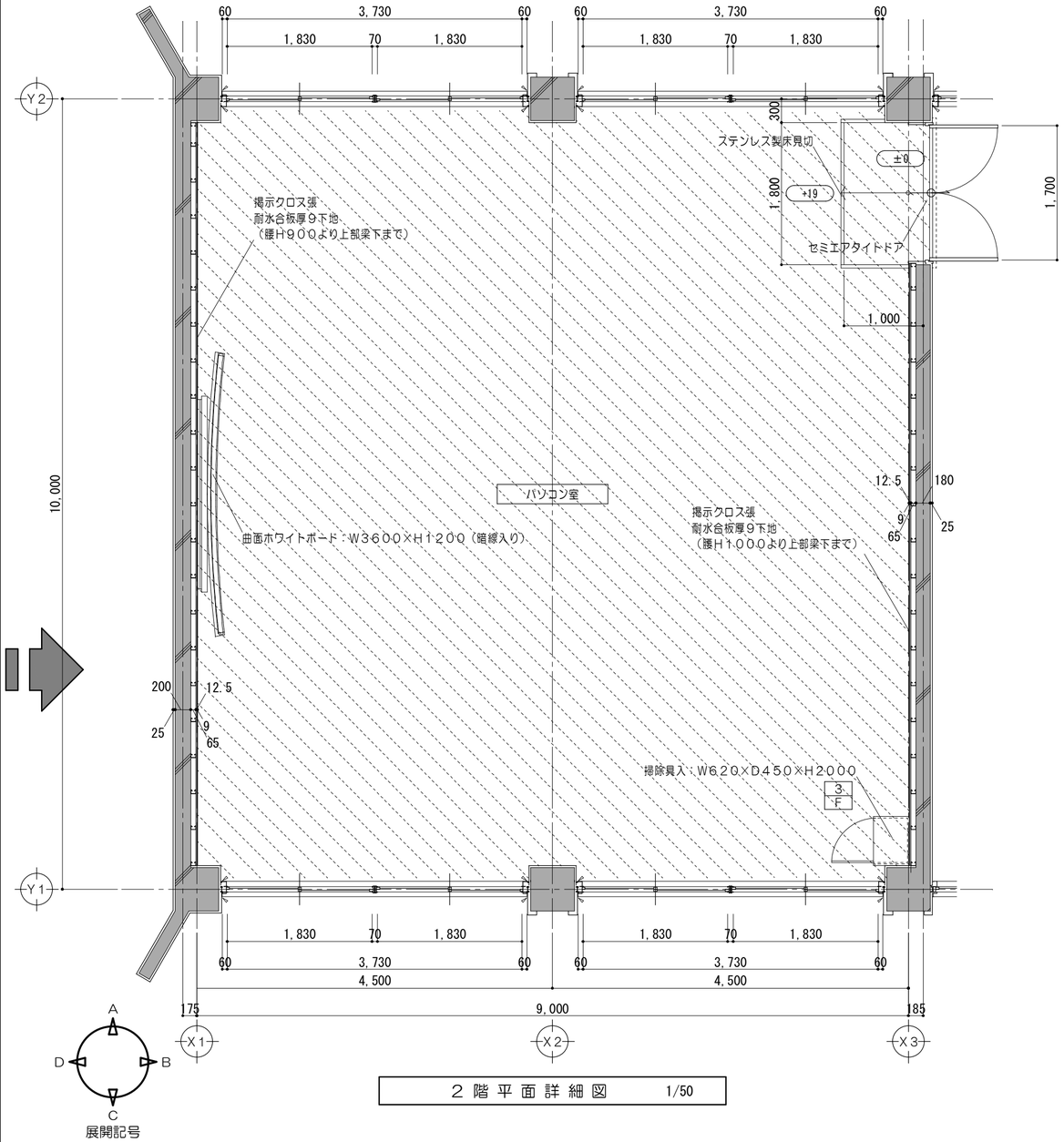
特記事項		一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-54（原図：A2）
					図面名称	＜昇降機棟＞ 改修後　平面詳細図、展開図	縮尺 1/50

改修前



2 階 平 面 詳 細 図　1/50

改修後



2 階 平 面 詳 細 図　1/50

凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		家具撤去を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す
	コンクリートブロック壁既設のままを示す		備品家具（引越し）を示す	●	既設のままを示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		コンクリートカッター切	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上材撤去		モルタルカッター切		
	仕上・下地共撤去		コンクリート目荒シを示す		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		

凡例　（工事内容）

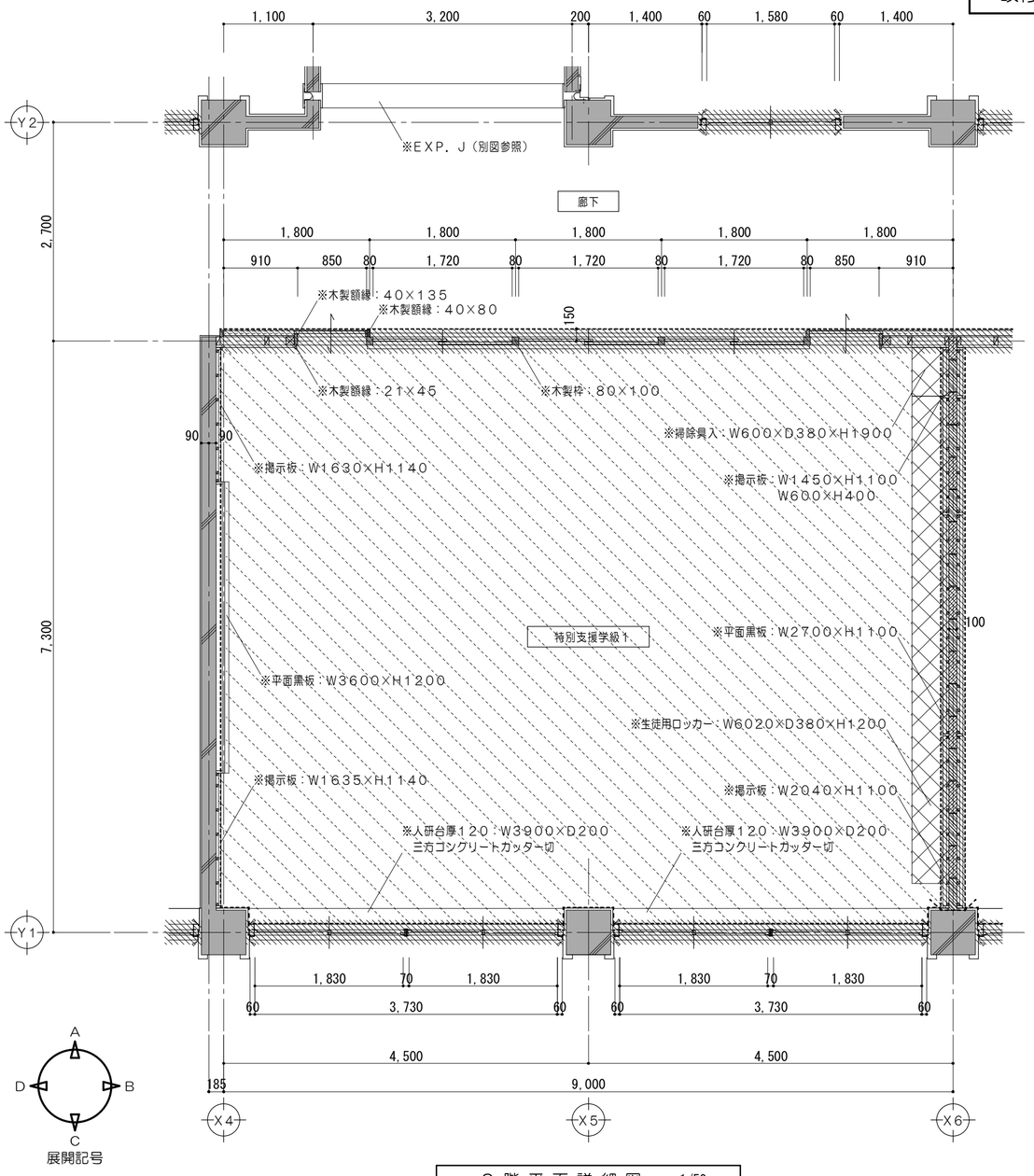
	コンクリート壁既設のままを示す		令１１４条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0198	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上材新設範囲を示す			●F	家具詳細番号を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す		令１１４条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0199	●D	各部詳細番号を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す		沓摺：ステンレス製 W40		
	備品家具（引越し）を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す		
	シーリングを示す	●	既設のままを示す		

特記事項	
	・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照
	・家具撤去については既設家具詳細図参照

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

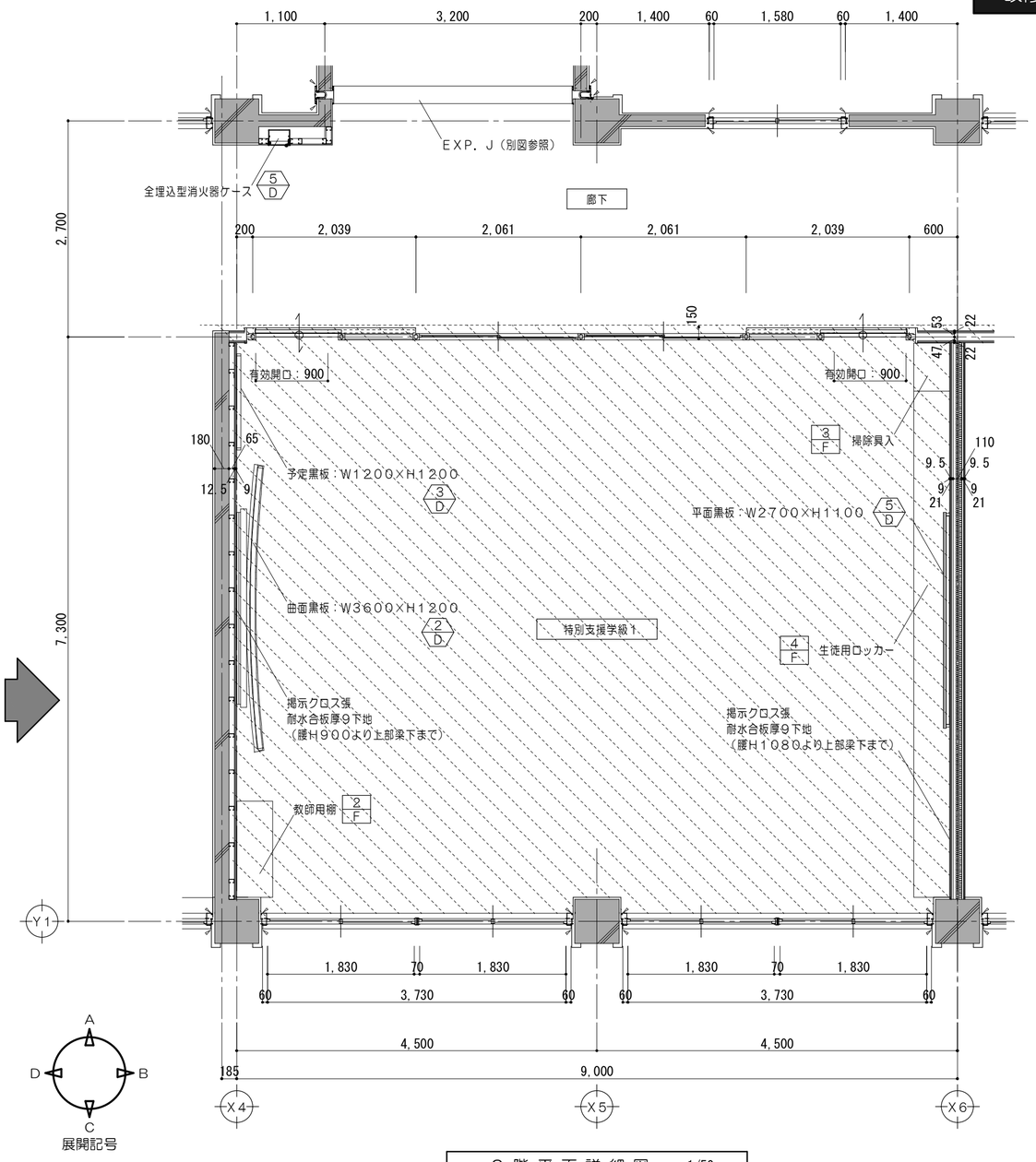
設計年月日		工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-55（原図：A2）
		図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 ２階平面詳細図No.１	縮尺	1/50

改修前



2 階 平 面 詳 細 図　1/50

改修後



2 階 平 面 詳 細 図　1/50

凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		家具撤去を示す	▲	一時取外し再取付とする備品類を示す
	コンクリートブロック壁既設のままを示す		備品家具（引越し）を示す	●	既設のままを示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す	— - - —	コンクリートカッター切	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上材撤去	----------	モルタルカッター切		
	仕上・下地共撤去		コンクリート目荒シを示す		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		

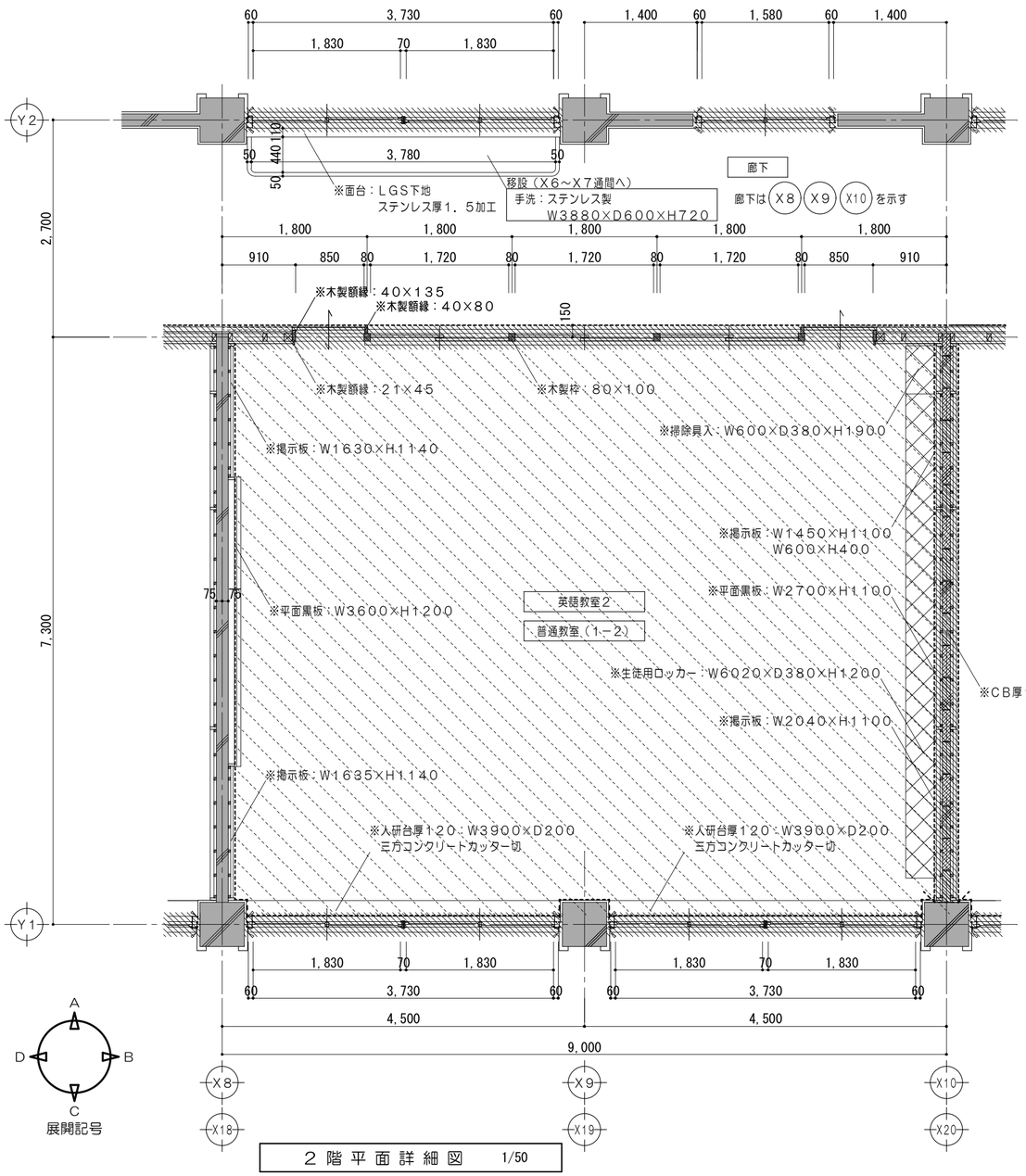
凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		令１１４条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0198	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上材新設範囲を示す			● F	家具詳細番号を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す		令１１４条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0199	● D	各部詳細番号を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す		沓摺：ステンレス製　W40		
	備品家具（引越し）を示す	▲	一時取外し再取付とする備品類を示す		
	シーリングを示す	●	既設のままを示す		

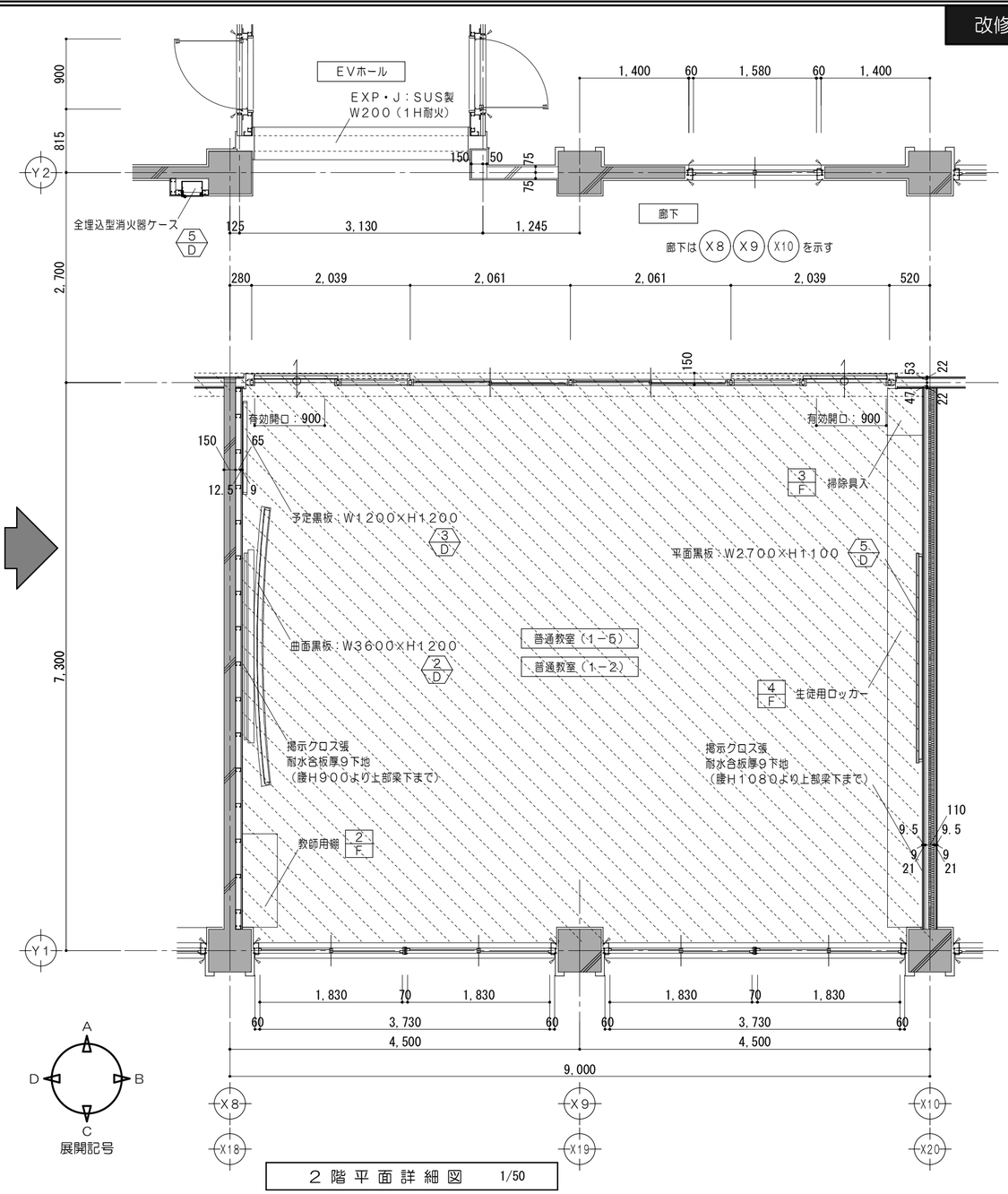
特記事項
- 建具撤去については既設建具符号図・建具表参照
- 家具撤去については既設家具詳細図参照

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-56（原図：A2）
		図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 2階平面詳細図No.2	縮尺 1/50



2 階 平 面 詳 細 図　1/50



2 階 平 面 詳 細 図　1/50

凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		家具撤去を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す
	コンクリートブロック壁既設のままを示す		備品家具（引越し）を示す	●	既設のままを示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		コンクリートカッター切	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上材撤去		モルタルカッター切		
	仕上・下地共撤去		コンクリート目荒シを示す		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		

凡例　（工事内容）

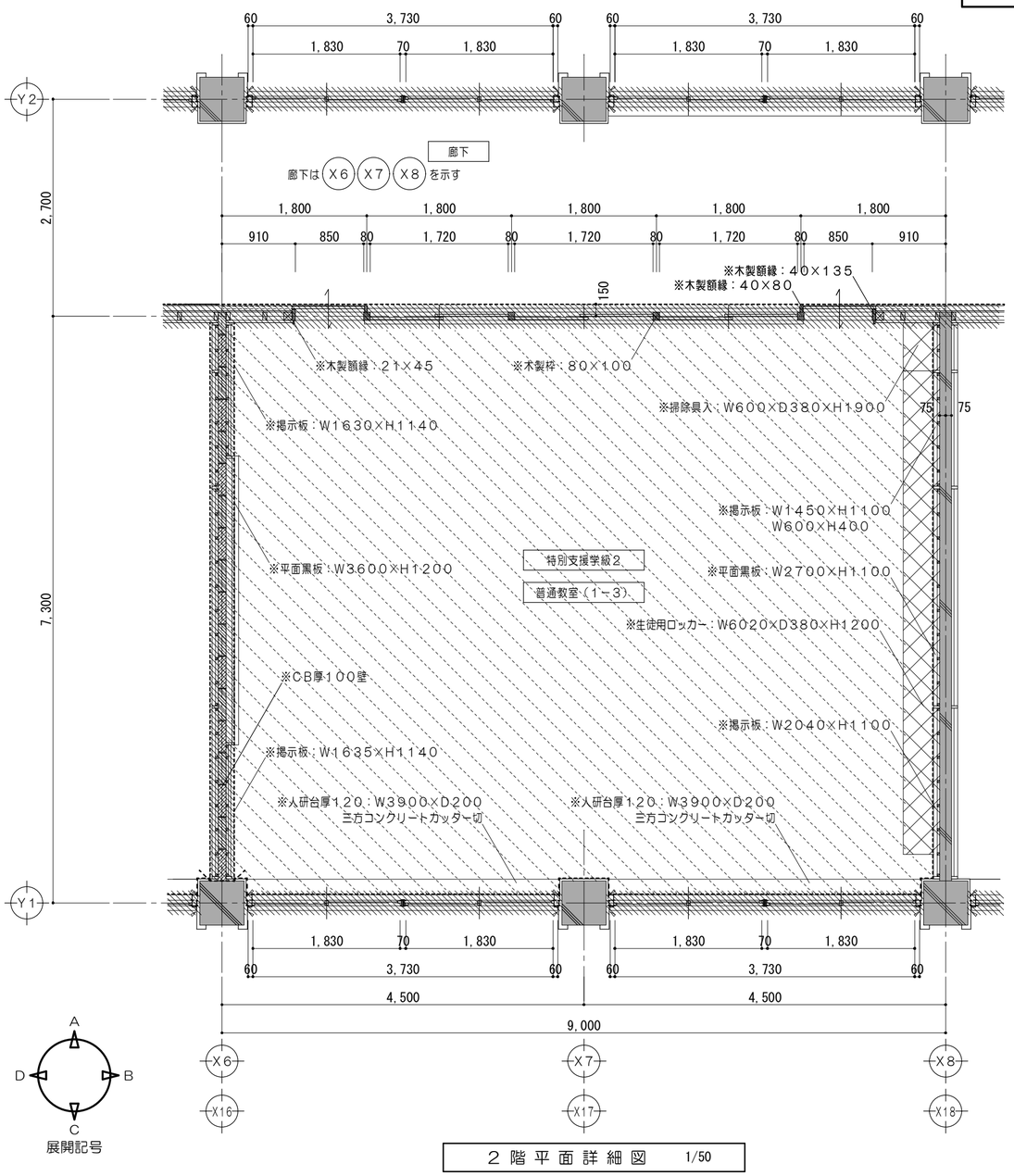
	コンクリート壁既設のままを示す		令１１４条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP－0198	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上材新設範囲を示す			●F	家具詳細番号を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す		令１１４条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁　FP060NP－0199	●D	各部詳細番号を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す		沓摺：ステンレス製　W40		
	備品家具（引越し）を示す		▲ 一時取外シ再取付とする備品類を示す		
	シーリングを示す		● 既設のままを示す		

特記事項

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

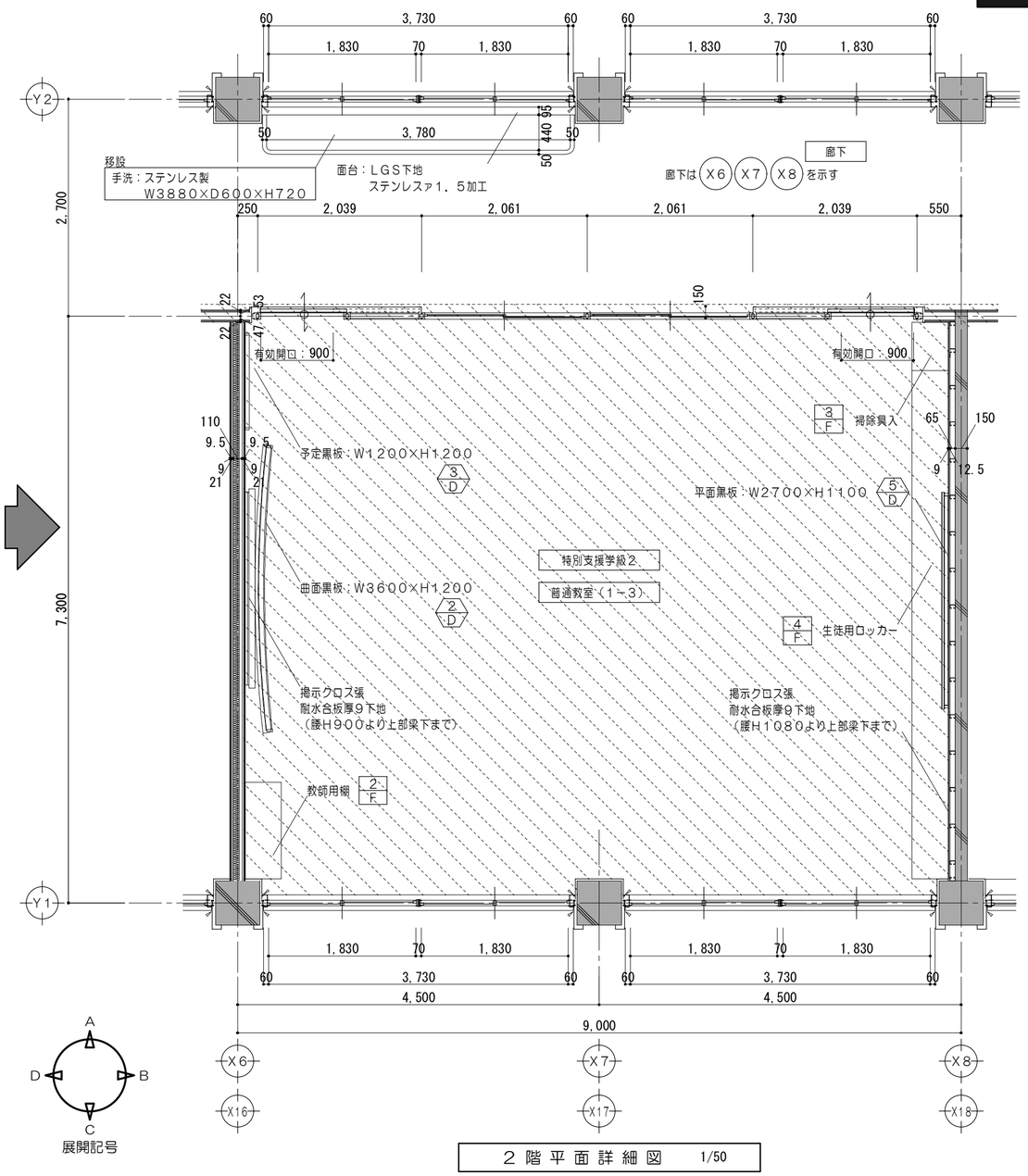
一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-57（原図：A2）
		図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 ２階平面詳細図No.３	縮尺 1/50

改修前



2 階 平 面 詳 細 図　1/50

改修後



2 階 平 面 詳 細 図　1/50

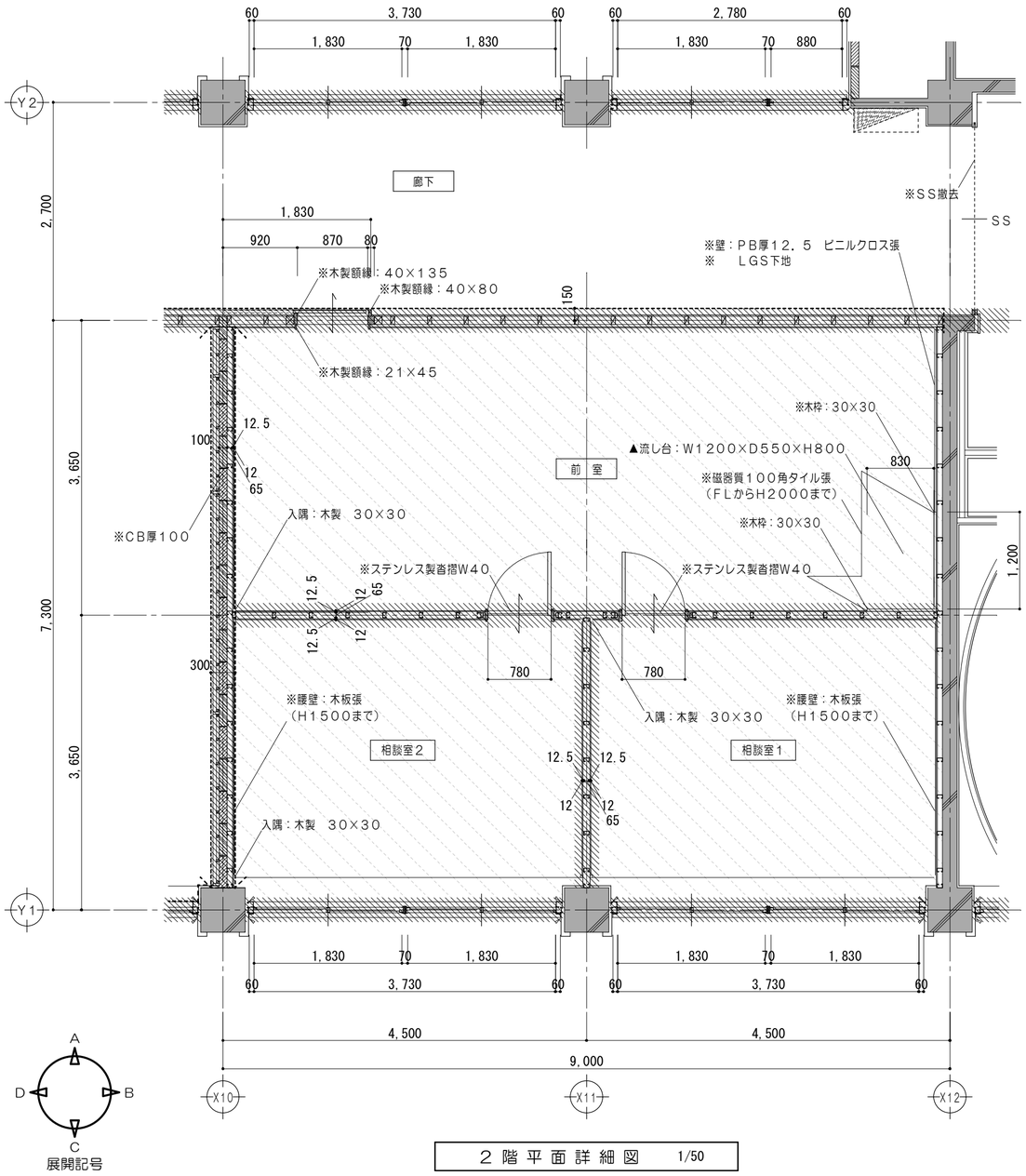
凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		家具撤去を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す
	コンクリートブロック壁既設のままを示す		備品家具（引越し）を示す	●	既設のままを示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		コンクリートカッター切	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上材撤去		モルタルカッター切		
	仕上・下地共撤去		コンクリート目荒シを示す		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		

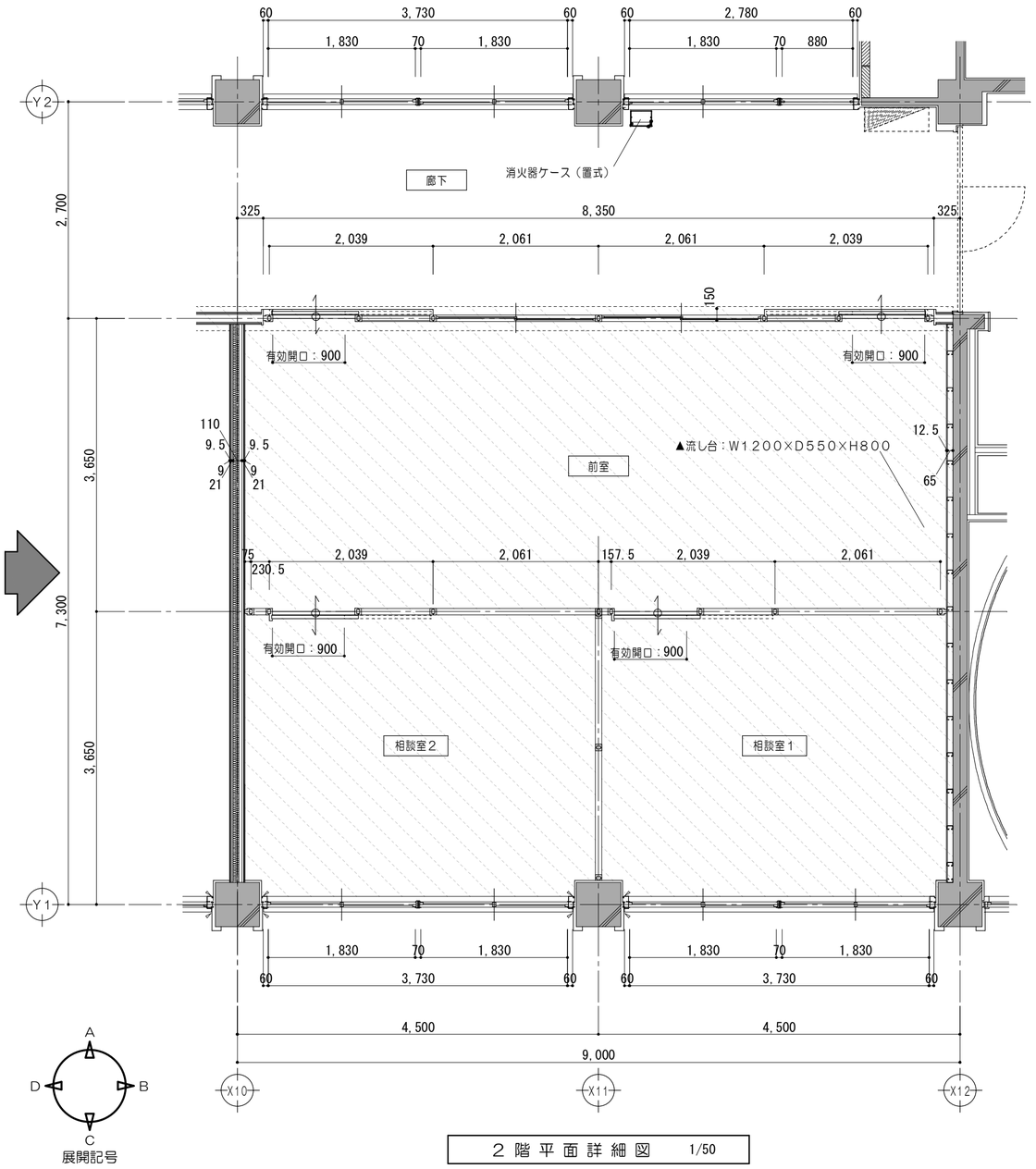
凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		令１１４条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：中空二重壁 ＦＰ０６０ＮＰ－０１９８	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上材新設範囲を示す			● F	家具詳細番号を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す		令１１４条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁　ＦＰ０６０ＮＰ－０１９９	● D	各部詳細番号を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す		沓摺：ステンレス製　Ｗ４０		
	備品家具（引越し）を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す		
	シーリングを示す	●	既設のままを示す		

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事
			図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前　改修後　２階平面詳細図No.４	図面番号　A-58（原図：A2） 縮尺　1/50



２ 階 平 面 詳 細 図　1/50



２ 階 平 面 詳 細 図　1/50

凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		家具撤去を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す
	コンクリートブロック壁既設のままを示す		備品家具（引越し）を示す	●	既設のままを示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		コンクリートカッター切	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上材撤去		モルタルカッター切		
	仕上・下地共撤去		コンクリート目荒シを示す		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		

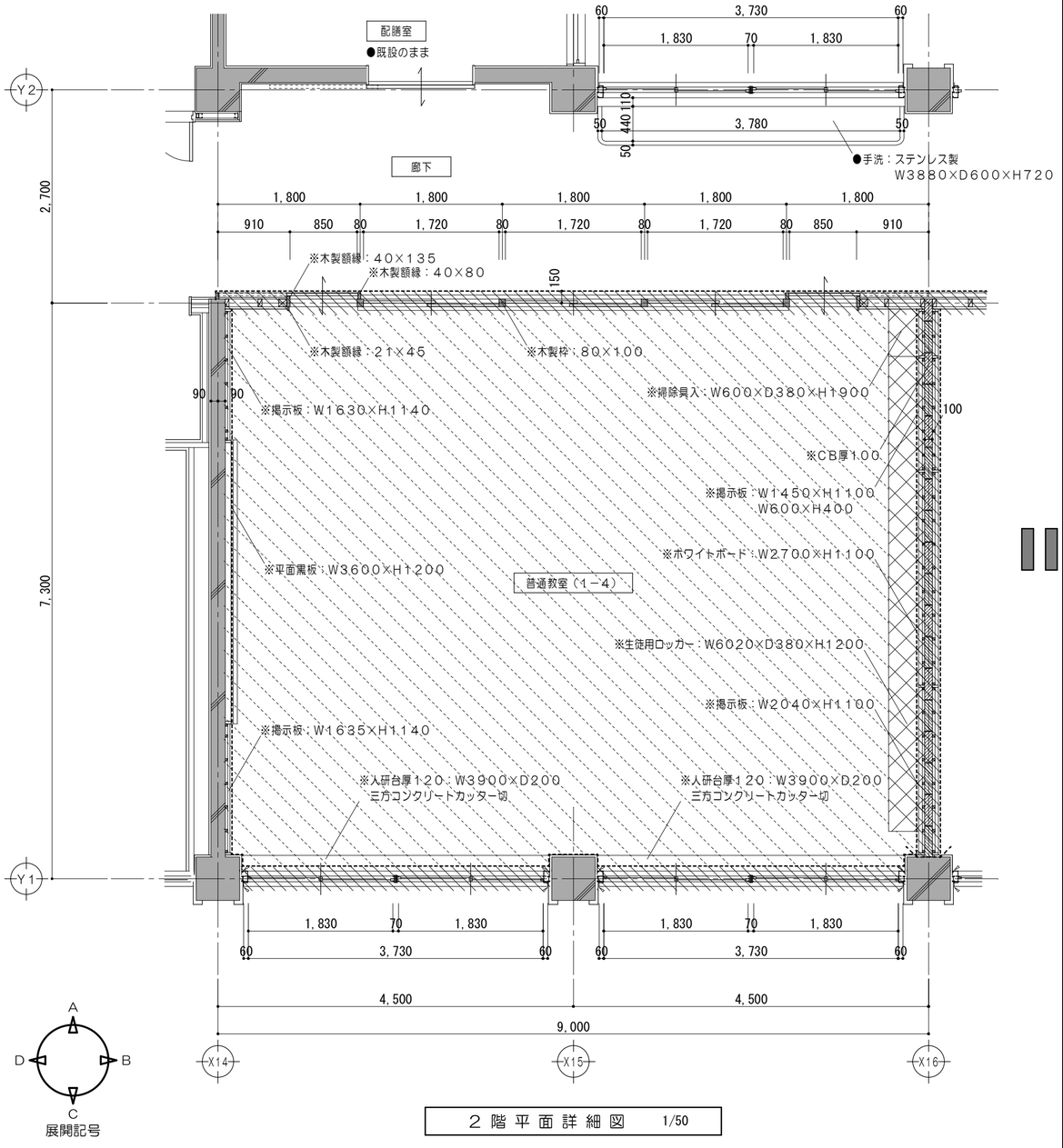
凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		令１１４条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：中空二重壁 ＦＰ０６０ＮＰ－０１９８	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上材新設範囲を示す			● F	家具詳細番号を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す		令１１４条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁　ＦＰ０６０ＮＰ－０１９９	● D	各部詳細番号を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す		沓摺：ステンレス製　Ｗ４０		
	備品家具（引越し）を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す		
	シーリングを示す	●	既設のままを示す		

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事
				図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前　改修後　２階平面詳細図No.５

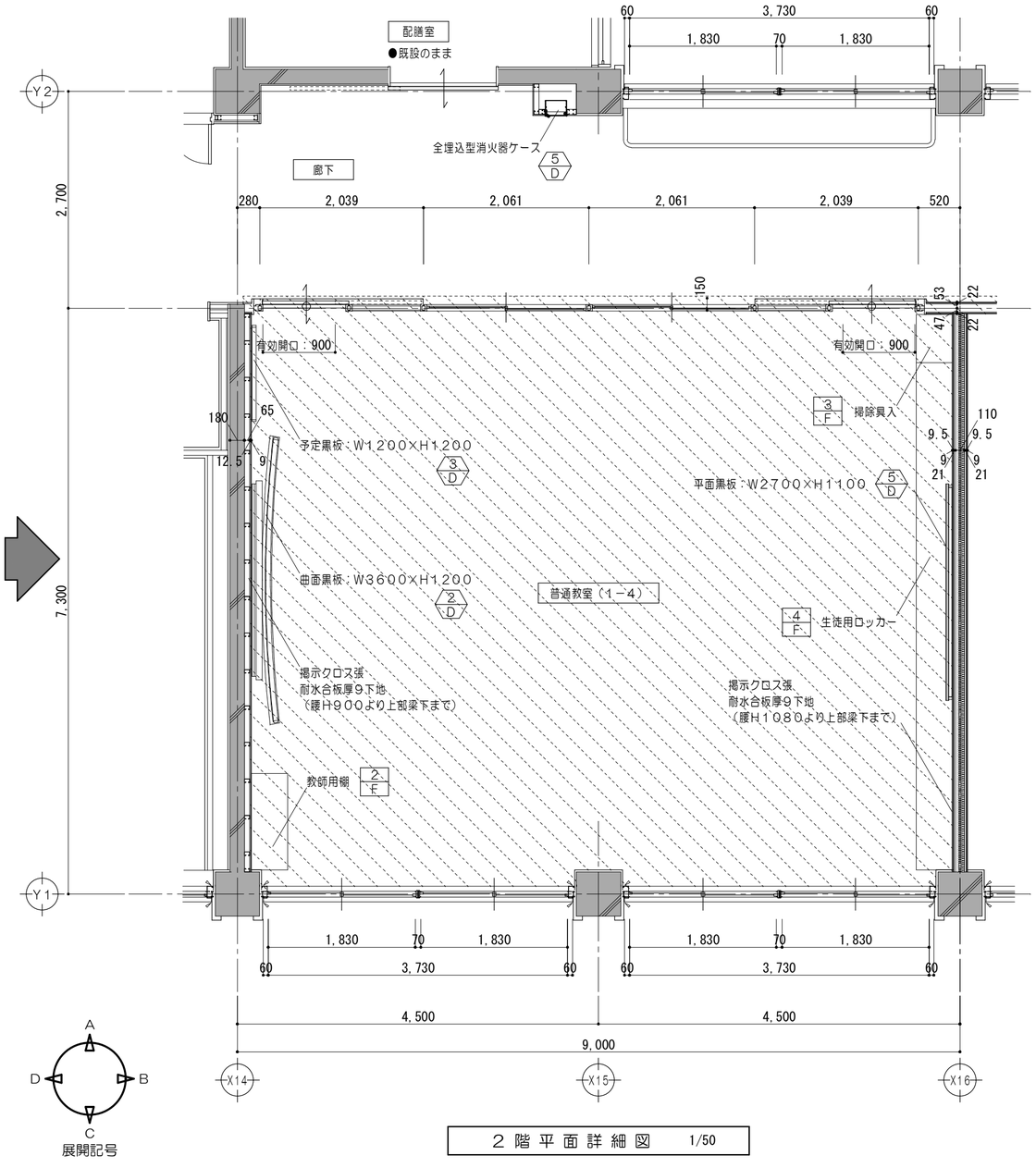
図面番号	A-59 （原図：A2）
縮尺	1/50

改修前



2 階 平 面 詳 細 図　1/50

改修後



2 階 平 面 詳 細 図　1/50

凡例　（工事内容）

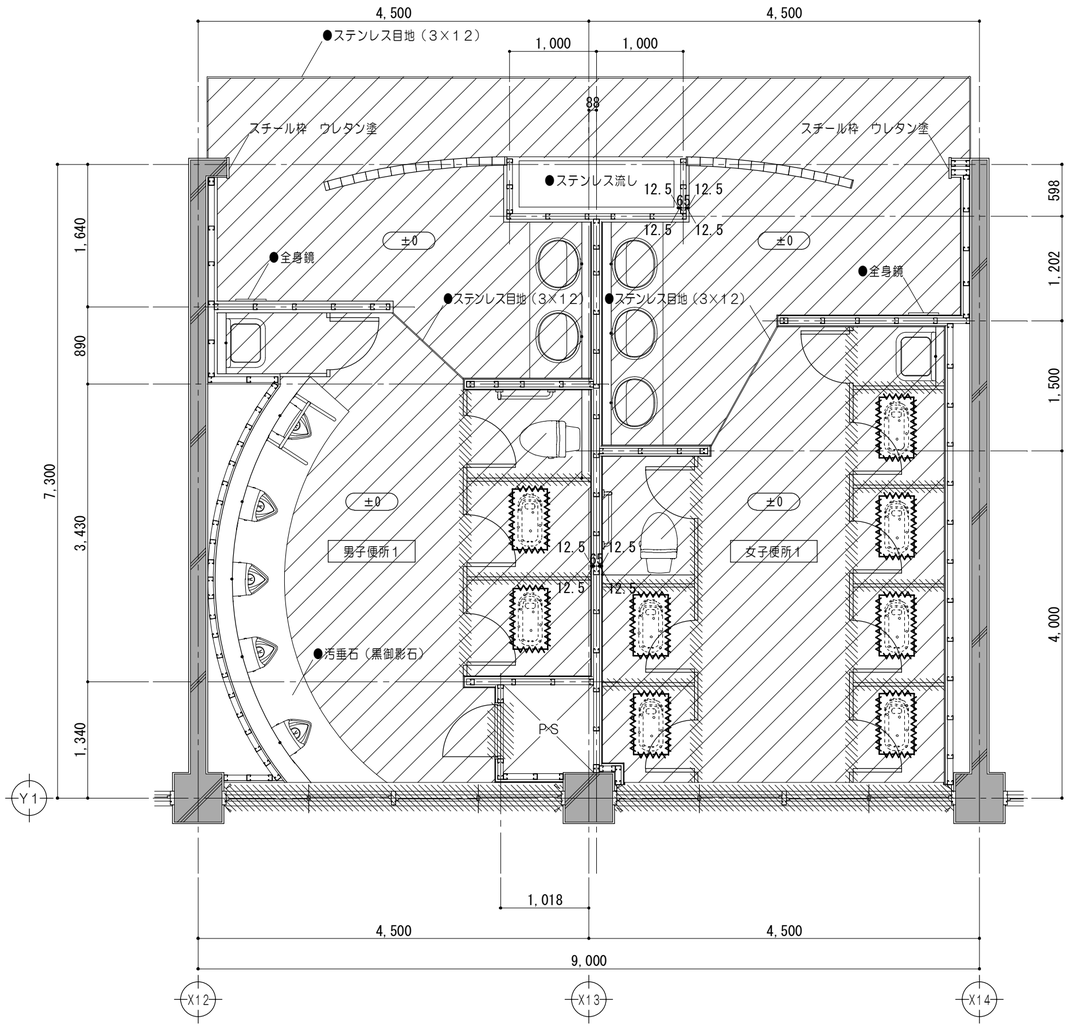
	コンクリート壁既設のままを示す		家具撤去を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す
	コンクリートブロック壁既設のままを示す		備品家具（引越し）を示す	●	既設のままを示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		コンクリートカッター切	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上材撤去		モルタルカッター切		
	仕上・下地共撤去		コンクリート目荒シを示す		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		

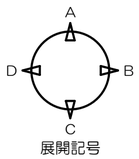
凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		令１１４条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：中空二重壁 ＦＰ０６０ＮＰ－０１９８	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上材新設範囲を示す			● F	家具詳細番号を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す		令１１４条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁 ＦＰ０６０ＮＰ－０１９９	● D	各部詳細番号を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す		沓摺：ステンレス製　Ｗ４０		
	備品家具（引越し）を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す		
	シーリングを示す	●	既設のままを示す		

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-60 （原図：A2）
				図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前　改修後　２階平面詳細図No.６	縮尺	1/50

改修前

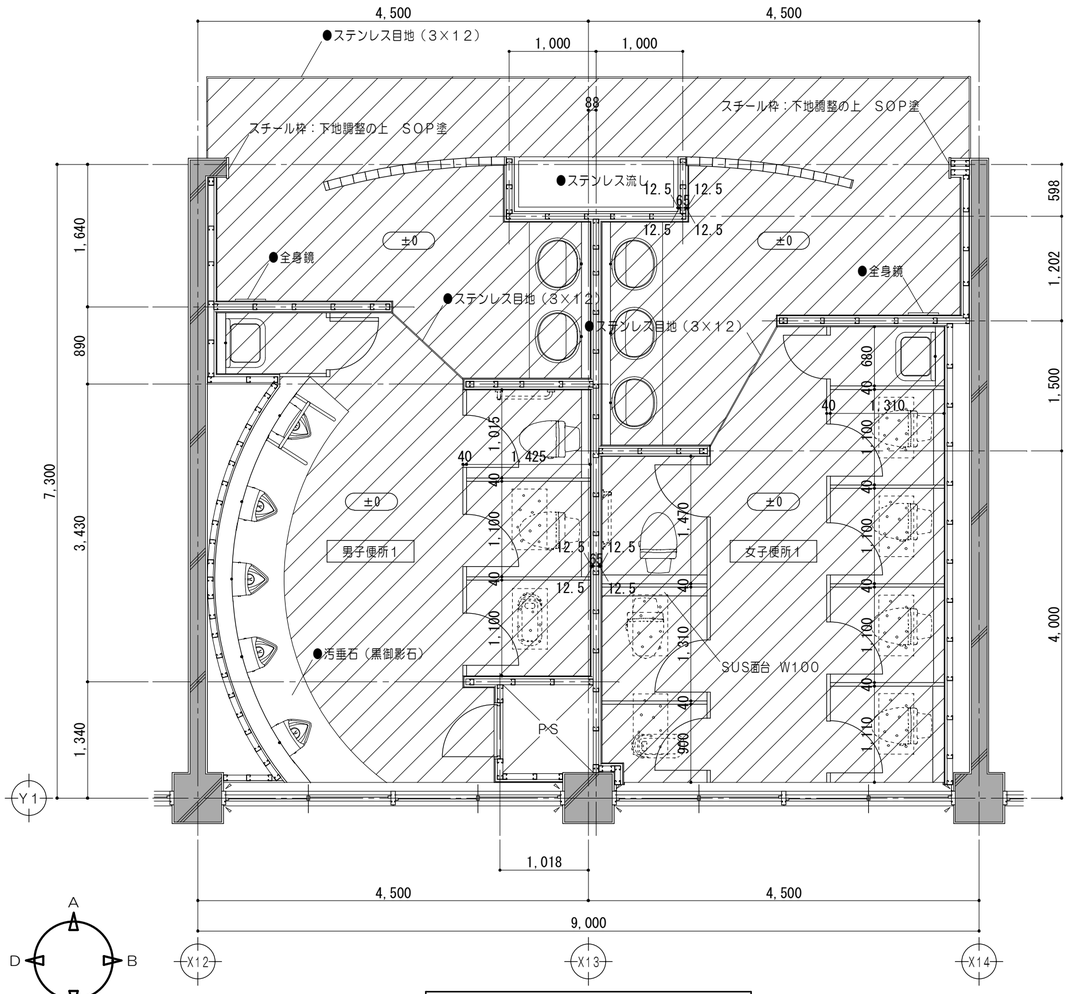


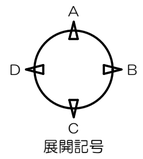


展開記号

２ 階 平 面 詳 細 図　　1/50

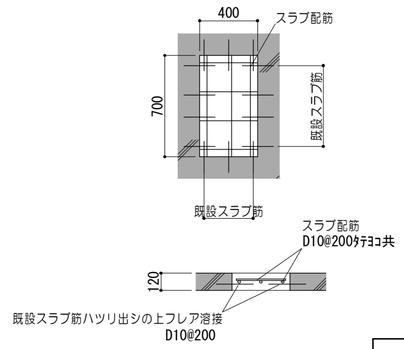
改修後





展開記号

２ 階 平 面 詳 細 図　　1/50



スラブ復旧詳細図　1/30

凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		コンクリートカッター切	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す		コンクリート壁既設のままを示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		モルタルカッター切（仕上・下地モルタル撤去）	●	既設のままを示す		仕上材新設範囲を示す
	仕上材撤去		コンクリート目荒シを示す		コンクリート斫り撤去 和風便器　４００×７００		仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す
	仕上・下地・コンクリート共撤去		シーリング撤去を示す				シーリングを示す
						●	既設のままを示す
						±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
						●F	家具詳細番号を示す
						●D	各部詳細番号を示す

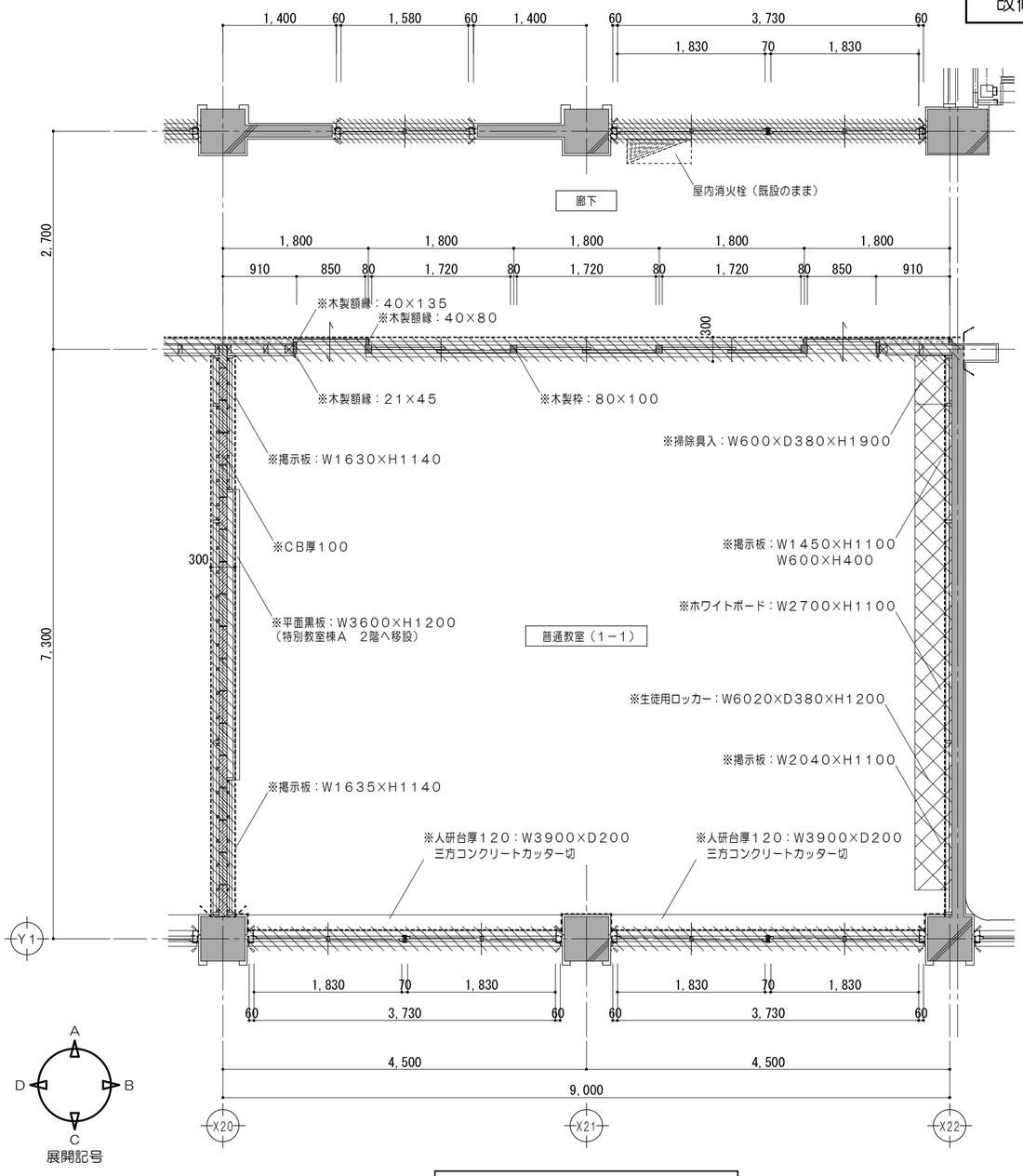
特記事項	

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

一級建築士　第304509号　水谷　浩

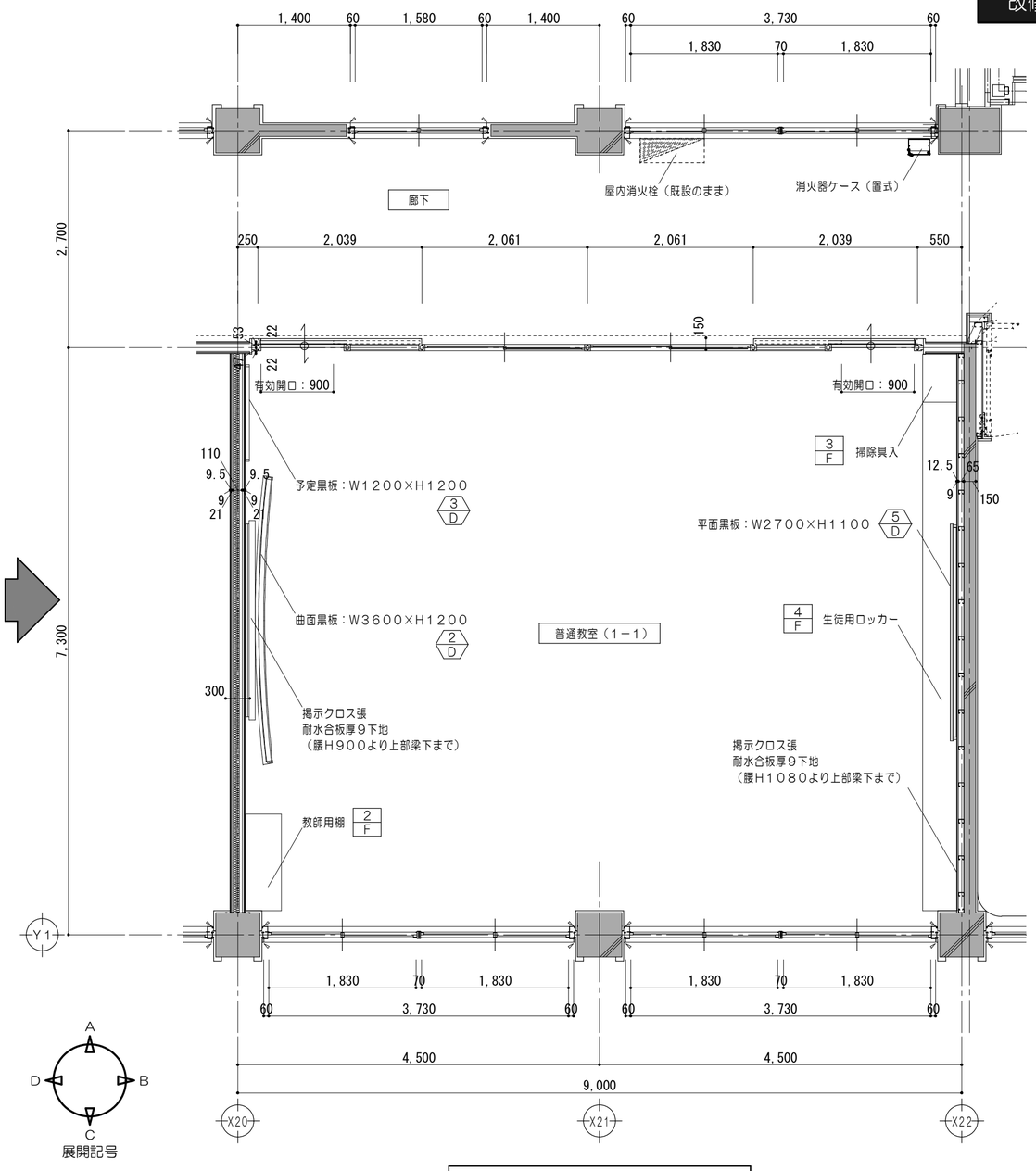
設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-61（原図：A2）
	図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 ２階平面詳細図No.７	縮尺	1/50

改修前



2 階 平 面 詳 細 図　1/50

改修後



2 階 平 面 詳 細 図　1/50

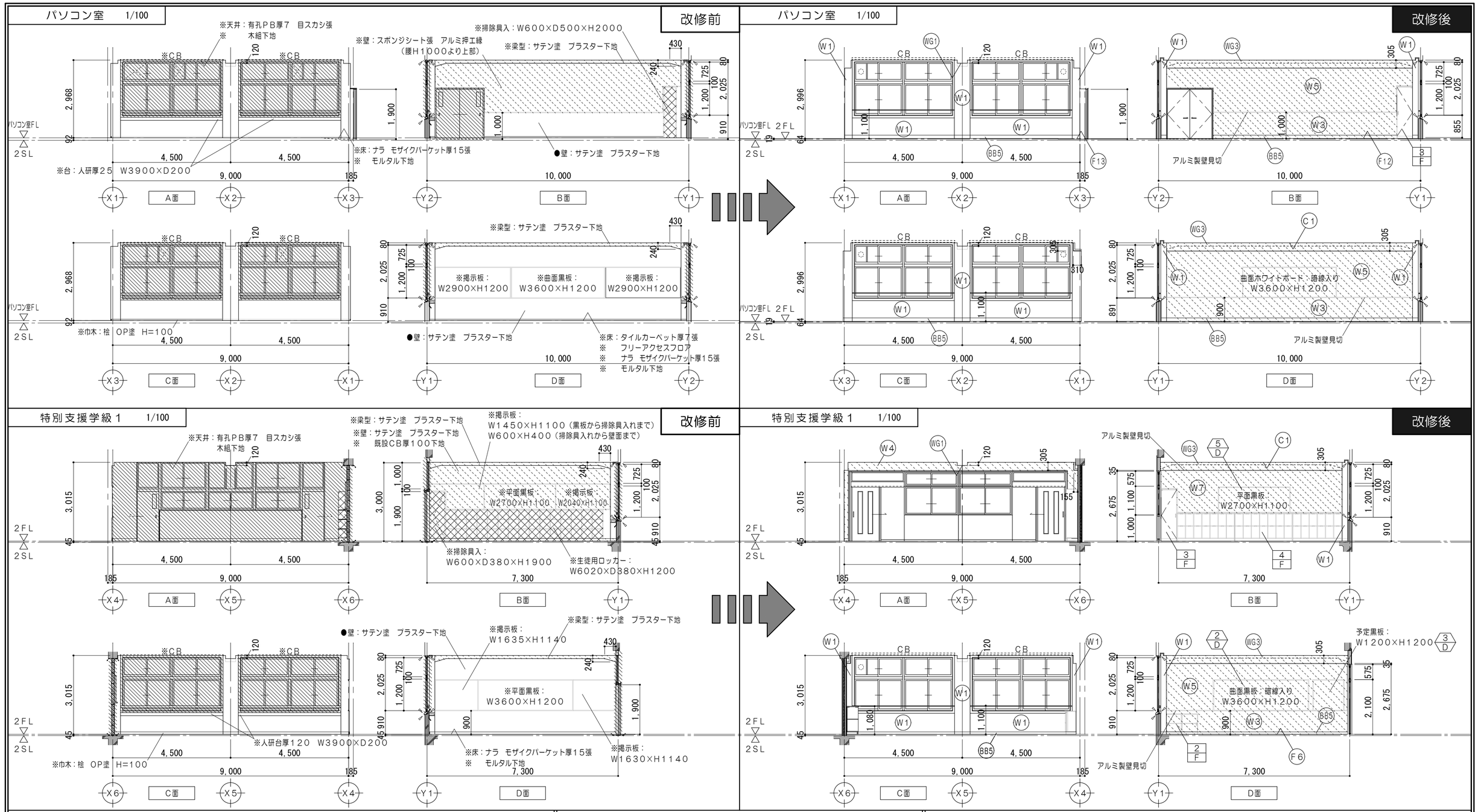
凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		家具撤去を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す
	コンクリートブロック壁既設のままを示す		備品家具（引越し）を示す	●	既設のままを示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		コンクリートカッター切	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上材撤去		モルタルカッター切		
	仕上・下地共撤去		コンクリート目荒シを示す		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		

凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		令１１４条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：中空二重壁 ＦＰ０６０ＮＰ－０１９８	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上材新設範囲を示す			● F	家具詳細番号を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す		令１１４条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁　ＦＰ０６０ＮＰ－０１９９	● D	各部詳細番号を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す		沓摺：ステンレス製　Ｗ４０		
	備品家具（引越し）を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す		
	シーリングを示す	●	既設のままを示す		

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-62 （原図：A2）
				図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前　改修後　２階平面詳細図No.８	縮尺	1/50



改修前凡例 （工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		備品家具（引越し）を示す		シーリング撤去を示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		コンクリートカッター切		
	仕上材撤去		モルタルカッター切（仕上・下地モルタル撤去）		
	仕上・下地共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	▲	一時取外し再取付とする備品類を示す		
	家具撤去を示す	●	既設のままを示す		

改修後凡例 （工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		令１１４条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP０６０NP－０１９８
	仕上材新設範囲を示す		
	仕上・下地共新設範囲を示す	▲	一時取外し再取付とする備品類を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す	●	既設のままを示す
	シーリングを示す	●／F	家具詳細番号を示す
	令１１４条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP０６０NP－０１９８	●／D	各部詳細番号を示す

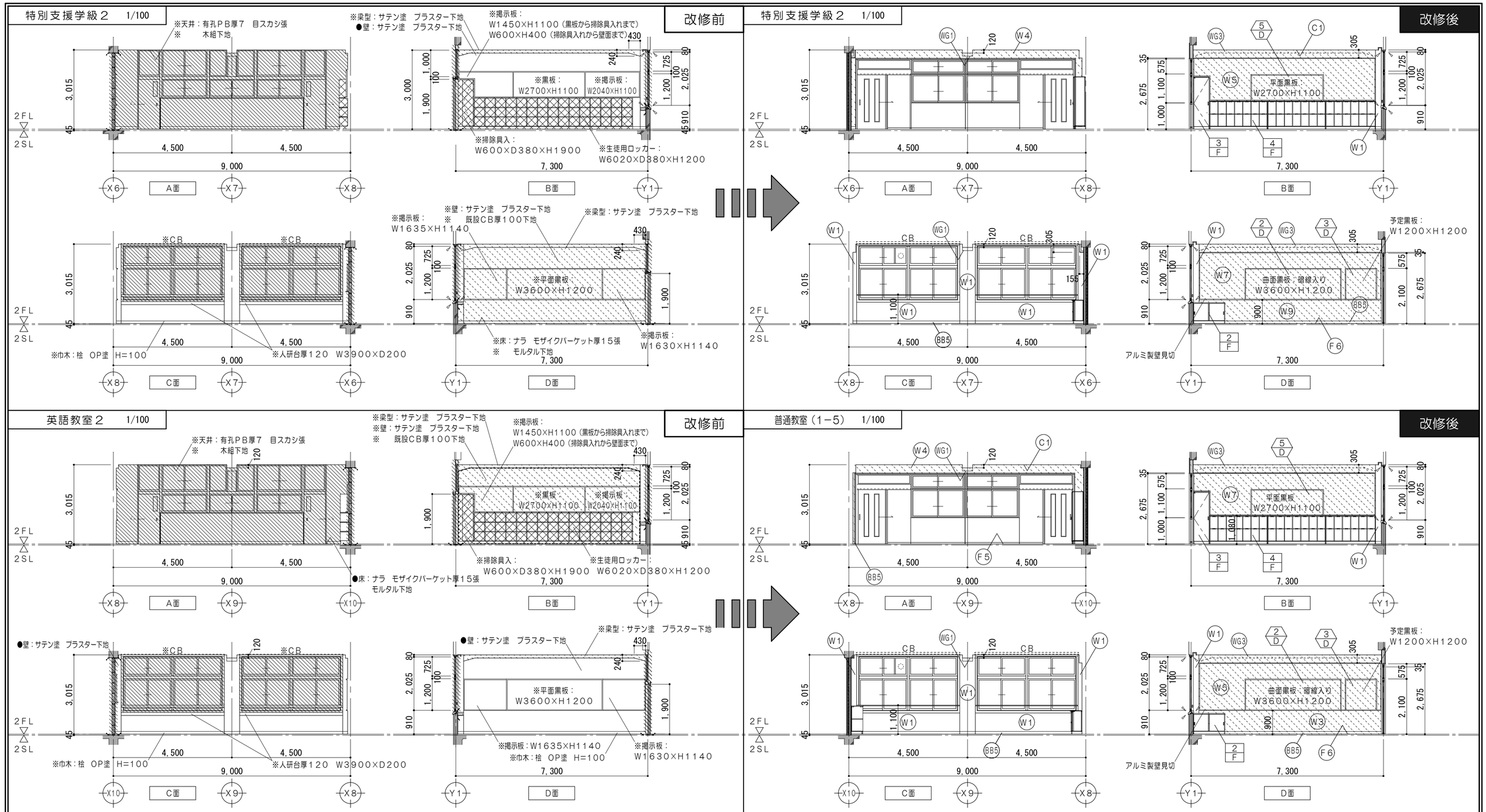
仕上凡例

F６	床：複合フローリング厚１２直張（塗装品） モルタル金コテ押工厚２８	W３	壁：ＰＢ厚１２．５下地 NAD塗 ＬＧＳ下地	WG３	梁型：ＰＢ厚１２．５下地 NAD塗 ＬＧＳW２５下地
F１２	床：ビニル床タイル（帯電防止）厚４ フリーアクセスフロアH５０ セルフレベリング	W４	壁：耐水中空２重壁① NAD塗	C１	天井：ＬＧＳ下地 化粧ＰＢ厚９．５張
		W５	壁：耐水合板厚９ 掲示クロス張 ＬＧＳ下地 ＰＢ厚１２．５	CB	新設ＣＢ １５０×１００×２５ MDF SOP塗
F１３	床：ビニル床タイル（帯電防止）厚２ モルタル金コテ下地厚２８	W７	壁：耐水合板厚９ 掲示クロス張 耐火中空２重壁②		
BB５	巾木：木製幅木撤去跡モルタル金コテ押え後 ビニル巾木 Ｈ１００	W９	壁：耐火中空２重壁② NAD塗		
W１	壁：人研台撤去跡モルタル金コテ押え後 下地調整（RB）の上 NAD塗	WG１	梁型：ＰＢ厚９．５下地 NAD塗 ＬＧＳW２５下地		

特記事項	・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照 ・家具撤去については既設家具詳細図参照

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像
一級建築士 第304509号 水谷 浩

設計年月日		工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事
図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 ２階展開図No.１	図面番号	A-63（原図：A2）
縮尺	1/100		



改修前凡例 （工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		備品家具（引越し）を示す		シーリング撤去を示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		コンクリートカッター切		
	仕上材撤去		モルタルカッター切（仕上・下地モルタル撤去）		
	仕上・下地共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	▲	一時取外し再取付とする備品類を示す		
	家具撤去を示す	●	既設のままを示す		

改修後凡例 （工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0198
	仕上材新設範囲を示す		
	仕上・下地共新設範囲を示す	▲	一時取外し再取付とする備品類を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す	●	既設のままを示す
	シーリングを示す	●F	家具詳細番号を示す
	令114条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0199	◇D	各部詳細番号を示す

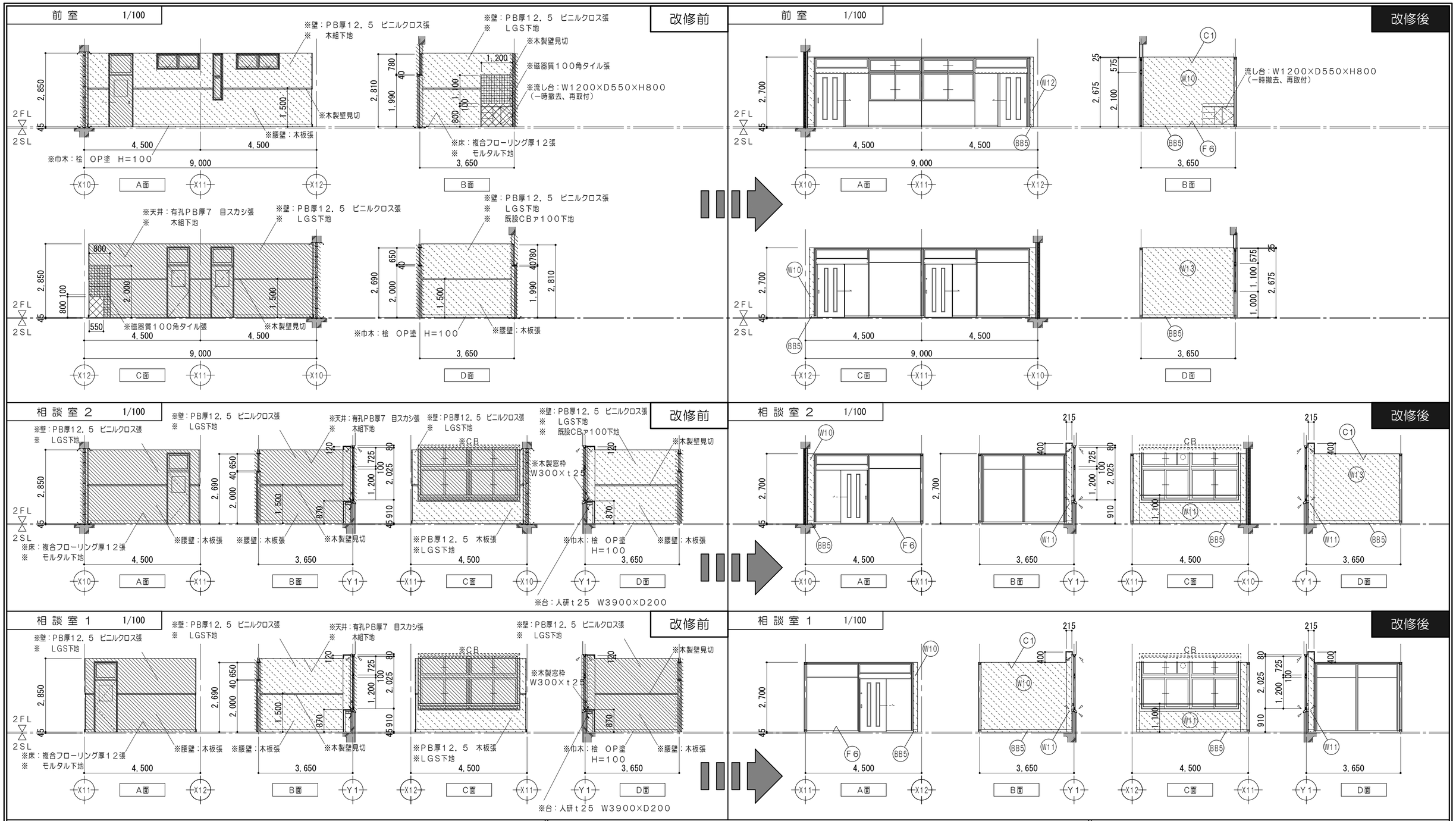
仕上凡例

F6	床：複合フローリング厚12直張（塗装品） モルタル金コテ押工厚28	W4	壁：耐火中空2重壁① NAD塗	WG1	梁型：PB厚9．5下地 NAD塗 LGSW25下地		
BB5	巾木：木製幅木撤去跡モルタル金ゴテ押え後 ビニル巾木 H=100	W5	壁：耐水合板厚9 掲示クロス張 LGS下地	WG3	梁型：PB厚12．5下地 NAD塗 LGSW25下地		
		W7	壁：耐水合板厚9 掲示クロス張 耐火中空2重壁②	C1	天井：化粧PB厚9．5張 LGS下地		
W1	壁：人研台撤去跡モルタル金ゴテ押え後 下地調整（RB）の上 NAD塗	W9	壁：耐火中空2重壁② NAD塗	CB	新設CB 150×100×25 MDF SOP塗		
W3	壁：PB厚12．5 NAD塗 LGS下地						

特記事項	・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照 ・家具撤去については既設家具詳細図参照

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1−699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像

一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A−64（原図：A2）
		図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 2階展開図No.2	縮尺	1/100



改修前凡例 （工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		家具撤去を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		備品家具（引越し）を示す	●	既設のままを示す
	仕上材撤去	— - - —	コンクリートカッター切		シーリング撤去を示す
	仕上・下地共撤去		モルタルカッター切（仕上・下地モルタル撤去）		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		

改修後凡例 （工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		令114条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0199	●F	家具詳細番号を示す
	仕上材新設範囲を示す		令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0198	●D	各部詳細番号を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す				
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す		▲ 一時取外シ再取付とする備品類を示す		
	シーリングを示す		● 既設のままを示す		

仕上凡例

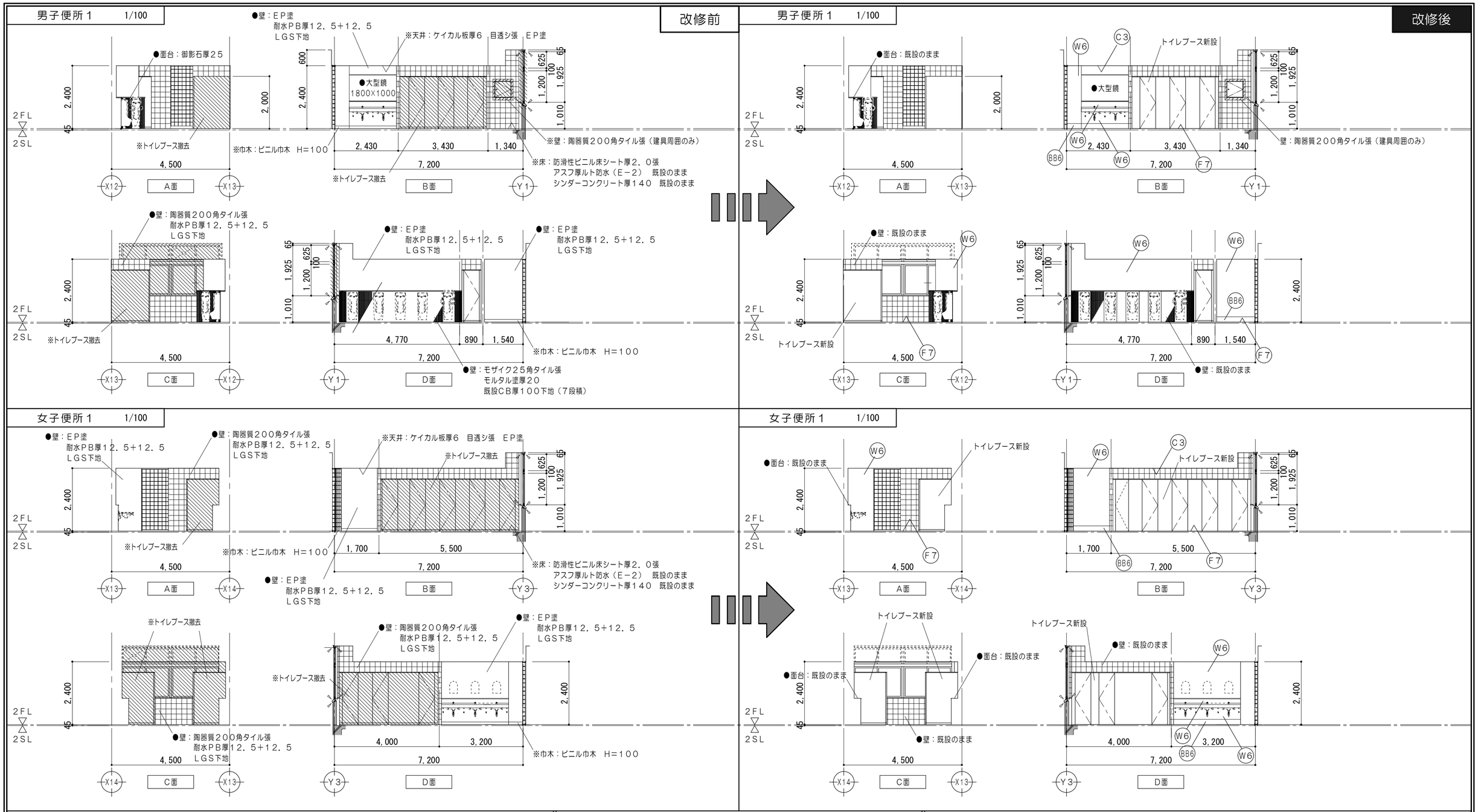
F6	床：モルタル金コテ下地厚18 複合フローリング厚12直張（塗装品）	W12	壁：NAD塗 耐火中空2重壁①
BB5	巾木：ビニル巾木 H=100	W13	壁：NAD塗 耐火中空2重壁②
W10	壁：PB厚12．5下地 NAD塗り LGS下地	C1	天井：化粧PB厚9．5張 LGS下地
W11	壁：下地調整（RB）の上 NAD塗り 人研台撤去跡モルタル金コテ押え	CB	新設CB 215×400×25 MDF SOP塗

特記事項
・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照
・家具撤去については既設家具詳細図参照

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像

一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事
		図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 3階展開図No.3

図面番号	A-65（原図：A2）
縮尺	1/100



改修前凡例　（工事内容）					
	コンクリート壁既設のままを示す		備品家具（引越し）を示す		シーリング撤去を示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		コンクリートカッター切		
	仕上材撤去		モルタルカッター切（仕上・下地モルタル撤去）		
	仕上・下地共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す		
	家具撤去を示す	●	既設のままを示す		

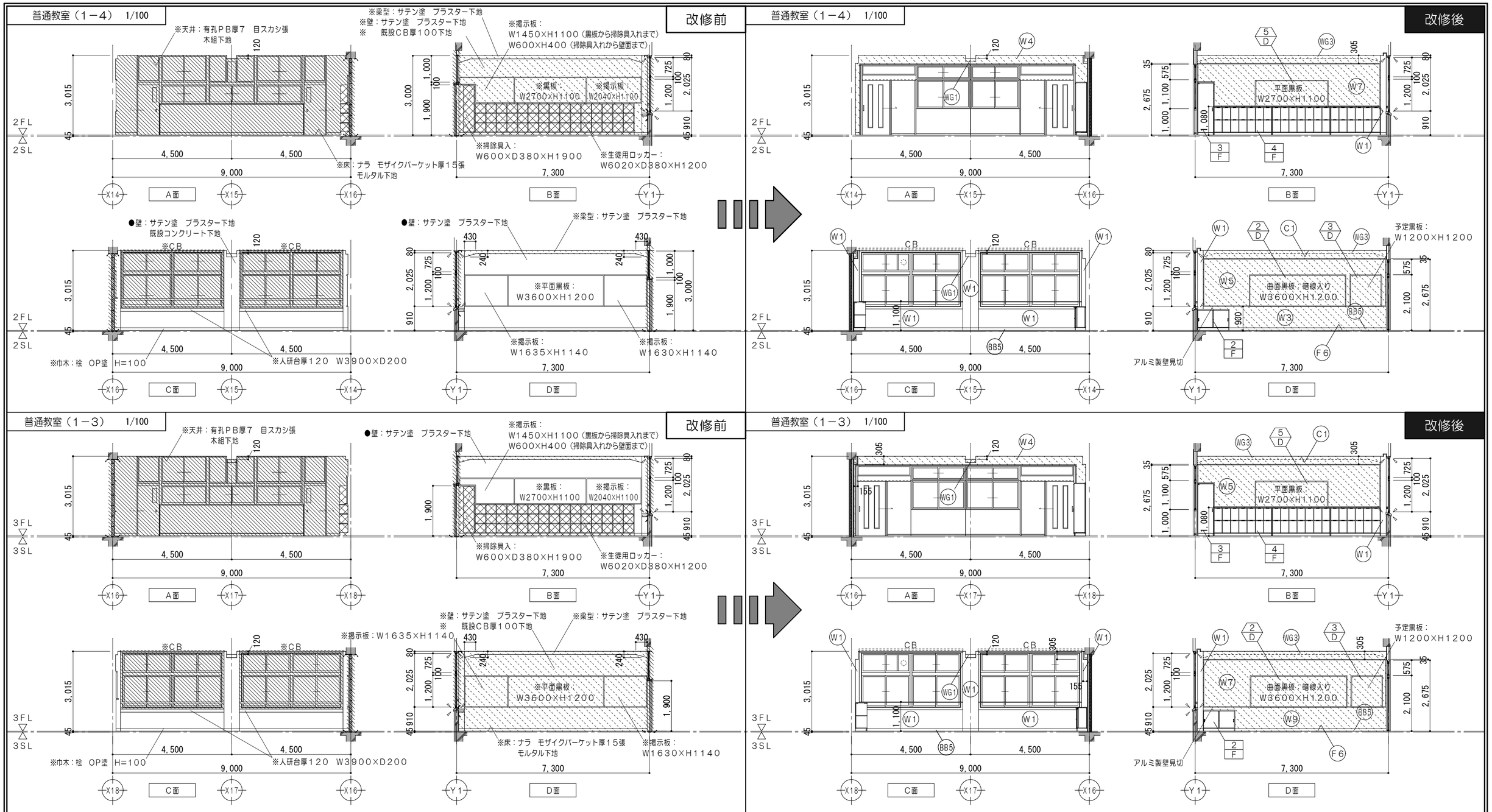
改修後凡例　（工事内容）			
	コンクリート壁既設のままを示す		令１１４条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0198
	仕上材新設範囲を示す		
	仕上・下地共新設範囲を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す	●	既設のままを示す
	シーリングを示す	●／F	家具詳細番号を示す
	令１１４条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0199	●／D	各部詳細番号を示す

仕上凡例						
F7	床	：ビニル床シート厚２．５張 ：トイレ用防滑性ノーワックス				
W6	壁	：下地調整（ＲＢ）の上　ＥＰ塗				
BB6	壁	：樹脂製見切り縁 ：床同材巻上げ　Ｈ＝２００				
C3	天井	：ケイカル板厚６　目透シ張　ＥＰ塗				

特記事項
・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照
・家具撤去については既設家具詳細図参照

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

一級建築士	第304509号 水谷　浩	設計年月日		工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-66（原図：A2）
		図面名称		＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 ２階展開図No.４		縮尺	1/100



改修前凡例 （工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		備品家具（引越し）を示す		シーリング撤去を示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		コンクリートカッター切		
	仕上材撤去		モルタルカッター切（仕上・下地モルタル撤去）		
	仕上・下地共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	▲	一時取外し再取付とする備品類を示す		
	家具撤去を示す	●	既設のままを示す		

改修後凡例 （工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		令１１４条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0198
	仕上材新設範囲を示す		
	仕上・下地共新設範囲を示す	▲	一時取外し再取付とする備品類を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す	●	既設のままを示す
	シーリングを示す	●／F	家具詳細番号を示す
	令１１４条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0199	●／D	各部詳細番号を示す

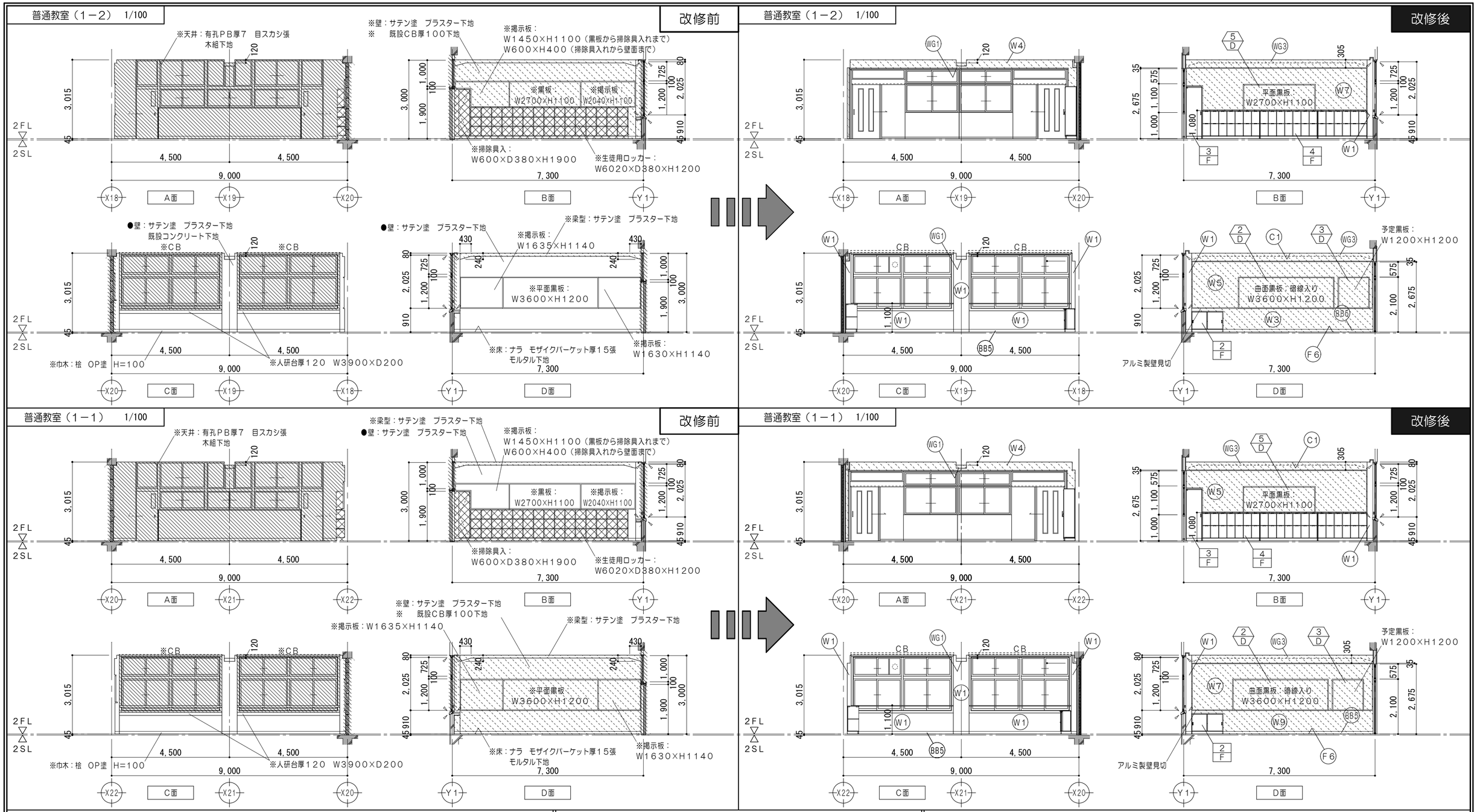
仕上凡例

F6	床：複合フローリング厚１２直張（塗装品） モルタル金コテ押工厚２８	W7	壁：耐水合板厚９ 掲示クロス張 耐火中空２重壁②		
BB5	巾木：木製幅木撤去跡モルタル金コテ押え後 ビニル巾木 H=１００	W9	壁：耐火中空２重壁② NAD塗		
W1	壁：人研台撤去跡モルタル金コテ押え後 下地調整（RB）の上 NAD塗	WG1	梁型：ＰＢ厚９．５下地 NAD塗 ＬＧＳＷ２５下地		
W3	壁：ＰＢ厚１２．５ NAD塗 ＬＧＳ下地	WG3	梁型：ＰＢ厚１２．５下地 NAD塗 ＬＧＳＷ２５下地		
W4	壁：耐火中空２重壁① NAD塗	C1	天井：化粧ＰＢ厚９．５張 ＬＧＳ下地		
W5	壁：耐水合板厚９ 掲示クロス張 ＬＧＳ下地	CB	新設ＣＢ １００×１５０×２５ ＭＤＦ ＳＯＰ塗		

特記事項
- ・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照
- ・家具撤去については既設家具詳細図参照

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像
一級建築士 第304509号 水谷 浩

設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-67（原図：A2）
	図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 ３階展開図No.５	縮尺 1/100



改修前凡例 （工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		備品家具（引越し）を示す		シーリング撤去を示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		コンクリートカッター切		
	仕上材撤去		モルタルカッター切（仕上・下地モルタル撤去）		
	仕上・下地共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	▲	一時取外し再取付とする備品類を示す		
	家具撤去を示す	●	既設のままを示す		

改修後凡例 （工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		令１１４条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP－0198
	仕上材新設範囲を示す		
	仕上・下地共新設範囲を示す	▲	一時取外し再取付とする備品類を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す	●	既設のままを示す
	シーリングを示す	● F	家具詳細番号を示す
	令１１４条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP－0199	◇ D	各部詳細番号を示す

仕上凡例

F6	床 ：複合フローリング厚１２直張（塗装品） モルタル金コテ押工厚２８	W7	壁 ：耐水合板厚９ 掲示クロス張 耐火中空２重壁②		
BB5	巾木：木製巾木撤去跡モルタル金ゴテ押え後 ビニル巾木 Ｈ＝１００	W9	壁 ：耐火中空２重壁② ＮＡＤ塗		
W1	壁 ：人研台撤去跡モルタル金ゴテ押え後 下地調整（ＲＢ）の上 ＮＡＤ塗	WG1	梁型：ＰＢ厚９．５下地 ＮＡＤ塗 ＬＧＳＷ２５下地		
W3	壁 ：ＰＢ厚１２．５ ＮＡＤ塗 ＬＧＳ下地	WG3	梁型：ＰＢ厚１２．５下地 ＮＡＤ塗 ＬＧＳＷ２５下地		
W4	壁 ：耐火中空２重壁① ＮＡＤ塗	C1	天井：化粧ＰＢ厚９．５張 ＬＧＳ下地		
W5	壁 ：ＰＢ厚１２．５ 耐水合板厚９ 掲示クロス張 ＬＧＳ下地	CB	新設ＣＢ １００×１５０×２５ ＭＤＦ ＳＯＰ塗		

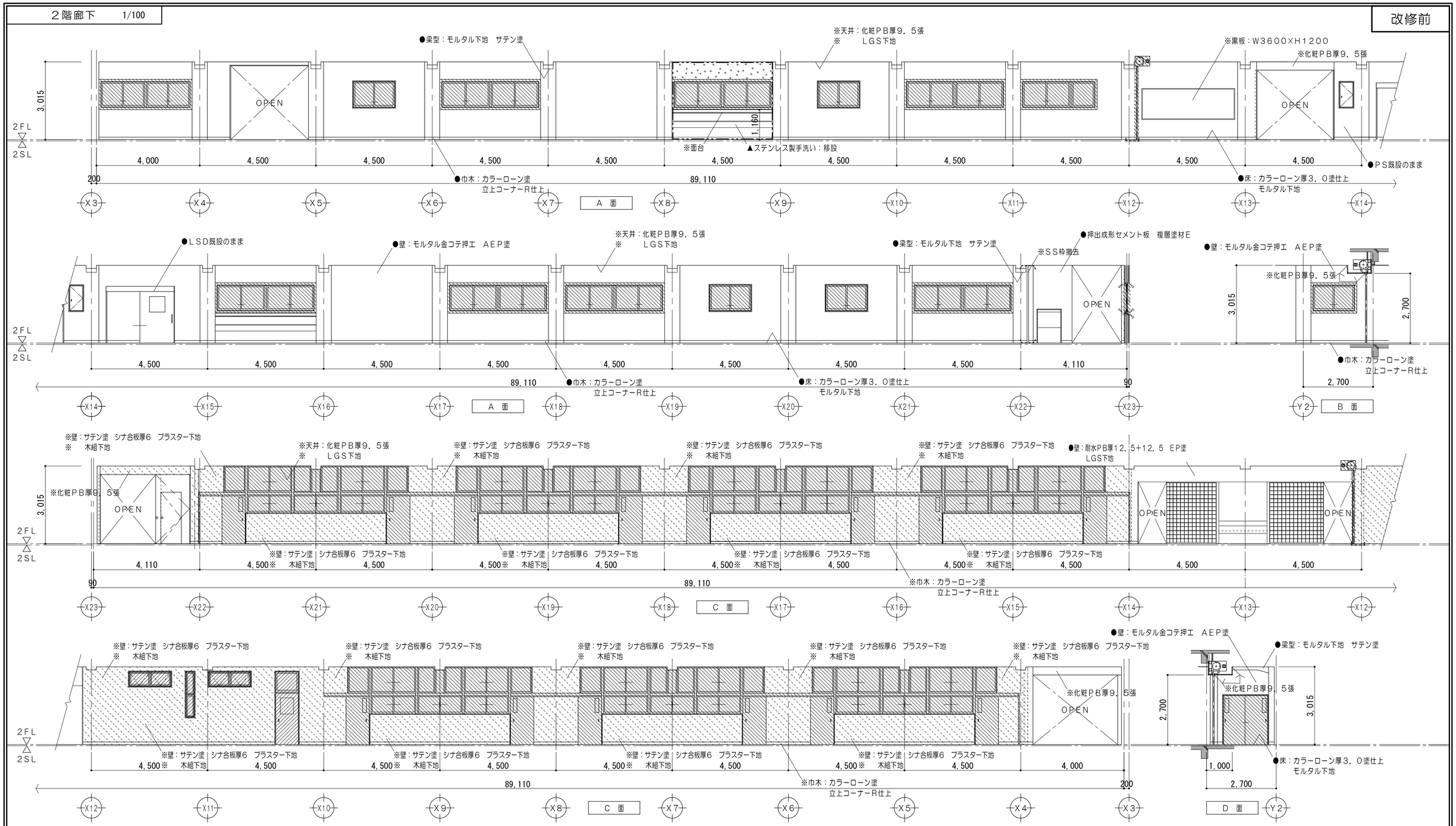
特記事項	・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照 ・家具撤去については既設家具詳細図参照

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像
一級建築士 第304509号 水谷 浩

設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-68（原図：A2）
	図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前 改修後 ３階展開図No.６	縮尺	1/100

２階廊下　1/100

改修前



改修前凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		仕上・下地共撤去		備品家具（引越し）を示す	※	解体及び撤去家具類を示す		シーリング撤去を示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		仕上・下地・コンクリート共撤去		コンクリートカッター切	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す		
	仕上材撤去		家具撤去を示す		モルタルカッター切（仕上・下地モルタル撤去）	●	既設のままを示す		

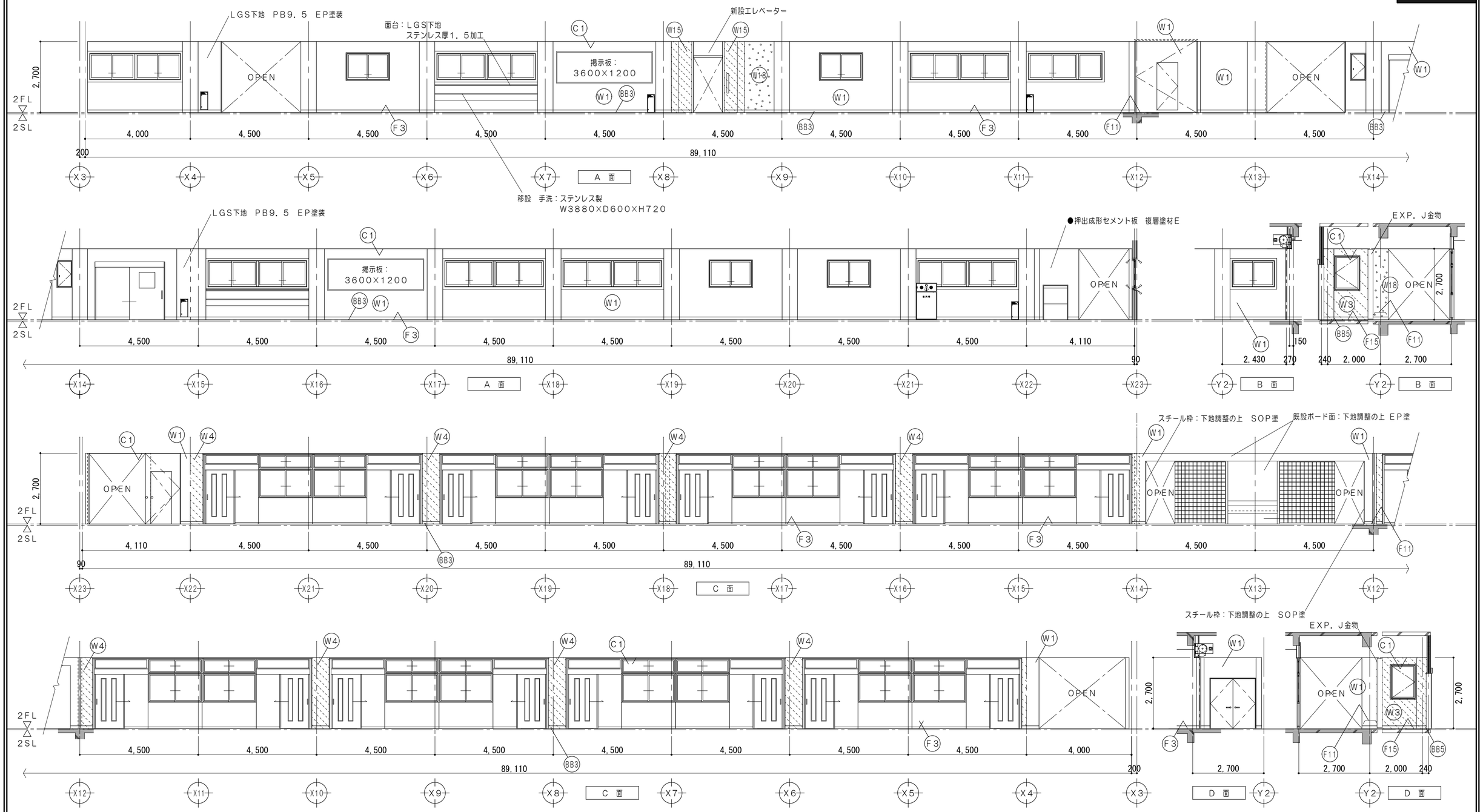
特記事項	・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照 ・家具撤去については既設家具詳細図参照

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-69（原図：A2）
	図面名称	＜管理教室棟＞ 改修前 ２階展開図No.７	縮尺 1/100

２階廊下　1/100

改修後



改修後凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		シーリングを示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す		
	仕上材新設範囲を示す		令114条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0199	●	既設のままを示す		
	仕上・下地共新設範囲を示す		令114条による防火上主要な間仕切壁 （小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0198	●/F	家具詳細番号を示す		
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す			●/D	各部詳細番号を示す		

仕上凡例

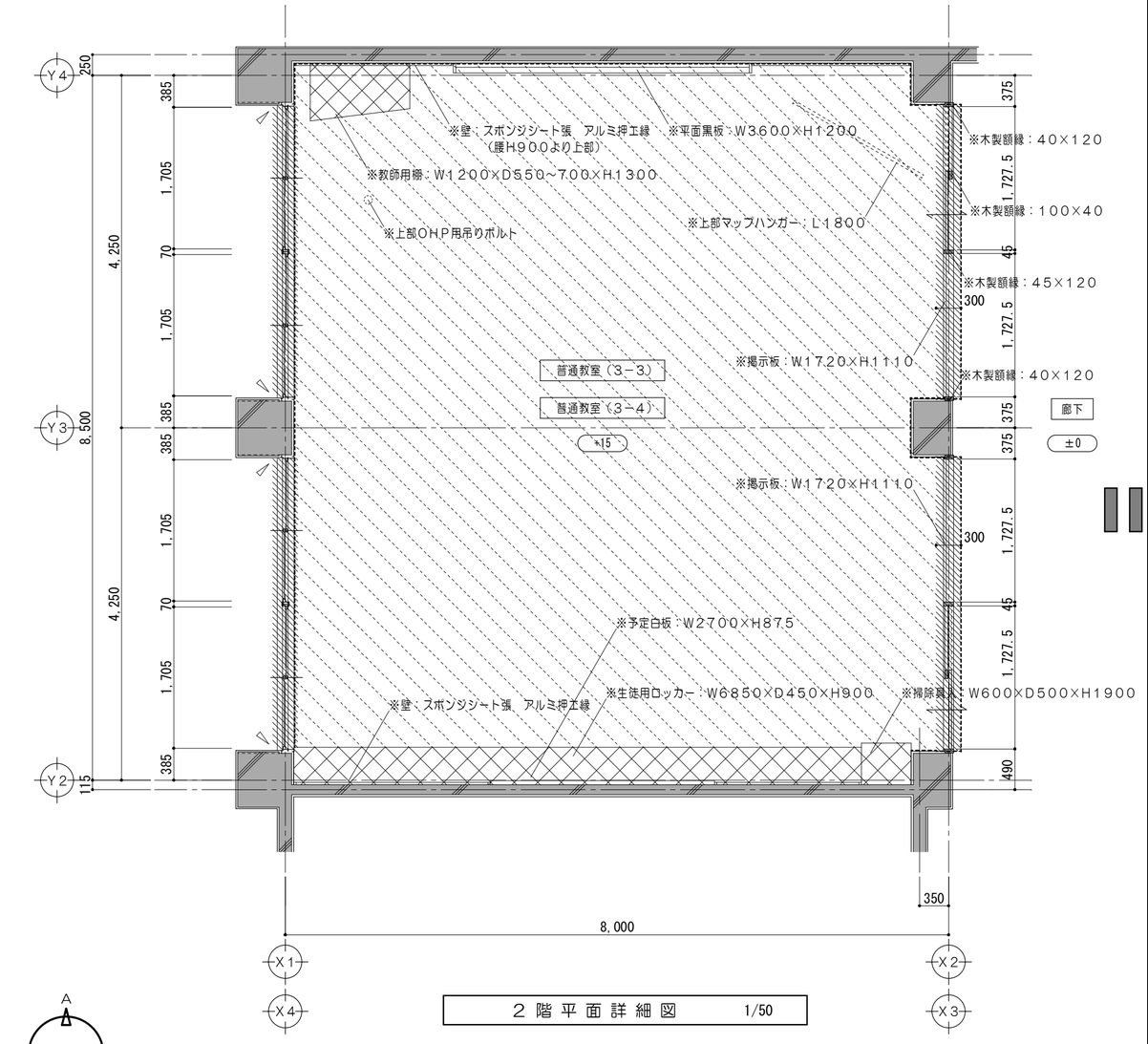
F3	床：弾性ウレタン樹脂塗床材 層間用プライマー 既設仕上面清掃（シンナー拭キ） 既設モルタル下地	BB3	巾木：床同材立上　H＝100	W4	壁：耐火中空2重壁①　NAD塗	C1	天井：化粧PB厚9．5張 LGS下地
		BB5	巾木：ビニル巾木　H＝100	W14	壁：耐火中空2重壁③　NAD塗	CB	新設CB　100×150×25 MDF　SOP塗
F11	床：弾性ウレタン樹脂塗床材 モルタル金コテ押工厚30	W1	壁：下地調整（RB）の上　NAD塗	W15	壁：耐火中空2重壁④　NAD塗		
F15	床：ビニル床シート厚2．5張 モルタル金コテ押工厚30	W3	壁：PB厚12．5　EP塗 LGS下地	W18	壁：モルタル金コテ押工　NAD塗 新設コンクリート下地		

特記事項	・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照 ・家具撤去については既設家具詳細図参照

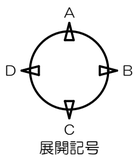
一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号　A−70（原図：A2）
	図面名称	＜管理教室棟＞ 改修後　２階展開図No.8	縮尺　1/100

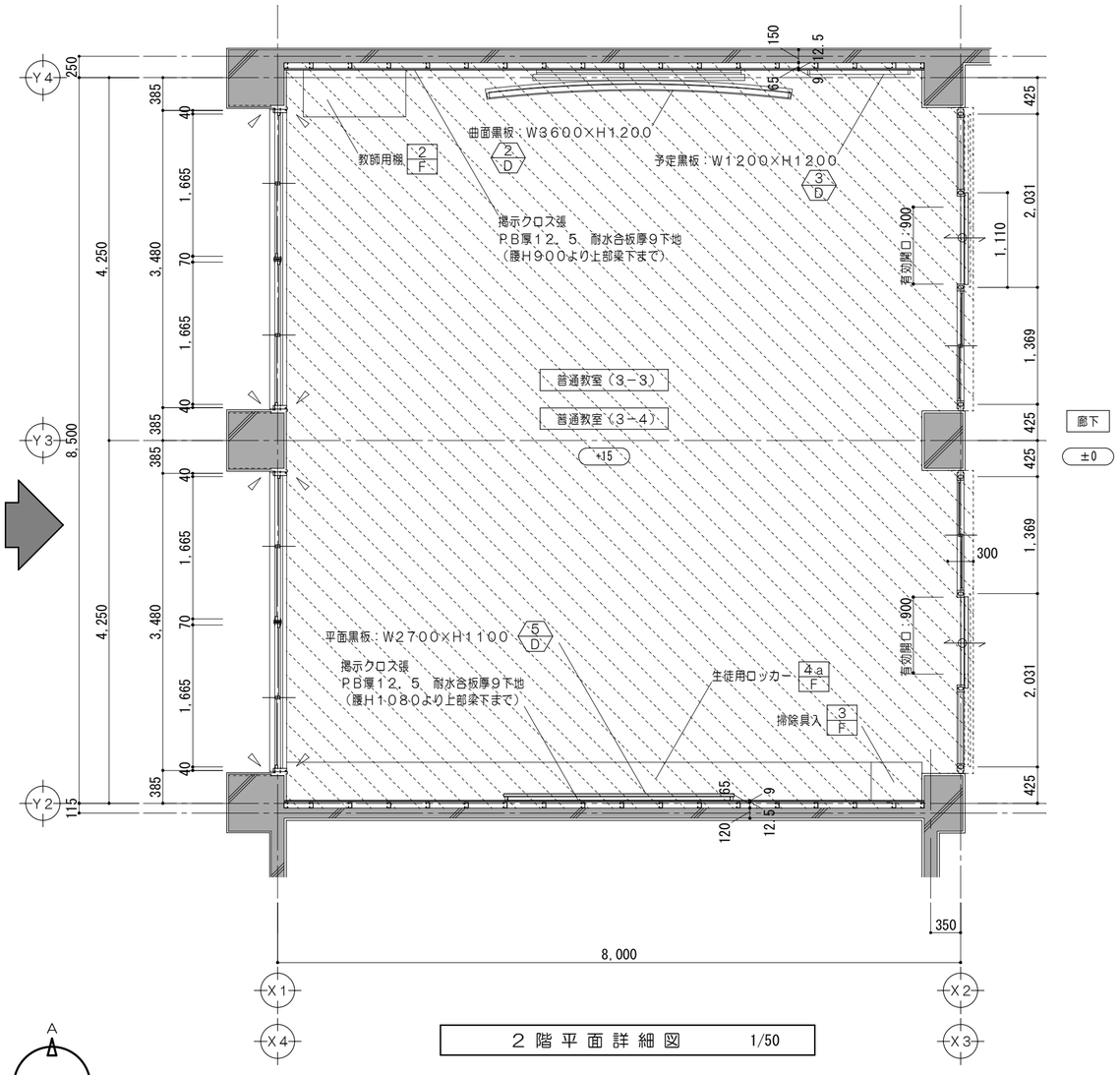
改修前



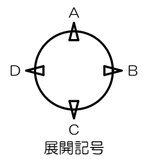
2 階 平 面 詳 細 図　　1/50



改修後



2 階 平 面 詳 細 図　　1/50



凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		家具撤去を示す	※	解体及び撤去家具類を示す
	コンクリートブロック壁既設のままを示す		備品家具（引越し）を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		コンクリートカッター切	●	既設のままを示す
	仕上材撤去		モルタルカッター切（仕上・下地モルタル撤去）	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上・下地共撤去		コンクリート目荒シを示す		
	仕上・下地・コンクリート共撤去		シーリング撤去を示す		

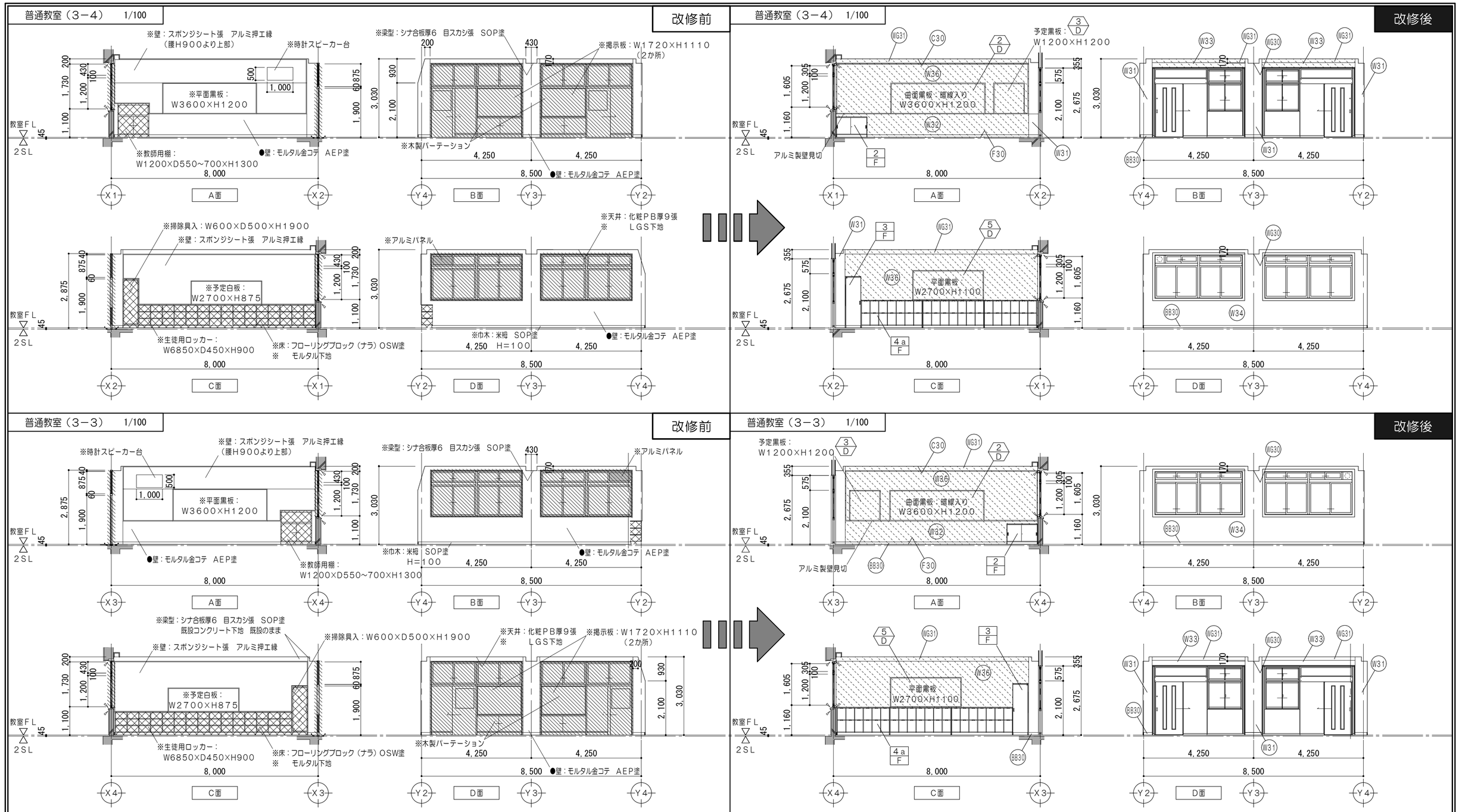
凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		令１１４条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：中空二重壁 ＦＰ０６０ＮＰ－０１９８	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上材新設範囲を示す			● F	家具詳細番号を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す		令１１４条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁　ＦＰ０６０ＮＰ－０１９９	● D	各部詳細番号を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す		沓摺：ステンレス製　Ｗ４０		
	備品家具（引越し）を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す		
	シーリングを示す	●	既設のままを示す		

特記事項
- ・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照
- ・家具撤去については既設家具詳細図参照

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

設計年月日		工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事
図面名称	＜普通教室棟＞ 改修前　改修後　２階平面詳細図No.１	図面番号	A-71（原図：A2）
縮尺	1/50		



改修前凡例 （工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		家具撤去を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		備品家具（引越し）を示す	●	既設のままを示す
	仕上材撤去	— - - —	コンクリートカッター切		シーリング撤去を示す
	仕上・下地共撤去		モルタルカッター切（仕上・下地モルタル撤去）		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		

改修後凡例 （工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0198	●F	家具詳細番号を示す
	仕上材新設範囲を示す			●D	各部詳細番号を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す		シーリングを示す		
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す		
	令114条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0199	●	既設のままを示す		

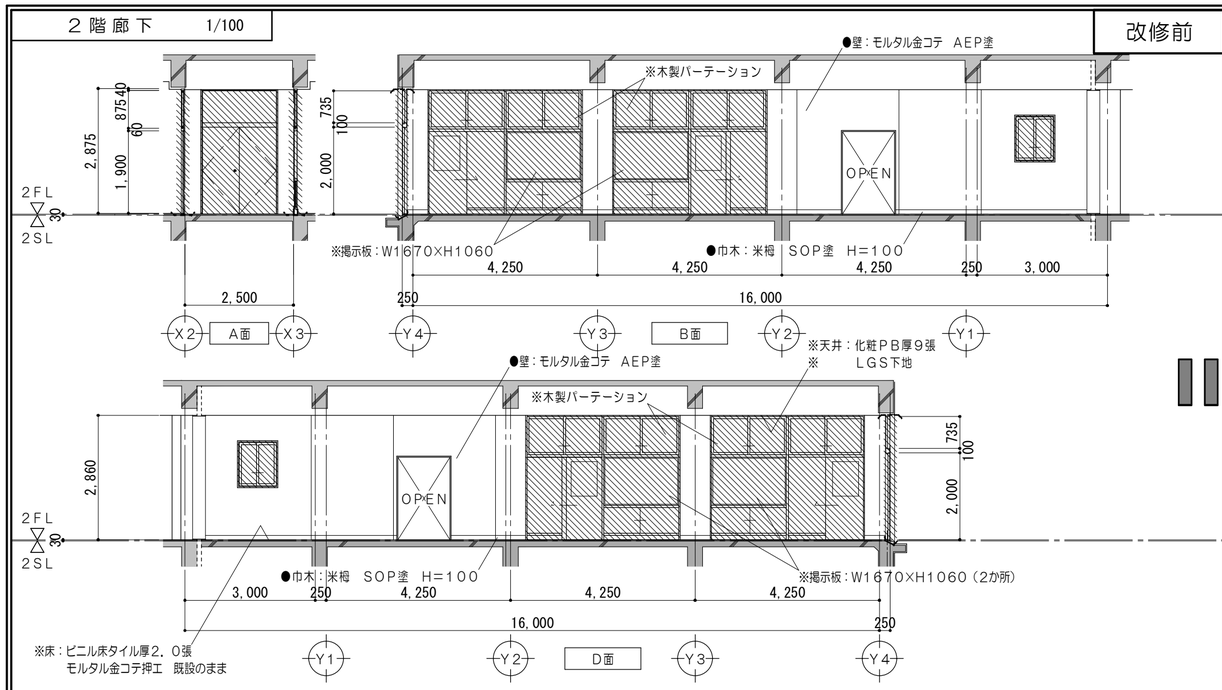
仕上凡例

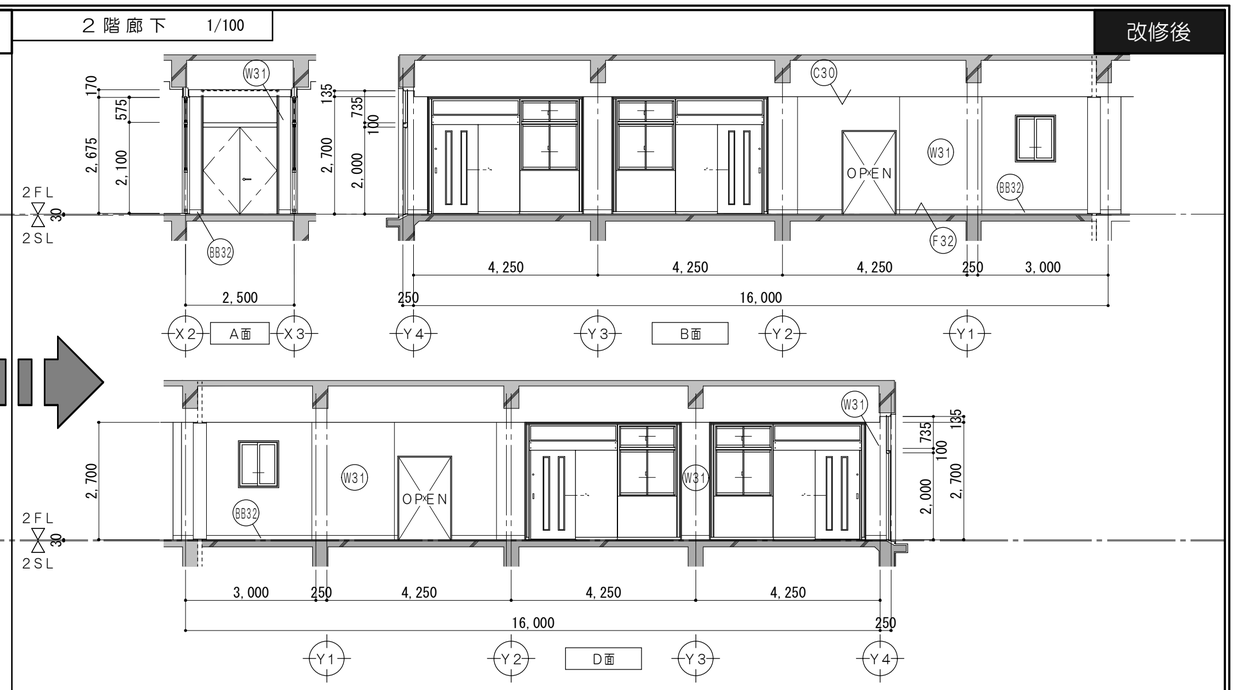
F30	床	複合フローリング厚12直張（塗装品） モルタル下地	W36	壁	PB厚12．5 耐水合板厚9下地 掲示クロス張
W31	壁	木製間仕切り撤去跡モルタル金コテ押え後 下地調整（RB）の上 NAD塗	BB30	巾木	木製巾木撤去跡モルタル金コテ押え後 ビニル H=100
W32	壁	PB厚12．5 NAD塗 LGS下地	WG30	梁型	PB厚9．5 NAD塗 LGSW25下地
W33	壁	NAD塗 耐火中空2重壁①	WG31	梁型	PB厚12．5 NAD塗 LGSW25下地
W34	壁	下地調整（RB）の上 NAD塗	C30	天井	化粧PB厚9．5張 LGS下地

特記事項	・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照 ・家具撤去については既設家具詳細図参照

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像
一級建築士 第304509号 水谷 浩

設計年月日		工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事
図面名称	改修前 改修後 ＜普通教室棟＞ 2階展開図No.1（普通教室3-3→普通教室3-3）（普通教室3-4→普通教室3-4）	図面番号	A-72（原図：A2）
縮尺	1/100		





改修前凡例 （工事内容）					
	コンクリート壁既設のままを示す		家具撤去を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		備品家具（引越し）を示す	●	既設のままを示す
	仕上材撤去	— - - —	コンクリートカッター切		シーリング撤去を示す
	仕上・下地共撤去		モルタルカッター切（仕上・下地モルタル撤去）		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		

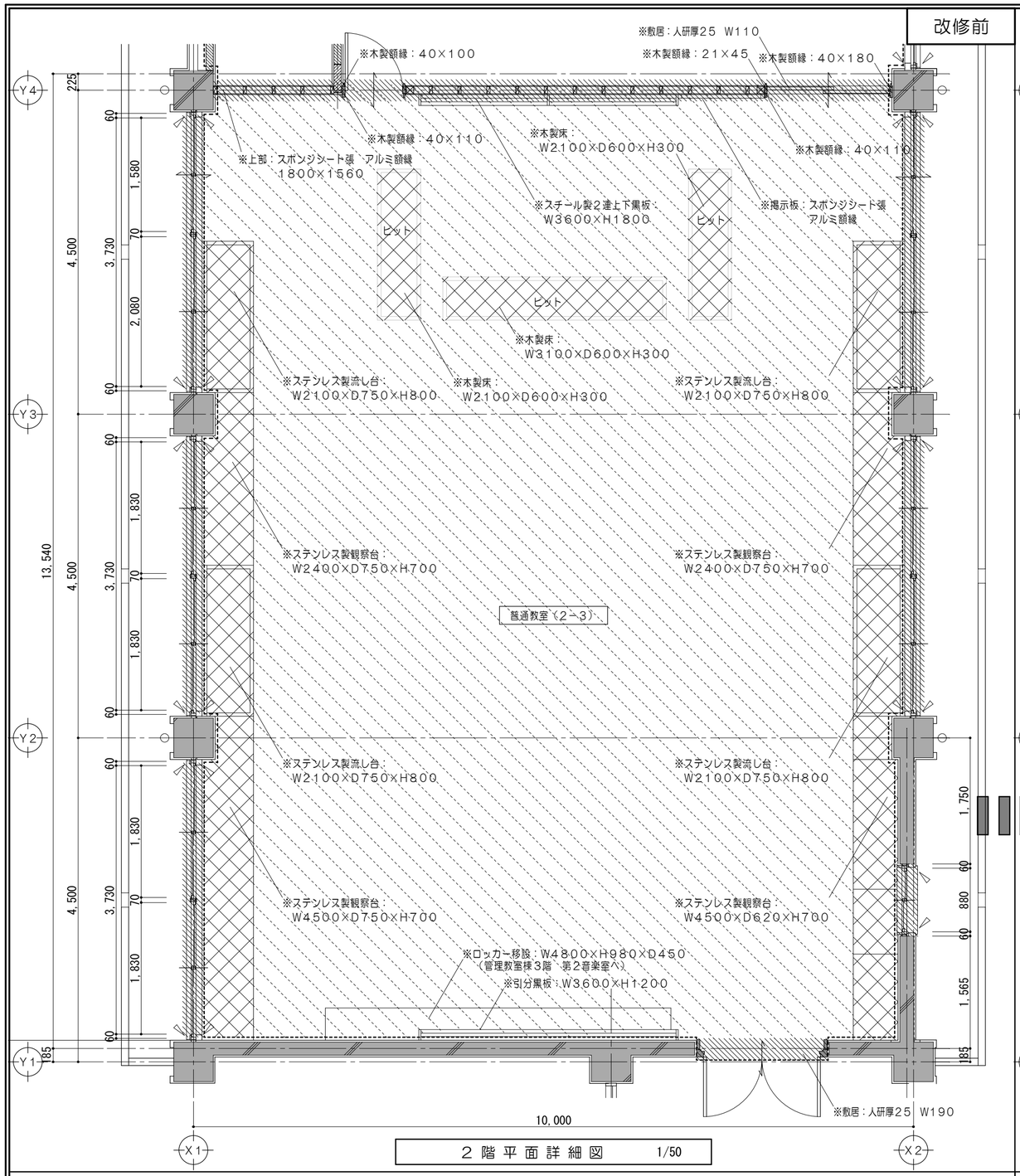
改修後凡例 （工事内容）					
	コンクリート壁既設のままを示す		令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0198	●F	家具詳細番号を示す
	仕上材新設範囲を示す			●D	各部詳細番号を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す		シーリングを示す		
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す		
	令114条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0199	●	既設のままを示す		

仕上凡例			
F32	床 ：ビニル床シート厚2．5張 既設下地調整の上		
W31	壁 ：下地調整（RB）の上 NAD塗		
BB32	巾木：下地調整（RB）の上 SOP塗		
C30	天井：化粧PB厚9．5張 LGS下地		

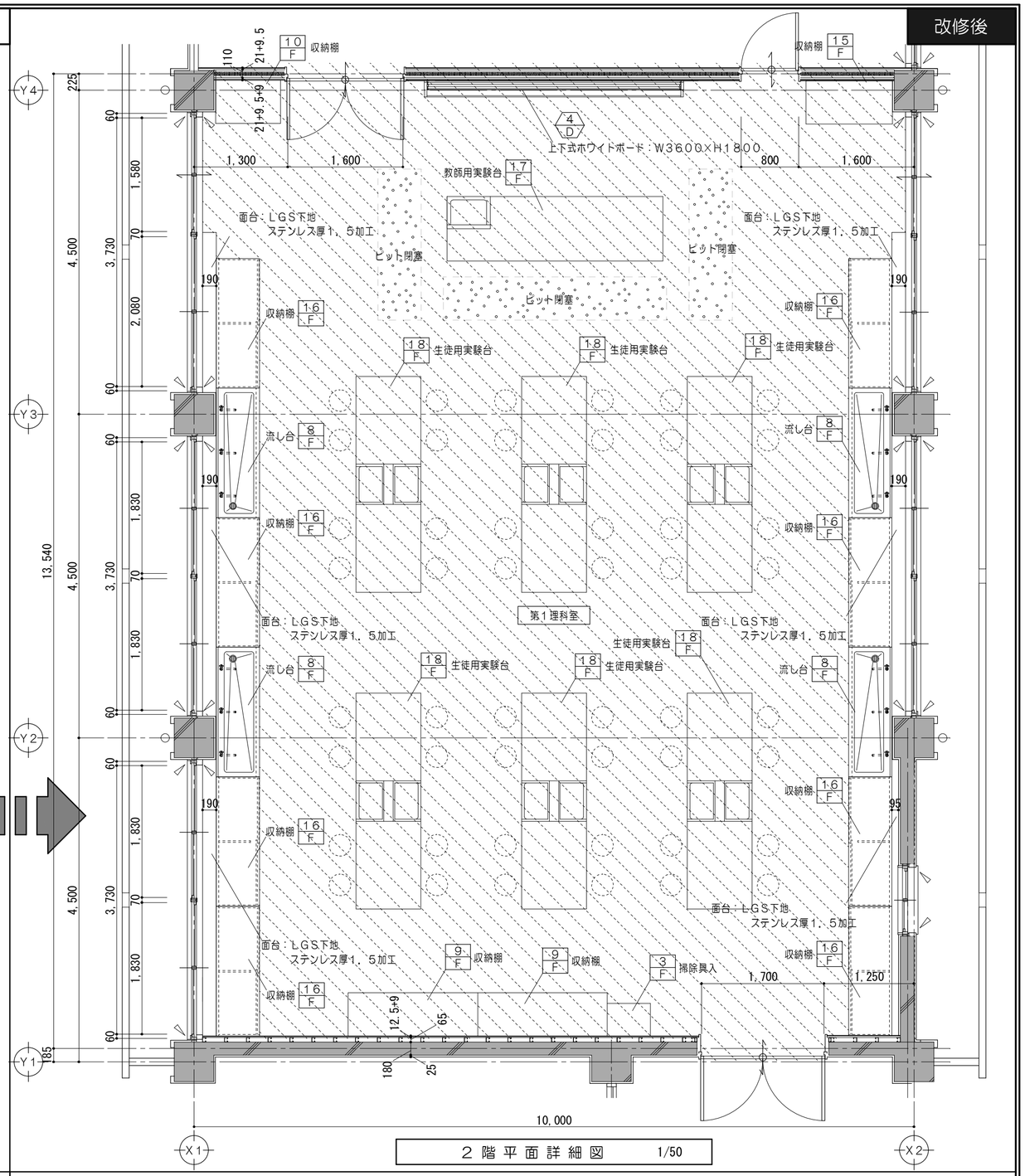
特記事項	・建具撤去については既設建具符号図・建具表参照 ・家具撤去については既設家具詳細図参照

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像

一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-73（原図：A2）
		図面名称	＜普通教室棟＞ 改修前 改修後 2階展開図No.2（廊下→廊下）	縮尺 1/100



2 階 平 面 詳 細 図　1/50



2 階 平 面 詳 細 図　1/50

凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		仕上・下地共撤去		コンクリートカッター切	※	解体及び撤去家具類を示す
	コンクリートブロック壁撤去を示す		仕上・下地・コンクリート共撤去		モルタルカッター切（仕上・下地モルタル撤去）	▲	一時取外し再取付とする備品類を示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		家具撤去を示す		コンクリート目荒しを示す	●	既設のままを示す
	仕上材撤去		シーリング撤去を示す		沓摺：ステンレス製　W40撤去を示す	±0	特記なき場合FL±0を示す

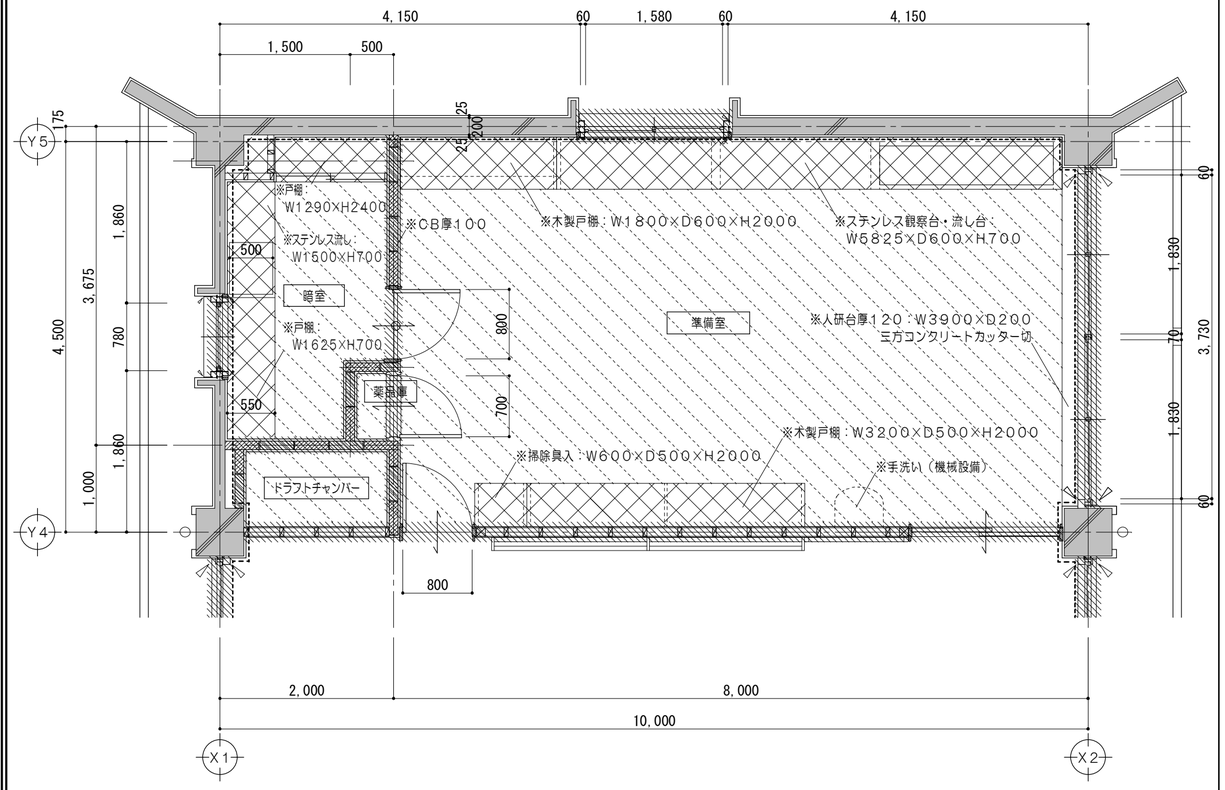
凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		備品家具（引越し）を示す		令114条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0199		沓摺：ステンレス製　W40
	仕上材新設範囲を示す		シーリングを示す			±0	特記なき場合FL±0を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す		令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0198	▲	一時取外し再取付とする備品類を示す	●F	家具詳細番号を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す			●	既設のままを示す	●D	各部詳細番号を示す

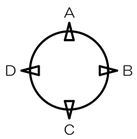
特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社　前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事
			図面名称	＜特別教室棟Ｂ＞ 改修前　改修後　2階平面詳細図No.1（普通教室→第1理科室）	

図面番号	A-74 （原図：A2）
縮尺	1/50

改修前

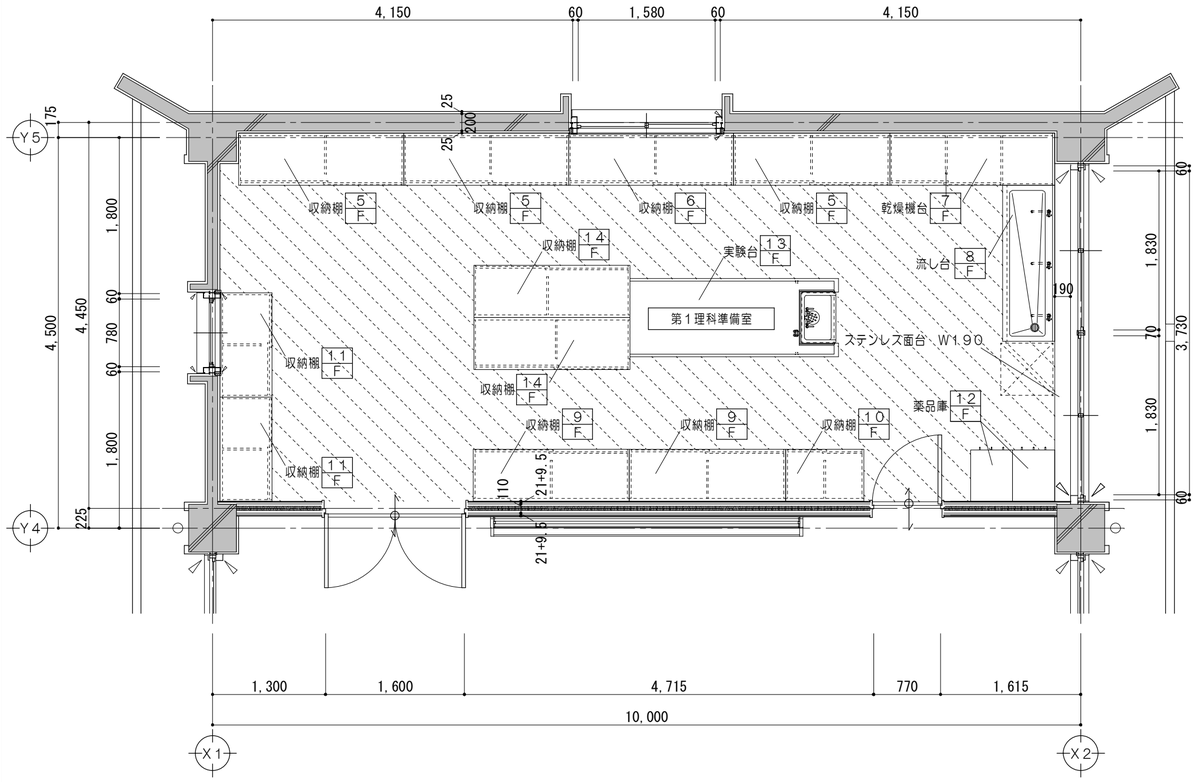


2 階 平 面 詳 細 図　　1/50

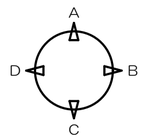


展開記号

改修後



2 階 平 面 詳 細 図　　1/50



展開記号

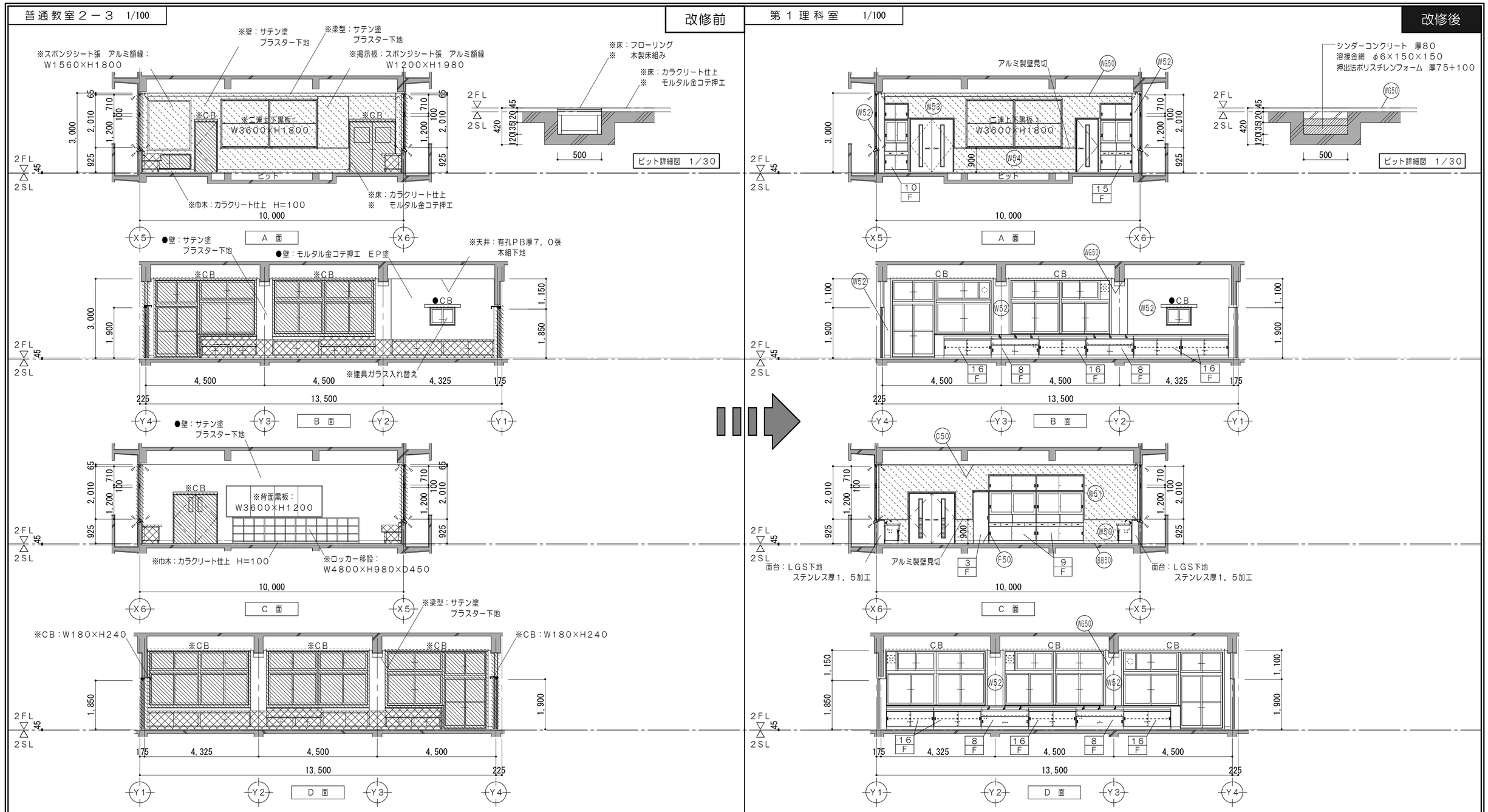
凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		家具撤去を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す
	コンクリートブロック壁撤去を示す		備品家具（引越し）を示す	●	既設のままを示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		コンクリートカッター切	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上材撤去		モルタルカッター切		
	仕上・下地共撤去		コンクリート目荒シを示す		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		

凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		令１１４条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：中空二重壁 ＦＰ０６０ＮＰ－０１９８	±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す
	仕上材新設範囲を示す			● F	家具詳細番号を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す		令１１４条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁 ＦＰ０６０ＮＰ－０１９９	● D	各部詳細番号を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す		沓摺：ステンレス製　Ｗ４０	消	消火器（ＡＢＣ粉末１０型）※消防用設備等については、消防法施行令及び同規則の通り設置する。
	備品家具（引越し）を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す		
	シーリングを示す	●	既設のままを示す		

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事
			図面名称	＜特別教室棟Ｂ＞ 改修前 改修後 ２階平面詳細図No.２	（準備室・暗室・チャンバー→第１理科準備室）
			図面番号	A-75（原図：A2）	
			縮尺	1/50	



改修前凡例 （工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		備品家具（引越し）を示す		シーリング撤去を示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		コンクリートカッター切		
	仕上材撤去		モルタルカッター切（仕上・下地モルタル撤去）		
	仕上・下地共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す		
	家具撤去を示す	●	既設のままを示す		

改修後凡例 （工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0198
	仕上材新設範囲を示す		
	仕上・下地共新設範囲を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す	●	既設のままを示す
	シーリングを示す	●F	家具詳細番号を示す
	令114条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0199	●D	各部詳細番号を示す

仕上凡例

F50	床：ビニル床シート厚2．0張（耐薬品） モルタル金コテ押エ	W53	壁：耐火中空２重壁② PB厚12．5下地 耐水合板厚9 掲示クロス張	CB	新設CB 100×150×25 MDF SOP塗
BB50	床：ビニル巾木 H100				
W50	壁：LGS下地 PB厚12．5下地 NAD塗	W54	壁：耐火中空２重壁② NAD塗		
W51	壁：LGS下地 PB厚12．5下地 耐水合板厚9 掲示クロス張	WG50	梁型 LGSW25下地 PB厚9．5下地 NAD塗		
W52	壁：下地調整の上 NAD塗	C50	天井：LGS下地 化粧PB厚12．5張		

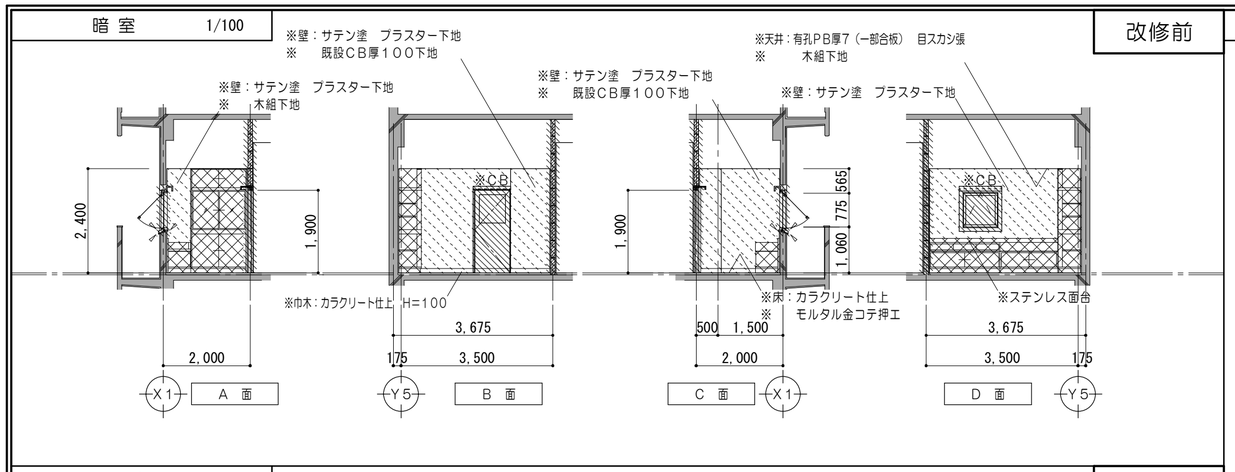
特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像

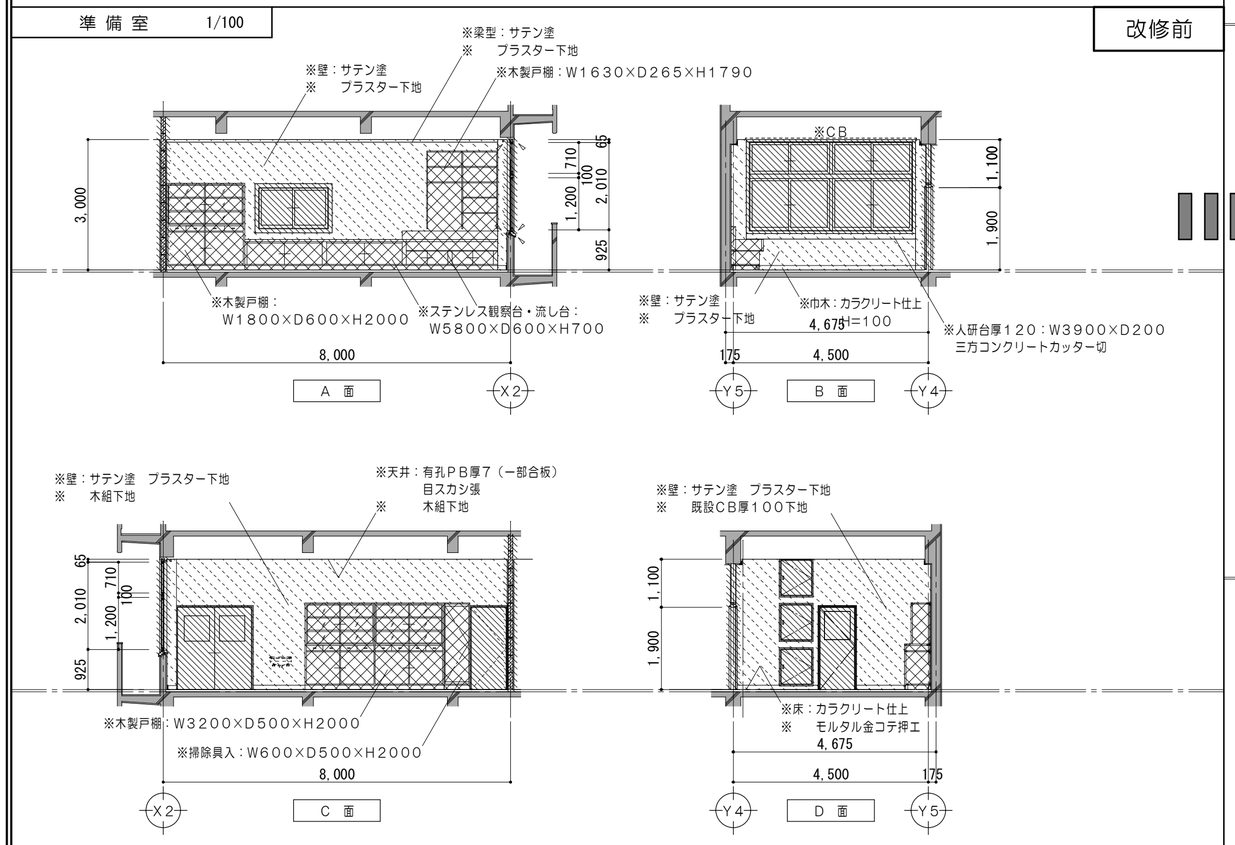
一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事
		図面名称	＜特別教室棟Ｂ＞ 改修前 改修後 ２階展開図No.１（第１理科室→第１理科室）

図面番号	A-76（原図：A2）
縮尺	1/100

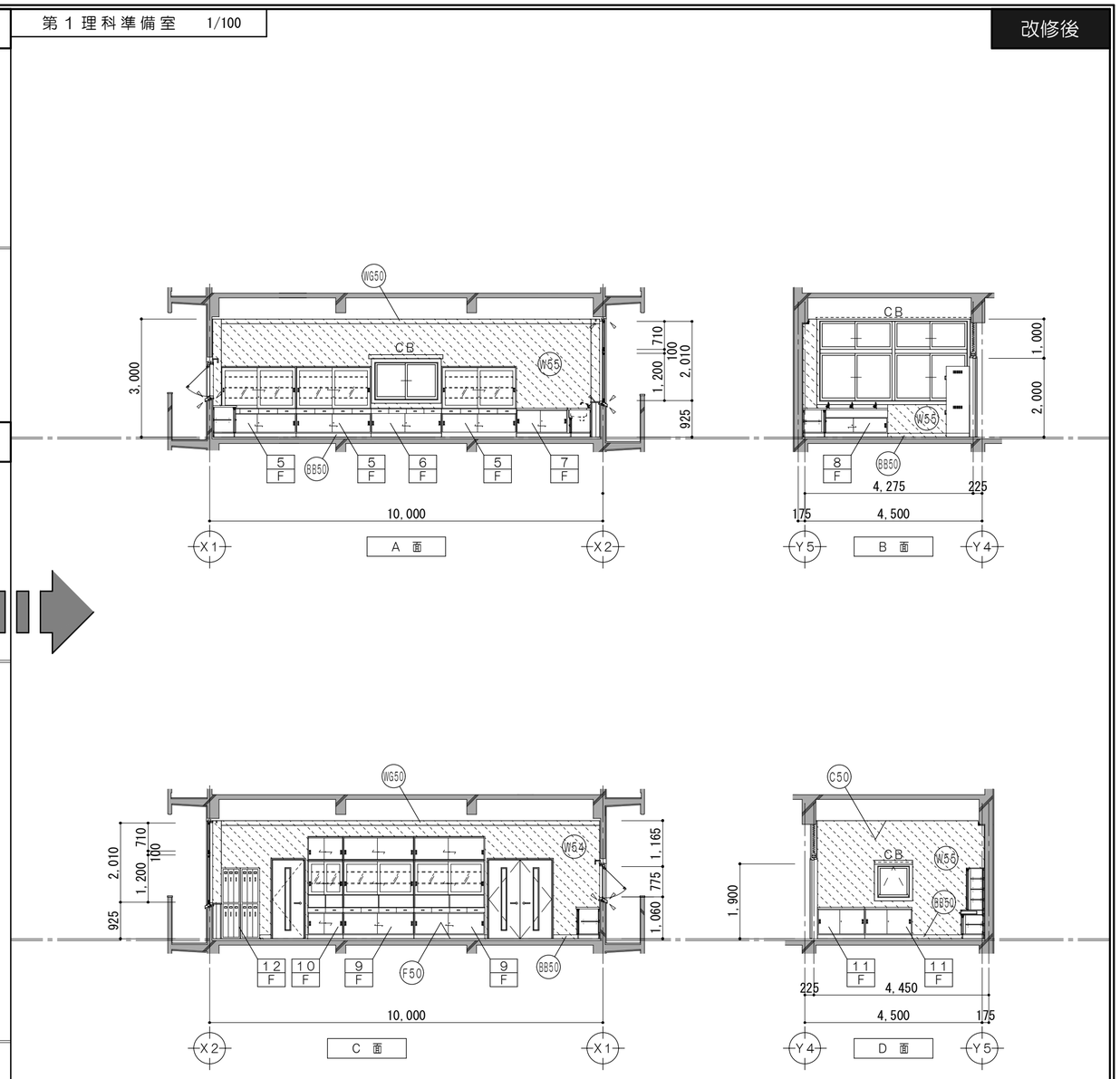
暗室 1/100 改修前



準備室 1/100 改修前



第1理科準備室 1/100 改修後



改修前凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		備品家具（引越し）を示す		シーリング撤去を示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す	— - - —	コンクリートカッター切		
	仕上材撤去		モルタルカッター切（仕上・下地モルタル撤去）		
	仕上・下地共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	▲	一時取外し再取付とする備品類を示す		
	家具撤去を示す	●	既設のままを示す		

改修後凡例　（工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工） 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0198
	仕上材新設範囲を示す		
	仕上・下地共新設範囲を示す	▲	一時取外し再取付とする備品類を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す	●	既設のままを示す
	シーリングを示す	● F	家具詳細番号を示す
	令114条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0199	● D	各部詳細番号を示す

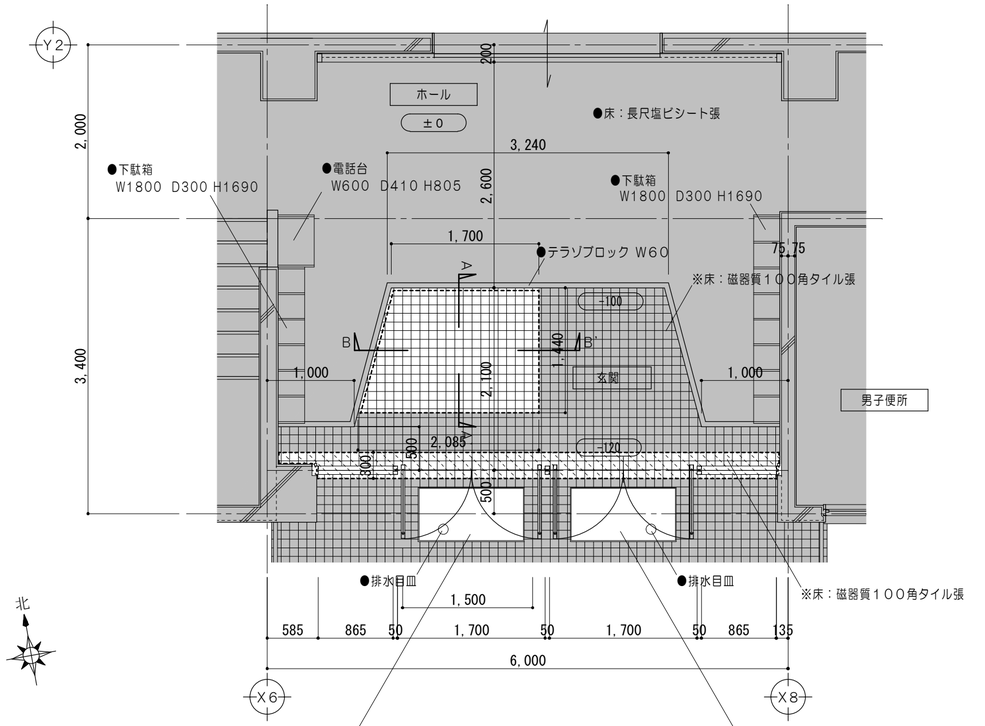
仕上凡例

F50	床　：ビニル床シート厚2．5張（耐薬品） モルタル金コテ押エ厚28	WG50	梁型：PB厚9．5張　NAD塗 LGS下地		
W52	壁　：下地調整の上　NAD塗	C50	天井：化粧PB厚12．5張 LGS下地		
W54	壁　：耐火中空2重壁②　NAD塗	CB	新設CB　100×150×25 MDF　SOP塗		
W55	壁　：モルタル金コテ押エ　NAD塗				
BB50	巾木：ビニル巾木　H100				

特記事項		一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称：津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事
				図面名称	＜特別教室棟B＞ 改修前　改修後　2階展開図No.2（暗室・準備室→第1理科準備室）

図面番号	A-77（原図：A2）
縮尺	1/100

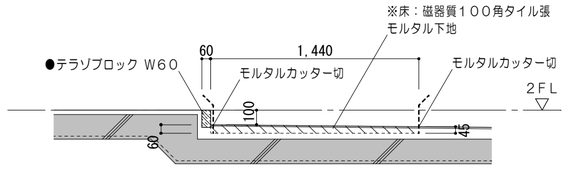
改修前



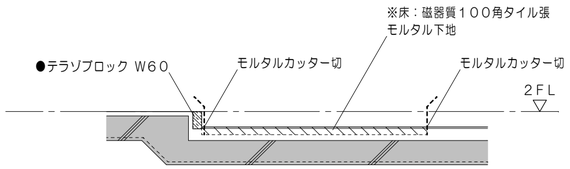
※クツ拭ゴム製マット：W1200×L600
●ステンレス製枠

２ 階 平 面 詳 細 図　1/50

※クツ拭ゴム製マット：W1200×L600
●ステンレス製枠



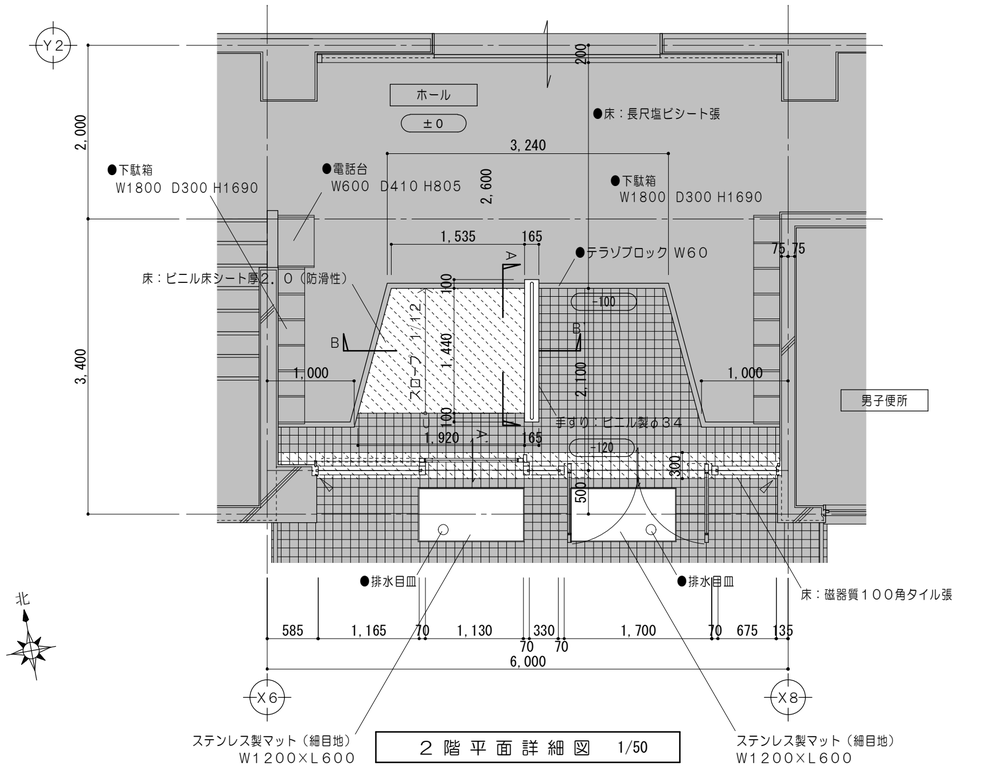
A　A' 詳 細 図　1/30



B　B' 詳 細 図　1/30

凡例　（工事内容）	
	コンクリート壁既設のままを示す
	仕上・下地共撤去
	モルタルカッター切
※	解体及び撤去家具類を示す
●	既設のままを示す
±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す

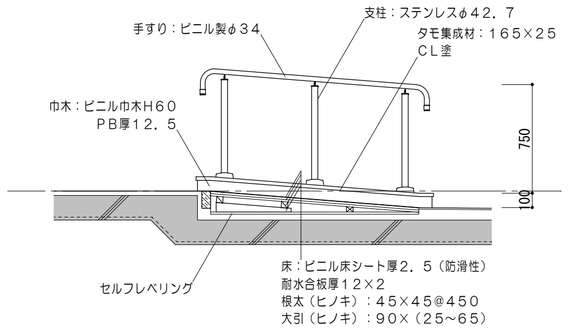
改修後



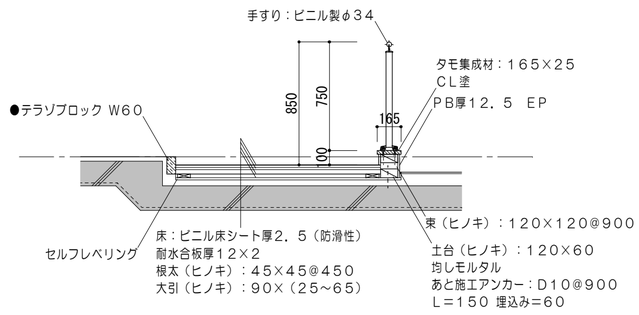
ステンレス製マット（細目地）
W1200×L600

２ 階 平 面 詳 細 図　1/50

ステンレス製マット（細目地）
W1200×L600



A　A' 詳 細 図　1/30

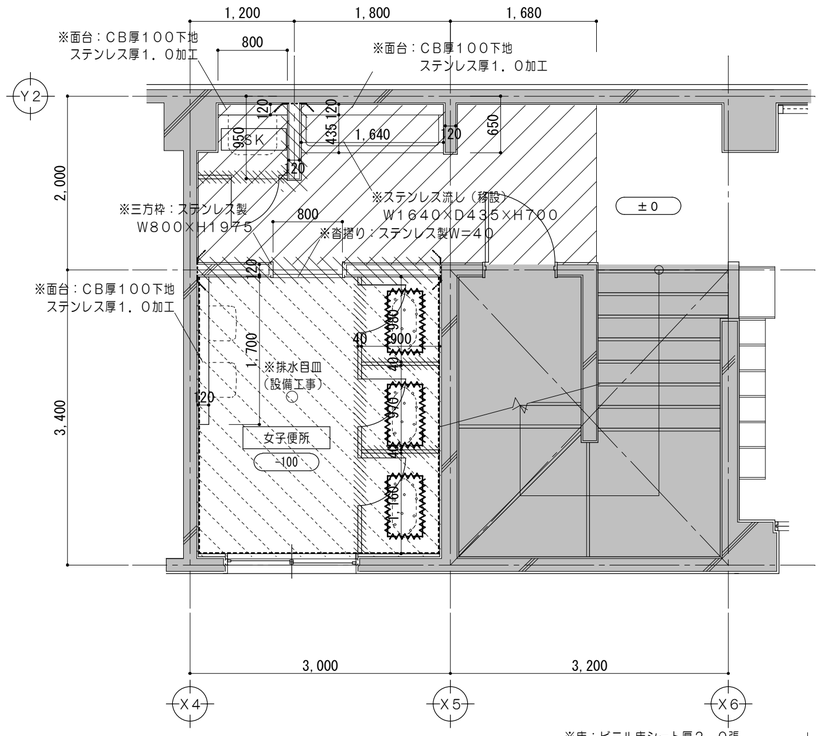


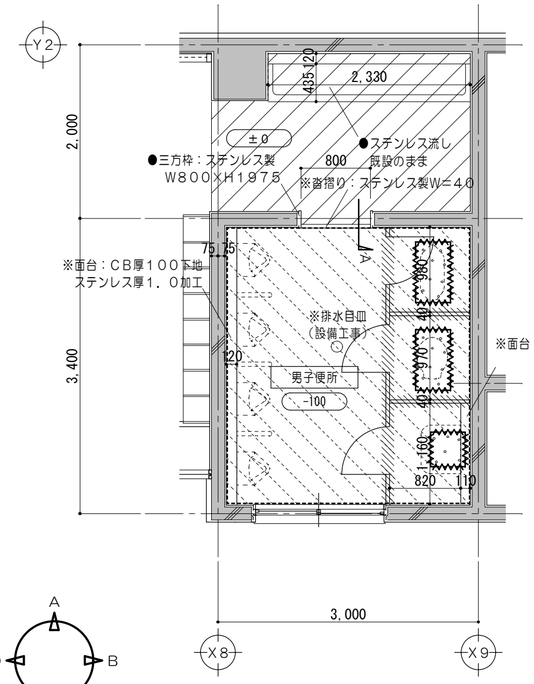
B　B' 詳 細 図　1/30

凡例　（工事内容）	
	コンクリート壁既設のままを示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	シーリングを示す
●	既設のままを示す
±0	特記なき場合ＦＬ±０を示す

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-78 （原図：A2）
				図面名称	＜屋内運動場＞ 改修前　改修後　２階平面詳細図No.１	縮尺	1/30.50

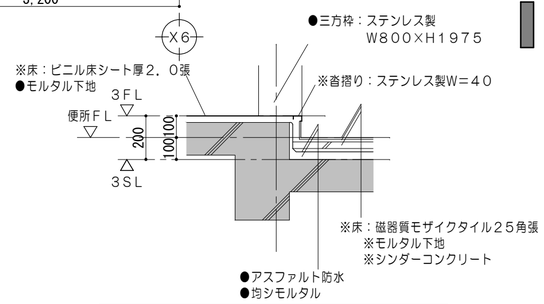
改修前





展開記号

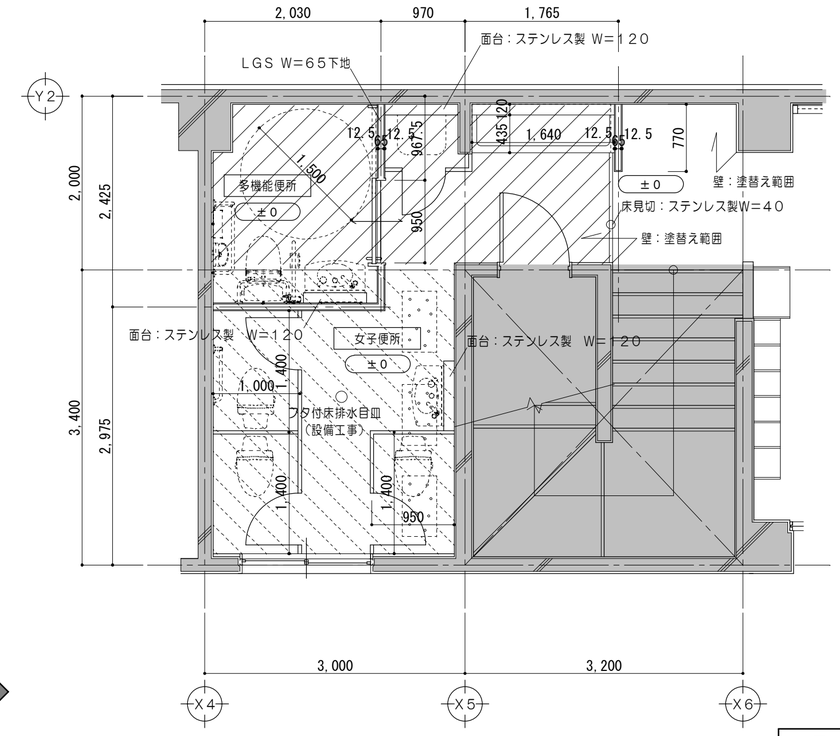
2 階 平 面 詳 細 図　1/50

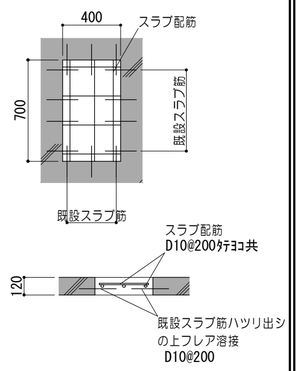


A 断 面 詳 細 図　1/20

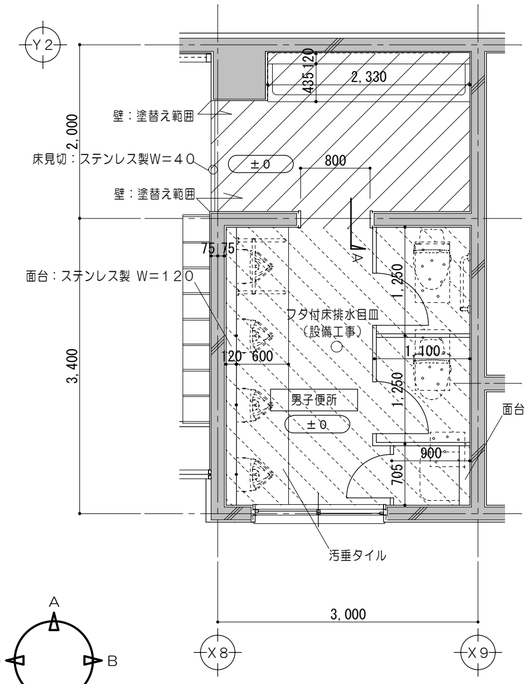
凡例	（工事内容）
	コンクリート壁既設のままを示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す
	仕上撤去
	仕上・下地共撤去（手洗い部分除く）
	仕上・下地・コンクリート共撤去
	コンクリートカッター切
	モルタルカッター切（仕上・下地モルタル撤去）
	コンクリート目荒シを示す
※	解体及び撤去家具類を示す
●	既設のままを示す
±0	特記なき場合FL±0を示す
	コンクリート斫り撤去 和風便器　400×700 SK　400×400

改修後



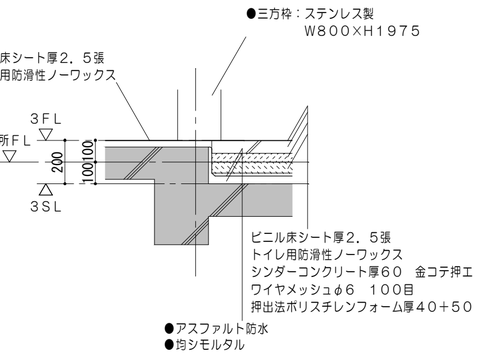


スラブ復旧詳細図　1/30



展開記号

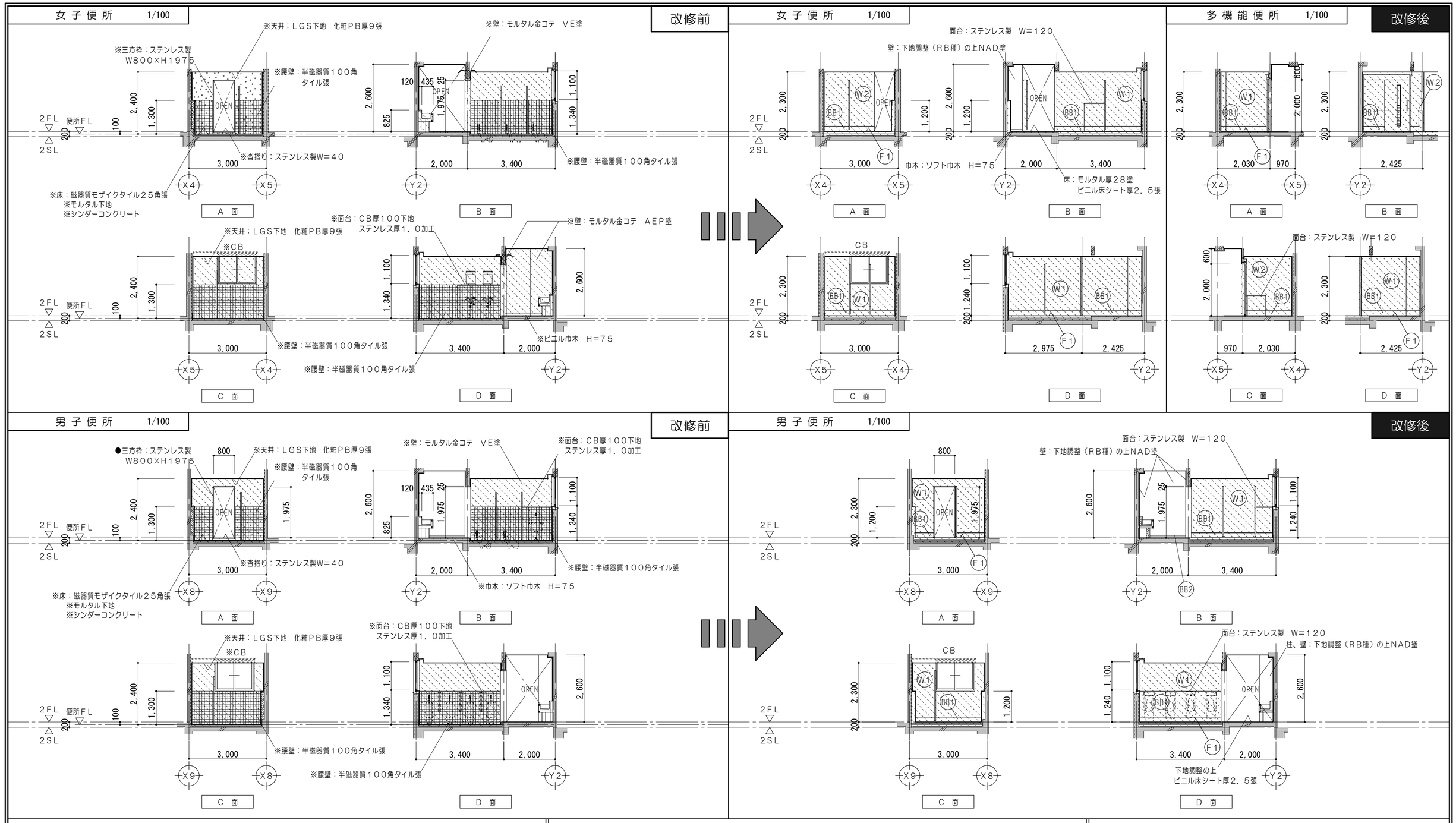
2 階 平 面 詳 細 図　1/50



A 断 面 詳 細 図　1/20

凡例	（工事内容）
	コンクリート壁既設のままを示す
	仕上新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す
	シーリングを示す
●	既設のままを示す
±0	特記なき場合FL±0を示す
●/D	各部詳細番号を示す

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-79 （原図：A2）
				図面名称	＜屋内運動場＞ 改修前　改修後　2階平面詳細図No.2	縮尺	1/50



改修前凡例 （工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		家具撤去を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す
	建具、間仕切壁解体箇所を示す		備品家具（引越し）を示す	●	既設のままを示す
	仕上材撤去	— - - —	コンクリートカッター切		シーリング撤去を示す
	仕上・下地共撤去		モルタルカッター切（仕上・下地モルタル撤去）		
	仕上・下地・コンクリート共撤去	※	解体及び撤去家具類を示す		

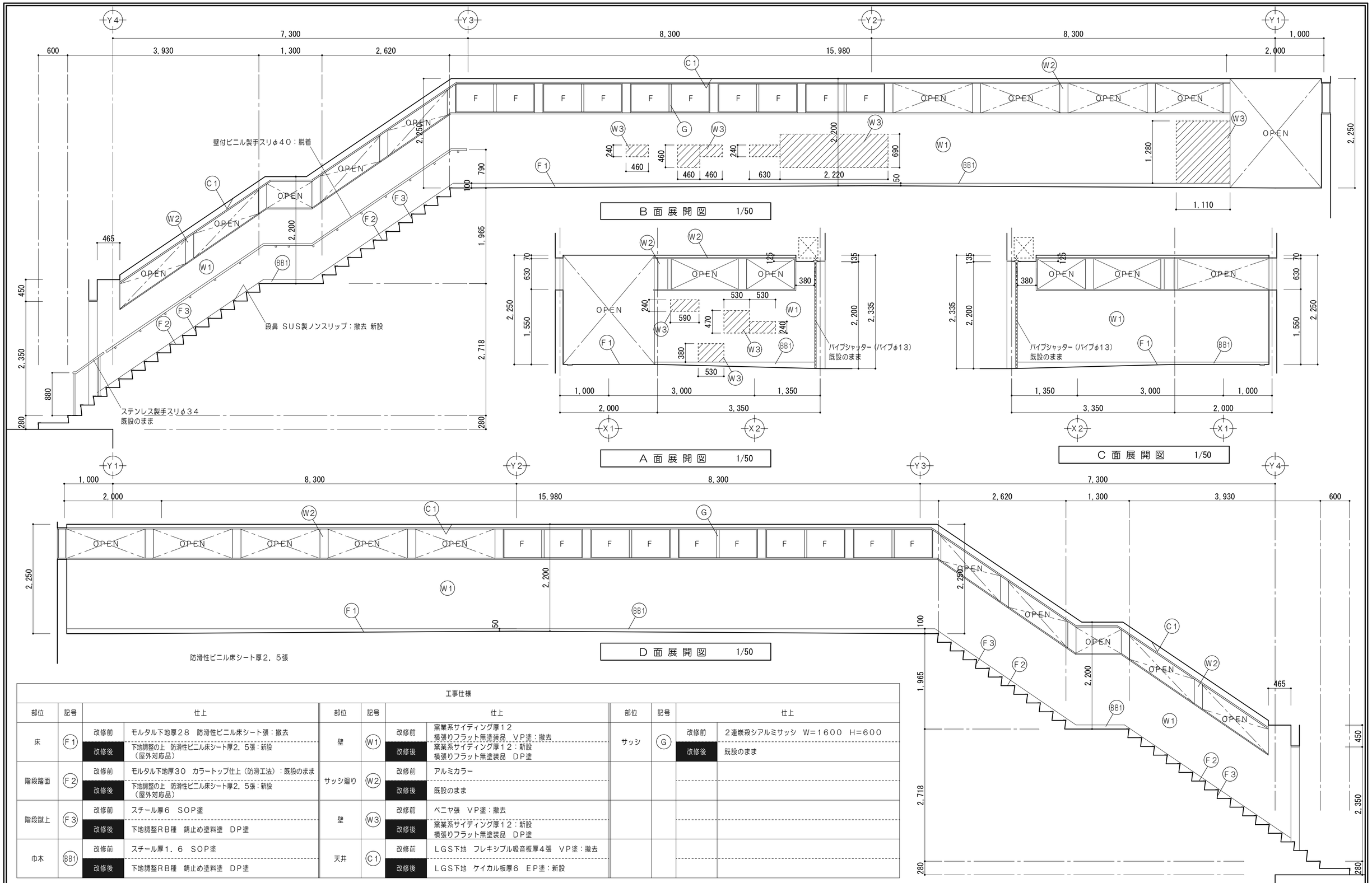
改修後凡例 （工事内容）

	コンクリート壁既設のままを示す		令114条による防火上主要な間仕切壁（小屋裏・天井裏まで施工）耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0198	●F	家具詳細番号を示す
	仕上材新設範囲を示す			●D	各部詳細番号を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す		シーリングを示す		
	仕上・下地・コンクリート共新設範囲を示す	▲	一時取外シ再取付とする備品類を示す		
	令114条区画（小屋裏まで施工）を示す 耐火間仕切壁：中空二重壁 FP060NP−0199	●	既設のままを示す		

仕上凡例

F1	床：ビニル床シート厚2．5張 トイレ用防滑性ノーワックス シンダーコンクリート厚60 金コテ押エ ワイヤメッシュφ6 100目 押出法ポリスチレンフォーム厚40+50	W1	壁：抗菌メラミン不燃化粧板厚3張 PB厚12．5（GL工法） 既設コンクリート下地
		W2	壁：抗菌メラミン不燃化粧板厚3張 PB厚12．5 LGS下地
BB1	巾木：床同材巻上げ 樹脂製見切り縁 H=200	C1	天井：化粧PB厚9．5張 LGS下地
BB2	巾木：ソフト巾木 H=75	CB	新設CB 100×150×25 MDF SOP塗

特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称：津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号：A-80（原図：A2）
				図面名称	＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 2階展開図	縮尺：NS

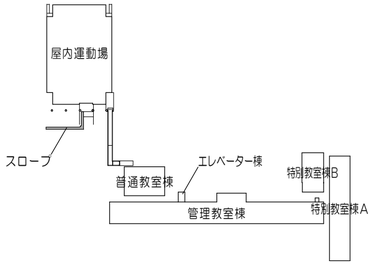


工事仕様

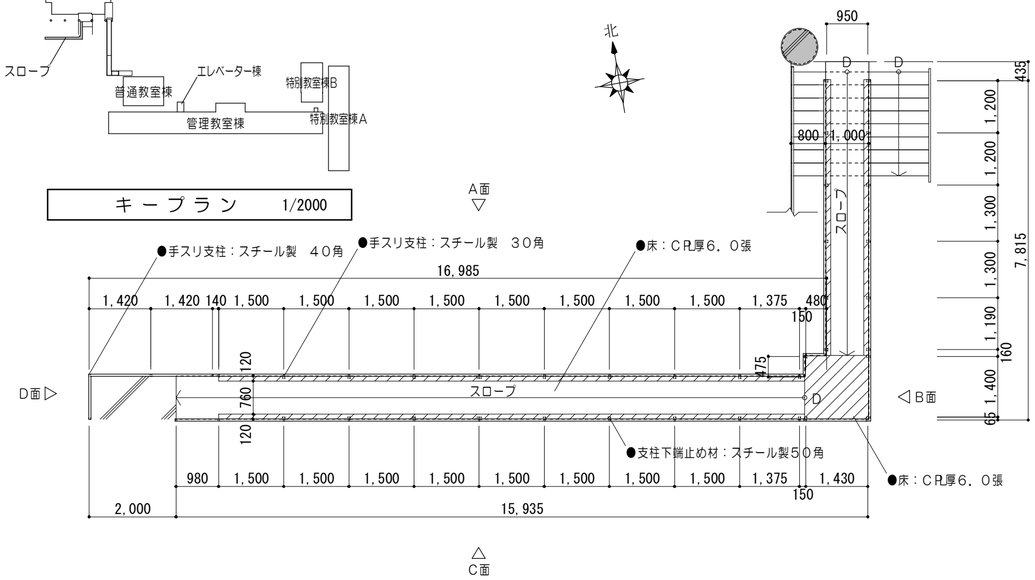
部位	記号		仕上	部位	記号		仕上	部位	記号		仕上
床	F1	改修前	モルタル下地厚28　防滑性ビニル床シート張：撤去	壁	W1	改修前	窯業系サイディング厚12 横張りフラット無塗装品　VP塗：撤去	サッシ	G	改修前	2連嵌殺シアルミサッシ　W=1600　H=600
		改修後	下地調整の上　防滑性ビニル床シート厚2．5張：新設 （屋外対応品）			改修後	窯業系サイディング厚12：新設 横張りフラット無塗装品　DP塗			改修後	既設のまま
階段踏面	F2	改修前	モルタル下地厚30　カラートップ仕上（防滑工法）：既設のまま	サッシ廻り	W2	改修前	アルミカラー				
		改修後	下地調整の上　防滑性ビニル床シート厚2．5張：新設 （屋外対応品）			改修後	既設のまま				
階段蹴上	F3	改修前	スチール厚6　SOP塗	壁	W3	改修前	ベニヤ張　VP塗：撤去				
		改修後	下地調整RB種　錆止め塗料塗　DP塗			改修後	窯業系サイディング厚12：新設 横張りフラット無塗装品　DP塗				
巾木	BB1	改修前	スチール厚1．6　SOP塗	天井	C1	改修前	LGS下地　フレキシブル吸音板厚4張　VP塗：撤去				
		改修後	下地調整RB種　錆止め塗料塗　DP塗			改修後	LGS下地　ケイカル板厚6　EP塗：新設				

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事
				図面名称	＜渡り廊下＞ 改修後　展開図

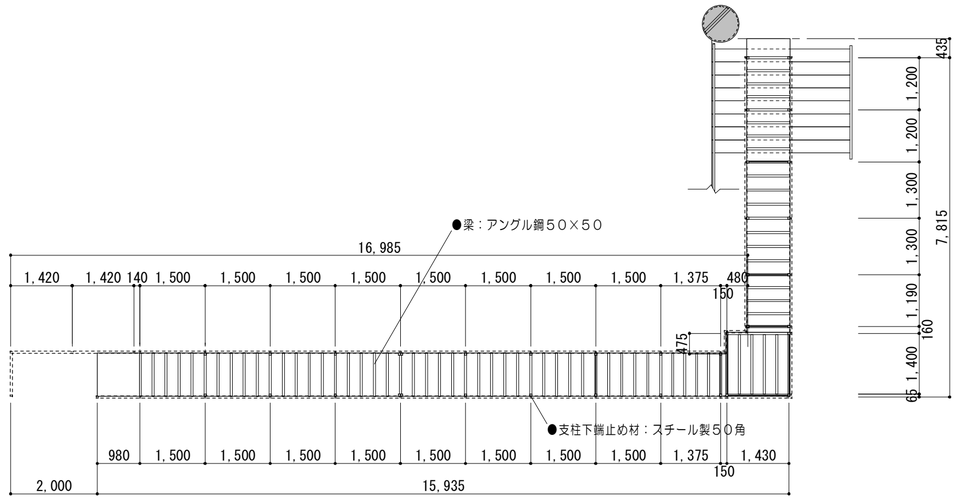
図面番号	A-81 （原図：A2）
縮尺	1/50



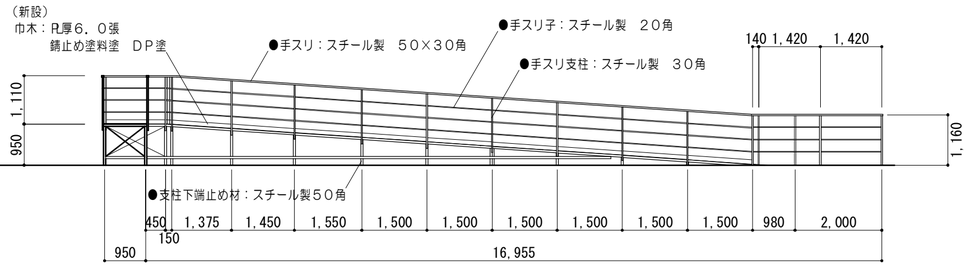
キープラン　1/2000



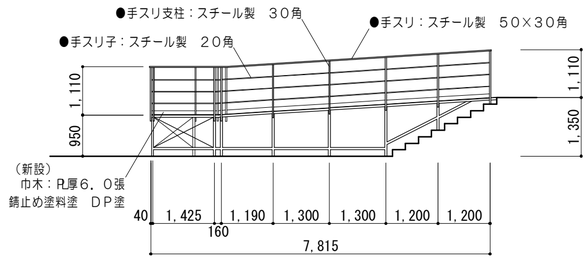
玄関スロープ平面図　1/100



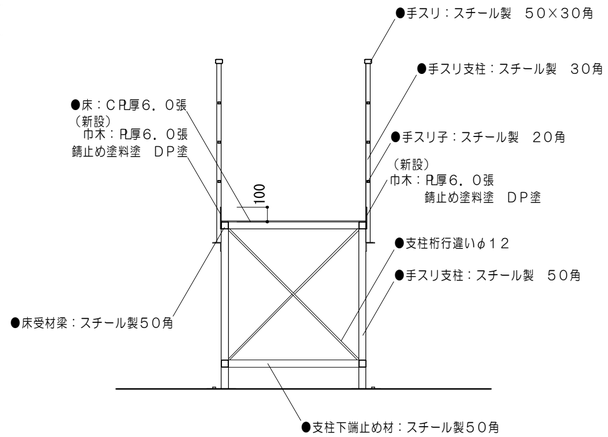
玄関スロープ梁伏図　1/100



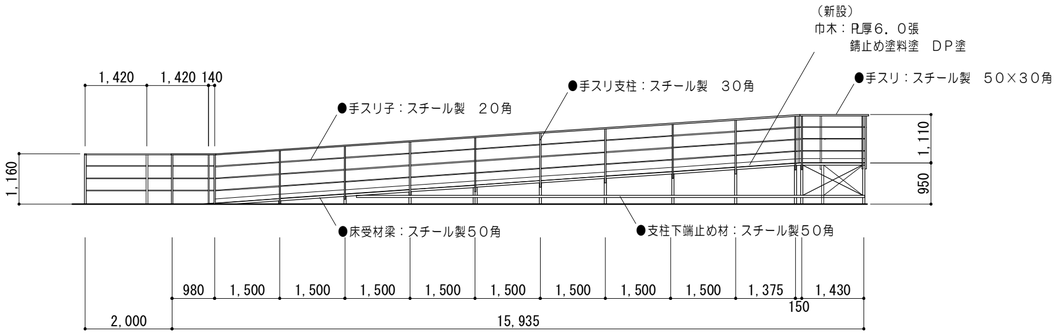
Ａ面姿図　1/100



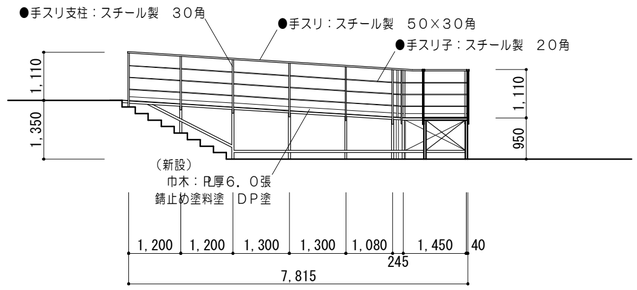
Ｂ面姿図　1/100



スロープ詳細図　1/30



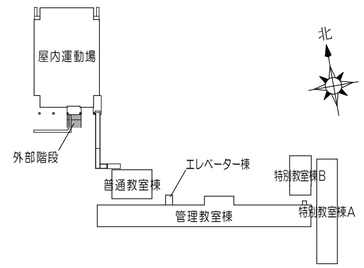
Ｃ面姿図　1/100



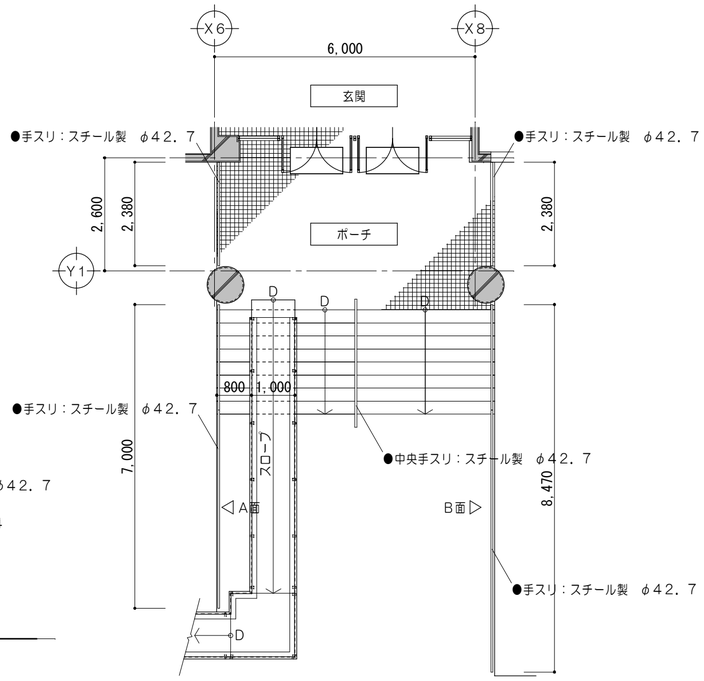
Ｄ面姿図　1/100

凡例　（工事内容）	
●	既設鉄骨部：下地調整ＲＢ種 錆止め塗料塗　ＤＰ塗
▨	床：ＣＰ厚６．０張　色塗分範囲を示す

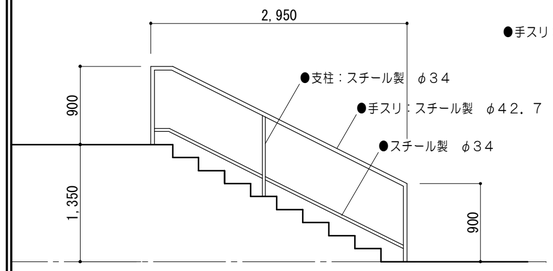
特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-82（原図:A2）
				図面名称	＜屋内運動場＞ 改修後　スロープ詳細図	縮尺 1/100



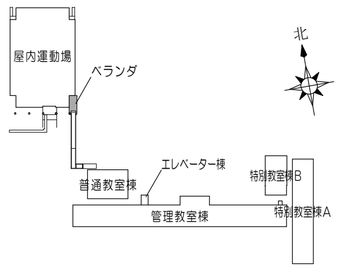
キープラン　1/2000



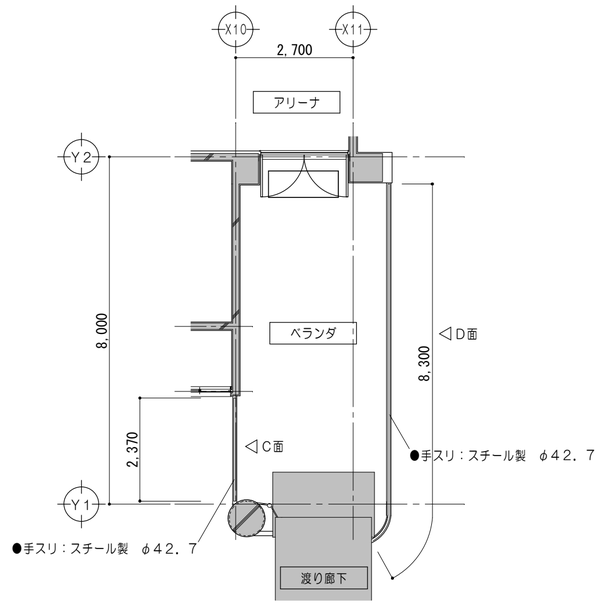
外部階段平面図　1/100



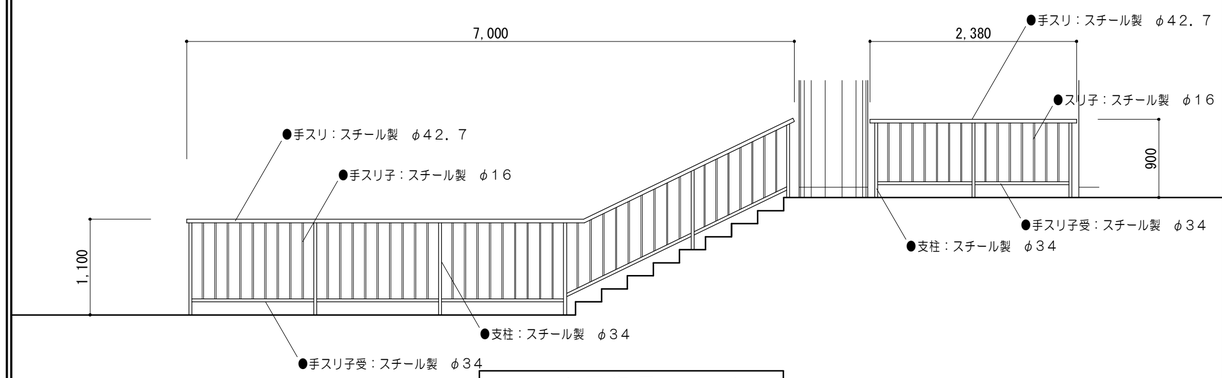
中央手スリ姿図　1/50



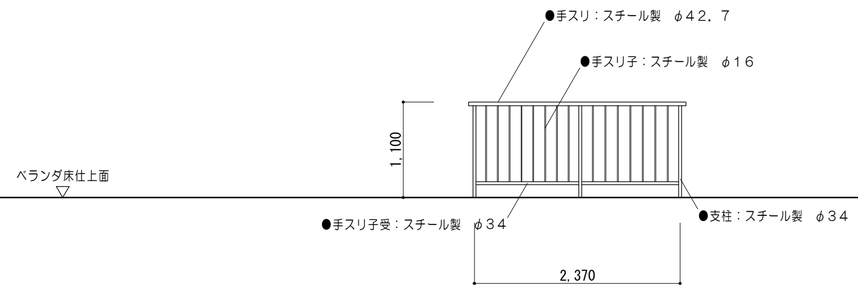
キープラン　1/2000



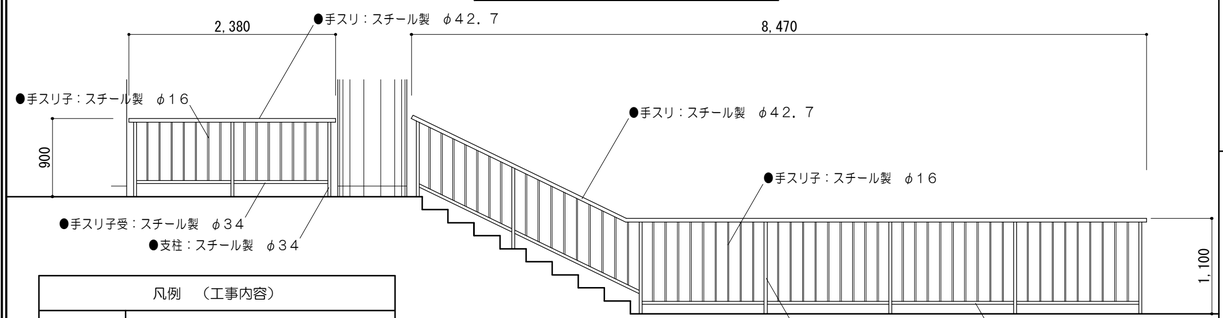
ベランダ平面図　1/100



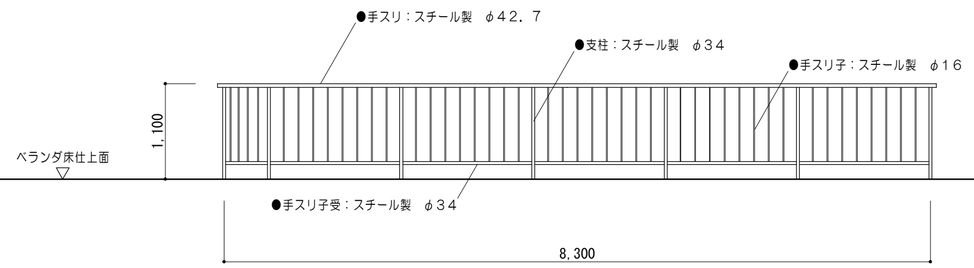
A面姿図　1/50



C面姿図　1/50



B面姿図　1/50



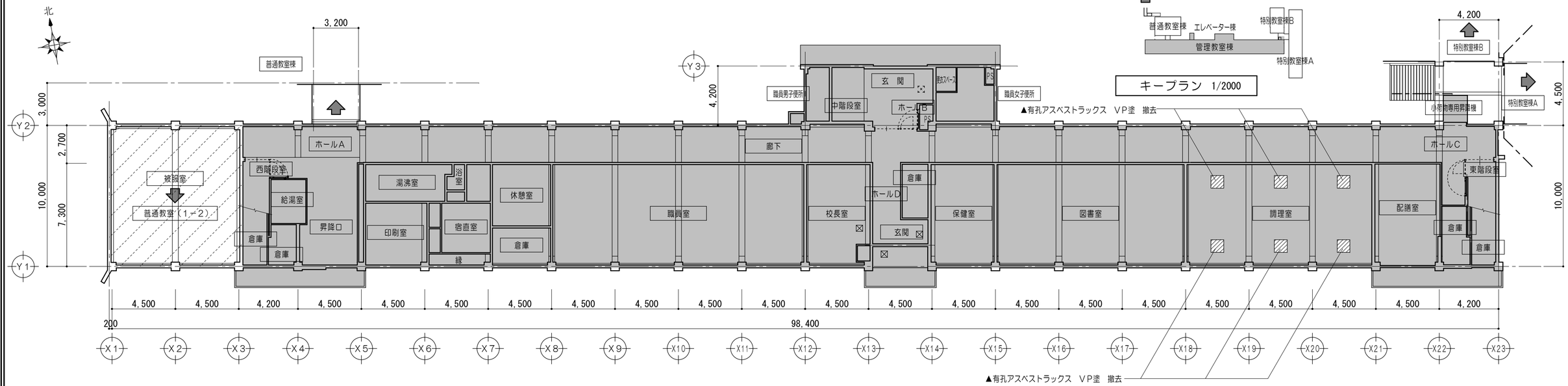
D面姿図　1/50

凡例　（工事内容）	
●	既設鉄骨部：下地調整ＲＢ種 錆止め塗料塗　ＤＰ塗

凡例　（工事内容）	
●	既設鉄骨部：下地調整ＲＢ種 錆止め塗料塗　ＤＰ塗

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-83 （原図：A2）
				図面名称	＜屋内運動場＞ 改修後　ベランダ手摺、外部階段手摺詳細図	縮尺	1/50.100

改修前



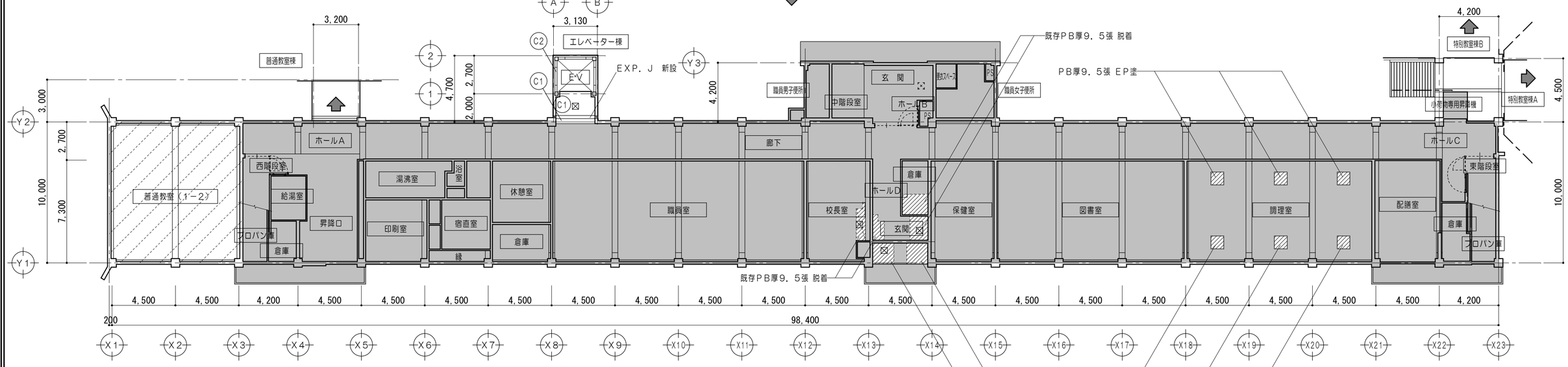
キープラン　1/2000

※　▲：アスベスト含有材を示す。

凡　例	
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す

1 階 天 井 伏 図　1/200

改修後



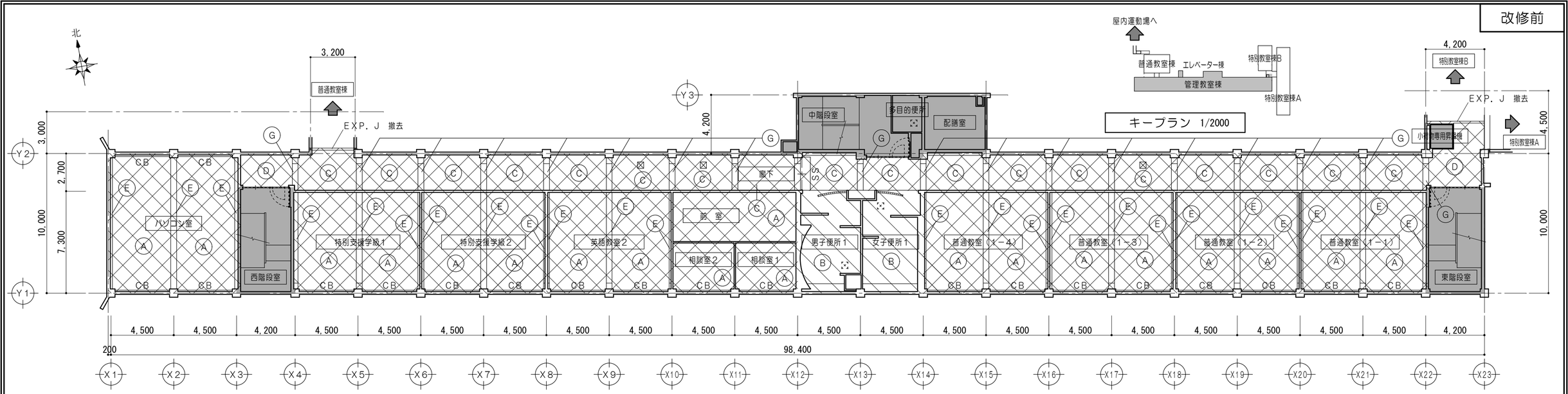
仕上凡例			
C1	LGS下地 化粧PB厚9．5張		書き入れなき廻り縁は、塩ビ製とする。
C2	梁型：ロックウール厚25吹付		
⊠	天井点検口450角		

凡　例	
	既設のままを示す
	既設のまま（仮設教室）を示す

1 階 天 井 伏 図　1/200

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-84 （原図：A2）
				図面名称	＜管理教室棟・エレベーター棟＞ 改修前　改修後　1階天井伏図	縮尺	1/200

改修前



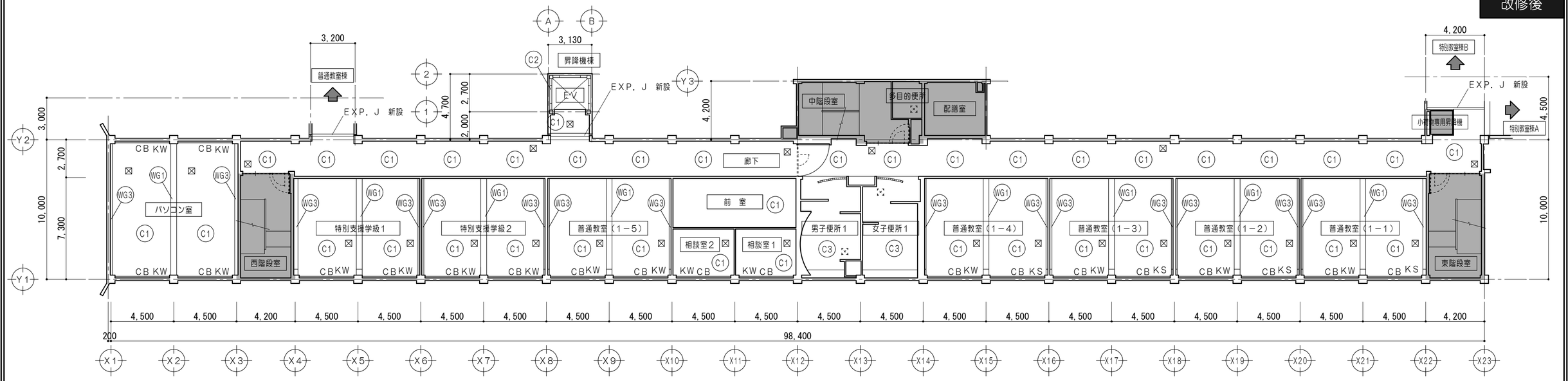
キープラン 1/2000

仕上凡例							
A	木組下地　撤去 有孔ＰＢ厚７　目スカシ張　撤去	D	木組下地　撤去 ＰＢ厚７　目スカシ張　撤去	G	梁型：モルタル下地　既設のまま サテン塗　既設のまま	CB	木製カーテンボックス　撤去
B	ＬＧＳ下地　既設のまま ケイカル板厚６　目透シ張　ＥＰ塗　撤去	E	梁型：プラスター下地　撤去 サテン塗　撤去	⊠	天井点検口４５０角　撤去	SS	シャッター　撤去（シャッターＢＯＸ共）
C	ＬＧＳ下地　撤去 化粧ＰＢ厚９．５張　撤去			⊡	天井点検口４５０角　既設のまま		

凡 例	
	既設のままを示す
	全面改修範囲を示す
	簡易改修範囲を示す

２階天井伏図　1/200

改修後



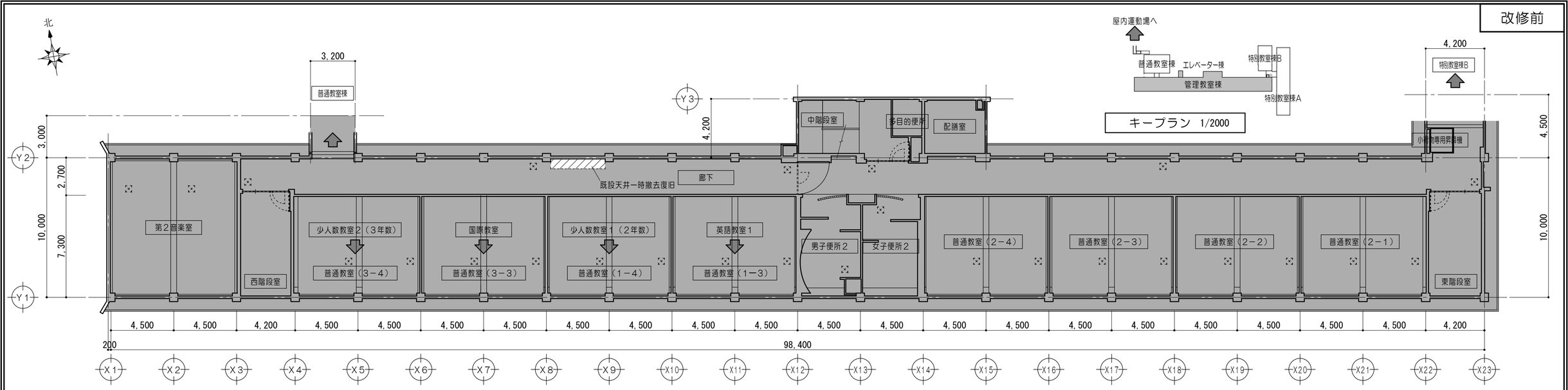
仕上凡例					
C1	ＬＧＳ下地 化粧ＰＢ厚９．５張	WG1	梁型：ＬＧＳＷ２５下地 ＰＢ厚９．５　ＮＡＤ塗	CB	木製カーテンボックス
C2	梁型：ロックウール厚２５吹付	WG3	梁型：ＬＧＳＷ２５下地 ＰＢ厚１２．５　ＮＡＤ塗	KS、KW	カーテンレール　Ｓ：シングル　Ｗ：ダブル
C3	ケイカル板厚６　目透シ張　ＥＰ塗	⊠	天井点検口４５０角		書き入れなき廻り縁は、塩ビ製とする。

凡 例	
	既設のままを示す
	改修完了諸室を示す

２階天井伏図　1/200

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-85 （原図：A2）
				図面名称	＜管理教室棟・エレベーター棟＞ 改修前　改修後　２階天井伏図	縮尺	1/200

改修前

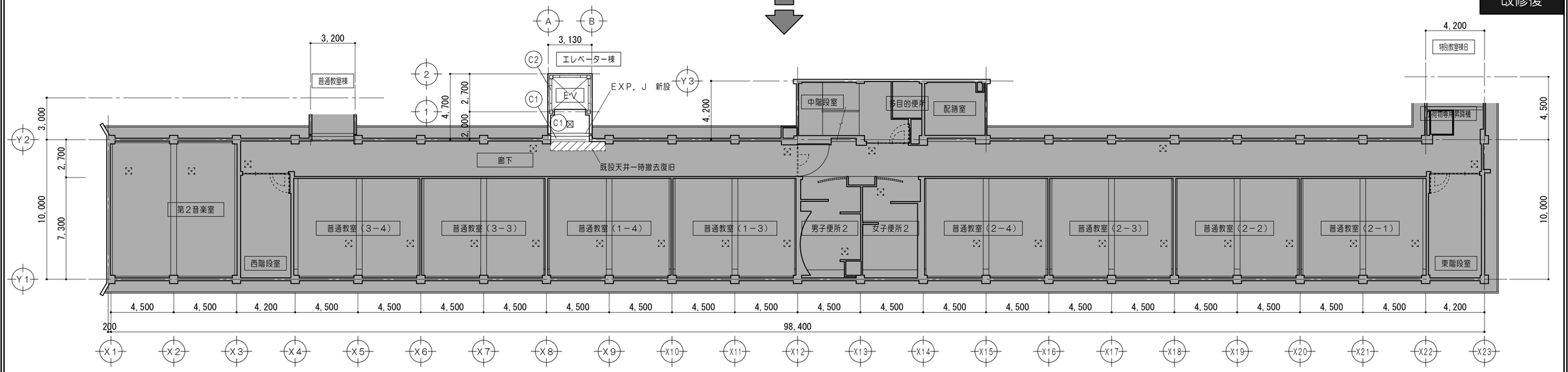


キープラン　1/2000

３ 階 天 井 伏 図　　1/200

凡　例	
	既設のままを示す

改修後



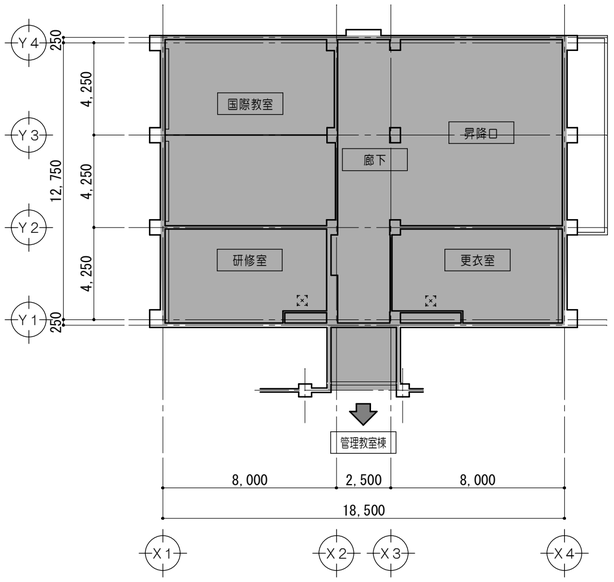
仕上凡例			
C1	ＬＧＳ下地 化粧ＰＢ厚９．５張		書き入れなき廻り縁は、塩ビ製とする。
C2	梁型：ロックウール厚２５吹付		
☒	天井点検口４５０角		

凡　例	
	既設のままを示す

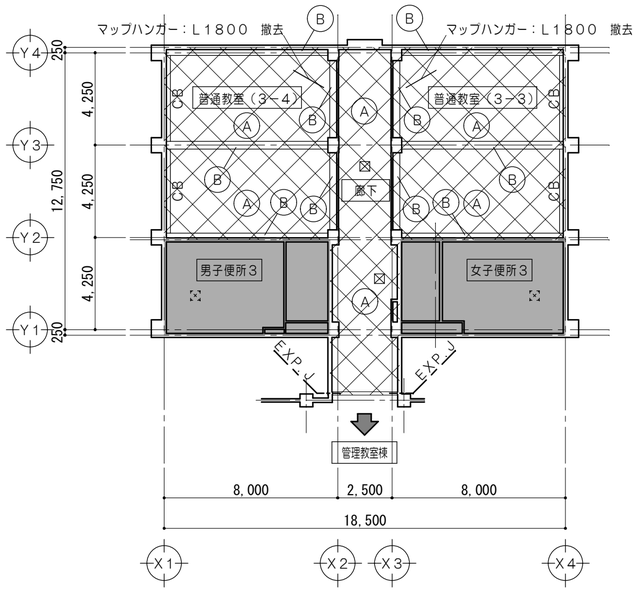
３ 階 天 井 伏 図　　1/200

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-86 （原図：A2）
				図面名称	＜管理教室棟・エレベーター棟＞ 改修前　改修後　３階天井伏図	縮尺	1/200

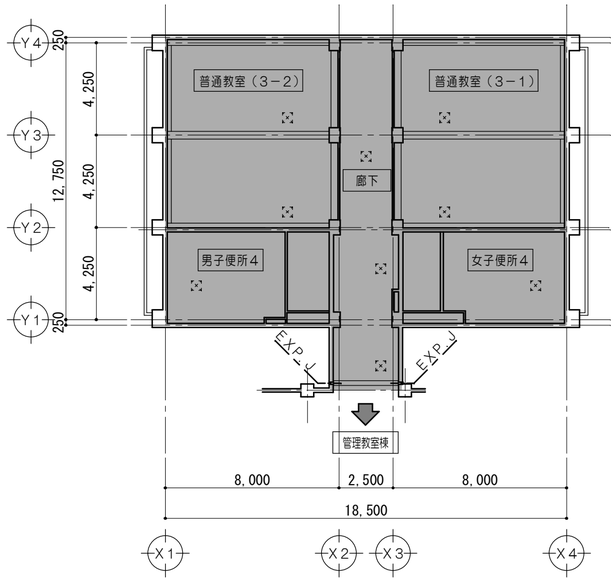
改修前



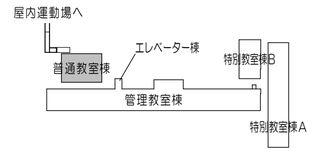
1 階 天 井 伏 図　1/200



2 階 天 井 伏 図　1/200



3 階 天 井 伏 図　1/200

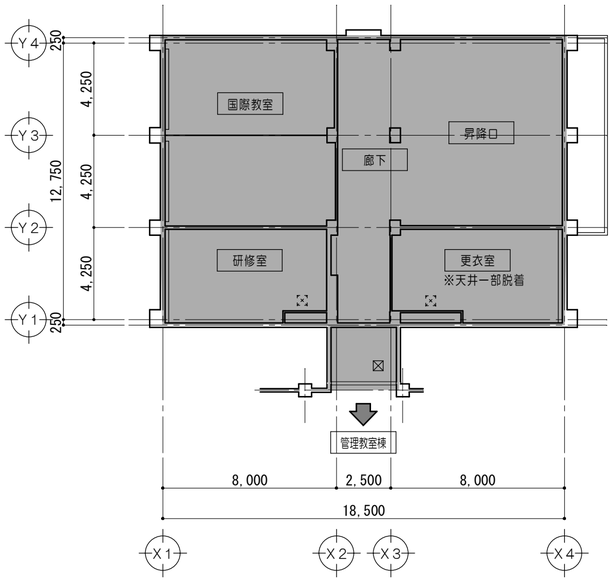


キ ー プ ラ ン　1/2000

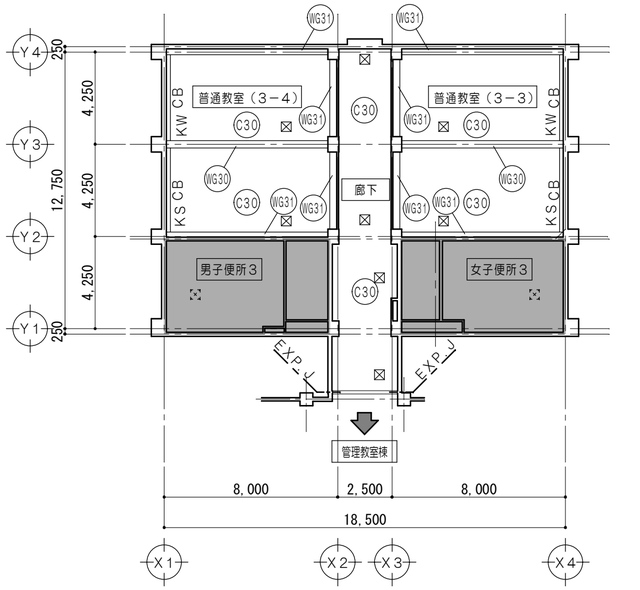
仕上凡例	
Ⓐ	LGS下地　撤去 化粧PB厚9張　撤去
Ⓑ	梁型：シナ合板厚6　目スカシ張 SOP塗　撤去
⊠	天井点検口450角　撤去
⊠	天井点検口450角　既設のまま
CB	木製カーテンボックス　撤去

凡　例	
	既設のままを示す
	全面改修範囲を示す

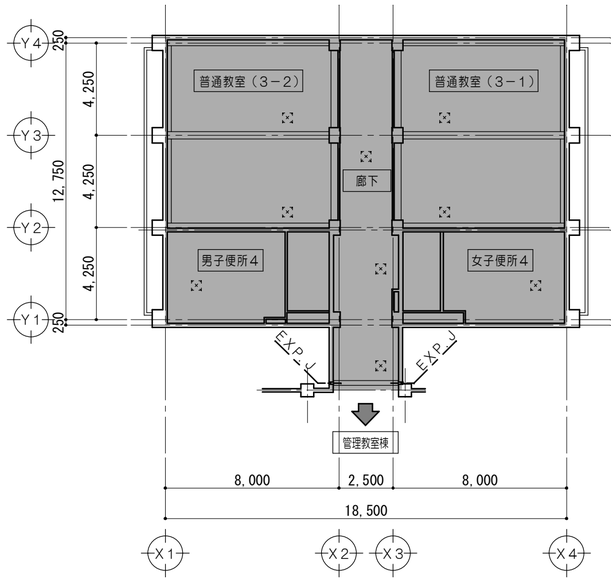
改修後



1 階 天 井 伏 図　1/200



2 階 天 井 伏 図　1/200



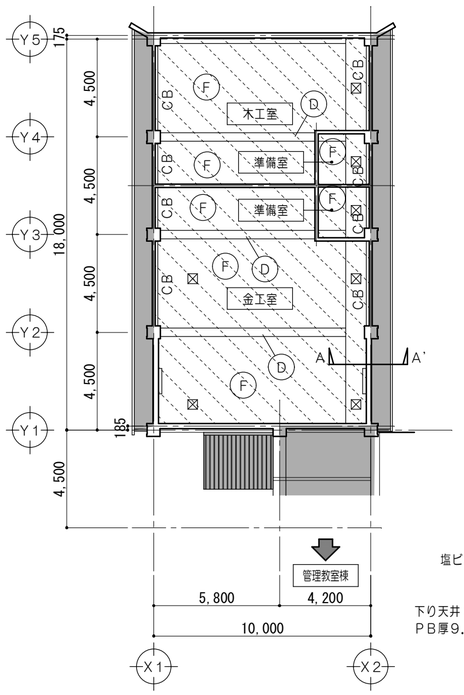
3 階 天 井 伏 図　1/200

仕上凡例	
C30	LGS下地 化粧PB厚9．5張
WG30	LGSW25下地 PB厚9．5　NAD塗
WG31	LGSW25下地 PB厚12．5　NAD塗
⊠	天井点検口450角
CB	木製カーテンボックス
KS、KW	カーテンレール　S：シングル　W：ダブル
	書き入れなき廻り縁は、塩ビ製とする。

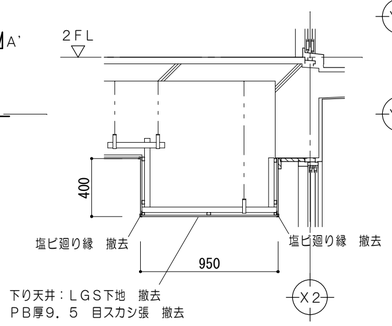
凡　例	
	既設のままを示す

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-87 （原図：A2）
				図面名称	＜普通教室棟＞ 改修前　改修後　1階・2階・3階天井伏図	縮尺	1/200

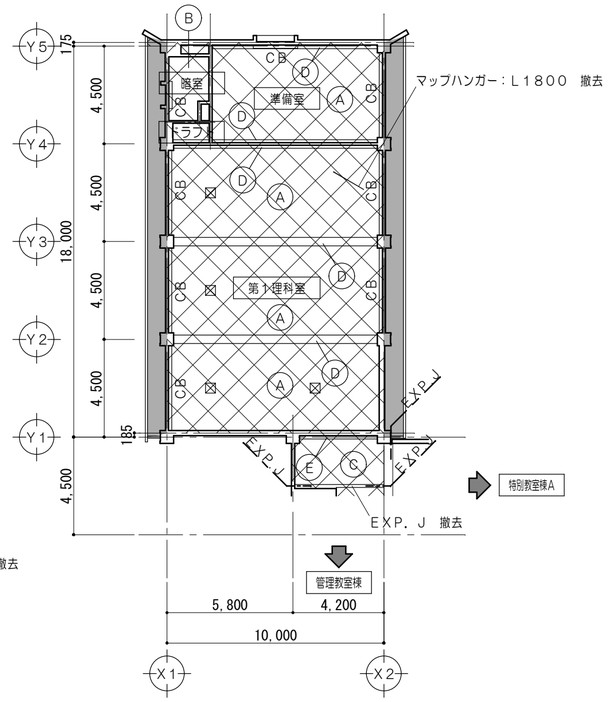
改修前



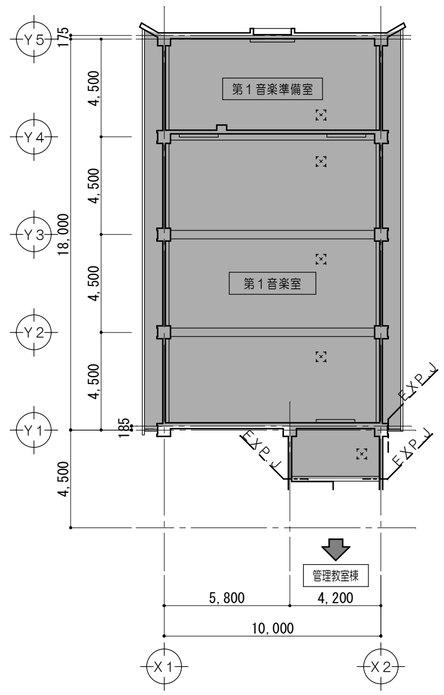
1 階 天 井 伏 図　1/200



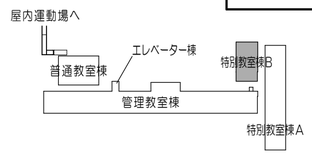
A　A' 断面図　1/200



2 階 天 井 伏 図　1/200



3 階 天 井 伏 図　1/200

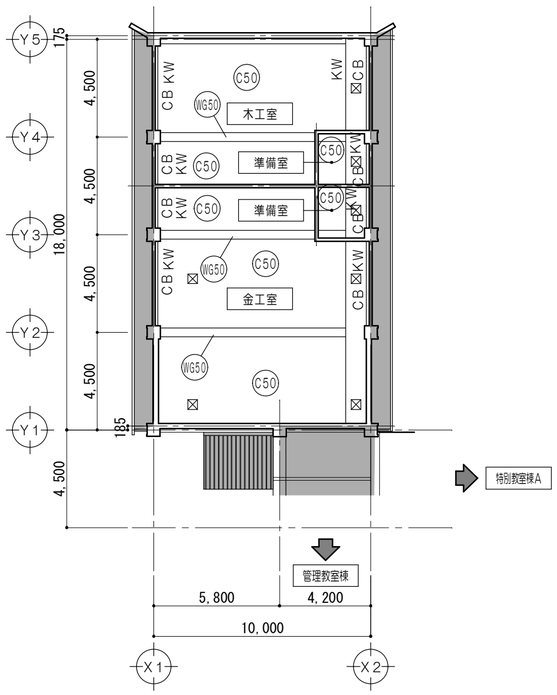


キ ー プ ラ ン　1/2000

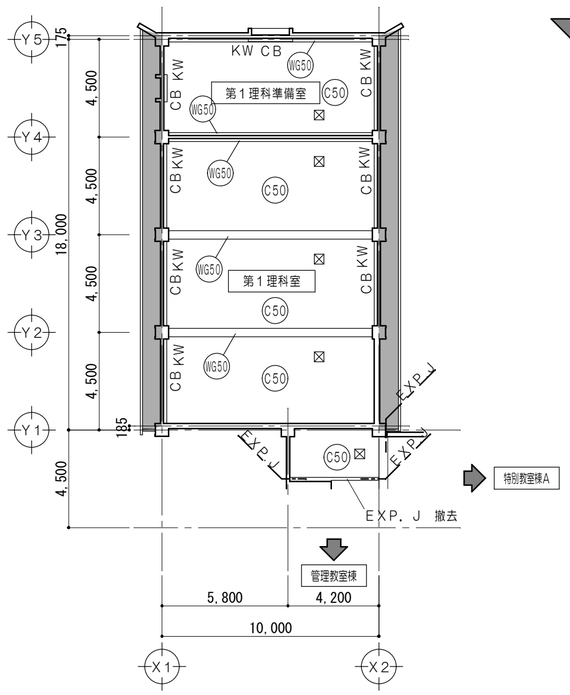
仕上凡例	
A	木組下地　撤去 有孔PB厚7．0張　撤去
B	木組下地　撤去 合板　目スカシ張　撤去
C	LGS下地　撤去 化粧PB厚9．5張　撤去
D	梁型：プラスター下地　撤去 サテン塗　撤去
E	梁型：モルタル塗下地　既設のまま サテン塗　既設のまま
F	木組下地（下り天井　LGS下地）　撤去 PB厚9．5　目スカシ張　撤去
⊠	天井点検口450角　撤去
⊡	天井点検口450角　既設のまま
CB	木製カーテンボックス　撤去

凡　例	
	既設のままを示す
	全面改修範囲を示す
	仕上・下地共撤去

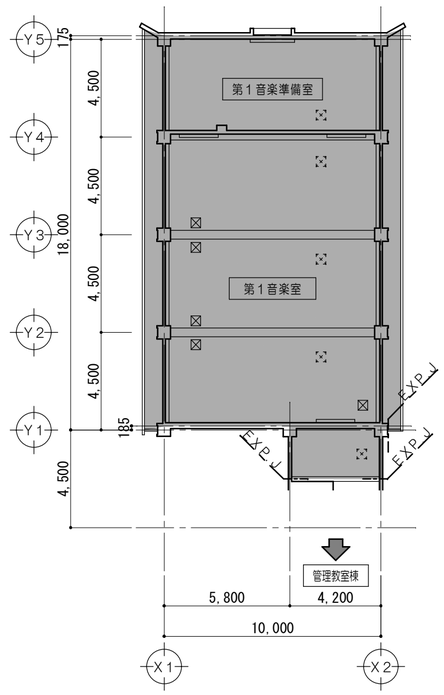
改修後



1 階 天 井 伏 図　1/200



2 階 天 井 伏 図　1/200



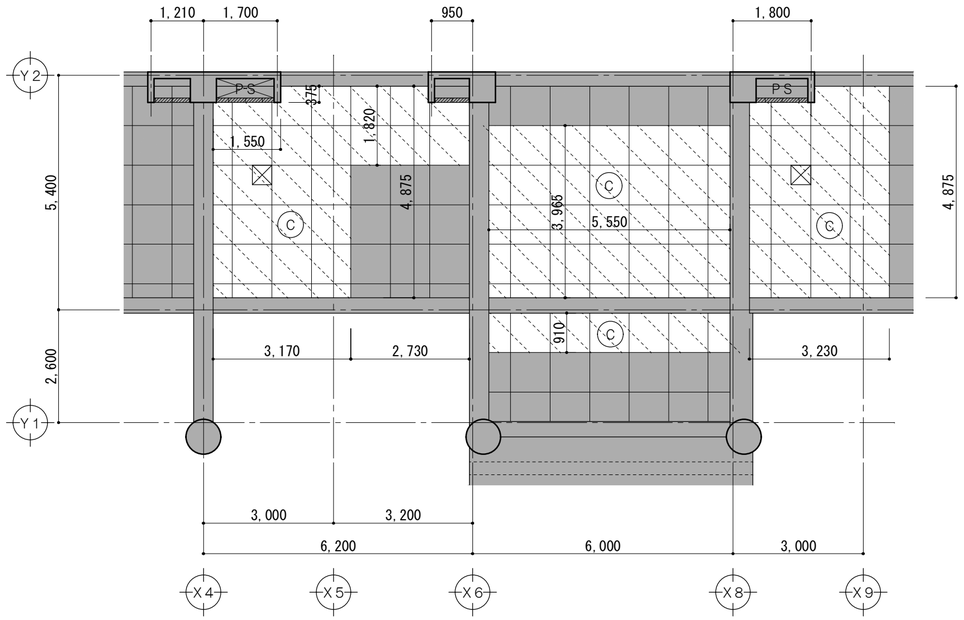
3 階 天 井 伏 図　1/200

仕上凡例	
C50	LGS下地 化粧PB厚12．5張
WG50	LGS下地 PB厚9．5張　NAD塗
⊠	天井点検口450角
CB	木製カーテンボックス
KS、KW	カーテンレール　S：シングル　W：ダブル
	書き入れなき廻り縁は、塩ビ製とする。

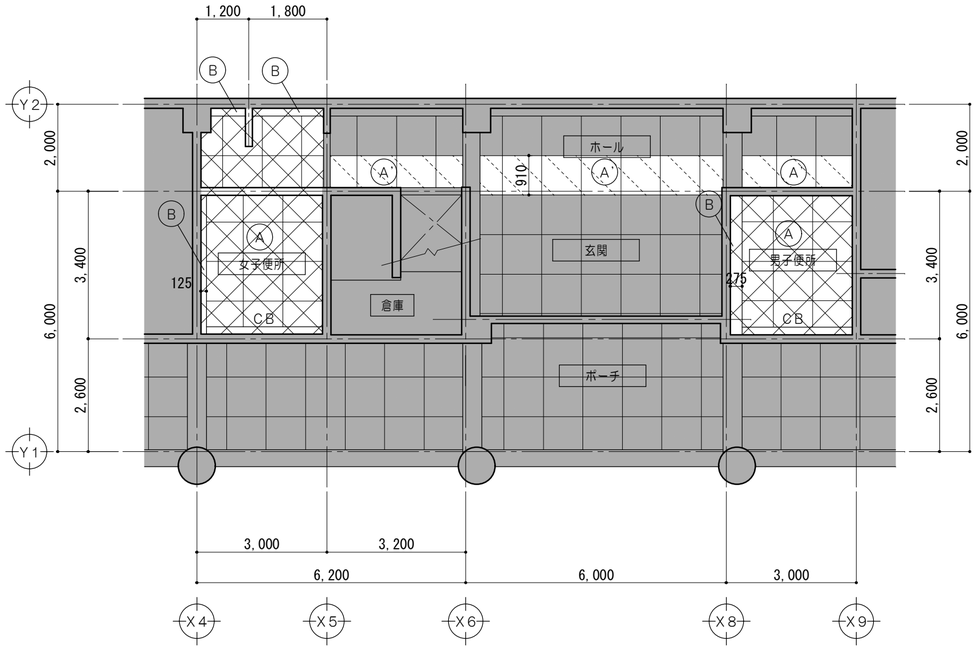
凡　例	
	既設のままを示す

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-88 （原図：A2）
				図面名称	＜特別教室棟Ｂ＞ 改修前　改修後　1階・2階・3階天井伏図	縮尺	1/200

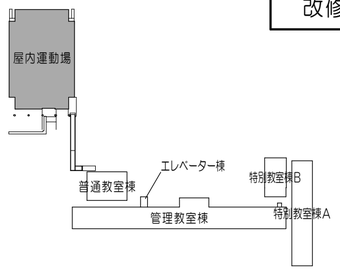
改修前



1 階 天 井 伏 図　1/100



2 階 天 井 伏 図　1/100



キ ー プ ラ ン　1/2000

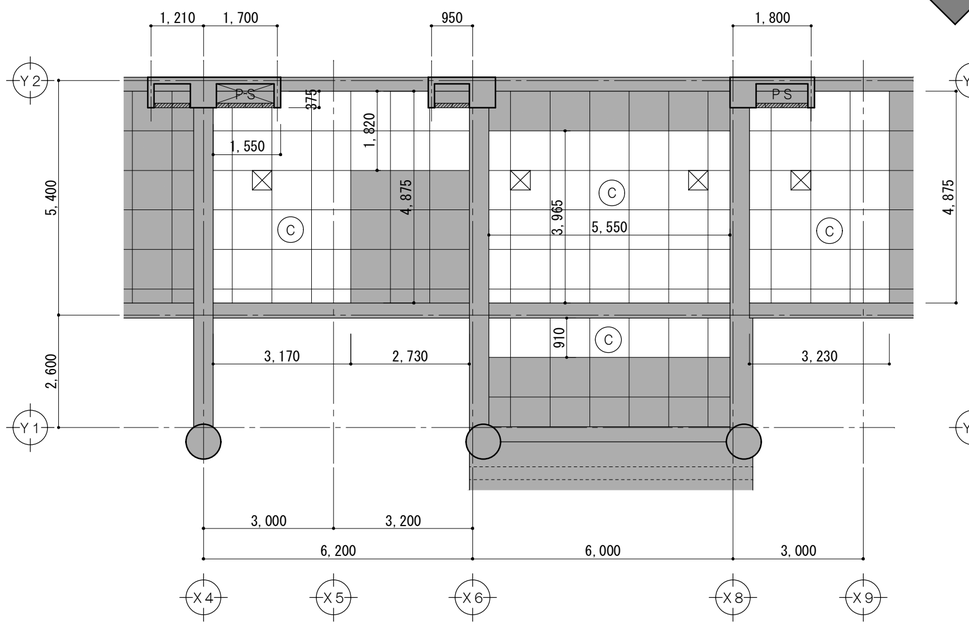
仕上凡例	
A	LGS下地　撤去 化粧PB厚9張　撤去
A'	LGS下地　既設のまま 化粧PB厚9張　撤去
B	梁型：モルタル金コテ押エ VE塗 既設のまま
C	ケイカル板厚8下地　▲大平板厚6張　撤去 外装薄塗材E
CB	木製カーテンボックス　W=150　撤去
⊠	天井点検口450角　アルミ枠　撤去

※ ▲：アスベスト含有材を示す。

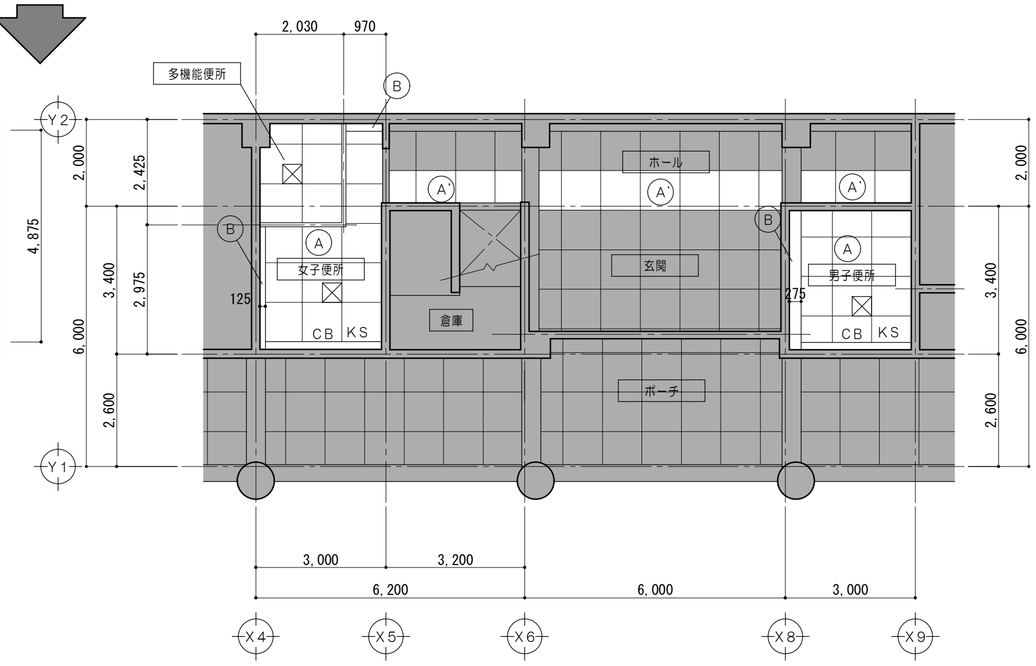
凡 例	
	既設のままを示す
	全面改修範囲を示す
	一部改修範囲を示す

改修後

【第2期】



1 階 天 井 伏 図　1/100



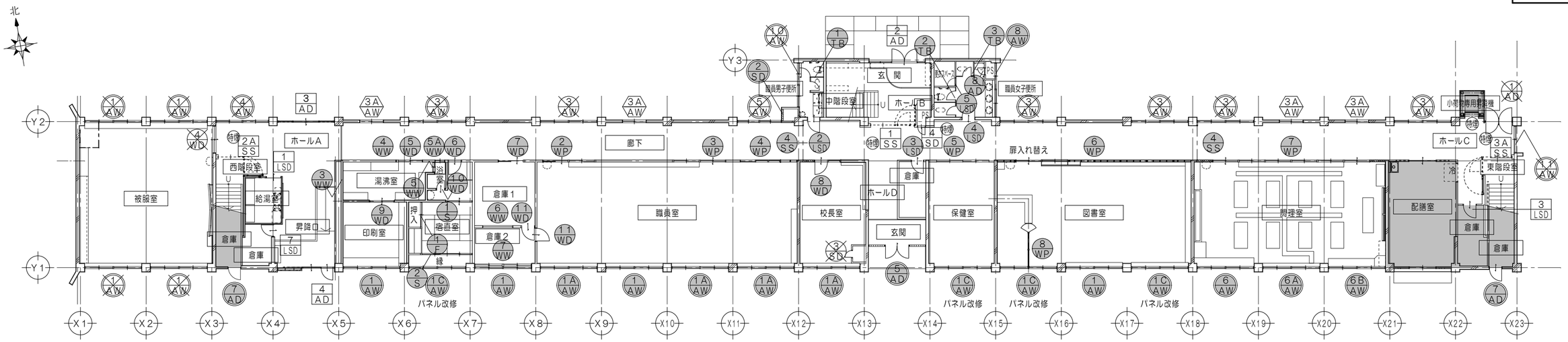
2 階 天 井 伏 図　1/100

仕上凡例	
A	LGS下地 化粧PB厚9．5張
A'	既設LGS下地 化粧PB厚9．5張
B	梁型：下地調整の上　NAD塗
C	ケイカル板厚8下地　フレキシブルボード厚6張 外装薄塗材E（吹付）
CB	木製カーテンボックス　W=150
KS	カーテンレール　S：シングル
⊠	天井点検口450角　アルミ枠

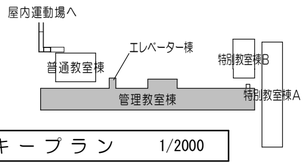
凡 例	
	既設のままを示す
	改修完了諸室を示す

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-89 (原図:A2)
				図面名称	＜屋内運動場＞ 改修前　改修後　1階・2階天井伏図	縮尺	1/100

改修前



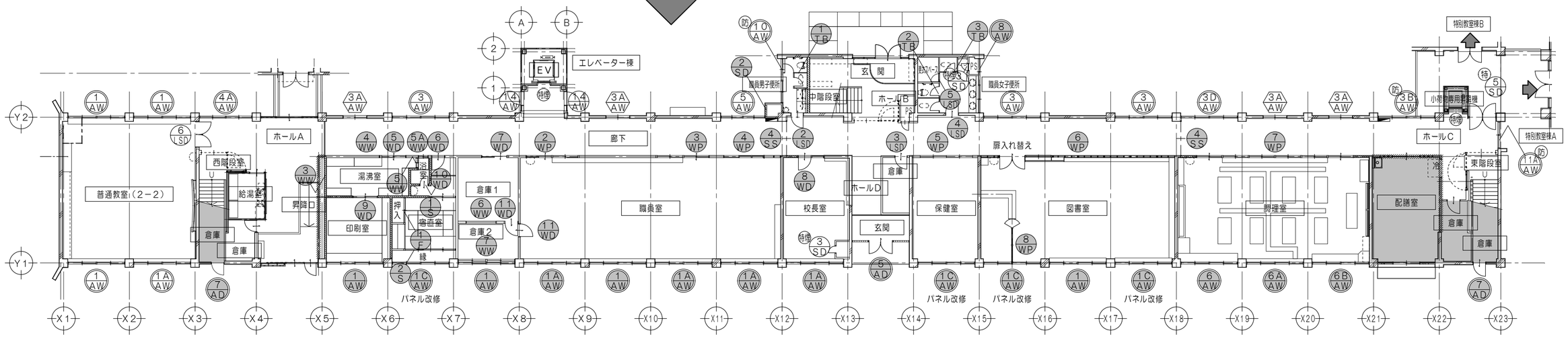
1 階 建 具 符 号 図　1/200



キ ー プ ラ ン　1/2000

凡　例					
	既設建具のまま		既設カバー工法建具のまま	防	防火設備を示す
	既設建具撤去		既設カバー工法建具、カバー工法部分撤去	特	特定防火設備を示す
	既設建具　ガラス入替		改修済建具を示す	特煙	特定防火設備を示す（遮煙）
	改修対象範囲外（第１期～第３期）			— - —	延焼ライン

改修後



1 階 建 具 符 号 図　1/200

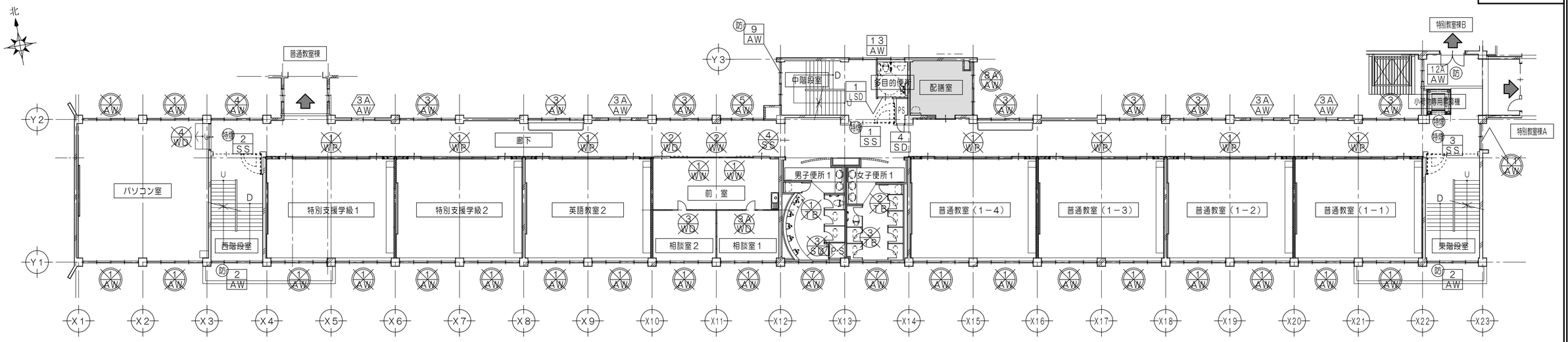
凡　例					
	既設建具のまま		カバー工法にて建具改修	特煙	特定防火設備を示す（遮煙）
	新設建具	防	防火設備を示す	防煙	防火設備を示す（遮煙）
	既設建具　ガラス入替	特	特定防火設備を示す	— - —	延焼ライン
	既設カバー工法建具のまま				

特記事項	※建具表ナンバリングについて 管理教室棟（１番～）→普通教室棟（３０番～）→特別教室棟Ｂ（５０番～）→特別教室棟Ａ（７０番～）とする

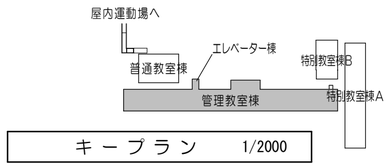
一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前 野 建 築 設 計
一級建築士　大臣登録第117489号　前 野 初 像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-90（原図：A2）
	図面名称	＜管理教室棟・エレベーター棟＞ 改修前 改修後 １階建具符号図	縮尺	1/200

改修前



2階建具符号図　1/200

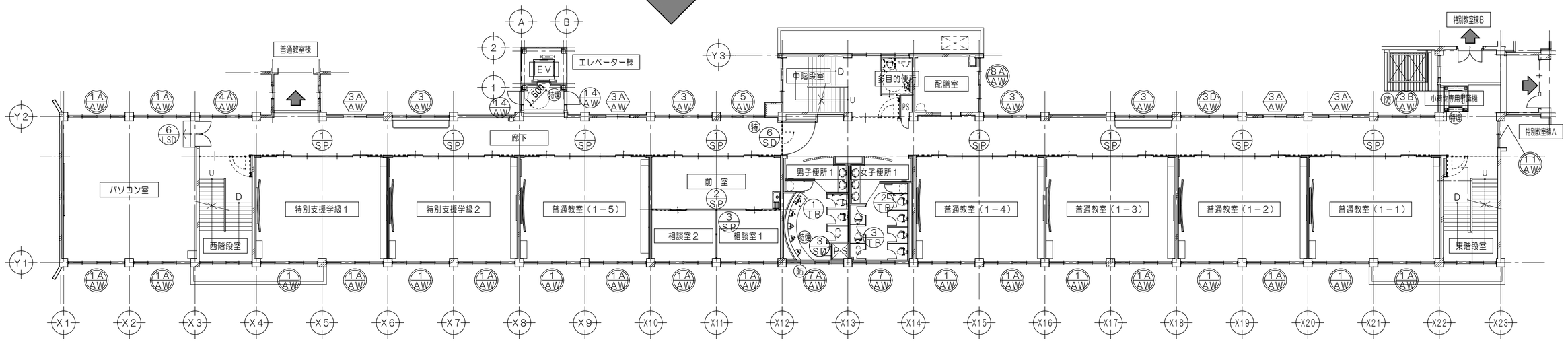


キープラン　1/2000

凡　例

	既設建具のまま		既設カバー工法建具のまま	防	防火設備を示す
	既設建具撤去		既設カバー工法建具、カバー工法部分撤去	特	特定防火設備を示す
	既設建具　ガラス入替		改修済建具を示す	特遮	特定防火設備を示す（遮煙）
	改修対象範囲外（第1期～第3期）			— - —	延焼ライン

改修後



2階建具符号図　1/200

凡　例

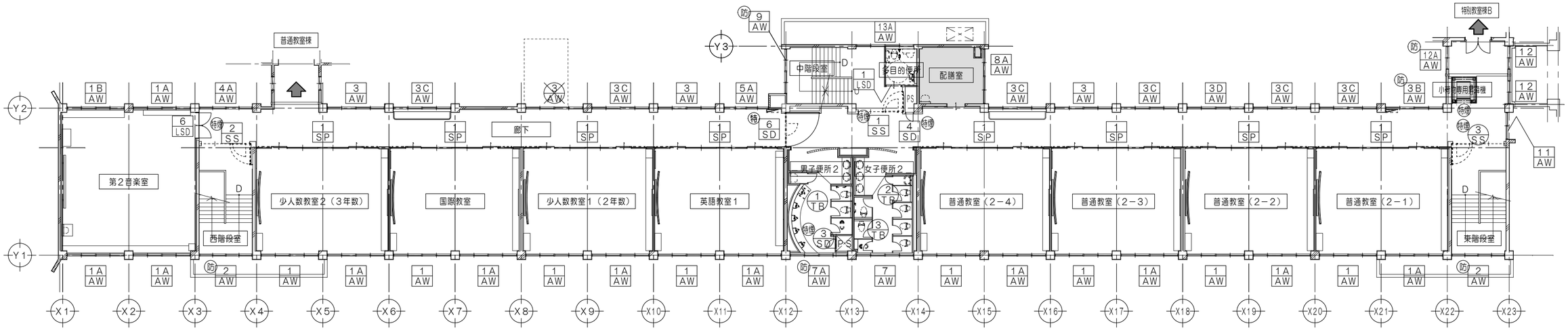
	既設建具のまま		カバー工法にて建具改修	特遮	特定防火設備を示す（遮煙）
	新設建具	防	防火設備を示す	防遮	防火設備を示す（遮煙）
	既設建具　ガラス入替	特	特定防火設備を示す	— - —	延焼ライン
	既設カバー工法建具のまま				

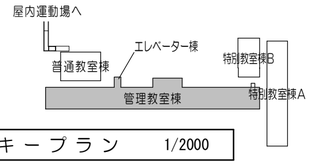
特記事項	※建具表ナンバリングについて 管理教室棟（1番～）→普通教室棟（30番～）→特別教室棟B（50番～）→特別教室棟A（70番～）とする

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

設計年月日		工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事
図面名称	＜管理教室棟・エレベーター棟＞ 改修前 改修後 2階建具符号図	図面番号	A-91（原図：A2）
縮尺	1/200		

改修前



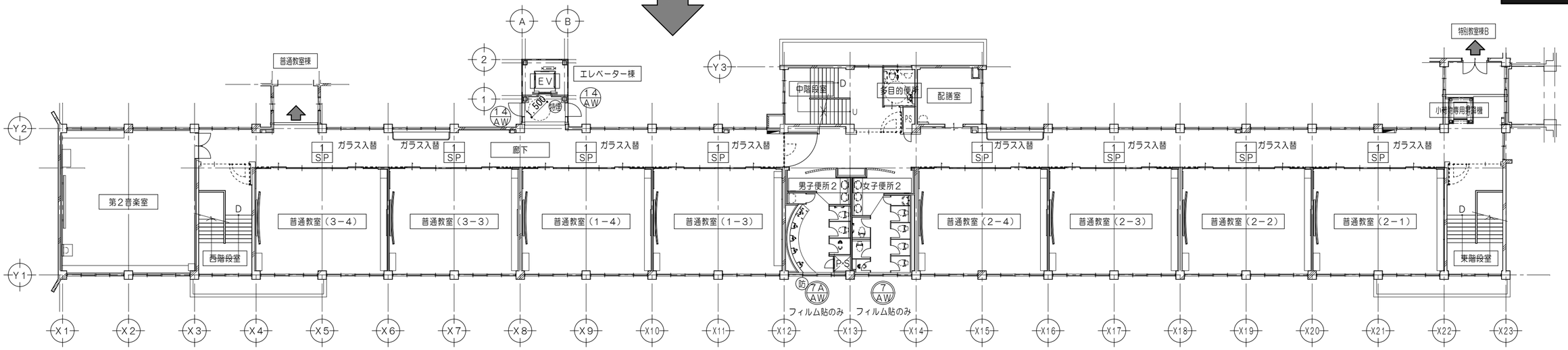


キープラン　1/2000

3階建具符号図　1/200

凡例					
	既設建具のまま		既設カバー工法建具のまま	防	防火設備を示す
	既設建具撤去		既設カバー工法建具、カバー工法部分撤去	特	特定防火設備を示す
	既設建具　ガラス入替		改修済建具を示す	特遮	特定防火設備を示す（遮煙）
	改修対象範囲外（第1期〜第3期）			— - —	延焼ライン

改修後



3階建具符号図　1/200

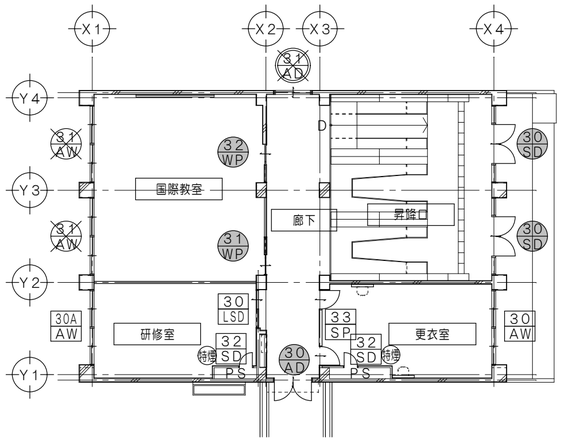
凡例					
	既設建具のまま		カバー工法にて建具改修	特遮	特定防火設備を示す（遮煙）
	新設建具	防	防火設備を示す	防遮	防火設備を示す（遮煙）
	既設建具　ガラス入替	特	特定防火設備を示す	— - —	延焼ライン
	既設カバー工法建具のまま				

特記事項	※建具表ナンバリングについて 管理教室棟（1番〜）→普通教室棟（30番〜）→特別教室棟B（50番〜）→特別教室棟A（70番〜）とする

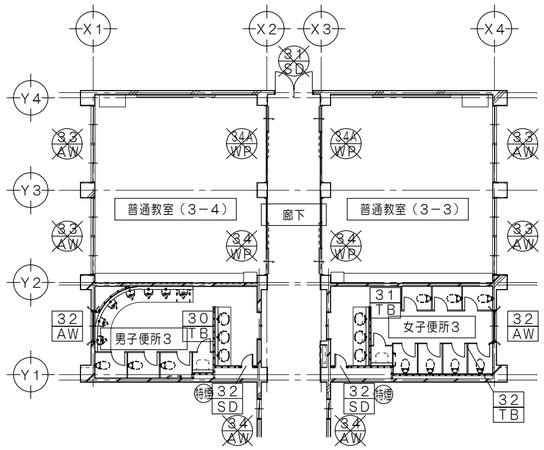
一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

一級建築士　第304509号　水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-92（原図：A2）
		図面名称	＜管理教室棟・エレベーター棟＞ 改修前 改修後 3階建具符号図	縮尺	1/200

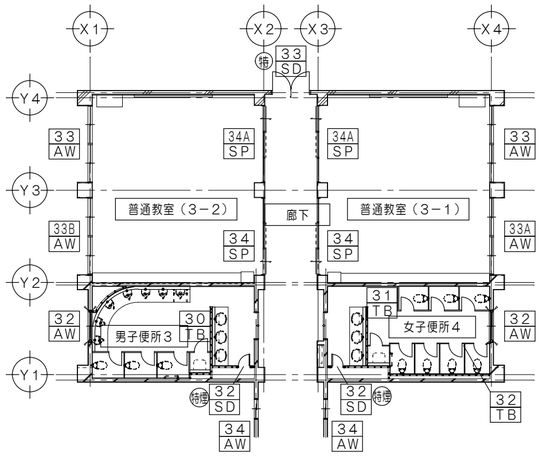
改修前



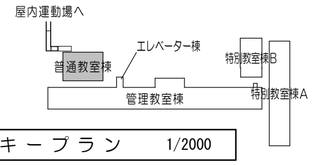
1 階 建 具 符 号 図　1/200



2 階 建 具 符 号 図　1/200



3 階 建 具 符 号 図　1/200

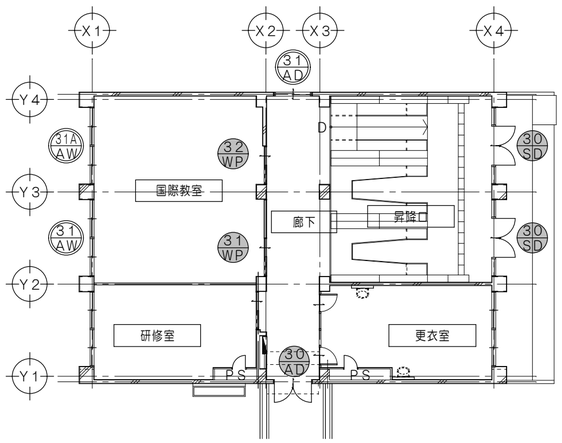


キ ー プ ラ ン　1/2000

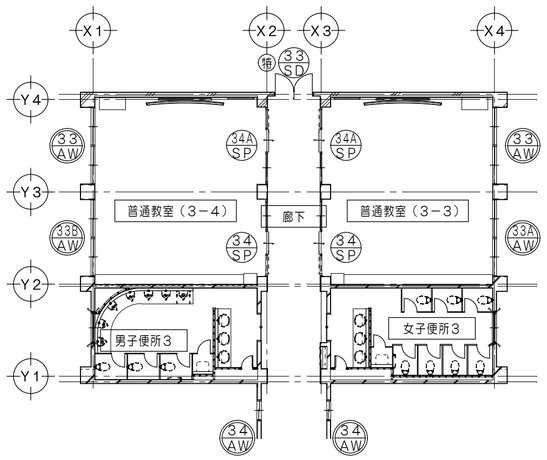
凡	例
	既設建具のまま
	既設カバー工法建具のまま
	既設建具撤去
	既設カバー工法建具、カバー工法部分撤去
	既設建具　ガラス入替
	改修済建具を示す
	改修対象範囲外（第１期～第３期）
防	防火設備を示す
特	特定防火設備を示す
特煙	特定防火設備を示す（遮煙）
— - —	延焼ライン

改修後

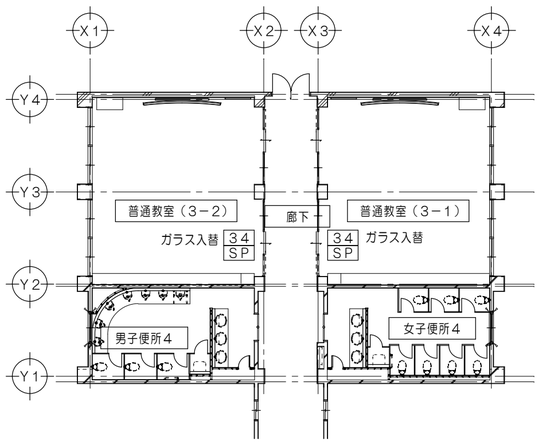
【第二期】



1 階 建 具 符 号 図　1/200



2 階 建 具 符 号 図　1/200



3 階 建 具 符 号 図　1/200

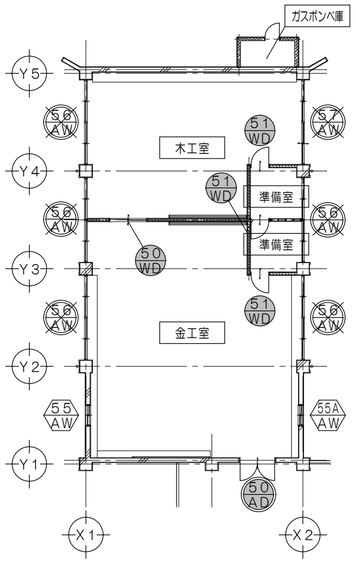
凡	例
	既設建具のまま
	既設カバー工法建具のまま
	新設建具
	カバー工法にて建具改修
	既設建具　ガラス入替
防	防火設備を示す
特	特定防火設備を示す
特煙	特定防火設備を示す（遮煙）
防煙	防火設備を示す（遮煙）
— - —	延焼ライン

特記事項	※建具表ナンバリングについて 管理教室棟（１番～）→普通教室棟（３０番～）→特別教室棟Ｂ（５０番～）→特別教室棟Ａ（７０番～）とする

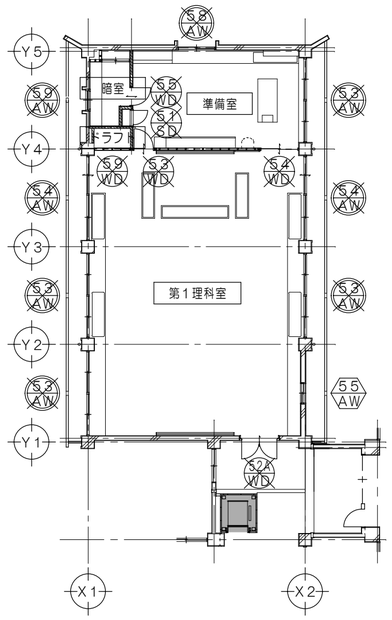
一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前 野 建 築 設 計
一級建築士　大臣登録第117489号　前 野 初 像

一級建築士　第304509号　水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-93（原図：A2）
		図面名称	＜普通教室棟＞ 改修前 改修後 各階建具符号図	縮尺	1/200

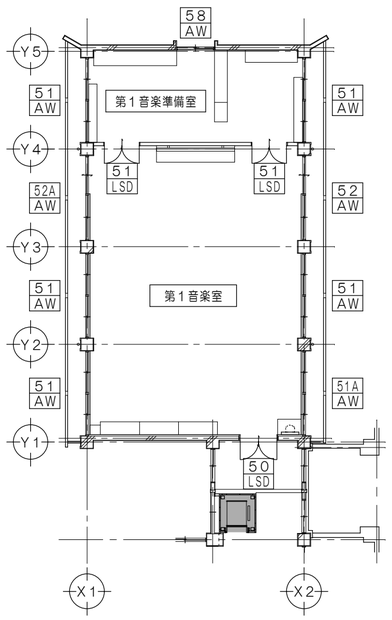
改修前



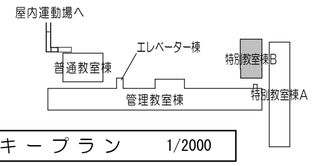
1 階 建 具 符 号 図　1/200



2 階 建 具 符 号 図　1/200



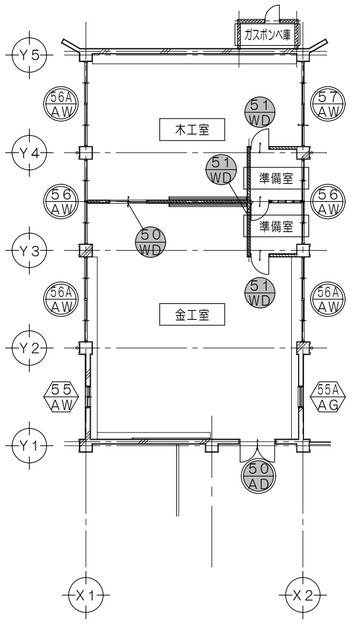
3 階 建 具 符 号 図　1/200



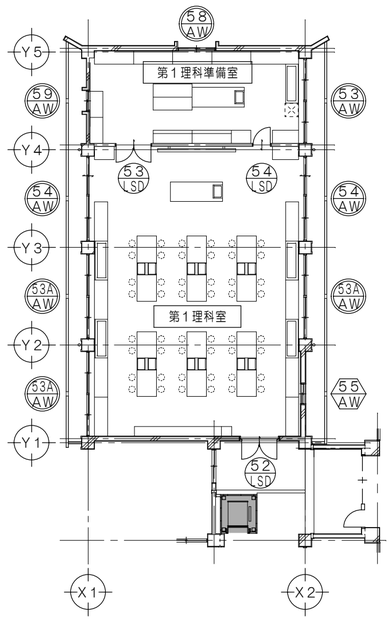
キ ー プ ラ ン　1/2000

凡　例	
	既設建具のまま
	既設カバー工法建具のまま
	既設建具撤去
	既設カバー工法建具、カバー工法部分撤去
	既設建具　ガラス入替
	改修済建具を示す
	改修対象範囲外（第１期～第３期）
防	防火設備を示す
特	特定防火設備を示す
特遮	特定防火設備を示す（遮煙）
— - —	延焼ライン

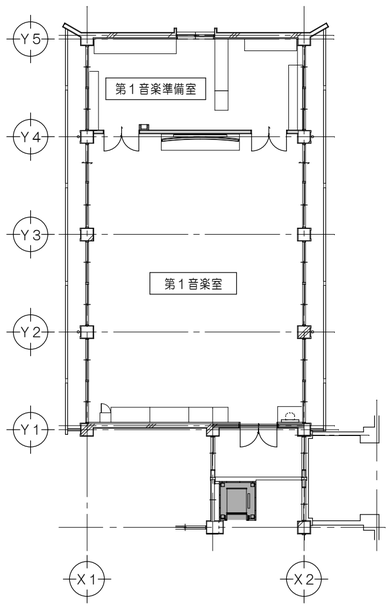
改修後



1 階 建 具 符 号 図　1/200



2 階 建 具 符 号 図　1/200



3 階 建 具 符 号 図　1/200

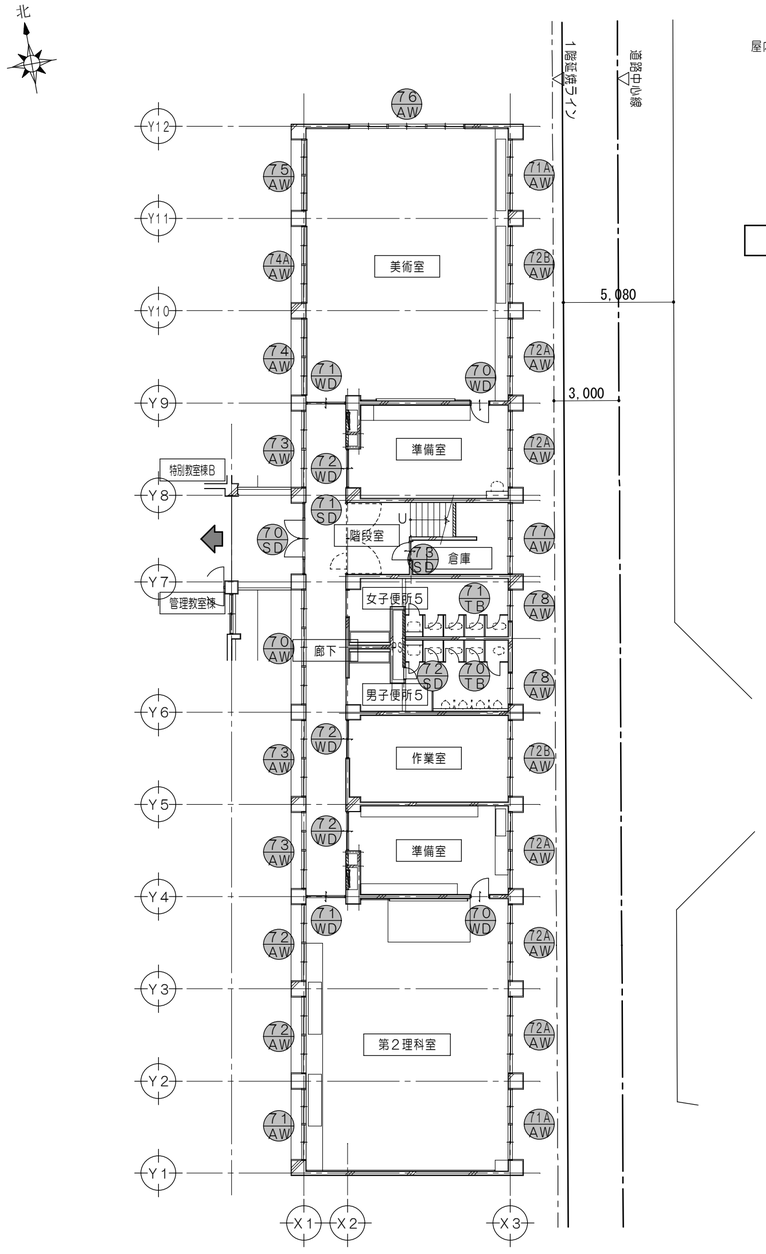
凡　例	
	既設建具のまま
	既設カバー工法建具のまま
	新設建具
	カバー工法にて建具改修
	既設建具　ガラス入替
防	防火設備を示す
特	特定防火設備を示す
特遮	特定防火設備を示す（遮煙）
防遮	防火設備を示す（遮煙）
— - —	延焼ライン

特記事項	※建具表ナンバリングについて 管理教室棟（１番～）→普通教室棟（３０番～）→特別教室棟Ｂ（５０番～）→特別教室棟Ａ（７０番～）とする

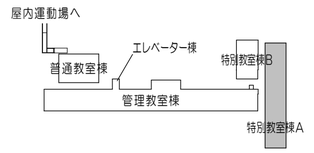
一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前 野 建 築 設 計
一級建築士　大臣登録第117489号　前 野 初 像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-94（原図：A2）
	図面名称	＜特別教室棟Ｂ＞ 改修前 改修後 各階建具符号図	縮尺	1/200

改修前



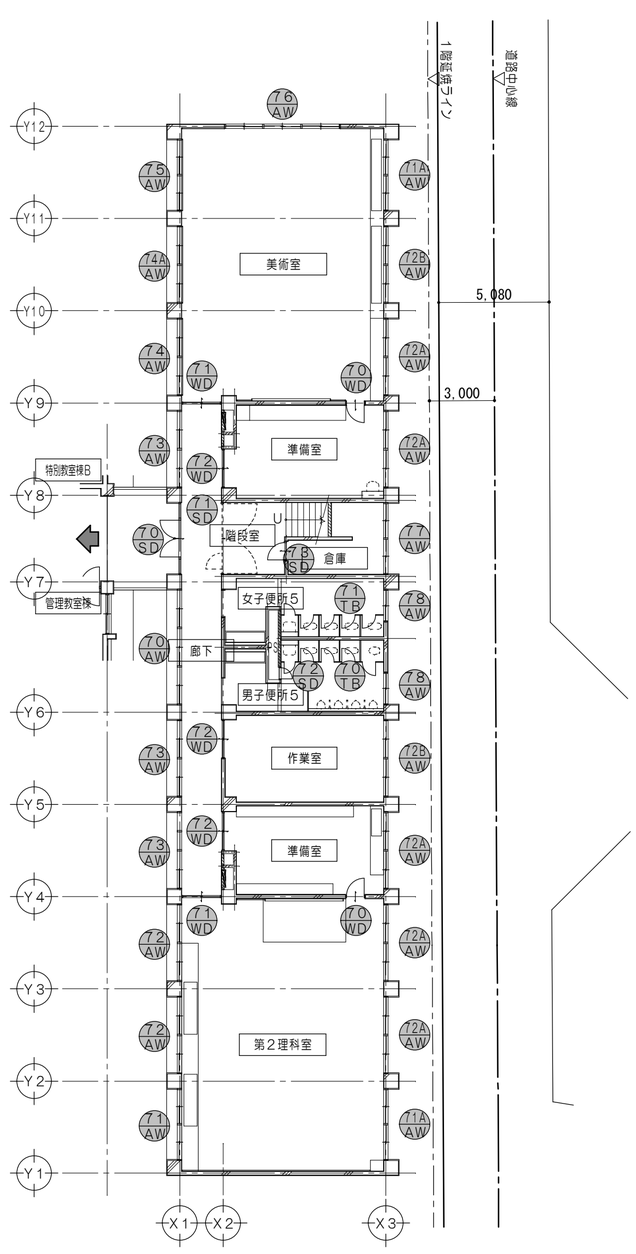
1 階建具符号図　1/200



キ ー プ ラ ン　1/2000

凡　例	
	既設建具のまま
	既設カバー工法建具のまま
	既設建具撤去
	既設カバー工法建具、カバー工法部分撤去
	既設建具　ガラス入替
	改修済建具を示す
	改修対象範囲外（第１期～第３期）
防	防火設備を示す
特	特定防火設備を示す
特煙	特定防火設備を示す（遮煙）
— — —	延焼ライン

改修後



1 階建具符号図　1/200

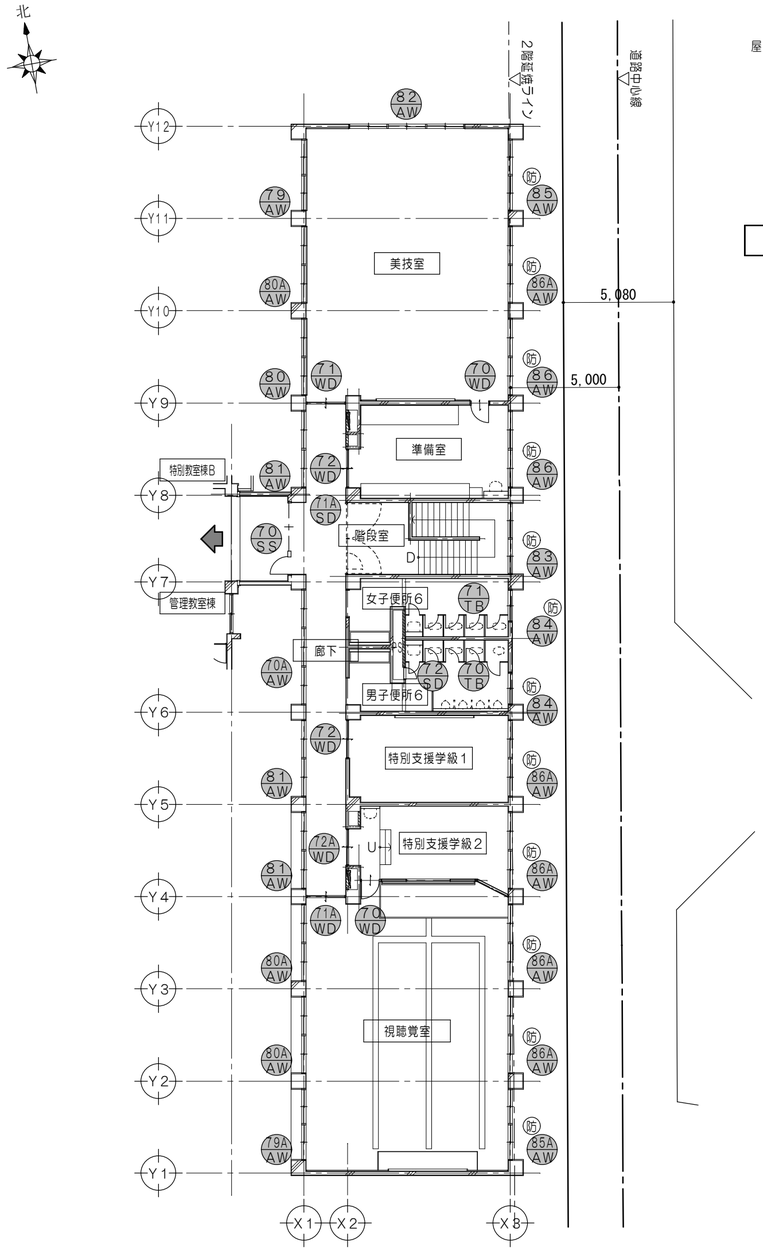
凡　例	
	既設建具のまま
	既設カバー工法建具のまま
	新設建具
	カバー工法にて建具改修
	既設建具　ガラス入替
	改修済建具を示す
防	防火設備を示す
特	特定防火設備を示す
特煙	特定防火設備を示す（遮煙）
防煙	防火設備を示す（遮煙）
— — —	延焼ライン

特記事項	※建具表ナンバリングについて 管理教室棟（１番～）→普通教室棟（３０番～）→特別教室棟Ｂ（５０番～）→特別教室棟Ａ（７０番～）とする

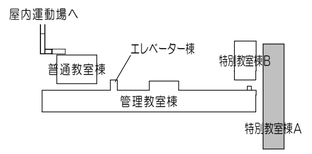
一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前 野 建 築 設 計
一級建築士　大臣登録第117489号　前 野 初 像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-95（原図：A2）
	図面名称	＜特別教室棟Ａ＞ 改修前 改修後 1階建具符号図	縮尺 1/200

改修前



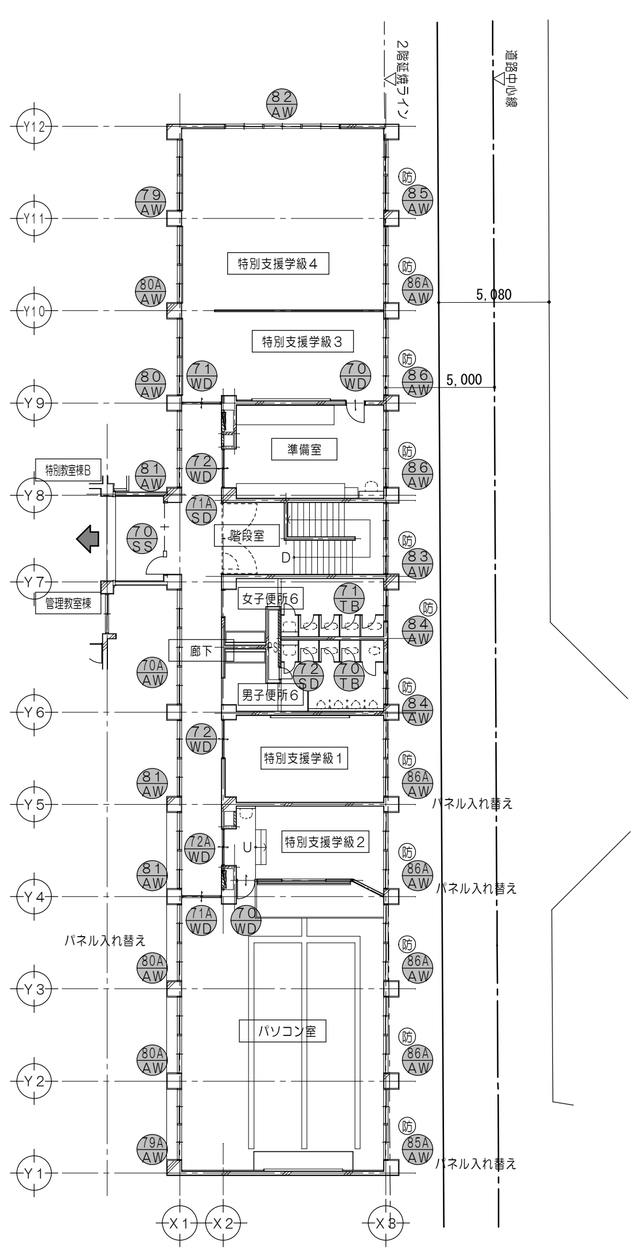
２階建具符号図　1/200



キープラン　1/2000

凡　例	
	既設建具のまま
	既設カバー工法建具のまま
	既設建具撤去
	既設カバー工法建具、カバー工法部分撤去
	既設建具　ガラス入替
	改修済建具を示す
	改修対象範囲外（第１期～第３期）
防	防火設備を示す
特	特定防火設備を示す
特煙	特定防火設備を示す（遮煙）
— — —	延焼ライン

改修後



２階建具符号図　1/200

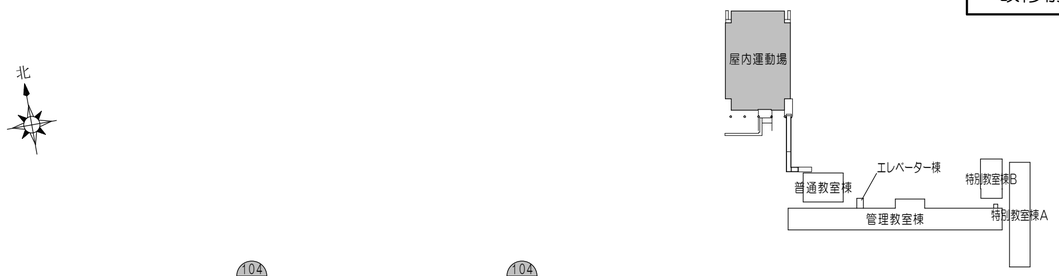
凡　例	
	既設建具のまま
	既設カバー工法建具のまま
	新設建具
	カバー工法にて建具改修
	既設建具　ガラス入替
	改修済建具を示す
防	防火設備を示す
特	特定防火設備を示す
特煙	特定防火設備を示す（遮煙）
防煙	防火設備を示す（遮煙）
— — —	延焼ライン

特記事項	※建具表ナンバリングについて 管理教室棟（１番～）→普通教室棟（３０番～）→特別教室棟Ｂ（５０番～）→特別教室棟Ａ（７０番～）とする

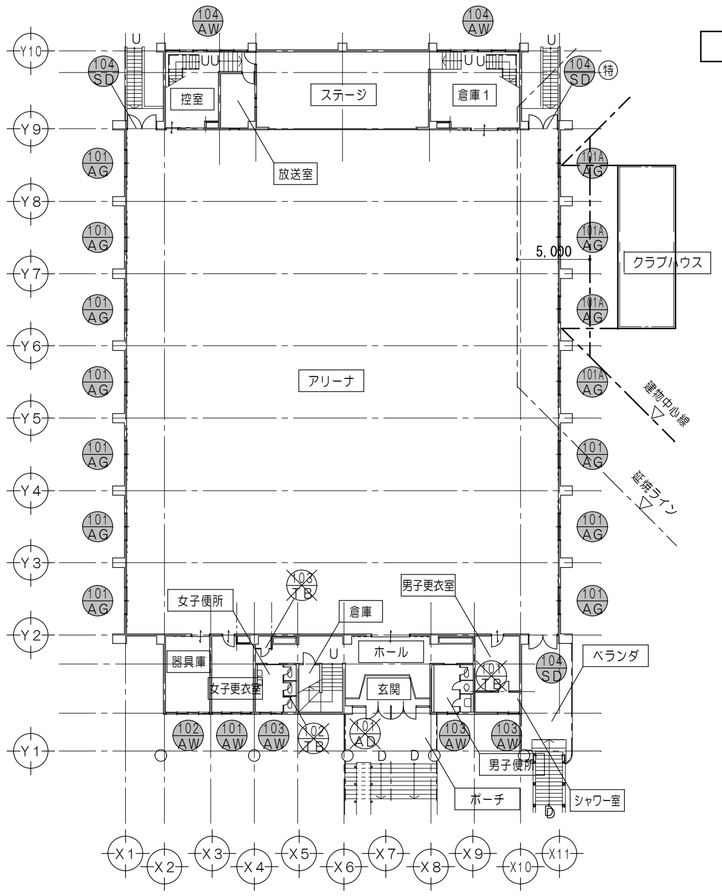
一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

一級建築士　第304509号　水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-96（原図:A2）
		図面名称	＜特別教室棟Ａ＞ 改修前 改修後 ２階建具符号図	縮尺	1/200

改修前



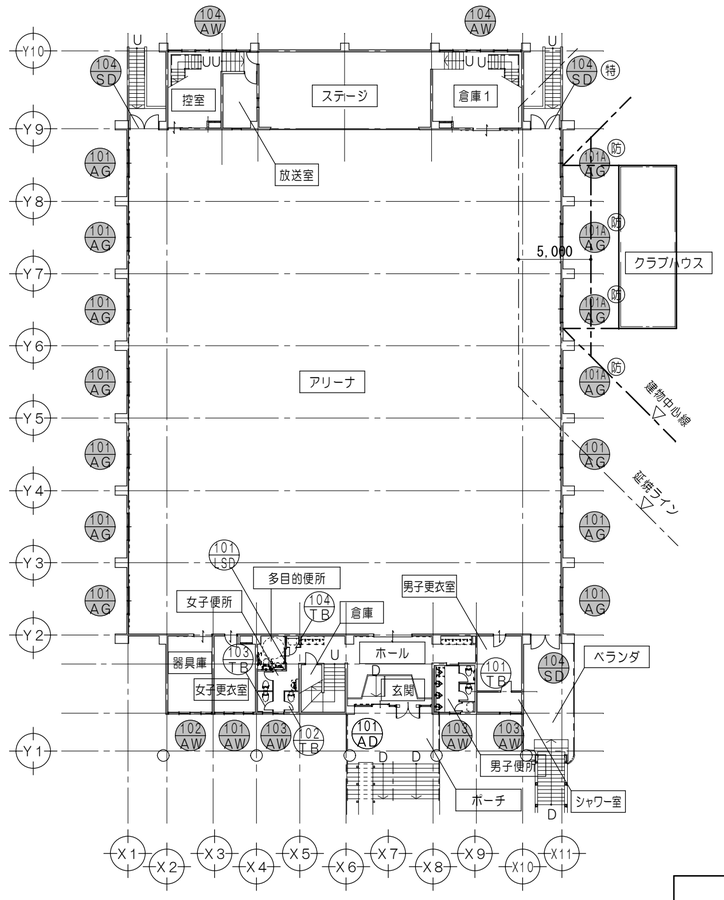
キープラン　1/2000



2階建具符号図　1/300

凡　例	
	既設建具のまま
	既設カバー工法建具のまま
	既設建具撤去
	既設カバー工法建具、カバー工法部分撤去
	既設建具　ガラス入替
	改修済建具を示す
	改修対象範囲外（第1期～第3期）
防	防火設備を示す
特	特定防火設備を示す
特遮	特定防火設備を示す（遮煙）
— — —	延焼ライン

改修後

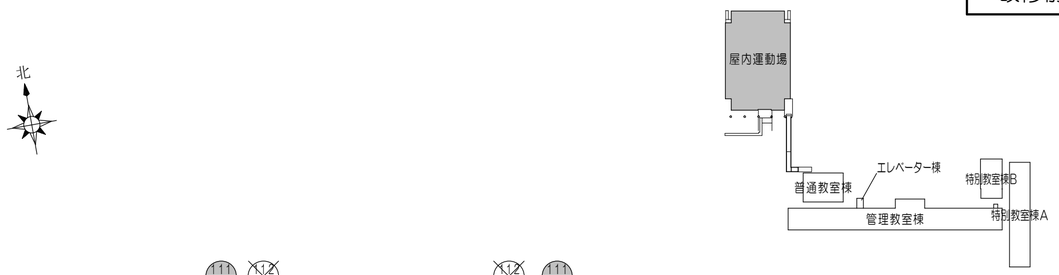


2階建具符号図　1/300

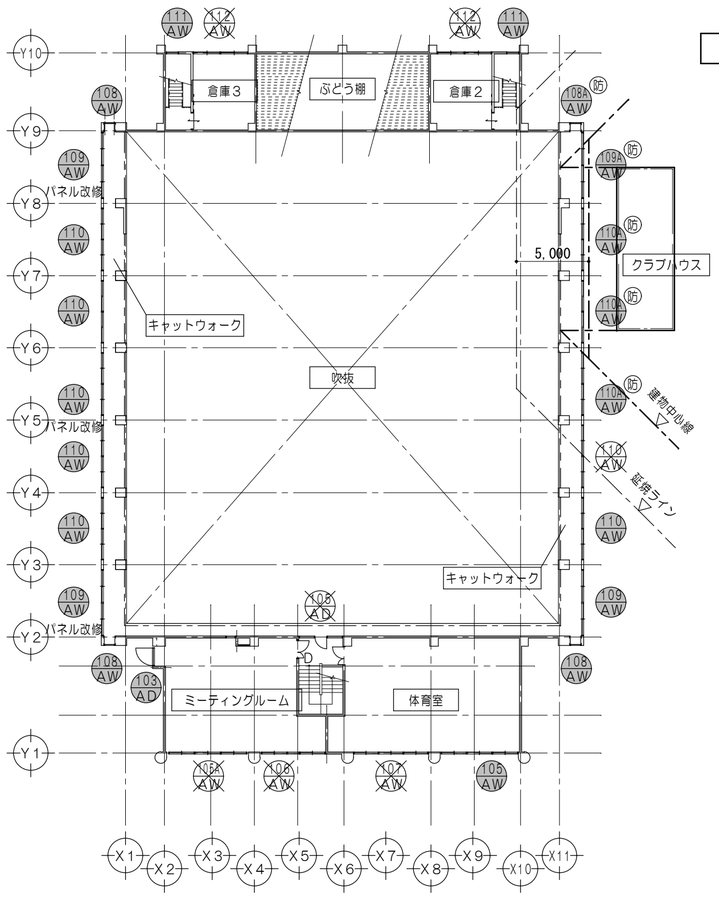
凡　例	
	既設建具のまま
	既設カバー工法建具のまま
	新設建具
	カバー工法にて建具改修
	既設建具　ガラス入替
	改修済建具を示す
防	防火設備を示す
特	特定防火設備を示す
特遮	特定防火設備を示す（遮煙）
防遮	防火設備を示す（遮煙）
— — —	延焼ライン

特記事項		一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-97 （原図：A2）
					図面名称	＜屋内運動場＞ 改修前　改修後　2階建具符号図	縮尺	1/300

改修前



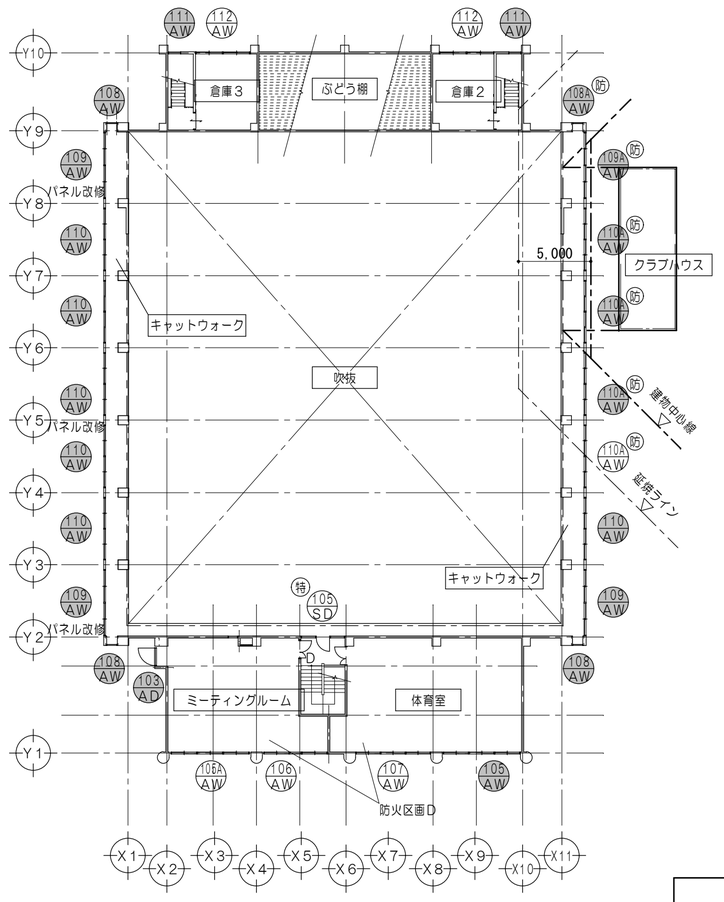
キ ー プ ラ ン　1/2000



３階建具符号図　1/300

凡　例	
	既設建具のまま
	既設カバー工法建具のまま
	既設建具撤去
	既設カバー工法建具、カバー工法部分撤去
	既設建具　ガラス入替
	改修済建具を示す
	改修対象範囲外（第１期～第３期）
防	防火設備を示す
特	特定防火設備を示す
特煙	特定防火設備を示す（遮煙）
— — —	延焼ライン

改修後



３階建具符号図　1/300

凡　例	
	既設建具のまま
	既設カバー工法建具のまま
	新設建具
	カバー工法にて建具改修
	既設建具　ガラス入替
	改修済建具を示す
防	防火設備を示す
特	特定防火設備を示す
特煙	特定防火設備を示す（遮煙）
防煙	防火設備を示す（遮煙）
— — —	延焼ライン

特記事項	

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前 野 建 築 設 計
一級建築士　大臣登録第117489号　前 野 初 像

一級建築士　第304509号　水谷　浩

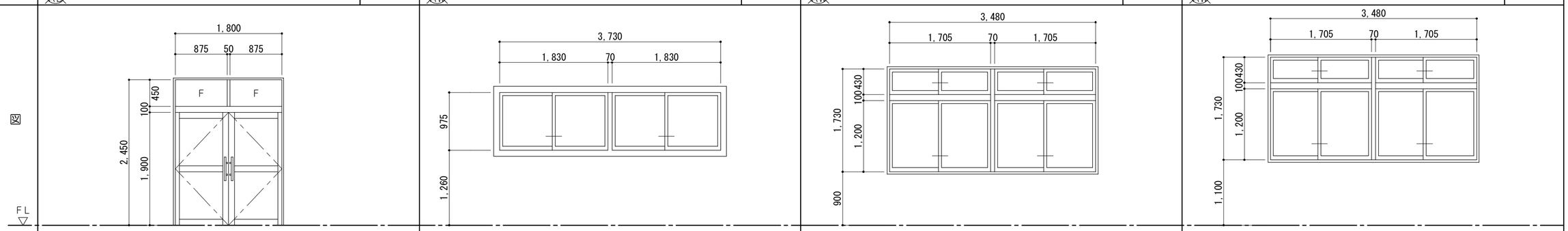
設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-98（原図：A2）
	図面名称	＜屋内運動場＞ 改修前 改修後 ３階建具符号図	縮尺	1/300

建具表No.1 ＜撤去建具＞

1/50

符号	名称	数量
1 AD	ランマＦＩＸ付両開キアルミドア	1
3 AW	２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	3
3.1 AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ	2
3.2 AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ	4

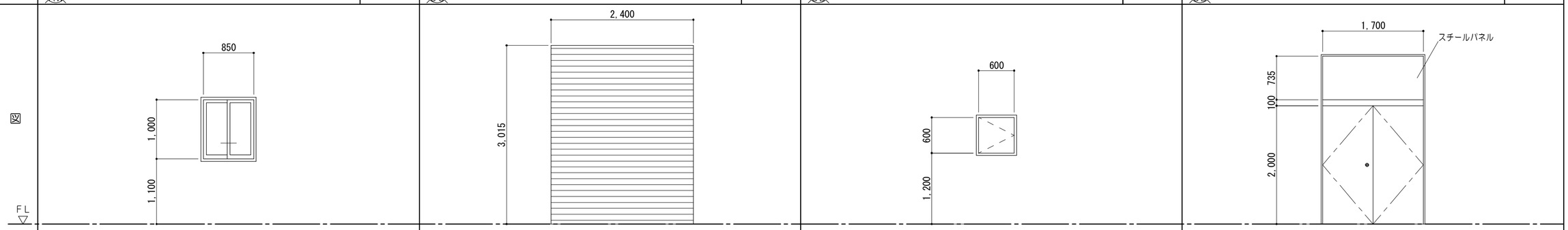
姿図



	1 AD	3 AW	3.1 AW	3.2 AW
見込	100	70	70	70
硝子	網入りガラスァ6．8	トーメイァ3	トーメイァ5（ランマ：スリガラスァ3）	トーメイァ5（ランマ：スリガラスァ3）
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
金物	フロアヒンジ、シリンダー錠、フランス落シ、押板取手、付属金物一式	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切
室名	1階：廊下（管理教室棟）	1階・2階・3階：廊下（管理教室棟）	1階：国際教室（普通教室棟）	2階：普通教室（普通教室棟）

符号	名称	数量
3.4 AW	引違イアルミサッシ	2
4 SS	重量スプリング式スチールシャッター	2
3 SD	片開キスチールドア	2
3.7 SD	両開キスチールドア	1

姿図

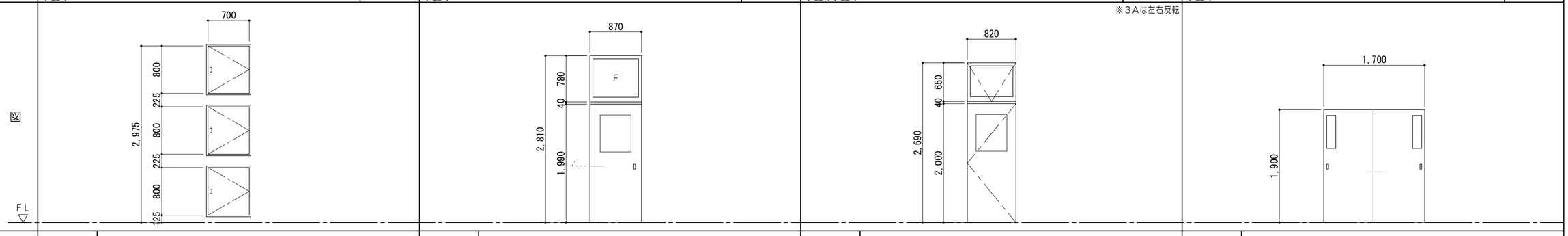


	3.4 AW	4 SS	3 SD	3.7 SD
見込	70		50	220
硝子	トーメイァ5			
仕上	アルミ	OP塗装	スチールァ1．6 ウレタン塗装	鋼板ァ1．6 SOP
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切	シャッターケース、ガイドレール、付属金物一式	丁番、点検口錠	ケースハンドル、シリンダー錠、スチール三方枠、付属金物一式
室名	3階：渡り廊下（普通教室棟）	2階：廊下（管理教室棟）	1階：校長室、2階：男子便所1（管理教室棟）	2階：廊下（普通教室棟）

符号	名称	数量
5.1 SD	片開キスチールドア（3連）	1
2 WD	ランマＦＩＸ付・片引キ木製フラッシュドア	1
3 WD / 3A WD	ランマ突出シ付・片開キ木製フラッシュドア	3：1 3A：1
4 WD	引違イ木製フラッシュドア	2

※3Aは左右反転

姿図



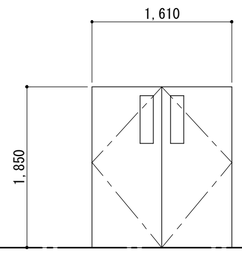
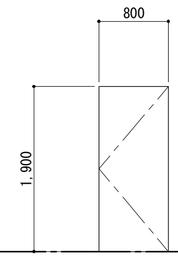
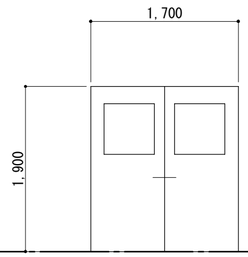
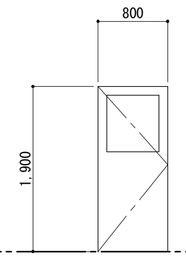
	5.1 SD	2 WD	3 WD / 3A WD	4 WD
見込	170	36	36	36
硝子		トーメイァ3	トーメイァ3	トーメイァ3
仕上	スチールァ1．6 SOP	ラワン合板ァ4 フラッシュ OP	ラワン合板ァ4 フラッシュ OP	ラワン合板ァ4 フラッシュ OP
金物	取手、丁番、スチール枠、付属金物一式	引手、戸車、シリンダー錠、付属金物一式	丁番、シリンダー錠、付属金物一式	引手、戸車、シリンダー錠、付属金物一式
室名	2階：準備室（特別教室棟B）	2階：前室（管理教室棟）	2階：相談室（管理教室棟）	1階：普通教室、2階：パソコン室（管理教室棟）

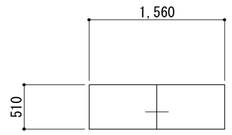
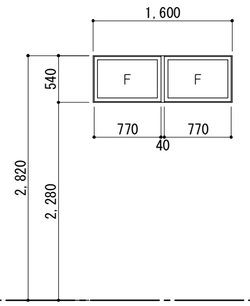
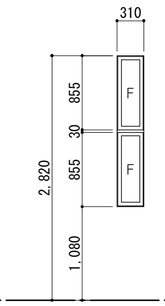
特記事項

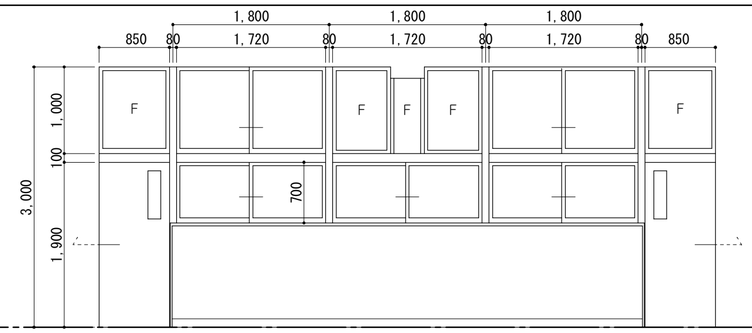
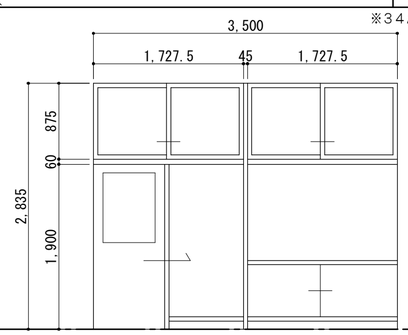
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像

一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-99（原図：A2）
		図面名称	撤去 建具表No.1	縮尺	1/50

建具表No.２＜撤去建具＞　1/50

符号名称数量	52A WD 両開キ木製フラッシュドア	1	S3 WD 片開キ木製フラッシュドア	1	S4 WD 引違イ木製フラッシュドア	1	S5 WD 片開キ木製フラッシュドア	1
姿図								
見込　硝子	36	トーメイァ3	36		36	トーメイァ3	36	スリガラスァ3
仕上	ラワン合板ァ4　フラッシュ　OP		ラワン合板ァ4　フラッシュ　OP		ラワン合板　フラッシュ　OP		ラワン合板ァ4　フラッシュ　OP	
金物	丁番、握玉、付属金物一式		丁番、握玉、付属金物一式		引手、戸車、付属金物一式		丁番、握玉、付属金物一式	
室名	2階：第1理科室（特別教室棟B）		2階：第1理科室（特別教室棟B）		2階：第1理科室（特別教室棟B）		2階：暗室（特別教室棟B）	

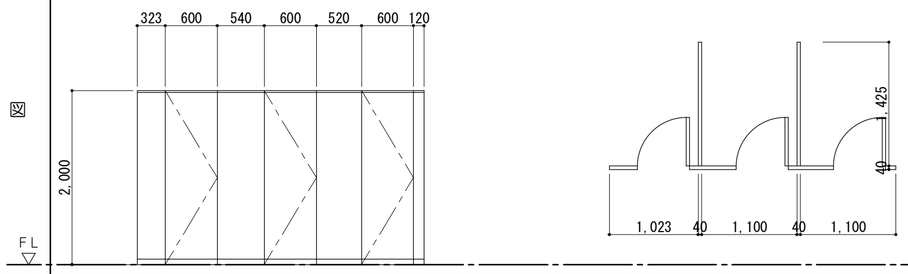
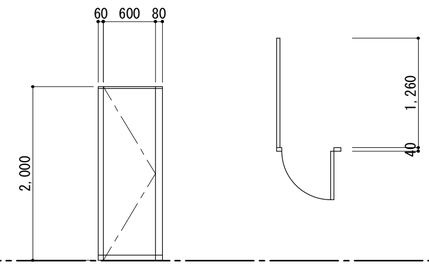
符号名称数量	S9 WD 木製引違イ戸	1	1 WW ＦＩＸ木製サッシ	2	2 WW ＦＩＸ木製サッシ	1	
姿図							
見込　硝子	36		36	トーメイァ3	36	トーメイァ3	
仕上	ラワン合板張		ヒノキ　OP		ヒノキ　OP		
金物	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		
室名	2階：理科室（特別教室棟B）		2階：前室（管理教室棟）		2階：前室（管理教室棟）		

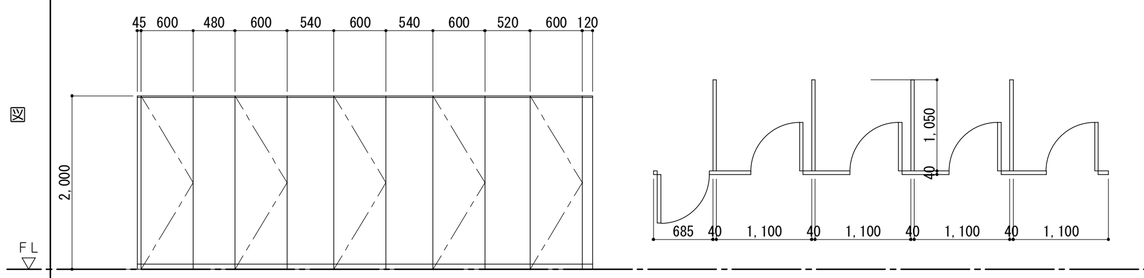
符号名称数量	WP 木製パーテーション	7	S2 WP S2A WP 木製パーテーション	34：2 34A：2	
姿図			※34Aは左右反転 		
見込　硝子	36	スリガラスァ3（ランマ：トーメイァ3）	36	トーメイァ3	
仕上	戸：ラワン合板ァ4　フラッシュ　窓枠：ヒノキ　OP		シナ合板フラッシュ		
金物	ステンレスレール、戸車、シリンダー錠、付属金物一式		引手、ステンレスレール、戸車、シリンダー錠		
室名	2階：特別支援学級1、特別支援学級2、普通教室（管理教室棟）		3階：普通教室（普通教室棟）		

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-100 （原図：A2）
				図面名称	撤去　建具表No.２	縮尺	1/50

建具表No.３＜撤去建具＞

1/50

符号名称数量	① TB トイレブース	1	② TB トイレブース	1		
姿図						
見込　硝子	４０		４０			
仕上	メラミン化粧合板ペーパーコア、アルミアールエッジ		メラミン化粧合板ペーパーコア、アルミアールエッジ			
金物	中心吊りグレビティーヒンジ、表示錠、フック付戸当、ステンレス頭つなぎ（カバー付）取付金物、ステンレス巾木		中心吊りグレビティーヒンジ、表示錠、フック付戸当、 ステンレス頭つなぎ（カバー付）取付金物、ステンレス巾木			
室名	２階：男子便所１（管理教室棟）		２階：女子便所１（管理教室棟）			

符号名称数量	③ TB トイレブース	2
姿図		
見込　硝子	４０	
仕上	メラミン化粧合板ペーパーコア、アルミアールエッジ	
金物	中心吊りグレビティーヒンジ、表示錠、フック付戸当、ステンレス頭つなぎ（カバー付）取付金物、ステンレス巾木	
室名	２階：女子便所１（管理教室棟）	

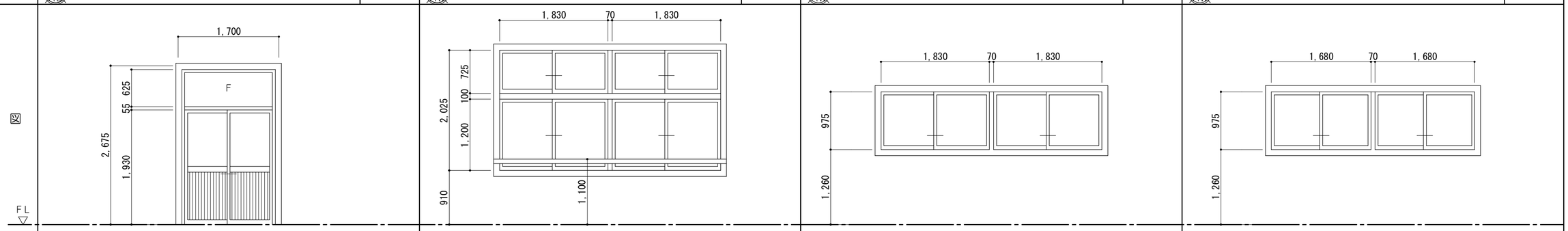
符号名称数量						
姿図						
見込　硝子						
仕上						
金物						
室名						

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-101 （原図：A2）
				図面名称	撤去 建具表No.３	縮尺	1/50

建具表No.4 ＜カバー工法部分撤去建具＞

符号	名称	数量
3/AW	ランマＦＩＸ付引違イアルミドア ＜カバー工法＞	1
1/AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	24
3/AW	２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	11
4/AW	２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	2

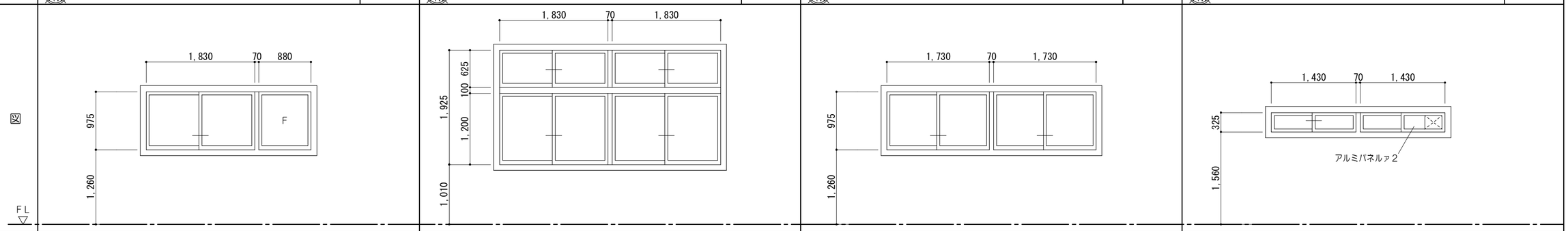
姿図



	3/AW	1/AW	3/AW	4/AW
見込	100 プレートワイヤーァ6．8（ランマ：トーメイァ5）	70 トーメイァ4（ランマ：トーメイァ3）	70 トーメイァ3	70 トーメイァ3
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
金物	シリンダー錠、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切
室名	1階：廊下（普通教室棟）	1階：普通教室（管理教室棟） 2階：パソコン室、特別支援学級1・2、相談室1・2、普通教室（管理教室棟）	1階・2階：廊下（管理教室棟）	1階・2階：廊下（管理教室棟）

符号	名称	数量
5/AW	ＦＩＸ付引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	2
7/AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	2
8/AW	２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	1
10/AW	２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	1

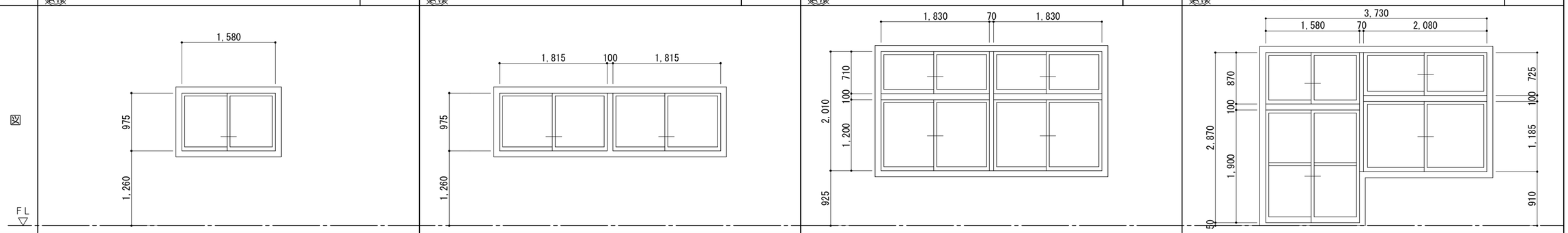
姿図



	5/AW	7/AW	8/AW	10/AW
見込	70 トーメイァ3	70 トーメイァ4（ランマ：トーメイァ3）	70 トーメイァ3	70 学校用強化ガラスァ4
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ陽極酸化塗装皮膜（B種）
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切	アングルピース、クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室名	1階・2階：廊下（管理教室棟）	2階：男子便所、女子便所（管理教室棟）	2階：配膳室（管理教室棟）	1階：職員男子便所（管理教室棟）

符号	名称	数量
11/AW	引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	2
12/AW	２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	1
S2/AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	4
S2/AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	2

姿図



	11/AW	12/AW	S2/AW	S2/AW
見込	70 トーメイァ3	70 トーメイァ3	70 トーメイァ4（ランマ：トーメイァ3）	70 トーメイァ5（ランマ：スリガラスァ3）
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切
室名	1階・2階：廊下（管理教室棟）	2階：廊下（管理教室棟ー特別教室棟B間）	2階：第1理科室、準備室（特別教室棟B）	2階：第1理科室（特別教室棟B）

特記事項

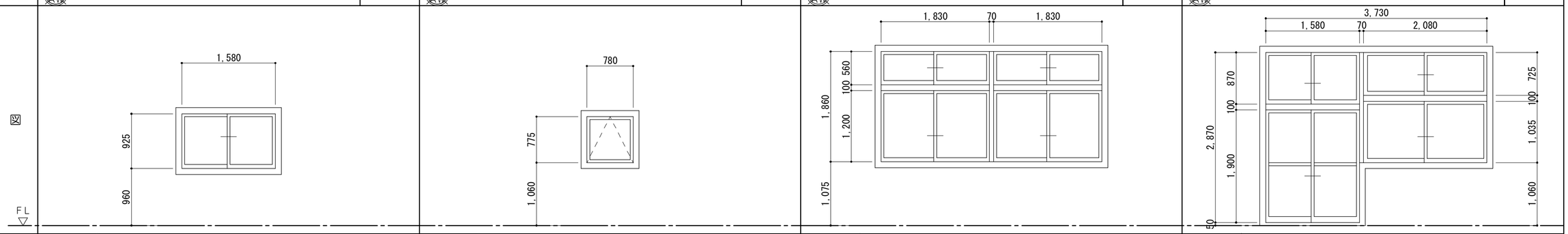
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像
一級建築士 第304509号 水谷 浩

設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-102（原図：A2）
	図面名称	撤去 建具表No.4	縮尺	1/50

建具表No.5 <カバー工法部分撤去建具>

符号	名称	数量
S8 AW	引違イアルミサッシ <カバー工法>	1
S9 AW	たり出シアルミサッシ <カバー工法>	1
S6 AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ <カバー工法>	5
S7 AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ <カバー工法>	1

姿図



	S8 AW	S9 AW	S6 AW	S7 AW
見込	70	70	70	70
硝子	トーメイァ３	トーメイァ３	トーメイァ４（ランマ：トーメイァ３）	トーメイァ５（ランマ：スリガラスァ３）
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切	アルミ額縁、アルミ水切	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切
室名	２階：準備室（特別教室棟Ｂ）	２階：暗室（特別教室棟Ｂ）	１階：金工室、木工室（特別教室棟Ｂ）	１階：木工室（特別教室棟Ｂ）

符号	名称	数量

姿図

見込			
硝子			
仕上			
金物			
室名			

符号	名称	数量

姿図

見込			
硝子			
仕上			
金物			
室名			

特記事項

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-103（原図:A2）
		図面名称	撤去 建具表No.5	縮尺 1/50

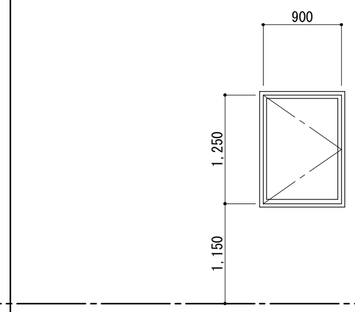
建具表No.1 ＜新設建具＞

1/50

符号	名称	数量
14 AW	外開キアルミサッシ	6
3 SD	片開キスチールドア	3
5 SD	両開キスチールドア	1
6 SD	随時閉鎖式くぐり戸付片開キスチールドア	1

14 AW 外開キアルミサッシ

姿図

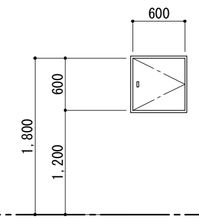


見込	70　学校用強化ガラスァ4
仕上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（B種）
金物	クレカムラッチハンドル、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室名	1階：エレベーターホール（昇降機棟）　2階：エレベーターホール（昇降機棟） 3階：エレベーターホール（昇降機棟）

3 SD 片開キスチールドア

※特定防火設備（遮煙）
H12建告1369号適合
S48建告2564号

姿図

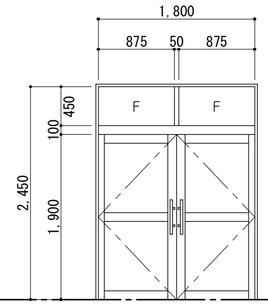


見込	100
仕上	亜鉛メッキ鋼板ァ1．6　防錆塗装の上SOP
金物	平面ハンドル（鍵付）、丁番、スチール枠、付属金物一式
室名	1階：校長室、職員女子便所　2階：男子便所1（管理教室棟）

5 SD 両開キスチールドア

※特定防火設備
H12建告1369号適合
S48建告2563号

姿図

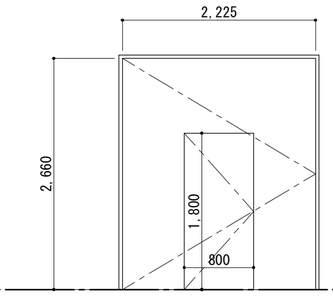


見込	100　耐熱強化ガラスァ6
仕上	亜鉛メッキ鋼板ァ1．6　防錆塗装の上DP
金物	押板引棒、シリンダー錠（内部サムターン）、DC、丁番、フランス落シ、スチール三方枠、付属金物一式
室名	1階：廊下（管理教室棟）

6 SD 随時閉鎖式くぐり戸付片開キスチールドア

※特定防火設備
H12建告1369号適合
※くぐり戸は、避難方向へ開放する
※危害防止装置付
S48建告2563号適合

姿図



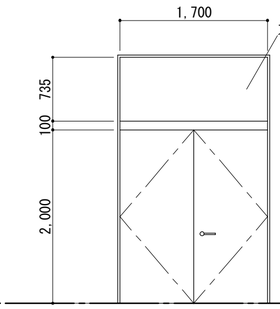
見込	枠　110 扉　40
仕上	亜鉛メッキ鋼板ァ1．6　防錆塗装の上SOP
金物	ケースハンドル、フロアヒンジ、オートヒンジ、スチール三方枠、煙感連動装置一式、付属金物一式
室名	2階：廊下（管理教室棟）

符号	名称	数量
33 SD	両開キスチールドア	1
6 LSD	両開キ軽量スチールドア	2
52 LSD	両開キ軽量スチールドア	1
53 LSD	両開キ軽量スチールドア	1

33 SD 両開キスチールドア

※特定防火設備
H12建告1369号適合
S48建告2563号

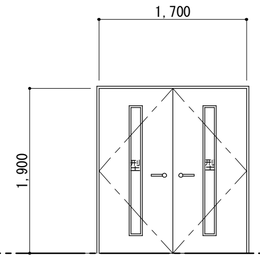
姿図



見込	220
仕上	亜鉛メッキ鋼板ァ1．6　防錆塗装の上DP
金物	レバーハンドル、シリンダー錠（内部サムターン）、DC、丁番、フランス落シ、スチール三方枠、付属金物一式
室名	2階：廊下（普通教室棟）

6 LSD 両開キ軽量スチールドア

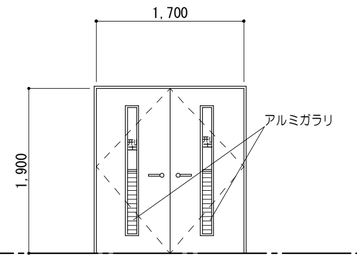
姿図



見込	310　学校用強化ガラスァ4（型）
仕上	亜鉛メッキ鋼板ァ0．6　焼付塗装仕上（指定色）
金物	レバーハンドル、シリンダー錠（内部サムターン）、戸当り、DC、丁番、フランズ落シ 付属金物一式
室名	1階：普通教室、2階：パソコン室（管理教室棟）

52 LSD 両開キ軽量スチールドア

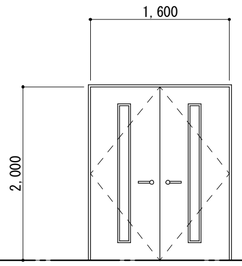
姿図



見込	305　学校用強化ガラスァ4（型）
仕上	亜鉛メッキ鋼板ァ0．6　焼付塗装仕上（指定色）
金物	レバーハンドル、シリンダー錠（内部サムターン）、戸当り、DC、丁番、フランズ落シ 付属金物一式
室名	2階：第1理科室（特別教室棟B）

53 LSD 両開キ軽量スチールドア

姿図

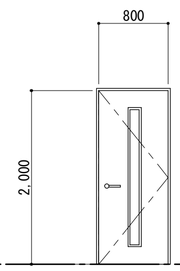


見込	151　学校用強化ガラスァ4
仕上	亜鉛メッキ鋼板ァ0．6　焼付塗装仕上（指定色）
金物	レバーハンドル、シリンダー錠（内部サムターン）、戸当り、DC、丁番、フランズ落シ 付属金物一式
室名	2階：第1理科室（特別教室棟B）

符号	名称	数量
54 LSD	片開キ軽量スチールドア	1
1 SP	スチールパーテーション	8

54 LSD 片開キ軽量スチールドア

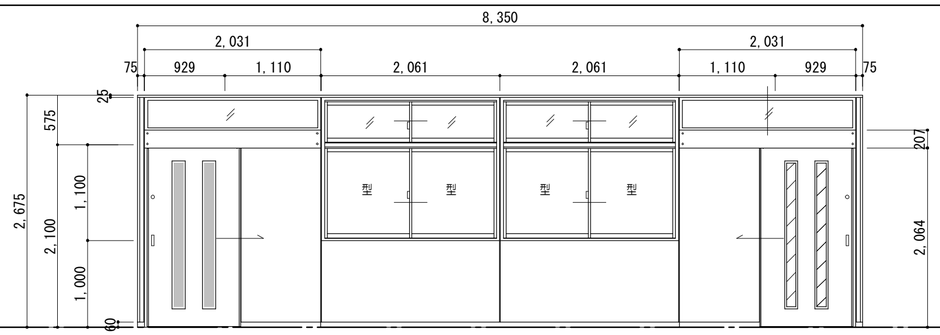
姿図



見込	151　学校用強化ガラスァ4
仕上	亜鉛メッキ鋼板ァ0．6　焼付塗装仕上（指定色）
金物	レバーハンドル、シリンダー錠（内部サムターン）、戸当り、DC、丁番、付属金物一式
室名	2階：第1理科室（特別教室棟B）

1 SP スチールパーテーション

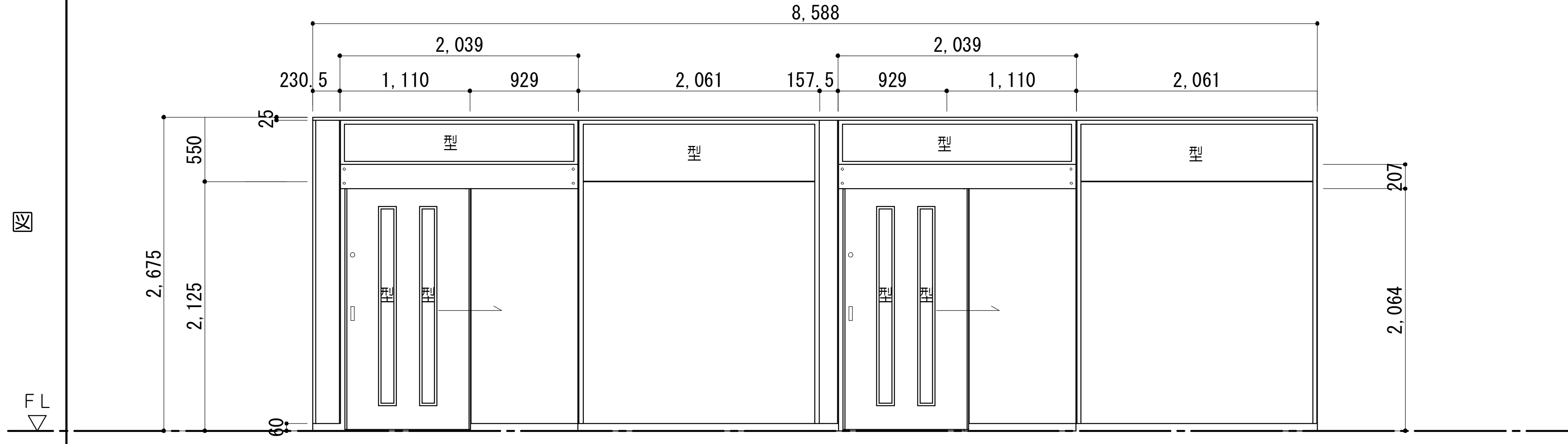
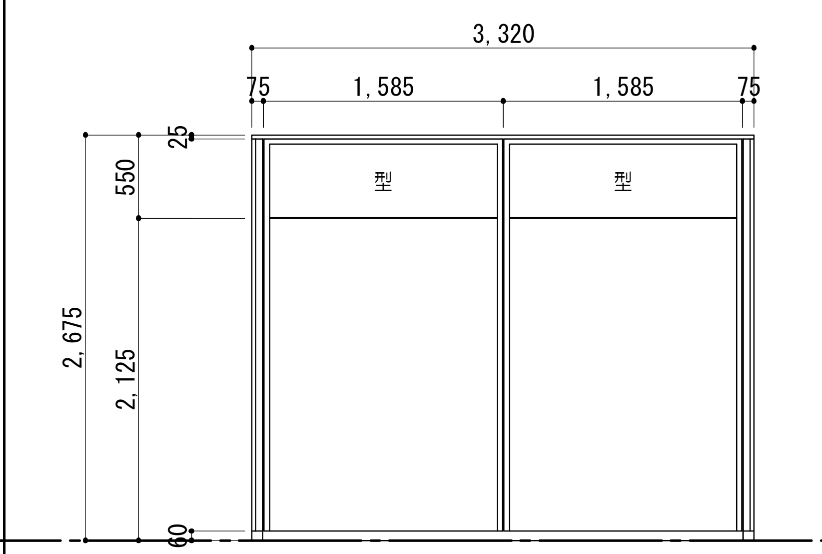
姿図

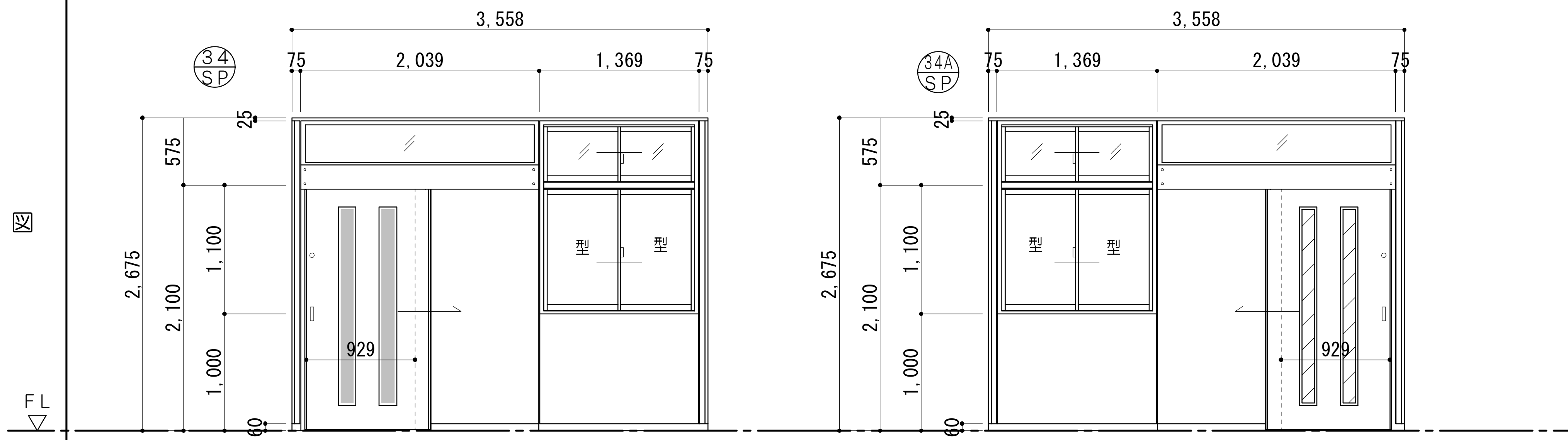
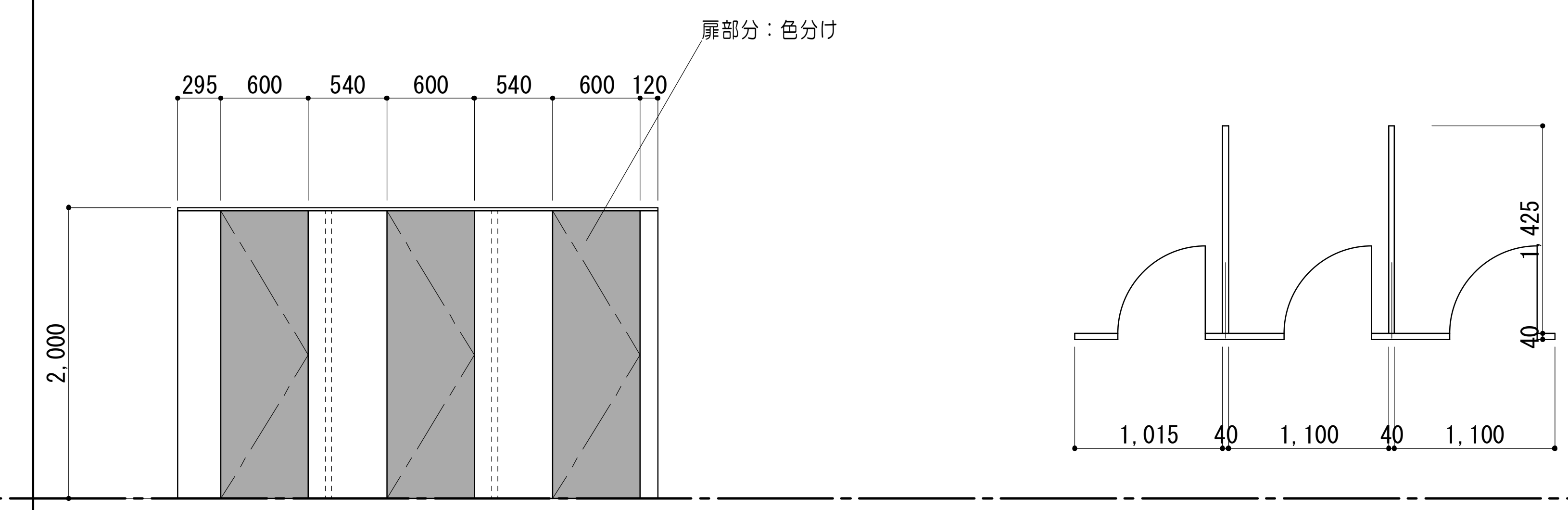


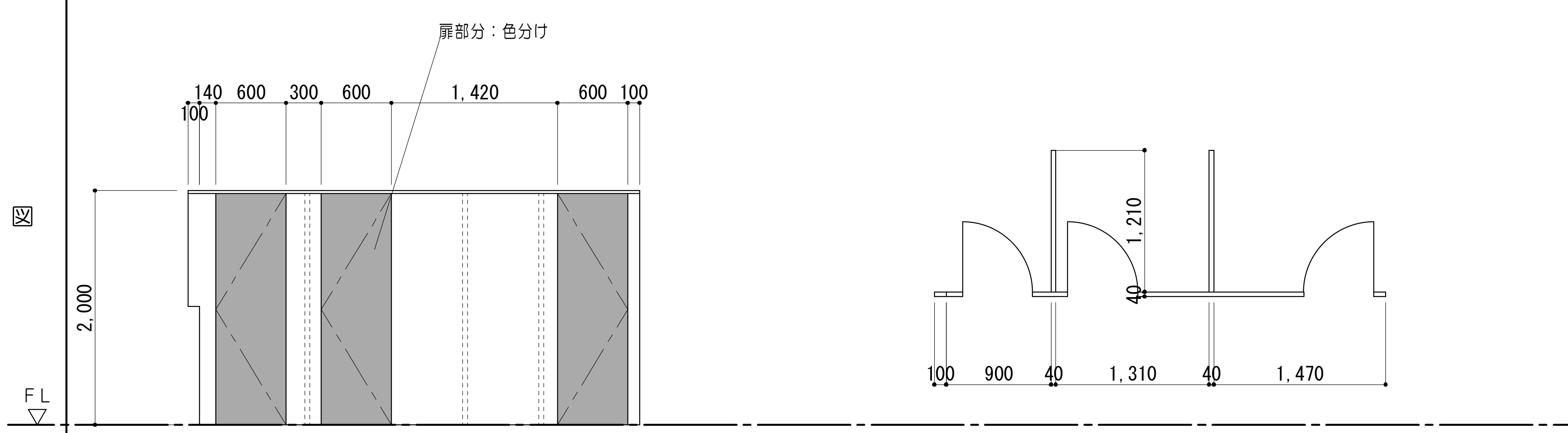
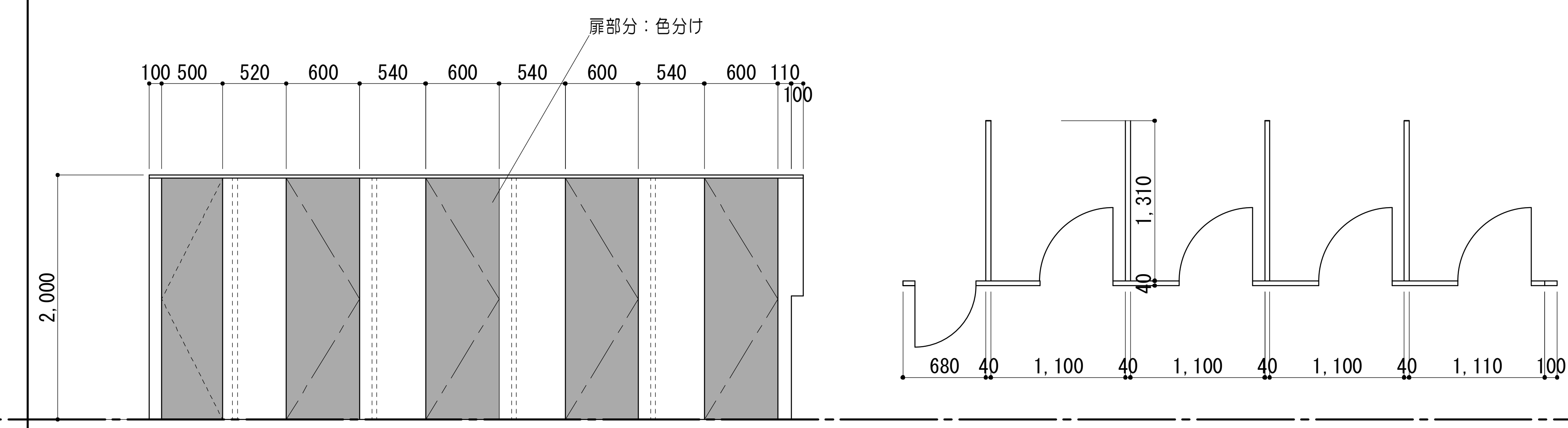
見込	80　：3階普通教室（8教室分既設背面扉：型板強化ガラスt4）を取り外し、2階新設スチールパーテーション（前面扉）に再取付 ：2階新設スチールパーテーション（背面扉）及び3階普通教室（8教室分既設背面扉）学校用強化ガラスt4新設、但し、前室は型板強化ガラスt4
仕上	亜鉛メッキ鋼板ァ0．5　焼付塗装仕上、裏打ち材石膏ボード（指定色）
金物	自閉装置：傾斜式カームレール、制御装置油圧式ダンパー（開閉両側ブレーキ）、樹脂引手、ガイドローラー シリンダー錠（内部サムターン）、クレセント、アルミサッシ、戸車、戸先戸尻ゴム、スチール三方枠（焼付塗装仕上）、付属金物一式
室名	2階：特別支援学級1、特別支援学級2、英語教室2、前室、普通教室（管理教室棟）

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-104 （原図：A2）
				図面名称	新設　建具表No.1	縮尺	1/50

建具表№２＜新設建具＞　1/50

符号名称数量	2/SP　スチールパーテーション	1	3/SP　スチールパーテーション	1
姿図				
見込　硝子	80　学校用強化ガラスァ４（型）		80　学校用強化ガラスァ４（型）	
仕上	亜鉛メッキ鋼板ァ０．５　焼付塗装仕上、裏打ち材石膏ボード（指定色）		亜鉛メッキ鋼板ァ０．５　焼付塗装仕上、裏打ち材石膏ボード（指定色）	
金物	自閉装置：傾斜式カームレール、制御装置油圧式ダンパー（開閉両側ブレーキ）、樹脂引手、ガイドローラー シリンダー錠（内部サムターン）、スチール三方枠（焼付塗装仕上）、付属金物一式		スチール三方枠（焼付塗装仕上）、付属金物一式	
室名	２階：前室（管理教室棟）		２階：前室（管理教室棟）	

符号名称数量	34/SP　34A/SP　スチールパーテーション	34：2 34A：2	1/TB　トイレブース	1
姿図				
見込　硝子	80　：３階普通教室（既設背面扉：型板強化ガラスｔ４）を取り外し、２階新設スチールパーテーション（ＳＰ３４）に再取付 ：２階新設スチールパーテーション（ＳＰ３４Ａ）及び３階普通教室（既設背面扉）強化ガラスｔ４新設（２教室分）		40	
仕上	亜鉛メッキ鋼板ァ０．５　焼付塗装仕上、裏打ち材石膏ボード（指定色）		メラミン樹脂化粧板（芯材：パーティクルボード）	
金物	自閉装置：傾斜式カームレール、制御装置油圧式ダンパー（開閉両側ブレーキ）、樹脂引手、ガイドローラー シリンダー錠（内部サムターン）、クレセント、アルミサッシ、戸車、戸先戸尻ゴム、スチール三方枠（焼付塗装仕上）、付属金物一式		アルミ製エッジ、ステンレス巾木、グレビティヒンジ、表示錠、戸当り、付属金物一式	
室名	２階：普通教室（普通教室棟）		２階：男子便所１（管理教室棟）	

符号名称数量	2/TB　トイレブース	1	3/TB　トイレブース	1
姿図				
見込　硝子	40		40	
仕上	メラミン樹脂化粧板（芯材：パーティクルボード）		メラミン樹脂化粧板（芯材：パーティクルボード）	
金物	アルミ製エッジ、ステンレス巾木、グレビティヒンジ、表示錠、戸当り、付属金物一式		アルミ製エッジ、ステンレス巾木、グレビティヒンジ、表示錠、戸当り、付属金物一式	
室名	２階：女子便所１（管理教室棟）		２階：女子便所１（管理教室棟）	

特記事項

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

設計年月日		工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-105 （原図：A2）
		図面名称	新設　建具表№２	縮尺	1/50

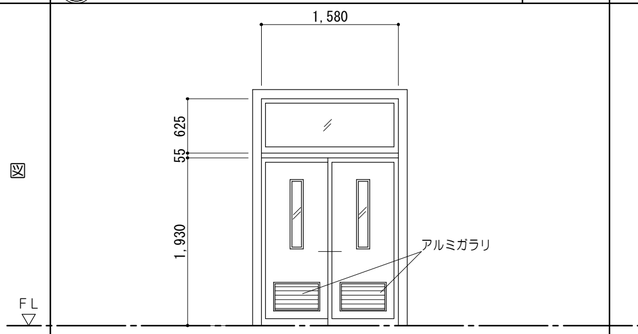
建具表No.３＜カバー工法部分改修建具＞

1/50、1/100

31 AD　ランマＦＩＸ付引違イアルミドア　＜カバー工法＞

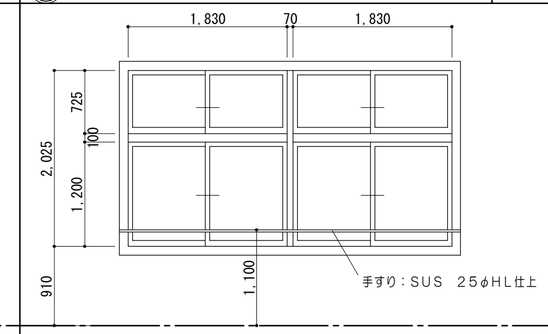
符号名称数量	1
見込　硝子	１００　学校用強化ガラスァ４
仕　上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金　物	シリンダー錠、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室　名	１階：廊下（普通教室棟）

姿　図



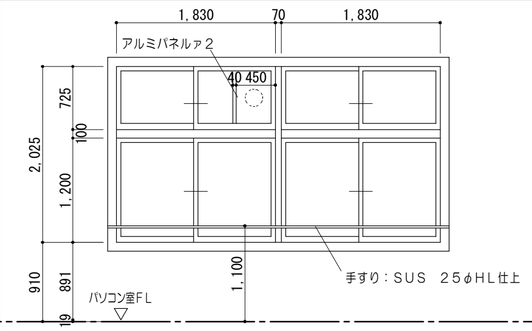
1 AW　ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ　＜カバー工法＞

符号名称数量	１０
見込　硝子	７０　学校用強化ガラスァ４（ランマ共）
仕　上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金　物	アングルピース、クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室　名	１階：普通教室、職員室、図書室（管理教室棟） ２階：特別支援学級１、特別支援学級２、普通教室（管理教室棟）



1A AW　ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ　＜カバー工法＞

符号名称数量	１４
見込　硝子	７０　学校用強化ガラスァ４（ランマ共）
仕　上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金　物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室　名	１階：普通教室、宿直室、倉庫２、職員室、校長室、保健室、図書室（管理教室棟） ２階：パソコン室、特別支援学級１、特別支援学級２、相談室１・２、普通教室（管理教室棟）

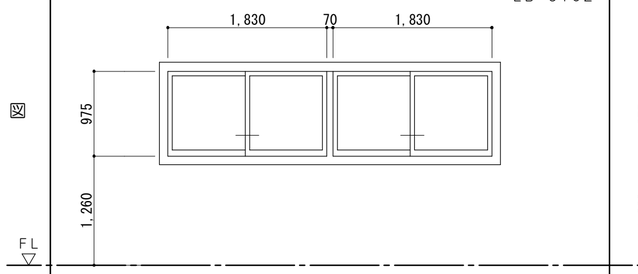


3 AW　3B AW　２連引違イアルミサッシ　＜カバー工法＞

符号名称数量	３　：７ ３Ｂ：２
見込　硝子	７０　３　：学校用強化ガラスァ４ ３Ｂ：網入りガラスァ６．８
仕　上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金　物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室　名	１、２階：廊下（管理教室棟）

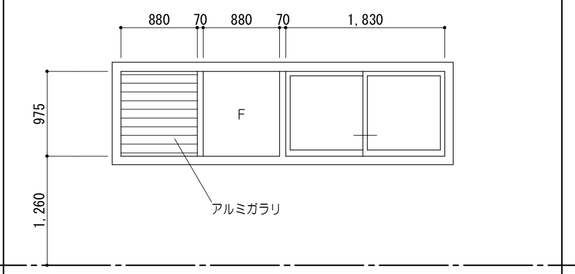
※３Ｂは防火設備
大臣認定品
ＥＢ－９１０２

姿　図



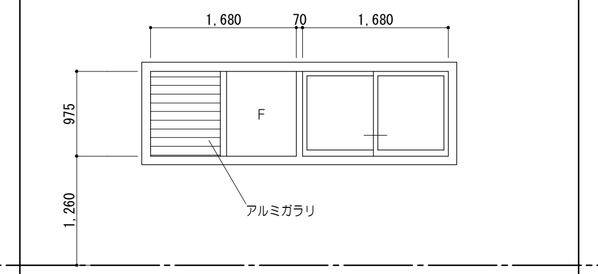
3D AW　ガラリＦＩＸ付引違イアルミサッシ　＜カバー工法＞

符号名称数量	２
見込　硝子	７０　学校用強化ガラスァ４
仕　上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金　物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室　名	２階：廊下（管理教室棟）



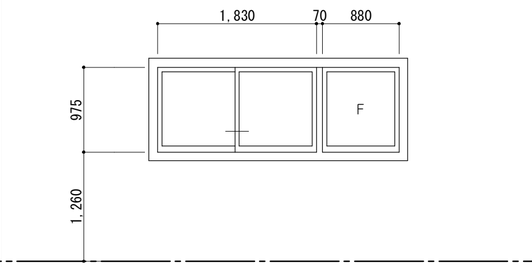
4A AW　２連引違イアルミサッシ　＜カバー工法＞

符号名称数量	２
見込　硝子	７０　学校用強化ガラスァ４
仕　上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金　物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室　名	１階・２階：廊下（管理教室棟）



5 AW　ＦＩＸ付引違イアルミサッシ　＜カバー工法＞

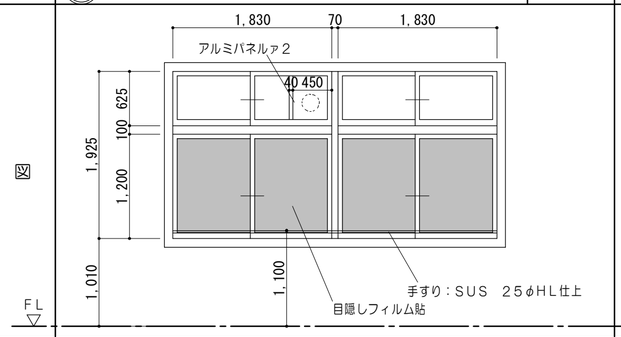
符号名称数量	２
見込　硝子	７０　学校用強化ガラスァ４
仕　上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金　物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室　名	１階・２階：廊下（管理教室棟）



7 AW　ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ　＜カバー工法＞

符号名称数量	１
見込　硝子	７０　学校用強化ガラスァ４（型）（ランマ共）
仕　上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金　物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室　名	２階：女子便所１（管理教室棟）　３階：女子便所１（管理教室棟）：フィルム貼のみ

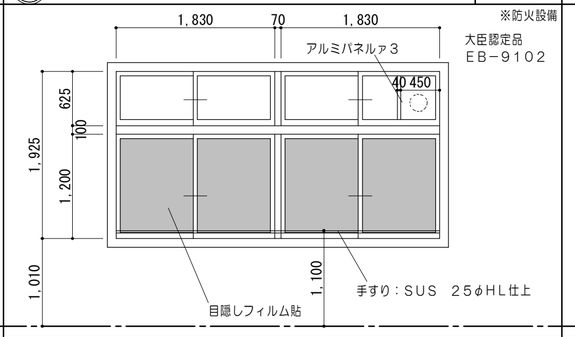
姿　図



7A AW　ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ　＜カバー工法＞

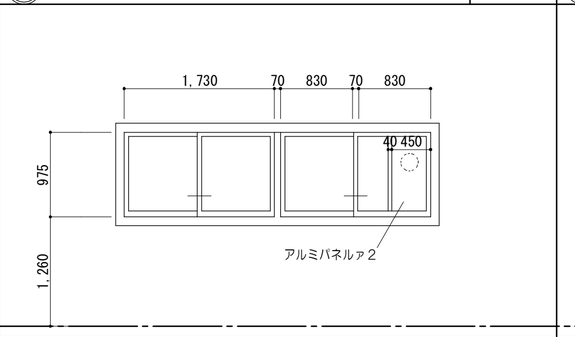
符号名称数量	１
見込　硝子	７０　網入り型ガラスァ６．８（ランマ共）
仕　上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金　物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室　名	２階：男子便所１（管理教室棟）　３階：男子便所１（管理教室棟）：フィルム貼のみ

※防火設備
大臣認定品
ＥＢ－９１０２



8A AW　ガラリＦＩＸ付２連引違イアルミサッシ　＜カバー工法＞

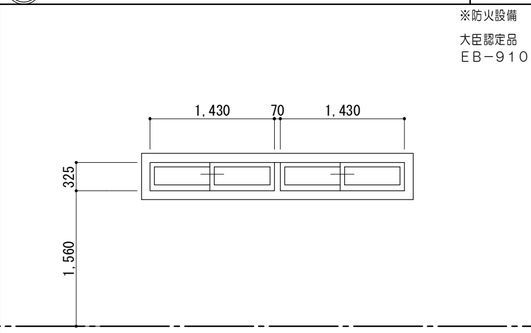
符号名称数量	１
見込　硝子	７０　学校用強化ガラスァ４
仕　上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金　物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室　名	２階：配膳室（管理教室棟）



10 AW　２連引違イアルミサッシ　＜カバー工法＞

符号名称数量	１
見込　硝子	７０　網入り型ガラスァ６．８
仕　上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金　物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室　名	１階：職員男子便所（管理教室棟）

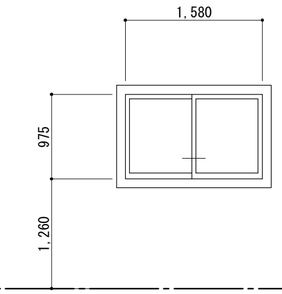
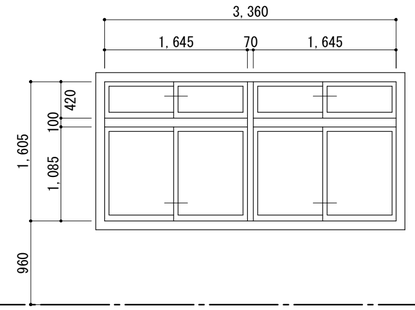
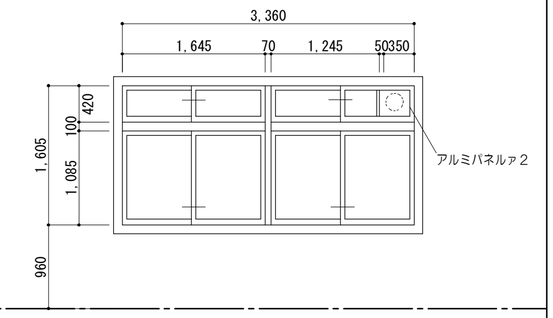
※防火設備
大臣認定品
ＥＢ－９１０２

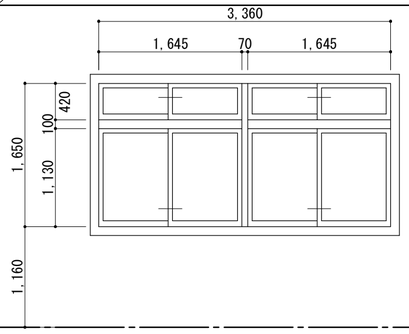
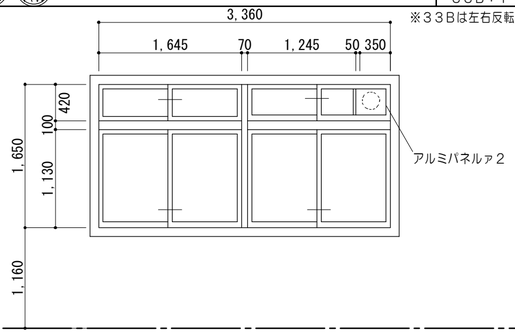
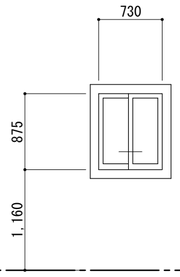
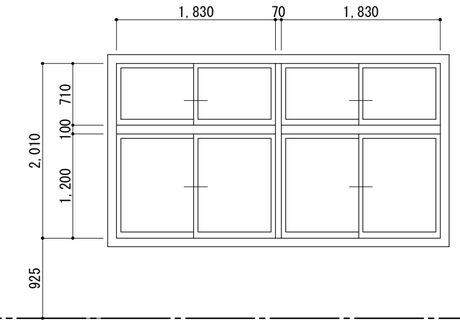


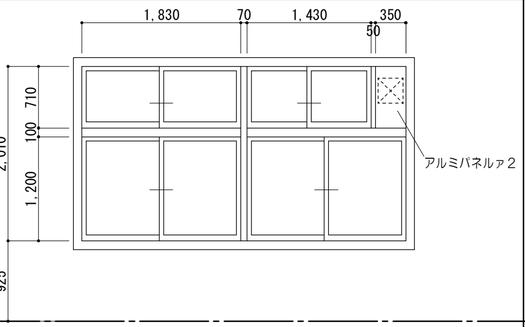
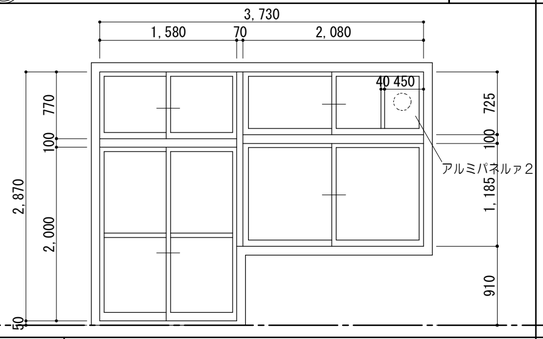
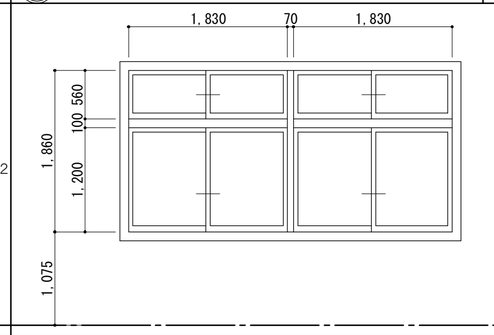
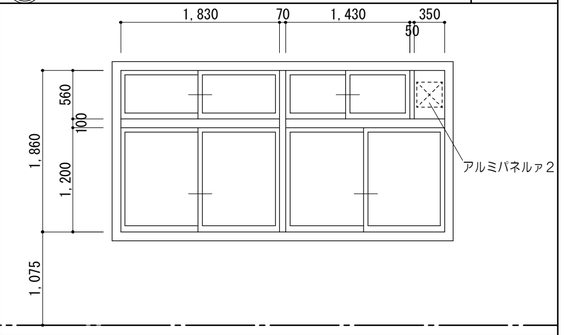
特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社　前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-106 （原図：A2）
				図面名称	新設　建具表No.３	縮尺	1/50.100

建具表No.4 ＜カバー工法部分改修建具＞

1/50

符号名称数量	11 AW / 11A AW 引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞ 11：1 11A：1		31 AW ランマ引違イ付2連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞ 1	31A AW ランマ引違イ付2連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞ 1
姿図	※11Aは防火設備 大臣認定品 EB−9102 			
見込 硝子	70 11：学校用強化ガラスァ4 11A：網入りガラスァ6．8		70 学校用強化ガラスァ4（ランマ共）	70 学校用強化ガラスァ4（ランマ共）
仕上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（B種）		アルミ陽極酸化塗装皮膜（B種）	アルミ陽極酸化塗装皮膜（B種）
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式		クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室名	1、2階：廊下（管理教室棟）		1階：国際教室（普通教室棟）	1階：国際教室（普通教室棟）

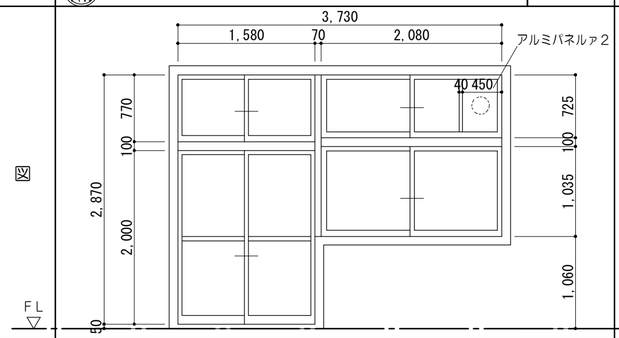
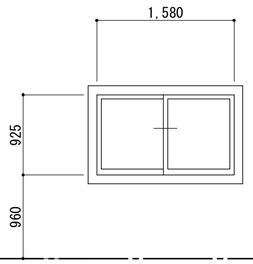
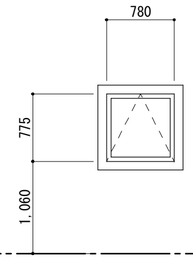
符号名称数量	33 AW ランマ引違イ付2連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞ 2	33A AW / 33B AW ランマ引違イ付2連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞ 33A：1 33B：1	34 AW 引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞ 2	53 AW ランマ引違イ付2連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞ 1
姿図		※33Bは左右反転 		
見込 硝子	70 学校用強化ガラスァ4	70 学校用強化ガラスァ4	70 学校用強化ガラスァ4	70 学校用強化ガラスァ4（ランマ部：型）
仕上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（B種）	アルミ陽極酸化塗装皮膜（B種）	アルミ陽極酸化塗装皮膜（B種）	アルミ陽極酸化塗装皮膜（B種）
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室名	2階：普通教室（普通教室棟）	2階：普通教室（普通教室棟）	2階：渡り廊下（普通教室棟）	2階：第1理科準備室（特別教室棟B）

符号名称数量	53A AW ランマ引違イ付2連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞ 3	54 AW ランマ引違イ付2連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞ 2	56 AW ランマ引違イ付2連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞ 2	56A AW ランマ引違イ付2連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞ 3
姿図				
見込 硝子	70 学校用強化ガラスァ4（ランマ部：型）	70 学校用強化ガラスァ4（ランマ部：型）	70 学校用強化ガラスァ4	70 学校用強化ガラスァ4
仕上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（B種）	アルミ陽極酸化塗装皮膜（B種）	アルミ陽極酸化塗装皮膜（B種）	アルミ陽極酸化塗装皮膜（B種）
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室名	2階：第1理科室（特別教室棟B）	2階：第1理科室（特別教室棟B）	1階：金工室、木工室（特別教室棟B）	1階：金工室、木工室（特別教室棟B）

特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-107（原図：A2）
					図面名称	新設 建具表No.4	縮尺	1/50

建具表No.5＜カバー工法部分改修建具＞

1/50

符号名称数量	57 AW ランマ引違イ付2連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞		58 AW 引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	1	59 AW とり出シアルミサッシ ＜カバー工法＞	1	
姿図							
見込	70	学校用強化ガラスァ4	70	学校用強化ガラスァ4	70	学校用強化ガラスァ4	
仕上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（B種）		アルミ陽極酸化塗装皮膜（B種）		アルミ陽極酸化塗装皮膜（B種）		
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式		クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式		クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式		
室名	1階：木工室（特別教室棟B）		2階：第1理科準備室（特別教室棟B）		2階：第1理科準備室（特別教室棟B）		

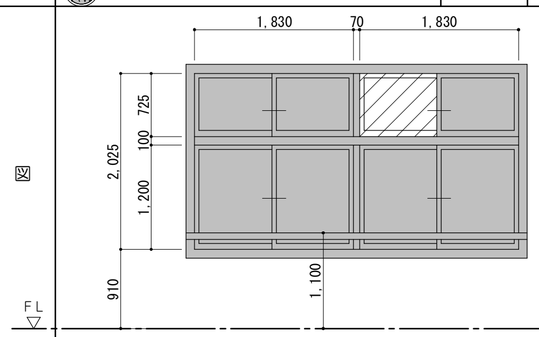
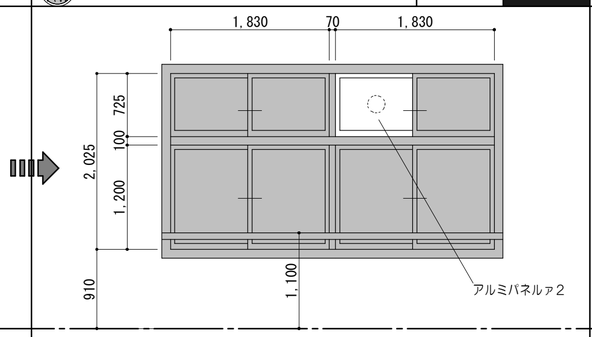
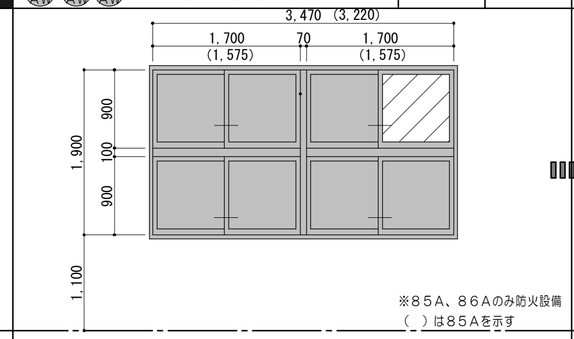
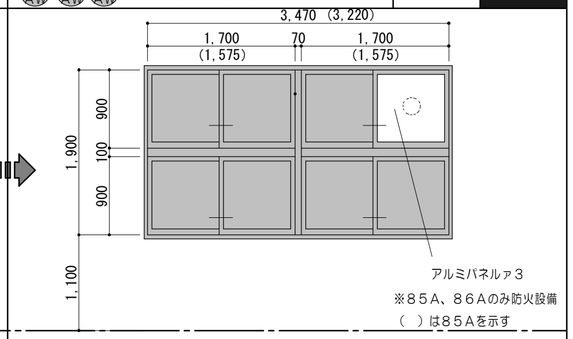
符号名称数量	
姿図	
見込	
仕上	
金物	
室名	

符号名称数量	
姿図	
見込	
仕上	
金物	
室名	

特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-108（原図:A2）
					図面名称	新設 建具表No.5	縮尺	1/50

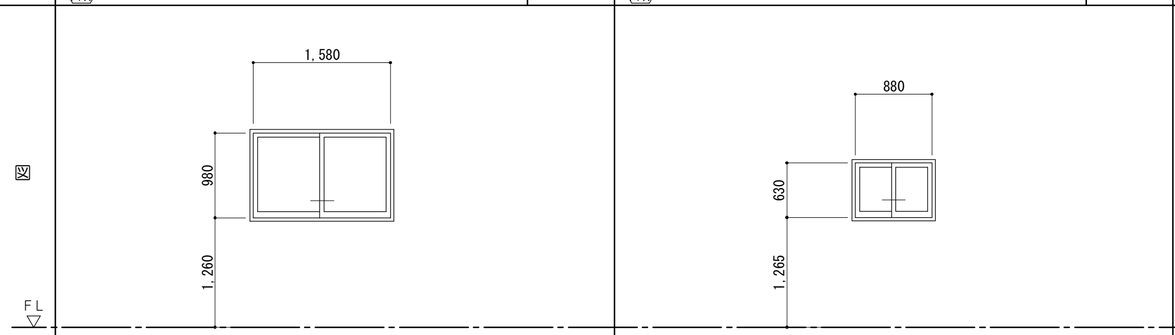
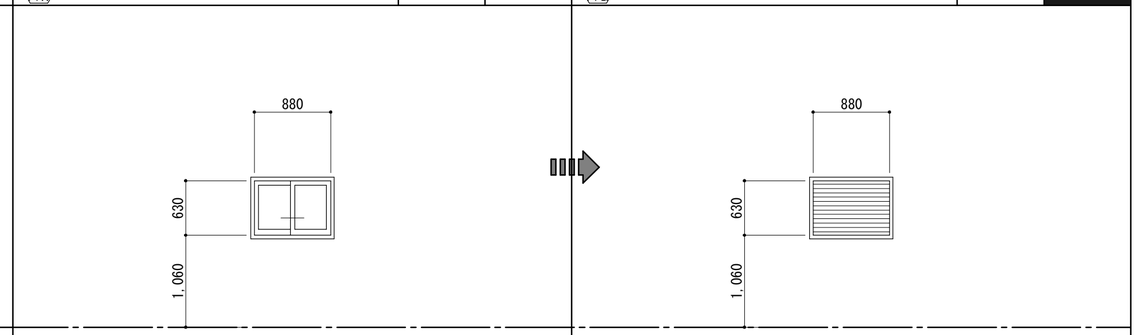
＜パネル入替建具＞

1/50　※ パネル入替部分　既設のまま

符号名称数量	1C AW ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	4	改修前	1C AW ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	4	改修後	80A AW 85A AW 86A AW ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ	4	改修前	80A AW 85A AW 86A AW ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ	4	改修後
姿図												
見込　硝子	７０	トーメイァ４（ランマ：トーメイァ３）		７０	トーメイァ４（ランマ：トーメイァ３）		７０	網入トーメイァ６．８		７０	網入トーメイァ６．８	
仕上	アルミ			アルミ			アルミ			アルミ		
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切			クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切			クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式			クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式		
室名	１階：宿直室、保健室、図書室（管理教室棟）			１階：宿直室、保健室、図書室（管理教室棟）			２階：特別支援学級１、特別支援学級２、パソコン室			２階：特別支援学級１、特別支援学級２、パソコン室		

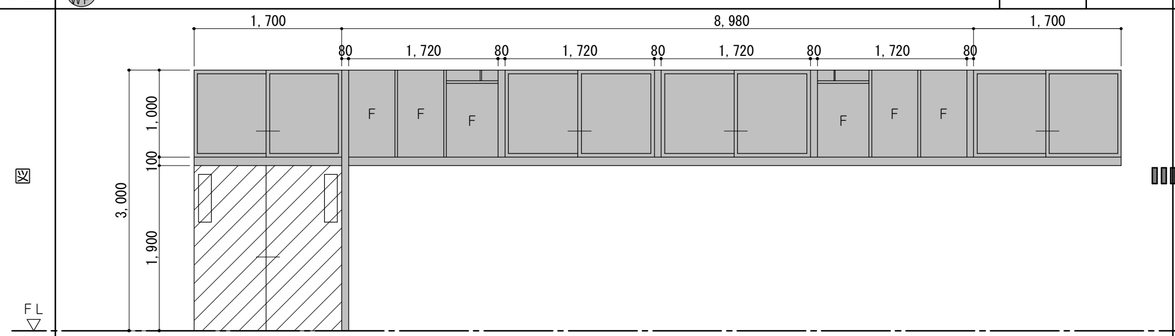
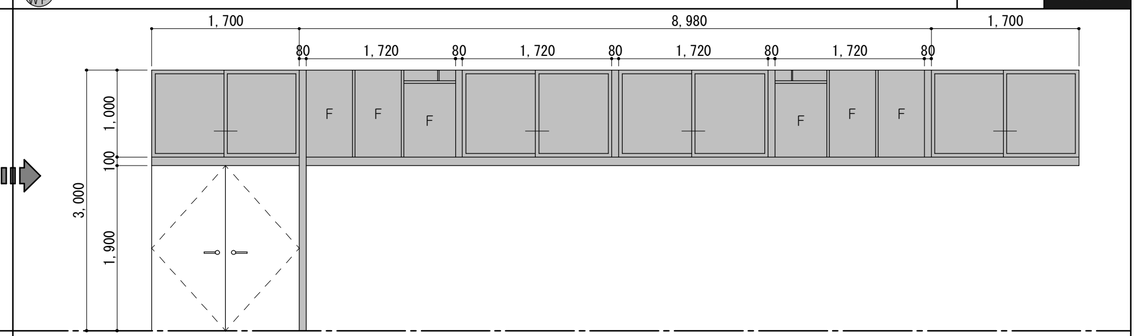
＜ガラス入替（第２期）＞

1/50

符号名称数量	3A AW 引違イアルミサッシ	8	5.5 AW 引違イアルミサッシ	2	55A AW アルミガラリ	1	改修前	55A AG アルミガラリ	1	改修後
姿図										
見込　硝子	７０	トーメイァ５　→　学校用強化ガラスァ４	７０	トーメイァ５　→　学校用強化ガラスァ４	７０	トーメイァ５		７０	アルミガラリ	
室名	１階：廊下（管理教室棟） ２階：廊下（管理教室棟）		１階：金工室（特別教室棟Ｂ）		１階：金工室（特別教室棟Ｂ）			１階：金工室（特別教室棟Ｂ）		

＜仮設戸入替建具（第２期）＞

1/50　※ 扉のみ撤去　既設のまま

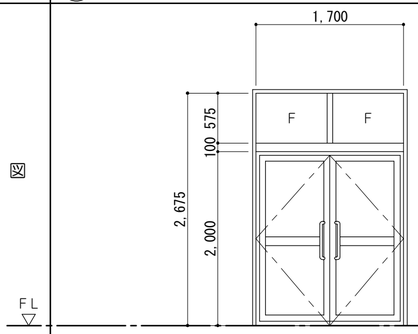
符号名称数量	6 WP 木製パーテーション	1	改修前	6 WP 木製パーテーション	1	改修後
姿図						
仕上	戸：ラワン合板ァ４　フラッシュ　窓枠：ヒノキ　ＯＰ			仮設戸：ラワン合板ァ４　フラッシュ		
金物	ステンレスレール、戸車、シリンダー錠、付属金物一式			仮設戸：レバーハンドル、サムターンシリンダー錠、ＤＣ、丁番、落シロ		
室名	１階：図書室（管理教室棟）			１階：図書室（管理教室棟）		

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-109 （原図：A2）
				図面名称	新設　パネル入替建具、ガラス入替建具、仮設戸入替建具	縮尺	1/50

建具表No. 1 ＜既設建具＞　1/50

符号	名称	数量
30 AD	ランマＦＩＸ付両開キアルミドア	1

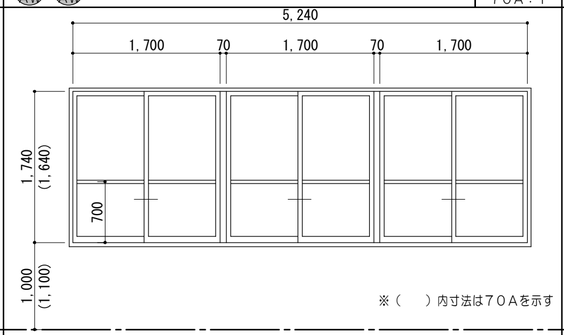
姿図



見込	硝子	100	網入りガラスァ6．8（ランマ：トーメイァ5）
仕上	アルミ		
金物	フロアヒンジ、シリンダー錠、フランス落シ、押板取手、付属金物一式		
室名	1階：廊下（普通教室棟）		

符号	名称	数量
70 AW / 70A AW	3連引違イアルミサッシ（中桟付）	70 ：1 70A：1

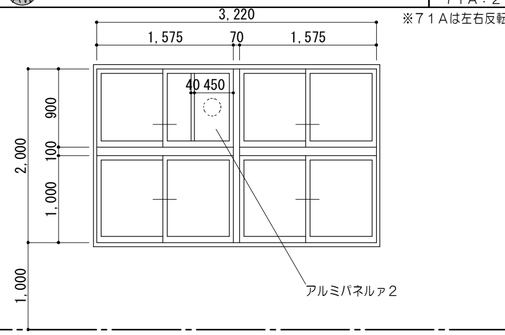
姿図



見込	硝子	70	トーメイァ5
仕上	アルミ		
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式		
室名	1階：廊下（特別教室棟A） 2階：廊下（特別教室棟A）		

符号	名称	数量
71 AW / 71A AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ	71 ：1 71A：2

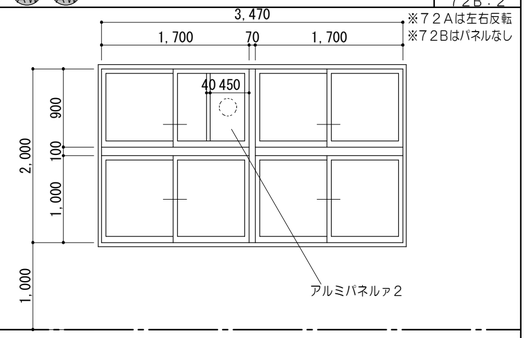
姿図



見込	硝子	70	トーメイァ5（ランマ：スリガラスァ5）
仕上	アルミ		
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式		
室名	1階：美術室、第2理科室（特別教室棟A）		

符号	名称	数量
72 AW / 72A AW / 72B AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ	72 ：2 72A：5 72B：2

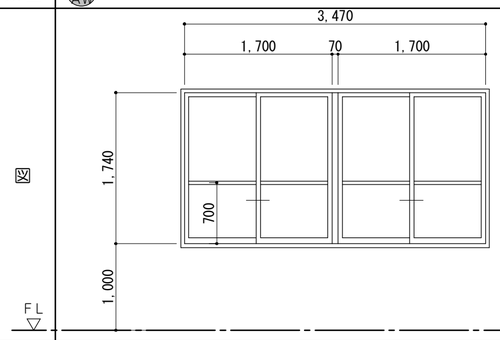
姿図



見込	硝子	70	トーメイァ5（ランマ：スリガラスァ5）
仕上	アルミ		
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式		
室名	1階：美術室、準備室、第2理科室（特別教室棟A）		

符号	名称	数量
73 AW	2連引違イアルミサッシ（中桟付）	3

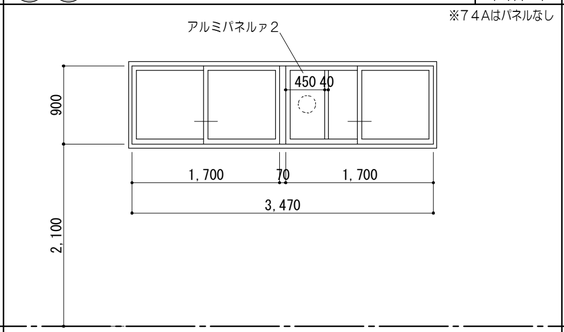
姿図



見込	硝子	70	トーメイァ5
仕上	アルミ		
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式		
室名	1階：廊下（特別教室棟A）		

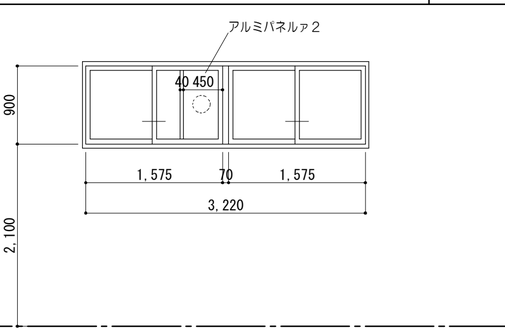
符号	名称	数量
74 AW / 74A AW	2連引違イアルミサッシ	74 ：1 74A：1

※74Aはパネルなし



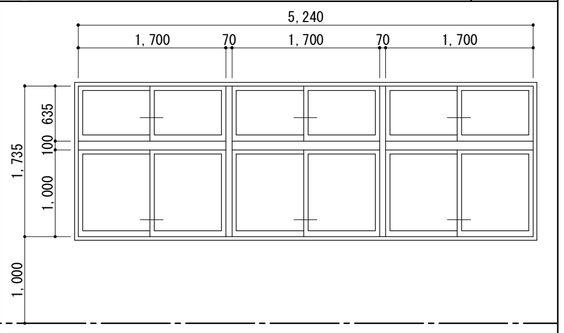
見込	硝子	70	スリガラスァ5
仕上	アルミ		
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式		
室名	1階：美術室（特別教室棟A）		

符号	名称	数量
75 AW	2連引違イアルミサッシ	1



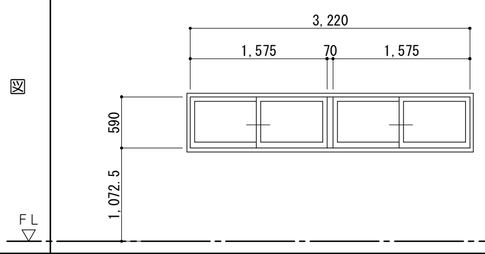
見込	硝子	70	スリガラスァ5
仕上	アルミ		
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式		
室名	1階：美術室（特別教室棟A）		

符号	名称	数量
76 AW	ランマ引違イ付３連引違イアルミサッシ	1



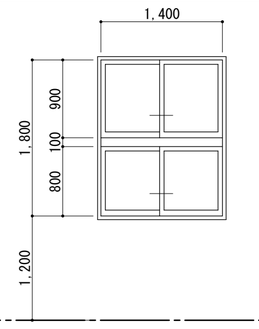
見込	硝子	70	トーメイァ5（ランマ：スリガラスァ5）
仕上	アルミ		
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式		
室名	1階：美術室（特別教室棟A）		

符号	名称	数量
77 AW	2連引違イアルミサッシ	1



見込	硝子	70	型ガラスァ4
仕上	アルミ		
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式		
室名	1階：倉庫（特別教室棟A）		

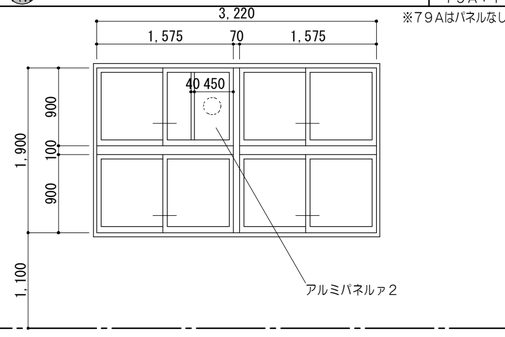
符号	名称	数量
78 AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ	2



見込	硝子	70	型ガラスァ4
仕上	アルミ		
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式		
室名	1階：男子便所5、女子便所5（特別教室棟A）		

符号	名称	数量
79 AW / 79A AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ	79 ：1 79A：1

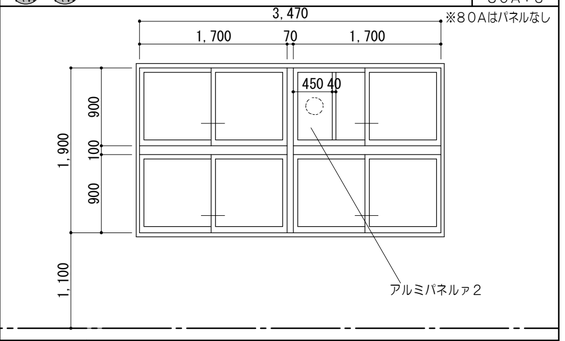
※79Aはパネルなし



見込	硝子	70	トーメイァ5（ランマ：スリガラスァ5）
仕上	アルミ		
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式		
室名	2階：普通教室、パソコン室（特別教室棟A）		

符号	名称	数量
80 AW / 80A AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ	80 ：1 80A：3

※80Aはパネルなし



見込	硝子	70	トーメイァ5（ランマ：スリガラスァ5）
仕上	アルミ		
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式		
室名	2階：普通教室、パソコン室（特別教室棟A）		

特記事項

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

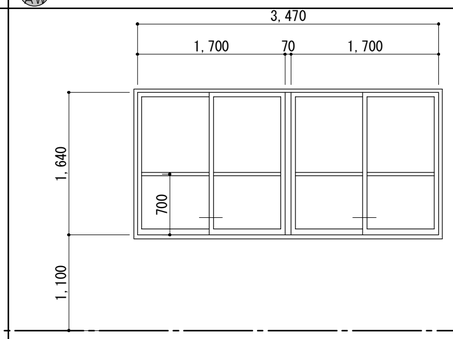
設計年月日		工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-110（原図：A2）
		図面名称	既設 建具表No. 1	縮尺	1/50

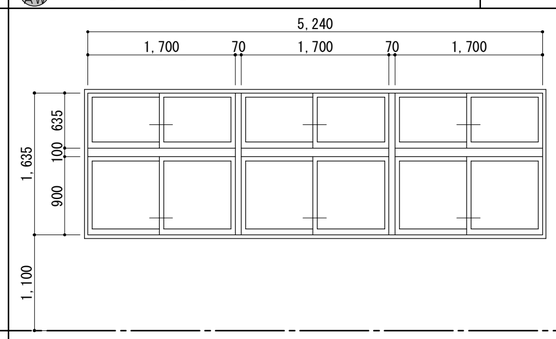
建具表No.２＜既設建具）＞

1/50

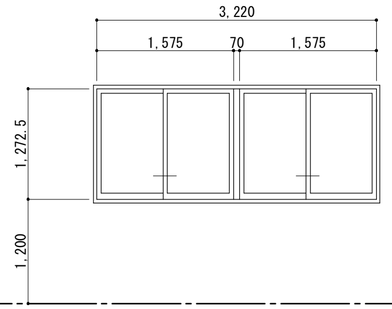
符号	名称	数量	見込	硝子	仕上	金物	室名
81 AW	２連引違イアルミサッシ（中桟付）	3	70	トーメイァ5	アルミ	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	２階：廊下（特別教室棟Ａ）
82 AW	ランマ引違イ付３連引違イアルミサッシ	1	70	トーメイァ5（ランマ：スリガラスァ5）	アルミ	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	２階：普通教室（特別教室棟Ａ）
83 AW	２連引違イアルミサッシ	1	70	網入トーメイァ6．8	アルミ	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	２階：階段室（特別教室棟Ａ）
84 AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ	2	70	網入型ガラスァ6．8	アルミ	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	２階：男子便所6、女子便所6（特別教室棟Ａ）

姿図

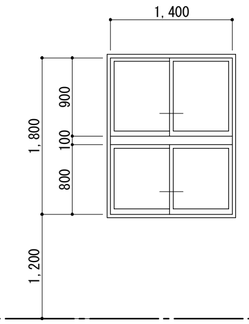




※防火設備

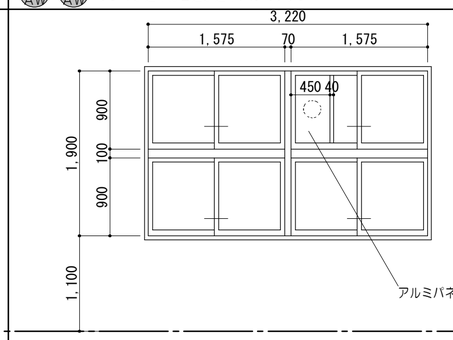


※防火設備

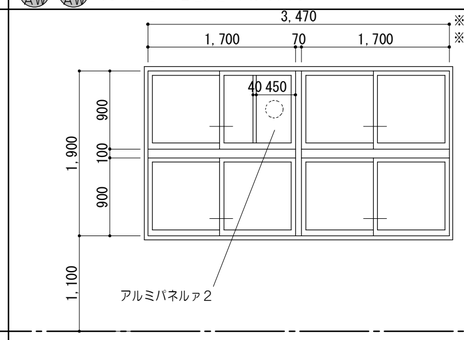


符号	名称	数量	見込	硝子	仕上	金物	室名
85 AW / 85A AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ	85：1 85A：1	70	網入トーメイァ6．8	アルミ	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	２階：廊下（特別教室棟Ａ）
86 AW / 86A AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ	86：2 86A：5	70	網入トーメイァ6．8	アルミ	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	２階：普通教室、パソコン室（特別教室棟Ａ）
2 SD	片開キアングルスチールドア	1	70		鉄板ァ1．6　OP塗装	丁番、本締錠、取手、付属金物一式	１階：ＤＳ部
30 SD	両袖・ランマＦＩＸ付両開キスチールドア	2	100	網入りトーメイァ6．8（ランマ：トーメイァ5）	鉄板ァ1．6　OP塗装	フロアヒンジ、シリンダー錠、フランス落シ、押板取手、付属金物一式	１階：昇降口（普通教室棟）

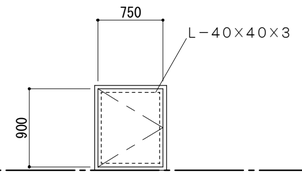
姿図

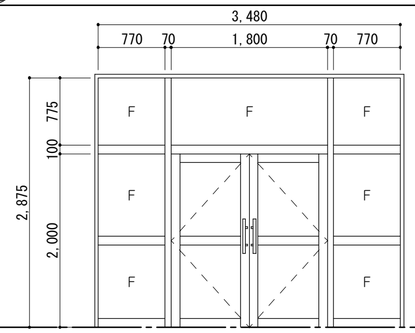


※防火設備
※85Aはパネルなし



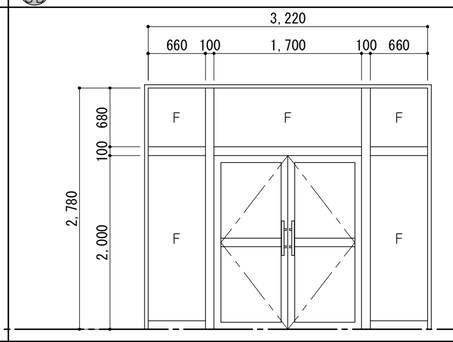
※防火設備
※86Aはパネルなし

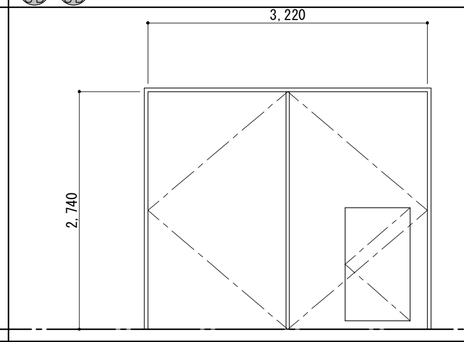


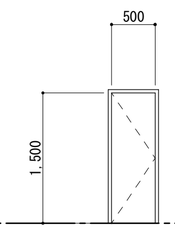


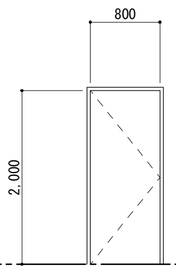
符号	名称	数量	見込	硝子	仕上	金物	室名
70 SD	両袖・ランマＦＩＸ付両開キスチールドア	1	100	網入トーメイァ6．8（ランマ：トーメイァ5）	アルミ	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	１階：廊下（特別教室棟Ａ）
71 SD / 71A SD	随時閉鎖式くぐり戸付両開キスチールドア	71：1 71A：1	80		アルミ	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	２階：普通教室、準備室、特別支援学級１、特別支援学級２、パソコン室（特別教室棟Ａ）
72 SD	片開キスチールドア	2	100		亜鉛メッキ鋼板ァ1．6　フラッシュ　防錆塗装の上ＳＯＰ	丁番、握玉	１階：男子便所５（特別教室棟Ａ） ２階：男子便所５（特別教室棟Ａ）
73 SD	片開キスチールドア	1	100		亜鉛メッキ鋼板ァ1．6　フラッシュ　防錆塗装の上ＳＯＰ	丁番、ＤＣ、シリンダー錠付握玉	１階：倉庫（特別教室棟Ａ）

姿図









特記事項	

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

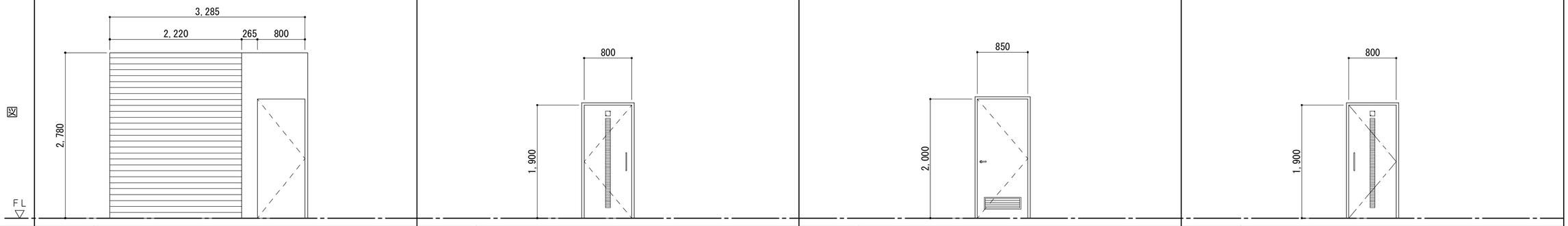
一級建築士	第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-111（原図：A2）
			図面名称	既設 建具表No.２	縮尺	1/50

建具表No.３＜既設建具＞

1/50

符号	名称	数量
70 SS	くぐり戸付重量スプリング式スチールシャッター	1
2 LSD	片開キ軽量スチールドア	1
3 LSD	片開キ軽量スチールドア	1
4 LSD	片開キ軽量スチールドア	1

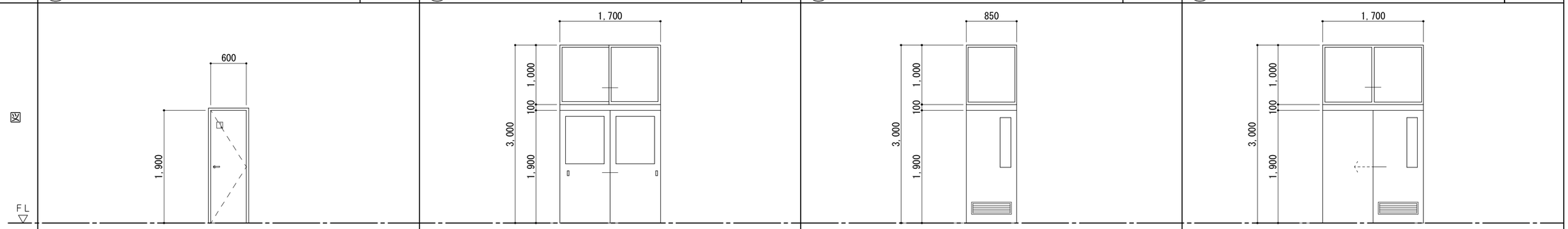
姿図



	70 SS	2 LSD	3 LSD	4 LSD
見込		130	130	130
硝子		スリガラスァ3		スリガラスァ3
仕上	亜鉛メッキ鋼板ァ1.6　防錆塗装の上SOP塗装	化粧鋼板ァ0.6	化粧鋼板ァ0.6	化粧鋼板ァ0.6
金物	シャッターBOX（ァ1.6）、スチール三方枠、付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠、丁番、戸当り、付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠、丁番、戸当り、付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠、丁番、戸当り、付属金物一式
室名	2階：廊下（特別教室棟A）	1階：職員男子便所（管理教室棟）	1階：倉庫（管理教室棟）	1階：職員女子便所（管理教室棟）

符号	名称	数量
5 SD	片開キ軽量スチールドア	1
5 WD	ランマ引違イ付・引違イ木製フラッシュドア	1
6 WD	片引キ木製フラッシュドア	1
7 WD	片引キ木製フラッシュドア	1

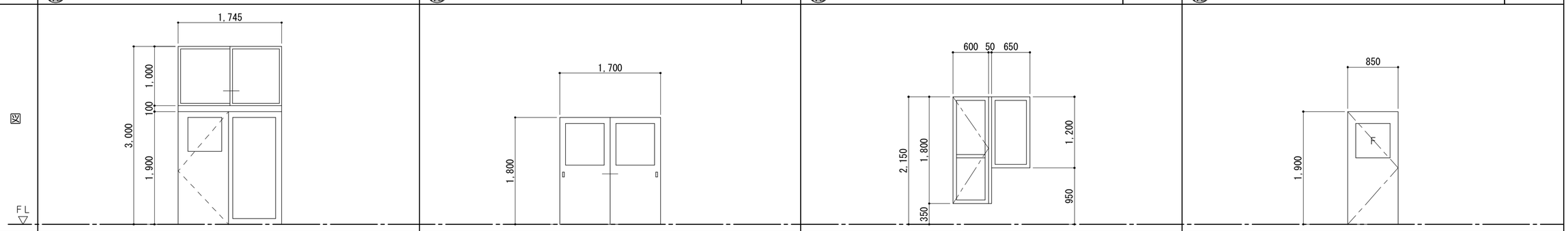
姿図



	5 SD	5 WD	6 WD	7 WD
見込	130	36	36	36
硝子	スリガラスァ3	トーメイァ3	スリガラスァ3	スリガラスァ3
仕上	化粧鋼板ァ0.6	ラワン合板ァ4　フラッシュ　OP	ラワン合板ァ4　フラッシュ　OP（ランマ共）	ラワン合板ァ4　フラッシュ　OP（ランマ共）
金物	レバーハンドル、シリンダー錠、丁番、戸当り、付属金物一式	引手、戸車、シリンダー錠、付属金物一式	引手、戸車、付属金物一式	引手、戸車、付属金物一式
室名	1階：更衣スペース（管理教室棟）	1階：湯沸室（管理教室棟）	1階：前室（管理教室棟）	1階：倉庫1（管理教室棟）

符号	名称	数量
8 WD	ランマ引違イ付・片開キ木製フラッシュドア	1
9 WD	引違イ木製フラッシュドア　WD−6→WD−9	1
10 WD	片開キ木製ドア	1
11 WD	片開キ木製ドア	2

姿図



	8 WD	9 WD	10 WD	11 WD
見込	36	36	36	
硝子	スリガラスァ3（ランマ：トーメイァ3）	トーメイァ3	スリガラスァ3	
仕上	ラワン合板ァ4　フラッシュ　OP（ランマ共）	ラワン合板ァ4　フラッシュ　OP		ラワン合板ァ4　フラッシュ　OP
金物	握玉、丁番、シリンダー錠、付属金物一式	引手、戸車、シリンダー錠、付属金物一式	引手、丁番、付属金物一式	丁番、握玉、付属金物一式
室名	1階：校長室（管理教室棟）	1階：印刷室（管理教室棟）	1階：浴室（管理教室棟）	1階：倉庫1、職員室（管理教室棟）

特記事項

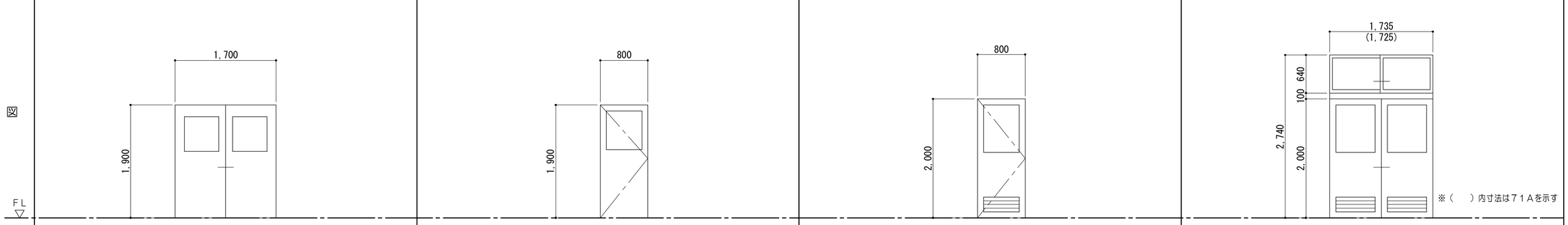
一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-112（原図:A2）
	図面名称	既設 建具表No.3	縮尺	1/50

建具表No. 4 ＜既設建具＞　1/50

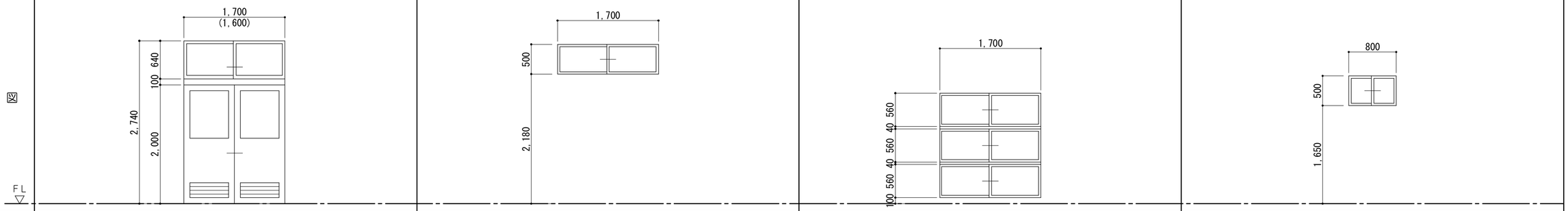
符号	名称	数量	見込	硝子	仕上	金物	室名
50 WD	引違イ木製フラッシュドア	1	36	トーメイァ3	ラワン合板　フラッシュ　OP	引手、戸車、付属金物一式	1階：金工室（特別教室棟B）
51 WD	片開キ木製フラッシュドア	3	36	スリガラスァ3	ラワン合板ァ4　フラッシュ　OP	丁番、握玉、付属金物一式	1階：金工室、準備室、木工室（特別教室棟B）
70 WD	片開キ木製フラッシュドア	4	36	トーメイァ5	シナ合板フラッシュァ4	丁番、シリンダー錠、DC、付属金物一式	1階：準備室（特別教室棟A） 2階：準備室、特別支援学級2（特別教室棟A）
71 WD / 71A WD	ランマ引違イ付・引違イ木製フラッシュドア	71：3 71A：1	36	トーメイァ5	シナ合板フラッシュァ4　SOP塗	引手、ステンレスレール、戸車、シリンダー錠、ステンレス敷居、付属金物一式	1階：第2理科室、美術室（特別教室棟A） 2階：パソコン室、普通教室（特別教室棟A）

姿図



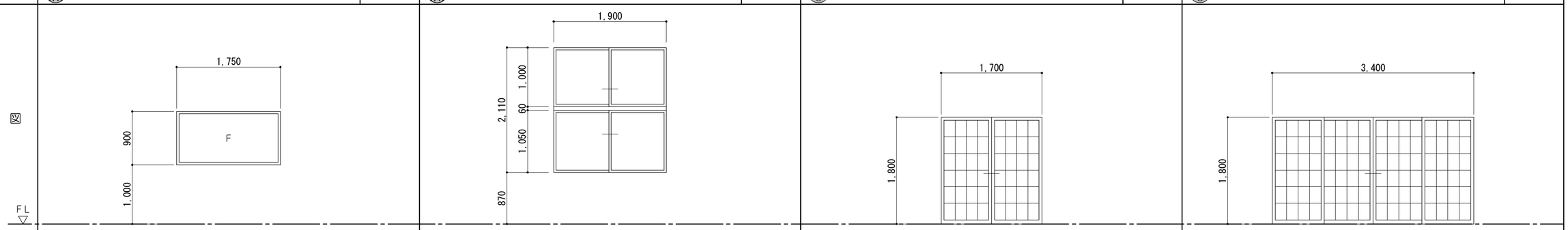
符号	名称	数量	見込	硝子	仕上	金物	室名
72 WD / 72A WD	ランマ引違イ付・引違イ木製フラッシュドア	72：5 72A：1	36	トーメイァ5	シナ合板フラッシュァ4　SOP塗	引手、ステンレスレール、戸車、シリンダー錠、ステンレス敷居、付属金物一式	1階：準備室、作業室（特別教室棟A） 2階：準備室、特別支援学級1、特別支援学級2（特別教室棟A）
3 WW	引違イ木製サッシ	1	70	型ァ2	ヒノキー等　OP	引手、付属金物一式（4Aは水平ルーバー付）	1階：湯沸室（管理教室棟）
4 WW	引違イ木製サッシ	1	36	トーメイァ3	ヒノキー等　OP	引手、戸車、シリンダー錠、付属金物一式	1階：湯沸室（管理教室棟）
5 WW / 5A WW	引違イ木製サッシ	5：1 5A：1	70	型ァ2	ヒノキー等　OP	引手、付属金物一式（5Aは水平ルーバー付）	1階：湯沸室、浴室（管理教室棟）

姿図



符号	名称	数量	見込	硝子	仕上	金物	室名
6 WW	FIX木製サッシ	1	36	トーメイァ3	ヒノキー等　OP	付属金物一式	1階：倉庫1（管理教室棟）
7 WW	ランマ引違イ付引違イアルミサッシ	1	70	トーメイァ4（ランマ：スリァ3）	ヒノキー等　OP	引手、付属金物一式	1階：倉庫2（管理教室棟）
1 S	引分障子戸	1	36	スリガラス	ヒノキー等	引手、付属金物一式	1階：和室（管理教室棟）
2 S	引分障子戸	1	36	スリガラス	ヒノキー等　OP	引手、付属金物一式	1階：和室（管理教室棟）

姿図



特記事項	

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

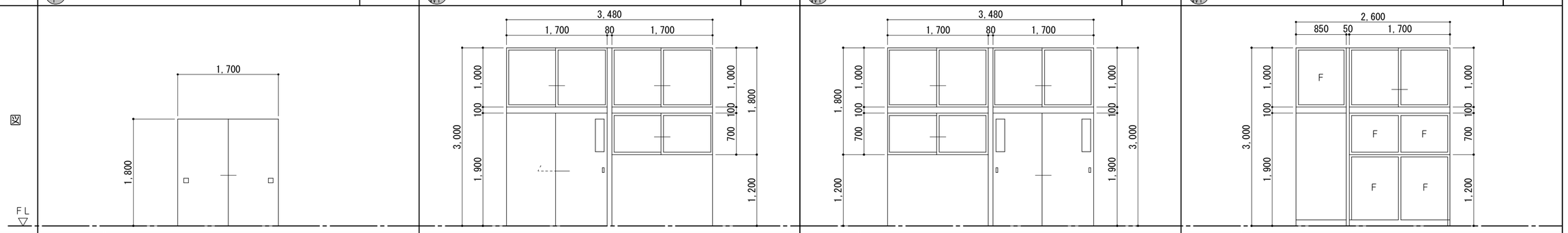
一級建築士	第304509号 水谷　浩	設計年月日		工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-113（原図：A2）
		図面名称	既設 建具表No. 4	縮尺	1/50		

建具表No.5 ＜既設建具＞

1/50

符号	名称	数量
1 F	引違イ襖戸	1
2 WP	木製パーテーション	1
3 WP	木製パーテーション	1
4 WP	木製パーテーション	1

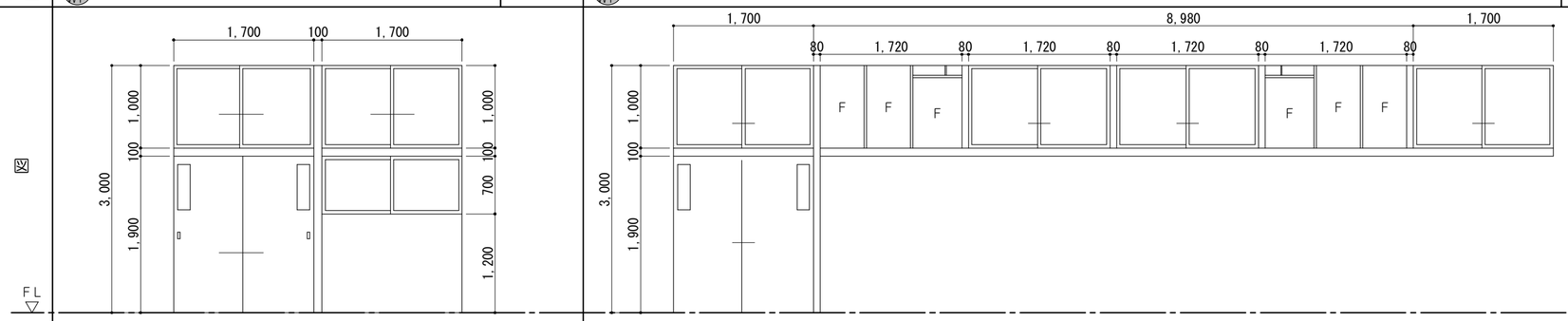
姿図



	1	2	3	4
見込	36	36 スリガラスァ3（ランマ：トーメイァ3）	36 スリガラスァ3（ランマ：トーメイァ3）	36 スリガラスァ3（ランマ：トーメイァ3）
仕上	ヒノキ ラワン合板 OP	ラワン合板ァ4 フラッシュ OP	ラワン合板ァ4 フラッシュ OP	ラワン合板ァ4 フラッシュ OP
金物	引手、付属金物一式	引手、戸車、シリンダー錠、付属金物一式	引手、戸車、シリンダー錠、付属金物一式	ステンレスレール、戸車、付属金物一式
室名	1階：和室（管理教室棟）	1階：職員室（管理教室棟）	1階：職員室（管理教室棟）	1階：職員室（管理教室棟）

符号	名称	数量
5 WP	木製パーテーション	1
6 WP	木製パーテーション	1

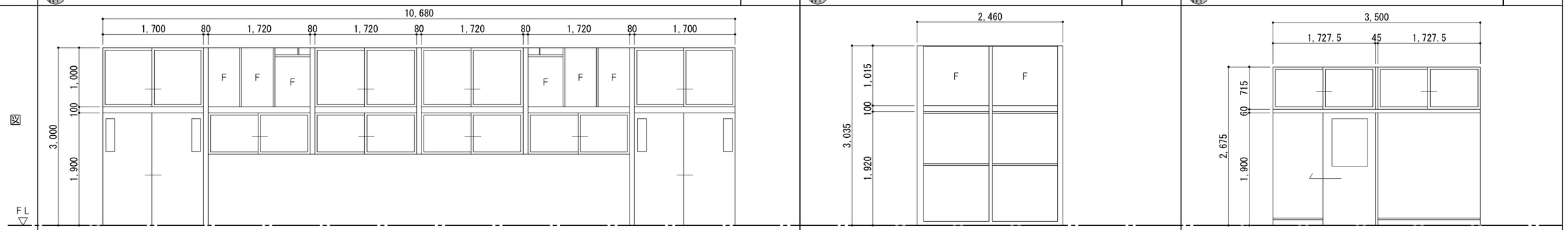
姿図



	5	6
見込	36 スリガラスァ3（ランマ：トーメイァ3）	36 トーメイァ5
仕上	ラワン合板ァ4 フラッシュ OP	戸：ラワン合板ァ4 フラッシュ 窓枠：ヒノキ OP
金物	ステンレスレール、戸車、シリンダー錠、付属金物一式	ステンレスレール、戸車、シリンダー錠、付属金物一式
室名	1階：保健室（管理教室棟）	1階：図書室（管理教室棟）

符号	名称	数量
7 WP	木製パーテーション	1
8 WP	木製パーテーション	1
31 WP	木製パーテーション	1

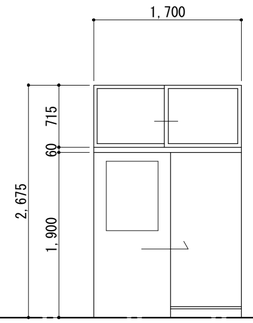
姿図



	7	8	31
見込	36 スリガラスァ3（ランマ：トーメイァ3）	36 スリガラスァ3	36 スリガラスァ3（ランマ：トーメイァ3）
仕上	戸：ラワン合板ァ4 フラッシュ 窓枠：ヒノキ OP	シナ合板フラッシュ	シナ合板フラッシュ
金物	ステンレスレール、戸車、シリンダー錠、付属金物一式		ステンレスレール、戸車、シリンダー錠、付属金物一式
室名	1階：調理室（管理教室棟）	1階：図書室（管理教室棟）	1階：国際教室（普通教室棟）

特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事
				図面名称	既設 建具表No.5
				図面番号	A-114（原図：A2）
				縮尺	1/50

建具表No.6 ＜既設建具＞ 1/50

符号名称数量	32 WP 木製パーテーション	1						
姿図								
見込	硝子	36	スリガラスァ3（ランマ：トーメイァ3）					
仕上	シナ合板フラッシュ							
金物	ステンレスレール、戸車、シリンダー錠、、付属金物一式							
室名	1階：国際教室（普通教室棟）							

符号名称数量								
姿図								
見込	硝子							
仕上								
金物								
室名								

符号名称数量								
姿図								
見込	硝子							
仕上								
金物								
室名								

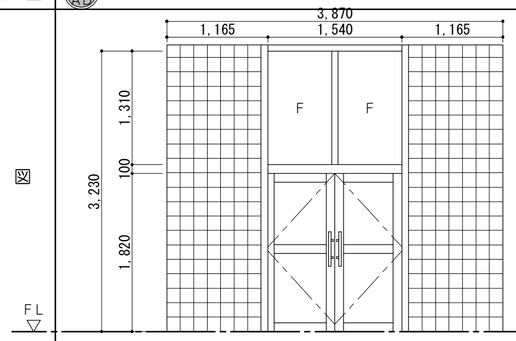
特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-115 (原図:A2)
					図面名称	既設 建具表No.6	縮尺	1/50

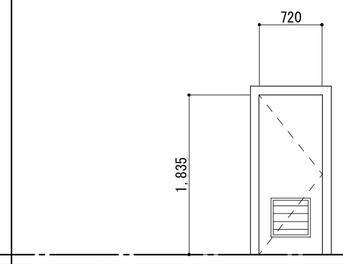
建具表No.7＜既設カバー工法建具＞

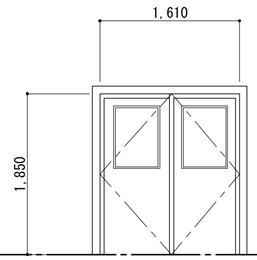
1/50

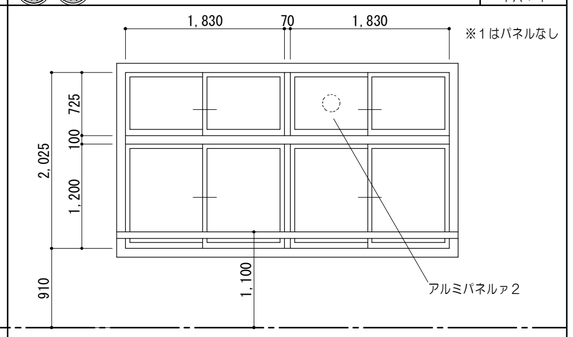
符号	名称	数量
5 AD	両袖ガラスブロック付・ランマＦＩＸ付両開キアルミドア ＜カバー工法＞	1
7 AD	アルミ片開キドア ＜カバー工法＞	2
50 AD	アルミ両開キドア ＜カバー工法＞	1
1 AW / 1A AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	1 ：4 1A：4

姿図





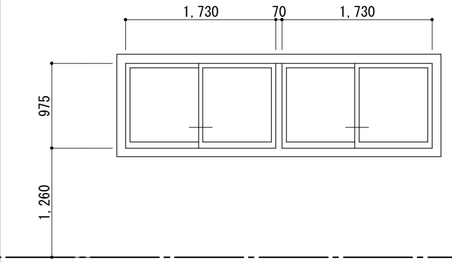


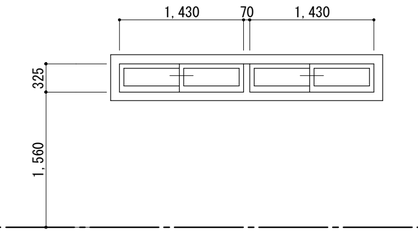


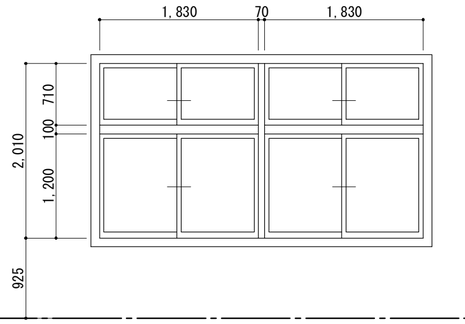
	5 AD	7 AD	50 AD	1 AW / 1A AW
見込	100	100	100	70
硝子	トーメイァ5 プレートワイヤーァ6．8（下部）		スリガラスァ3	トーメイァ4（ランマ：トーメイァ3）
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
金物	フロアヒンジ、シリンダー錠、フランス落シ、押板取手、付属金物一式	シリンダー錠、握玉、アルミガラリ、アルミ額縁、付属金物一式	シリンダー錠、付属金物一式	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切
室名	１階：玄関（管理教室棟）	１階：倉庫（管理教室棟）	１階：金工室（特別教室棟Ｂ）	１階：印刷室、倉庫２、校長室、職員室、図書室（管理教室棟）

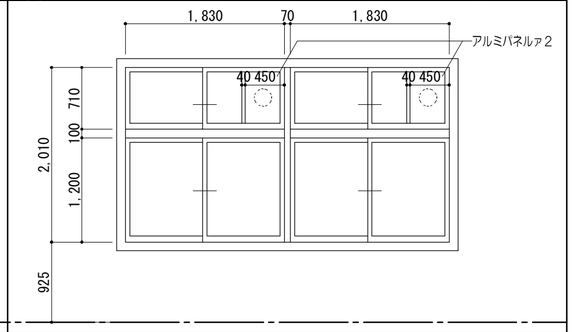
符号	名称	数量
8 AW	２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	1
10 AW	２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	1
6 AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	1
6A AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	1

姿図





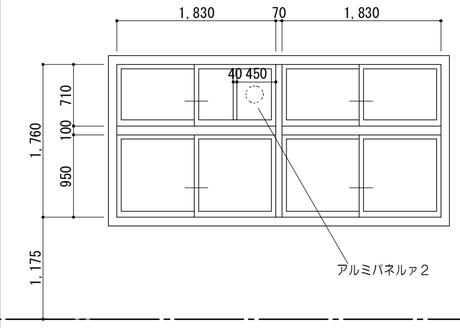




	8 AW	10 AW	6 AW	6A AW
見込	70	70	70	70
硝子	トーメイァ3	トーメイァ3	学校用強化ガラスァ4（ランマ共）	学校用強化ガラスァ4（ランマ共）
仕上	アルミ	アルミ	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金物	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切	クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切	アングルピース、クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	アングルピース、クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室名	１階：職員女子便所（管理教室棟）	１階：職員男子便所（管理教室棟）	１階：調理室（管理教室棟）	１階：調理室（管理教室棟）

符号	名称	数量
6B AW	ランマ引違イ付２連引違イアルミサッシ ＜カバー工法＞	1

姿図



	6B AW
見込	70
硝子	学校用強化ガラスァ4（ランマ共）
仕上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金物	アングルピース、クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室名	１階：調理室（管理教室棟）

特記事項

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

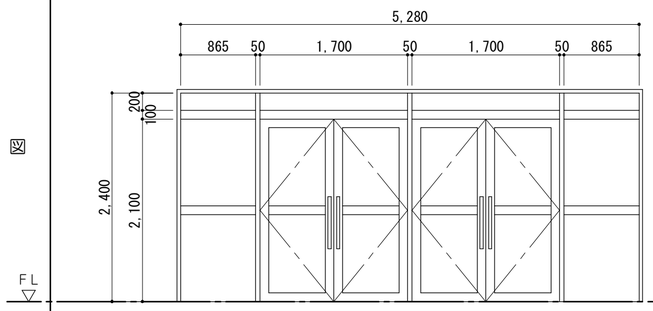
一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-116（原図：A2）
		図面名称	既設 建具表No.7	縮尺 1/50

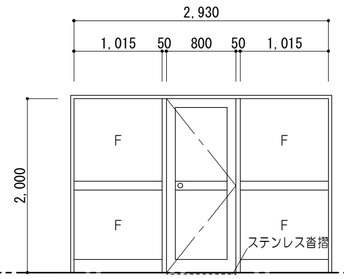
屋内運動場　建具表No.１＜撤去建具＞

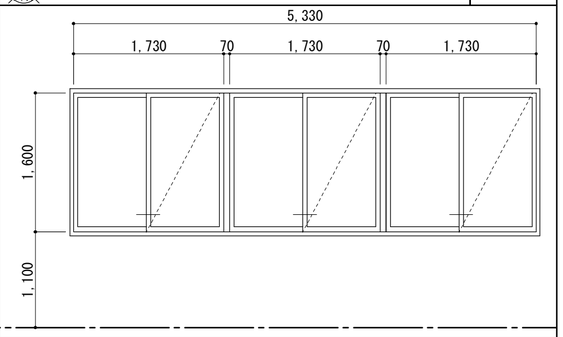
1/50

符号	名称	数量
101 AD	袖ランマ付２連両開キドア	1
106 AD	袖嵌殺窓付片開キ框ドア	1
105A AW	３連引違イ窓	1

姿図



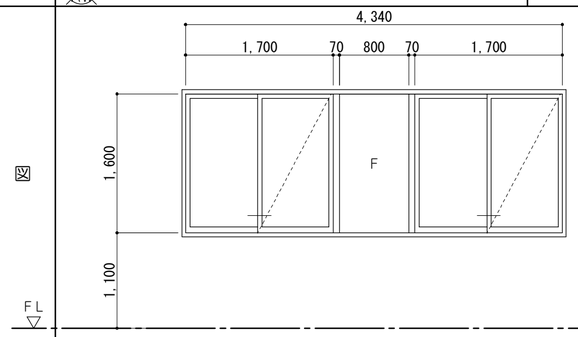


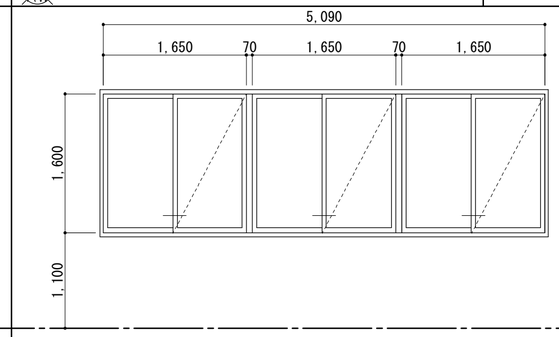


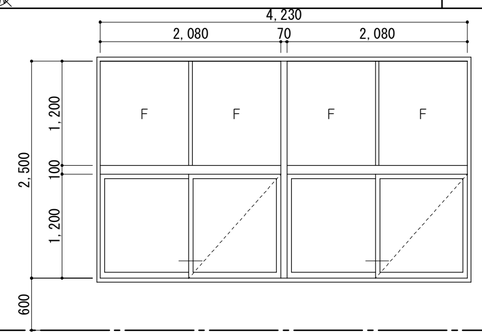
	101 AD	106 AD	105A AW
見込　硝子	100　網入トーメイァ6．8	70　網入型ガラスァ6．8	70　型ガラスァ6
仕上	アルミ	アルミ	アルミ
金物	FH、本締錠、引手、フランス落し、アングルピース	SUS丁番3枚吊、DC、アングルピース、シリンダーモノロック錠	アングルピース、クレセント、アルミ水切、網戸
室名	2階：玄関	3階：階段室	3階：ミーティングルーム

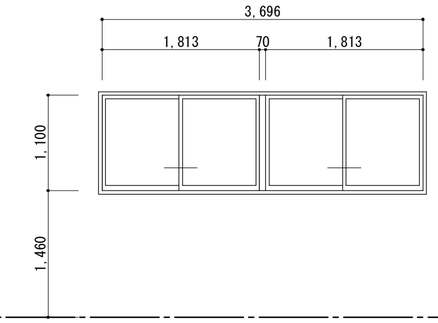
符号	名称	数量
108 AW	嵌殺窓付２連引違イ窓	1
107 AW	３連引違イ窓	1
110 AW	上部嵌殺窓付２連引違イ窓	1
112 AW	２連引違イ窓	2

姿図





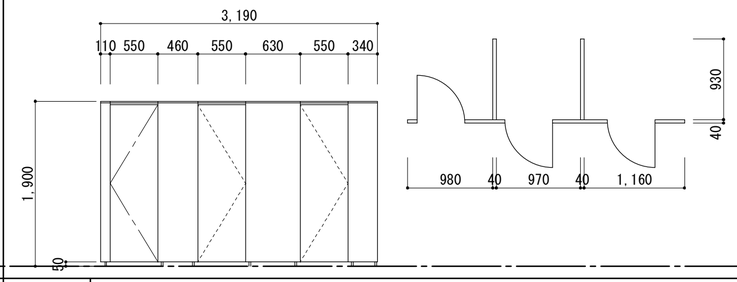


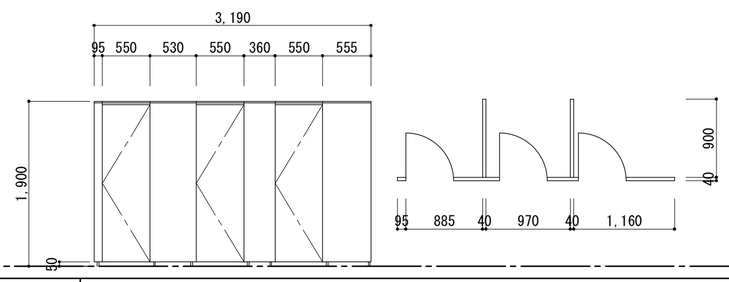


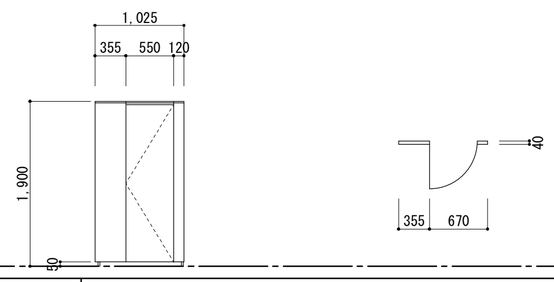
	108 AW	107 AW	110 AW	112 AW
見込　硝子	70　型ガラスァ6	70　型ガラスァ6	70　型板ガラスァ4	70　学校用強化ガラスァ4
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
金物	アングルピース、クレセント、アルミ水切、網戸	アングルピース、クレセント、アルミ水切、網戸	アングルピース、クレセント、アルミ水切、網戸	アングルピース、クレセント、アルミ水切
室名	3階：ミーティングルーム	3階：体育室	3階：キャットウォーク	3階：倉庫（2）、倉庫（3）（屋内運動場）

符号	名称	数量
101 TB	トイレブース	1
102 TB	トイレブース	1
102 TB	トイレブース	1

姿図







	101 TB	102 TB	102 TB
見込　硝子	40	40	40
仕上	シナ合板フラッシュ　SOP	シナ合板フラッシュ　SOP	シナ合板フラッシュ　SOP
金物	ラバトリーヒンジ、ラッチ、ストライク、SUS足金物、SUSL型金物 SUS頭ツナギ、SUS引手、ローラーキャッチ	ラバトリーヒンジ、ラッチ、ストライク、SUS足金物、SUSL型金物 SUS頭ツナギ、SUS引手、ローラーキャッチ	SUS足金物、SUSL型金物 SUS頭ツナギ、SUS引手、ローラーキャッチ
室名	2階：男子便所（屋内運動場）	2階：女子便所（屋内運動場）	2階：女子便所（屋内運動場）

特記事項

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

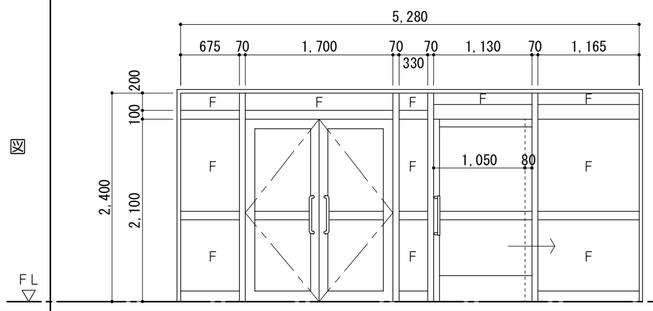
一級建築士　第304509号　水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号　A-117（原図：A2）
		図面名称	＜屋内運動場＞ 撤去 建具表No.1	縮尺　1/50

屋内運動場　建具表No. 1 ＜新設建具＞

1/50

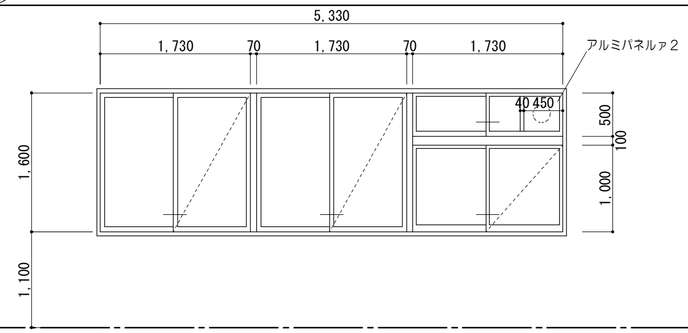
符号	名称	数量
101 AD	袖・ランマＦＩＸ付２連両開キアルミドア	1

姿図



見込　硝子	１００　学校用強化ガラスァ４
仕上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金物	シリンダー錠（内部サムターン）、大型引手、大型押棒、アルミ額縁、フロアヒンジ、フランス落シ 付属金物一式
室名	２階：玄関

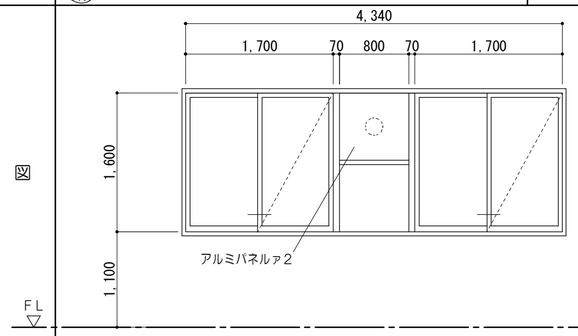
符号	名称	数量
105A AW	３連引違イアルミサッシ	1



見込　硝子	７０　学校用強化ガラスァ４（型）（ランマ共）
仕上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金物	アングルピース、クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、網戸、付属金物一式
室名	３階：ミーティングルーム

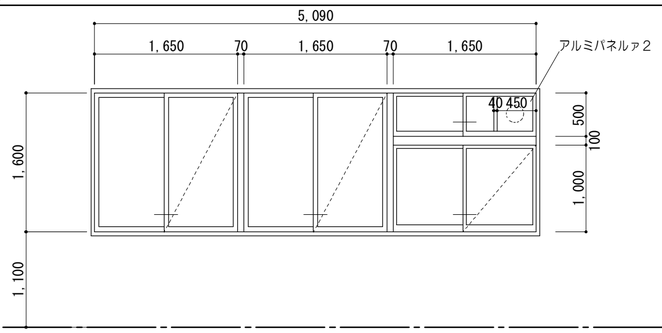
符号	名称	数量
106 AW	ＦＩＸ付２連引違イアルミサッシ	1

姿図



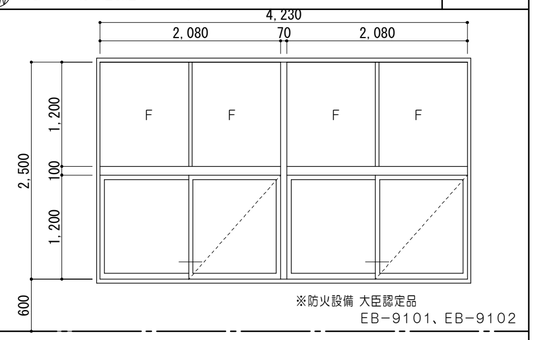
見込　硝子	７０　学校用強化ガラスァ４（型）
仕上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金物	アングルピース、クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、網戸、付属金物一式
室名	３階：ミーティングルーム

符号	名称	数量
107 AW	３連引違イアルミサッシ	1



見込　硝子	７０　学校用強化ガラスァ４（型）（ランマ共）
仕上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金物	アングルピース、クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、網戸、付属金物一式
室名	３階：体育室

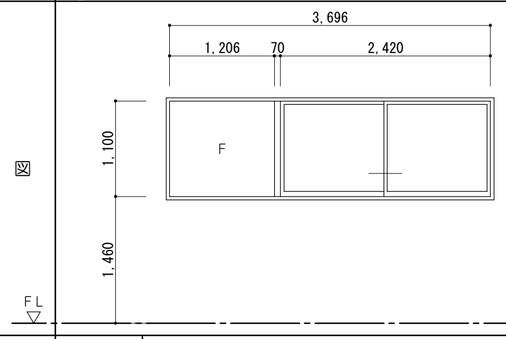
符号	名称	数量
110A AW	上部ＦＩＸ付２連引違イアルミサッシ	1



見込　硝子	７０　１０Ａ：網入り型ガラスァ６．８
仕上	アルミ
金物	クレセント、アングルピース、アルミ水切、網戸付、付属金物一式
室名	３階：キャットウォーク

符号	名称	数量
112 AW	ＦＩＸ付引違イアルミサッシ	2

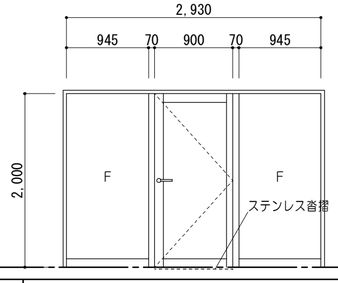
姿図



見込　硝子	７０　学校用強化ガラスァ４
仕上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（Ｂ種）
金物	アングルピース、クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式
室名	３階：倉庫（２）、倉庫（３）（屋内運動場）

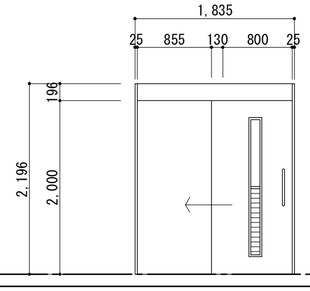
符号	名称	数量
105 SD	両袖ＦＩＸ付片開キスチールドア	1

※特定防火設備
H12建告1369号適合
S48建告2563号



見込　硝子	１００　耐熱強化ガラスァ８
仕上	亜鉛メッキ鋼板ァ１．６　防錆塗装の上ＤＰ
金物	ケースロック錠（レバーハンドル）、ＤＣ、丁番、フランス落シ、スチール三方枠、 付属金物一式
室名	３階：階段室（屋内運動場）

符号	名称	数量
101 LSD	片開キ軽量スチールドア	1



見込　硝子	１３０　学校用強化ガラスァ４（型）
仕上	亜鉛メッキ鋼板ァ０．６　焼付塗装仕上（指定色）
金物	大型引手、ガイドローラー、表示錠（内部サムターン）、自閉制御装置、オイルダンパー 付属金物一式
室名	２階：多目的便所（屋内運動場）

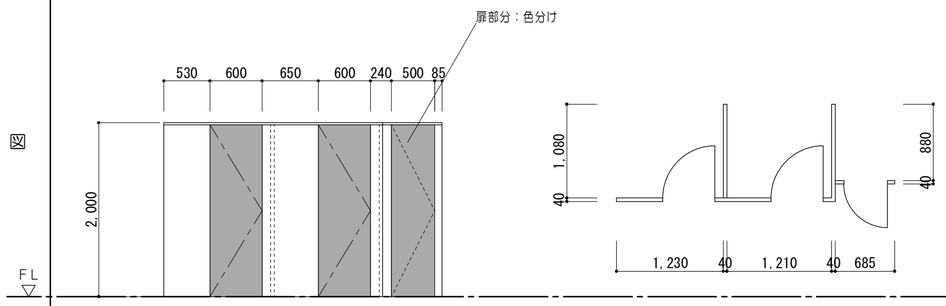
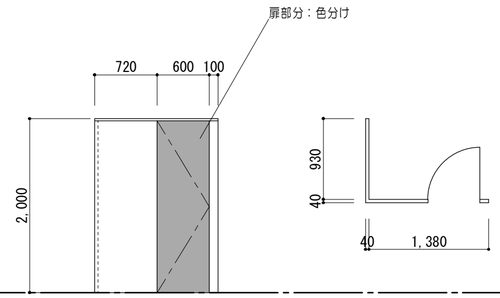
特記事項

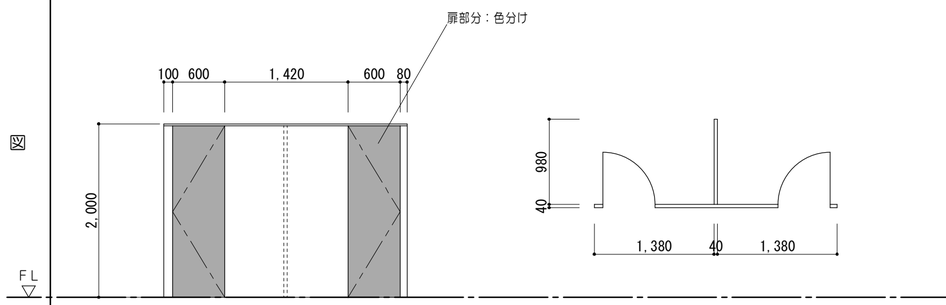
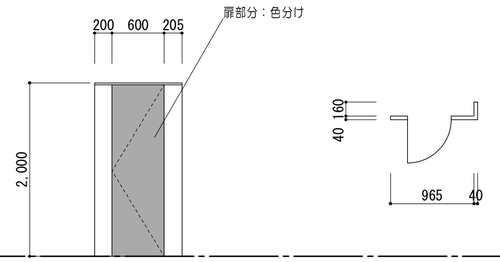
一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社　前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

一級建築士　第304509号　水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-118（原図:A2）
		図面名称	＜屋内運動場＞ 新設 建具表No. 1	縮尺	1/50

屋内運動場　建具表No.２＜新設建具＞

1/50

符号名称数量	101 TB トイレブース	1	102 TB トイレブース	1
姿図				
見込　硝子	４０		４０	
仕上	メラミン樹脂化粧板（芯材：パーティクルボード）		メラミン樹脂化粧板（芯材：パーティクルボード）	
金物	アルミ製エッジ、ステンレス巾木、グレビティヒンジ、表示錠、戸当り、付属金物一式		アルミ製エッジ、ステンレス巾木、グレビティヒンジ、表示錠、戸当り、付属金物一式	
室名	２階：男子便所（屋内運動場）		２階：女子便所（屋内運動場）	

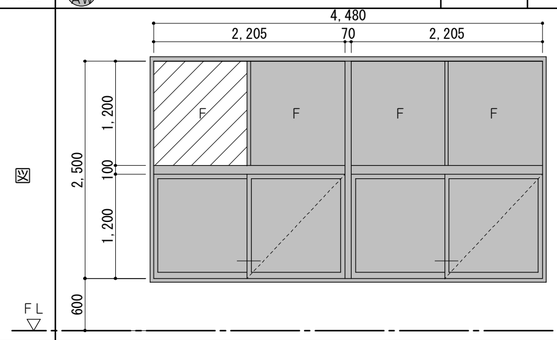
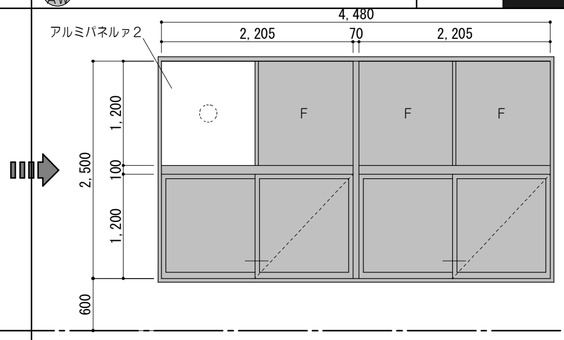
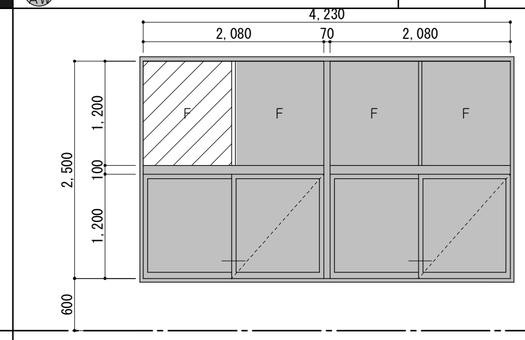
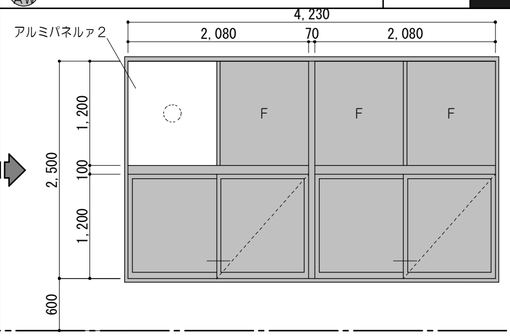
符号名称数量	103 TB トイレブース	1	103 TB トイレブース	1
姿図				
見込　硝子	４０		４０	
仕上	メラミン樹脂化粧板（芯材：パーティクルボード）		メラミン樹脂化粧板（芯材：パーティクルボード）	
金物	アルミ製エッジ、ステンレス巾木、グレビティヒンジ、表示錠、戸当り、付属金物一式		アルミ製エッジ、ステンレス巾木、グレビティヒンジ、表示錠、戸当り、付属金物一式	
室名	２階：女子便所（屋内運動場）		２階：ＳＫ（屋内運動場）	

符号名称数量				
姿図				
見込　硝子				
仕上				
金物				
室名				

特記事項		一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-119 （原図：A2）
					図面名称	＜屋内運動場＞ 新設　建具表No.２	縮尺	1/50

屋内運動場　＜パネル入替建具＞

1/50　※ パネル入替部分　既設のまま

符号名称数量	109 AW 上部ＦＩＸ付２連引違イアルミサッシ	2	改修前	109 AW 上部ＦＩＸ付２連引違イアルミサッシ	2	改修後	110 AW 上部ＦＩＸ付２連引違イアルミサッシ	1	改修前	110 AW 上部ＦＩＸ付２連引違イアルミサッシ	1	改修後
姿図												
見込　硝子	70	型板ガラスァ4		70	型板ガラスァ4		70	型板ガラスァ4		70	型板ガラスァ4	
仕上	アルミ			アルミ			アルミ			アルミ		
金物	クレセント、アングルピース、アルミ水切、網戸付、付属金物一式			アングルピース、クレセント、戸車、アルミ額縁、アルミ水切、網戸、付属金物一式			アングルピース、クレセント、アルミ水切、網戸			アングルピース、クレセント、アルミ水切、網戸		
室名	3階：キャットウォーク			3階：キャットウォーク			3階：キャットウォーク			3階：キャットウォーク		

符号名称数量												
姿図												
見込　硝子												
仕上												
金物												
室名												

符号名称数量												
姿図												
見込　硝子												
仕上												
金物												
室名												

特記事項

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像
一級建築士　第304509号　水谷　浩

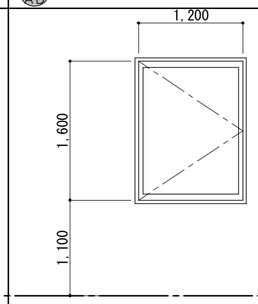
設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-120（原図：A2）
	図面名称	＜屋内運動場＞ 新設 パネル入替建具	縮尺	1/50

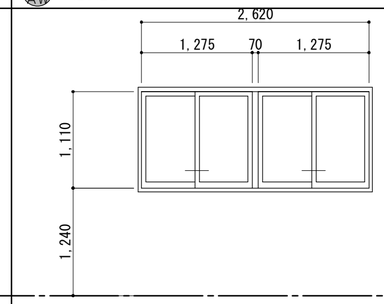
屋内運動場　建具表No.１＜既設建具＞

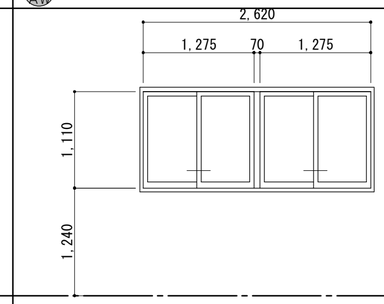
1/50

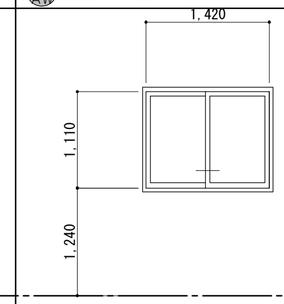
符号	名称	数量
103 AD	片キアルミドア	1
101 AW	２連引違イアルミサッシ	1
102 AW	２連引違イアルミサッシ	1
103 AW	引違イアルミサッシ	3

姿図





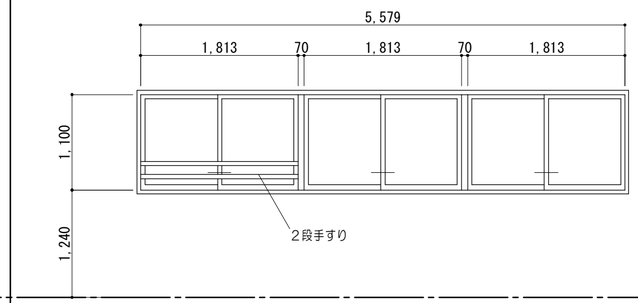


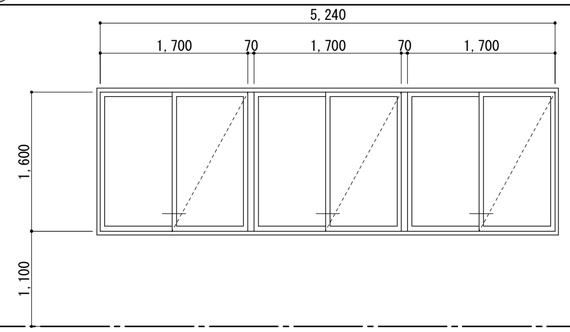


	103 AD	101 AW	102 AW	103 AW
見込	70	70	70	70
硝子	型板ガラスァ6	型板ガラスァ4	型板ガラスァ4	型板ガラスァ4
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
金物	レバーハンドル、シリンダーケースブロック錠、アルミ額縁、アルミ水切、付属金物一式	クレセント、アングルピース、アルミ水切、付属金物一式	クレセント、アングルピース、アルミ水切、付属金物一式	クレセント、アングルピース、アルミ水切、付属金物一式
室名	３階：ミーティングルーム	２階：女子更衣室	２階：器具庫	２階：男子便所、女子便所、シャワー室

符号	名称	数量
104 AW	３連引違イアルミサッシ	2
105 AW	３連引違イアルミサッシ	1

姿図



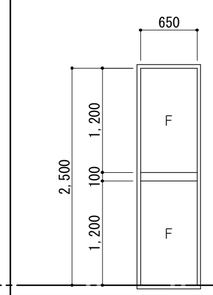


	104 AW	105 AW
見込	70	70
硝子	型板ガラスァ4	型板ガラスァ4
仕上	アルミ	アルミ
金物	クレセント、アングルピース、アルミ水切、付属金物一式	クレセント、アングルピース、アルミ水切、網戸付、付属金物一式
室名	２階：倉庫（１）、控室	３階：体育室

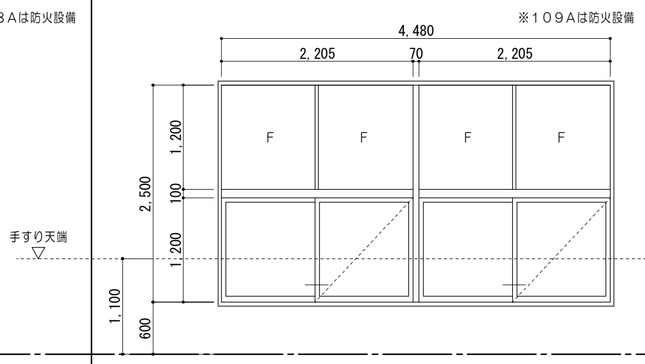
符号	名称	数量
108 AW / 108A AW	２段ＦＩＸアルミサッシ	108 ：3 108A：1
109 AW / 109A AW	上部ＦＩＸ付２連引違イアルミサッシ	109 ：1 109A：1
110 AW / 110A AW	上部ＦＩＸ付２連引違イアルミサッシ	110 ：5 110A：3
111 AW	ＦＩＸアルミサッシ	2

姿図

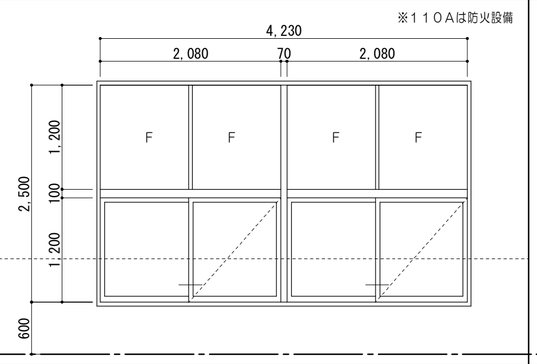
※１０８Ａは防火設備

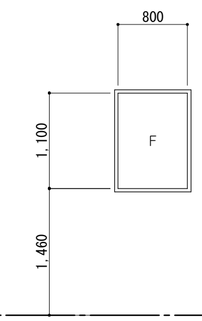


※１０９Ａは防火設備



※１１０Ａは防火設備

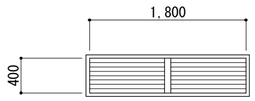
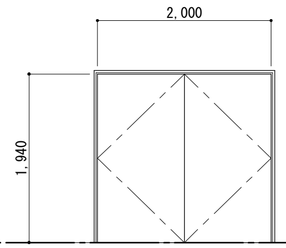




	108 AW / 108A AW	109 AW / 109A AW	110 AW / 110A AW	111 AW
見込	70	70	70	70
硝子	8 ：型板ガラスァ4 8A：網入り型ガラスァ6．8	9 ：型板ガラスァ4 9A：網入り型ガラスァ6．8	10 ：型板ガラスァ4 10A：網入り型ガラスァ6．8	型板ガラスァ4
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
金物	アルミ水切、付属金物一式	クレセント、アングルピース、アルミ水切、網戸付、付属金物一式	クレセント、アングルピース、アルミ水切、網戸付、付属金物一式	アルミ水切、付属金物一式
室名	３階：キャットウォーク	３階：キャットウォーク	３階：キャットウォーク	３階：倉庫、階段室

特記事項					
一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-121（原図：A2）
			図面名称	＜屋内運動場＞ 既設 建具表No.１	縮尺 1/50

屋内運動場　建具表No.２＜既設建具＞　1/50

符号名称数量	101 AG / 101A AG アルミ固定ガラリ　101 ：10　101A： 4	104 SD 両開きフラッシュドア　3		
姿　図	※１０１Ａ：防火設備（ヒューズダンパー付）  	 		
見込　硝子	７０	１００		
仕　上	スチールｱ１．６　指定色塗装仕上	ボンデ鋼板ｱ１．６　SOP塗		
金　物	水切、網戸（サラン）、付属金物一式	シリンダーモノロック錠、フランス落し、DC、戸当り、SUS丁番３枚吊		
室　名	２階：アリーナ	２階：アリーナ		

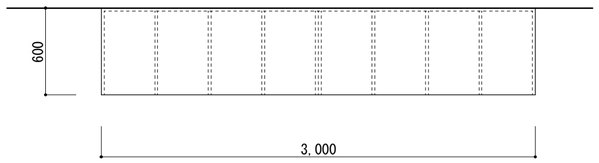
FL

特記事項		一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-122 (原図:A2)
					図面名称	＜屋内運動場＞ 既設 建具表No.２	縮尺	1/50

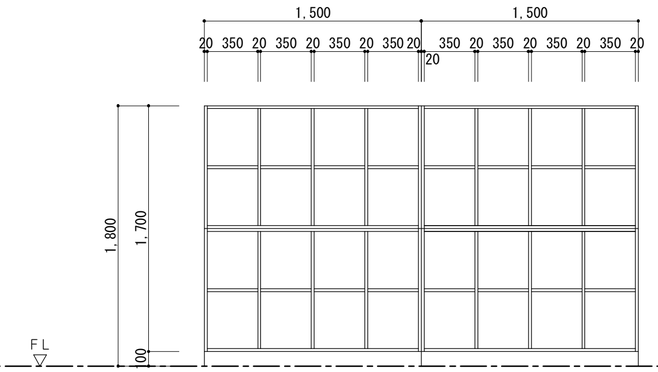
家具詳細図No. 1

1/F 収納棚詳細図（管理教室棟：１階給湯室） 1/30

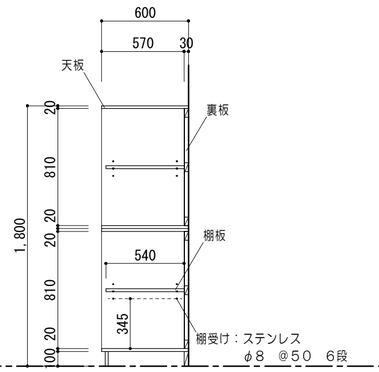
数		1か所
仕様	天板	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０ エッジ：樹脂シート　厚０．４５
	本体	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０ エッジ：樹脂シート　厚０．４５
	棚板	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	裏板	ポリエステル樹脂合板厚４　片面フラッシュ
	巾木	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０



平面図



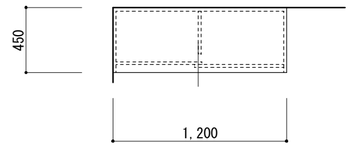
立面図



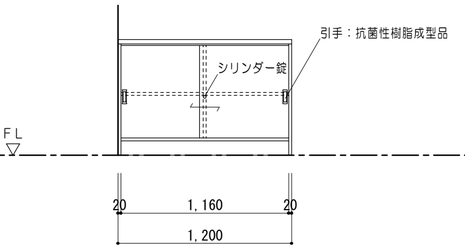
断面図

2/F 教師用棚詳細図（管理教室棟：特別支援学級、普通教室）（普通教室棟：普通教室） 1/30

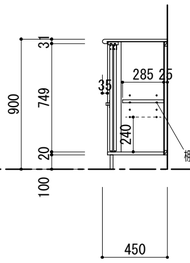
数		管理教室棟：7か所 普通教室棟：2か所
仕様	天板	メラミン化粧ポストフォーム
	本体	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０ エッジ：樹脂シート　厚０．４５
	引戸・戸枠	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	付鴨居	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	敷居	ＳＵＳ製レール　調整式戸車
	棚板	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	巾木	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	引手	抗菌性樹脂成型品



平面図



立面図

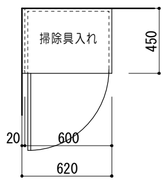


断面図

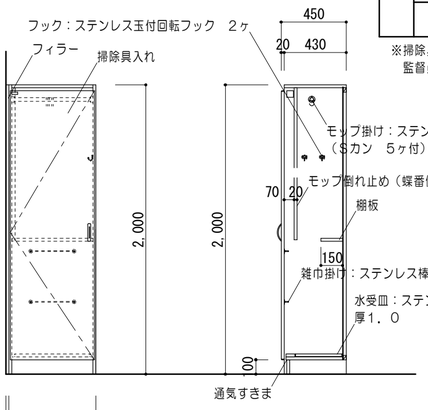
3/F 掃除具入れ詳細図（管理教室棟：パソコン室、特別支援学級、普通教室）（普通教室棟：普通教室）（特別教室棟Ｂ：第１理科室） 1/30

数		管理教室棟：8か所　特別教室棟Ｂ：1か所 普通教室棟：2か所
仕様	天板	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０ エッジ：セフティーエッジ　厚3
	扉	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０ エッジ：セフティーエッジ　厚3
	本体	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０ エッジ：樹脂シート　厚０．４５
	棚板	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	裏板	ポリエステル樹脂合板厚４　片面フラッシュ
	巾木	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０

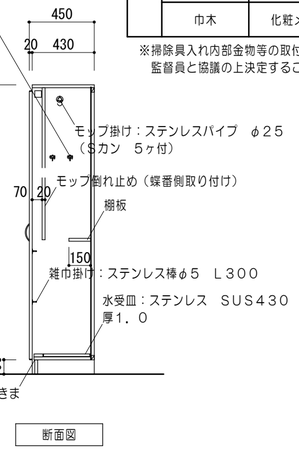
※掃除具入れ内部金物等の取付高さについては、
監督員と協議の上決定すること。



平面図



立面図



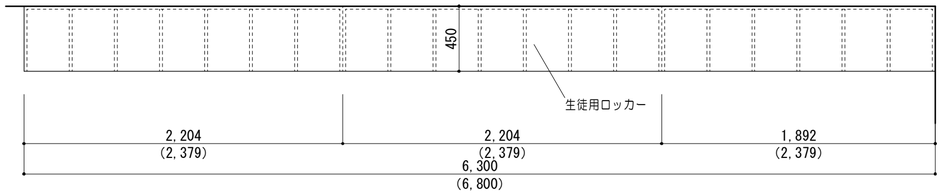
断面図

4/F 4a/F 生徒用ロッカー詳細図（管理教室棟：普通教室、特別支援学級）（普通教室棟：普通教室） 1/30

4/F 管理教室棟：普通教室

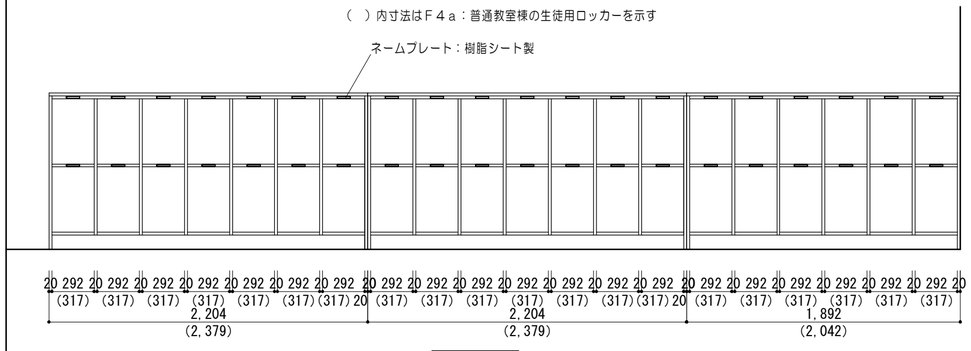
4a/F 普通教室棟：普通教室

数		管理教室棟：7か所 普通教室棟：2か所
仕様	天板	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０ エッジ：セフティーエッジ　厚3
	本体	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０ エッジ：樹脂シート　厚０．４５
	棚板	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	裏板	ポリエステル樹脂合板厚４　片面フラッシュ
	巾木	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０

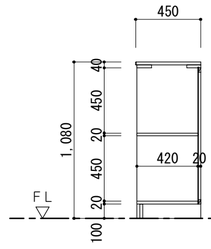


平面図

（　）内寸法はＦ４ａ：普通教室棟の生徒用ロッカーを示す



立面図

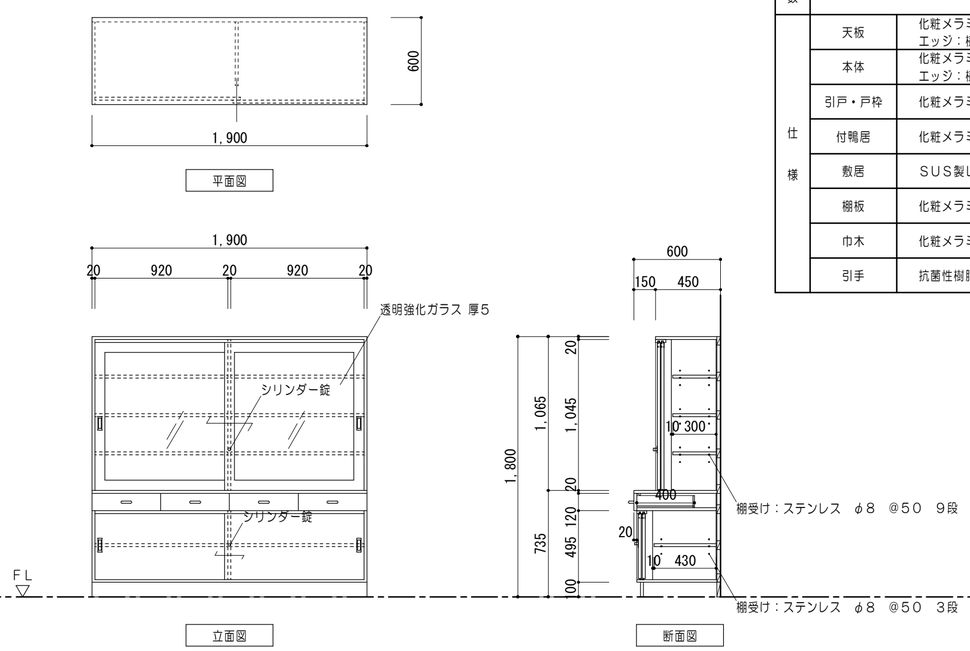


断面図

特記事項		一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-123 （原図：A2）
					図面名称	改修後　家具詳細図No. 1	縮尺	1/30

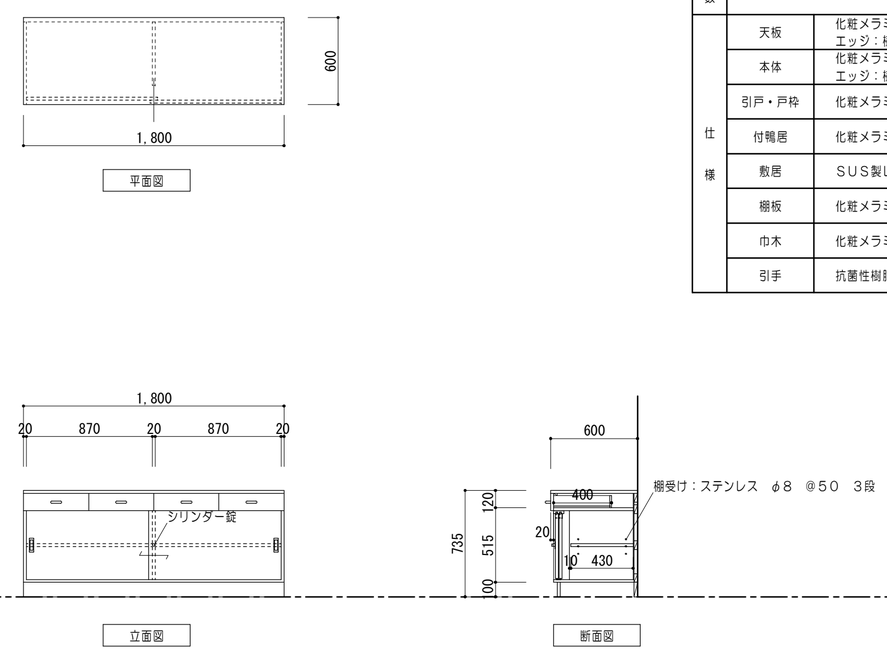
家具詳細図No. 2

5F 収納棚詳細図（特別教室棟Ｂ：２階第１理科準備室） 1/30



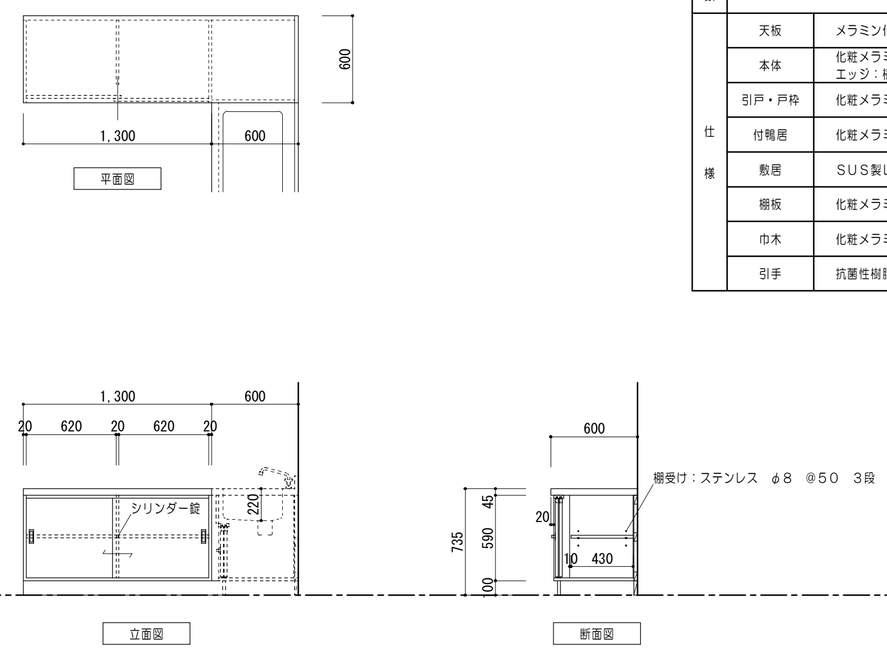
数		3か所
仕様	天板	化粧メラミンパーティクルボード 厚20 エッジ：樹脂シート 厚0．45
	本体	化粧メラミンパーティクルボード 厚20 エッジ：樹脂シート 厚0．45
	引戸・戸枠	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	付鴨居	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	敷居	SUS製レール 調整式戸車
	棚板	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	巾木	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	引手	抗菌性樹脂成型品

6F 収納棚詳細図（特別教室棟Ｂ：２階第１理科準備室） 1/30



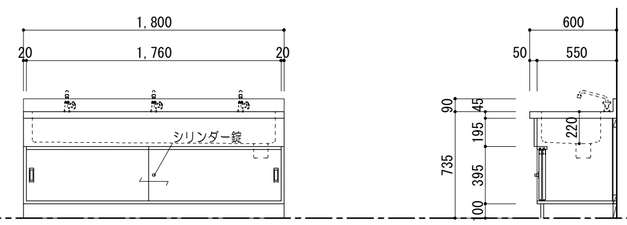
数		1か所
仕様	天板	化粧メラミンパーティクルボード 厚20 エッジ：樹脂シート 厚0．45
	本体	化粧メラミンパーティクルボード 厚20 エッジ：樹脂シート 厚0．45
	引戸・戸枠	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	付鴨居	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	敷居	SUS製レール 調整式戸車
	棚板	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	巾木	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	引手	抗菌性樹脂成型品

7F 乾燥機台詳細図（特別教室棟Ｂ：２階第１理科準備室） 1/30



数		1か所
仕様	天板	メラミン化粧ポストフォーム
	本体	化粧メラミンパーティクルボード 厚20 エッジ：樹脂シート 厚0．45
	引戸・戸枠	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	付鴨居	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	敷居	SUS製レール 調整式戸車
	棚板	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	巾木	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	引手	抗菌性樹脂成型品

8F 流し台詳細図（特別教室棟Ｂ：２階第１理科室、準備室） 1/30



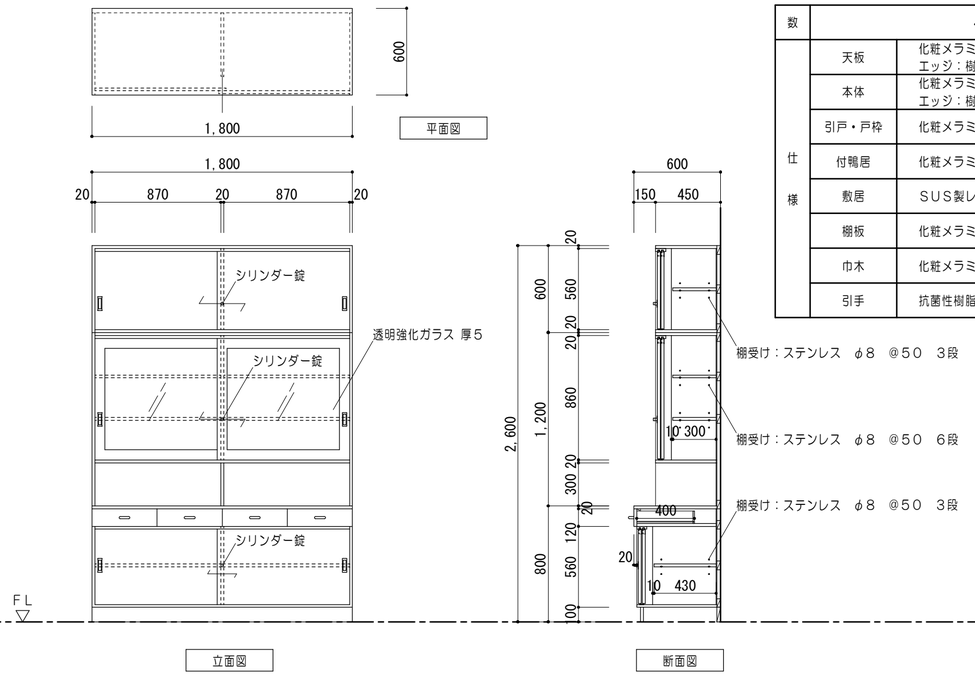
数		5か所
仕様	流し	SUS304厚1．0 表面仕上：＃400下地合板 深さ220（1層流し）
	本体	化粧メラミンパーティクルボード 厚20 エッジ：樹脂シート 厚0．45
	引戸・戸枠	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	付鴨居	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	敷居	SUS製レール 調整式戸車
	巾木	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	引手	抗菌性樹脂成型品
	水栓	泡自在水栓（1方口）
	排水トラップ	ステンレス製トラップ 目皿付

特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-124（原図:A2）
				図面名称	改修後 家具詳細図No. 2	縮尺 1/30

家具詳細図No. 3

9F 収納棚詳細図（特別教室棟Ｂ：２階第１理科室、準備室）

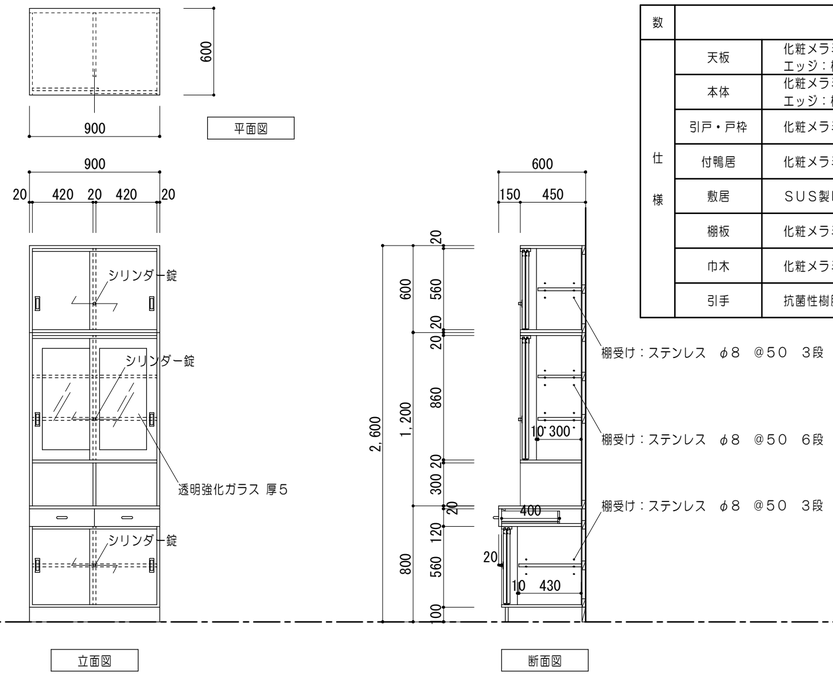
1/30



数		4か所
仕様	天板	化粧メラミンパーティクルボード 厚20 エッジ：樹脂シート 厚0．45
	本体	化粧メラミンパーティクルボード 厚20 エッジ：樹脂シート 厚0．45
	引戸・戸枠	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	付鴨居	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	敷居	SUS製レール 調整式戸車
	棚板	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	巾木	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	引手	抗菌性樹脂成型品

10F 収納棚詳細図（特別教室棟Ｂ：２階第１理科室、準備室）

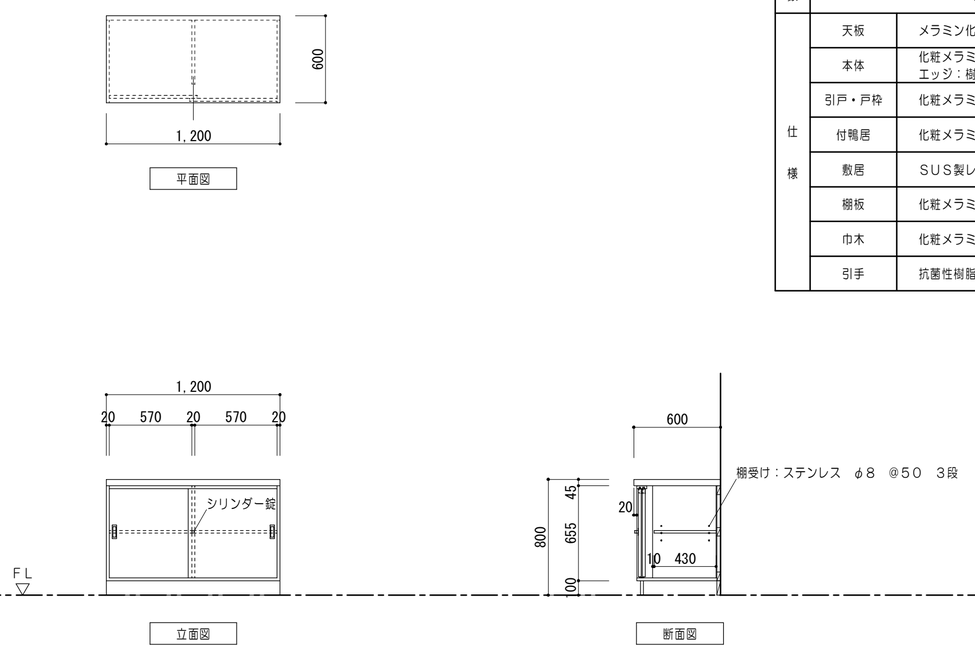
1/30



数		2か所
仕様	天板	化粧メラミンパーティクルボード 厚20 エッジ：樹脂シート 厚0．45
	本体	化粧メラミンパーティクルボード 厚20 エッジ：樹脂シート 厚0．45
	引戸・戸枠	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	付鴨居	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	敷居	SUS製レール 調整式戸車
	棚板	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	巾木	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	引手	抗菌性樹脂成型品

11F 収納棚詳細図（特別教室棟Ｂ：２階第１理科準備室）

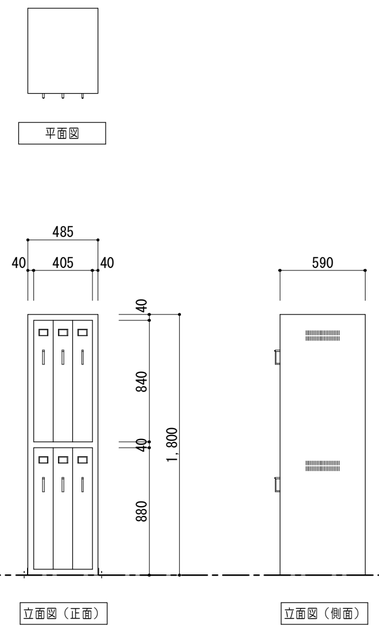
1/30



数		2か所
仕様	天板	メラミン化粧ポストフォーム
	本体	化粧メラミンパーティクルボード 厚20 エッジ：樹脂シート 厚0．45
	引戸・戸枠	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	付鴨居	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	敷居	SUS製レール 調整式戸車
	棚板	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	巾木	化粧メラミンパーティクルボード 厚20
	引手	抗菌性樹脂成型品

12F 薬品庫（特別教室棟Ｂ：２階第１理科準備室）

1/30

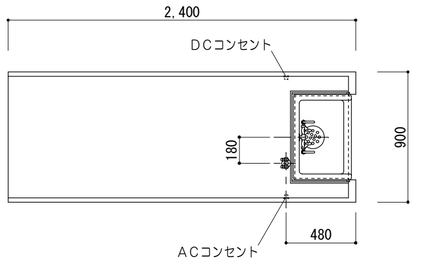


数		2か所	
仕様	本体	ステンレス SUS304	
	付属品	カードホルダー	6
		標準棚	18
		ガードバー	36
		横仕切板	90
		縦仕切板	36
		床壁固定用金具	1式
		鍵付	

特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-125（原図：A2）
				図面名称	改修後 家具詳細図No. 3	縮尺 1/30

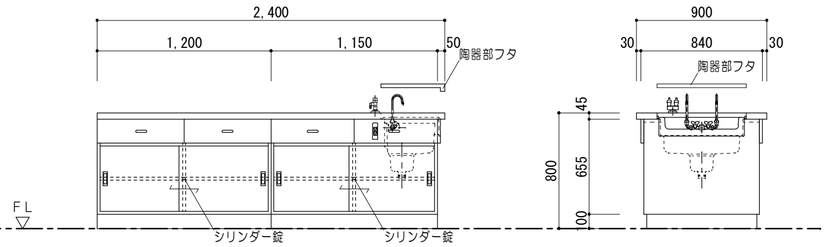
家具詳細図No.4

13F 実験台詳細図（特別教室棟Ｂ：２階第１理科準備室） 1/30



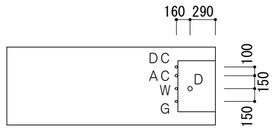
平面図

数		1か所	
仕様	天板	サイファス　厚４５ エッジ：ポリプロピレン製　コーナーR	
	本体	低圧メラミン両面パーティクルボード　厚１９ Ｆ☆☆☆☆ 小口：ポリプロピレン製 色：ライトグレー	
	付属品	陶器流し：ＲＪ－１０Ｎ	1
		目皿一体型ベルトラップ付　接続口外径Φ５０	
		流し蓋：メラミン化粧板張	1
		折畳み式化学水栓（２方向）	1
		ＡＣコンセント	1
		ＤＣコンセント	1
		ガスコック２方向（別途）	



立面図

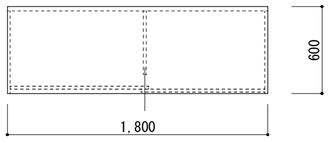
断面図



配管立上がり　1/50

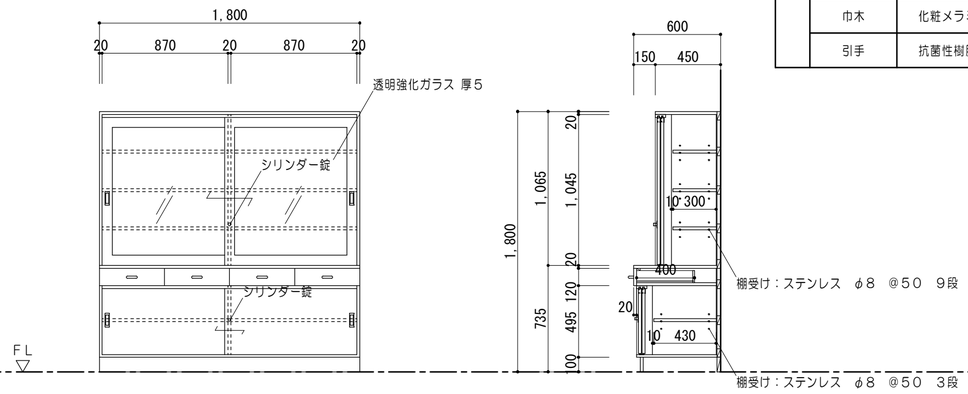
W	給水	２０Ａ　ＦＬ＋１００キャップ止
D	排水	４０Ａ　ＦＬ＋１００キャップ止
G	ガス	２０Ａ　ＦＬ＋１００キャップ止
AC	電気	１Φ１００Ｖ　Ｅ付
DC	電気	直流

14F 収納棚詳細図（特別教室棟Ｂ：２階第１理科準備室） 1/30



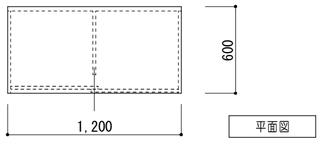
平面図

数		2か所
仕様	天板	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０ エッジ：樹脂シート　厚０．４５
	本体	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０ エッジ：樹脂シート　厚０．４５
	引戸・戸枠	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	付鴨居	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	敷居	ＳＵＳ製レール　調整式戸車
	棚板	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	巾木	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	引手	抗菌性樹脂成型品



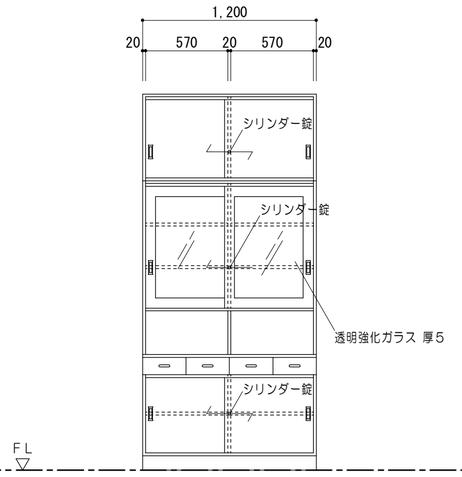
立面図　断面図

15F 収納棚詳細図（特別教室棟Ｂ：２階第１理科室） 1/30

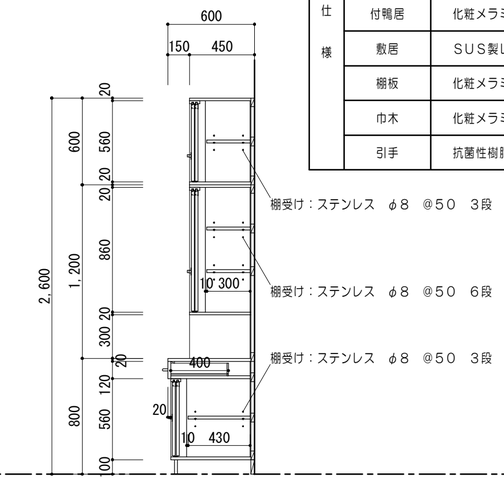


平面図

数		1か所
仕様	天板	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０ エッジ：樹脂シート　厚０．４５
	本体	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０ エッジ：樹脂シート　厚０．４５
	引戸・戸枠	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	付鴨居	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	敷居	ＳＵＳ製レール　調整式戸車
	棚板	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	巾木	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	引手	抗菌性樹脂成型品

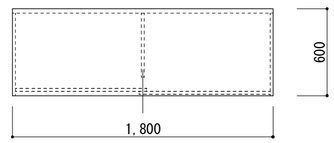


立面図



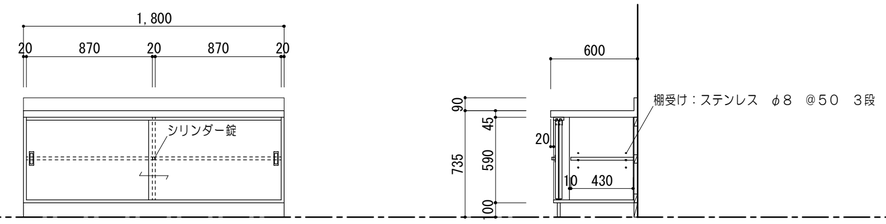
断面図

16F 収納棚詳細図（特別教室棟Ｂ：２階第１理科室）



平面図

数		8か所
仕様	天板	メラミン化粧ポストフォーム
	本体	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０ エッジ：樹脂シート　厚０．４５
	引戸・戸枠	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	付鴨居	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	敷居	ＳＵＳ製レール　調整式戸車
	棚板	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	巾木	化粧メラミンパーティクルボード　厚２０
	引手	抗菌性樹脂成型品



立面図　断面図

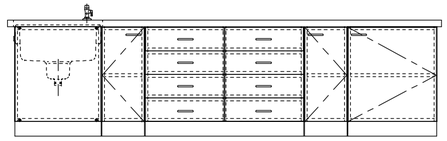
特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-126 （原図：A2）
				図面名称	改修後　家具詳細図No.4	縮尺	1/30

家具詳細図No. 4

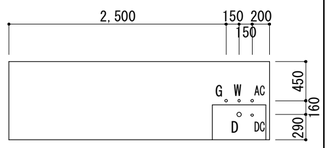
17F 教師用実験台詳細図（特別教室棟Ｂ：２階第１理科室）

1/30

数		1か所	
仕様	天板	サイファス　厚４５ エッジ：ポリプロピレン製　コーナーR	
	本体	低圧メラミン両面パーティクルボード　厚１９ Ｆ☆☆☆☆ 小口：ポリプロピレン製 色：ライトグレー	
	付属品	陶器流し：ＲＪ－１０Ｎ	1
		目皿一体型ベルトラップ付　接続口外径Φ５０	
		流し蓋：メラミン化粧板張	1
		折畳み式化学水栓（２方向）	1
		ＡＣコンセント	1
		ＤＣコンセント	1
		ガスコック２方向（別途）	

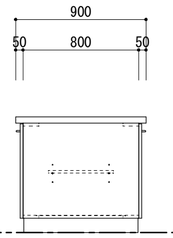


立面図（生徒側）

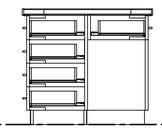


平面図

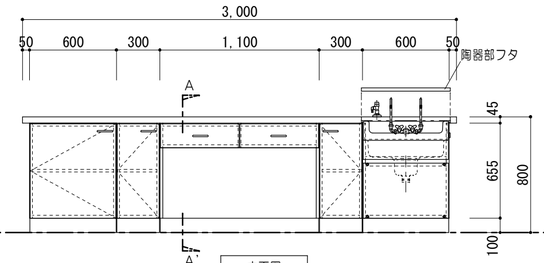
配管立上がり　1/50		
W	給水	２０Ａ　ＦＬ＋１００キャップ止
D	排水	４０Ａ　ＦＬ＋１００キャップ止
G	ガス	２０Ａ　ＦＬ＋１００キャップ止
AC	電気	１Φ１００Ｖ　Ｅ付
DC	電気	直流



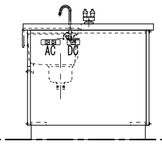
断面図



A・・・A' 断面図



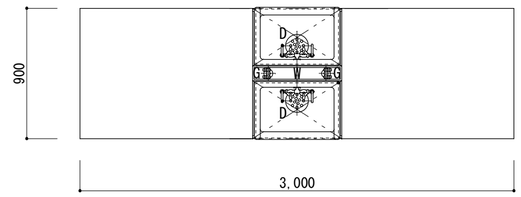
立面図



断面図

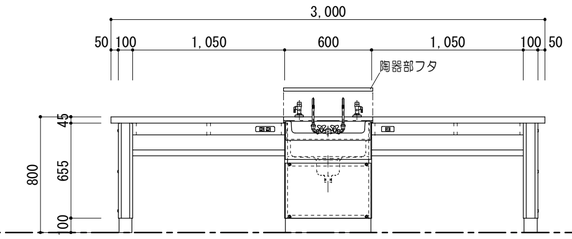
18F 生徒用実験台詳細図（特別教室棟Ｂ：２階第１理科室）

1/30

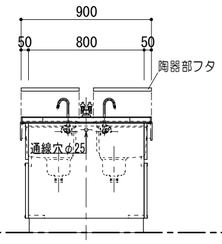


平面図

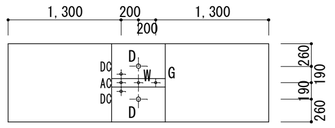
数		6か所	
仕様	天板	サイファス　厚４５ エッジ：ポリプロピレン製　コーナーR	
	本体	低圧メラミン両面パーティクルボード　厚１９ Ｆ☆☆☆☆ 小口：ポリプロピレン製 色：ライトグレー	
	付属品	陶器流し：ＲＪ－１０Ｎ	1
		目皿一体型ベルトラップ付　接続口外径Φ５０	
		流し蓋：メラミン化粧板張	1
		折畳み式化学水栓（２方向）	1
		ＡＣコンセント	1
		ＤＣコンセント	1
		ガスコック２方向（別途）	



立面図



断面図



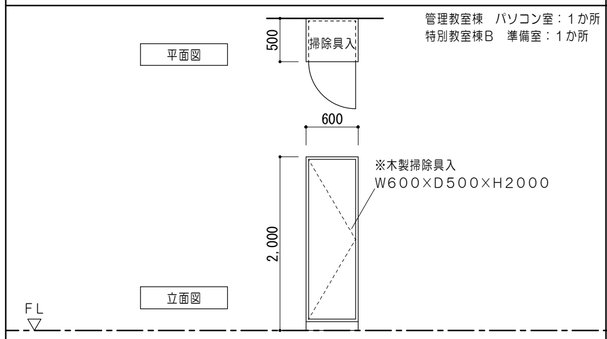
配管立上がり　1/50		
W	給水	２０Ａ　ＦＬ＋１００キャップ止
D	排水	４０Ａ　ＦＬ＋１００キャップ止
G	ガス	２０Ａ　ＦＬ＋１００キャップ止
AC	電気	１Φ１００Ｖ　Ｅ付
DC	電気	直流

特記事項		一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-127 （原図：A2）
					図面名称	改修後　家具詳細図No. 5	縮尺	1/30

撤去家具詳細図No. 1

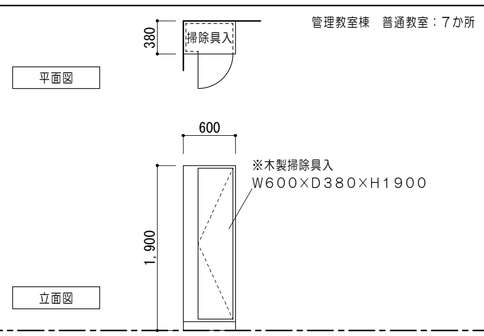
※1 掃除具入 1/50

管理教室棟　パソコン室：1か所
特別教室棟B　準備室：1か所



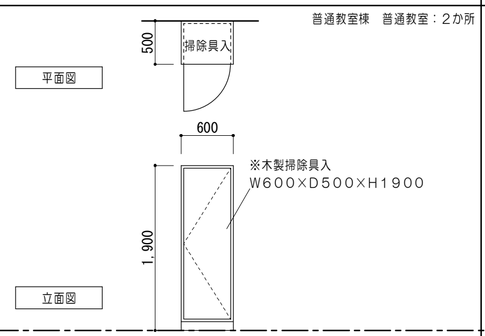
※2 掃除具入 1/50

管理教室棟　普通教室：7か所



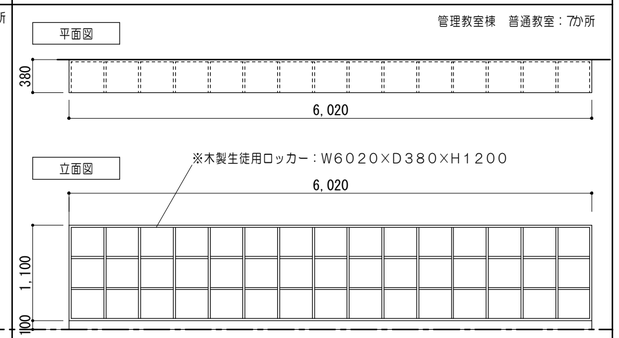
※3 掃除具入 1/50

普通教室棟　普通教室：2か所



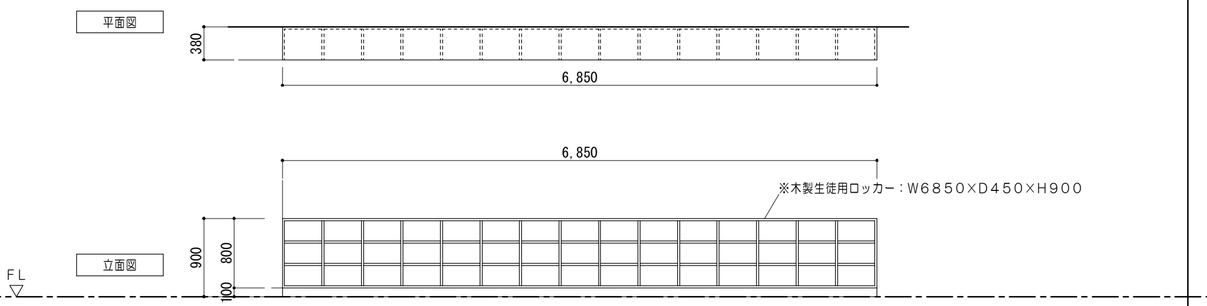
※4 生徒用ロッカー 1/50

管理教室棟　普通教室：7か所



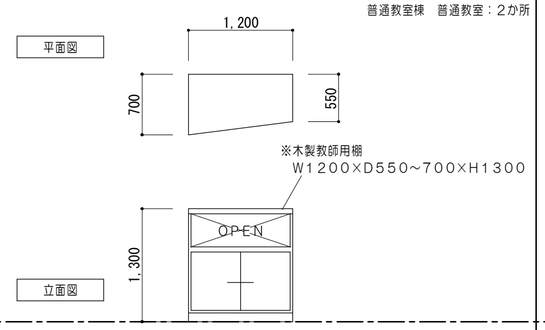
※5 生徒用ロッカー 1/50

普通教室棟　普通教室：2か所



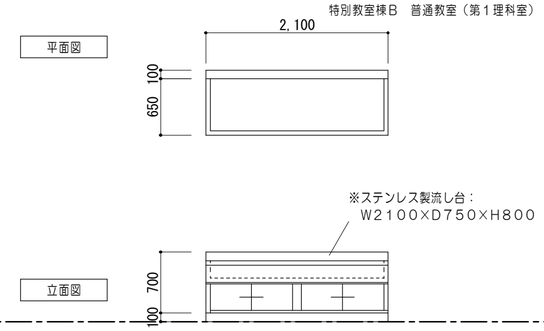
※6 教師用棚 1/50

普通教室棟　普通教室：2か所



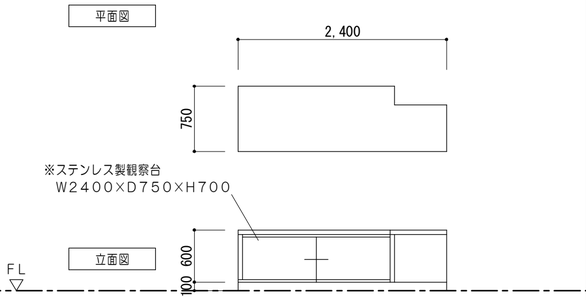
※7 ステンレス流し台 1/50

特別教室棟B　普通教室（第1理科室）：4か所



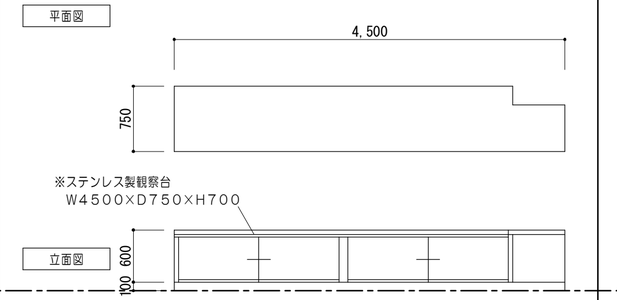
※8 ステンレス観察台 1/50

特別教室棟B　普通教室（第1理科室）：2か所



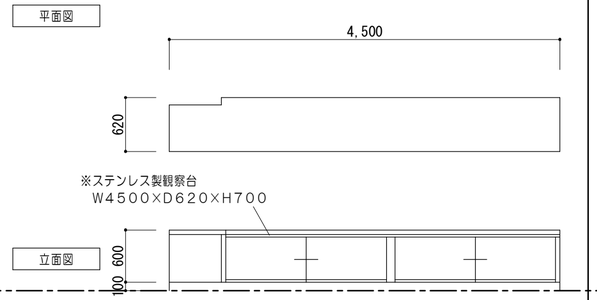
※9 ステンレス観察台 1/50

特別教室棟B　普通教室（第1理科室）：1か所



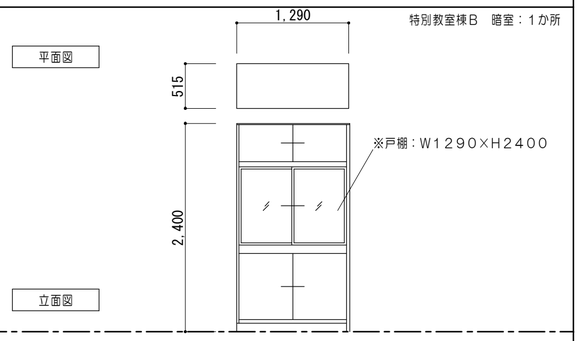
※10 ステンレス観察台 1/50

特別教室棟B　普通教室（第1理科室）：1か所



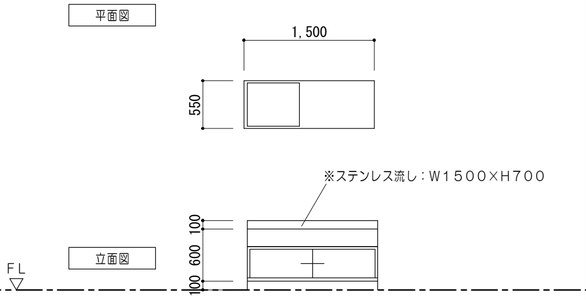
※11 戸棚 1/50

特別教室棟B　暗室：1か所



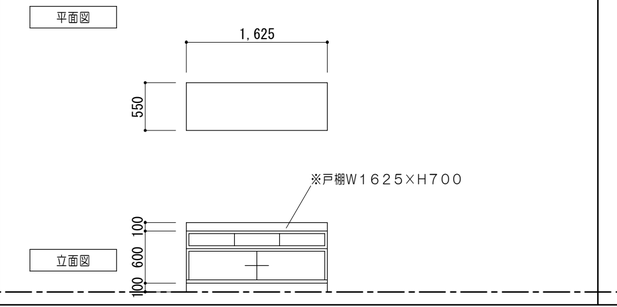
※12 ステンレス流し 1/50

特別教室棟B　練習室1：1か所



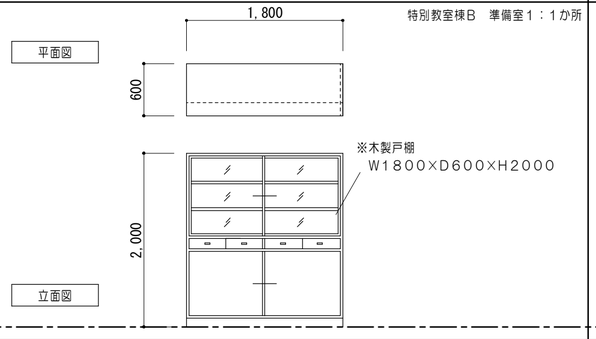
※13 戸棚 1/50

特別教室棟B　練習室1：1か所



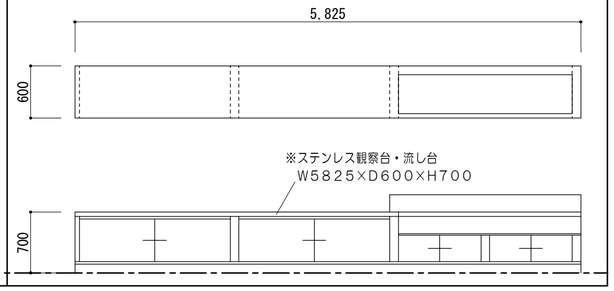
※14 木製戸棚 1/50

特別教室棟B　準備室1：1か所



※15 ステンレス観察台・流し台 1/50

特別教室棟B　準備室1：1か所



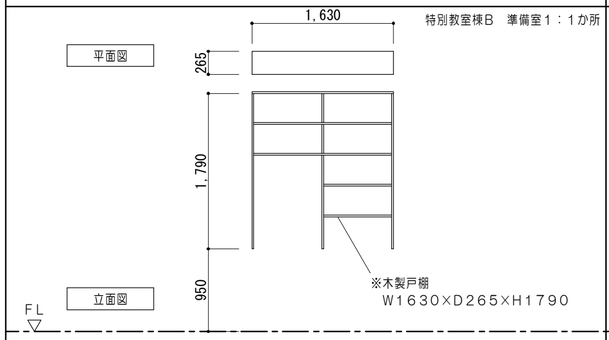
特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-128（原図：A2）
				図面名称	改修前　撤去家具詳細図No. 1	縮尺 1/50

撤去家具詳細図No. 2

※１７ 木製戸棚

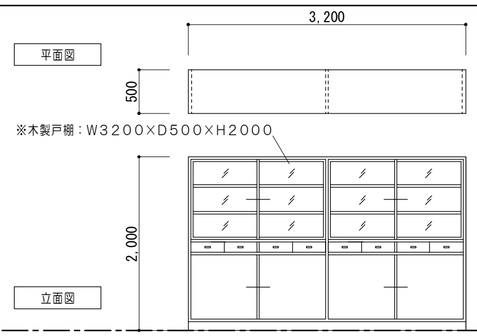
1/50

特別教室棟B　準備室１：１か所



※１８ 木製戸棚

1/50

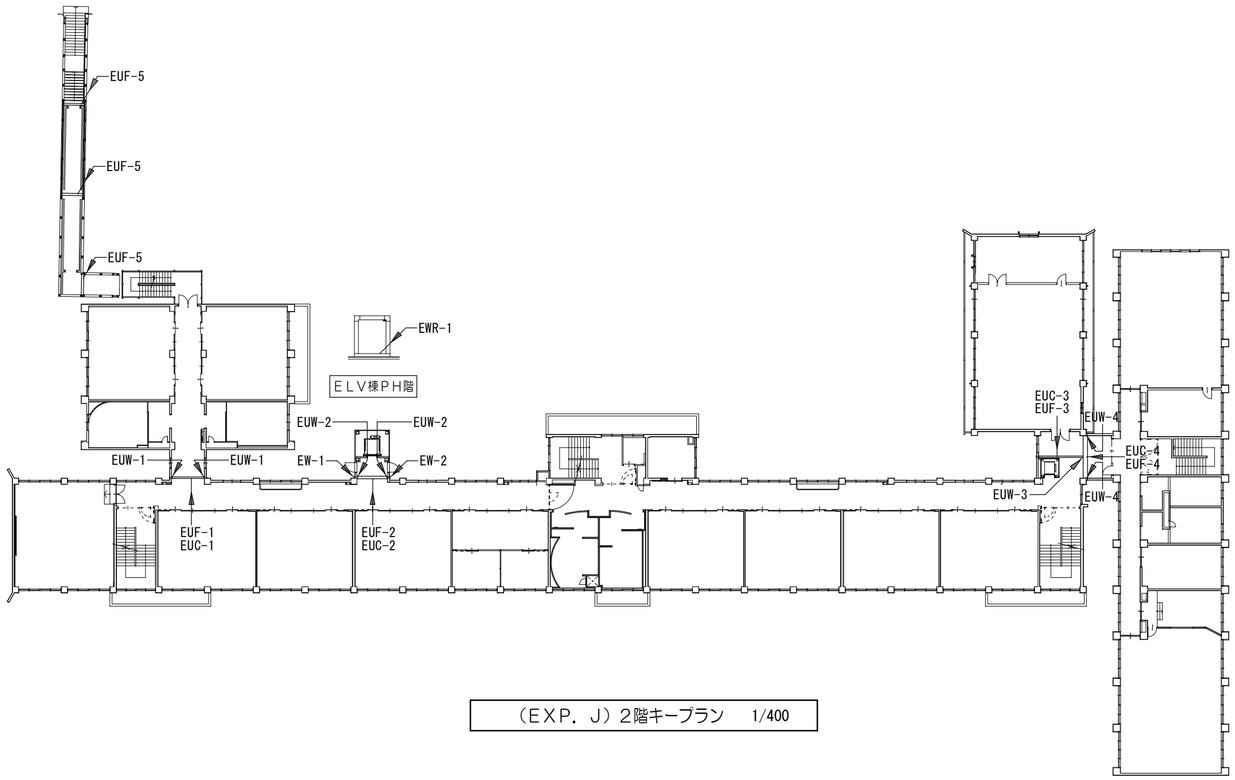


特記事項			

一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像

一級建築士　第304509号　水谷　浩

設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-129（原図：A2）
	図面名称	改修前　撤去家具詳細図No. 2	縮尺	1/50



（ＥＸＰ．Ｊ）２階キープラン　1/400

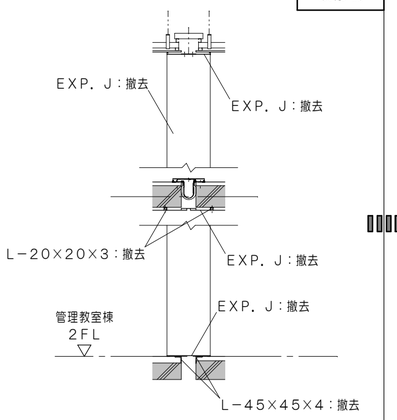
ＥＸＰ．Ｊ　凡例　※製品厚さｔ１．５（ＨＬ）					
EW-1	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（外壁コーナー） １時間耐火	EUF-2	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（床＋床） １時間耐火　ノンスリップ	EUF-4	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（床＋床） １時間耐火　ノンスリップ
EW-2	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（外壁＋外壁） １時間耐火	EUW-2	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（内壁＋内壁）	EUW-4	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（内壁＋内壁）
EWR-1	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（屋根＋外壁） １時間耐火	EUC-2	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（天井＋天井）	EUC-4	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（天井＋天井）
EUF-1	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（床＋床） １時間耐火　ノンスリップ	EUF-3	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（床＋床） １時間耐火　ノンスリップ	EUF-5	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（床＋床） １時間耐火　ノンスリップ
EUW-1	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（内壁＋内壁）	EUW-3	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（内壁＋内壁）		
EUC-1	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（天井＋天井）	EUC-3	ＳＵＳ製ＥＸＰ．Ｊ（天井＋天井）		

特記事項		一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社　前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号　A-130（原図:A2）
					図面名称	ＥＸＰ．Ｊキープラン	縮尺　1/30.400

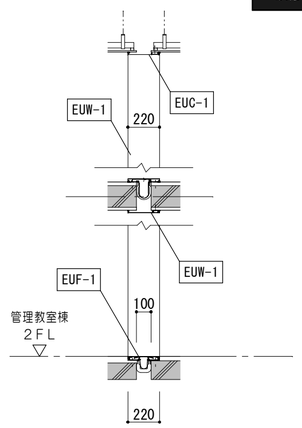
ＥＸＰ．Ｊ詳細図

EUF-1 床＋床　EUW-1 内壁＋内壁　EUC-1 天井＋天井　1/30

改修前

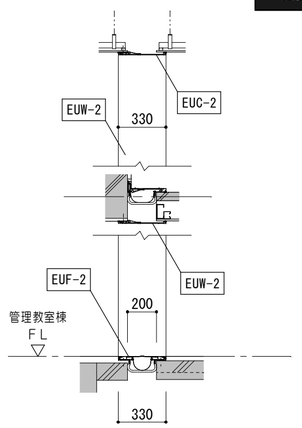


改修後



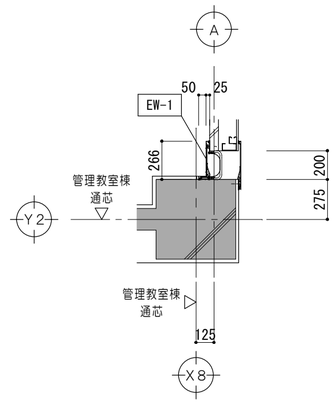
EUF-2 床＋床　EUW-2 内壁＋内壁　EUC-2 天井＋天井　1/30

改修後



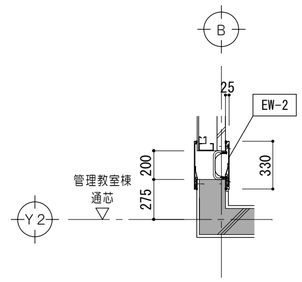
EW-1 外壁コーナー　1/30

改修後



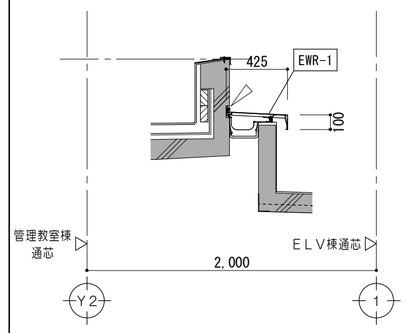
EW-2 外壁＋外壁　1/30

改修後



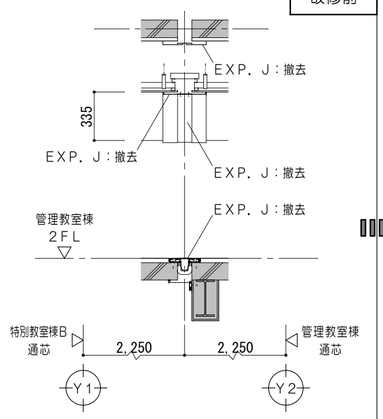
EWR-1 屋根＋外壁　1/30

改修後

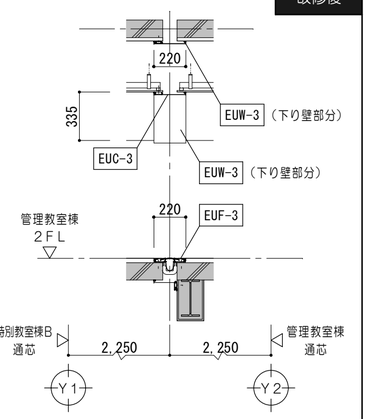


EUF-3 床＋床　EUW-3 内壁＋内壁　EUC-3 天井＋天井　1/30

改修前

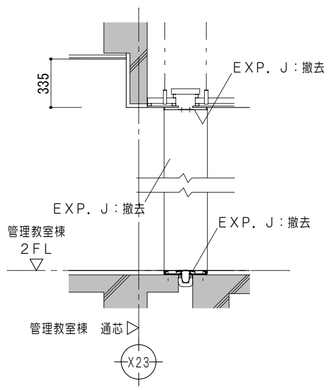


改修後

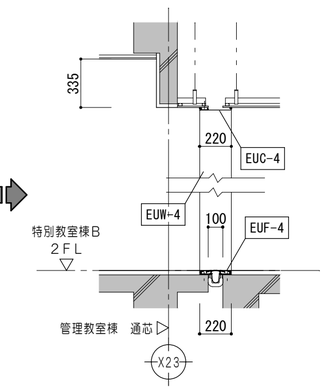


EUF-4 床＋床　EUC-4 天井＋天井　1/30

改修前

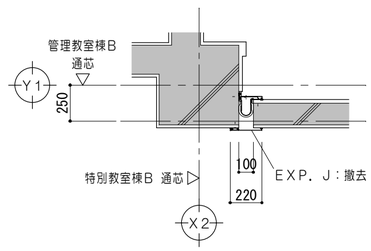


改修後

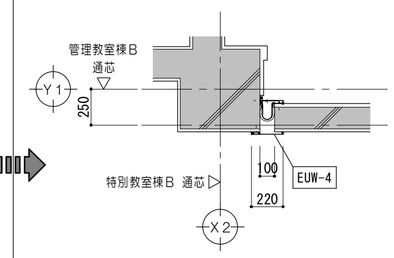


EUW-4 内壁＋内壁　1/30

改修前

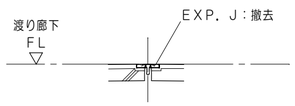


改修後

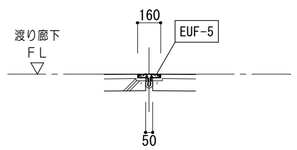


EUF-5 床＋床　1/30

改修前



改修後

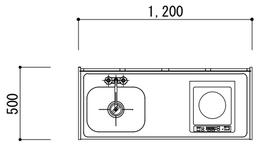


特記事項		一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-131 （原図：A2）
					図面名称	改修前　改修後　ＥＸＰ．Ｊ詳細図	縮尺	1/30.400

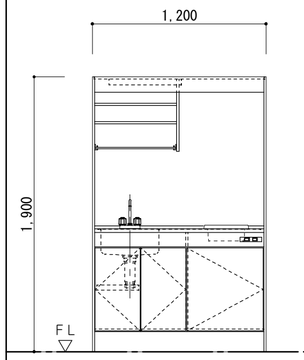
各部詳細図No. 1

1D ミニキッチン詳細図 1/30

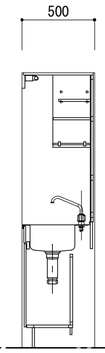
システムキッチン　仕様	
天　板	ステンレス
レンジ	ビルトインーロＩＨクッキングヒーター グリルなし（１００Ｖ）
水　栓	２ハンドル混合栓
その他	ゴミ収納器付排水トラップ
参考品名	リクシル ミニキッチン　同等品



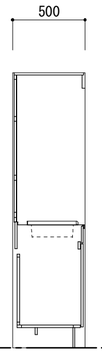
平面図



立面図

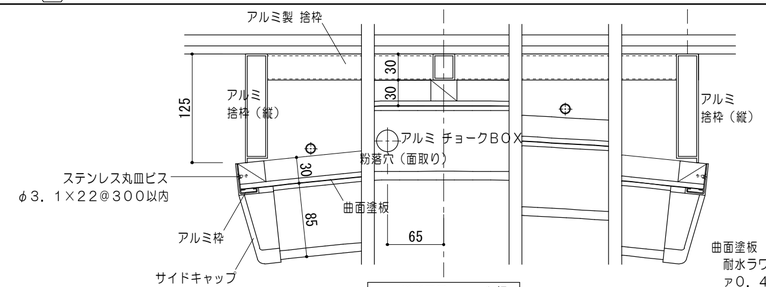


断面図

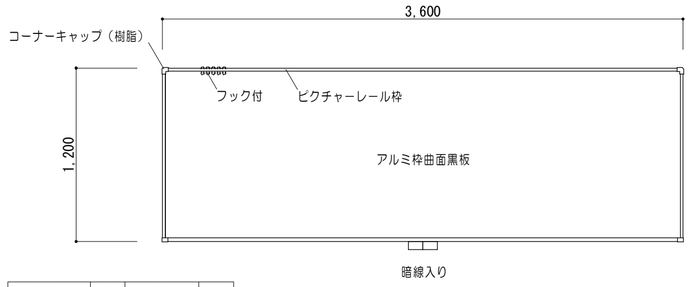


断面図

2D 曲面黒板詳細図 1/5、1/30

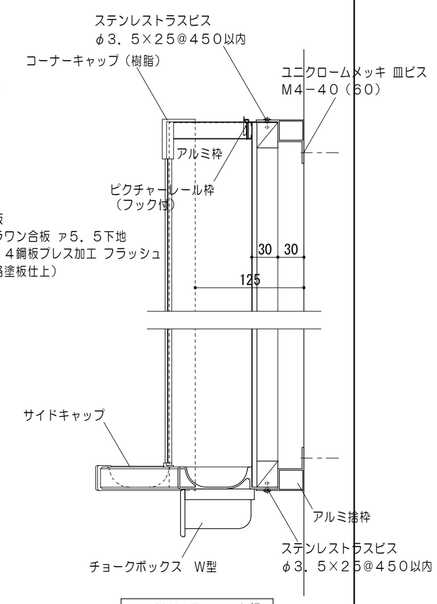


横断面図　1/5



立面図　1/30

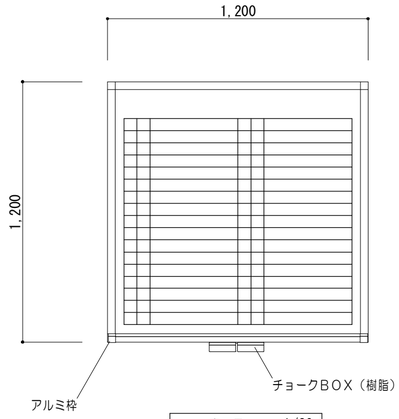
棟名	階	室名	数
管理教室棟	2F	普通教室	7
普通教室棟	2F	普通教室	2



縦断面図　1/5

3D 予定黒板詳細図 1/20

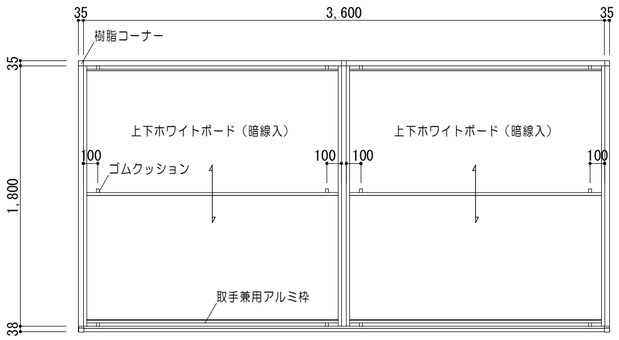
棟名	階	室名	数
管理教室棟	2F	普通教室	7
普通教室棟	2F	普通教室	2



立面図　1/20

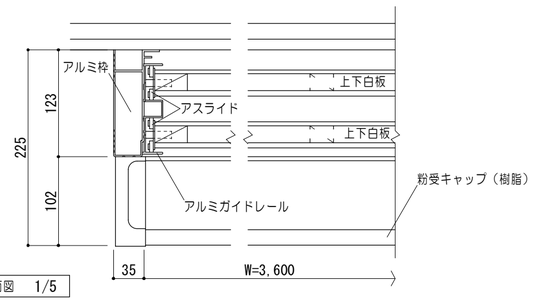
※記入文字、表の内容については、監督員に確認の上決定すること。

4D 上下式ホワイトボード詳細図 1/30、1/5

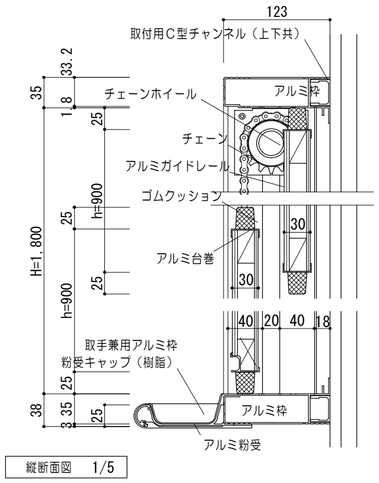


立面図　1/30

棟名	階	室名	数
特別教室棟Ｂ	2F	第１理科室	1



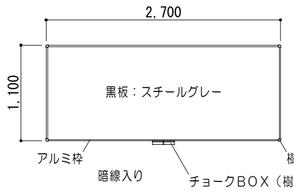
横断面図　1/5



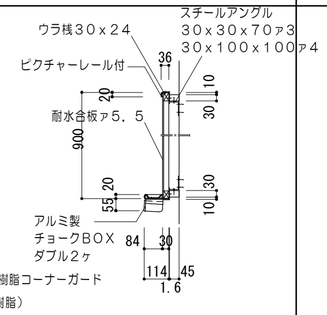
縦断面図　1/5

5D 平面黒板詳細図 1/20、1/50

棟名	階	室名	数
管理教室棟	2F	普通教室	7
普通教室棟	2F	普通教室	2

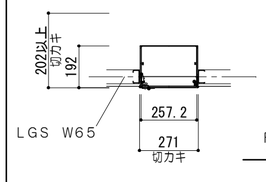


立面図　1/50

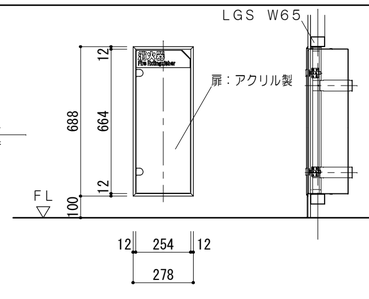


断面図　1/20

6D 全埋込型消火器ケース詳細図 1/20

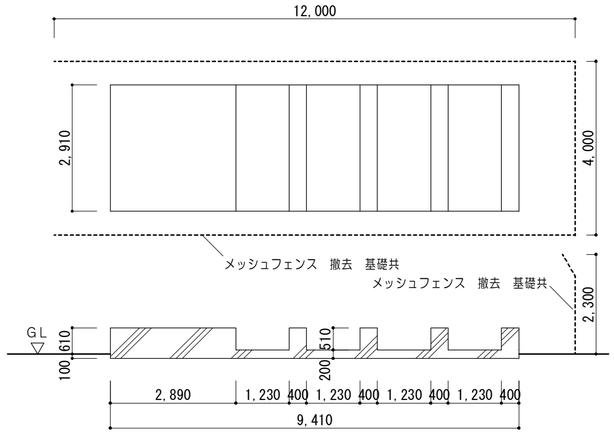


平面図



立面図　断面図

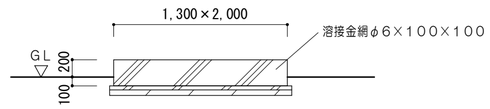
旧受水槽基礎　撤去 1/100



※撤去後は整地を行うこと。

設備基礎 1/50

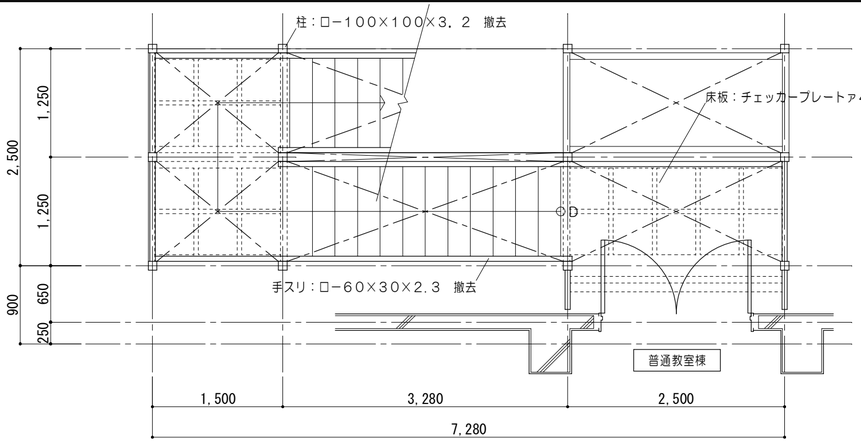
※位置は機械設備図による。



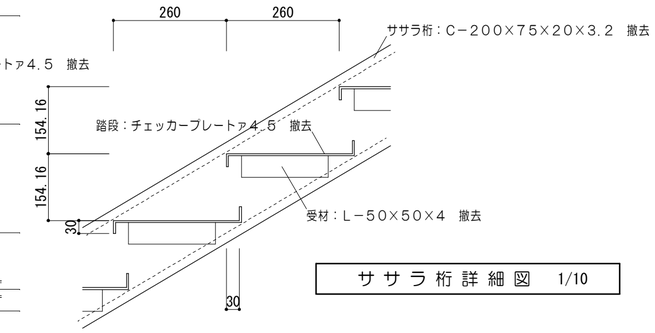
※室外機周囲はフェンス（朝日フェンス：UN-A1800　基礎込み　同等品）にて囲うこと。

特記事項							
	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-132 (原図：A2)
				図面名称	改修後　各部詳細図	縮尺	1/5.20 1/30.50

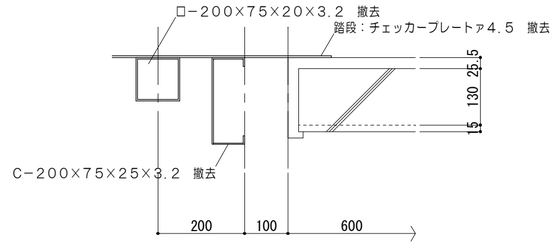
改修前



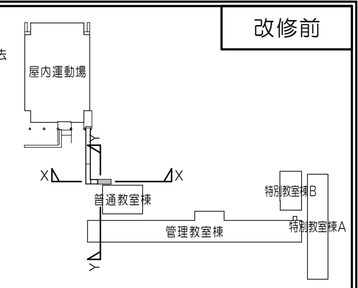
３ 階 平 面 図　1/50



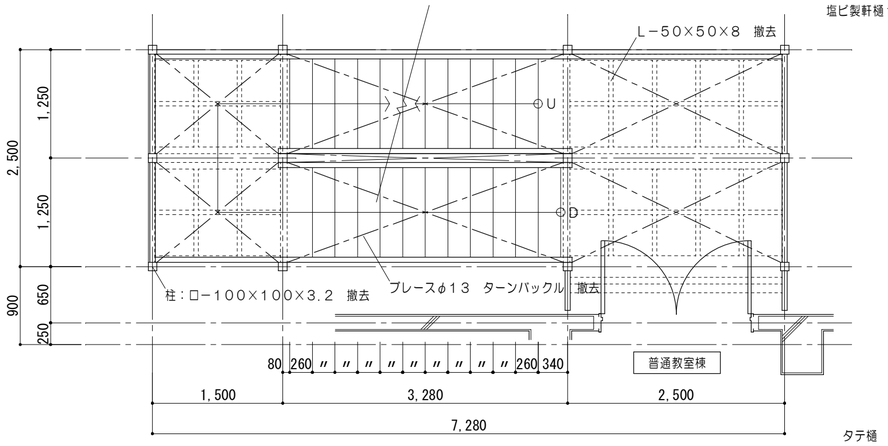
ササラ桁詳細図　1/10



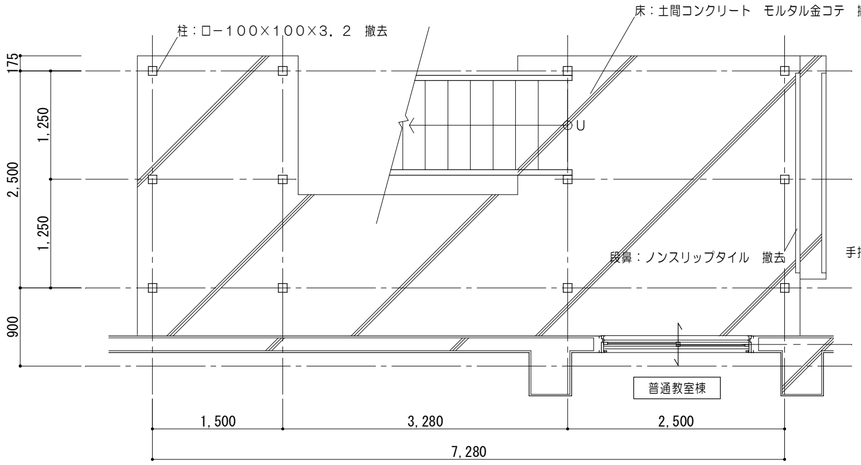
Ａ 部 詳 細 図　1/10



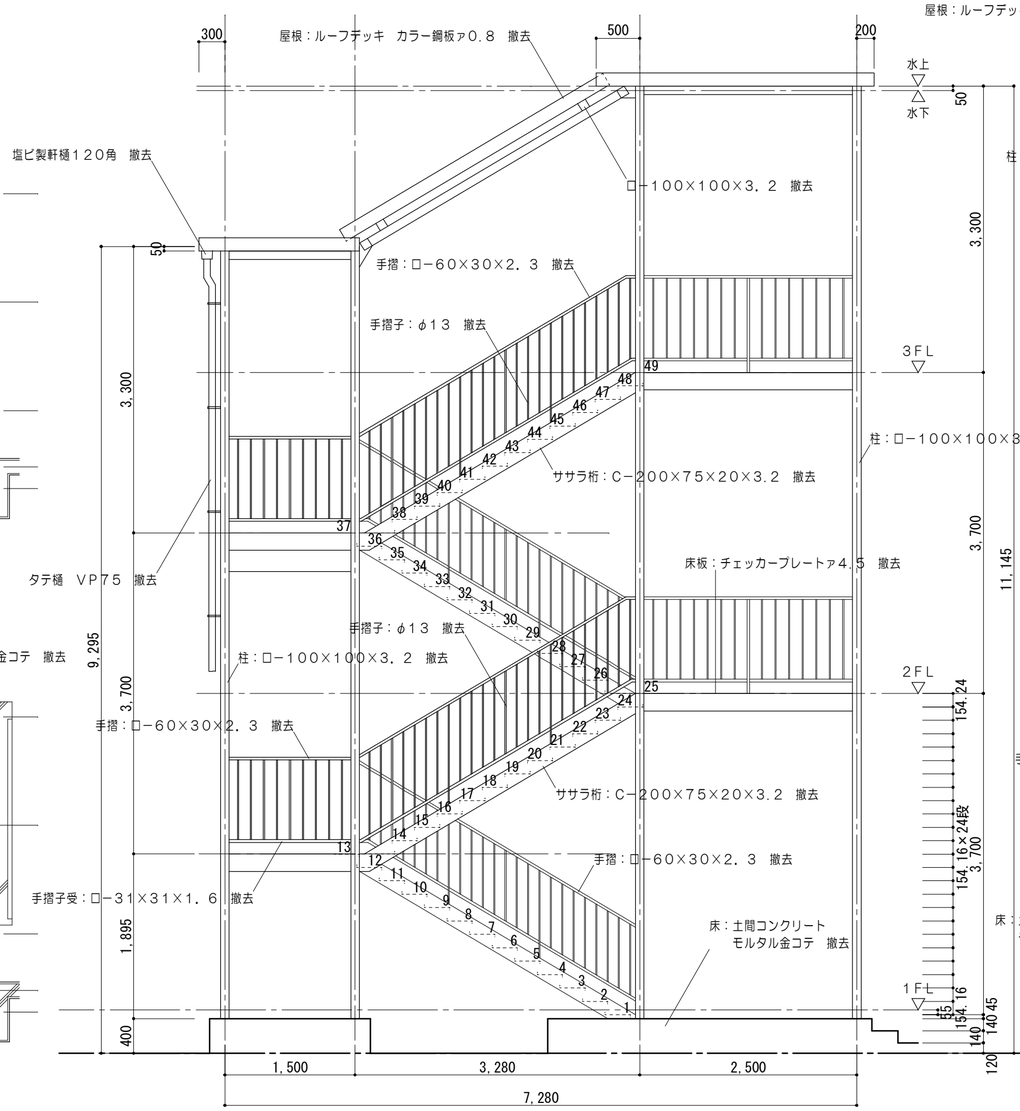
キ ー プ ラ ン　1/2000



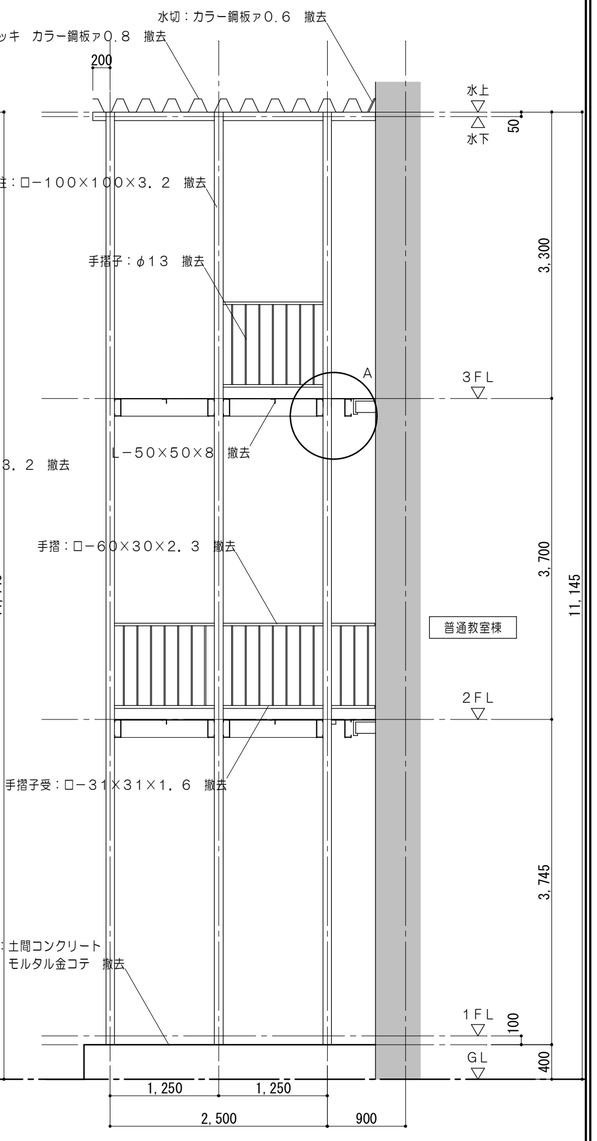
２ 階 平 面 図　1/50



１ 階 平 面 図　1/50



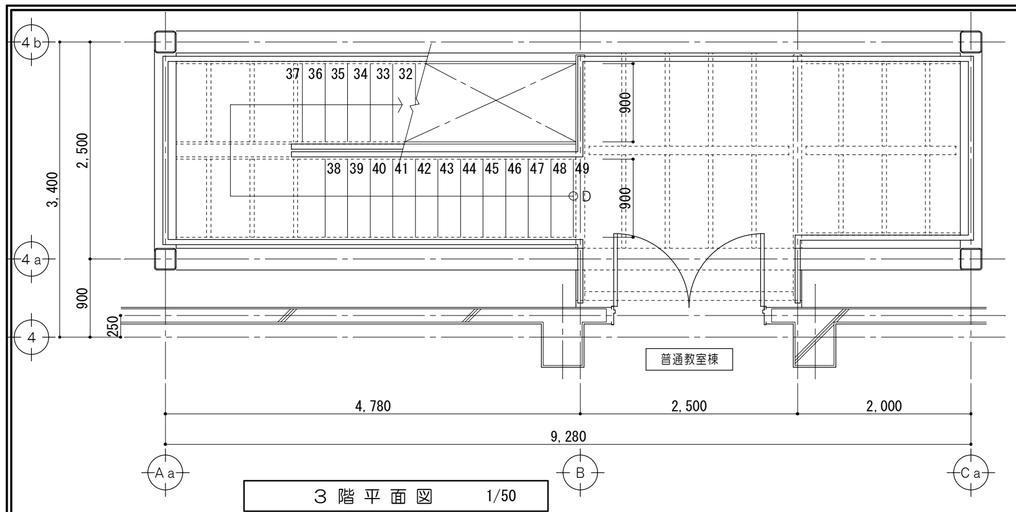
Ｘ － Ｘ 詳 細 図　1/50



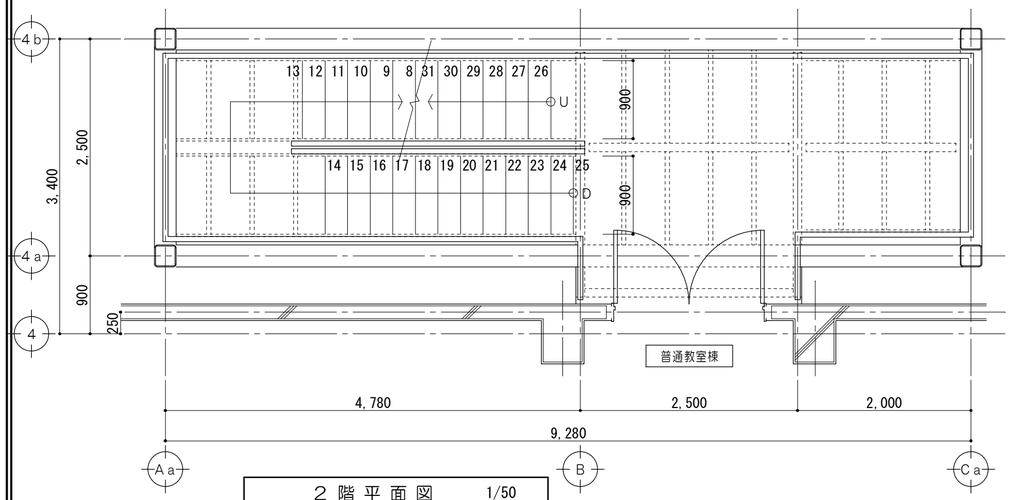
Ｙ － Ｙ 詳 細 図　1/50

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-133 （原図：A2）
				図面名称	＜普通教室棟＞ 改修前　屋外鉄骨階段撤去図	縮尺	1/10 1/50

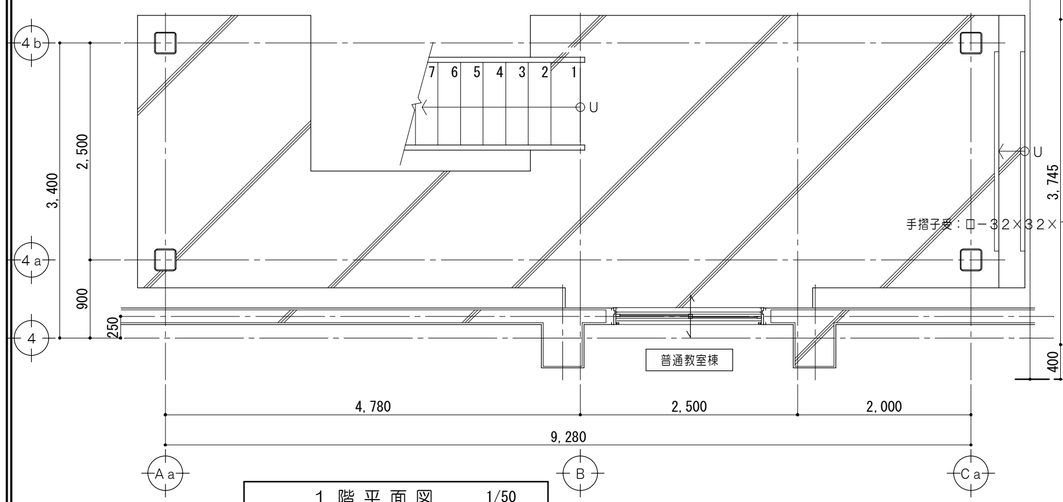
改修前



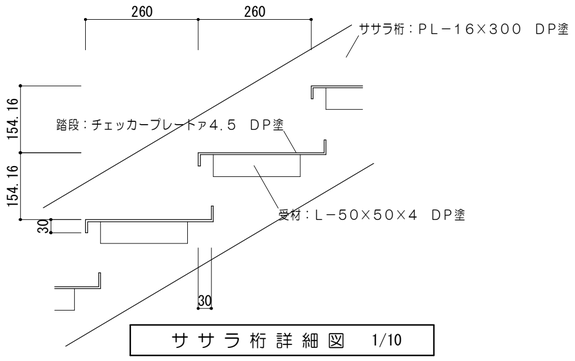
3 階 平 面 図　1/50



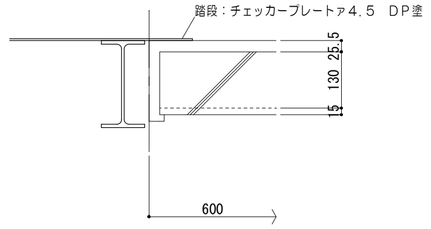
2 階 平 面 図　1/50



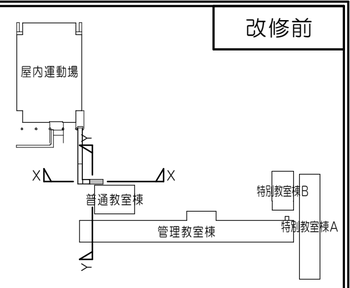
1 階 平 面 図　1/50



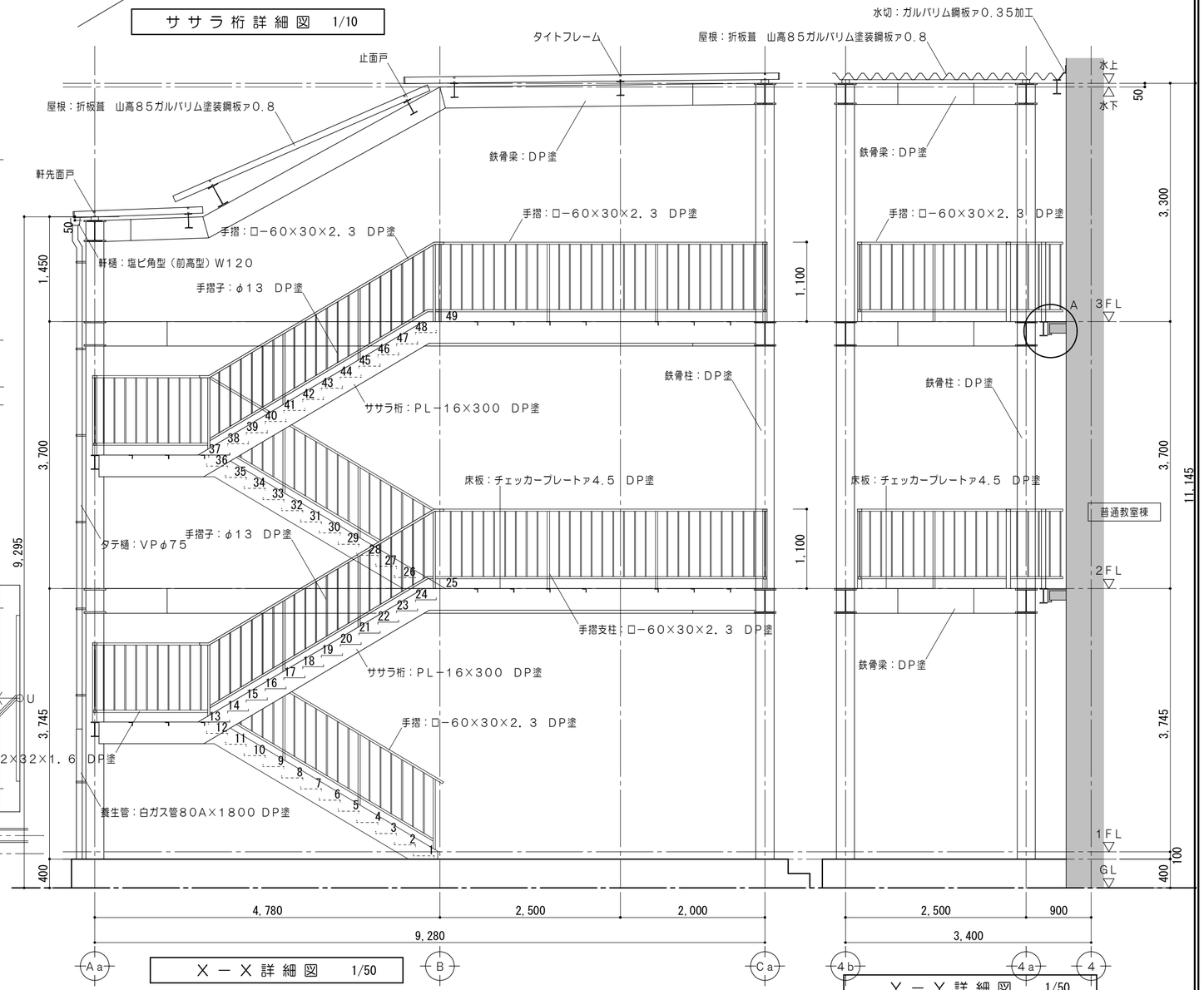
ササラ桁詳細図　1/10



A 部 詳 細 図　1/10



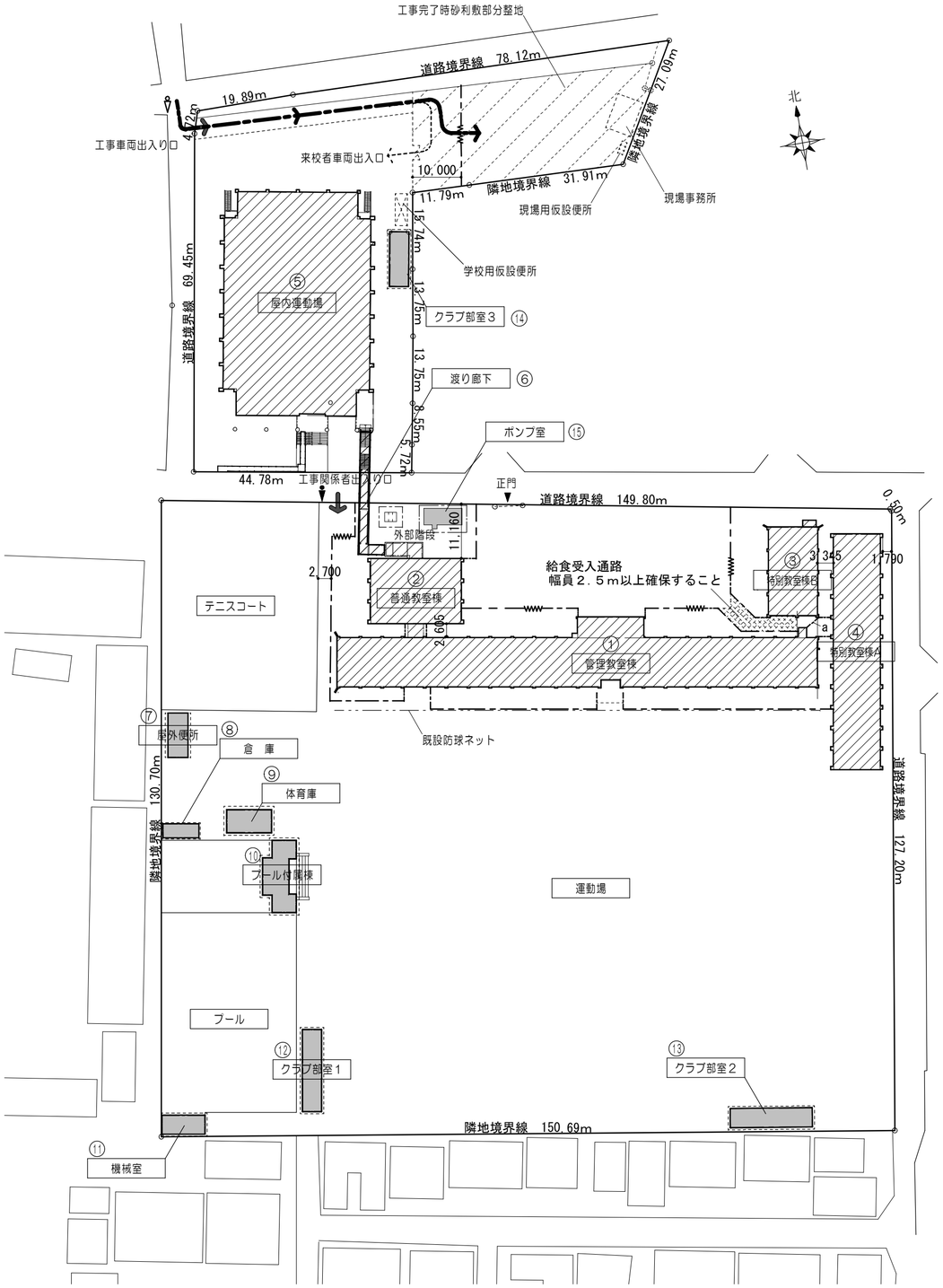
キ ー プ ラ ン　1/2000



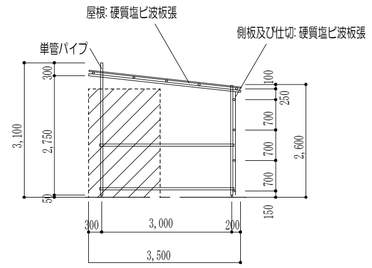
X − X 詳 細 図　1/50

Y − Y 詳 細 図　1/50

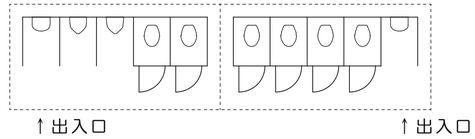
特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-134（原図：A2）
				図面名称	＜普通教室棟＞ 改修後　屋外鉄骨階段詳細図	縮尺 1/10 1/50



全体仮設計画図 1/800

仮設便所 参考立面図	共通註記
	■工事着手から８／３１まで設けること。 ■強風等で転倒しないよう敷地に固定すること。 ■設置及び撤去作業時は、 仮囲い（A型バリケード＋トラロープ）を 設置し安全確保に十分注意すること。 ■仮設便所の位置等については、現地を調査し、 監督員と十分協議すること。 ■工期内の汲み取りは受注業者で行うこと。 ■仮設便所及び仮設内の通路に照明を付けること。 ■その他仮設便所における管理については、学校側が行うものとする。

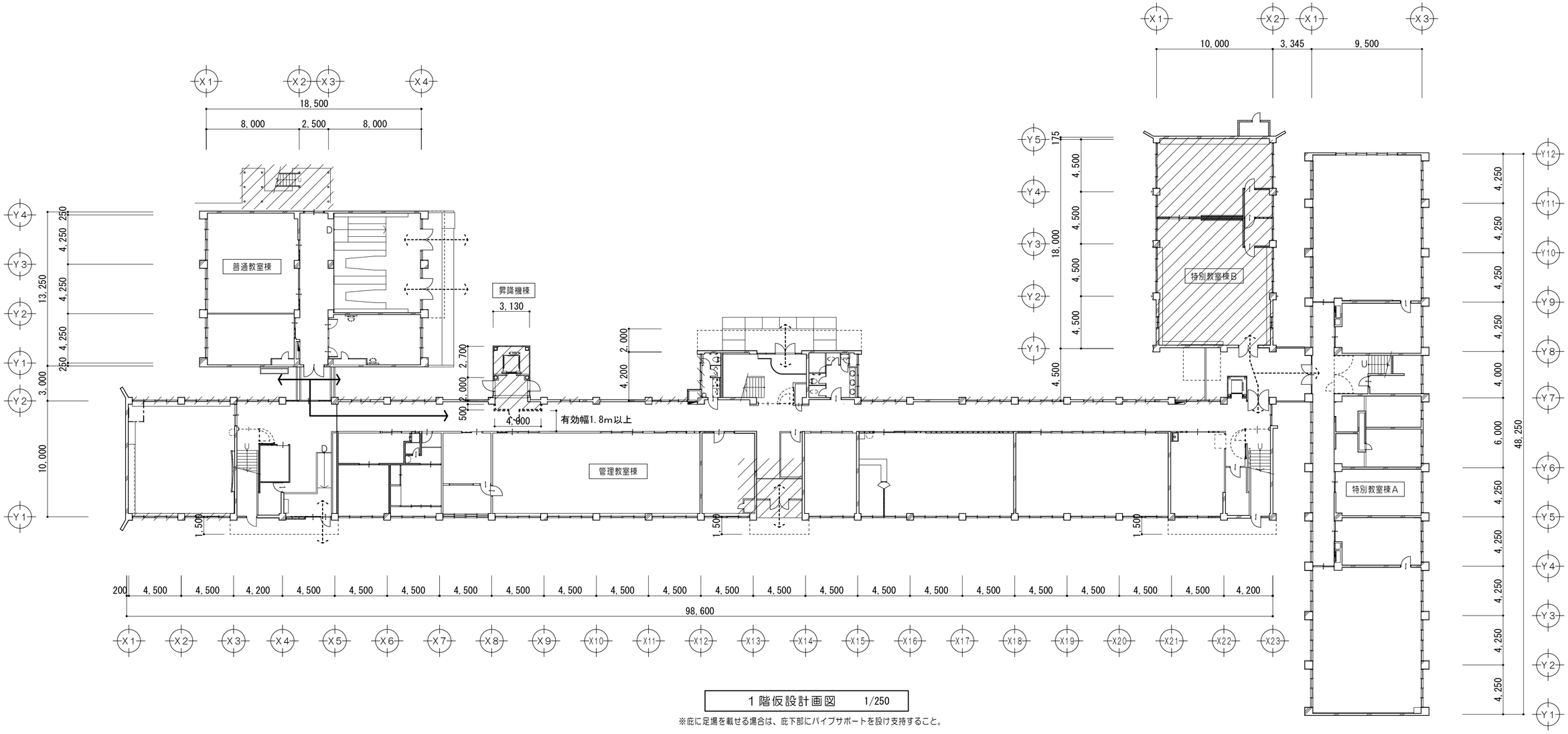
【軽水洗式(汲み取り)・照明付】
◎仕様
男性用 洋便器×2、小便器×2、手洗×1
女性用 洋便器×4、手洗×1
※単管＋塩ビ波板で屋根を設けること



学校用仮設便所平面図（参考） 1/100

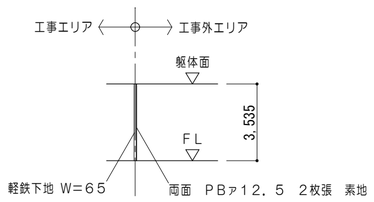
凡 例	
	改修建物（既存部分）を示す
	既存建物・既存施設を示す
	キャスターゲート W＝3000
	仮囲い：ガードフェンス H＝1．8m
	工事車両搬出入経路
	工事関係者出入口
	交通誘導員（常時）
	交通誘導員（適時）
	工事完了時砂利敷部分整地
a	仮囲い：ガードフェンス H＝1．8m（夏休み中のみ）

特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-135（原図：A2）
					図面名称	全体仮設計画図	縮尺 1/800



1階仮設計画図　1/250

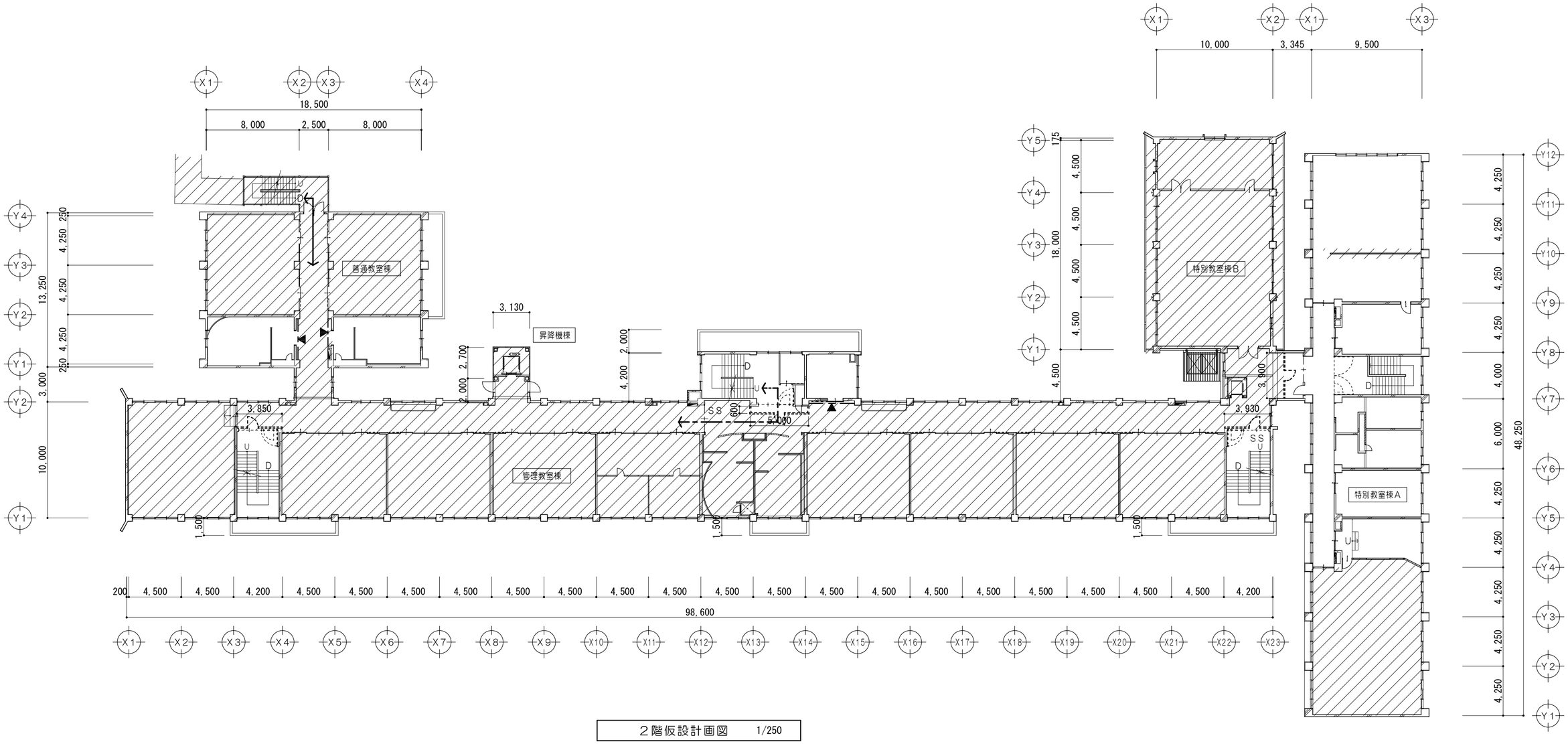
※庇に足場を載せる場合は、庇下部にパイプサポートを設け支持すること。



凡　例	
	工事範囲外を示す
	2期工事施工範囲を示す
CH=3535	仮間仕切：軽鉄下地 W=65両面PBｱ12.5 2枚張り ※既存躯体まで張り上げること。
	アルミ製片開キドア（アルミパネル）防火設備 W=900×H=2000 南京錠付
	工事用搬入出入口（休校日または放課後のみ出入りすること）
	教職員・生徒出入口及び通路

仮間仕切標準図　NS

特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 大臣登録第117489号 前野初像	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号 A-136（原図:A2）
				図面名称	1階仮設計画図	縮尺 1/300

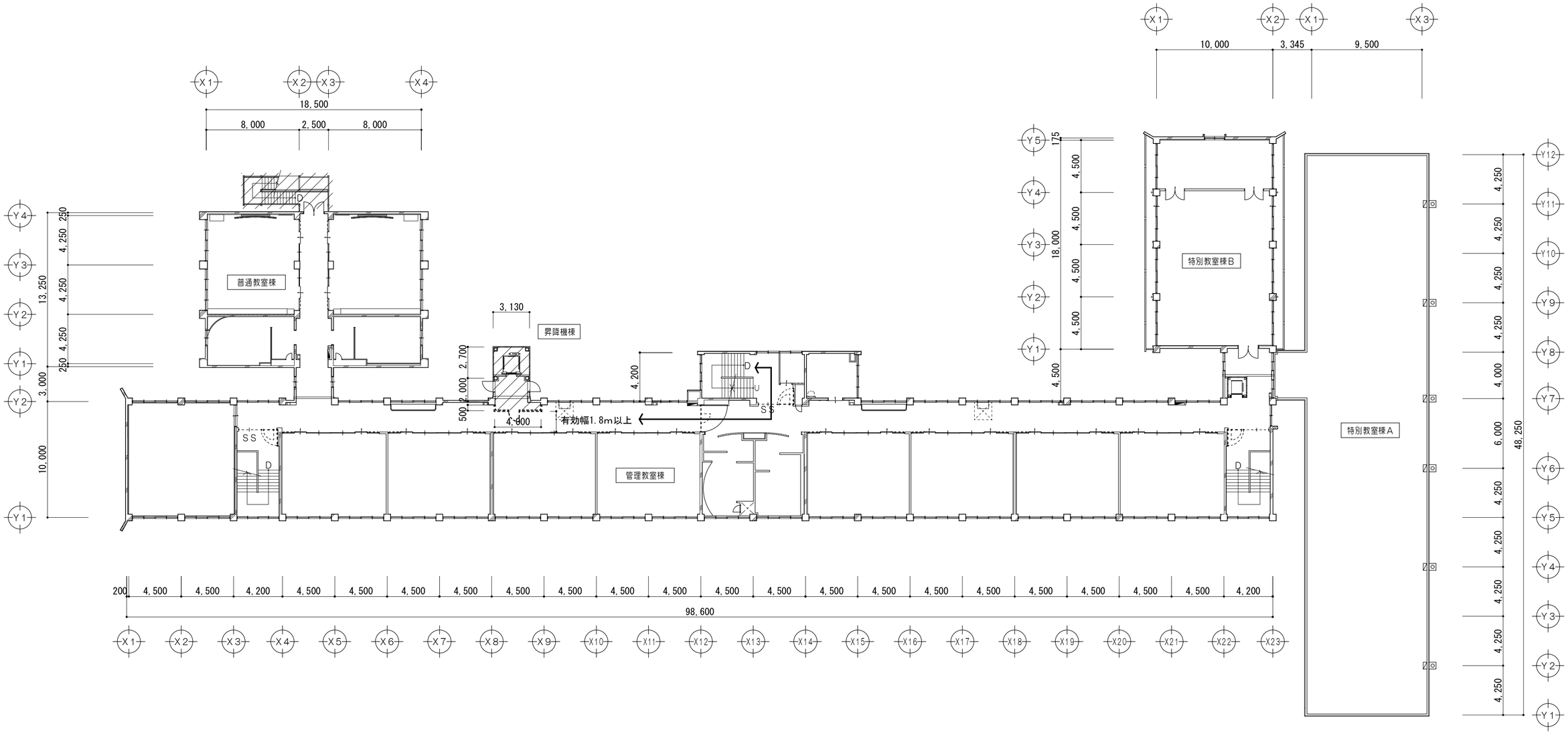


２階仮設計画図　1/250

凡　例	
	工事範囲外を示す
	２期工事施工範囲を示す
CH=3535	仮間仕切：軽鉄下地 W=65両面PBｧ12.5　2枚張り ※既存躯体まで張り上げること。
	アルミ製片開キドア（アルミパネル）防火設備 W=900×H=2000　南京錠付
	開口部 養生シートを示す
	工事用搬入出入口
	３階への工事用搬入出入口 ※出入りは、休校日又は放課後のみとする

※外部階段撤去期間は、昇降用足場等を設け出入りするものとし、内部階段は使用しないこと。

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-137 (原図:A2)
				図面名称	２階仮設計画図	縮尺	1/300

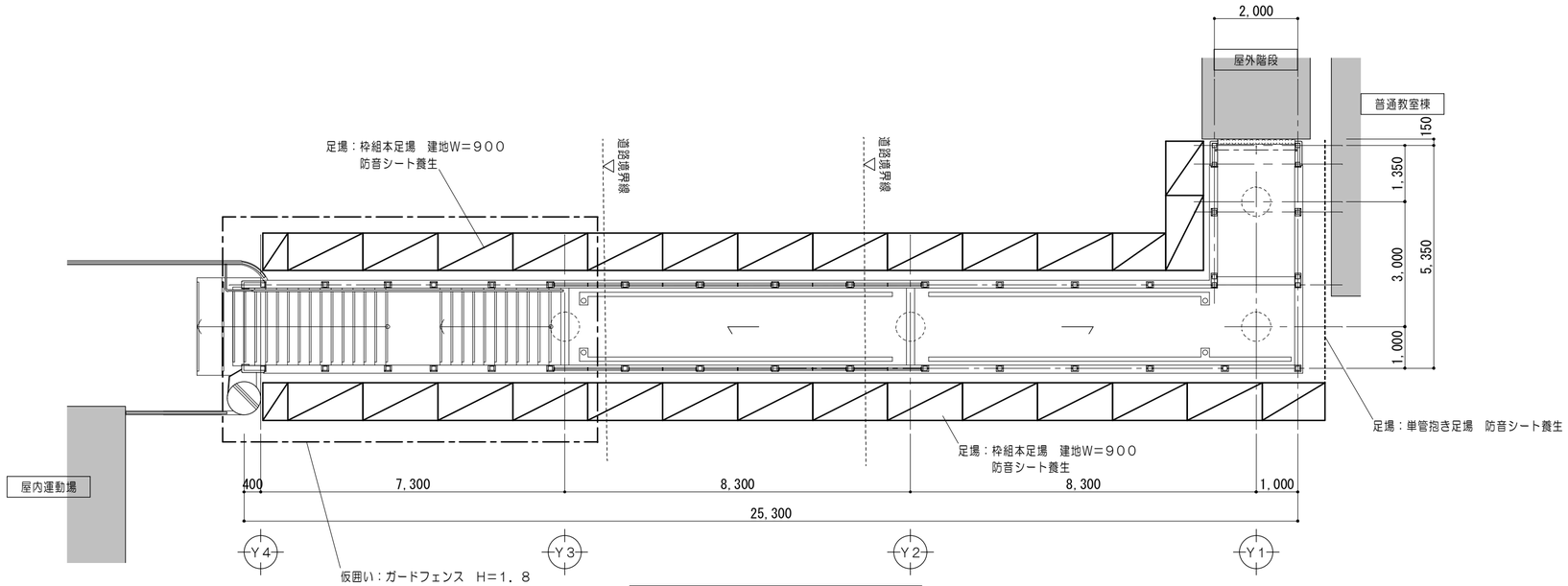


３階仮設計画図　1/250

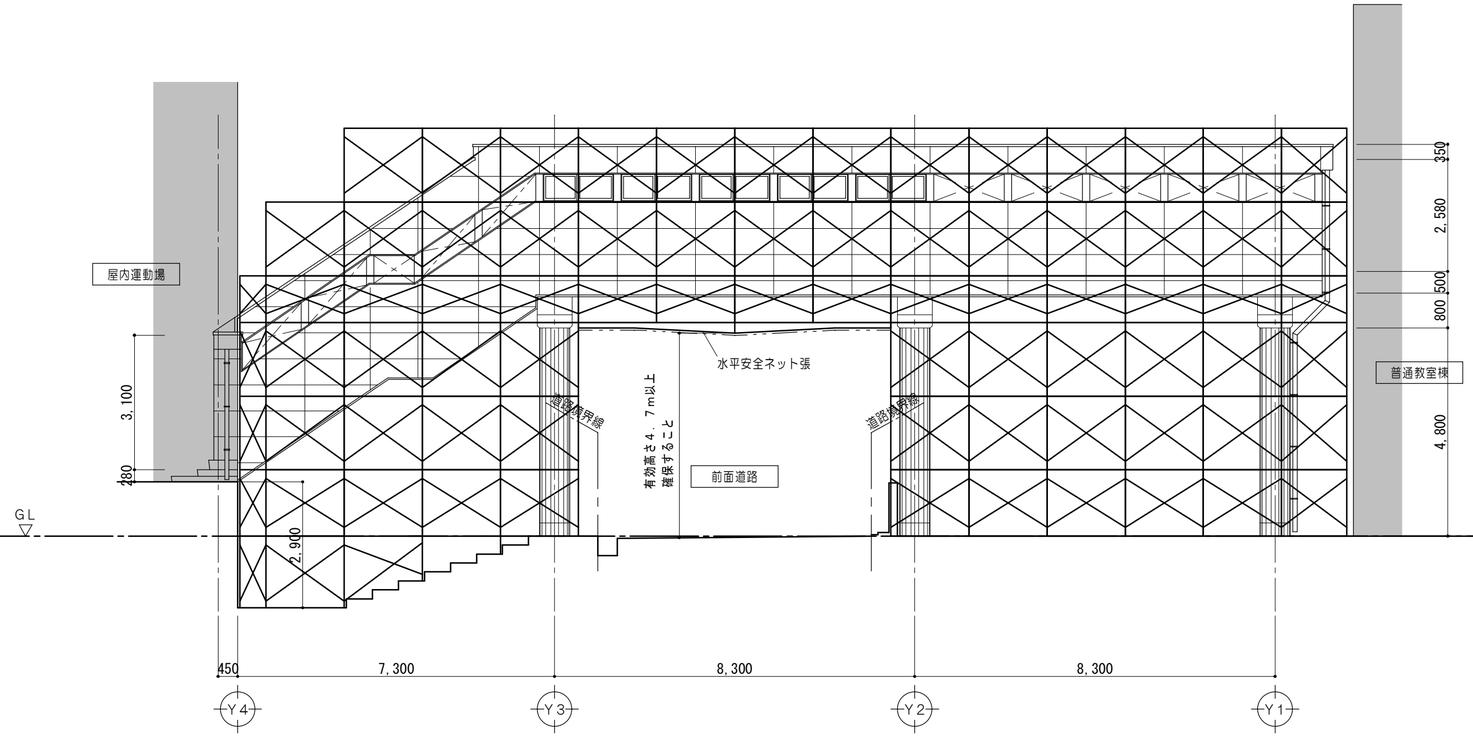
凡　例	
	工事範囲外を示す
	２期工事施工範囲を示す
CH=3535	仮間仕切：軽鉄下地 W＝６５両面ＰＢァ１２．５張り　２枚張り ※既存躯体まで張り上げること。
	アルミ製片開キドア（アルミパネル）防火設備 W＝９００×H＝２０００　南京錠付
	工事用搬入出入口 ※出入りは２階からとし、休校日または放課後のみする

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-138 (原図:A2)
				図面名称	３階仮設計画図	縮尺	1/300

参 考 図



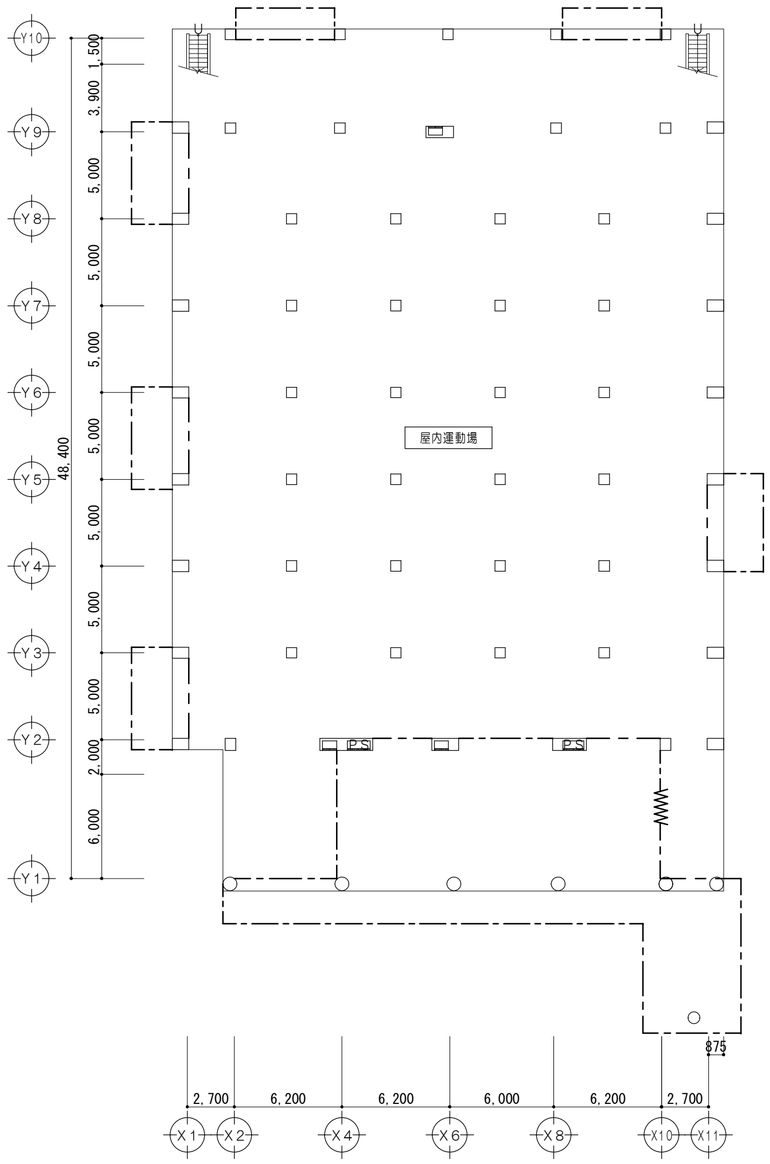
平 面 図　　1/100



西 立 面 図　　1/100

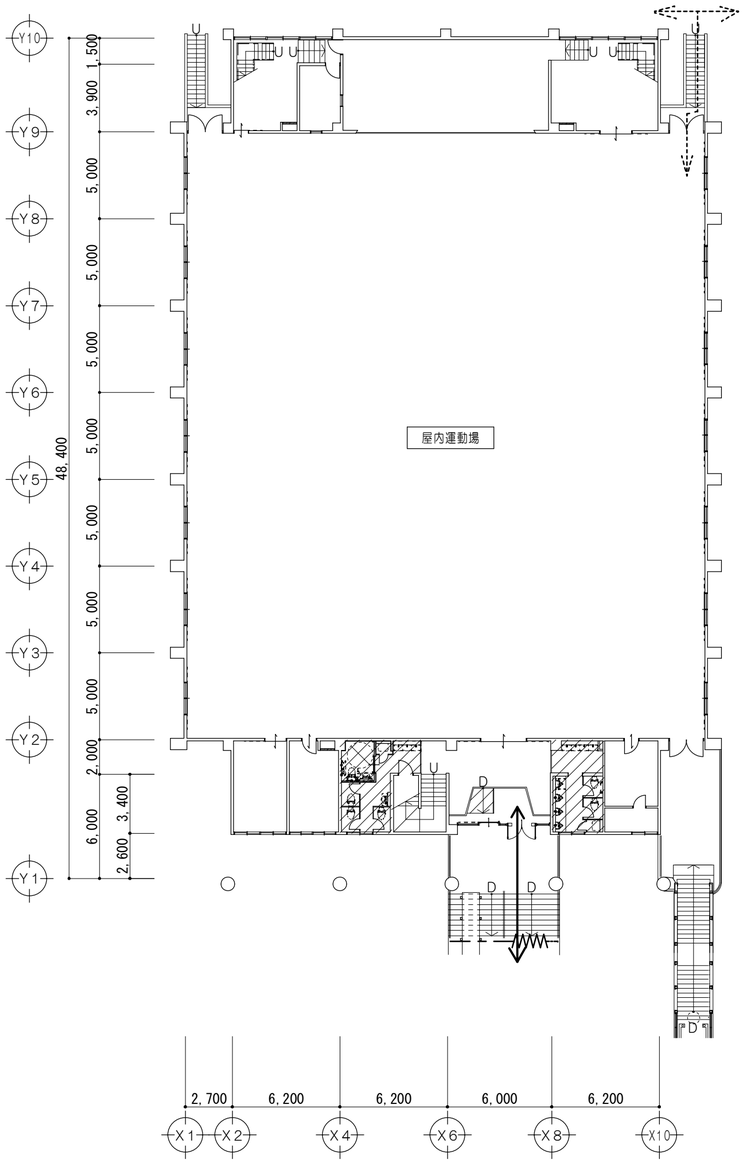
凡　例	
／／／	足場・・・枠組本足場　建地W＝９００ 防音シート養生
-------	足場・・・単管抱き足場 メッシュシート（防炎）
ー－－	仮囲い・・・ガードフェンス　H＝1．8

特記事項	一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-139 （原図：A2）
				図面名称	＜渡り廊下＞ 仮設計画図	縮尺	1/100



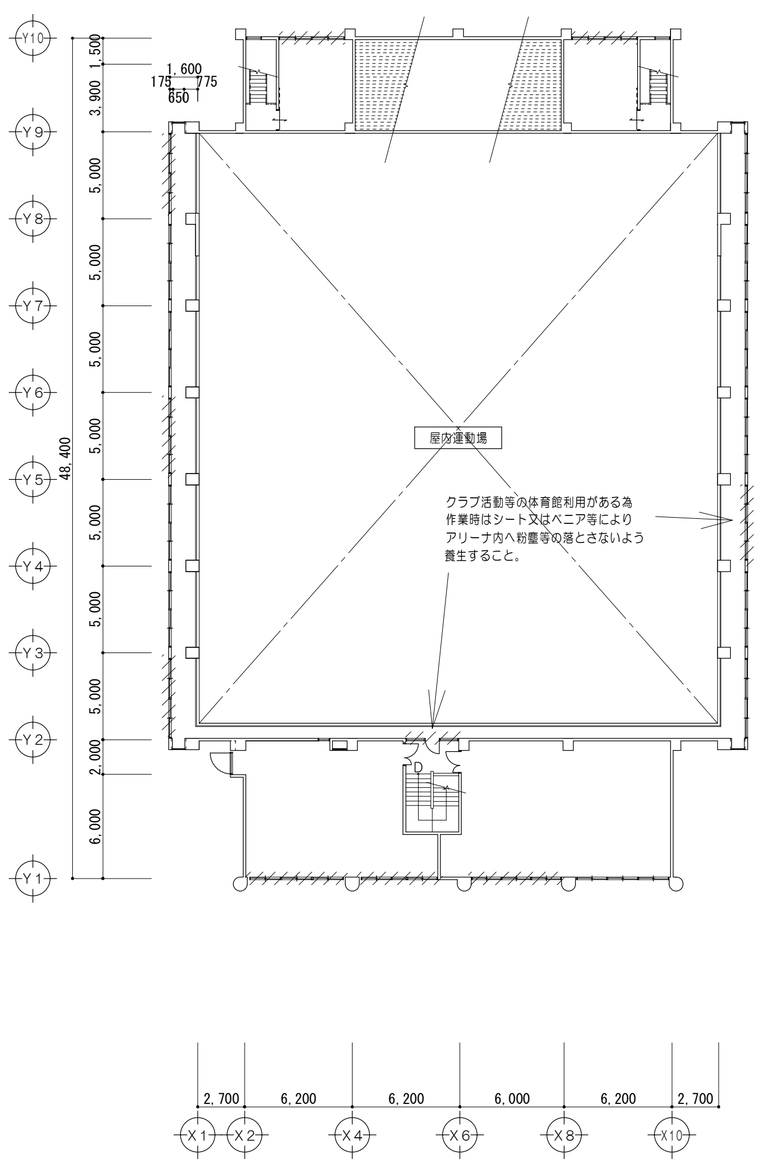
1階仮設計画図　1/250

＜夏休み工事＞



2階仮設計画図　1/250

＜夏休み工事＞



3階仮設計画図　1/250

＜夏休み工事＞

凡　例	
	既設のままを示す
	2期工事施工範囲を示す
	仮囲い：ガードフェンス　H＝1，8m
	キャスターゲート　W＝3000
	工事用搬入出入口
	教職員・生徒出入口及び通路

特記事項		一級建築士事務所　三重県知事登録　第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士　大臣登録第117489号　前野初像	一級建築士　第304509号 水谷　浩	設計年月日	工事名称	津市立南郊中学校大規模改造（第二期）工事	図面番号	A-140 （原図：A2）
					図面名称	＜屋内運動場＞ 仮設計画図	縮尺	1/250